

## 第3章 集計結果

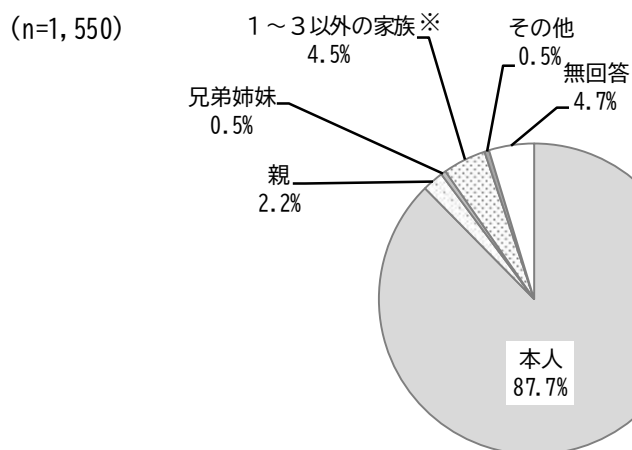
---

# 1 身体障害者を対象とした調査の集計結果

## 1. 調査票の回答者について

問1 本調査の質問にご回答いただいたのはどなたですか。(〇は1つ)

「本人」が87.7%と最も多く、次いで「1～3以外の家族」が4.5%、「親」が2.2%となっている。

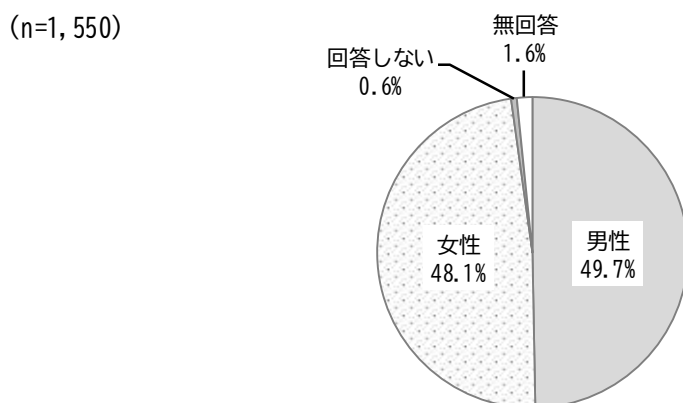


※「本人」、「親」、「兄弟姉妹」を除く家族

## 2. あて名のご本人について

問2 あて名のご本人の性別を教えてください。(〇は1つ)

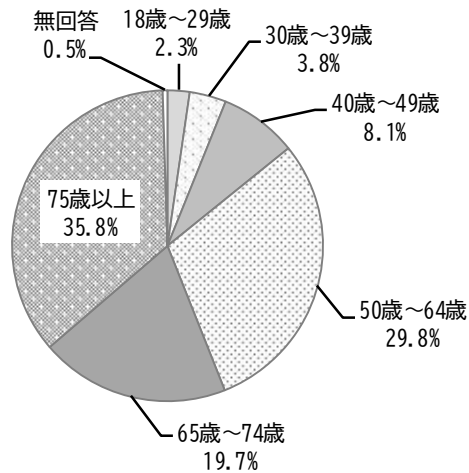
「男性」が49.7%、「女性」が48.1%、「回答しない」が0.6%となっている。



問3 あて名のご本人の年齢を教えてください。(○は1つ)

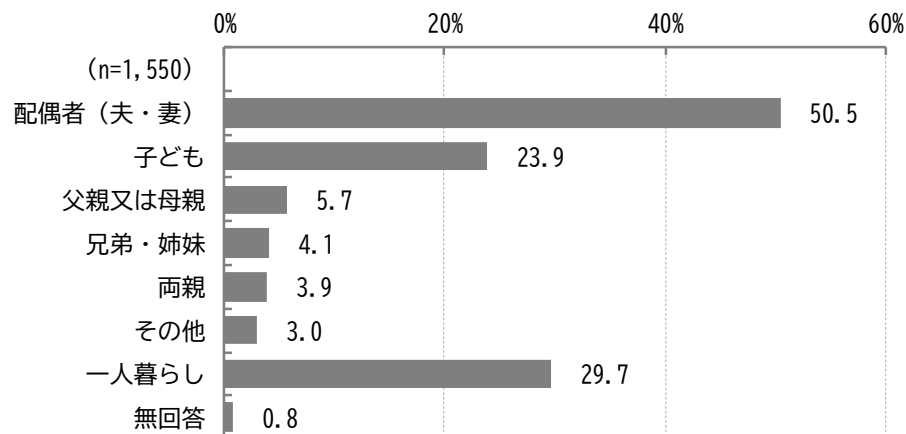
「75歳以上」が35.8%と最も多く、次いで「50歳～64歳」が29.8%、「65歳～74歳」が19.7%となっている。

(n=1,550)



問4 あて名のご本人は、どなたと同居しているか教えてください。(○はいくつでも)

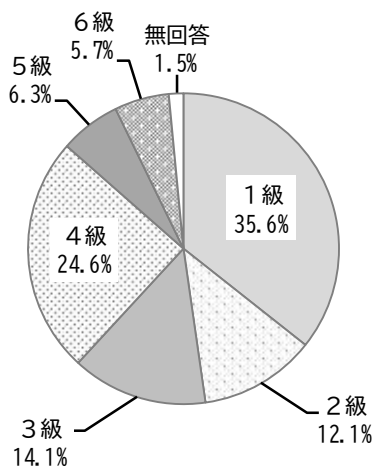
「配偶者(夫・妻)」が50.5%と最も多く、次いで「一人暮らし」が29.7%、「子ども」が23.9%となっている。



問5 あて名のご本人の身体障害者手帳の等級を教えてください。(○は1つ)

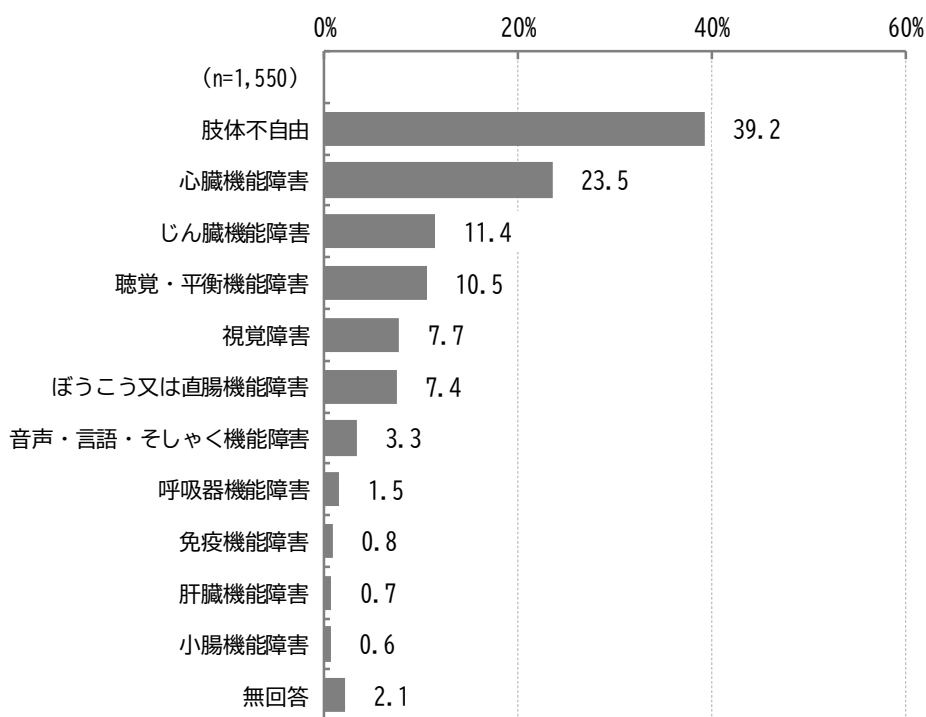
「1級」が35.6%と最も多く、次いで「4級」が24.6%、「3級」が14.1%となっている。

(n=1,550)



問6 あて名のご本人の障害の種類を教えてください。(○はいくつでも)

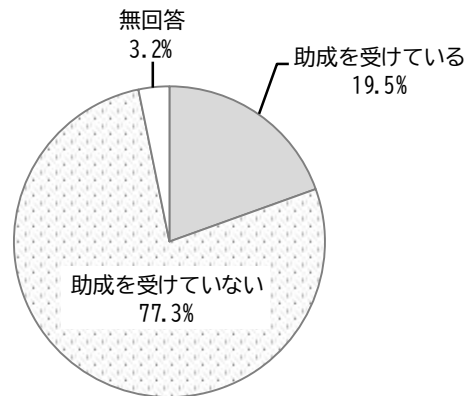
「肢体不自由」が39.2%と最も多く、次いで「心臓機能障害」が23.5%、「じん臓機能障害」が11.4%となっている。



問7 あて名のご本人は東京都により認定される「難病医療費等助成」を受けていますか。  
(○は1つ)

「助成を受けていない」が77.3%、「助成を受けている」が19.5%となっている。

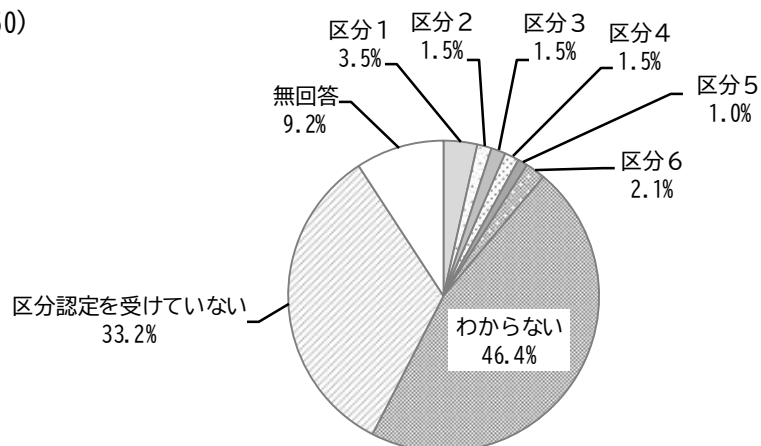
(n=1,550)



問8 あて名のご本人の障害福祉サービス受給者証の「障害支援区分」を教えてください。  
(○は1つ)

「わからない」が46.4%と最も多く、次いで「区分認定を受けていない」が33.2%、「区分1」が3.5%となっている。

(n=1,550)

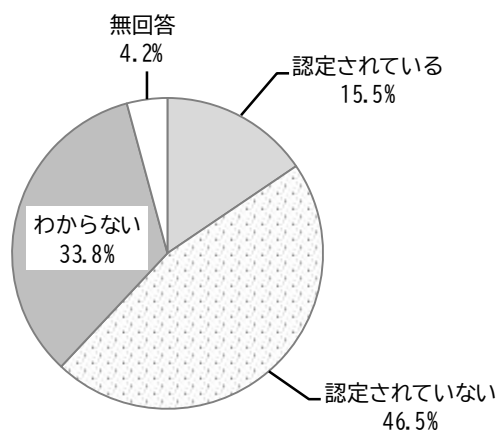


※問9は、問8で選択肢「4. 区分4」～「6. 区分6」のいずれかを選択した人のみ回答

問9 重度障害者支援加算が認定されているか教えてください。  
(受給者証に記載されています) (○は1つ)

「認定されていない」が46.5%と最も多く、次いで「わからない」が33.8%、「認定されている」が15.5%となっている。

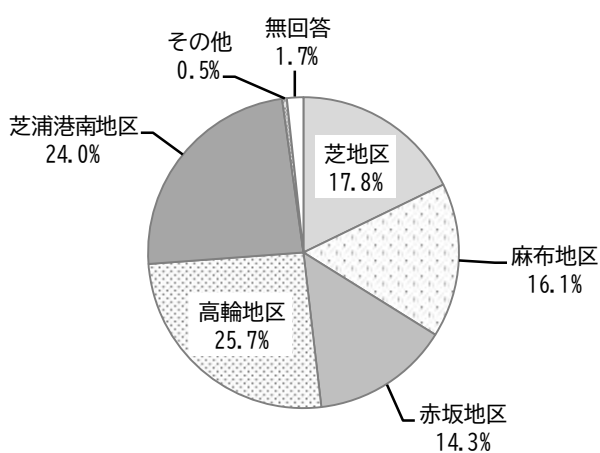
(n=71)



問10 あて名のご本人のお住まいの地区を教えてください。(○は1つ)

「高輪地区」が25.7%と最も多く、次いで「芝浦港南地区」が24.0%、「芝地区」が17.8%となっている。

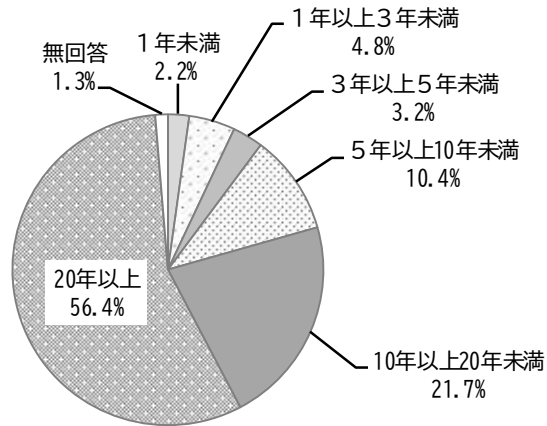
(n=1,550)



問11 あて名のご本人の港区での居住年数を教えてください。(○は1つ)

「20年以上」が56.4%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が21.7%、「5年以上10年未満」が10.4%となっている。

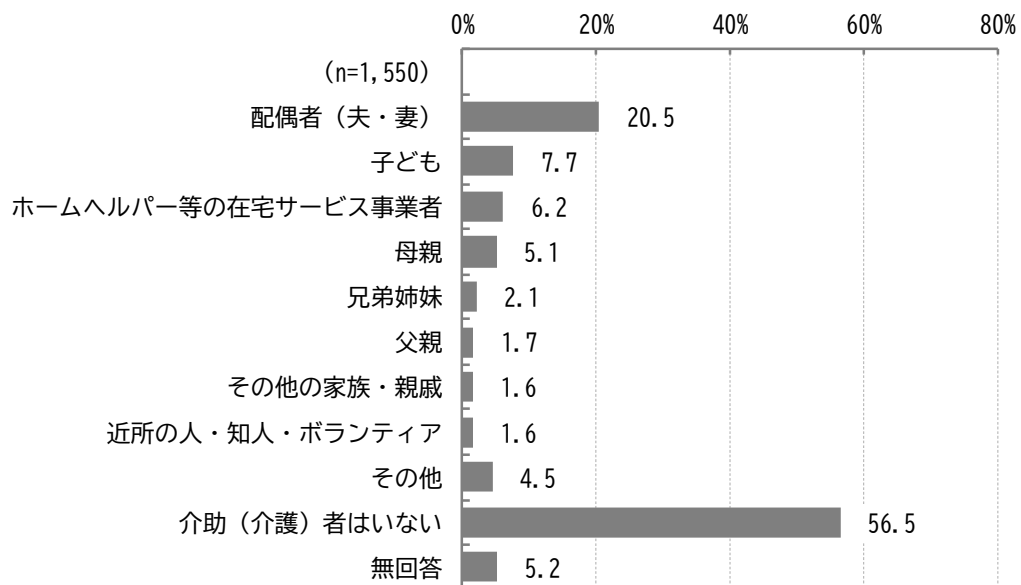
(n=1,550)



### 3. 生活状況等について

問12 あなた（あて名のご本人）には現在、日常生活における介助（介護）者はいますか。  
(○はいくつでも)

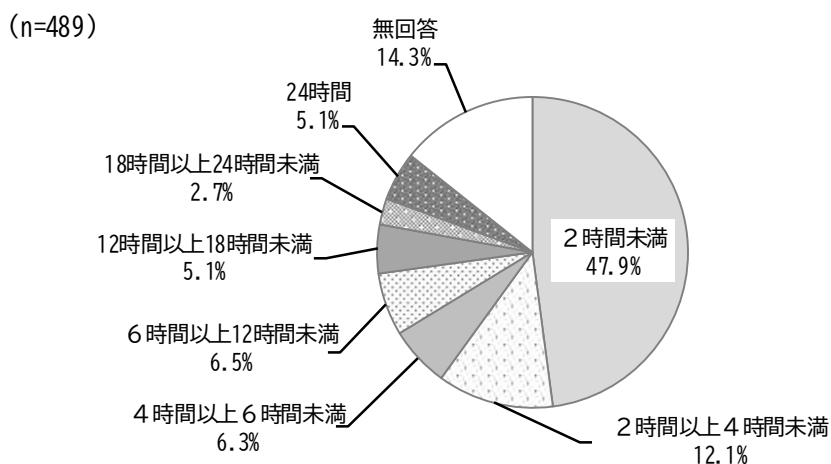
「介助（介護）者はいない」が56.5%と最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が20.5%、「子ども」が7.7%となっている。



※問 13 と問 14 は、問 12 で選択肢「1. 母親」～「6. その他の家族・親戚」のいずれかを選択した人のみ回答

問13 家族又は親戚が介助（介護）している時間は1日平均どのくらいですか。複数の家族・親戚が関わっている場合は、合計した時間で教えてください。（○は1つ）

「2時間未満」が47.9%と最も多く、次いで「2時間以上4時間未満」が12.1%、「6時間以上12時間未満」が6.5%となっている。



問14 家族又は親戚が介助（介護）している内容を教えてください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	家事全般(食事、掃除、買い物等)	117
2	通院や外出時の介助	88
3	医療的ケア	15
4	入浴や排せつ等の介助・身の回りの世話	47
5	その他	40

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

〔1 家事全般(食事、掃除、買い物等)〕

- 食事、掃除、洗濯、買い物。
- 掃除や買い物などを行ってもらっています。

〔2 通院や外出時の介助〕

- 歩行介助。
- 足と腰が悪い為、歩行器を使用しています。重い物を運ぶ時、高い所の物を取る時は手伝ってもらいます。

〔3 医療的ケア〕

- ポートの設置、点滴の準備や取り付け、ストーマの取り付け。
- セルフケア全介助、排泄全介助(排便は浣腸)、車イス移乗、食事全介助(胃瘻)、口鼻腔吸引、薬液吸入、寝返り、体位変換。

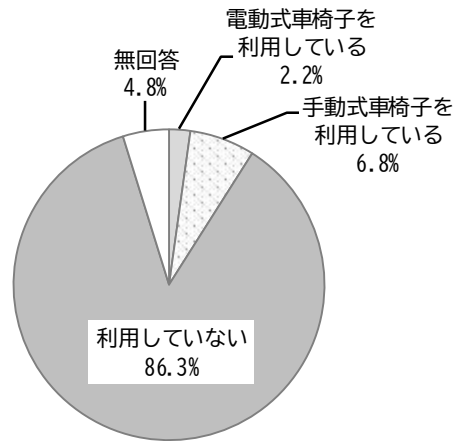
〔4 入浴や排せつ等の介助・身の回りの世話〕

- トイレ介助、着替え介助、就寝介助、口腔介助、食事介助。
- 排泄（尿パッド、紙オムツ交換）、入浴、着替え、食事（準備、片付け）、通院、送迎までの付き添い、その他日常生活全般の介助。

問15 あなた（あて名のご本人）は、日常生活の中で車椅子を利用していますか。（○は1つ）  
※電動式と手動式の双方を利用している場合は、1日の利用時間数が多い方をご回答ください。

「利用していない」が86.3%と最も多く、次いで「手動式車椅子を利用している」が6.8%、「電動式車椅子を利用している」が2.2%となっている。

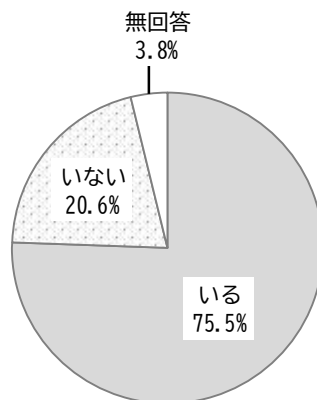
(n=1,550)



問16 あなた（あて名のご本人）には、あなた自身やあなたの家族の健康相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）はいますか。（○は1つ）

「いる」が75.5%、「いない」が20.6%となっている。

(n=1,550)

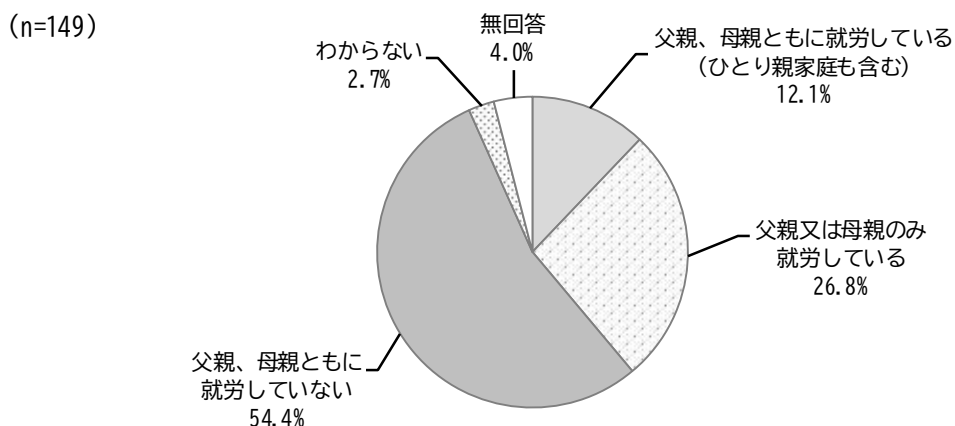


## 4. 親の就労状況等について

※問 17～19 は、同居している親がいる人のみ回答

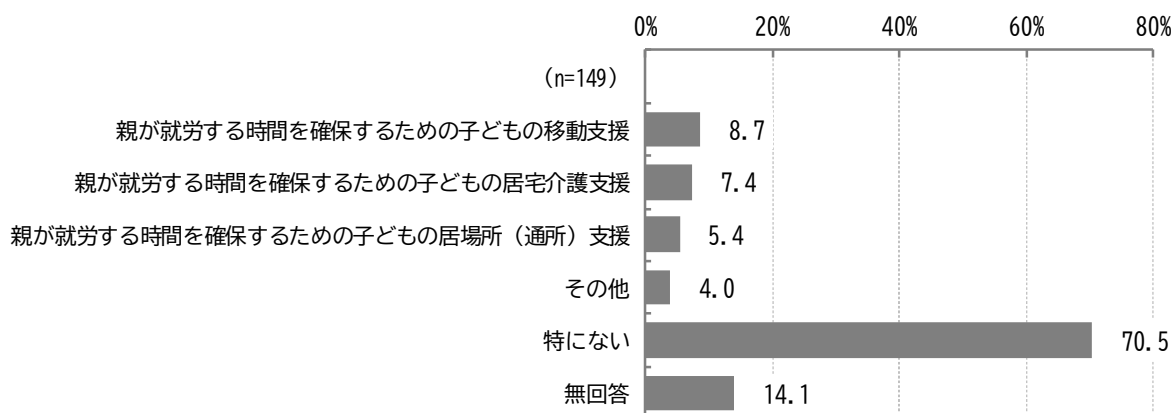
問17 あなた（あて名のご本人）の親の就労状況を教えてください。（○は1つ）

「父親、母親ともに就労していない」が54.4%と最も多く、次いで「父親又は母親のみ就労している」が26.8%、「父親、母親ともに就労している（ひとり親家庭も含む）」が12.1%となっている。



問18 あなた（あて名のご本人）の親が就労するにあたり、必要な支援を教えてください。（○はいくつでも）

「特にない」が70.5%と最も多く、次いで「親が就労する時間を確保するための子どもの移動支援」が8.7%、「親が就労する時間を確保するための子どもの居宅介護支援」が7.4%となっている。



問19 あなた（あて名のご本人）の親が就労するにあたり、困りごとや必要なサービスについて、自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	就労先について	7
2	身体の負担に関する心配・生活の支援の必要性	4
3	就労ではなく介護について困っている・将来への不安	13
4	その他	3

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

#### 〔1 就労先について〕

- 色々体調の事で就労できない。
- 親が高齢になってきているため、いつまで元気に勤務できるか心配。無理はしないでほしいが、勤務時間が減ると収入も減るため、バランスが難しい。

#### 〔2 身体の負担に関する心配・生活の支援の必要性〕

- 足が不自由なので、何かあった時心配。
- 昼夜に関わらず障害者の行動、健康面が気になることと家事のことで就労どころではない。

#### 〔3 就労ではなく介護について困っている・将来への不安〕

- 親は当事者と同居して家でできる就労をしている。親の片方が入院したりした時も少々困ったが、両方が入院したりして介護・見守りが出来ない場合の事を考えると不安です。親が高齢になり片方が入院したりして介護できなくなった時又は家事ができなくなった時、片方の親が家に居るから良いでしょうと何もしてもらえなかったので色々困った事が多かった。益々高齢に

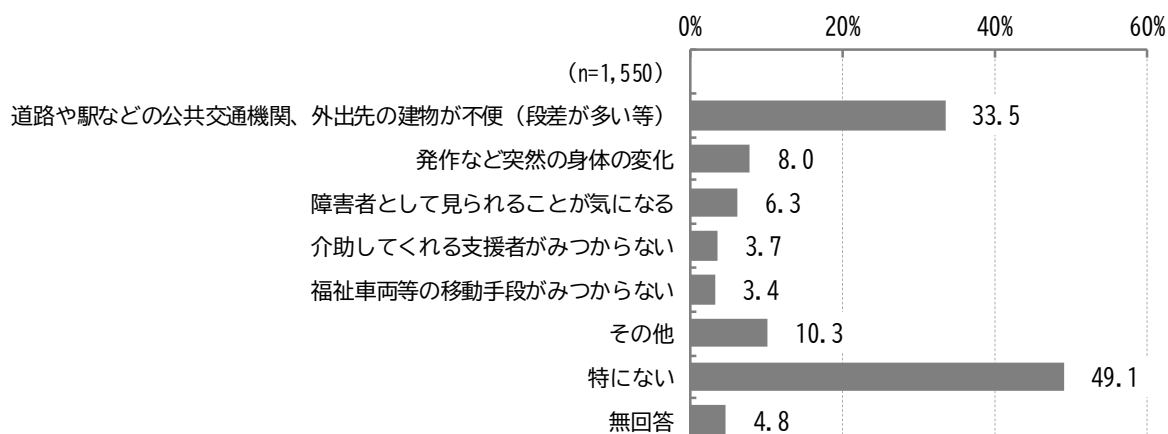
なるので不安が尽きない。

○長時間安心して預かってくれる施設がない体調の変化があるので預けづらい。

## 5. 外出の機会や日中の活動について

問20 あなた（あて名のご本人）が外出する時に困ることを教えてください。（〇はいくつでも）

「特にない」が49.1%と最も多く、次いで「道路や駅などの公共交通機関、外出先の建物が不便（段差が多い等）」が33.5%、「その他」が10.3%となっている。



### 【主なその他の内容】

内容	件数
階段やトイレ等の設備について	58
障害等の症状について	27
移動について	20
案内や表示について	16
その他	33

問21 あなた（あて名のご本人）が安心した日常生活をおくるために充実してほしい日常生活用具（入浴補助用具、紙おむつ、ストーマ装具などの日常生活を円滑に過ごすために必要な用具）がありましたら自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	紙おむつや・尿パッド等	39
2	タクシー等の外出支援等	17
3	ストーマ装具等	39
4	杖	28
5	エレベーターや手すり、ベンチ等	32
6	入浴補助用具	23
7	補聴器	18
8	車椅子	12
9	ルーペや眼鏡等	14
10	その他	95

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

#### 〔1 紙おむつや・尿パッド等〕

- 会議や外出が1時間以上続く時は、心配なので大人用紙おむつをはいて外出するようにしています。
- 介護士、看護師等の時間内に出来る事が少ない。親に全部のしかかる。紙おむつが足りない。

#### 〔2 タクシー等の外出支援等〕

- 都営地下鉄・バス等を利用させて頂いていますが、体調が良くない時にタクシー券を利用しているが、やはり枚数が足りないので配慮して欲しい。電車移動も無料にしてほしい。
- タクシードライバーの車いす利用者への理解。

#### 〔3 ストーマ装具等〕

- ストーマ装具について、皮膚に優しいが長持ちする、フィルター機能に優れた装具が開発されるとありがたいです。
- ストーマを装具してくれる施設を明示してもらいたい。

#### 〔4 杖〕

- 外出時、杖があると安心。
- 今のところなんとかこなしていますが、今後のことは不安だらけです。近所に食材等の買い物にも転ぶ心配ばかりで怖いです。

#### 〔5 エレベーターや手すり、ベンチ等〕

- 階段の上り下りのない、補助通路などがもっと充実してほしい。
- 病院や用事で外出する時、疲れたり息苦しい時、座れるベンチが無いのが不安。公園ではなく、町中に気軽に座れるベンチが数多くほしいです。駅のホームも昔はたくさんあったのに、最近は少ないです。バス停もあれば助かります。

#### 〔6 入浴補助用具〕

- 入浴補助用具の必要性を感じる。両ヒザが不自由のため危険を感じる。
- 入浴が大変なので、補助用具があると良い。

#### 〔7 補聴器〕

- テレビ等の字幕を読み上げてくれる道具があれば良い。
- 必要十分な機能がありつつ、安価な補聴器（両耳）。

#### 〔8 車椅子〕

- 長距離が歩けないので、時々電動車椅子を民間のサービスで利用していますが、コスト高です。6級でも車イスの補助申請が出来るようにしていただけるとありがたい。
- 普通の乗用車に積載可能な電動車椅子で現状より軽量のものがあれば助かります。

#### 〔9 ルーペや眼鏡等〕

- 読み上げ機能が充実した通信機。
- AI ロボット、コミュニケーションやり取りの為の視線入力補装器具、操作の補助サービス。

問22 現在の障害福祉サービス等の利用状況を教えてください。

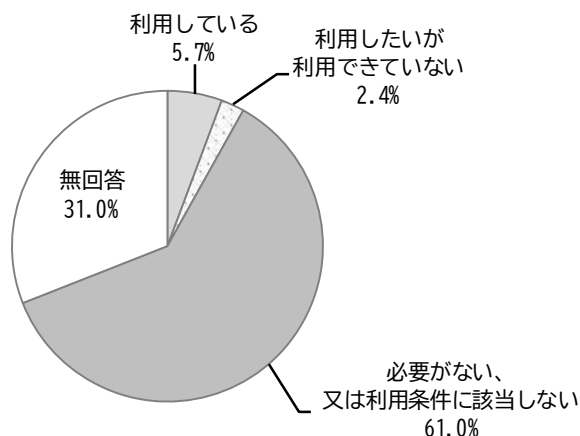
①～⑩それぞれについて当てはまる番号をお答えください。(○は1つ)

※「利用したいが利用できていない」を選択した場合、その理由を理由一覧から当てはまる番号をお答えください。

### 【① 生活介護：利用状況】

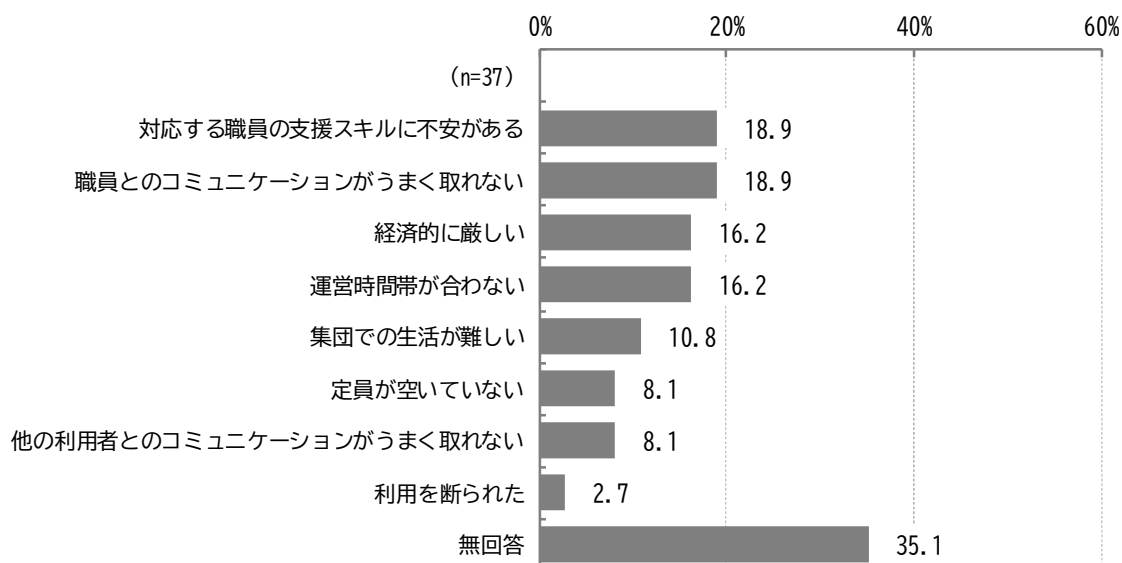
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が61.0%と最も多く、次いで「利用している」が5.7%、「利用したいが利用できていない」が2.4%となっている。

(n=1,550)



### 【① 生活介護：利用できていない理由】

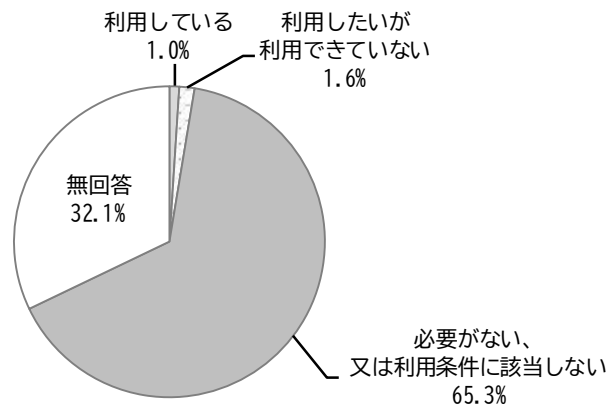
「対応する職員の支援スキルに不安がある」と「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が18.9%と最も多く、次いで「経済的に厳しい」と「運営時間帯が合わない」が16.2%となっている。



## 【② 短期入所：利用状況】

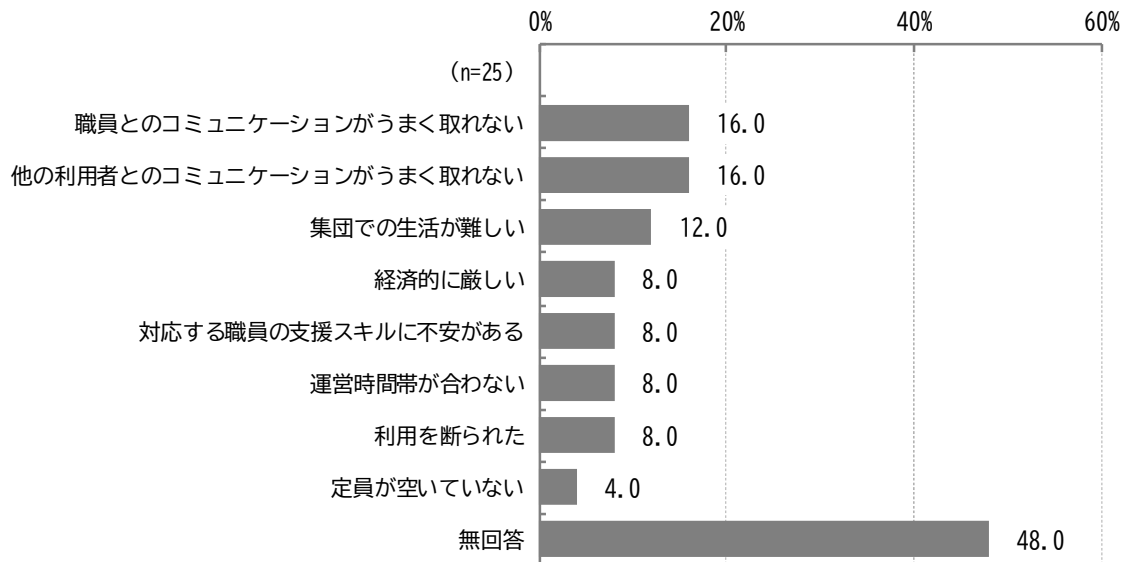
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が65.3%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.6%、「利用している」が1.0%となっている。

(n=1,550)



## 【② 短期入所：利用できていない理由】

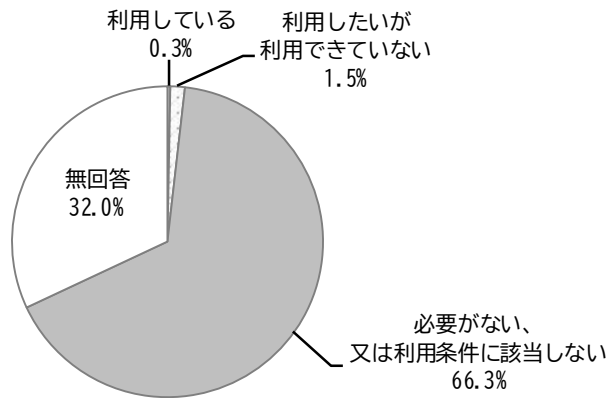
「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」と「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が16.0%と最も多く、次いで「集団での生活が難しい」が12.0%となっている。



### 【③ 共同生活援助（グループホーム）：利用状況】

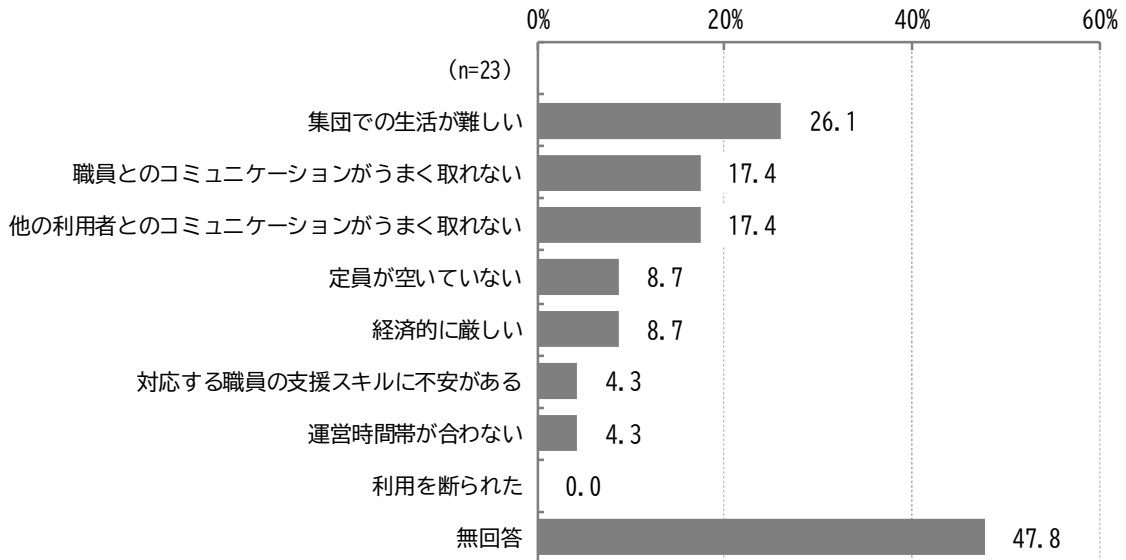
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が66.3%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.5%、「利用している」が0.3%となっている。

(n=1,550)



### 【③ 共同生活援助（グループホーム）：利用できていない理由】

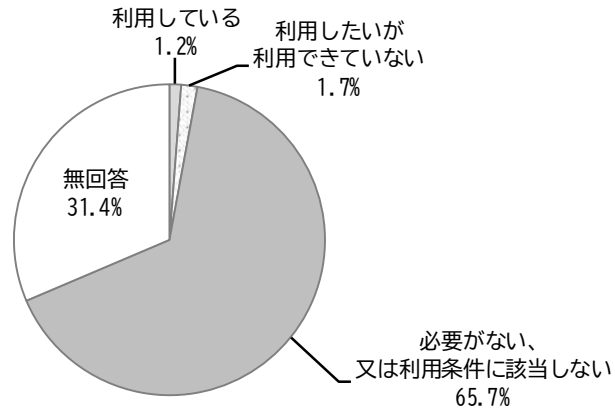
「集団での生活が難しい」が26.1%と最も多く、次いで、「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」と「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が17.4%となっている。



#### 【④ 施設入所支援（入所施設）：利用状況】

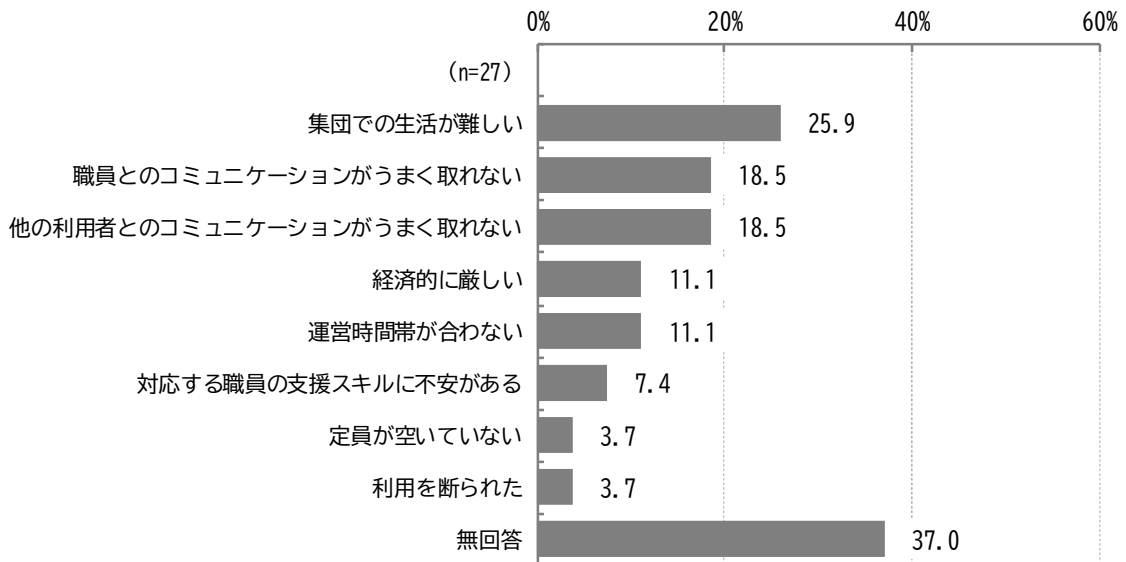
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が65.7%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.7%、「利用している」が1.2%となっている。

(n=1,550)



#### 【④ 施設入所支援（入所施設）：利用できていない理由】

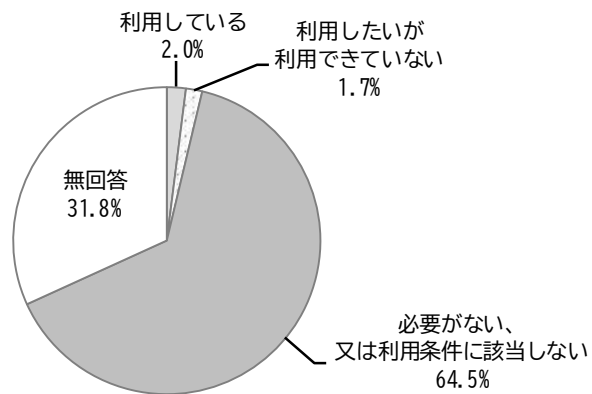
「集団での生活が難しい」が25.9%と最も多く、次いで「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」と「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が18.5%となっている。



### 【⑤ 施設入浴サービス：利用状況】

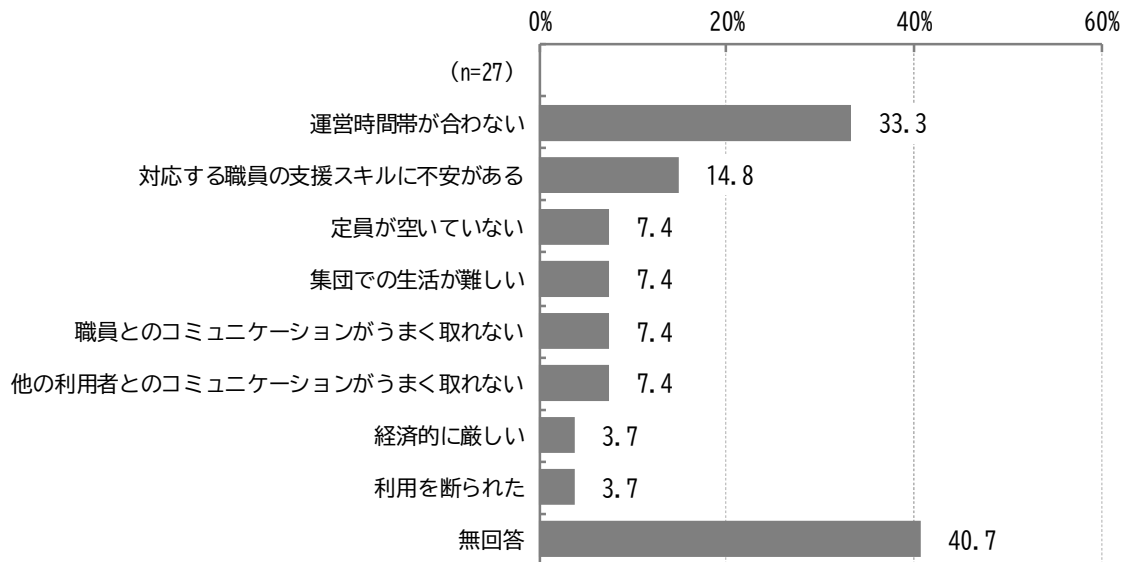
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 64.5%と最も多く、次いで「利用している」が 2.0%、「利用したいが利用できていない」が 1.7%となっている。

(n=1,550)



### 【⑤ 施設入浴サービス：利用できていない理由】

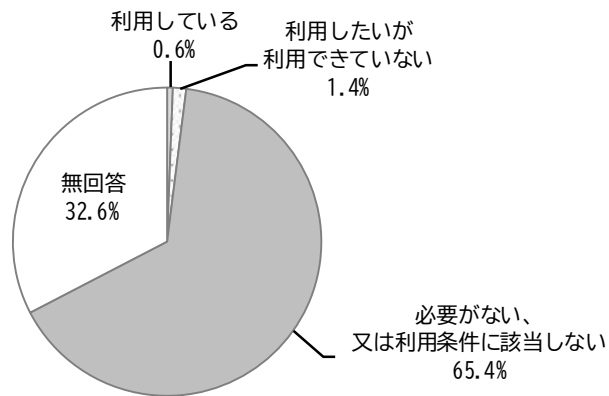
「運営時間帯が合わない」が 33.3%と最も多く、次いで「対応する職員の支援スキルに不安がある」が 14.8%、「定員が空いていない」と「集団での生活が難しい」、「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」、「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が 7.4%となっている。



### 【⑥ 就労移行支援：利用状況】

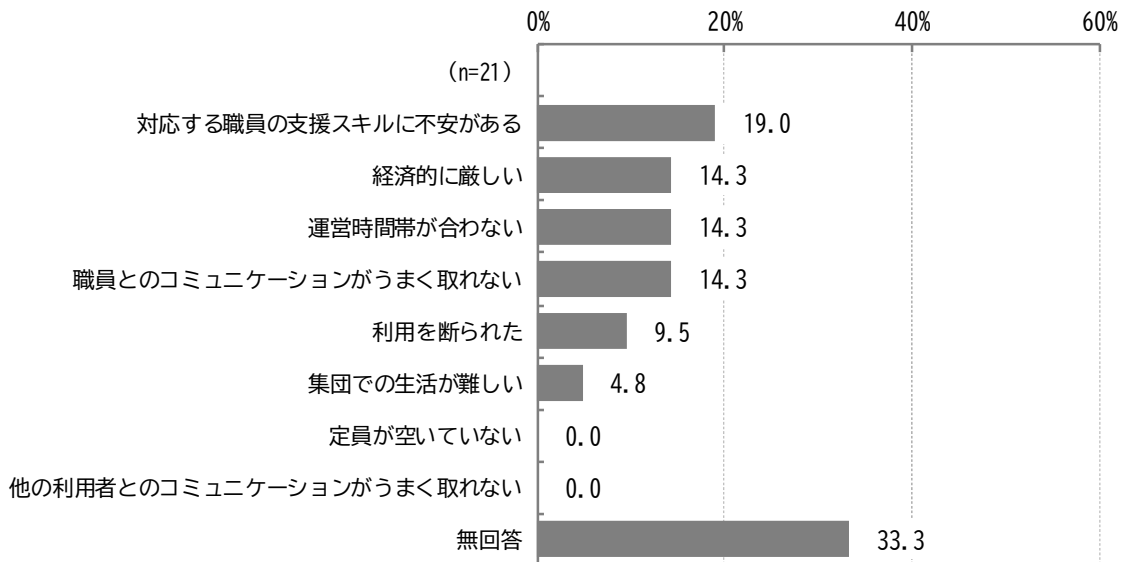
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が65.4%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.4%、「利用している」が0.6%となっている。

(n=1,550)



### 【⑥ 就労移行支援：利用できていない理由】

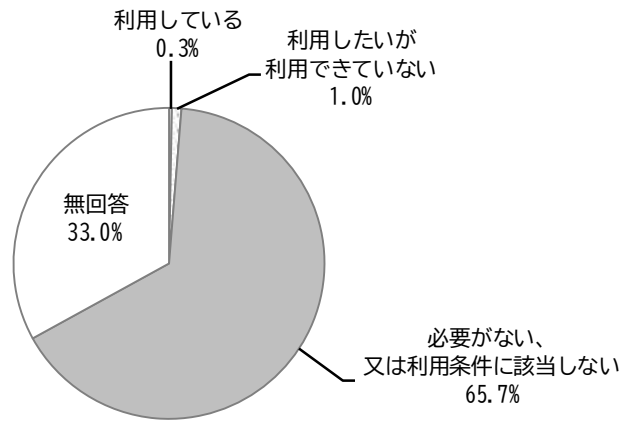
「対応する職員の支援スキルに不安がある」が19.0%と最も多く、次いで「経済的に厳しい」と「運営時間帯が合わない」、「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が14.3%となっている。



### 【⑦ 就労継続支援A型：利用状況】

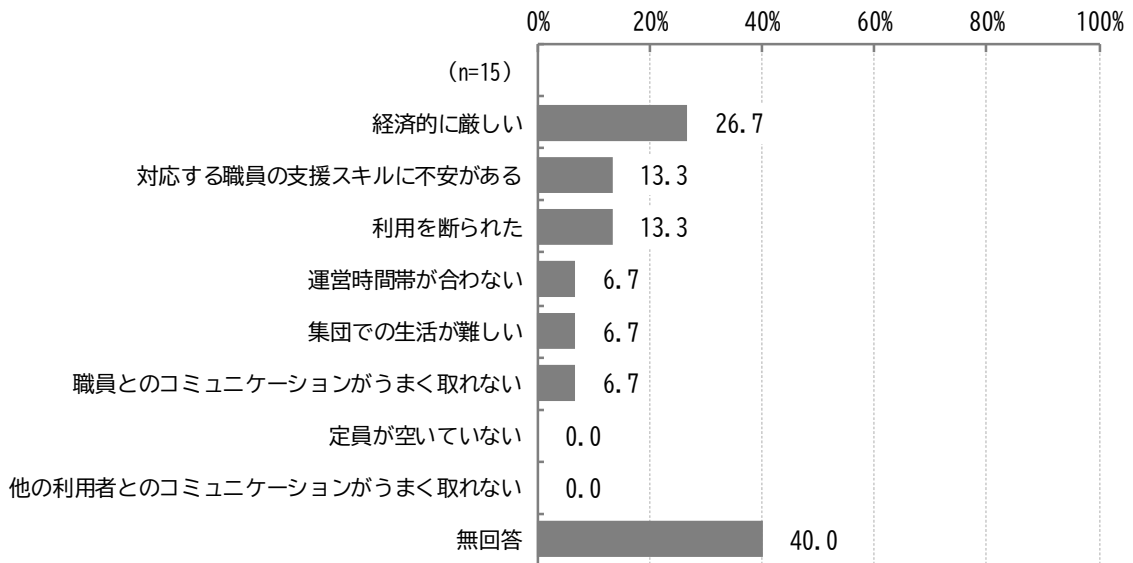
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が65.7%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.0%、「利用している」が0.3%となっている。

(n=1,550)



### 【⑦ 就労継続支援A型：利用できていない理由】

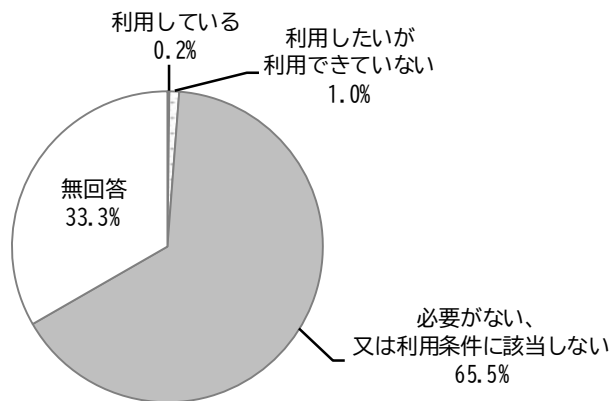
「経済的に厳しい」が26.7%と最も多く、次いで「対応する職員の支援スキルに不安がある」と「利用を断られた」が13.3%となっている。



### 【⑧ 就労継続支援B型：利用状況】

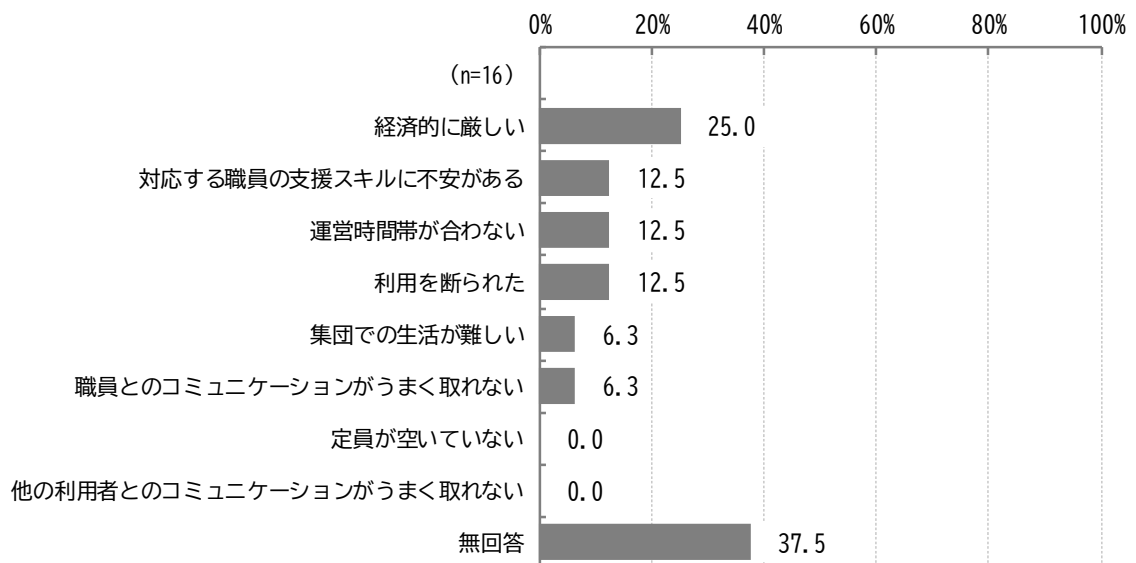
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が65.5%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.0%、「利用している」が0.2%となっている。

(n=1, 550)



### 【⑧ 就労継続支援B型：利用できていない理由】

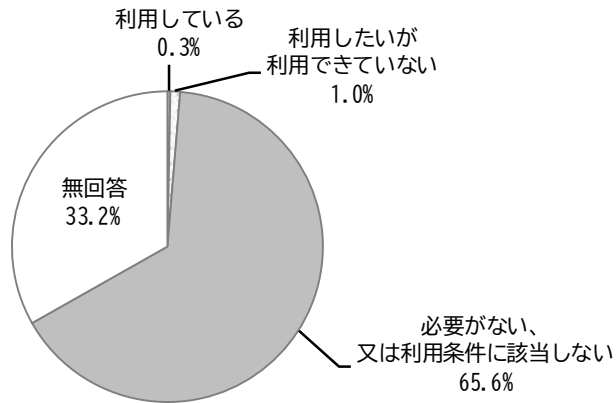
「経済的に厳しい」が25.0%と最も多く、次いで「対応する職員の支援スキルに不安がある」と「運営時間帯が合わない」、「利用を断られた」が12.5%となっている。



### 【⑨ 就労定着支援：利用状況】

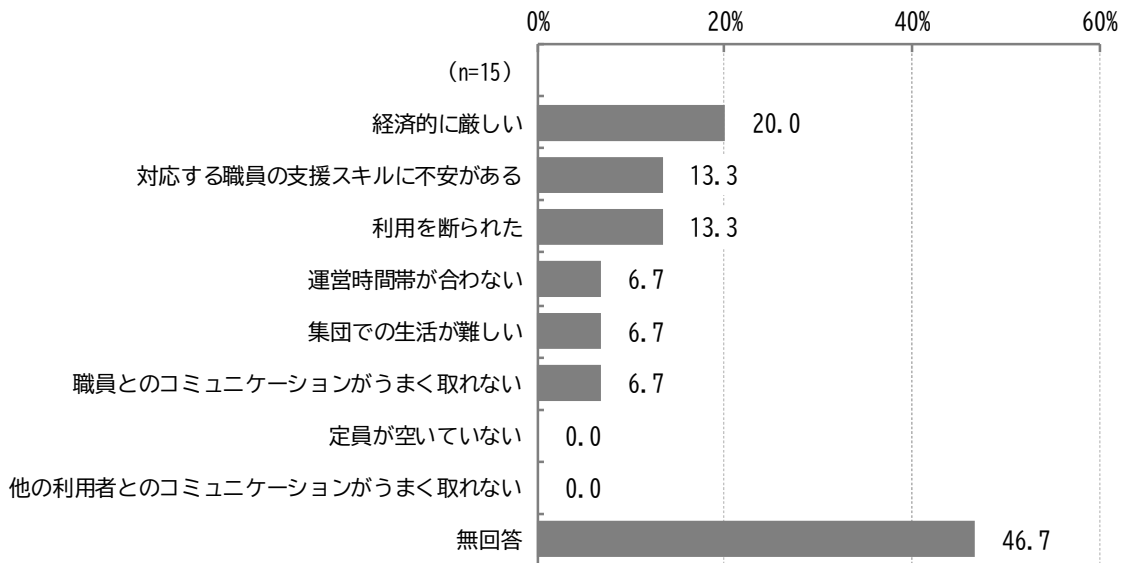
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が65.6%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.0%、「利用している」が0.3%となっている。

(n=1, 550)



### 【⑨ 就労定着支援：利用できていない理由】

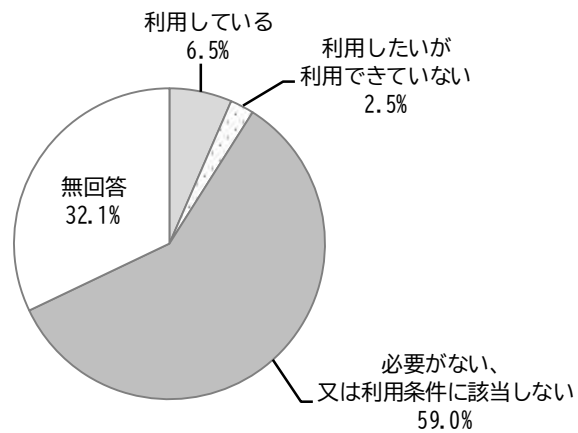
「経済的に厳しい」が20.0%と最も多く、次いで「対応する職員の支援スキルに不安がある」と「利用を断られた」が13.3%となっている。



### 【⑩ 移動支援：利用状況】

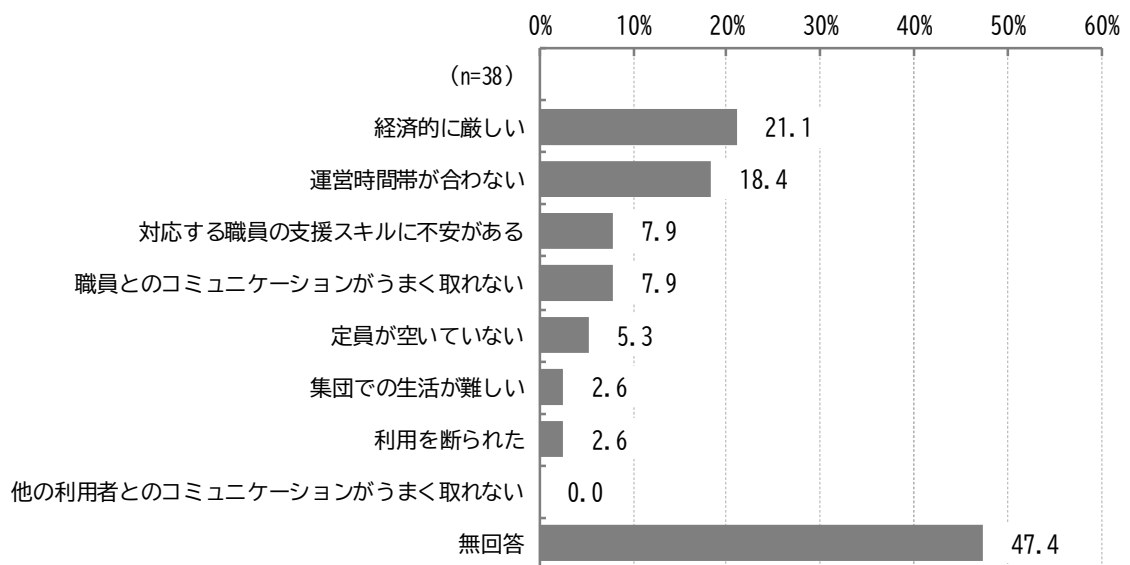
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 59.0%と最も多く、次いで「利用している」が 6.5%、「利用したいが利用できていない」が 2.5%となっている。

(n=1,550)



### 【⑩ 移動支援：利用できていない理由】

「経済的に厳しい」が 21.1%と最も多く、次いで「運営時間帯が合わない」が 18.4%、「対応する職員の支援スキルに不安がある」と「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が 7.9%となっている。

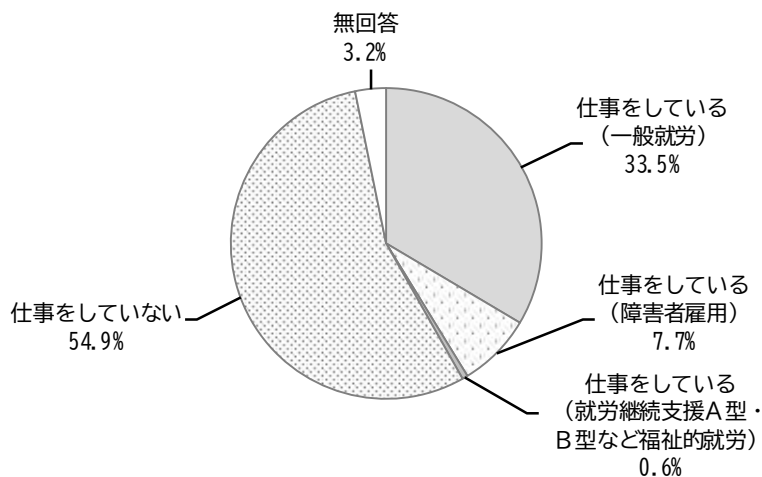


## 6. 就労状況について

問23 あなた（あて名のご本人）は現在、仕事をしていますか。（○は1つ）

「仕事をしていない」が54.9%と最も多く、次いで「仕事をしている（一般就労）」が33.5%、「仕事をしている（障害者雇用）」が7.7%となっている。

(n=1,550)

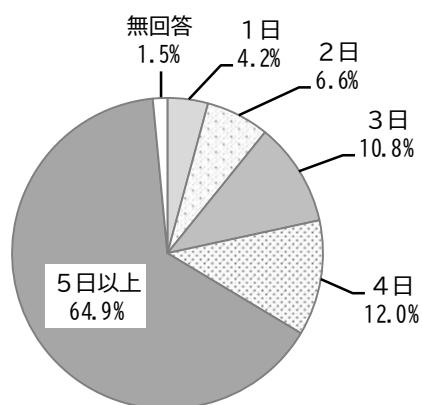


※問24～27は、問23で選択肢「1. 仕事をしている（一般就労）」～「3. 仕事をしている（就労継続支援A型・B型など福祉的就労）」のいずれかを選択した人のみ回答

問24 1週間の就労日数を教えてください。（○は1つ）

「5日以上」が64.9%と最も多く、次いで「4日」が12.0%、「3日」が10.8%となっている。

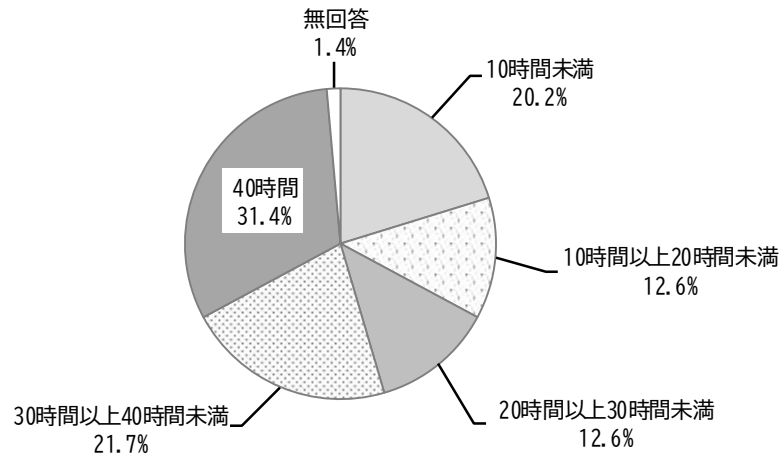
(n=649)



問25 1週間の労働時間を教えてください。休憩時間は除きます。(○は1つ)

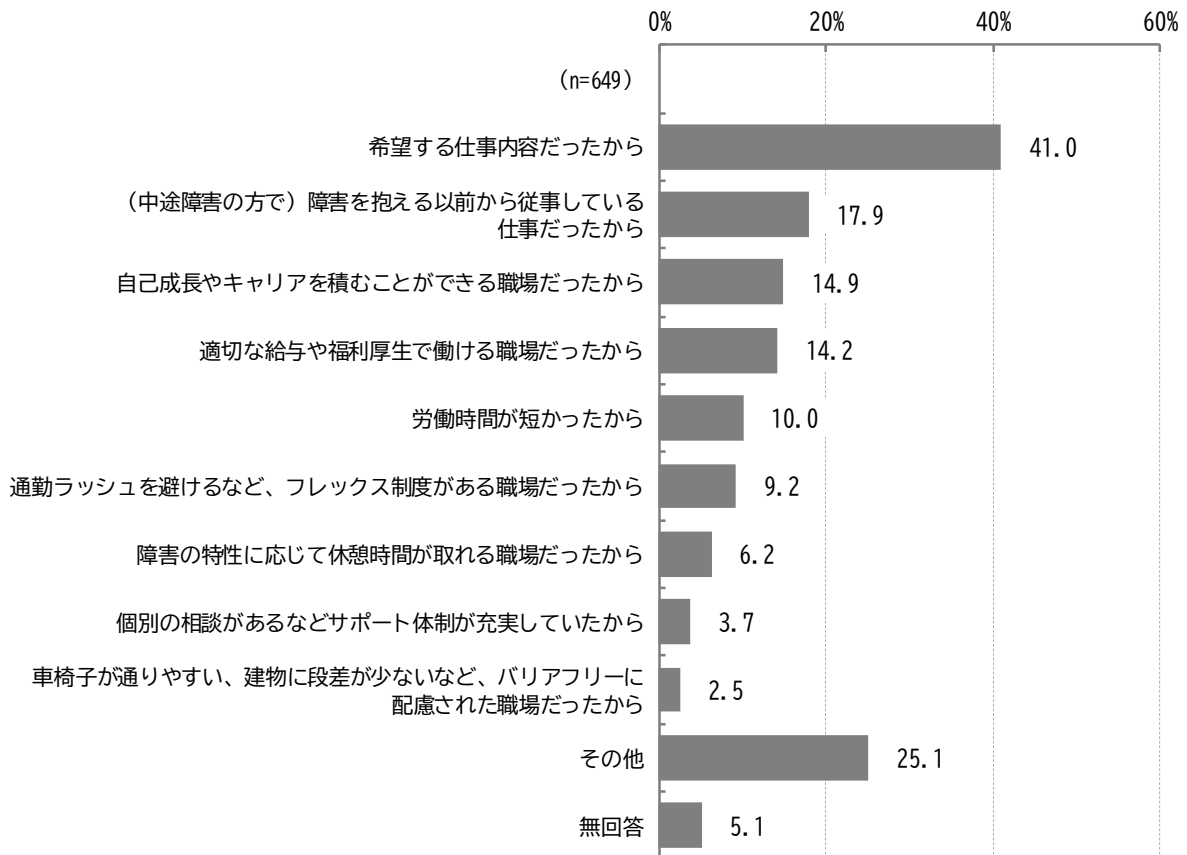
「40時間」が31.4%と最も多く、次いで「30時間以上40時間未満」が21.7%、「10時間未満」が20.2%となっている。

(n=649)



問26 現在の仕事を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「希望する仕事内容だったから」が41.0%と最も多く、次いで「その他」が25.1%、「(中途障害の方で) 障害を抱える以前から従事している仕事だったから」が17.9%となっている。

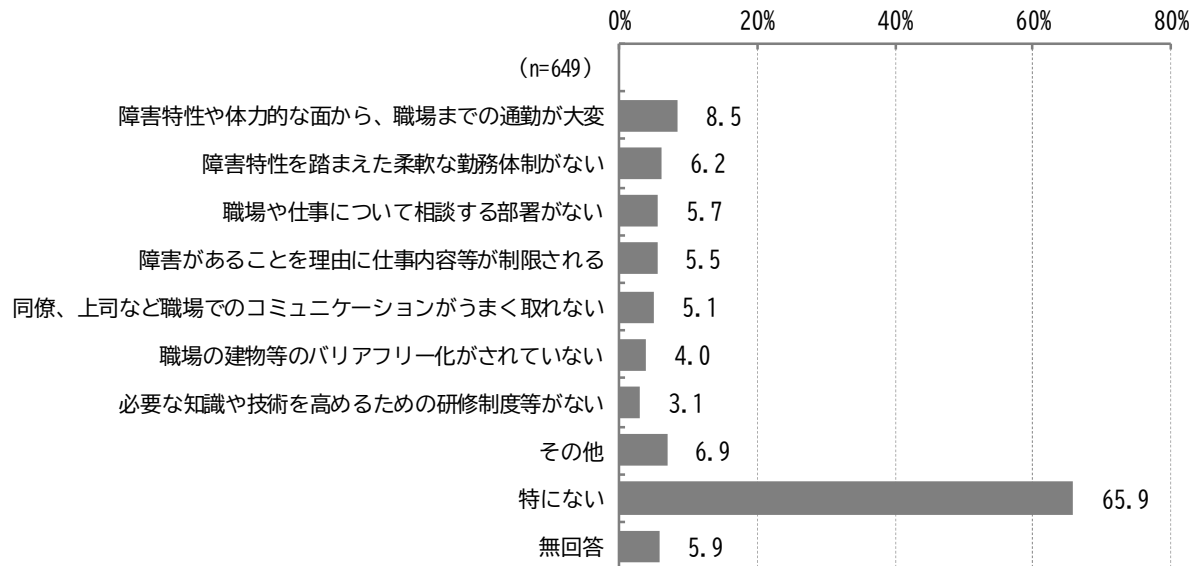


【主なその他の内容】

内容	件数
自営業である	61
知人や事業者からの紹介があったため	13
障害特性に合っている、又は配慮のある職場であったため	11
自宅や通院先から近かったため	8
在宅で勤務できたため	7
その他	42

問27 あなた（あて名のご本人）が仕事上で困っていることを教えてください。  
 （〇はいくつでも）

「特にない」が65.9%と最も多く、次いで「障害特性や体力的な面から、職場までの通勤が大変」が8.5%「その他」が6.9%となっている。



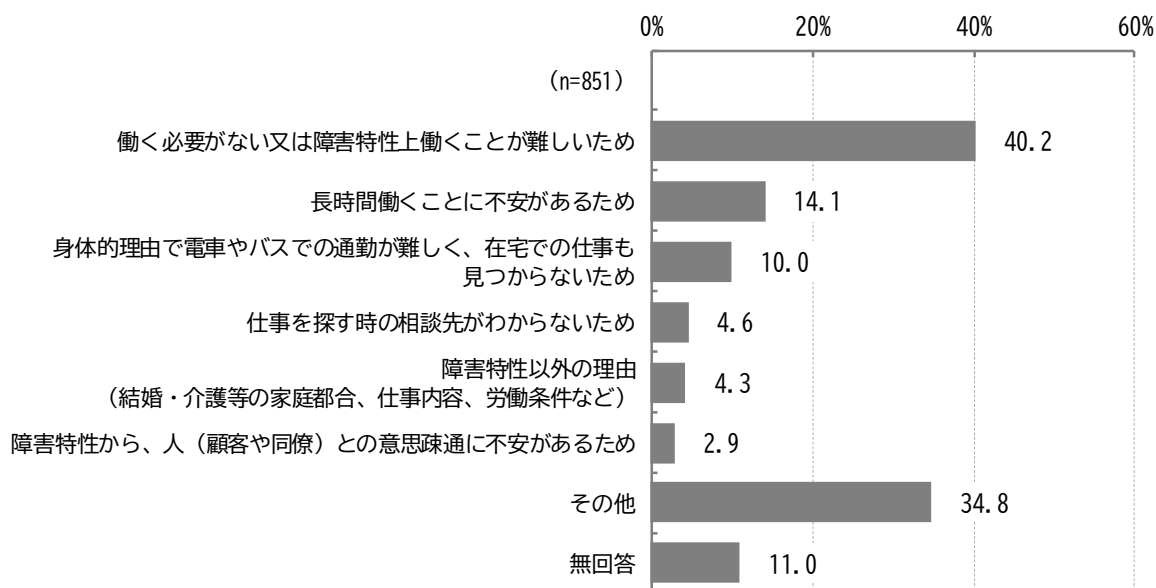
【主なその他の内容】

内容	件数
職場環境に関すること	12
仕事内容に関すること	12
身体的な負担等に関すること	6
通勤・通院に関すること	5
その他	9

※問 28 と問 29 は、問 23 で「仕事をしていない」を選択した人のみ回答

問28 現在、仕事をしていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「働く必要がない又は障害特性上働くことが難しいため」が40.2%と最も多く、次いで「その他」が34.8%、「長時間働くことに不安があるため」が14.1%となっている。

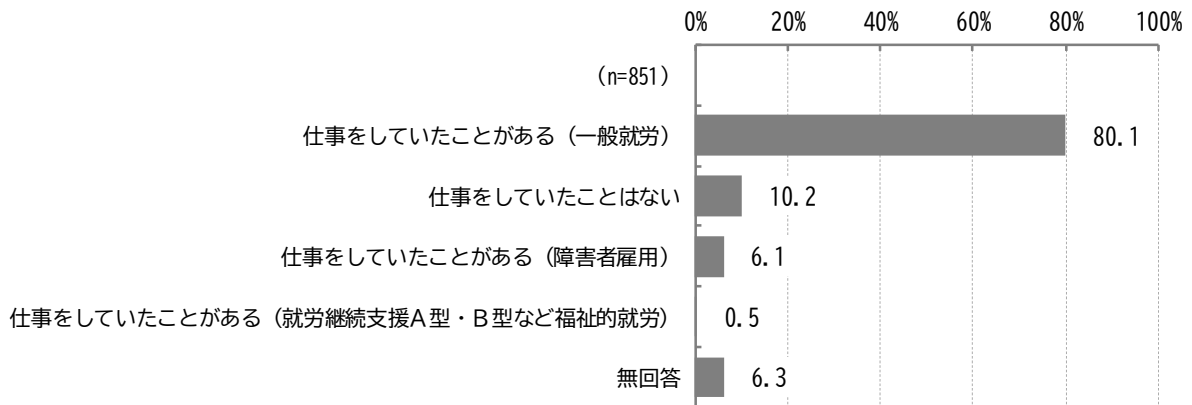


#### 【主なその他の内容】

内容	件数
高齢のため	131
病気やけが等で療養中のため	23
専業主婦(夫)や学生であるため	17
年金や生活保護を受給しているため	12
現在、求職中である	11
子育てや介護のため	7
その他	56

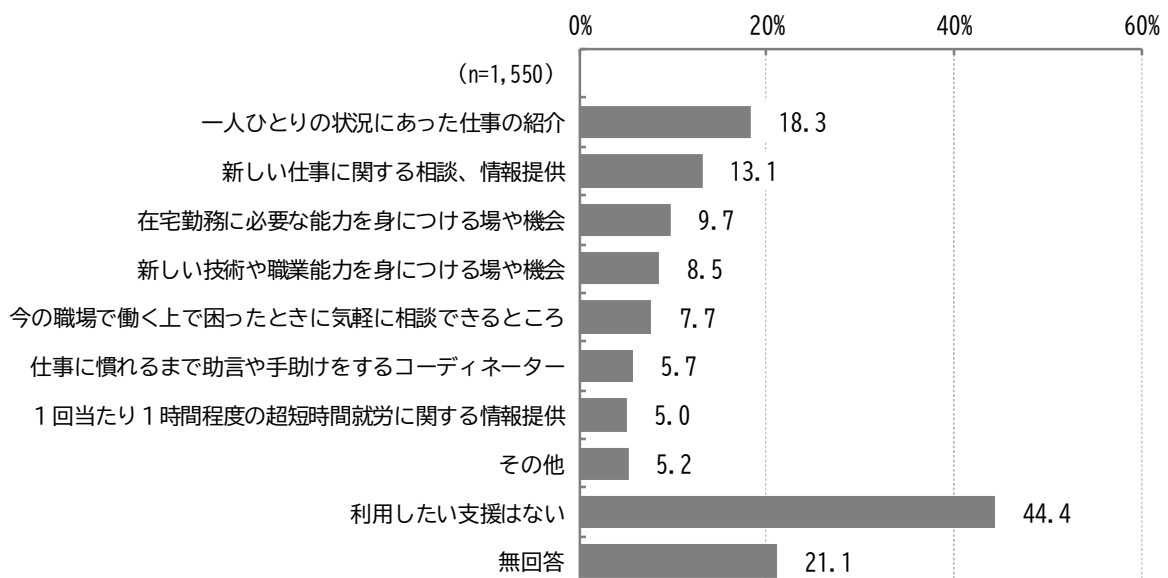
問29 過去に仕事をしていたことがありますか。(○はいくつでも)

「仕事をしていたことがある（一般就労）」が80.1%と最も多く、次いで「仕事をしていたことはない」が10.2%、「仕事をしていたことがある（障害者雇用）」が6.1%となっている。



問30 あなた（あて名のご本人）が新しい仕事に就いたり仕事を継続したりするために、利用したい支援を教えてください。(○はいくつでも)

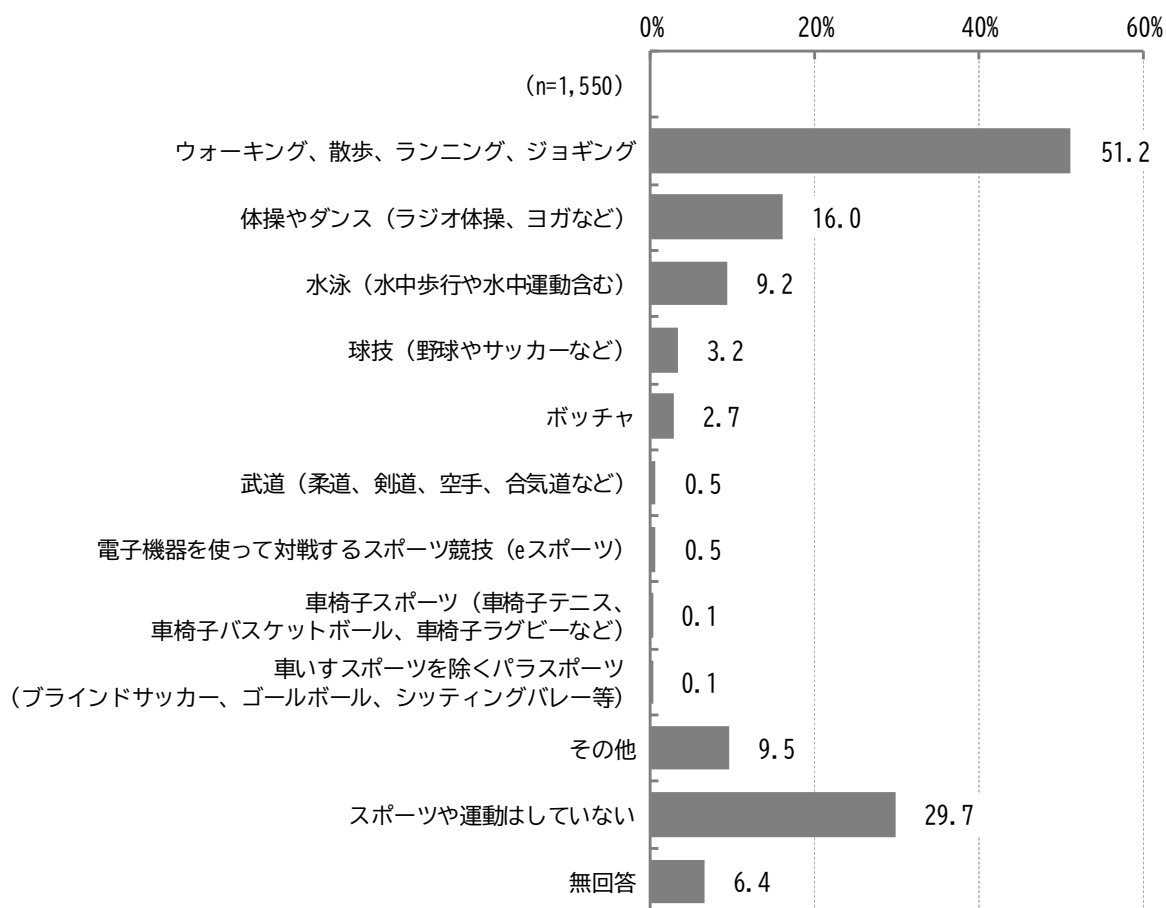
「利用したい支援はない」が44.4%と最も多く、次いで「一人ひとりの状況にあった仕事の紹介」が18.3%、「新しい仕事に関する相談、情報提供」が13.1%となっている。



## 7. 余暇活動・文化芸術活動について

問31 あなた（あて名のご本人）がこの1年間に行ったスポーツや運動はありますか。  
（〇はいくつでも）

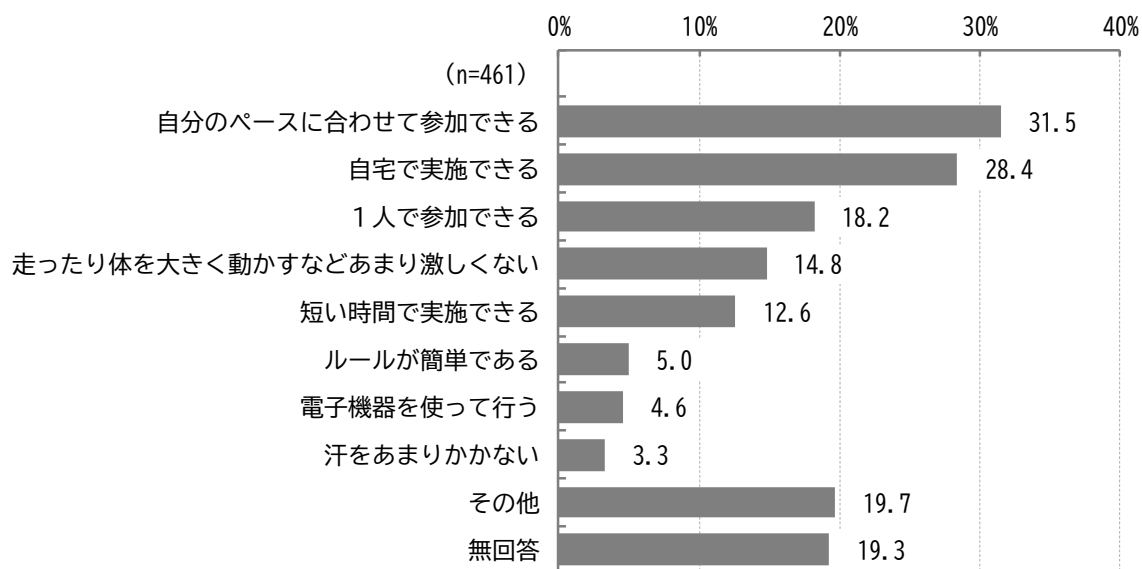
「ウォーキング、散歩、ランニング、ジョギング」が51.2%と最も多く、次いで「スポーツや運動はしていない」が29.7%、「体操やダンス（ラジオ体操、ヨガなど）」が16.0%となっている。



※問 32 は、問 31 で「スポーツや運動はしていない」を選択した人のみ回答

問32 どのようなスポーツや運動に参加したいですか。(〇はいくつでも)

「自分のペースに合わせて参加できる」が 31.5%と最も多く、次いで「自宅で実施できる」が 28.4%、「その他」が 19.7%となっている。

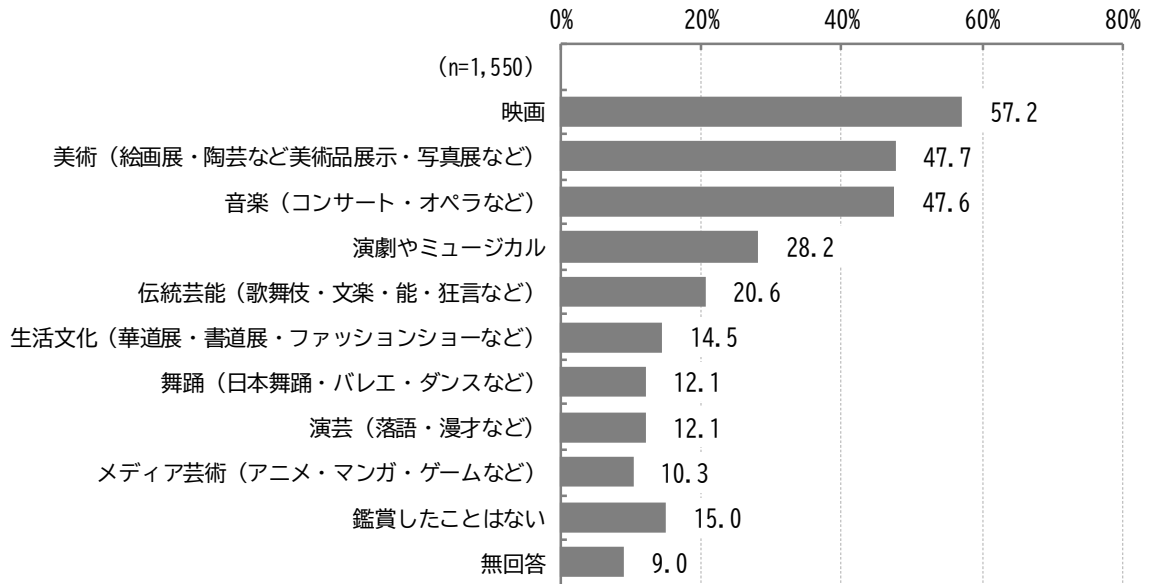


#### 【主なその他の内容】

内容	件数
障害特性等により運動することが難しい	36
運動・スポーツに取り組みたいと思わない	19
プールでの運動・散歩・その他障害があっても取り組めるような運動・スポーツ	7
その他	11

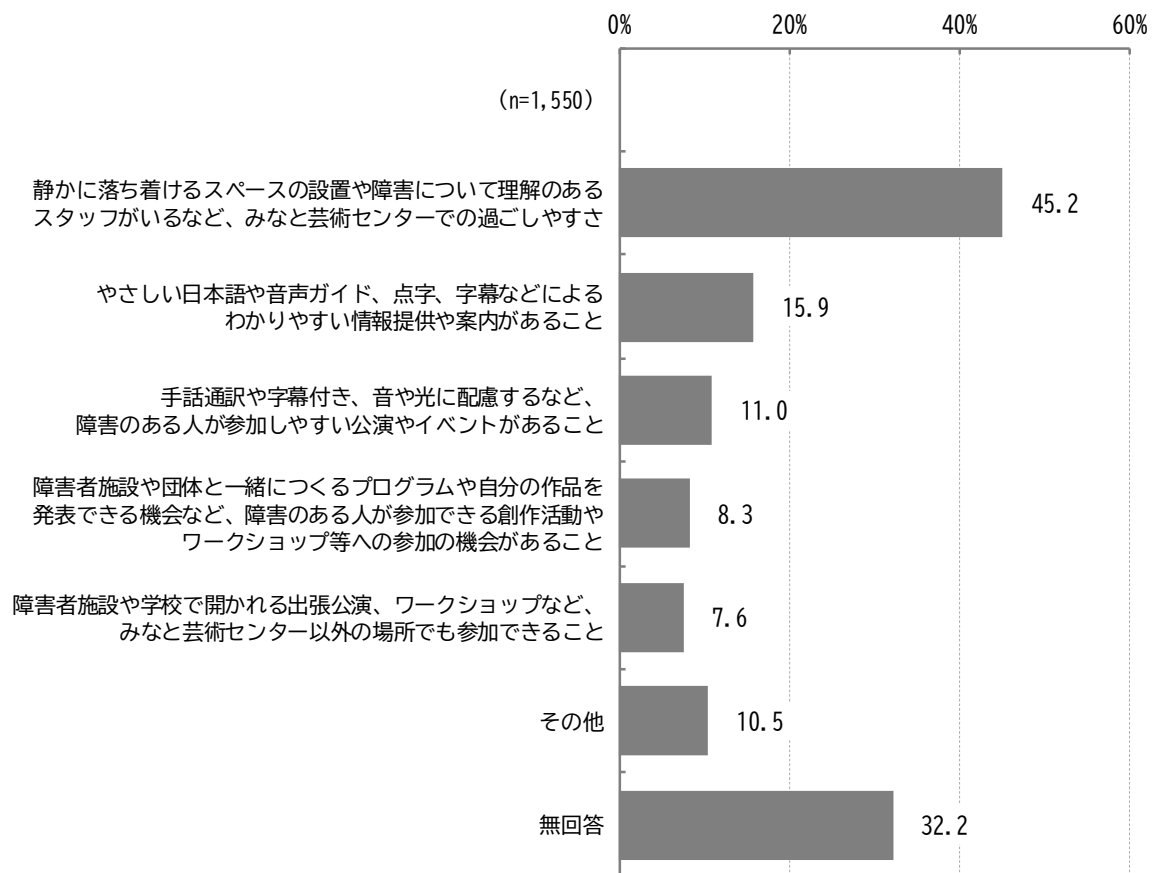
問33 あなた（あて名のご本人）がこれまでに、自宅以外の場所で鑑賞や活動したことがある文化芸術のジャンルを教えてください。（○はいくつでも）

「映画」が57.2%と最も多く、次いで「美術（絵画展・陶芸など美術品展示・写真展など）」が47.7%、「音楽（コンサート・オペラなど）」が47.6%となっている。



問34 港区立みなと芸術センター（令和9年度開館予定）では、障害のある方も安心して利用し、文化芸術を楽しんだり、参加したりできるようにしていきたいと考えています。今後の準備に生かすため、あなた（あて名のご本人）が「このようなことがあれば嬉しい」「ぜひ取り組んでほしい」と思うことを教えてください。（〇はいくつでも）

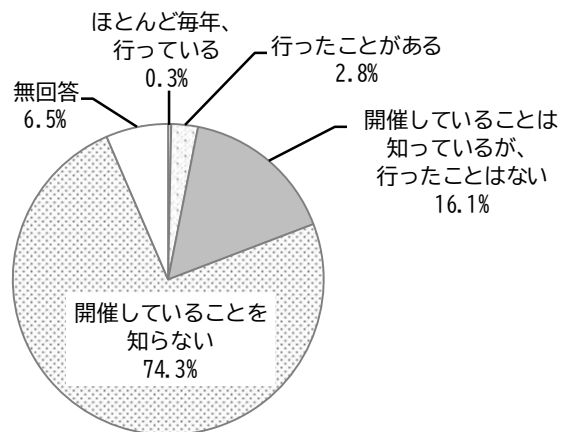
「静かに落ち着けるスペースの設置や障害について理解のあるスタッフがいるなど、みなと芸術センターでの過ごしやすさ」が45.2%と最も多く、次いで「やさしい日本語や音声ガイド、点字、字幕などによるわかりやすい情報提供や案内があること」が15.9%、「手話通訳や字幕付き、音や光に配慮するなど、障害のある人が参加しやすい公演やイベントがあること」が11.0%となっている。



問35 区では、年1回(約1か月間)、区内美術館等において、障害者が制作した絵画等の作品を展示する「地域で共に生きる障害児・障害者アート展」を開催しています。  
このイベントに行ったことはありますか。(○は1つ)

「開催していることを知らない」が74.3%と最も多く、次いで「開催していることは知っているが、行ったことはない」が16.1%、「行ったことがある」が2.8%となっている。

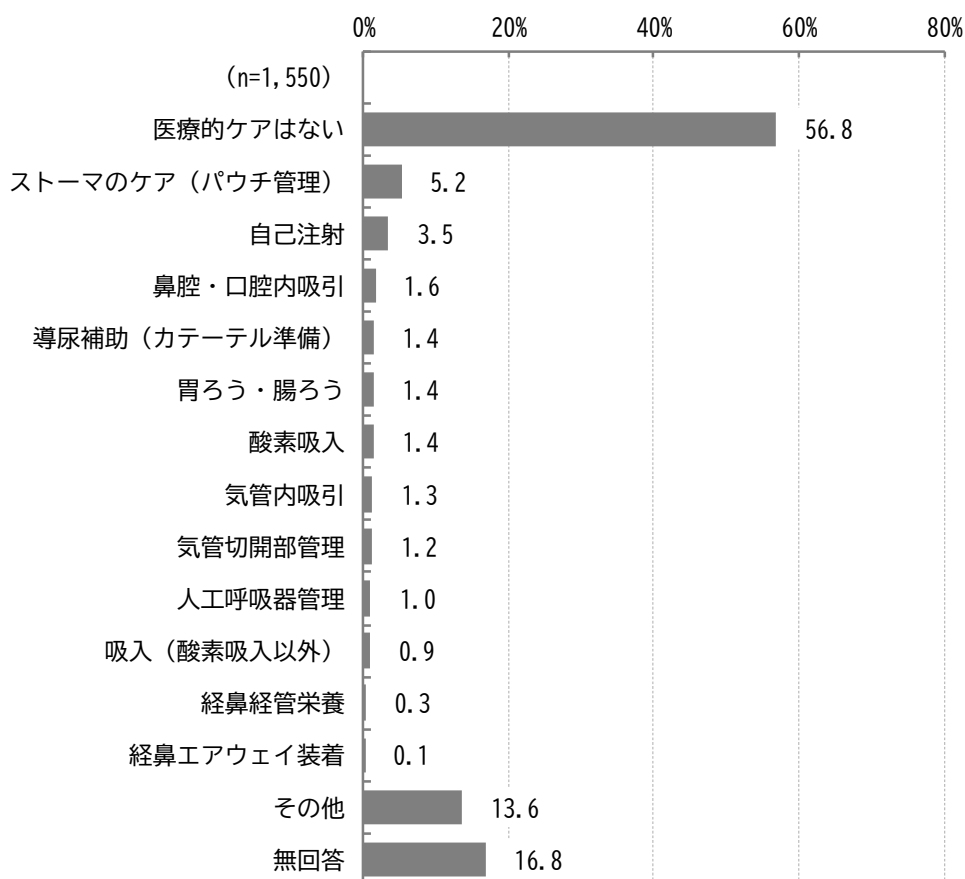
(n=1,550)



## 8. 医療的ケアの状況について

問36 あなた（あて名のご本人）が日常的に必要な医療的ケアを教えてください。  
（〇はいくつでも）

「医療的ケアはない」が56.8%と最も多く、次いで「その他」が13.6%、「ストーマのケア（パウチ管理）」が5.2%となっている。



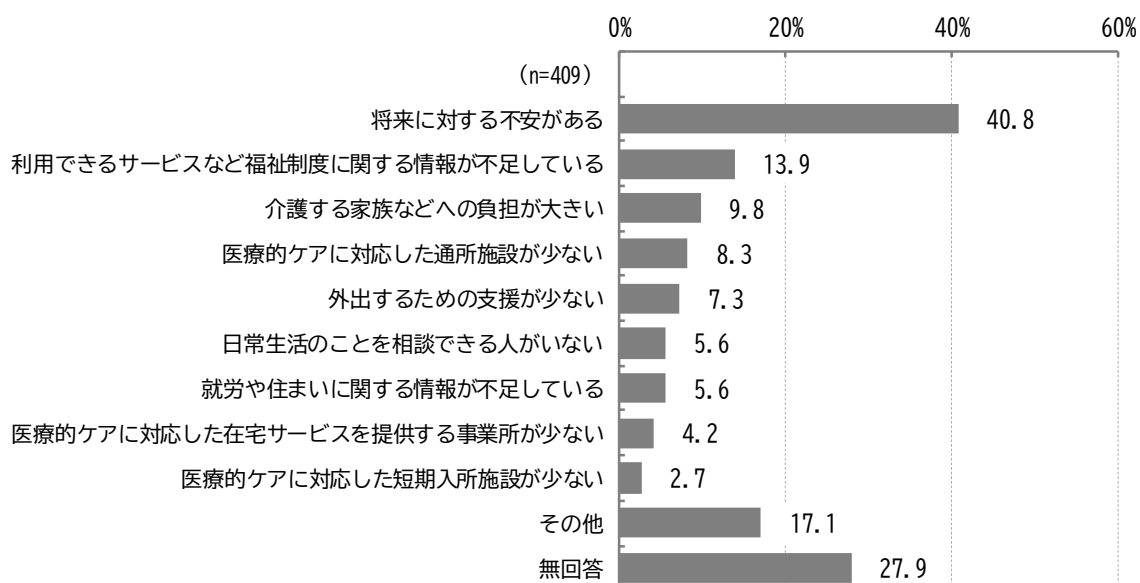
### 【主なその他の内容】

内容	件数
人工透析	47
定期的な通院や検査、リハビリ	34
服薬	28
補聴器等の装具の管理	18
ペースメーカーの管理	10
点滴の管理	4
その他	50

※問 37 は、問 36 で選択肢「2. ストーマのケア（パウチ管理）」～「14. その他」のいずれかを選択した人のみ回答

問37 医療的ケアを受ける中で、日常生活における困りごとを教えてください。  
 (○はいくつでも)

「将来に対する不安がある」が40.8%と最も多く、次いで「その他」が17.1%、「利用できるサービスなど福祉制度に関する情報が不足している」が13.9%となっている。



【主なその他の内容】

内容	件数
特に困っていることはない	15
医療機関や福祉サービス等について	11
費用等の負担について	4
身体的な負担について	2
その他	11

※問 38 は、問 37 で選択肢「1. 医療的ケアに対応した通所施設が少ない」～「9. 将来に対する不安がある」のいずれかを選択した人のみ回答

問38 日常生活における困りごとについて、具体的な内容を教えてください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	将来に対する不安がある	47
2	利用できるサービスなど福祉制度に関する情報が不足している	4
3	介護する家族などへの負担が大きい	12
4	医療的ケアに対応した通所施設が少ない	9
5	外出するための支援が少ない	28
6	日常生活のことを相談できる人がいない	2
7	就労や住まいに関する情報が不足している	16
8	医療的ケアに対応した在宅サービスを提供する事業所が少ない	13
9	医療的ケアに対応した短期入所施設が少ない	2
10	その他	17

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

#### 〔1 将来に対する不安がある〕

- 夫が留守の時の非常事態や災害時の対応が心配、不安。
- 今は特に問題はないが、将来子がないことや、兄弟が離れて暮らしているため、いざというときの漠然とした不安が少しあります。

#### 〔2 利用できるサービスなど福祉制度に関する情報が不足している〕

- 情報が全般的に少ない。
- パートナー（妻）の不在時（出張）の食事やストーマ装置の交換等、突発的な事柄に対する情報が無い。

### 〔3 介護する家族などへの負担が大きい〕

- 気管切開部外れた時、家族・医者のみで看護師対応できない状況・制度。何かにつけて家族と言われるのはつらい！負担が大きい。
- 病気により家事や買い物に支障がありますが、健常者の配偶者がいる場合はヘルパーさんなどの支援は受けられないと聞いています。しかし、配偶者が多忙で家事を行えないので、結局のところ外注するしかないのかと思っています。ただし、費用も高額で負担が大きいので継続利用は困難です。

### 〔4 医療的ケアに対応した通所施設が少ない〕

- 通院の為の時間制限や透析治療に関する健常者の理解の少なさ。
- 突発的に医療機関に飛び込むことがある時、悩む・困る。

### 〔5 外出するための支援が少ない〕

- 移動手助が車に限定されてしまうので、タクシー券がもう少しあれば助かります。

### 〔6 日常生活のことを相談できる人がいない〕

- 生活上不安な面。(例 自宅での高血圧等での不安をどこへ連絡?)
- 実際どこに相談して良いか分からない。出かけるとき、付き添いしてくれる家族が病気になったときなどの急な時。

### 〔7 就労や住まいに関する情報が不足している〕

- 住まいに関しては、段差が多いので不安があります。
- 出来る仕事が見つかりにくい、また働けるか不安。

### 〔8 医療的ケアに対応した在宅サービスを提供する事業所が少ない〕

- 殆ど情報が無いので、ストーマのケア等相談する所がなく、結局病院を頼らざるを得ない。
- 介助してくれる人の不足、介助者の病気に対する理解、知識不足、過度なリスク管理体制。

### 〔9 医療的ケアに対応した短期入所施設が少ない〕

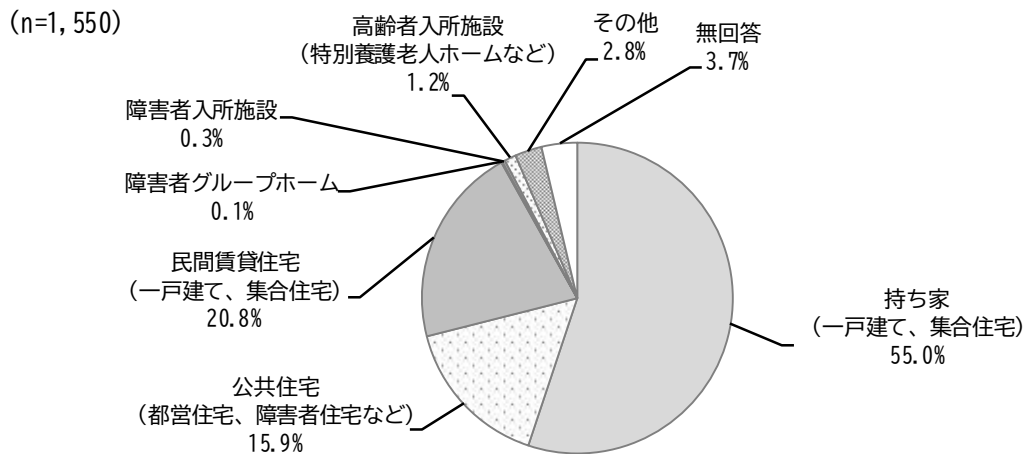
- 短期入所施設が自宅から近い所に少ない。医療的ケアの対応等で本人を知っている看護師の方でないと不安がある。
- 短期入所を経験しておいたほうが良いとよく言われますが、医療的ケアができる施設は少なく、重度身体障害と医療的ケアの両方において安心できる施設は皆無に等しいです。自宅において、気管内吸引をヘルパーさんをお願いしていますが、まだまだ医療的ケアの壁は高いと感じる事業所さんが多いように思います。今は母が摘便してくれていますが、摘便は看護師さんしかできないとのこと、いつもよおすかも分からないのに、日常を支援してくれるヘルパーさんがで

きないのは不安です。

## 9. 居住の場について

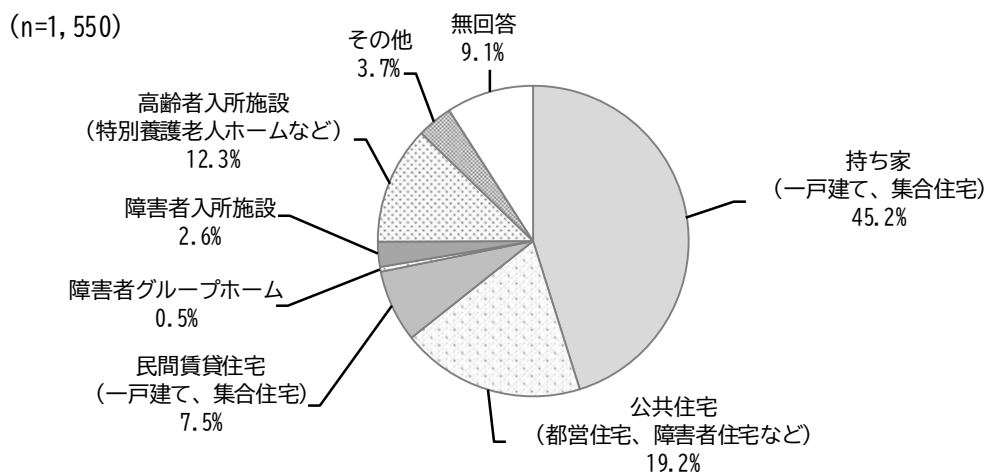
問39 あなた（あて名のご本人）が現在、どのような場所に住んでいるか教えてください。（○は1つ）

「持ち家（一戸建て、集合住宅）」が55.0%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅（一戸建て、集合住宅）」が20.8%、「公共住宅（都営住宅、障害者住宅など）」が15.9%となっている。



問40 あなた（あて名のご本人）が将来的に、希望する居住の場を教えてください。（○は1つ）

「持ち家（一戸建て、集合住宅）」が45.2%と最も多く、次いで「公共住宅（都営住宅、障害者住宅など）」が19.2%、「高齢者入所施設（特別養護老人ホームなど）」が12.3%となっている。

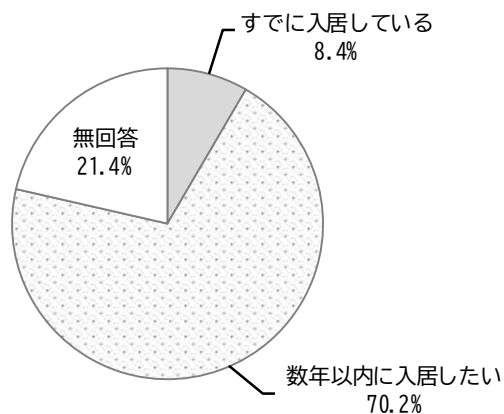


※問 41 は、問 40 で「4. 障害者グループホーム」～「6. 高齢者入所施設（特別養護老人ホームなど）」のいずれかを選択した人のみ回答

問41 入居を希望する時期はいつですか。(○は1つ)

「すでに入居している」が8.4%、「数年以内に入居したい」が70.2%となっている。

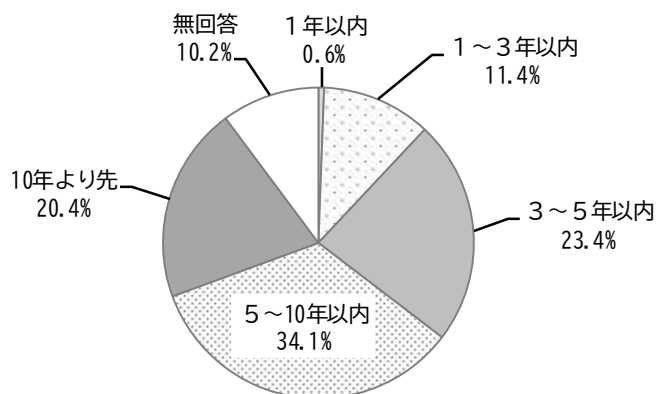
(n=238)



#### 【何年以内に入居したいか】

「5～10年以内」が34.1%と最も多く、次いで「3～5年以内」が23.4%、「10年より先」が20.4%となっている。

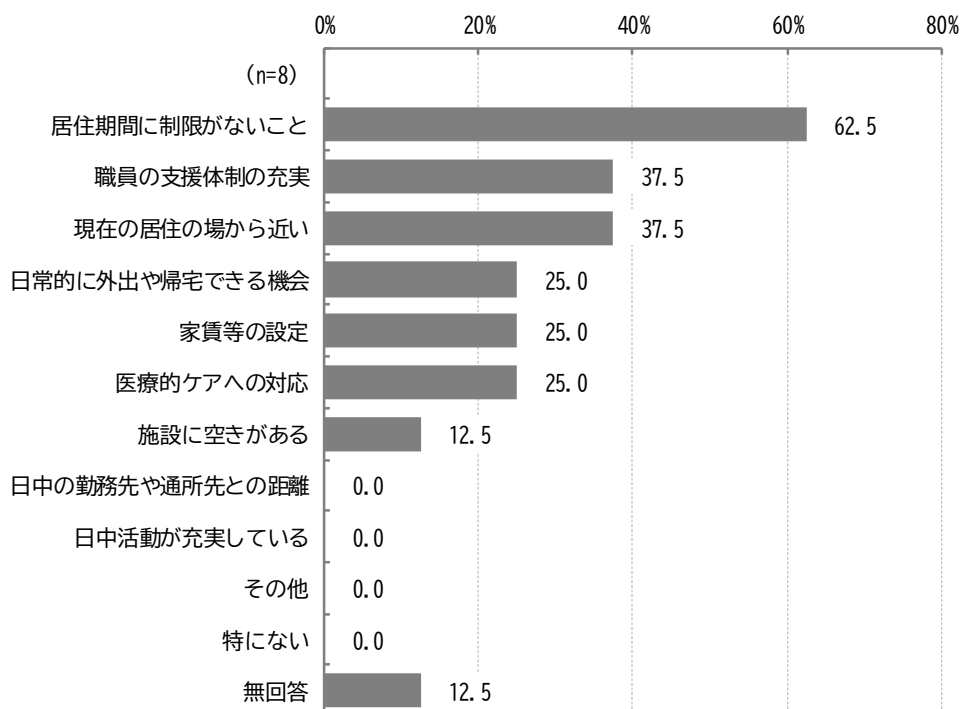
(n=167)



※問 42 は、問 40 で「障害者グループホーム」を選択した人のみ回答

問42 グループホームに居住する（居住を継続する）場合、どのような点を希望又は重視しますか。（○は3つまで）

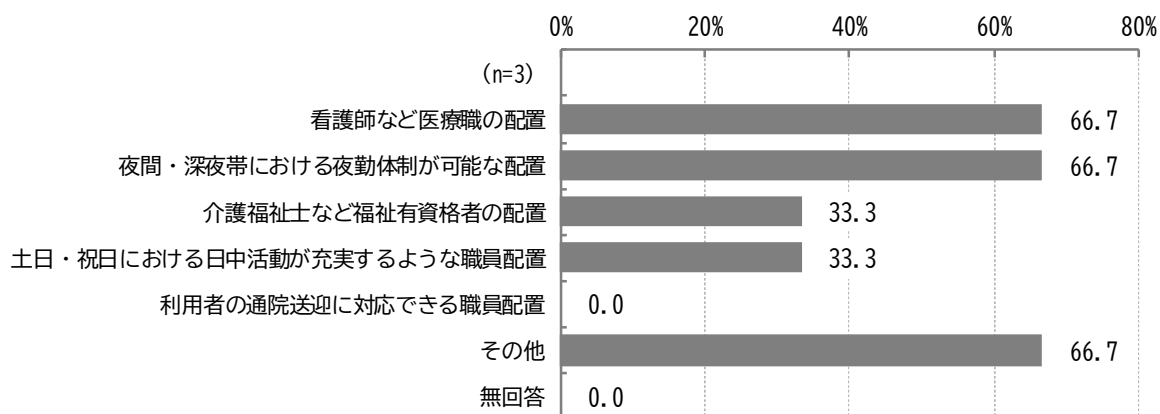
「居住期間に制限がないこと」が62.5%と最も多く、次いで「職員の支援体制の充実」と「現在の居住の場から近い」が37.5%となっている。



※問 43 は、問 42 で「職員の支援体制の充実」を選択した人のみ回答

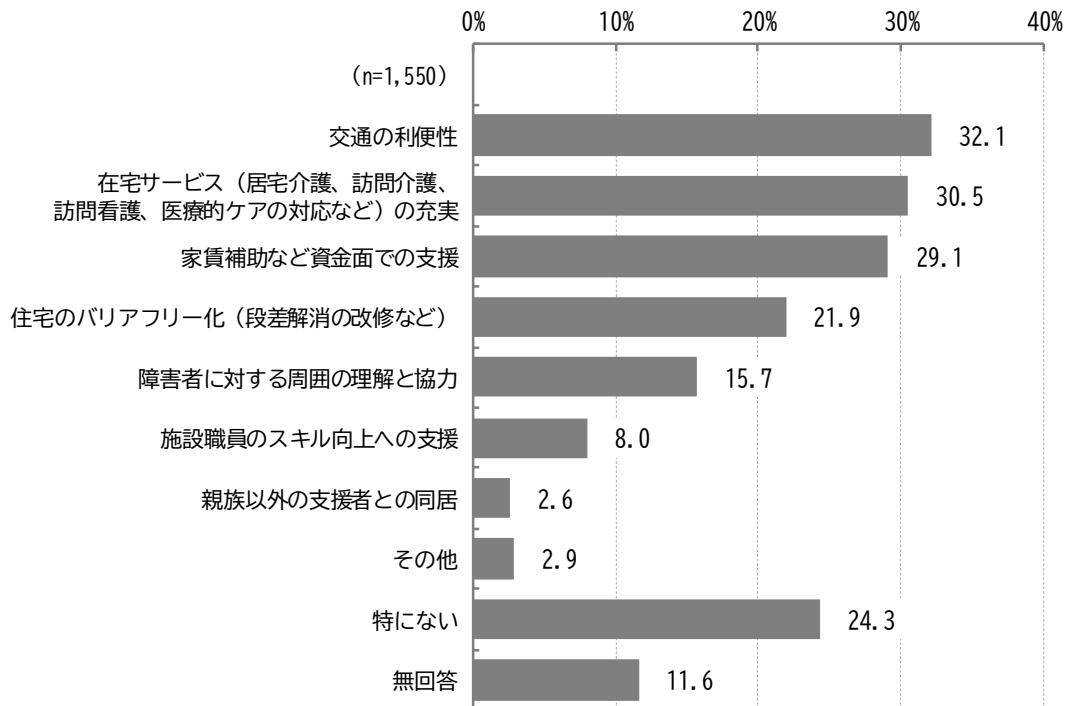
問43 希望する「職員の支援体制の充実」の具体的な内容を教えてください。（○はいくつでも）

「看護師など医療職の配置」と「夜間・深夜帯における夜勤体制が可能な配置」と「その他」が66.7%と最も多くなっている。



問44 あなた（あて名のご本人）が希望する居住の場において必要な支援や条件を教えてください。（〇はいくつでも）

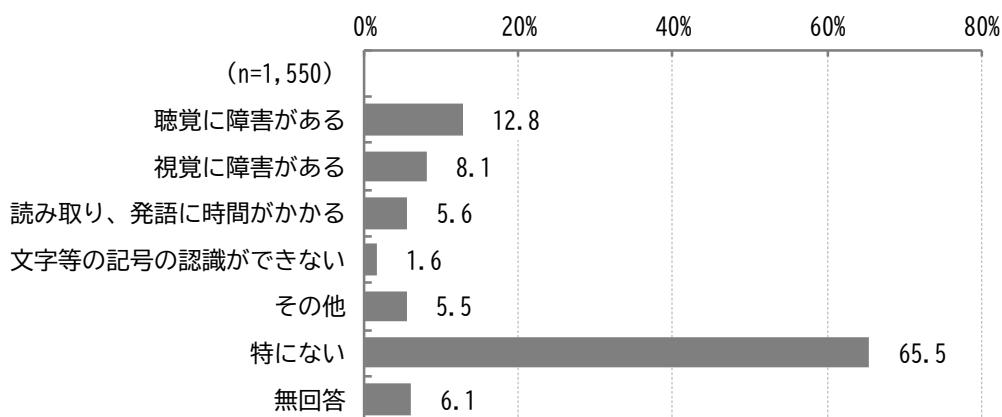
「交通の利便性」が32.1%と最も多く、次いで「在宅サービス（居宅介護、訪問介護、訪問看護、医療的ケアの対応など）の充実」が30.5%、「家賃補助など資金面での支援」が29.1%となっている。



## 10. コミュニケーション手段の確保について

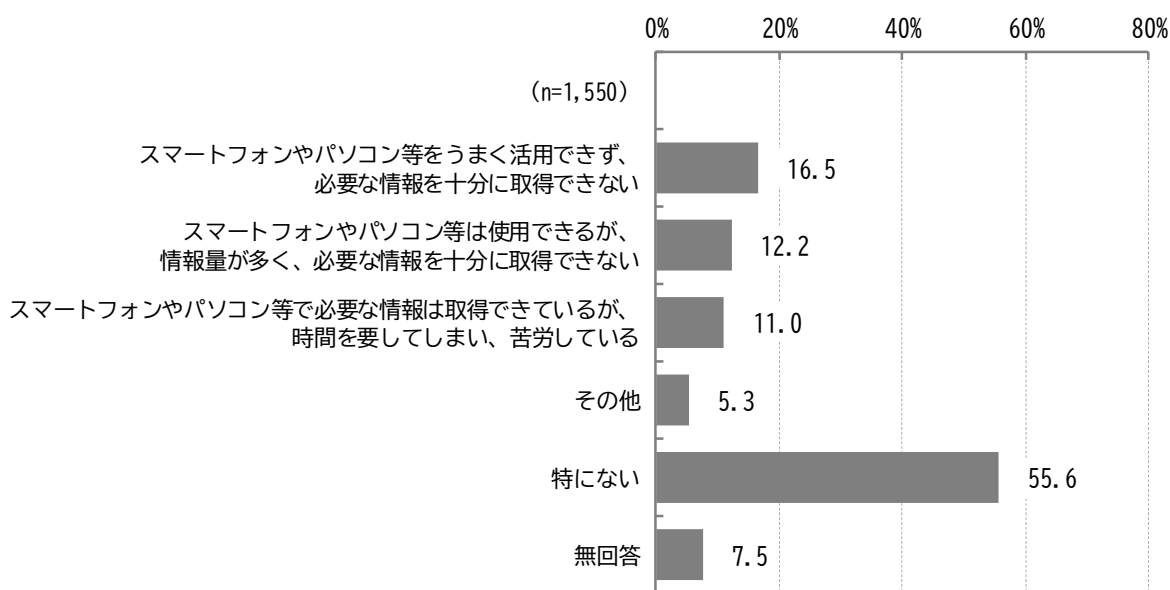
問45 あなた（あて名のご本人）が他者とコミュニケーションをとるに当たり、支障となる障害を教えてください。（○はいくつでも）

「特にない」が65.5%と最も多く、次いで「聴覚に障害がある」が12.8%、「視覚に障害がある」が8.1%となっている。



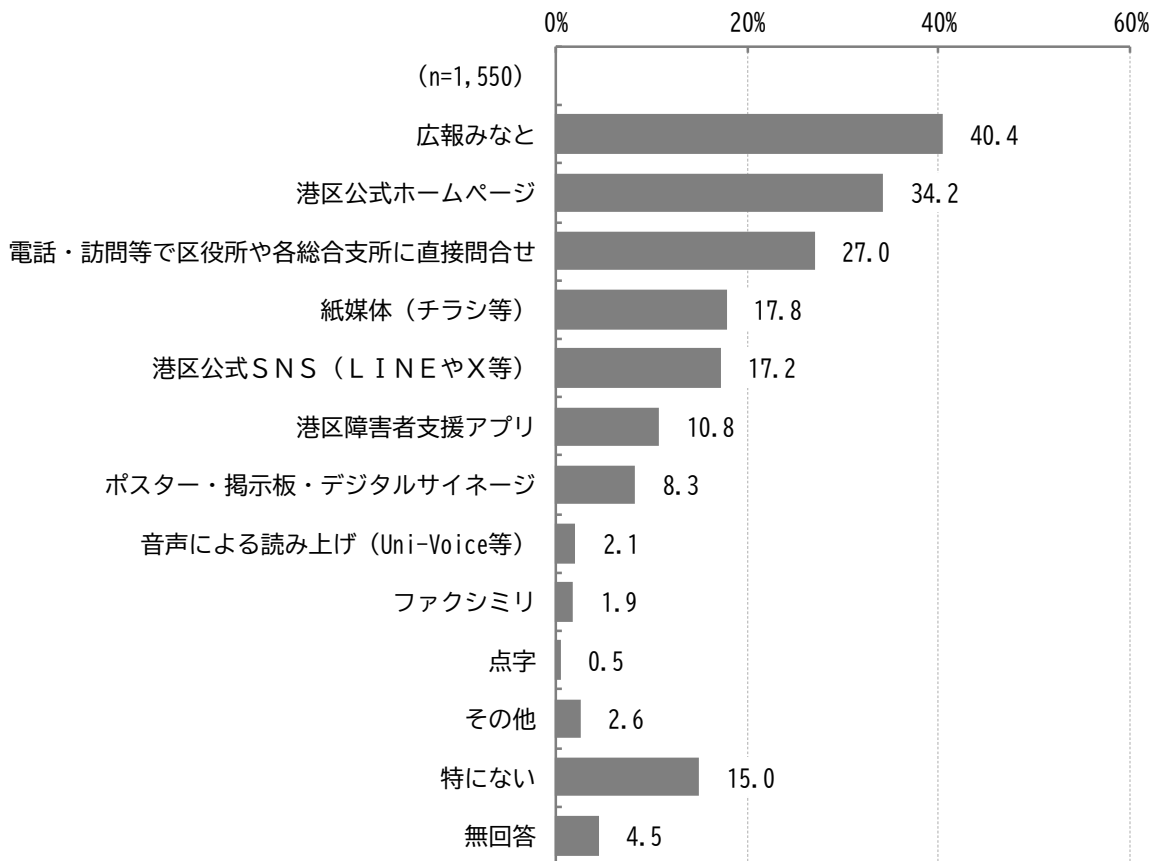
問46 あなた（あて名のご本人）が区から必要な情報を取得する際に困った経験があれば教えてください。（○はいくつでも）

「特にない」が55.6%と最も多く、次いで「スマートフォンやパソコン等をうまく活用できず、必要な情報を十分に取得できない」が16.5%、「スマートフォンやパソコン等は使用できるが、情報量が多く、必要な情報を十分に取得できない」が12.2%となっている。



問47 あなた（あて名のご本人）が区の発信する情報やお知らせを受け取るために、希望する媒体・手段を教えてください。（〇はいくつでも）

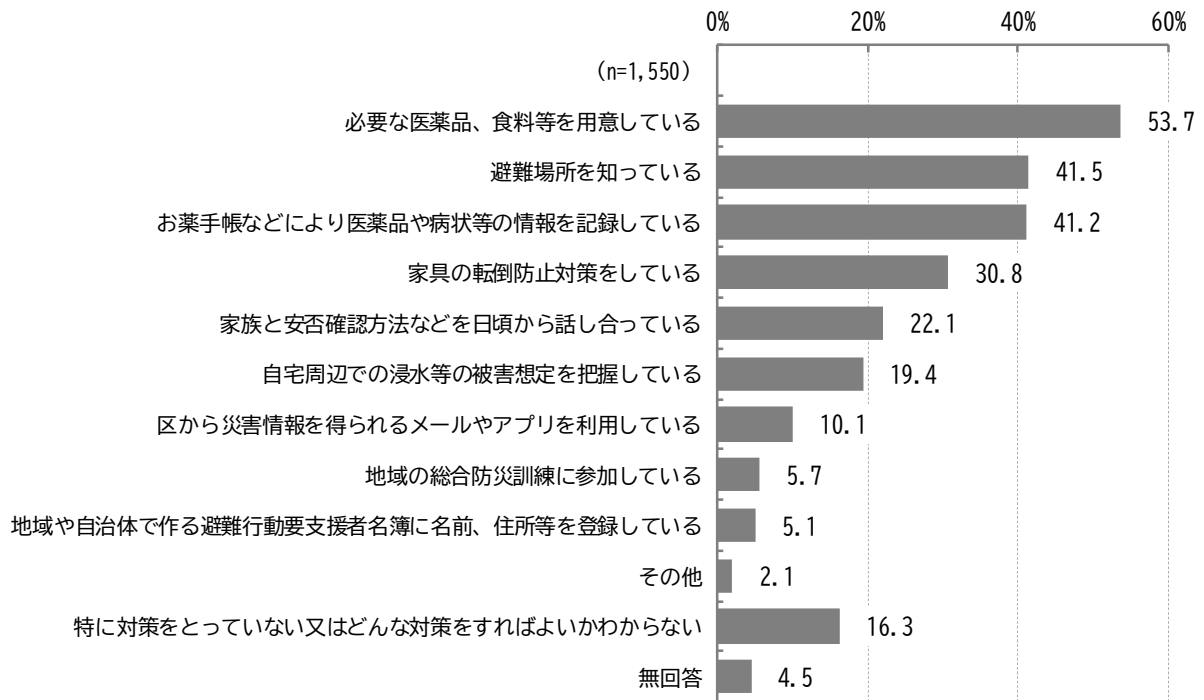
「広報みなと」が40.4%と最も多く、次いで「港区公式ホームページ」が34.2%、「電話・訪問等で区役所や各総合支所に直接問合せ」が27.0%となっている。



## 11. 災害に対する備えと災害時の行動について

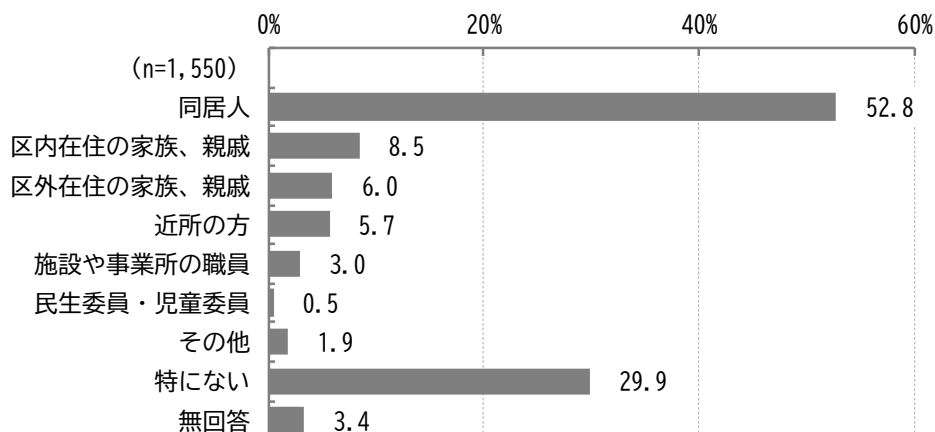
問48 災害が発生したときは、ご自宅での在宅避難が基本となりますが、あなた（あて名のご本人）は日頃から災害に備えて特別な対策を取っていますか。（○はいくつでも）

「必要な医薬品、食料等を用意している」が53.7%と最も多く、次いで「避難場所を知っている」が41.5%、「お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している」が41.2%となっている。



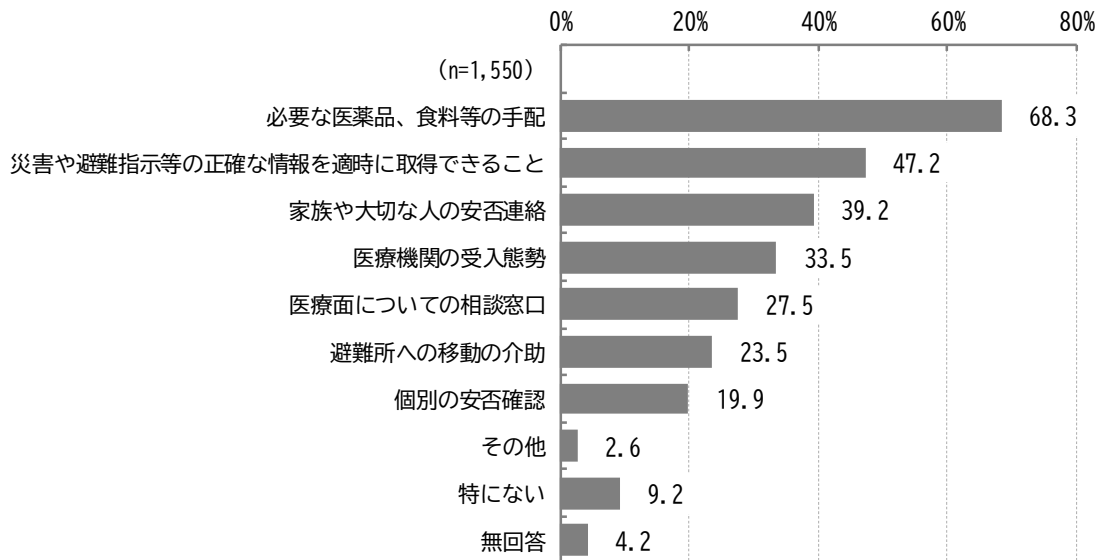
問49 あなた（あて名のご本人）には災害が発生したときに安全な場所への避難を支援してくれる支援者はいますか。（○はいくつでも）

「同居人」が52.8%と最も多く、次いで「特にない」が29.9%、「区内在住の家族、親戚」が8.5%となっている。



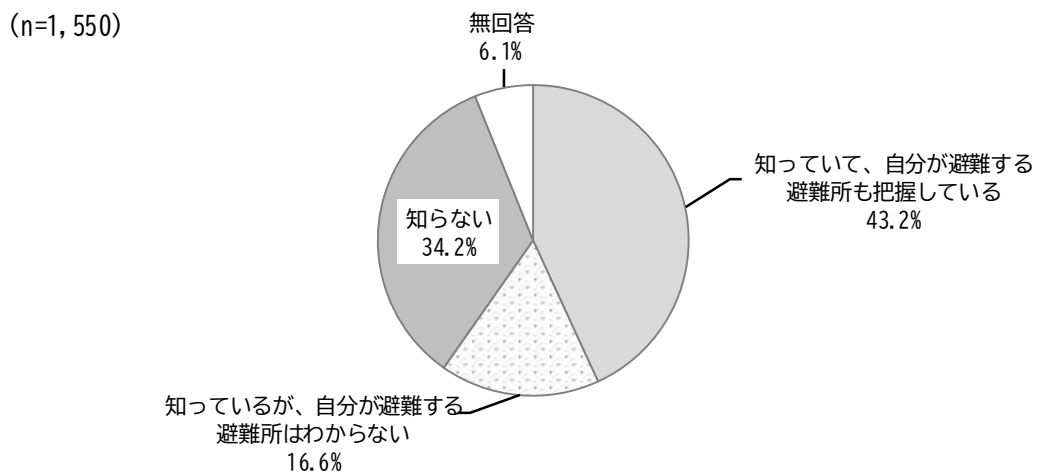
問50 災害が発生したときにあなた（あて名のご本人）が行政や地域から必要とする支援を教えてください。（○はいくつでも）

「必要な医薬品、食料等の手配」が68.3%と最も多く、次いで「災害や避難指示等の正確な情報を適時に取得できること」が47.2%、「家族や大切な人の安否連絡」が39.2%となっている。



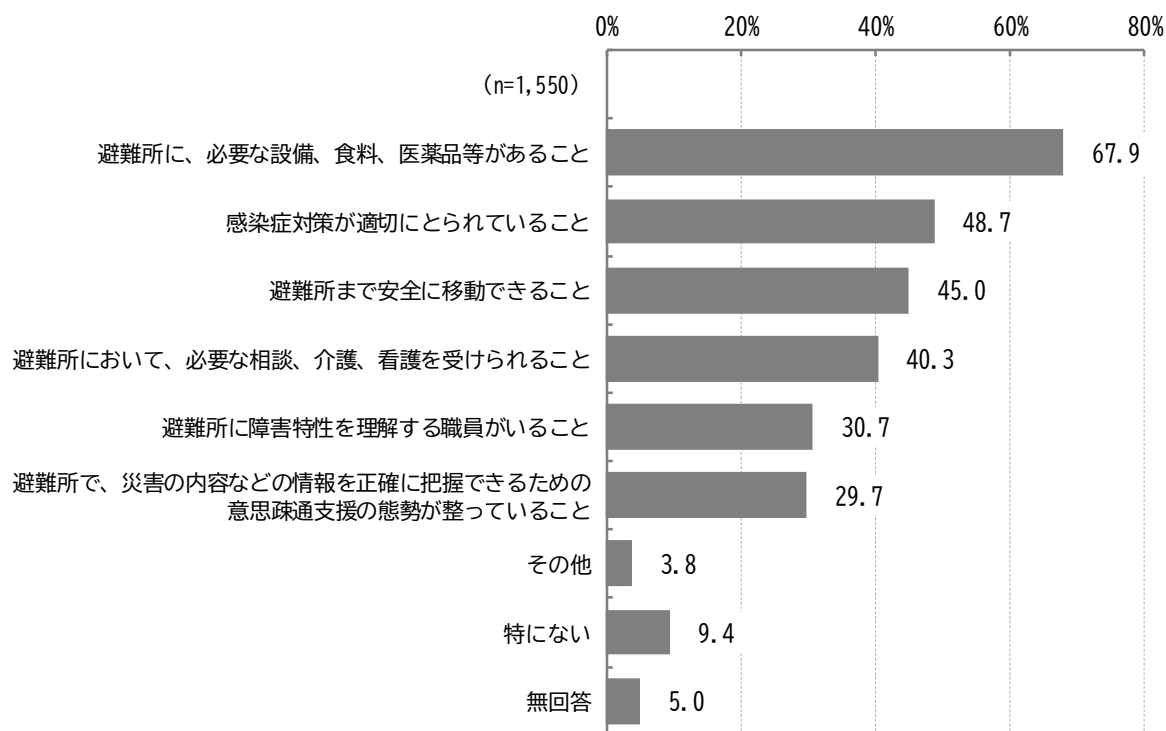
問51 あなた（あて名のご本人）は避難所（福祉避難所含む）をご存じですか。（○は1つ）

「知っている、自分が避難する避難所も把握している」が43.2%と最も多く、次いで「知らない」が34.2%、「知っているが、自分が避難する避難所はわからない」が16.6%となっている。



問52 あなた（あて名のご本人）が避難所（福祉避難所を含む）で望む支援は何ですか。  
（〇はいくつでも）

「避難所に、必要な設備、食料、医薬品等があること」が67.9%と最も多く、次いで「感染症対策が適切にとられていること」が48.7%、「避難所まで安全に移動できること」が45.0%となっている。



問53 港区災害時避難行動要支援者登録事業をご存じですか。(○は1つ)

※港区災害時避難行動要支援者登録事業とは

区では、災害時に自力で避難することは困難な方で、特に支援が必要な方を対象に「港区災害時避難行動要支援者登録名簿」を作成しています。

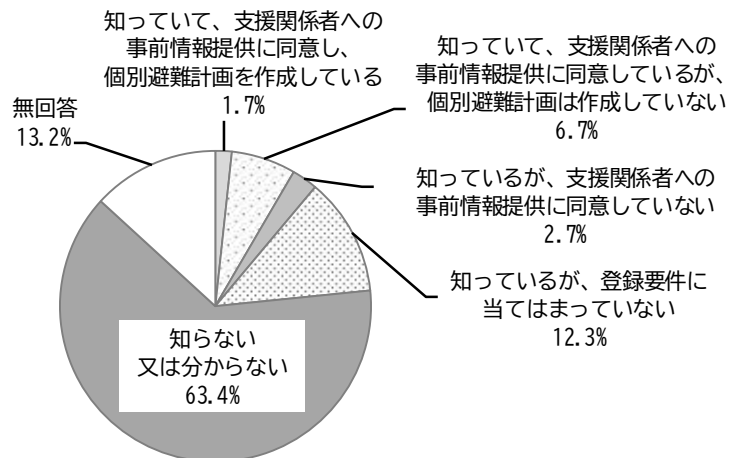
平常時から地域の支援関係者に自らの情報を提供しておくことに同意された方には、一人ひとりの個別避難計画を区が作成し、災害時の支援体制の整備に取り組んでいます。

※登録の対象になる方（登録要件）

手帳1・2級所持者で、一人暮らし又は他の世帯員全てが65歳以上の方

「知らない又は分からない」が63.4%と最も多く、次いで「知っているが、登録要件に当てはまっていない」が12.3%、「知っているが、支援関係者への事前情報提供に同意しているが、個別避難計画は作成していない」が6.7%となっている。

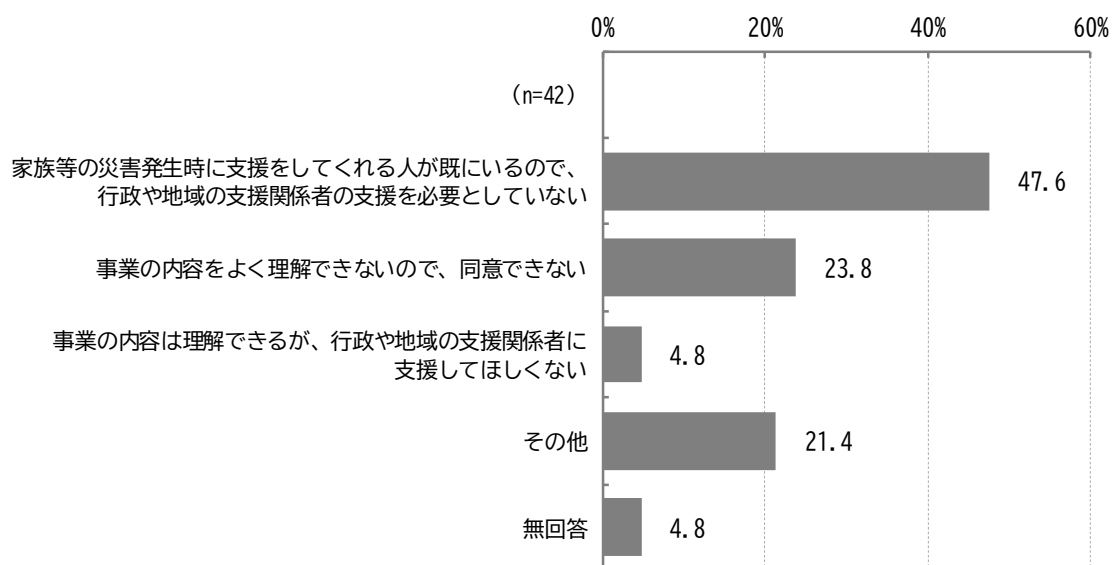
(n=1,550)



※問 54 は、問 53 で「知っているが、支援関係者への事前情報提供に同意していない」を選択した人のみ回答

問54 支援関係者への情報提供に同意していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「家族等の災害発生時に支援をしてくれる人が既にいるので、行政や地域の支援関係者の支援を必要としていない」が47.6%と最も多く、次いで「事業の内容をよく理解できないので、同意できない」が23.8%、「その他」が21.4%となっている。



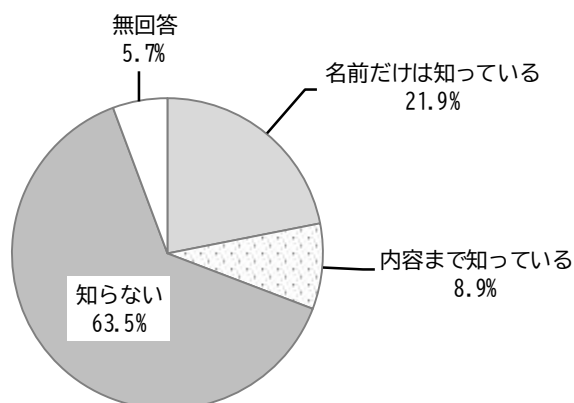
## 12. 偏見・差別について

問55 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されました。

この法律には、障害を理由とした不当な差別的取扱いを禁じ、また、障害者から生活上のバリア（障壁）を取り除くため何らかの対応を求められたとき、負担が重すぎない範囲で対応することが規定されています。このことを知っていますか。(〇は1つ)

「知らない」が63.5%と最も多く、次いで「名前だけは知っている」が21.9%、「内容まで知っている」が8.9%となっている。

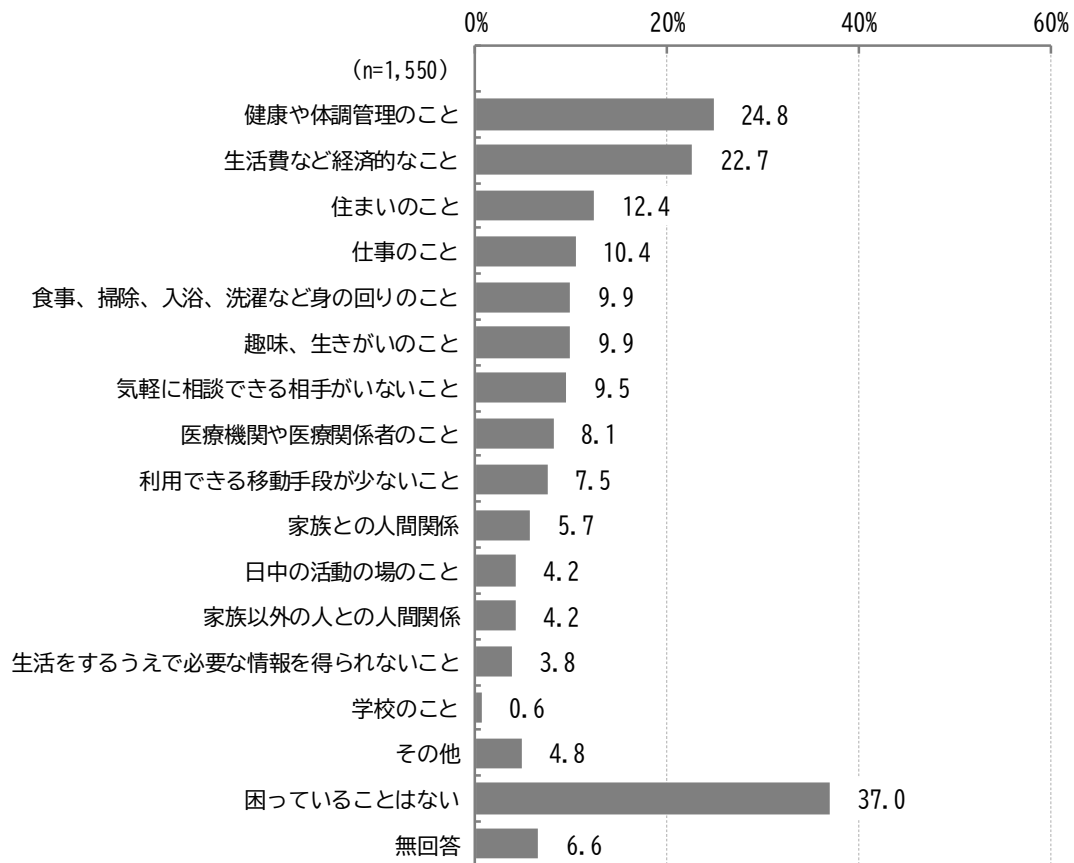
(n=1,550)



### 13. 行政支援・団体支援について

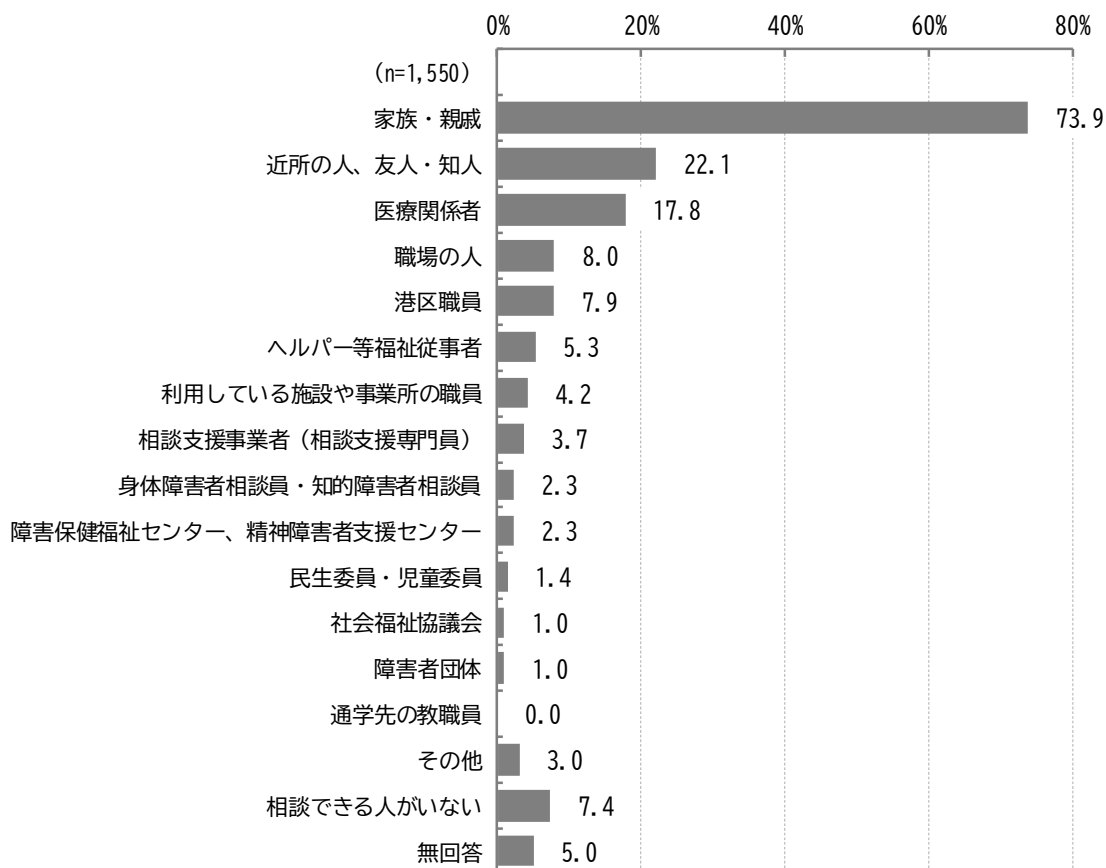
問56 現在、あなた（あて名のご本人）が生活の中で困っていることは何ですか。  
（〇はいくつでも）

「困っていることはない」が 37.0%と最も多く、次いで「健康や体調管理のこと」が 24.8%、「生活費など経済的なこと」が 22.7%となっている。



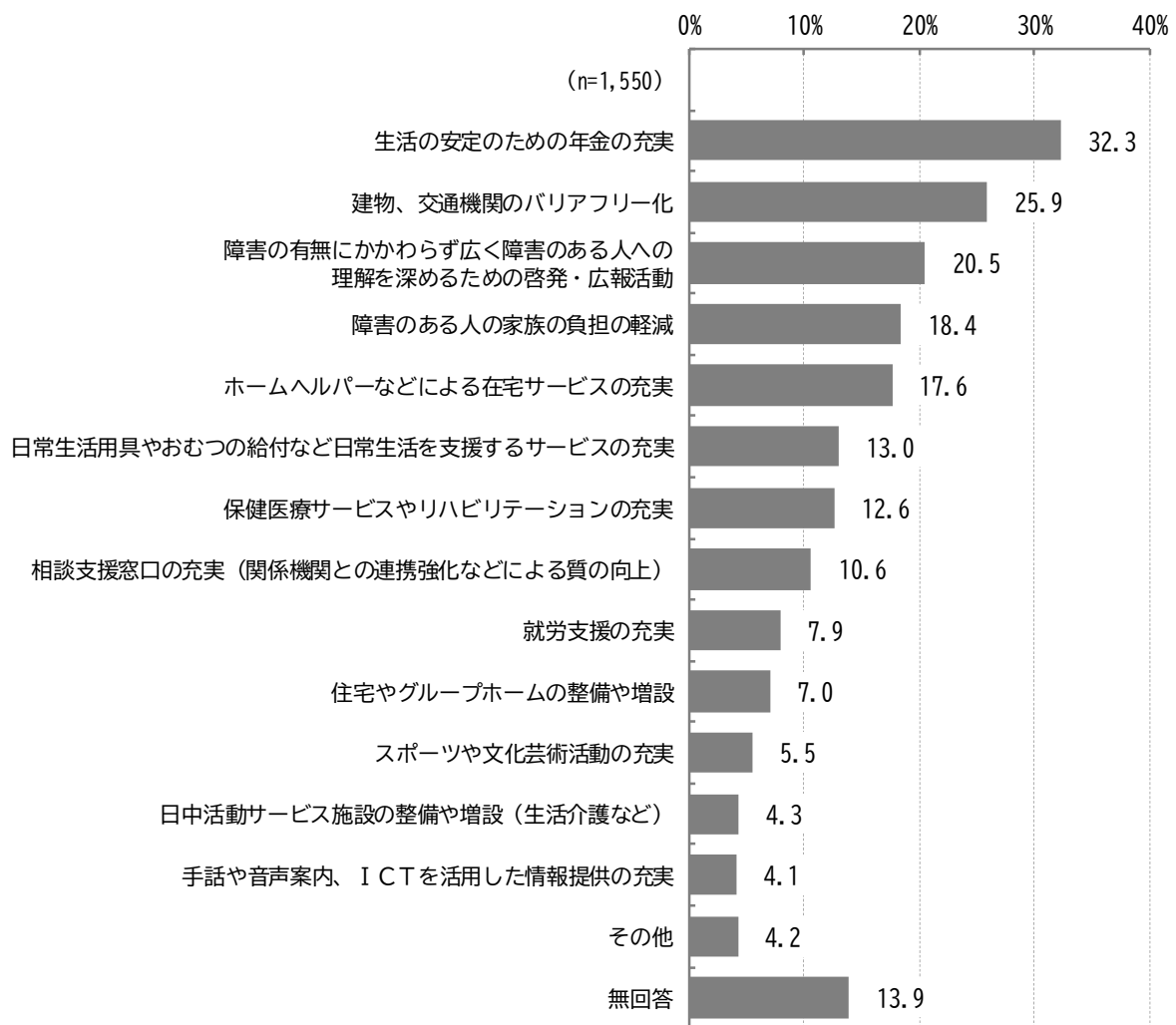
問57 あなた（あて名のご本人）が困ったときの相談先を教えてください。（○はいくつでも）

「家族・親戚」が73.9%と最も多く、次いで「近所の人、友人・知人」が22.1%、「医療関係者」が17.8%となっている。



問58 障害のある人に関する区の施策のうち、あなた（あて名のご本人）がもっと力を入れる必要があると思うものを教えてください。（○は3つまで）

「生活の安定のための年金の充実」が32.3%と最も多く、次いで「建物、交通機関のバリアフリー化」が25.9%、「障害の有無にかかわらず広く障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動」が20.5%となっている。



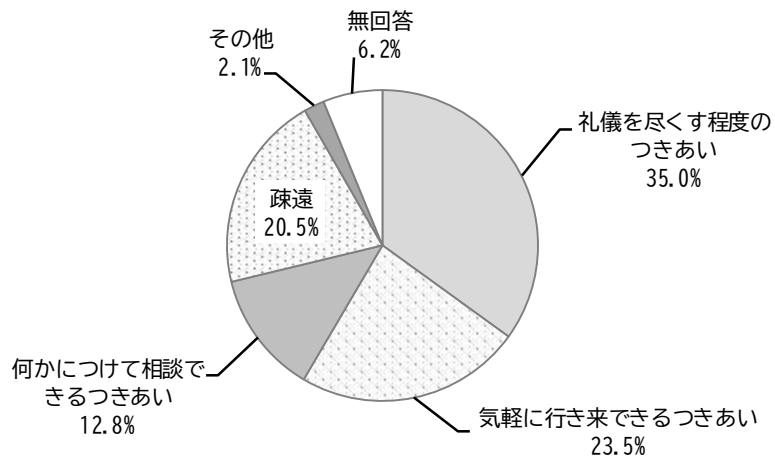
## 14. 地域共生社会について

問59 あなた（あて名のご本人）の人とのつながりの程度について教えてください。

### 【親戚とのつきあいについて】

「礼儀を尽くす程度のつきあい」が35.0%と最も多く、次いで「気軽に行き来できるつきあい」が23.5%、「疎遠」が20.5%となっている。

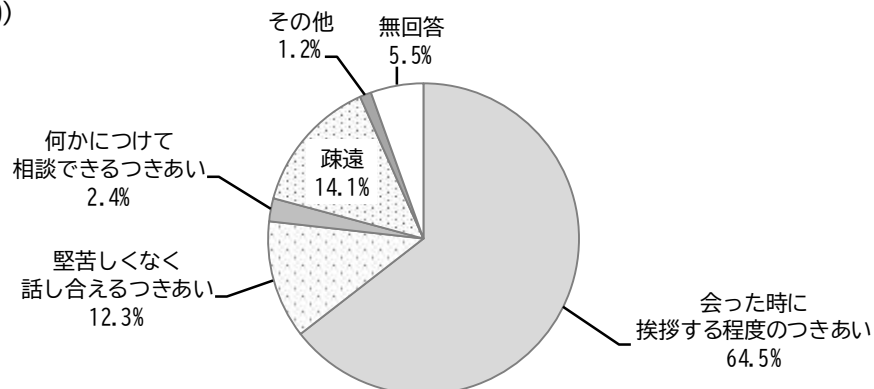
(n=1,550)



### 【隣近所とのつきあいについて】

「会った時に挨拶する程度のつきあい」が64.5%と最も多く、次いで「疎遠」が14.1%、「堅苦しくなく話し合えるつきあい」が12.3%となっている。

(n=1,550)



問60 あなた（あて名のご本人）の社会参加について、お考えになっていることを自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	社会参加の難しさ(課題) について	105
2	社会参加に対する考えや意向について	68
3	社会参加を進めるための区への提案やお願い	24
4	仕事に関すること	36
5	実際に参加している地域活動や交流について	26
6	その他	6

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

#### 〔1 社会参加の難しさ(課題) について〕

- 性別年齢や障害の有無での制限を排除してほしい。
- 社会参加は難しく、迷惑をかけるのであまり深くかかわりたくない。

#### 〔2 社会参加に対する考えや意向について〕

- 支援してもらえるなら、障害者支援センターで趣味（習字など）をやってみたい。もっとコミュニケーションが取りやすくなりたい。
- 自分も他の方も出来ることを出来る時に、無理なく楽しんで参加し続けられることが大事と思います。

#### 〔3 社会参加を進めるための区への提案やお願い〕

- たとえ障害があっても、やりたい事や行きたい場所を諦めることなく、実現していきたく思います。そのためには行政の支援が不可欠ですので、障害者の立場にたったサービスと支援をよろしく願います。
- 自分はまだ動ける方なので啓発活動などしていますが、港区ももっと区民に届く活動(方法)と一緒に考えてほしい。

#### 〔4 仕事に関すること〕

- もう少し障害者雇用促進を強化して欲しい。
- 働くのが最も良いとは考えているが、障がい者採用では経済的に厳しい。

## 〔5 実際に参加している地域活動や交流について〕

- 地域の町会に関わり 40 年以上が経過。人と人との関わりの大切さ、喜びを感じながらの生活が充実したものであったので今後も続けたい。
- 老連クラブに入っていますので、地区の各行事とかには参加しています。保育園の子供達に折り紙を時々教えたりとかもしています。

問61 港区の福祉施策について、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	障害に配慮した案内・設備の充実に関する意見・要望	17
2	安心安全な生活、地域生活、余暇活動、交流に関する意見・要望	33
3	ケアサービスの内容、マネジメントに関する意見・要望	22
4	障害への理解・配慮に関する意見・要望	23
5	住宅に関する意見・要望	19
6	情報提供・相談・窓口対応に関する意見・要望	30
7	公共交通機関・移動支援に関する意見・要望	36
8	行政・制度に関する意見・要望	29
9	障害等級の認定や補助に関する意見・要望	20
10	その他	56

ご記入いただいた意見のうち、一部を抜粋して記載しています。

なお、記載に当たって文言等を修正している場合があります。

## 〔1 障害に配慮した案内・設備の充実に関する意見・要望〕

- とても充実していてありがたいです。バリアフリーでスロープがついていても角度が急であったり、横断歩道等の段差が気になります。何度も車椅子が転倒しそうで怖い思いをしたり、身体に受ける衝撃が強く苦勞しています。
- バス内の画像では、手話と字幕が必ずあり嬉しいです。聴覚障害も区民として大切に接していただけているのが伝わります。
- 港区の福祉施策は、都内でも一歩先を進んでいるように思われ、いつも感謝しております。高齢になっても港区に住み続けられるよう、一般シニア向けのいろいろなイベント、体験会、講演会等に、手話通訳をつけていただけると大変嬉しいです。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 〔2 安心安全な生活、地域生活、余暇活動、交流に関する意見・要望〕

- 港区のいきいきプラザを健康維持や認知症予防に利用しています。英語学習もグループで楽しく行っています。
- 福祉サービスを受けて助かっています。高輪地区の福祉も良好です。
- 絵画やコーラスなど文化活動が増えることを望みます。
- 福祉士の家庭訪問は安心できますが、相談内容の範囲が気になります。社会福祉活動に感心しています。
- 区のスポーツセンターは設備が良く、リハビリとして無料で利用でき病気予防に励んでいます。
- 老人ホームや体調不良時の対応策が必要です。
- 知的だけでなく肢体障害者にも安心できる施策を希望します。高等部卒業後や親亡き後の住居問題も課題です。
- 港区独自の事業が助かっています。事業所が余裕を持って運営できるよう支援をお願いします。

## 〔3 ケアサービスの内容、マネジメントに関する意見・要望〕

- 要介護3になり、特養の申し込みをしようと思ったが、港区の施設は入居になっても病院の通院は自己負担で、家族が連れて行くと聞いてびっくりした。施設の介護士さんの付き添いをしてもらわないと家族の負担が増えるので考えて欲しい。
- 通っている施設は知的障害者の短期入所は受け入れています。医療的ケアが必要な重度障害者は受け入れていません。日頃、本人の支援や看護のやり方を良く分かってきている人達が居る所にショートステイが出来れば、安心して利用する事が出来ます。
- 充実した多くのケアが必要かと思います。また、解決に向けて時間・日数が長いので精神的な不安がある。
- いつも大変お世話になっております。とても良くしていただき感謝しております。看護師ヘルパー制度をもっともっと増やしていただき利用させていただきたいです。よろしく願いいたします。
- 現在受けている障害福祉サービスには本当に助けられています。それがなかったら、肉体的にも仕事ができず、生活保護に陥っていたと思う。支援相談員の方にも区役所の方にも本当に感謝しています。
- いつもありがとうございます。サービスを受ける側だけでなく港区で福祉をする業種の人たちがこれからも続けたいと思ってもらえる環境が大事だと感じています。ですが、人材不足。介護ロボット、センサー系の普及も必要だと思います。
- 手厚いサービスを受けており感謝している。
- 他の区に比べて障害者福祉が充実しているとはいえ、訪問ヘルパーは常時不足しているため、たとえば港区が公的なヘルパー事業所を作ったり、港区内や周辺のヘルパー事業所と利用者の円滑なマッチングなど、質の高いヘルパーの確保・充実に注力してほしい

#### 〔4 障害への理解・配慮に関する意見・要望〕

- 目に見える障害と目に見えない障害は全く違うので、一般的な認知から福祉の施策についても、もっと考えてほしい。一般人からは健常者として扱われ、福祉の面からは充実したサービスの対象者になっているので戸惑う。ただ困った時に困っていると言えるのは助かります。
- 私は港区の福祉施策は、心配りができていますと安心してあります。有難うございます。
- 障害や育児など、充実した福祉施策に大変感謝しています。引き続き宜しくお願い致します。
- 私自身は放っておいていただいて問題ないと思います。重篤な障害をお持ちの方が、少しでもよりよく生きられるサービスを展開していただけると、何となくうれしく思います。

#### 〔5 住宅に関する意見・要望〕

- 港区の高齢者住宅に過去 3 回程、応募したが抽選に外れて今の所へ移った。家賃が高いので、もっと安い所へ移りたい。ただ、76 歳なのでまず無いと思うので困っている。
- 土地価格が高いので、個別室の特別養護老人ホームが少ない。家庭生活が困難になると不安です。
- 充実していると感じています。住宅の支援があると良い。
- 民営の賃貸住宅の更新時、高齢者を理由に退去要請。今は保証人も保証会社を入れないと契約できないので、審査が通らないと部屋も借りられないのが不安な事です。障害者、高齢者、子供、動物、弱者に優しい日本であってほしいと思います。
- 現在 78 歳です。両股関節に人工関節を入れています。いつ歩けなくなるか不安ですが、今は正しい歩き方を学び努力しています。働けなくなったらという思いが一番の心配です。その時は区の住宅に入れたら、安心なのですが…。
- 港区で配布しているヘルプマークが港区と入っているが故に、住んでいる地域が特定できるのでつけづらい。港区の不動産価格や賃貸価格の上昇率が高いため、子どもの成長に合わせて住み替えしづらい。
- 障害者の住居に入れるようになれば良い。

#### 〔6 情報提供・相談・窓口対応に関する意見・要望〕

- 港区ほどの資力のある自治体でも、この様なアンケートが封書で届くことに驚いている。福祉と保健とを混同していたら申し訳ないが、あらゆる申請が窓口に行かないとできないのは、移動が負担な障がい者にとっては非常にストレスなことである。省力化、デジタル化を進めて欲しい。
- 相談できる、気軽に話できるカウンセラーのような方がおられると助かります
- 非常に充実していると思うし、区役所の窓口の方々も非常に親切に教えていただいています。

#### 〔7 公共交通機関・移動支援に関する意見・要望〕

- 日常的にはタクシー券、ちいバスのパス、おむつの支給を利用させて頂き、大変助かっております。
- いつも有難うございます。都営交通パス、大変助かっています。

- ちいバスの無料バスは大変ありがたいので、できればバスの本数が増加すると良い。港区の保養施設「大平荘」はよく利用するので、障がい者の割引制度を年2泊ではなく、もう少し拡充してほしい。
- タクシー券はとても助かってます。足が悪いので、病院に使わせてもらっています。有難うございます。
- ちいバス乗車券、都営交通無料券、美術館への無料入場券等とても助かっています。頑張って外出しようという気にさせてくれます。
- 私は一人で自由に歩く事が出来ません。港区のタクシー利用券を頂けるようになって、大変ありがたいと感謝致しております。以前、住んでいました処はこのような福祉はありませんでしたのでびっくり致しました。病院の通院に心より感謝しつつ、利用させて頂いております。
- 助けられている。タクシー券、病院の行き返りに助けられています。ありがとう。
- 障害者は移動が大変な事が多いので、交通利便性の高い港区は非常に住みやすい。障害者雇用の職場も近くに多い。なのでもっと多くの方が港区に住めるようになったら良いと思います。
- 同居の親が折り畳み式車いすを併用していますが最近ちいバスが混雑して来て、ベビーカーとの共存が難しいです。
- 区有施設の障害者用の駐車場に健常者が停めて使えないことがあり困っている。
- ガソリン補助は上がっているが、福祉手当も物価上昇分は上げて頂きたい。他の区より福祉は充実していると思うが、利用者からの視点だと参加できるプログラム等がマンネリ化している。退職後はヒューマンぷらぎになるべく通いたいが、送迎バスの乗り場まで行くのにリスクがある。高齢者のデイサービスのよう小型車両で自宅の近くまで来て頂けるとありがたい。自宅は大通り沿いなので難しいとは思えないのだが。
- 駅の工事に伴う、通路の混雑と導線がひどく、通勤時に人とぶつかりそうで、怖い思いをしています。改善策を講じて頂けると助かります。

## 〔8 行政・制度に関する意見・要望〕

- 障害児の福祉サービスをめぐる所得制限を撤廃してほしいです。資産ベースで約400億円撤廃するとかかります（全国で）。全国に2万円給付する予算2.46兆円の1.6%にしかあたりません。港区はサービスが非常に豊富で私自身は助かっているからこそ、障害児がいる家庭の切実な声を聞いていてもたってもいられず書かせて頂きました。区だけでの問題ではないですが、自治体で出来ることもあると思います。どうぞご検討ください。
- 区役所の担当の対応改善を求める。
- 車で移動する為、ガソリン代の補助等に感謝しています。
- 港区の福祉策については、よくやっていただいていると思われれます。このようなアンケート的なことを、半年や年1回していただけると、私たちの何が足りないかを、皆さんにわかっていただけかもしれないと思いますいつもありがとうございます。よろしく願いいたします

## 〔9 障害等級の認定や補助に関する意見・要望〕

- 障害者になった時の申請の仕方が家族にとって負担になる事が多い。何度も区役所に足を運ぶ事も多く、高齢者本人では無理な事も多い。

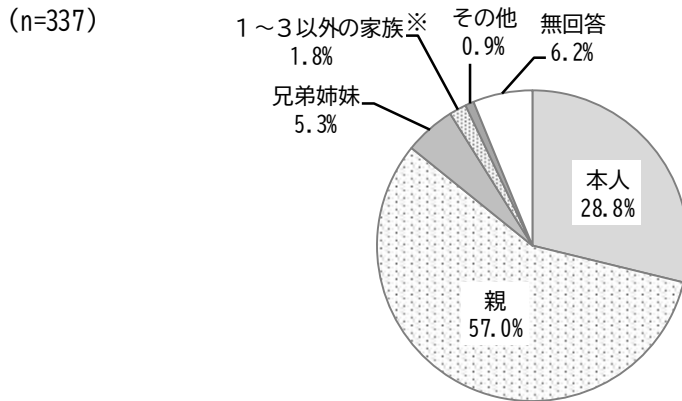
- ストーマ用装具の給付額が他と比べて充分なようで助かっています。主人の収入が多い為、他では自己負担となっていたと思いますが、それも無し。自分は収入が無いので、心苦しく思う事もなく生活できます。ありがとうございます。
- いろいろと補助をして頂いていることは有り難いと思いますが、障害が元で申請がタイムリーに行われず補助が受け取れないケースが実際に発生しています。このようなことが起きないように、マイナポータルで障害者等級別に受け取れる補助を網羅的に簡単に申請出来るよう、また、申請忘れがないように注意喚起を適宜行うようなシステムの開発・導入・運用をお願いします。

## 2 知的障害者を対象とした調査の集計結果

### 1. 調査票の回答者について

問1 本調査の質問にご回答いただいたのはどなたですか。(○は1つ)

「親」が57.0%と最も多く、次いで「本人」が28.8%、「兄弟姉妹」が5.3%となっている。

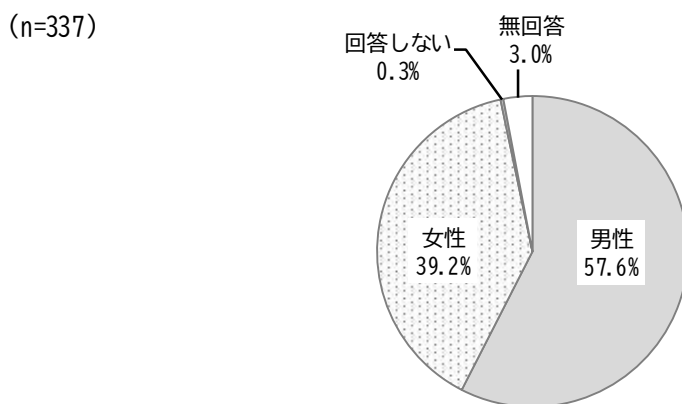


※「本人」、「親」、「兄弟姉妹」を除く家族

### 2. あて名のご本人について

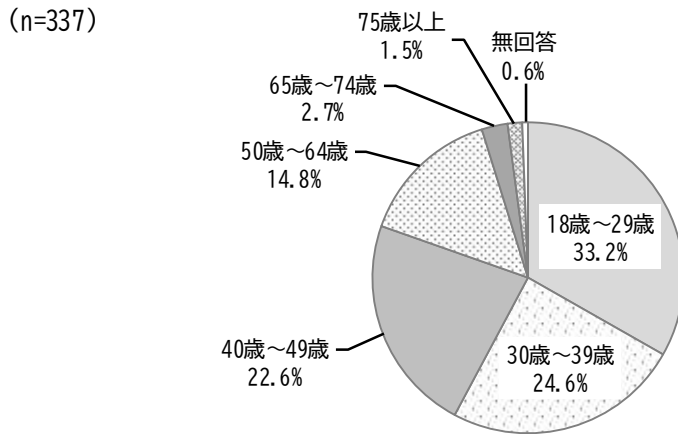
問2 あて名のご本人の性別を教えてください。(○は1つ)

「男性」が57.6%、「女性」が39.2%、「回答しない」が0.3%となっている。



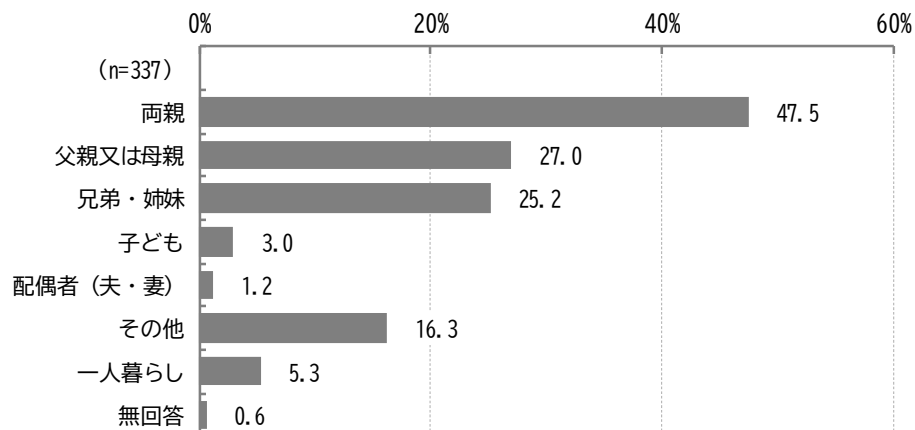
問3 あて名のご本人の年齢を教えてください。(○は1つ)

「18歳～29歳」が33.2%と最も多く、次いで「30歳～39歳」が24.6%、「40歳～49歳」が22.6%となっている。



問4 あて名のご本人は、どなたと同居しているか教えてください。(○はいくつでも)

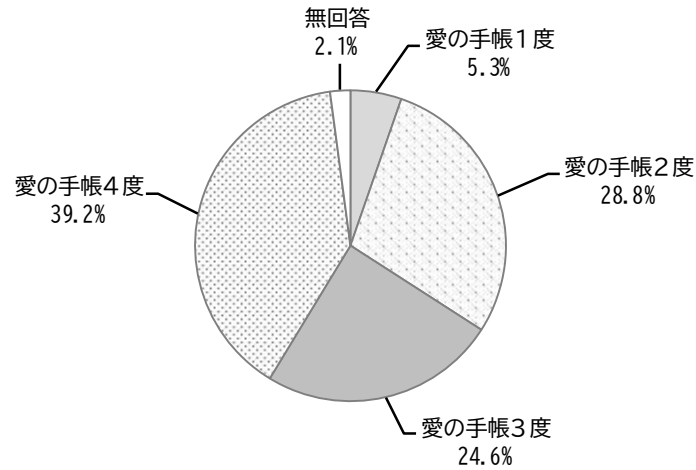
「両親」が47.5%と最も多く、次いで「父親又は母親」が27.0%、「兄弟・姉妹」が25.2%となっている。



問5 愛の手帳の程度を教えてください。(○は1つ)

「愛の手帳4度」が39.2%と最も多く、次いで「愛の手帳2度」が28.8%、「愛の手帳3度」が24.6%となっている。

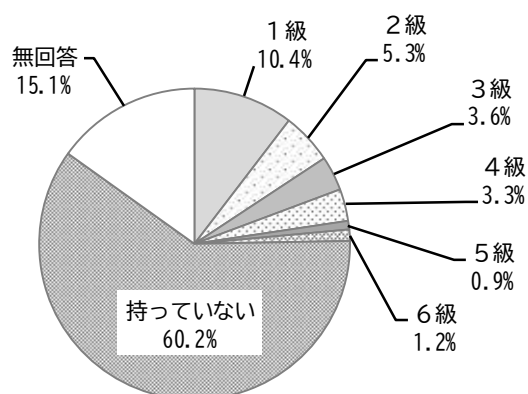
(n=337)



問6 あて名のご本人が身体障害者手帳をお持ちであれば、等級を教えてください。(○は1つ)

「持っていない」が60.2%と最も多く、次いで「1級」が10.4%、「2級」が5.3%となっている。

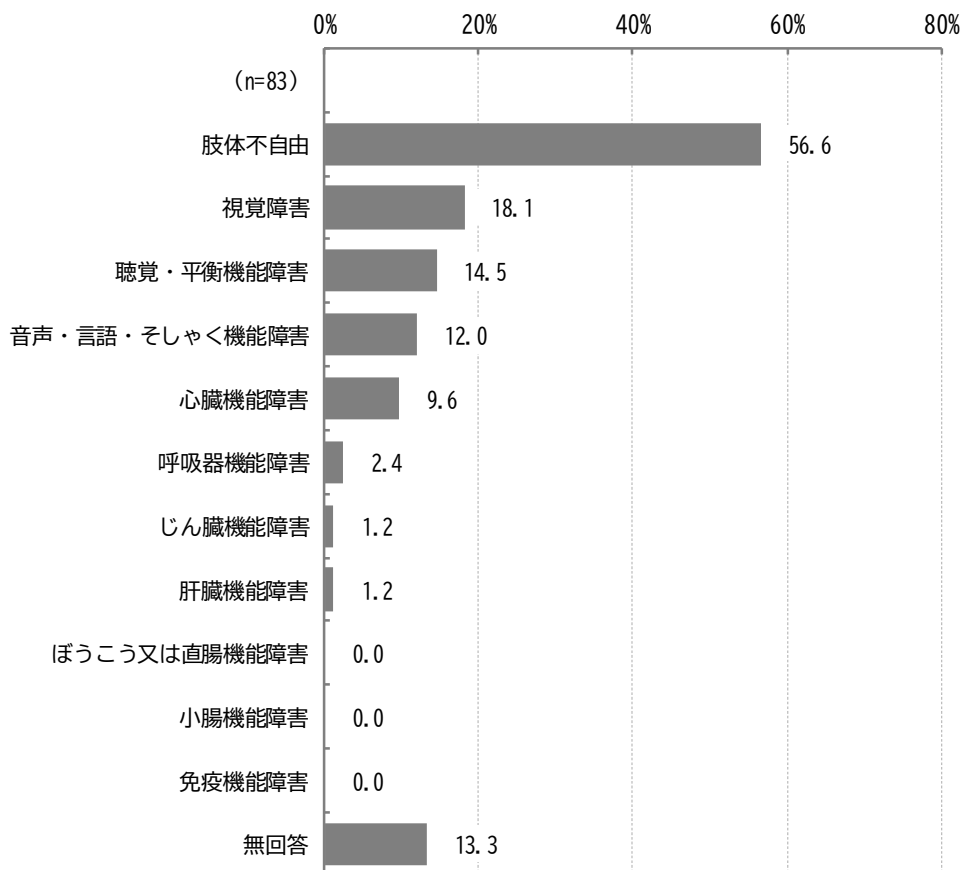
(n=337)



※問7は、問6で選択肢「1.1級」～「6.6級」のいずれかを選択した人のみ回答

問7 あて名のご本人の障害の種類を教えてください。(〇はいくつでも)

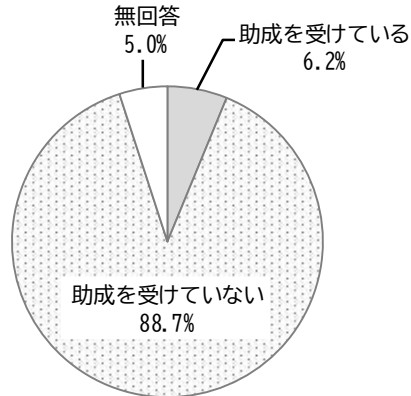
「肢体不自由」が56.6%と最も多く、次いで「視覚障害」が18.1%、「聴覚・平衡機能障害」が14.5%となっている。



問8 あて名のご本人は東京都により認定される「難病医療費等助成」を受けていますか。  
(○は1つ)

「助成を受けていない」が88.7%、「助成を受けている」が6.2%となっている。

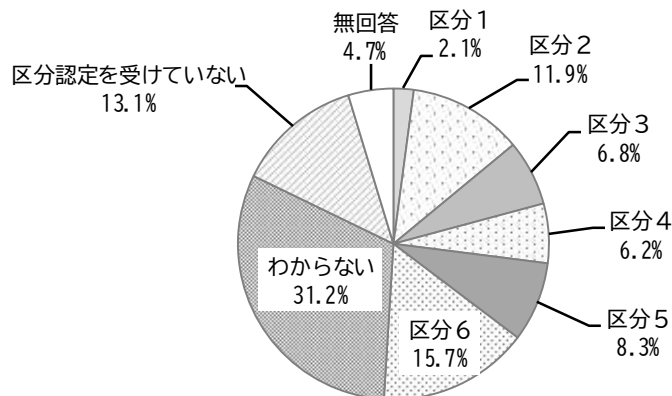
(n=337)



問9 あて名のご本人の障害福祉サービス受給者証の「障害支援区分」を教えてください。  
(○は1つ)

「わからない」が31.2%と最も多く、次いで「区分6」が15.7%、「区分認定を受けていない」が13.1%となっている。

(n=337)

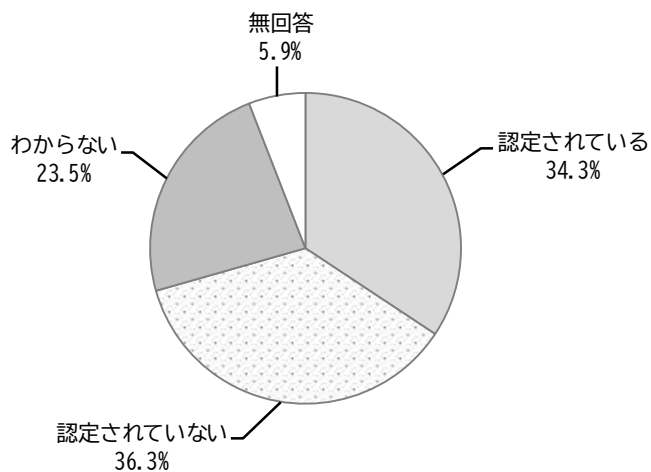


※問 10 は、問 9 で選択肢「4. 区分 4」～「6. 区分 6」のいずれかを選択した人のみ回答

問10 重度障害者支援加算が認定されているか教えてください。  
(受給者証に記載されています。)(○は1つ)

「認定されていない」が 36.3%と最も多く、次いで「認定されている」が 34.3%、「わからない」が 23.5%となっている。

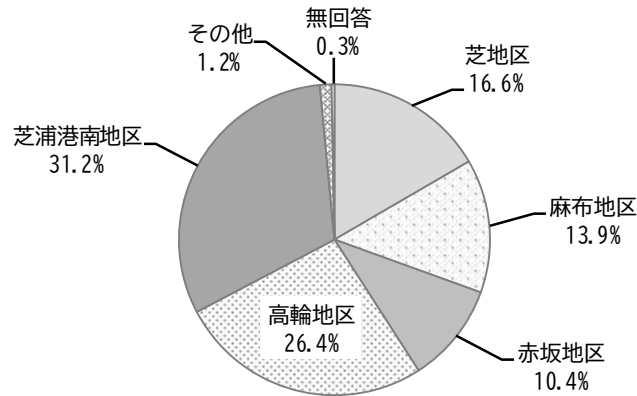
(n=102)



問11 あて名のご本人のお住まいの地区を教えてください。(○は1つ)

「芝浦港南地区」が31.2%と最も多く、次いで「高輪地区」が26.4%、「芝地区」が16.6%となっている。

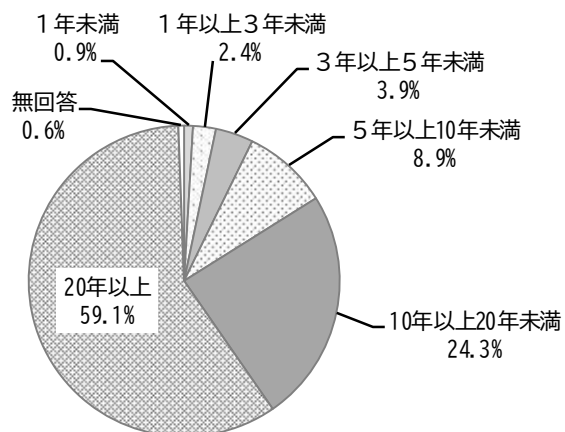
(n=337)



問12 あて名のご本人の港区での居住年数を教えてください。(○は1つ)

「20年以上」が59.1%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が24.3%、「5年以上10年未満」が8.9%となっている。

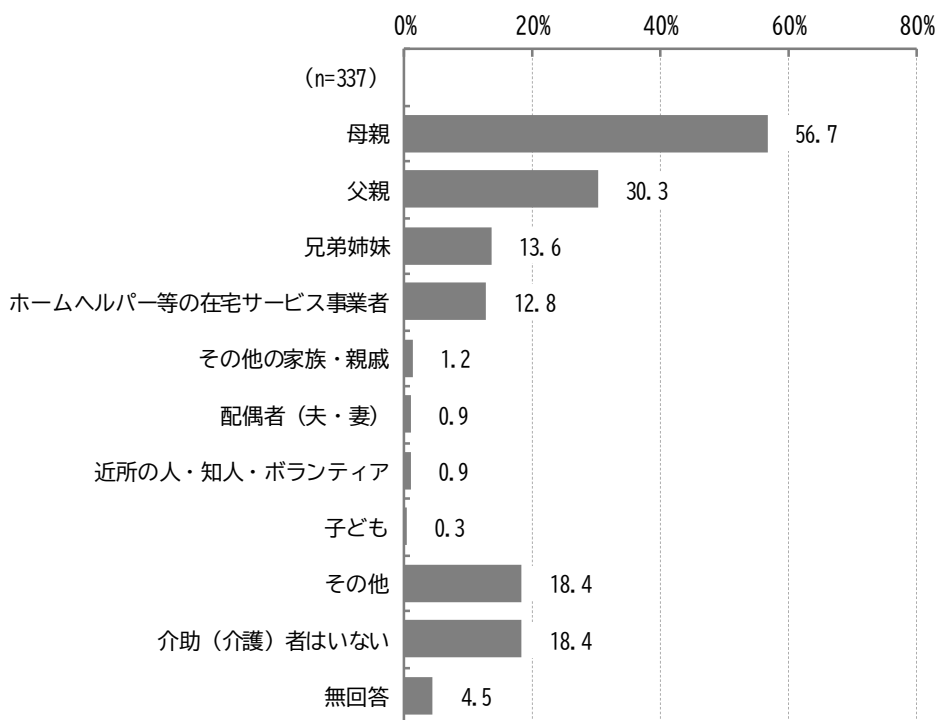
(n=337)



### 3. 生活状況等について

問13 あなた（あて名のご本人）には現在、日常生活における介助（介護）者はいますか。  
（〇はいくつでも）

「母親」が56.7%と最も多く、次いで「父親」が30.3%、「その他」と「介助（介護）者はいない」が18.4%となっている。



#### 【主なその他の内容】

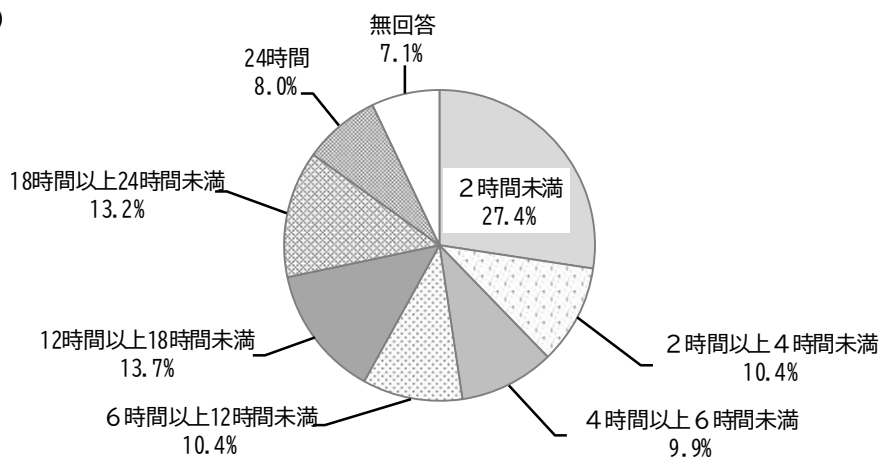
内容	件数
施設等の職員	48
その他	9

※問 14 と問 15 は、問 13 で選択肢「1. 母親」～「6. その他の家族・親戚」のいずれかを選択した人のみ回答

問14 家族又は親戚が介助・介護している時間は1日平均どのくらいですか。複数の家族・親戚が関わっている場合は、合計した時間で教えてください。(○は1つ)

「2時間未満」が27.4%と最も多く、次いで「12時間以上18時間未満」が13.7%、「18時間以上24時間未満」が13.2%となっている。

(n=212)



問15 家族又は親戚が介助（介護）している内容を教えてください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	家事全般(食事、掃除、買い物等)	59
2	通院や外出時の介助	28
3	医療的ケア	5
4	入浴や排せつ等の介助・身の回りの世話	36
5	その他	25

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

〔1 家事全般(食事、掃除、買い物等)〕

- 食事、お風呂、トイレ、外出、薬、洗たく、身のまわり。
- 身辺、食事、日常生活等。

〔2 通院や外出時の介助〕

- 通院、怪我した時の治療、身の回りの事全般。
- 出掛ける時は毎日一緒に付いていく。本人が何を言いたいのか代わりに伝える。

〔3 医療的ケア〕

- 薬の投与。
- 入所から外泊帰宅時に食事・薬の管理、日中の過ごし方の提供、てんかん発作の見守りなど。

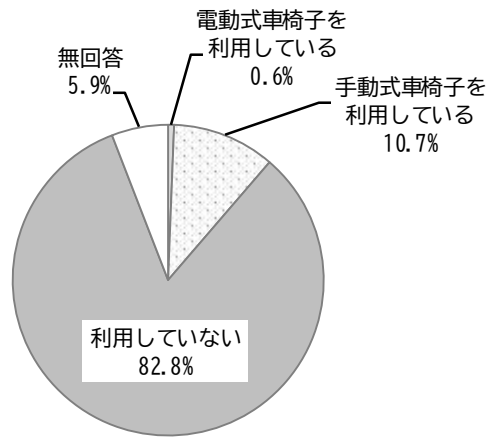
〔4 入浴や排せつ等の介助・身の回りの世話〕

- 食事介助、移動介助、排泄介助、入浴介助、夜間体位交換、清潔介助。
- トイレ、衣服着脱、入浴は全介助、その他は見守り手助けが必要。

問16 あなた（あて名のご本人）は、日常生活の中で車椅子を利用していますか。（○は1つ）  
※電動式と手動式の双方を利用している場合は、1日の利用時間数が多い方をご回答ください。

「利用していない」が82.8%と最も多く、次いで「手動式車椅子を利用している」が10.7%、「電動式車椅子を利用している」が0.6%となっている。

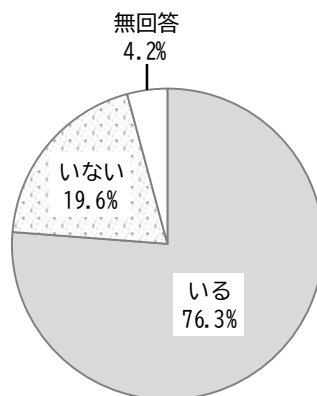
(n=337)



問17 あなた（あて名のご本人）には、あなた自身やあなたの家族の健康相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）はいますか。（○は1つ）

「いる」が76.3%、「いない」が19.6%となっている。

(n=337)

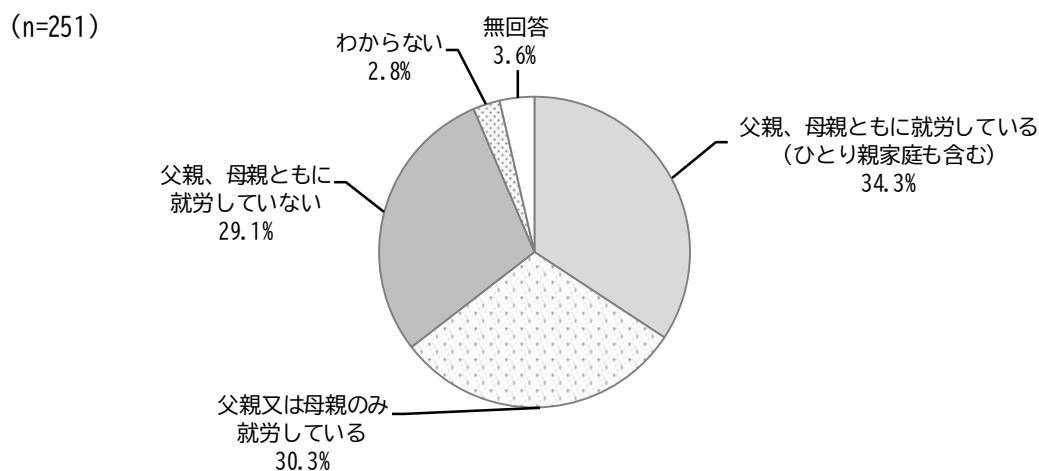


## 4. 親の就労状況等について

※問 18～20 は、同居している親がいる人のみ回答

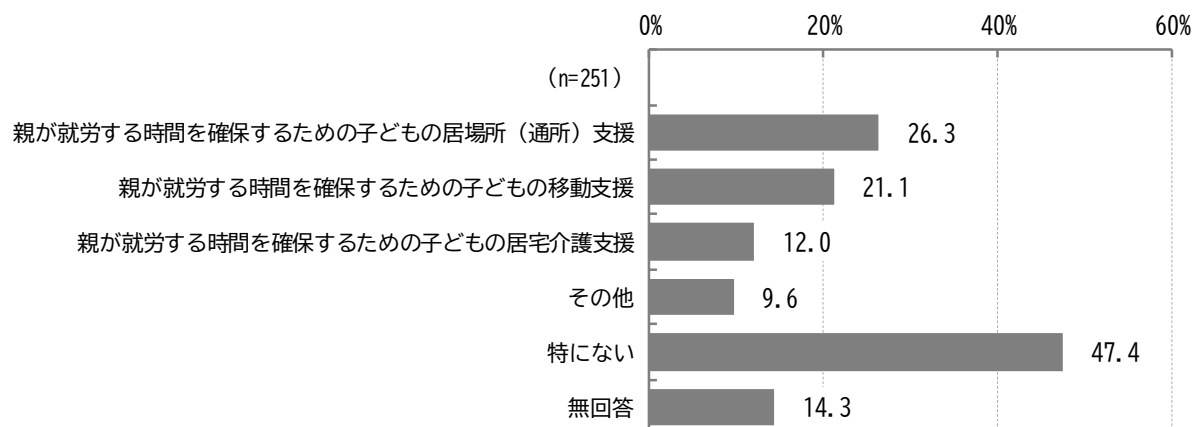
問18 あなた（あて名のご本人）の親の就労状況を教えてください。（○は1つ）

「父親、母親ともに就労している（ひとり親家庭も含む）」が 34.3%と最も多く、次いで「父親又は母親のみ就労している」が 30.3%、「父親、母親ともに就労していない」が 29.1%となっている。



問19 あなた（あて名のご本人）の親が就労するにあたり、必要な支援を教えてください。（○はいくつでも）

「特にない」が 47.4%と最も多く、次いで「親が就労する時間を確保するための子どもの居場所（通所）支援」が 26.3%、「親が就労する時間を確保するための子どもの移動支援」が 21.1%となっている。



問20 あなた（あて名のご本人）の親が就労するにあたり、困りごとや必要なサービスについて、自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	就労先について	21
2	身体の負担に関する心配・生活の支援の必要性	15
3	就労ではなく介護について困っている・将来への不安	10
4	その他	7

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

#### 〔1 就労先について〕

- 80歳を過ぎているので、本人に働きたい気持ちはあるが働き口が少ない。年齢に関係なく健康であれば働ける所を増やしてほしい。
- 仕事をしたくても時間の制限があり出来ない。朝、夕方などサービス(ヘルパーの確保)が手薄でなかなか頼めない。

#### 〔2 身体の負担に関する心配・生活の支援の必要性〕

- 体調が悪い時に通所の施設でも預かってもらえないので、就労を休むか一人で家に居なければならぬこと。
- 親は高齢なので就労は難しい。就労したとして、誰かの支援が無ければ生活出来ない。

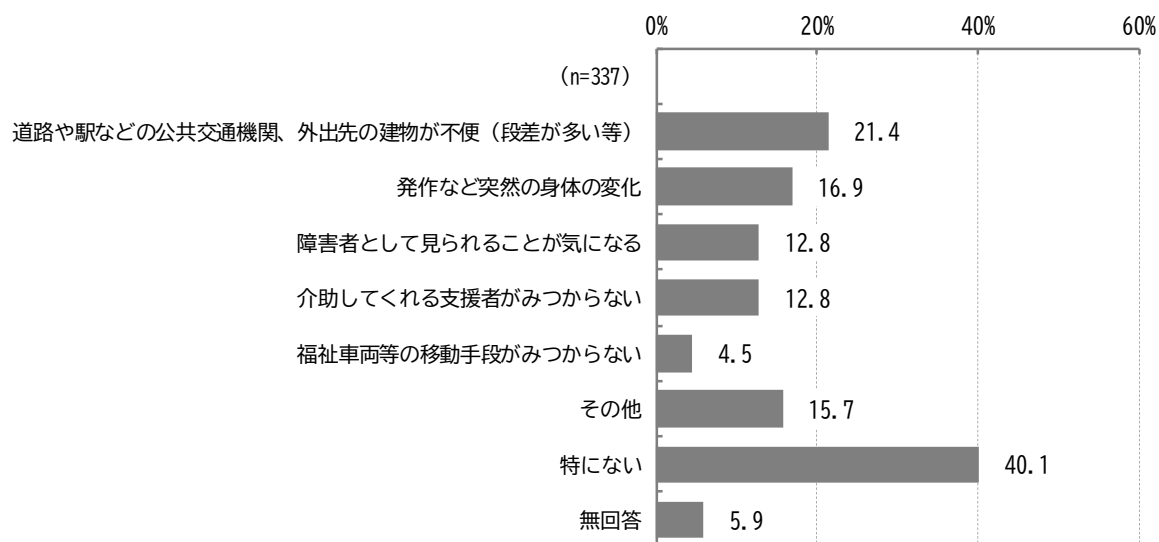
#### 〔3 就労ではなく介護について困っている・将来への不安〕

- 1人で留守番する程度は問題ないが、2泊3日以上留守には対応が難しい。一人暮らしの練習、指導を目的とした宿泊場が欲しい。
- 現在、通所、及びショートステイで対応しています。しかし、発熱など発病した場合は受け入れ先がありません。父は遠隔地に単身赴任で、母も仕事があるため、発熱などの時の対応は、保護者の日常生活に大きく影響を与えています。

## 5. 外出の機会や日中の活動について

問21 あなた（あて名のご本人）が外出する時に困ることを教えてください。（○はいくつでも）

「特にない」が40.1%と最も多く、次いで「道路や駅などの公共交通機関、外出先の建物が不便（段差が多い等）」が21.4%、「発作など突然の身体の変化」が16.9%となっている。



問22 あなた（あて名のご本人）が安心した日常生活をおくるために充実してほしい日常生活用具（入浴補助用具、紙おむつ、ストーマ装具などの日常生活を円滑に過ごすために必要な用具）がありましたら自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	紙おむつや・尿パッド等	14
2	タクシー等の外出支援等	4
3	杖	1
4	エレベーターや手すり、ベンチ等	1
5	入浴補助用具	3
6	補聴器	2
7	車椅子	2
8	その他	23

**【主な意見】** ※分類ごとに1～2件掲載

**〔1 紙おむつや・尿パッド等〕**

- 紙おむつが必要。でないと漏らしてしまうので障害者手帳を持っている人が全ての人がおむつ申請できるようにしてもらいたい。
- 紙おむつ、おしり拭きなど大変助かっています。ベビーカーのようにリクライニングのついた折り畳みのできる軽い車イスが発明されるとありがたい。

**〔2 タクシー等の外出支援等〕**

- 高齢の方のための区で発行するタクシークーポンチケットがほしいと思いました。
- GPS 付きの携帯電話や市町村に直接オンラインで繋がる無線機（医療情報等が入っているタグ）、介助者分のコミュニティバス無料券、災害用 BBQ セット、タクシー利用券の対象拡大（介助者の移動料金も無料）

**〔3 杖〕**

- 屋内用歩行器。

**〔4 エレベーターや手すり、ベンチ等〕**

- 室内の手すり、紙おむつ、排尿のタイミングを教えてくれる探知機。おまる、車椅子、入浴する際にスムーズにお風呂に入れる座椅子。

**〔5 入浴補助用具〕**

- 今の所、家族でしていますが、どんどん年齢が増してきているので、入浴などが大変です。週2回は通所先で入れていただいています。
- 入浴補助用具、紙おむつ等支援品を使用している。

**〔6 補聴器〕**

- スマホの助成金。老人や子供の補聴器の助成はあるが、大人にも広げてほしい。
- 言葉を代わりに伝えてくれるような物。

**〔7 車椅子〕**

- 移動用の電動車。
- 車イスが必要となってきました。

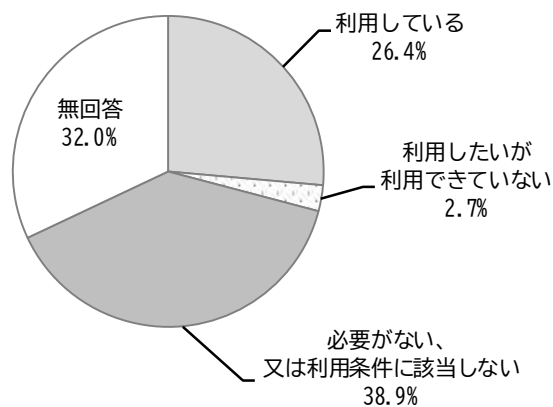
問23 現在の障害福祉サービス等の利用状況を教えてください。①～⑩それぞれについて当てはまる番号をお答えください。(○は1つ)

※「利用したいが利用できていない」を選択した場合、その理由を「理由一覧」から当てはまる番号をお答えください。

### 【① 生活介護：利用状況】

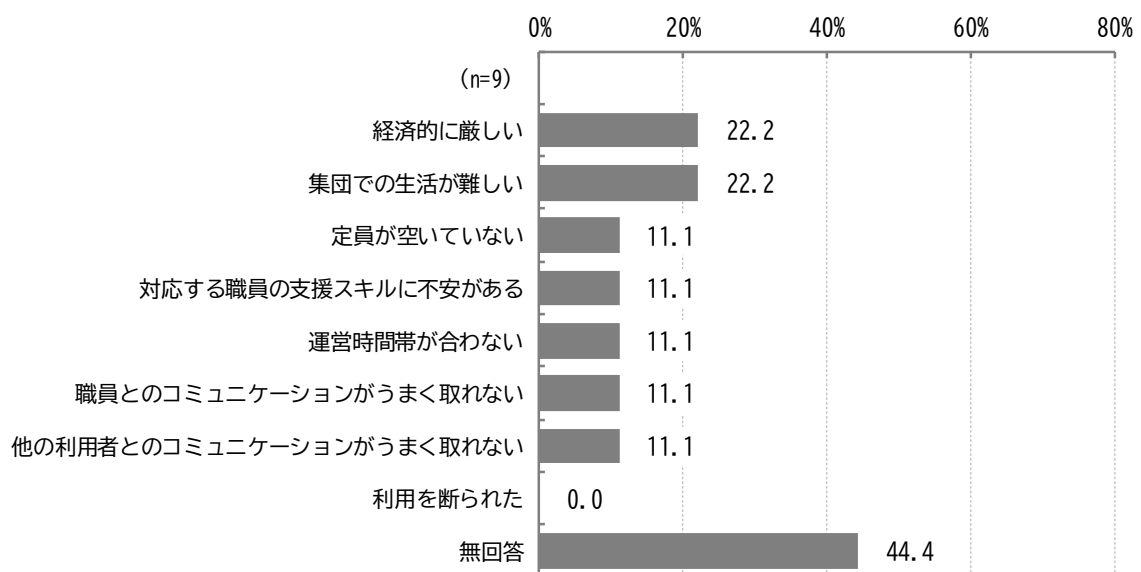
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 38.9%と最も多く、次いで「利用している」が 26.4%、「利用したいが利用できていない」が 2.7%となっている。

(n=337)



### 【① 生活介護：利用できていない理由】

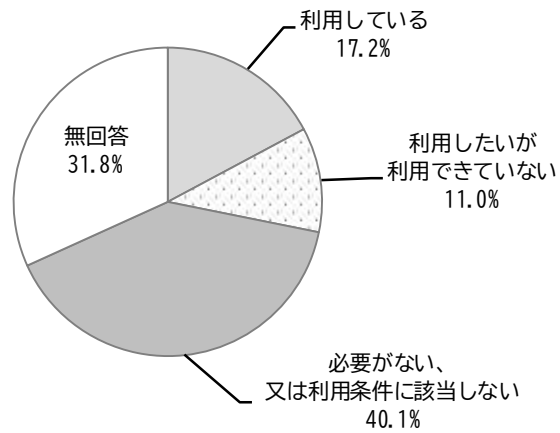
「経済的に厳しい」と「集団での生活が難しい」が 22.2%と最も多く、次いで、「定員が空いていない」、「対応する職員の支援スキルに不安がある」、「運営時間帯が合わない」、「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」、「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が 11.1%となっている。



## 【② 短期入所：利用状況】

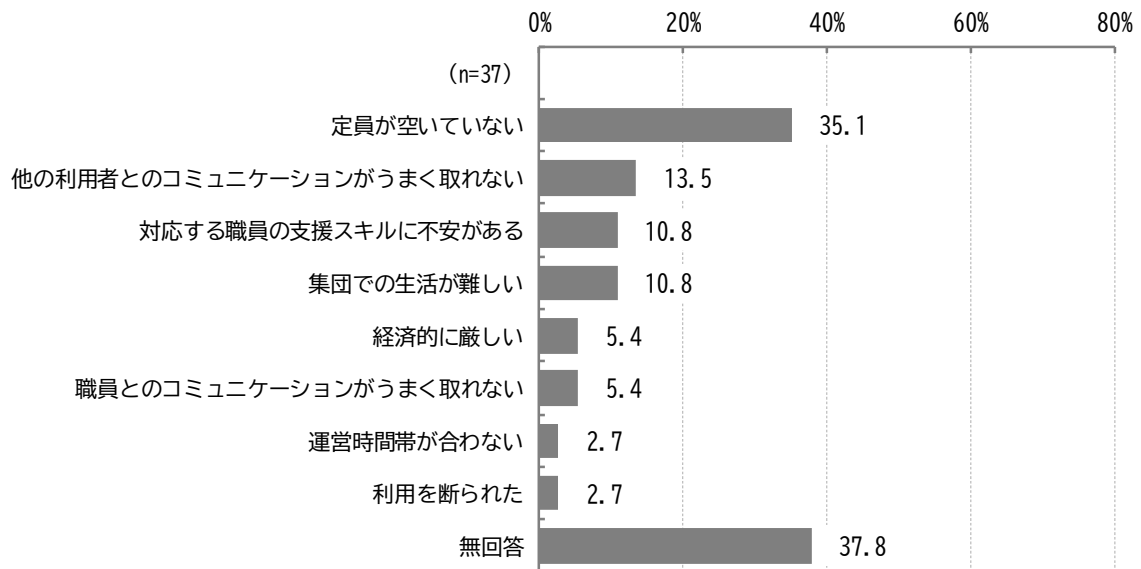
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 40.1%と最も多く、次いで「利用している」が 17.2%、「利用したいが利用できていない」が 11.0%となっている。

(n=337)



## 【② 短期入所：利用できていない理由】

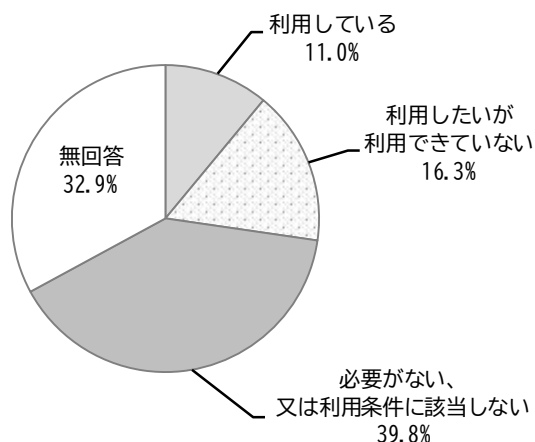
「定員が空いていない」が 35.1%と最も多く、次いで「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が 13.5%、「対応する職員の支援スキルに不安がある」と「集団での生活が難しい」が 10.8%となっている。



### 【③ 共同生活援助（グループホーム）：利用状況】

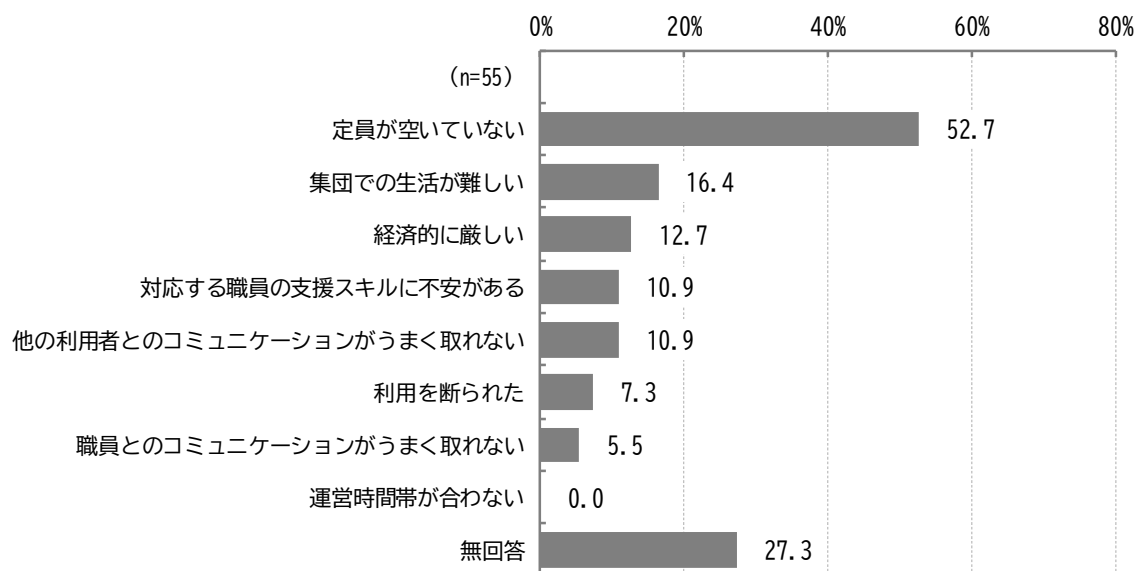
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が39.8%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が16.3%、「利用している」が11.0%となっている。

(n=337)



### 【③ 共同生活援助（グループホーム）：利用できていない理由】

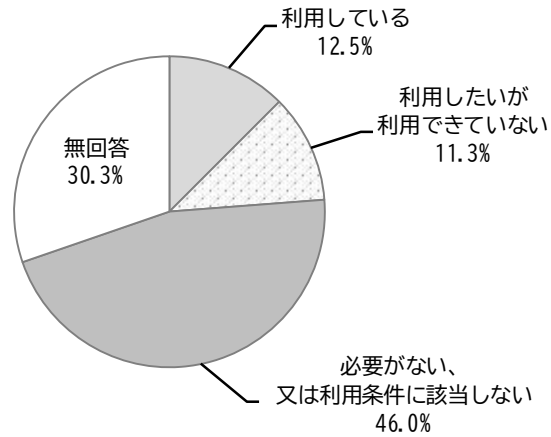
「定員が空いていない」が52.7%と最も多く、次いで「集団での生活が難しい」が16.4%、「経済的に厳しい」が12.7%となっている。



#### 【④ 施設入所支援（入所施設）：利用状況】

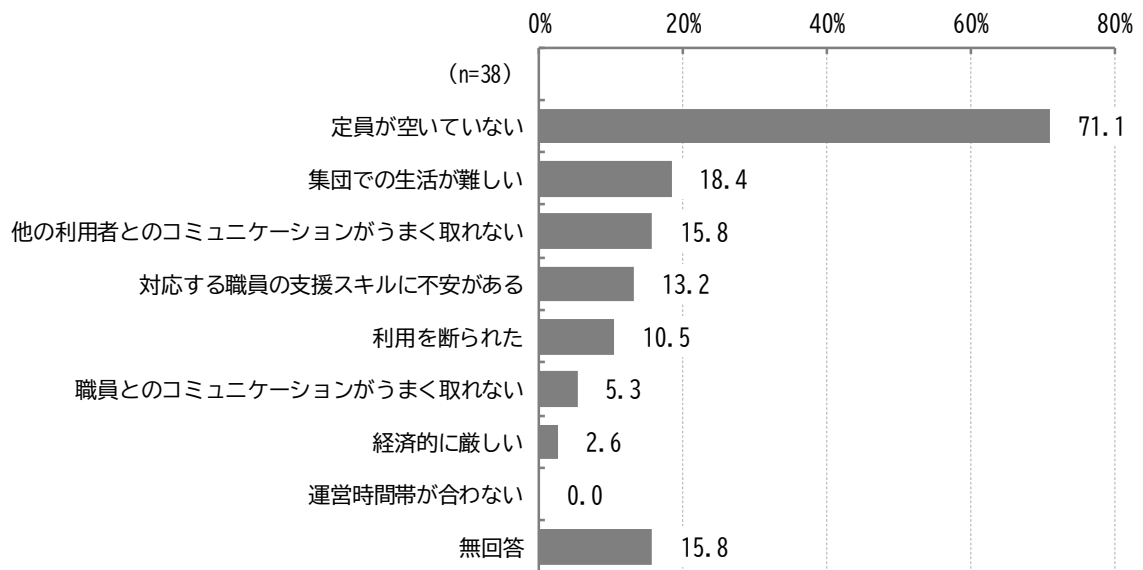
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 46.0%と最も多く、次いで「利用している」が 12.5%、「利用したいが利用できていない」が 11.3%となっている。

(n=337)



#### 【④ 施設入所支援（入所施設）：利用できていない理由】

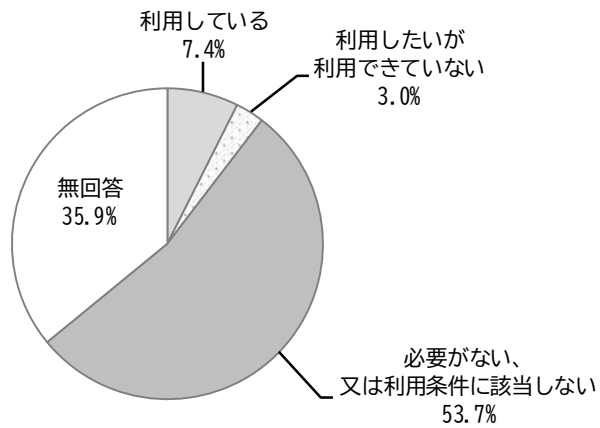
「定員が空いていない」が 71.1%と最も多く、次いで「集団での生活が難しい」が 18.4%、「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が 15.8%となっている。



### 【⑤ 施設入浴サービス：利用状況】

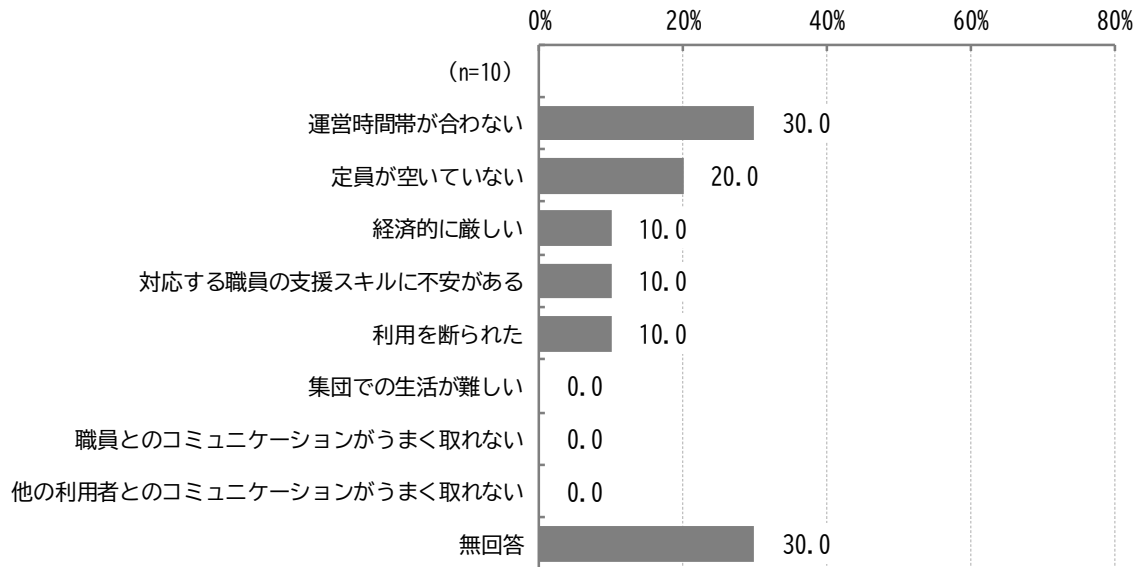
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 53.7%と最も多く、次いで「利用している」が 7.4%、「利用したいが利用できていない」が 3.0%となっている。

(n=337)



### 【⑤ 施設入浴サービス：利用できていない理由】

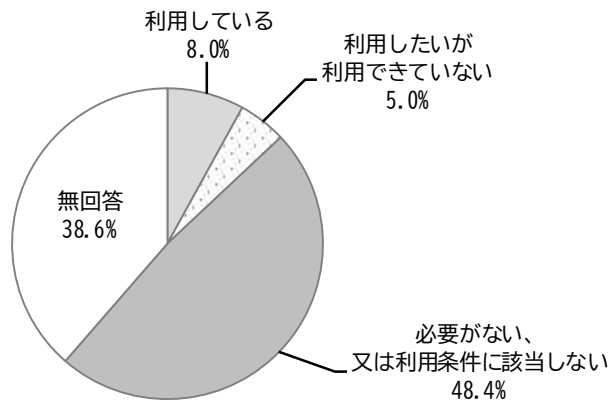
「運営時間帯が合わない」が 30.0%と最も多く、次いで「定員が空いていない」が 20.0%、「経済的に厳しい」、「対応する職員の支援スキルに不安がある」、「利用を断られた」が 10.0%となっている。



### 【⑥ 就労移行支援：利用状況】

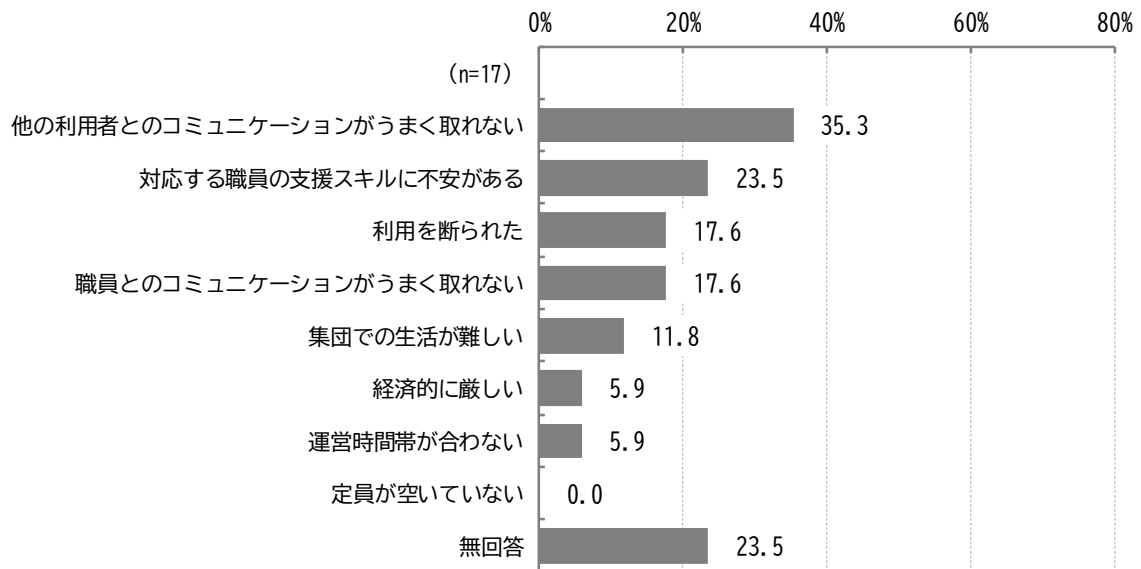
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 48.4%と最も多く、次いで「利用している」が 8.0%、「利用したいが利用できていない」が 5.0%となっている。

(n=337)



### 【⑥ 就労移行支援：利用できていない理由】

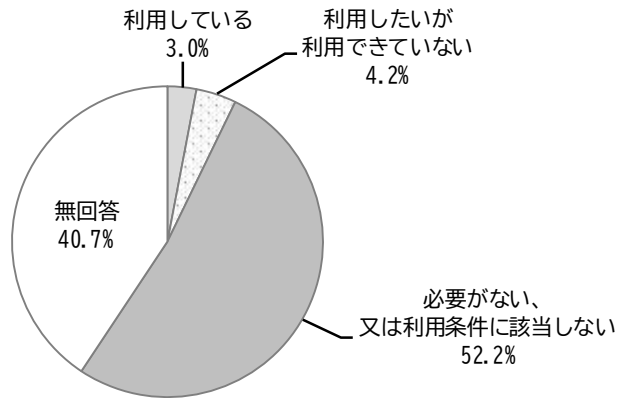
「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が 35.3%と最も多く、次いで「対応する職員の支援スキルに不安がある」が 23.5%、「利用を断られた」と「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が 17.6%となっている。



### 【⑦ 就労継続支援A型：利用状況】

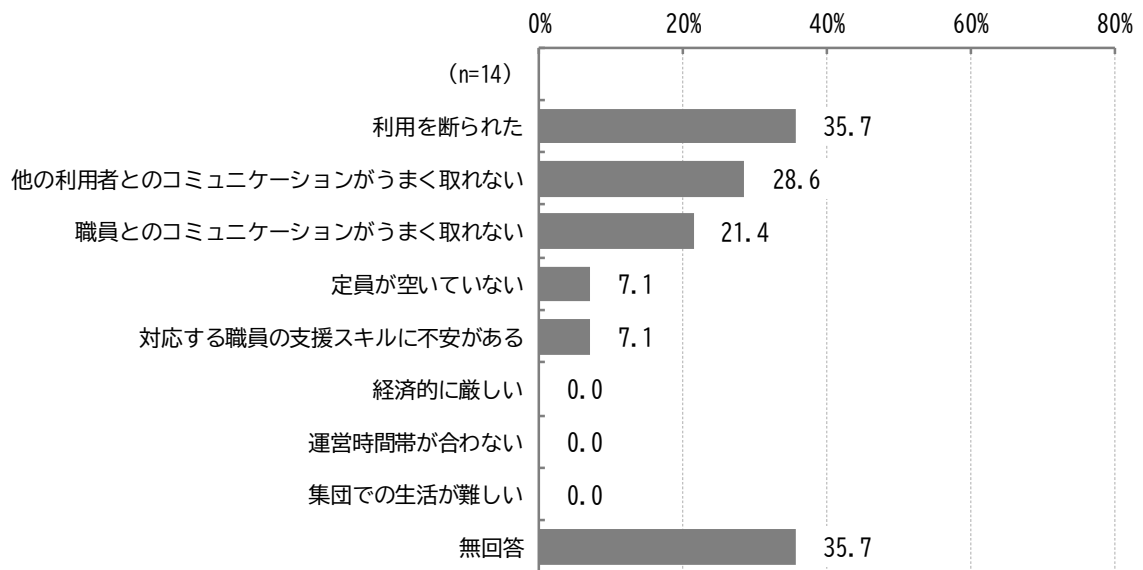
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が52.2%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が4.2%、「利用している」が3.0%となっている。

(n=337)



### 【⑦ 就労継続支援A型：利用できていない理由】

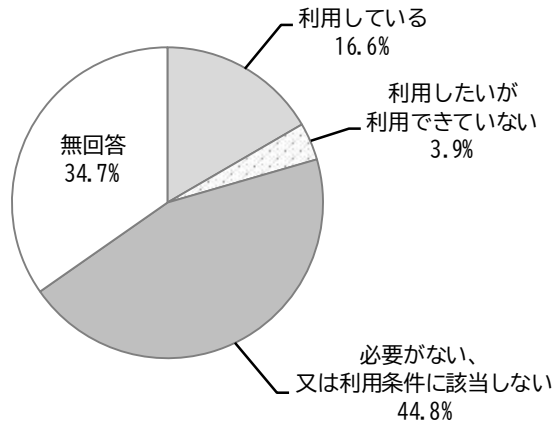
「利用を断られた」が35.7%と最も多く、次いで「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が28.6%、「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が21.4%となっている。



### 【⑧ 就労継続支援B型：利用状況】

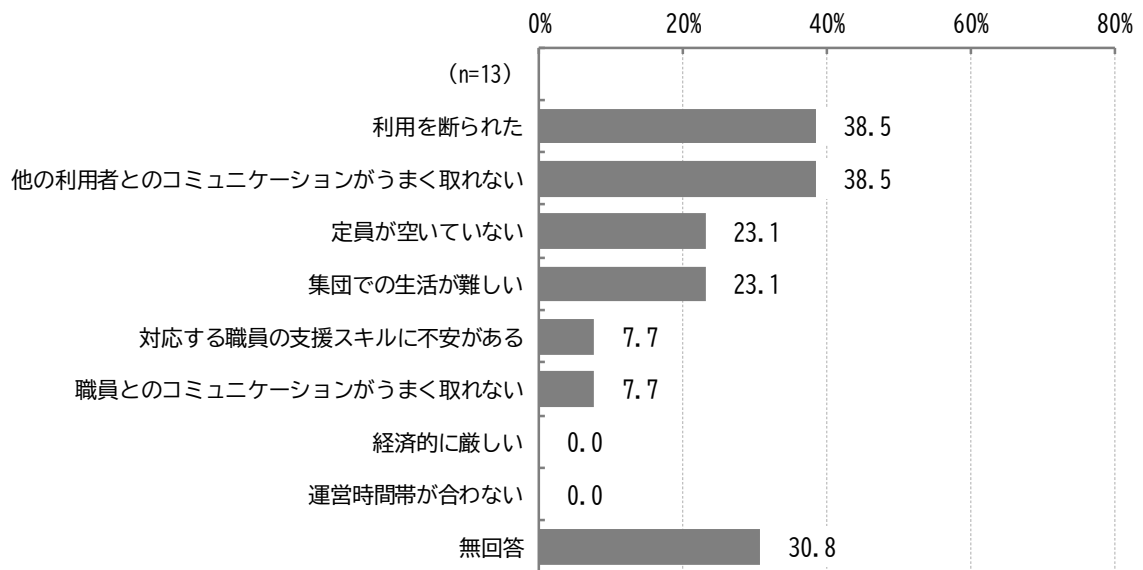
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 44.8%と最も多く、次いで「利用している」が 16.6%、「利用したいが利用できていない」が 3.9%となっている。

(n=337)



### 【⑧ 就労継続支援B型：利用できていない理由】

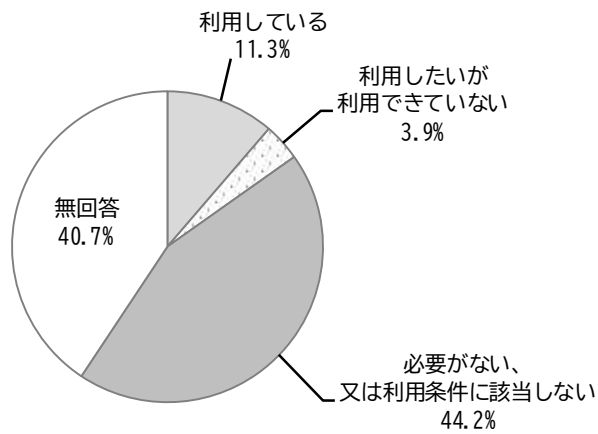
「利用を断られた」と「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が 38.5%と最も多く、次いで「定員が空いていない」と「集団での生活が難しい」が 23.1%となっている。



### 【⑨ 就労定着支援：利用状況】

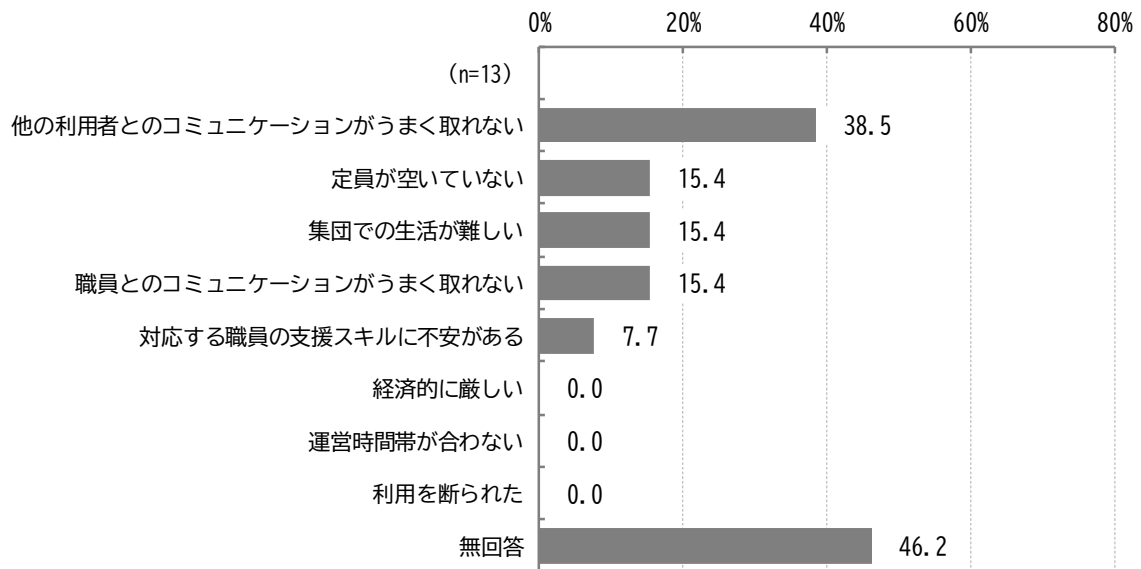
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 44.2%と最も多く、次いで「利用している」が 11.3%、「利用したいが利用できていない」が 3.9%となっている。

(n=337)



### 【⑨ 就労定着支援：利用できていない理由】

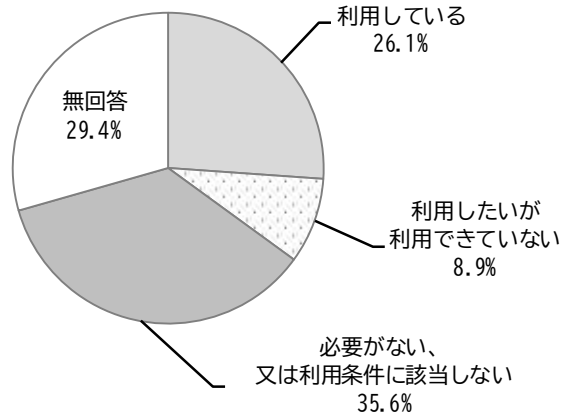
「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が 38.5%と最も多く、次いで「定員が空いていない」、「集団での生活が難しい」、「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が 15.4%となっている。



### 【⑩ 移動支援：利用状況】

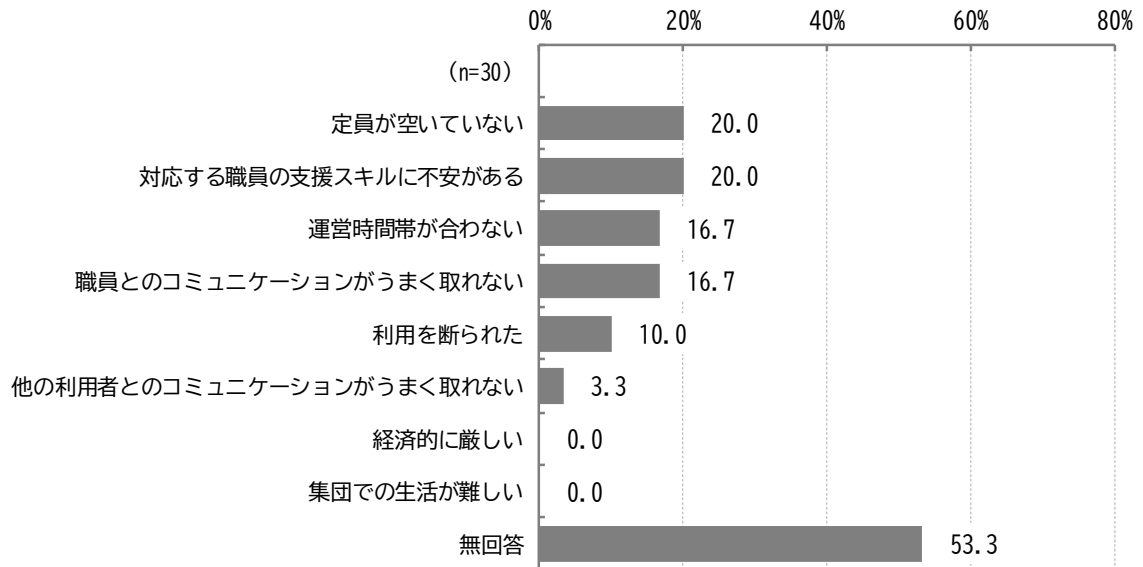
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 35.6%と最も多く、次いで「利用している」が 26.1%、「利用したいが利用できていない」が 8.9%となっている。

(n=337)



### 【⑩ 移動支援：利用できていない理由】

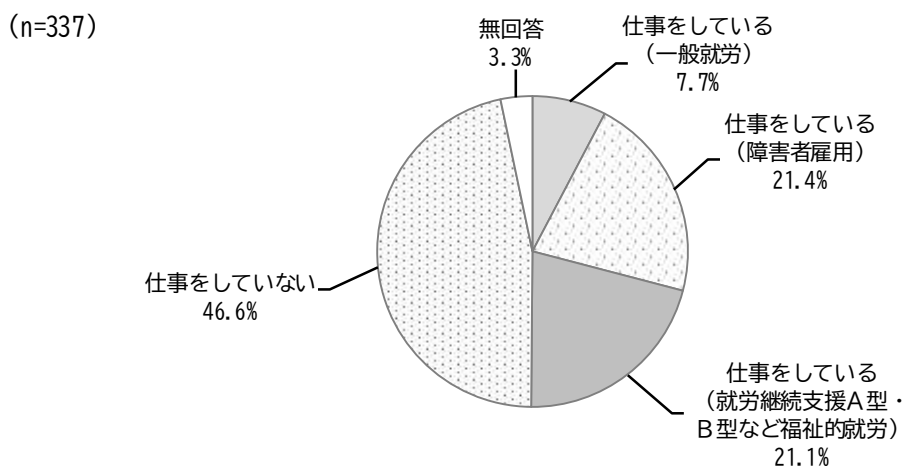
「定員が空いていない」と「対応する職員の支援スキルに不安がある」が 20.0%と最も多く、次いで「運営時間帯が合わない」と「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が 16.7%となっている。



## 6. 就労状況について

問24 あなた（あて名のご本人）は現在、仕事をしていますか。（○は1つ）

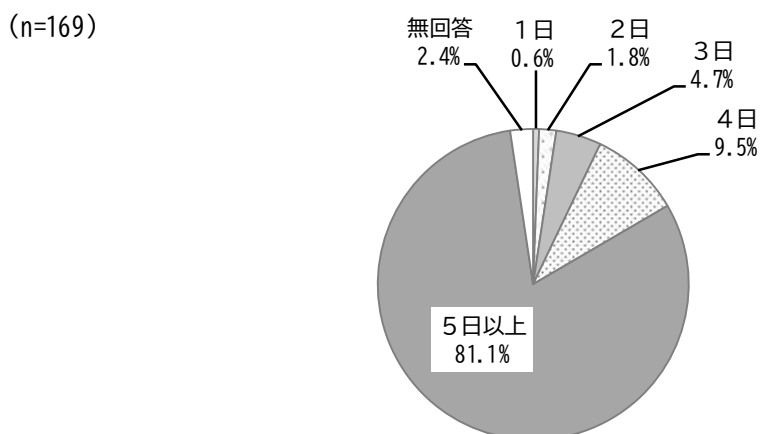
「仕事をしていない」が46.6%と最も多く、次いで「仕事をしている（障害者雇用）」が21.4%、「仕事をしている（就労継続支援A型・B型など福祉的就労）」が21.1%となっている。



※問25～28は、問24で選択肢「1. 仕事をしている（一般就労）」～「3. 仕事をしている（就労継続支援A型・B型など福祉的就労）」のいずれかを選択した人のみ回答

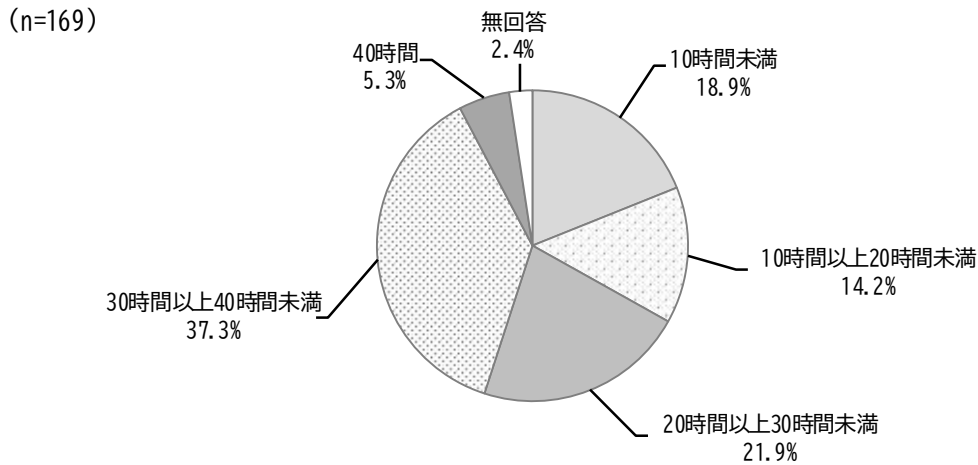
問25 1週間の就労日数を教えてください。（○は1つ）

「5日以上」が81.1%と最も多く、次いで「4日」が9.5%、「3日」が4.7%となっている。



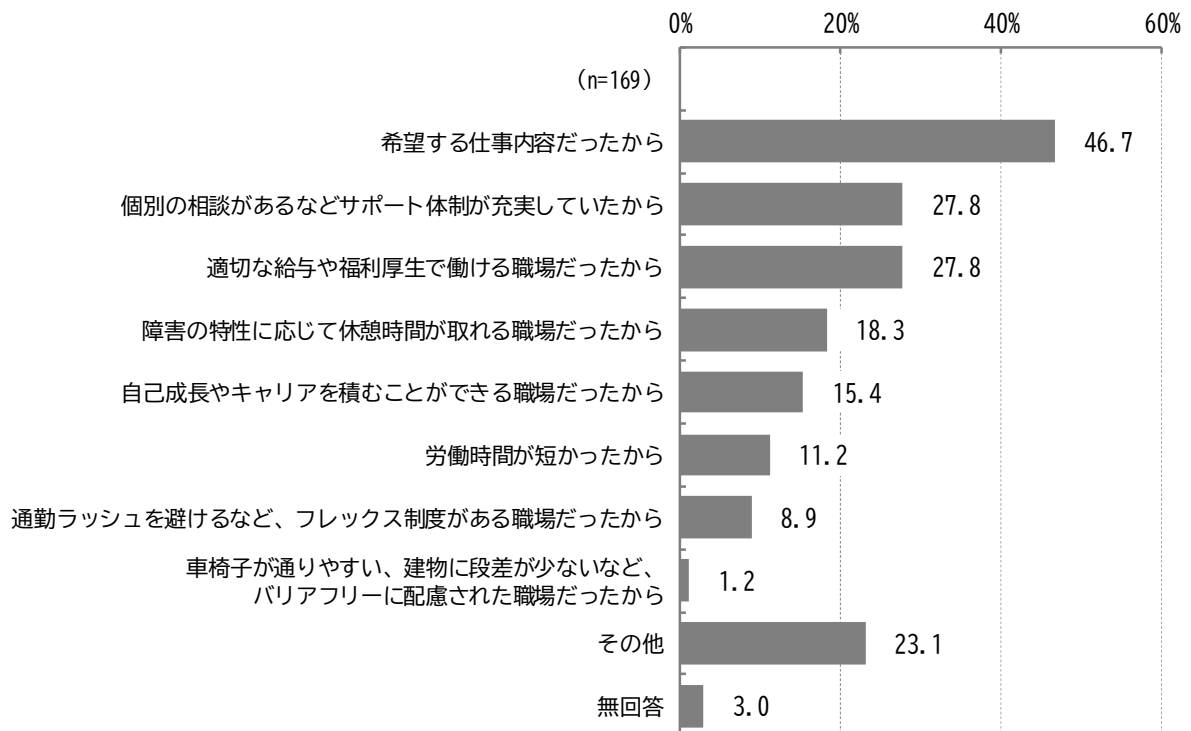
問26 1週間の労働時間を教えてください。休憩時間は除きます。(○は1つ)

「30 時間以上 40 時間未満」が 37.3%と最も多く、次いで「20 時間以上 30 時間未満」が 21.9%、「10 時間未満」が 18.9%となっている。



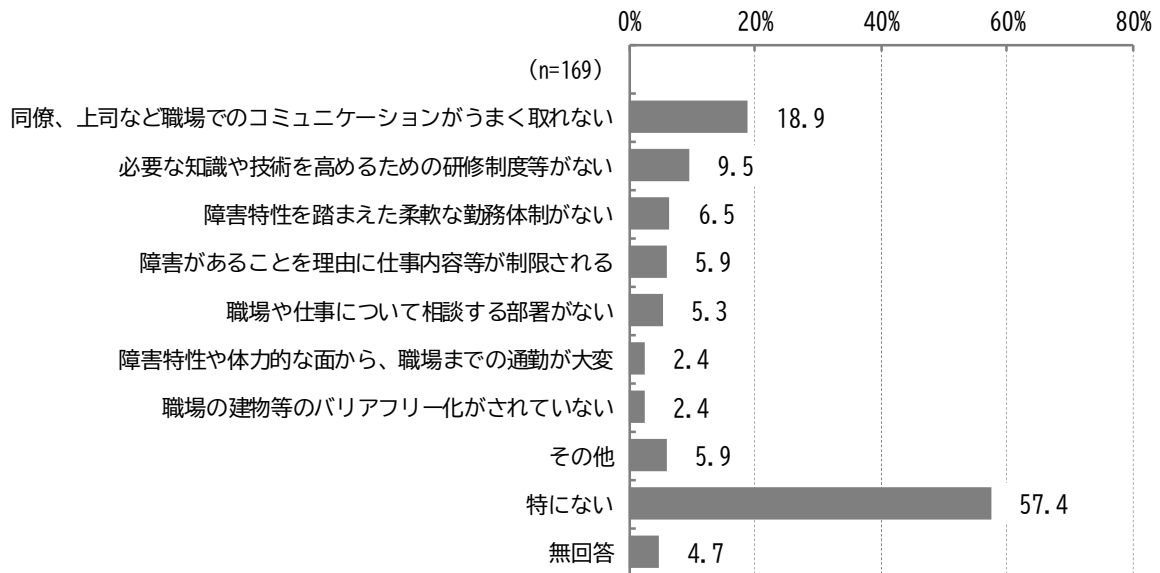
問27 現在の仕事を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

「希望する仕事内容だったから」が 46.7%と最も多く、次いで「個別の相談があるなどサポート体制が充実していたから」と「適切な給与や福利厚生で働ける職場だったから」が 27.8%となっている。



問28 あなた（あて名のご本人）が仕事上で困っていることを教えてください。  
（〇はいくつでも）

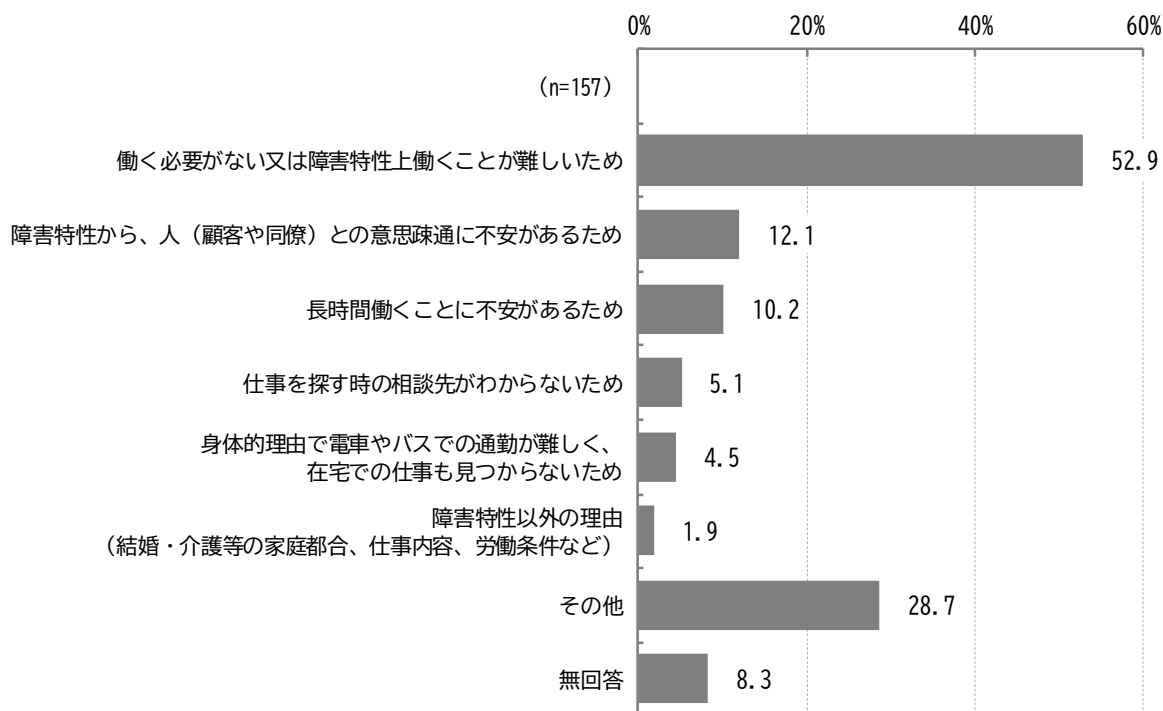
「特にない」が57.4%と最も多く、次いで「同僚、上司など職場でのコミュニケーションがうまく取れない」が18.9%、「必要な知識や技術を高めるための研修制度等がない」が9.5%となっている。



※問 29 と問 30 は、問 24 で「仕事をしていない」を選択した人のみ回答

問29 現在、仕事をしていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「働く必要がない又は障害特性上働くことが難しいため」が 52.9%と最も多く、次いで「その他」が 28.7%、「障害特性から、人（顧客や同僚）との意思疎通に不安があるため」が 12.1%となっている。

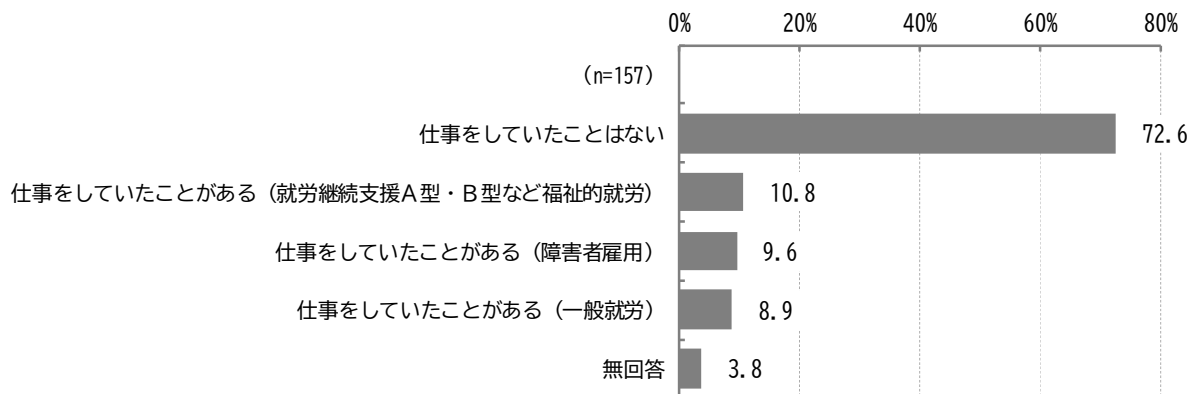


#### 【主なその他の内容】

内容	件数
障害が重度で就労できないため	14
学生であるため	7
病気やけが等で療養中のため	7
施設等に入居しているため	5
現在、求職中である	3
その他	8

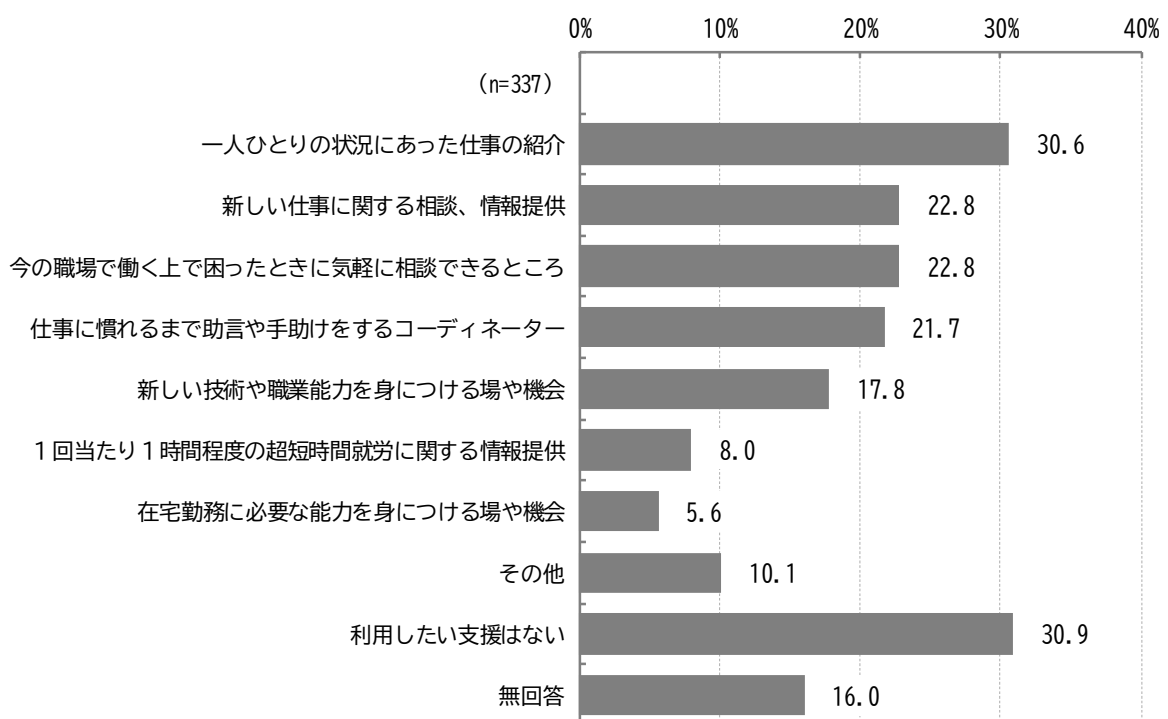
問30 過去に仕事をしていたことがありますか。(〇はいくつでも)

「仕事をしていたことはない」が72.6%と最も多く、次いで「仕事をしていたことがある（就労継続支援A型・B型など福祉的就労）」が10.8%、「仕事をしていたことがある（障害者雇用）」が9.6%となっている。



問31 あなた（あて名のご本人）が新しい仕事に就いたり仕事を継続したりするために、利用したい支援を教えてください。(〇はいくつでも)

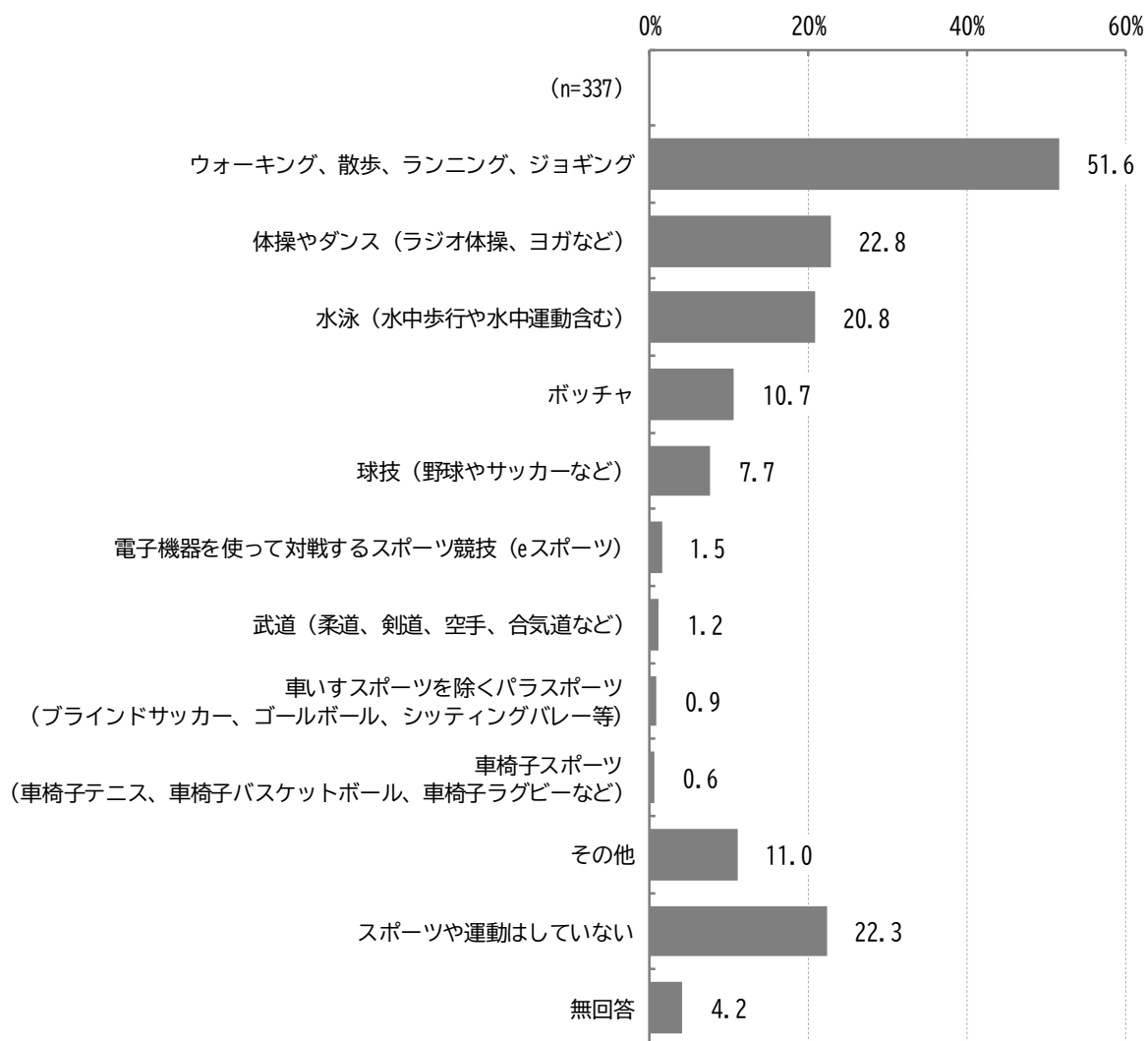
「利用したい支援はない」が30.9%と最も多く、次いで「一人ひとりの状況にあった仕事の紹介」が30.6%、「新しい仕事に関する相談、情報提供」と「今の職場で働く上で困ったときに気軽に相談できる場所」が22.8%となっている。



## 7. 余暇活動・文化芸術活動について

問32 あなた（あて名のご本人）がこの1年間に行ったスポーツや運動はありますか。  
（〇はいくつでも）

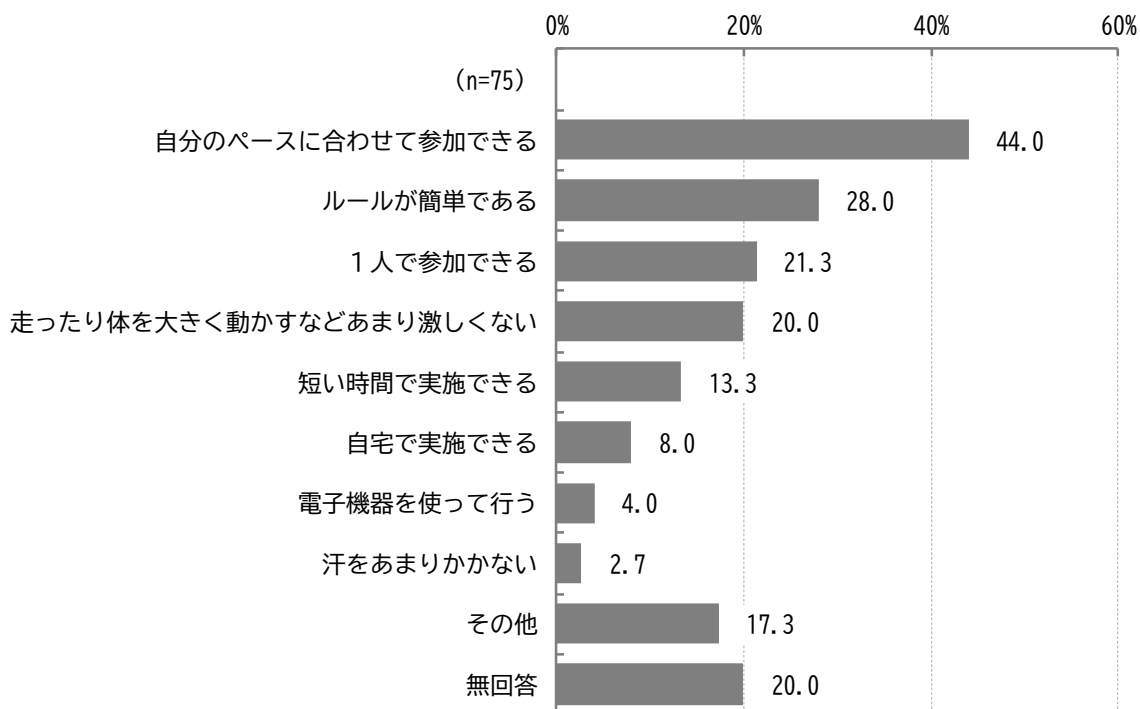
「ウォーキング、散歩、ランニング、ジョギング」が51.6%と最も多く、次いで「体操やダンス（ラジオ体操、ヨガなど）」が22.8%、「スポーツや運動はしていない」が22.3%となっている。



※問 33 は、問 32 で「スポーツや運動はしていない」を選択した人のみ回答

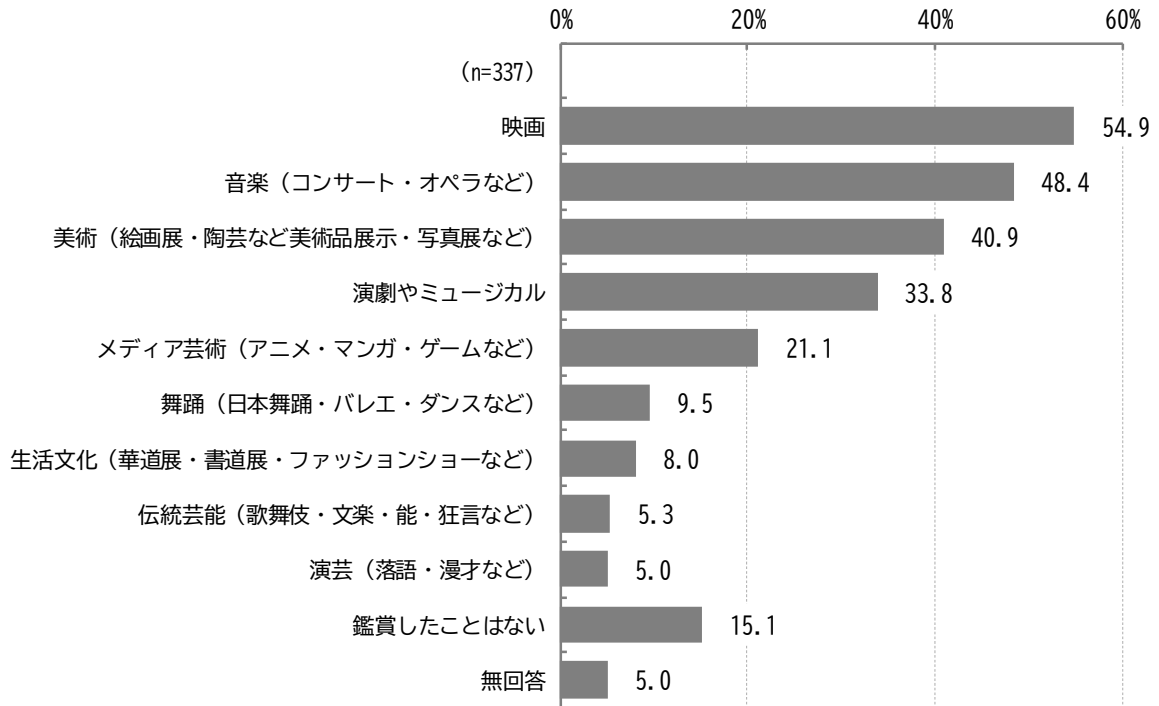
問33 どのようなスポーツや運動に参加したいですか。(〇はいくつでも)

「自分のペースに合わせて参加できる」が 44.0%と最も多く、次いで「ルールが簡単である」が 28.0%、「1人で参加できる」が 21.3%となっている。



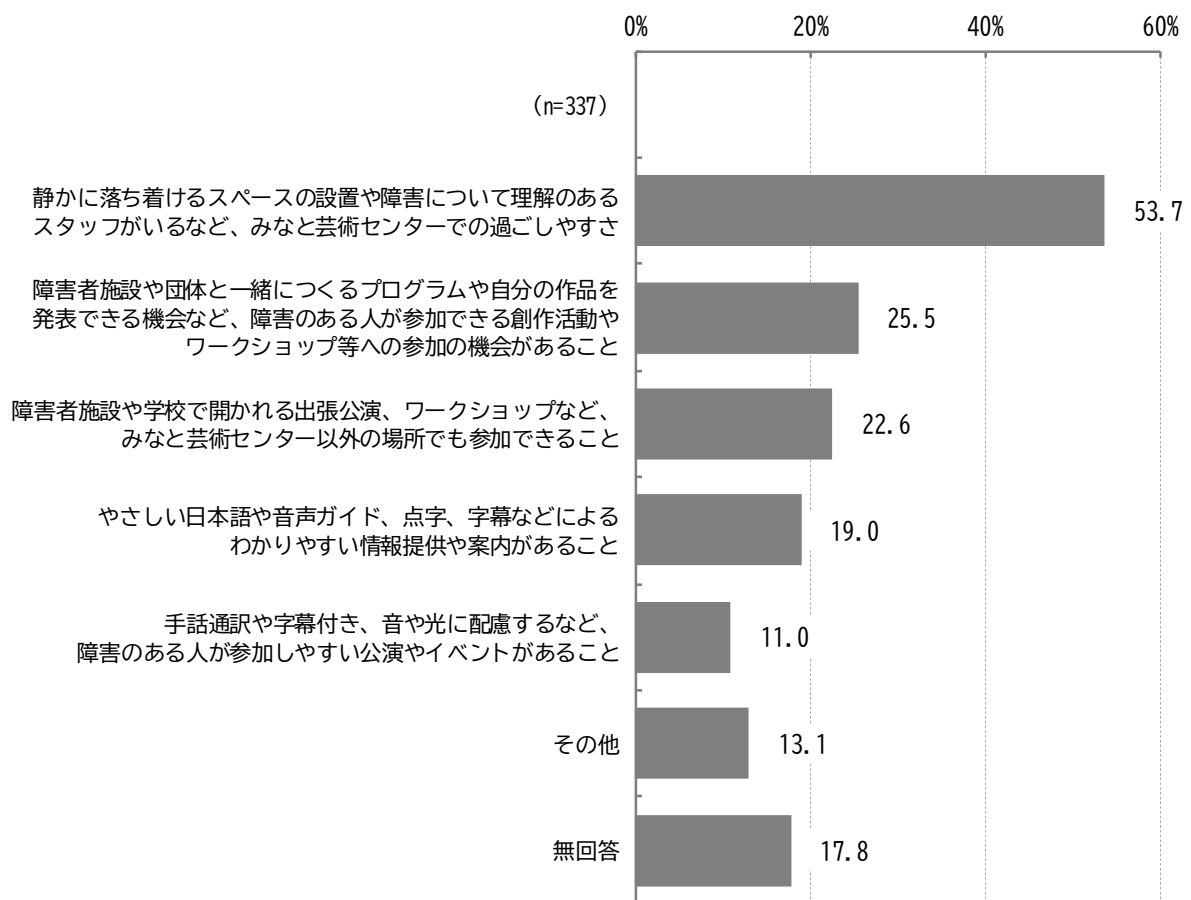
問34 あなた（あて名のご本人）がこれまでに、自宅以外の場所で鑑賞や活動したことがある文化芸術のジャンルを教えてください。（〇はいくつでも）

「映画」が54.9%と最も多く、次いで「音楽（コンサート・オペラなど）」が48.4%、「美術（絵画展・陶芸など美術品展示・写真展など）」が40.9%となっている。



問35 港区立みなと芸術センター（令和9年度開館予定）では、障害のある方も安心して利用し、文化芸術を楽しんだり、参加したりできるようにしていきたいと考えています。今後の準備に生かすため、あなた（あて名のご本人）が「このようなことがあれば嬉しい」「ぜひ取り組んでほしい」と思うことを教えてください。（〇はいくつでも）

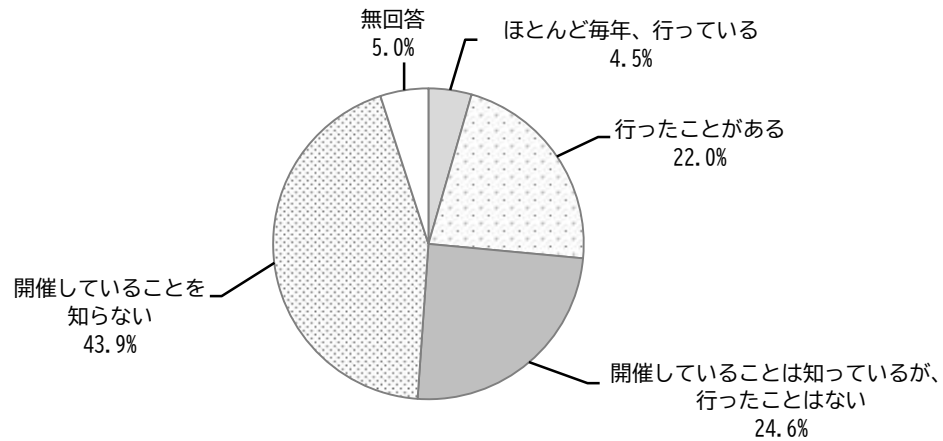
「静かに落ち着けるスペースの設置や障害について理解のあるスタッフがいるなど、みなと芸術センターでの過ごしやすさ」が53.7%と最も多く、次いで「障害者施設や団体と一緒に作るプログラムや自分の作品を発表できる機会など、障害のある人が参加できる創作活動やワークショップ等への参加の機会があること」が25.5%、「障害者施設や学校で開かれる出張公演、ワークショップなど、みなと芸術センター以外の場所でも参加できること」が22.6%となっている。



問36 区では、年1回(約1か月間)、区内美術館等において、障害者が制作した絵画等の作品を展示する「地域で共に生きる障害児・障害者アート展」を開催しています。このイベントに行ったことはありますか。(○は1つ)

「開催していることを知らない」が43.9%と最も多く、次いで「開催していることは知っているが、行ったことはない」が24.6%、「行ったことがある」が22.0%となっている。

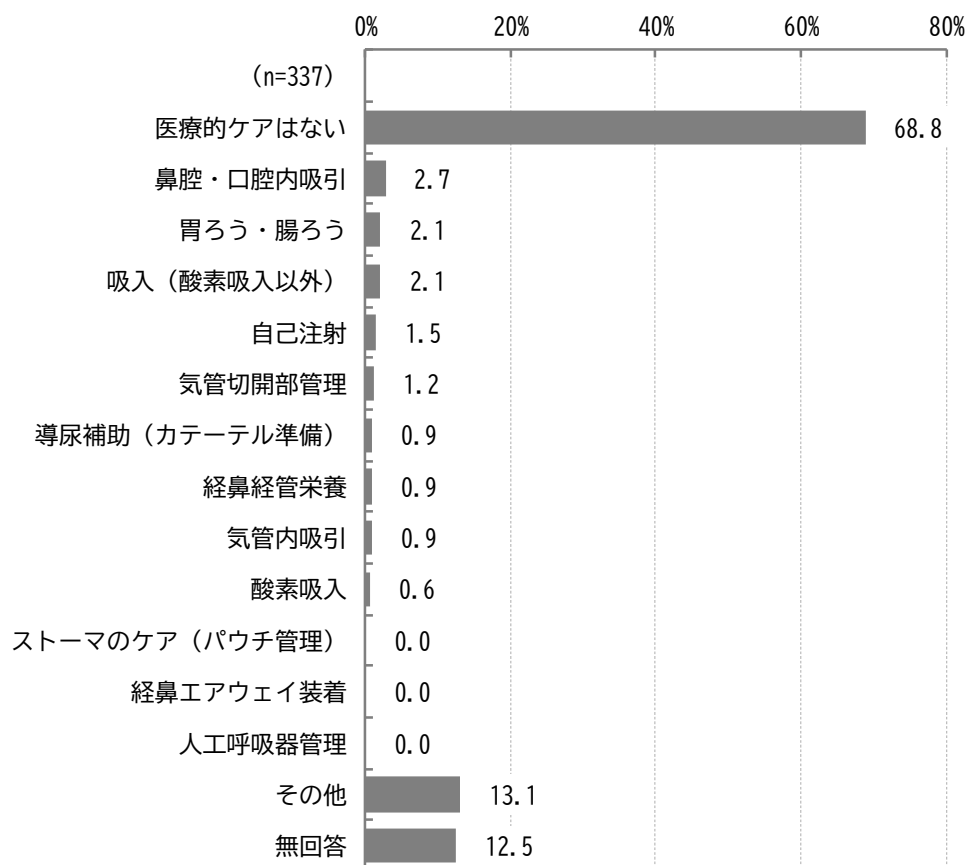
(n=337)



## 8. 医療的ケアの状況について

問37 あなた（あて名のご本人）が日常的に必要な医療的ケアを教えてください。  
（〇はいくつでも）

「医療的ケアはない」が68.8%と最も多く、次いで「その他」が13.1%、「鼻腔・口腔内吸引」が2.7%となっている。



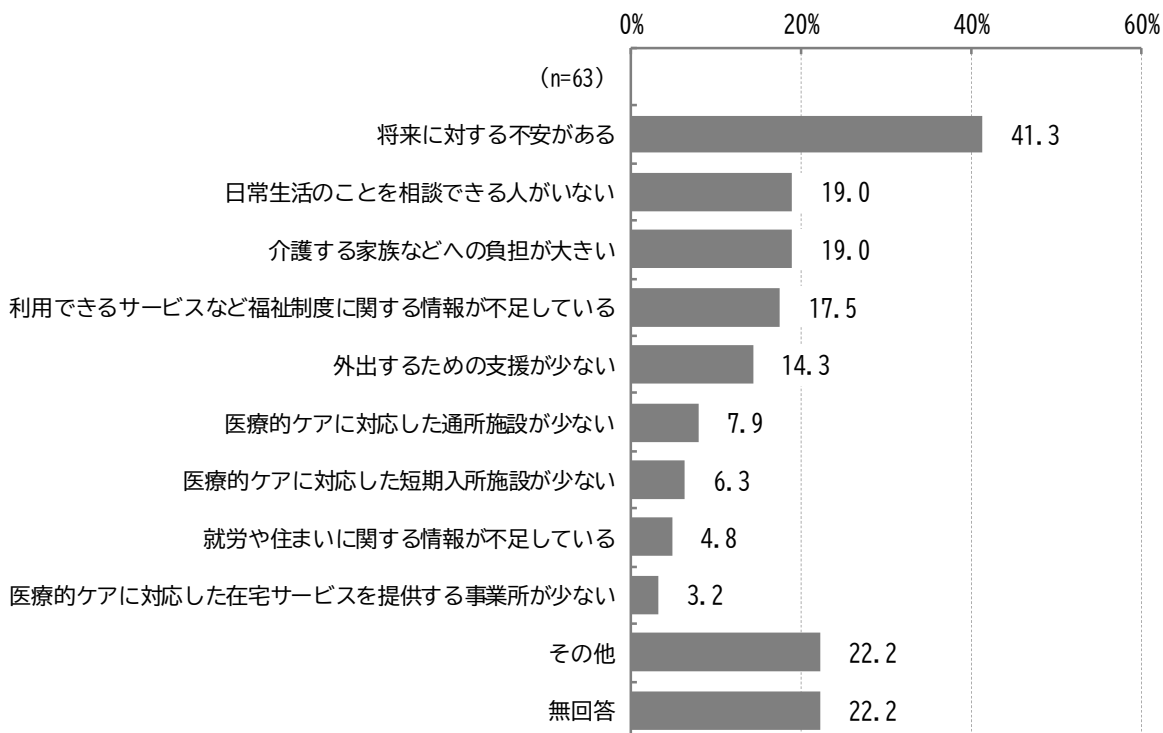
### 【主なその他の内容】

内容	件数
服薬	11
てんかんの治療等	9
定期的な通院や検査、リハビリ	7
その他	14

※問 38 は、問 37 で選択肢「2. ストーマのケア（パウチ管理）」～「14. その他」のいずれかを選択した人のみ回答

問38 医療的ケアを受ける中で、日常生活における困りごとを教えてください。  
 (〇はいくつでも)

「将来に対する不安がある」が41.3%と最も多く、次いで「その他」が22.2%、「日常生活のことを相談できる人がいない」と「介護する家族などへの負担が大きい」が19.0%となっている。



【主なその他の内容】

内容	件数
特に困っていることはない	8
その他	4

※問 39 は、問 38 で選択肢「1. 医療的ケアに対応した通所施設が少ない」～「9. 将来に対する不安がある」のいずれかを選択した人のみ回答

問39 日常生活における困りごとについて、具体的な内容を教えてください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	将来に対する不安がある	10
2	利用できるサービスなど福祉制度に関する情報が不足している	1
3	介護する家族などへの負担が大きい	2
4	医療的ケアに対応した通所施設が少ない	5
5	外出するための支援が少ない	5
6	日常生活のことを相談できる人がいない	2
7	医療的ケアに対応した在宅サービスを提供する事業所が少ない	1
8	その他	1

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

#### 〔1 将来に対する不安がある〕

- もし自分1人になったとき、1人では生活できない不安。
- 自分たちの親の高齢化、親の死後、知的障害のある体の先行きが不安です。

#### 〔2 利用できるサービスなど福祉制度に関する情報が不足している〕

- 障害者が過ごせる場所が分からない。割引制度があっても重度障害者には行ける場所が限られてしまう。

#### 〔3 介護する家族などへの負担が大きい〕

- ほとんどの日常生活において介助は必要。
- 透析が週3日で4時間、両親が付き添っているがくたびれる。

#### 〔4 医療的ケアに対応した通所施設が少ない〕

- 体のために、個人的にPT訓練を入所施設でもしてほしい。
- 通所リハビリを受けられるクリニックが近くになく、障害者を見てくれる近所のかかりつけ医がいない為、入浴介助が大変。食事の介助を任せられるヘルパーがいない、移動の際の介助タクシーの予約が取れない、歩道に段差があったり凸凹だったり狭くて車いすの走行が難しい。

#### **〔5 外出するための支援が少ない〕**

- 移動手段がわからない、気軽に相談できる場所、携帯など設定方法のやり方のサービス。
- 移動支援、同行支援が受けられない、緊急時に駆けつけてくれる、相談できるところが少ない。

#### **〔6 日常生活のことを相談できる人がいない〕**

- 仲間作りが出来るような居場所が少ない為、孤立してしまう。
- 朝がつらくトイレが間に合わない！尿漏れしてしまう！1人暮らしの中に問題発生！

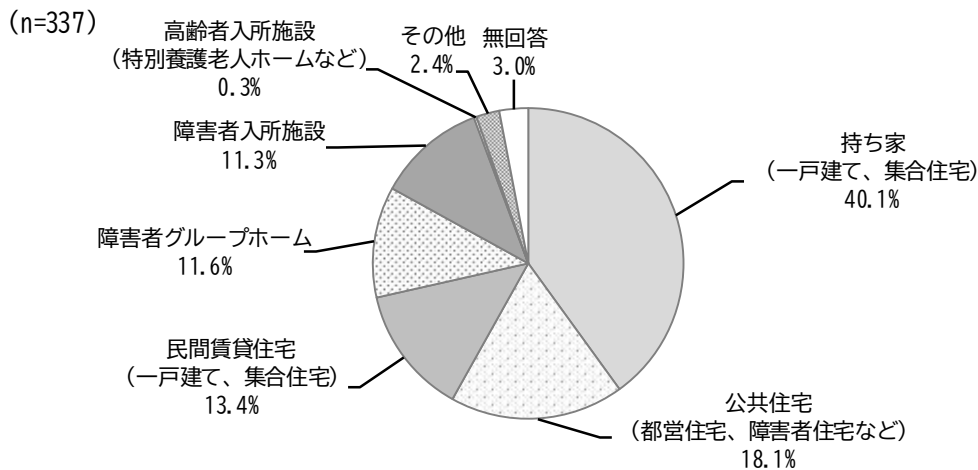
#### **〔7 医療的ケアに対応した在宅サービスを提供する事業所が少ない〕**

- 身体障害者に対する理解のあるグループホーム、移動支援、計画相談員が見つからないこと。

## 9. 居住の場について

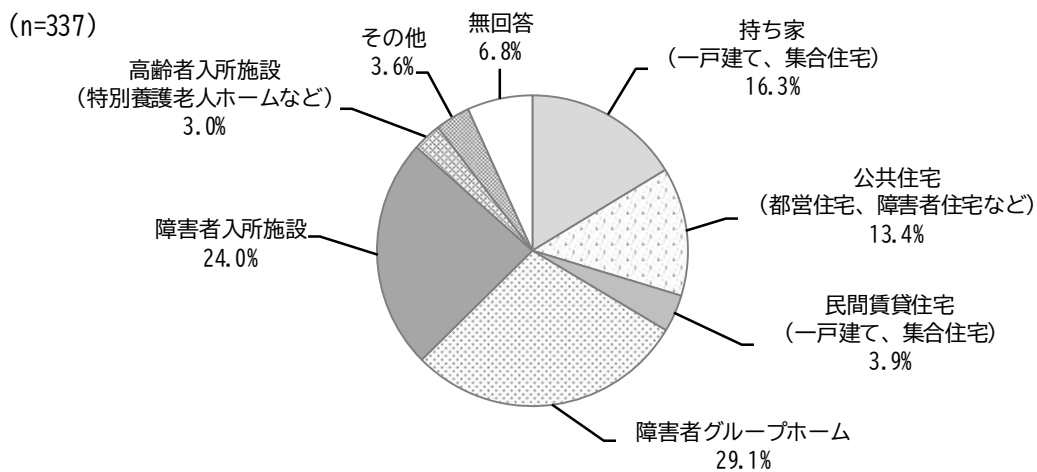
問40 あなた（あて名のご本人）が現在、どのような場所に住んでいるか教えてください。（○は1つ）

「持ち家（一戸建て、集合住宅）」が40.1%と最も多く、次いで「公共住宅（都営住宅、障害者住宅など）」が18.1%、「民間賃貸住宅（一戸建て、集合住宅）」が13.4%となっている。



問41 あなた（あて名のご本人）が将来的に、希望する居住の場を教えてください。（○は1つ）

「障害者グループホーム」が29.1%と最も多く、次いで「障害者入所施設」が24.0%、「持ち家（一戸建て、集合住宅）」が16.3%となっている。

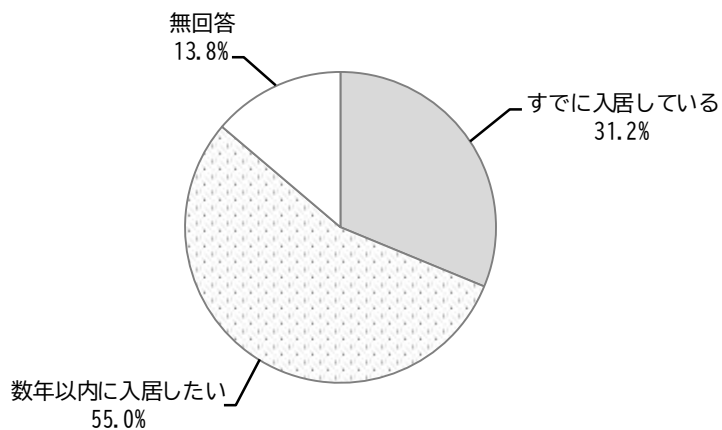


※問 42 は、問 41 で選択肢「4. 障害者グループホーム」～「6. 高齢者入所施設（特別養護老人ホームなど）」のいずれかを選択した人のみ回答

問42 入居を希望する時期はいつですか。（○は1つ）

「数年以内に入居したい」が 55.0%、「すでに入居している」が 31.2%となっている。

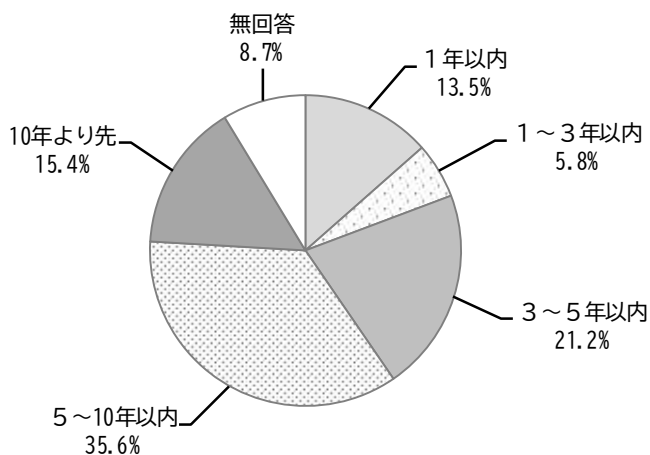
(n=189)



#### 【何年以内に入居したいか】

「5～10年以内」が 35.6%と最も多く、次いで「3～5年以内」が 21.2%、「10年より先」が 15.4%となっている。

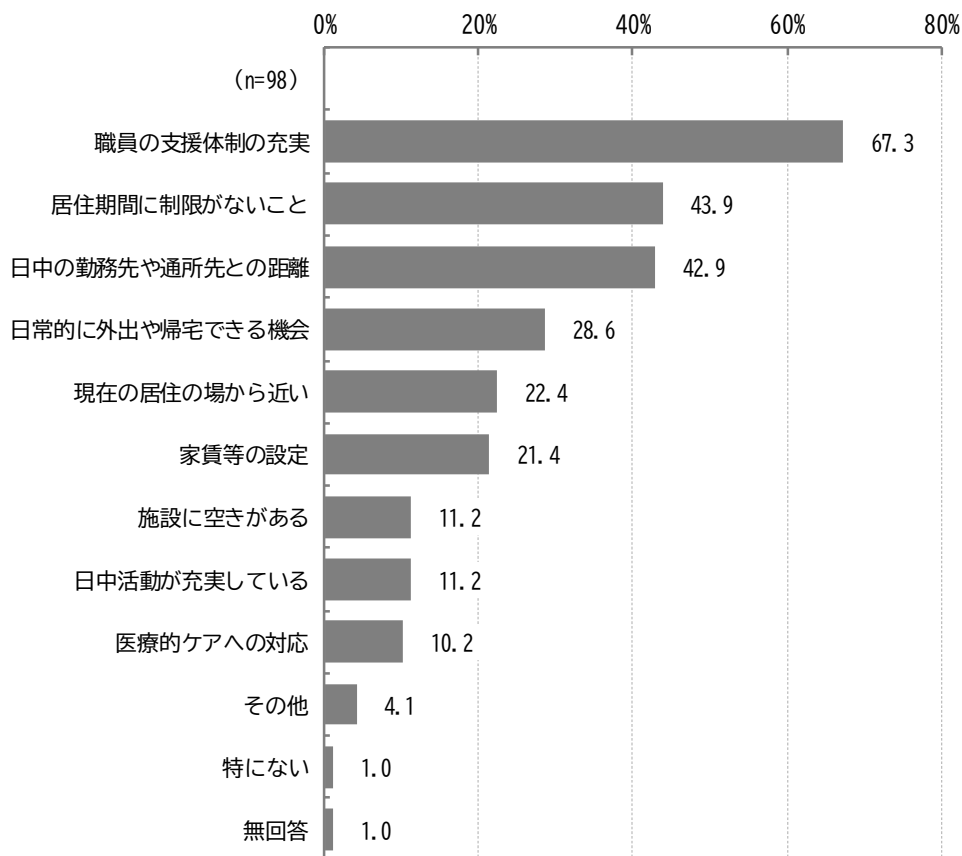
(n=104)



※問 43 は、問 41 で「障害者グループホーム」を選択した人のみ回答

問43 グループホームに居住する（居住を継続する）場合、どのような点を希望又は重視しますか。（〇は3つまで）

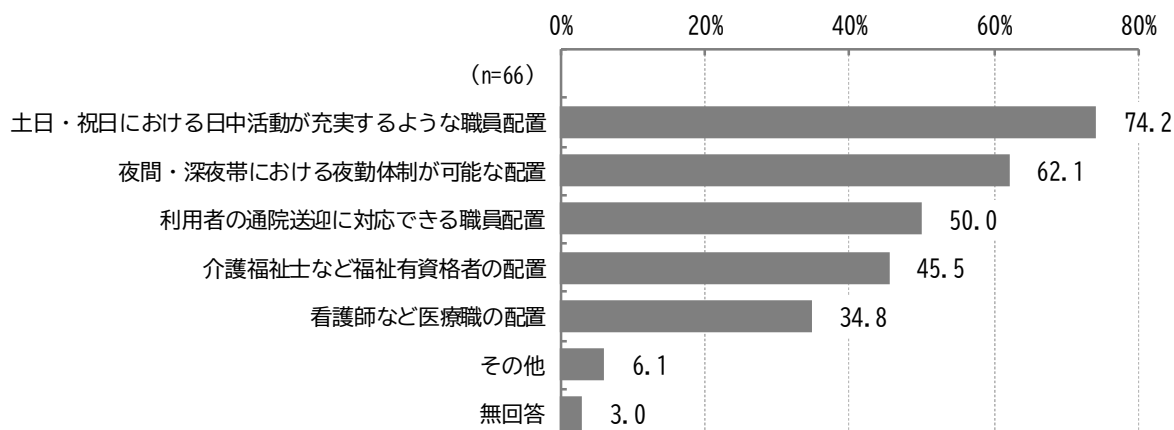
「職員の支援体制の充実」が67.3%と最も多く、次いで「居住期間に制限がないこと」が43.9%、「日中の勤務先や通所先との距離」が42.9%となっている。



※問 44 は、問 43 で「職員の支援体制の充実」を選択した人のみ回答

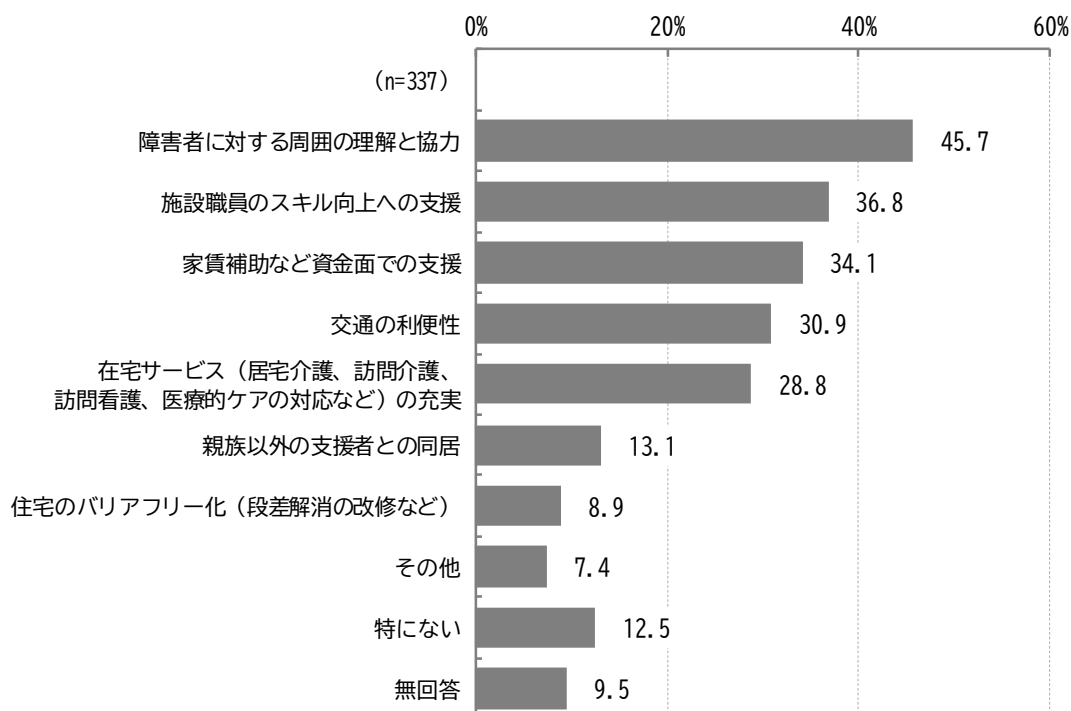
問44 希望する「職員の支援体制の充実」の具体的な内容を教えてください。(〇はいくつでも)

「土日・祝日における日中活動が充実するような職員配置」が 74.2%と最も多く、次いで「夜間・深夜帯における夜勤体制が可能な配置」が 62.1%、「利用者の通院送迎に対応できる職員配置」が 50.0%となっている。



問45 あなた（あて名のご本人）が希望する居住の場において必要な支援や条件を教えてください。(〇はいくつでも)

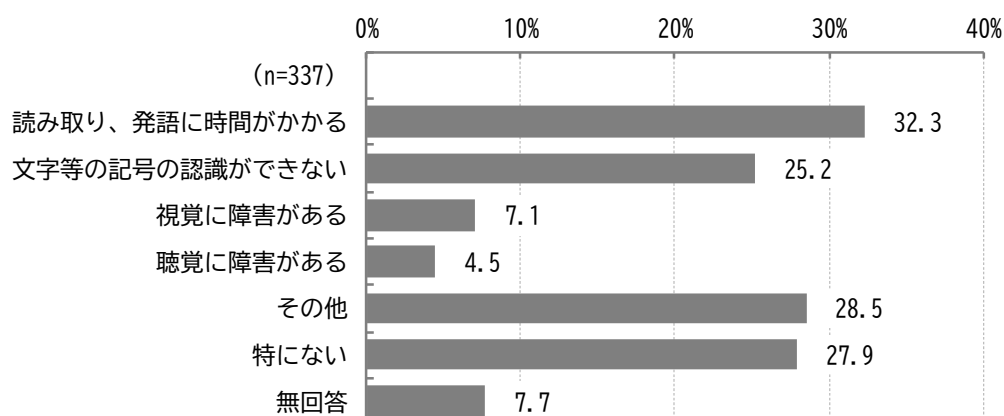
「障害者に対する周囲の理解と協力」が 45.7%と最も多く、次いで「施設職員のスキル向上への支援」が 36.8%、「家賃補助など資金面での支援」が 34.1%となっている。



## 10. コミュニケーション手段の確保について

問46 あなた（あて名のご本人）が他者とコミュニケーションをとるに当たり支障となる障害を教えてください。（〇はいくつでも）

「読み取り、発語に時間がかかる」が32.3%と最も多く、次いで「その他」が28.5%、「特にない」が27.9%となっている。

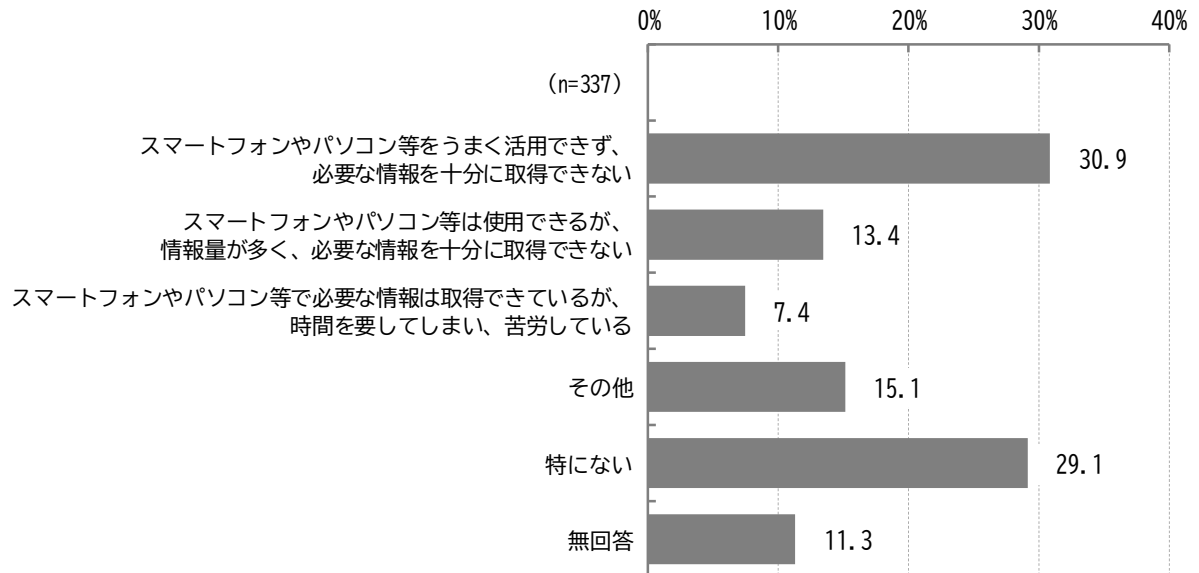


### 【主なその他の内容】

内容	件数
発語がない、又は困難である	24
障害特性のためコミュニケーションをとることが困難である	19
言葉や会話内容の理解が難しい	18
読み書きや聞き取り等が難しい	7
他人の感情等を読み取ることが難しい	3
その他	17

問47 あなた（あて名のご本人）が区から必要な情報を取得する際に困った経験があれば教えてください。（〇はいくつでも）

「スマートフォンやパソコン等をうまく活用できず、必要な情報を十分に取得できない」が30.9%と最も多く、次いで「特になし」が29.1%、「その他」が15.1%となっている。

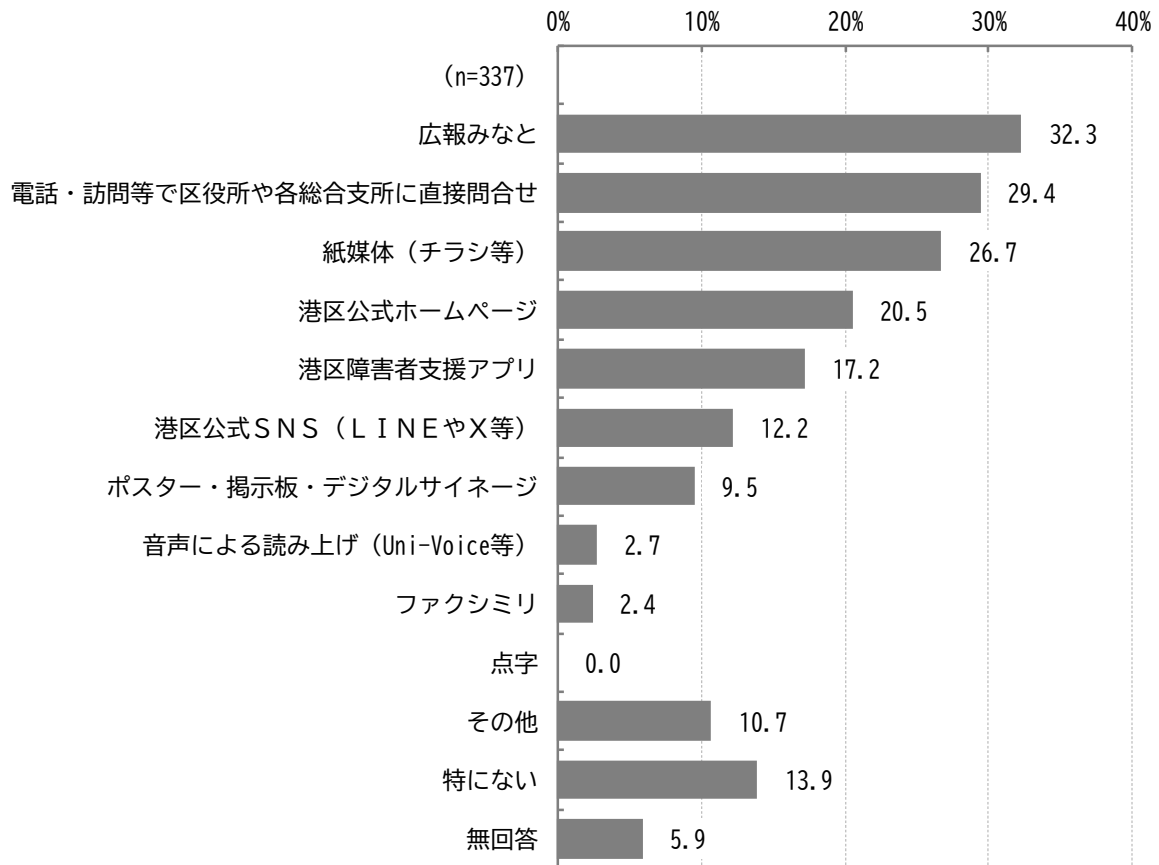


【主なその他の内容】

内容	件数
障害特性のため、情報の取得・理解が難しい	26
電子機器の利用が難しい	8
その他	10

問48 あなた（あて名のご本人）が区の発信する情報やお知らせを受け取るために、希望する媒体・手段を教えてください。（〇はいくつでも）

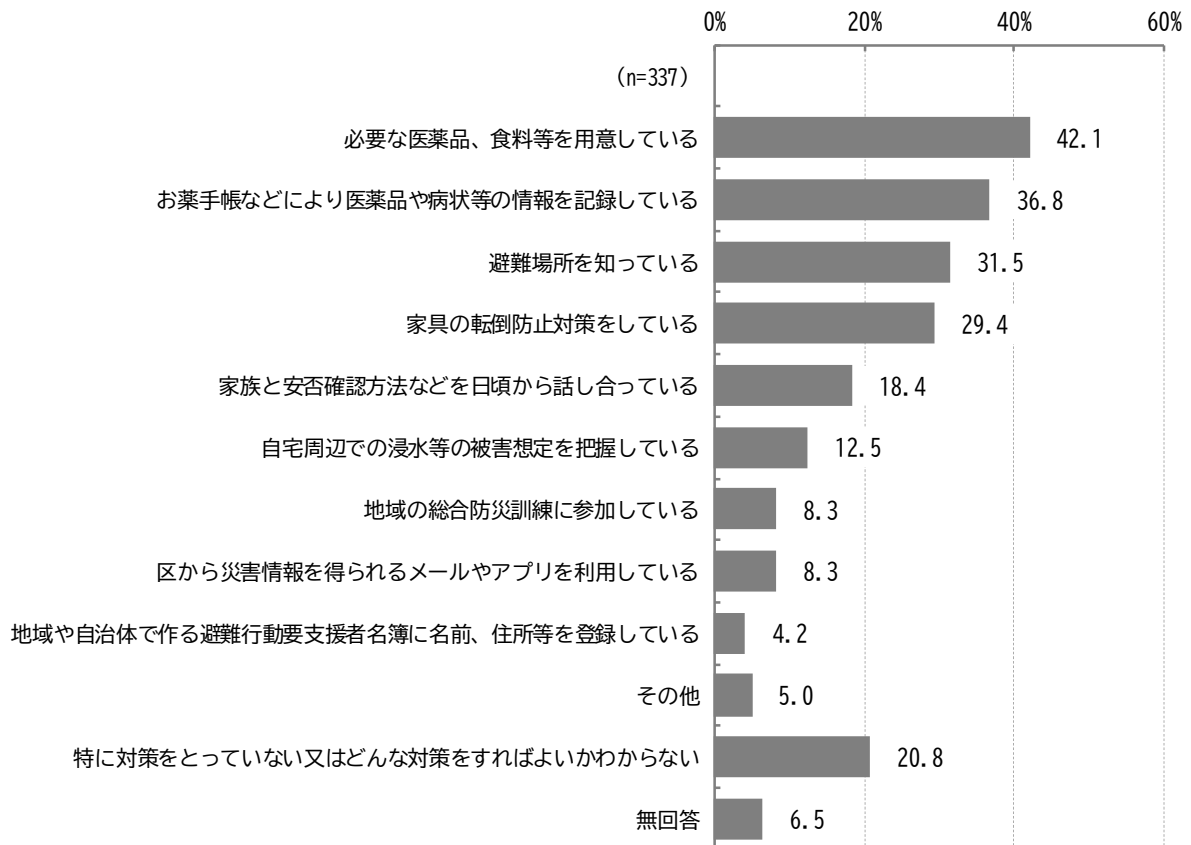
「広報みなと」が32.3%と最も多く、次いで「電話・訪問等で区役所や各総合支所に直接問合せ」が29.4%、「紙媒体（チラシ等）」が26.7%となっている。



## 11. 災害に対する備えと災害時の行動について

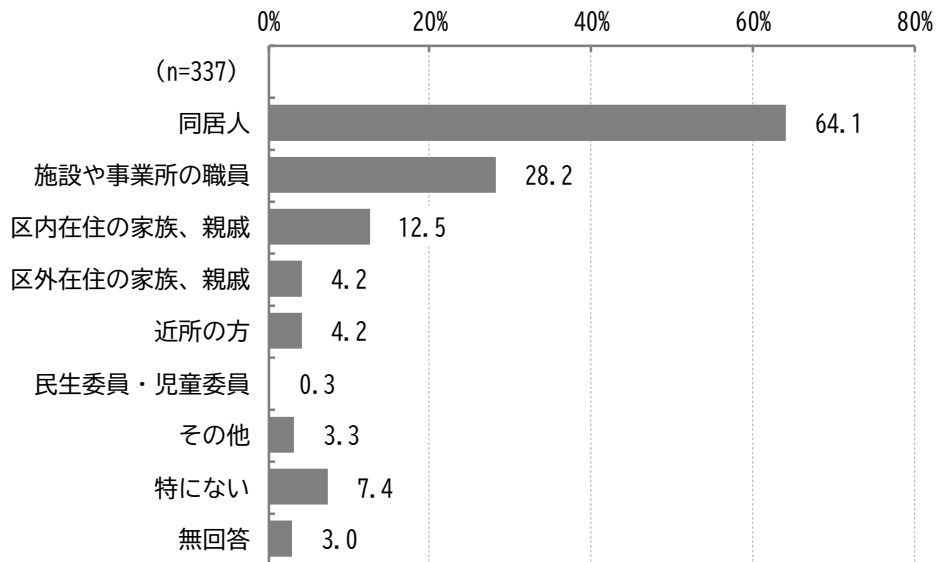
問49 災害が発生したときは、ご自宅での在宅避難が基本となりますが、あなた（あて名のご本人）は日頃から災害に備えて特別な対策を取っていますか。（〇はいくつでも）

「必要な医薬品、食料等を用意している」が42.1%と最も多く、次いで「お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している」が36.8%、「避難場所を知っている」が31.5%となっている。



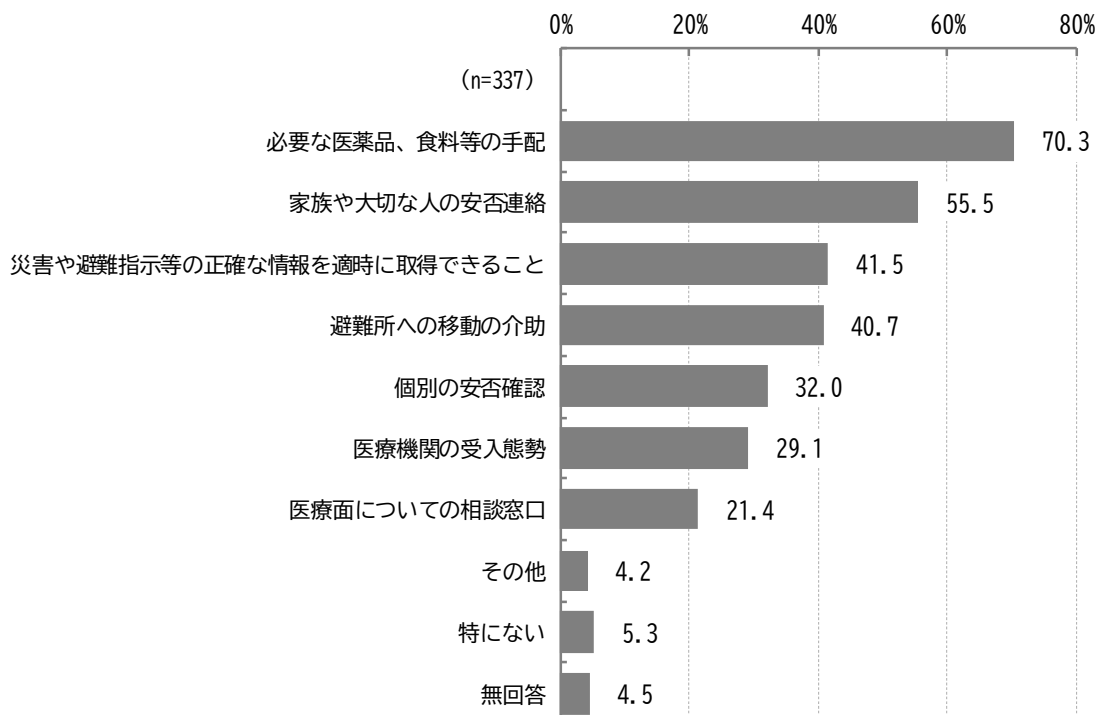
問50 あなた（あて名のご本人）には災害が発生したときに安全な場所への避難を支援してくれる支援者はいますか。（〇はいくつでも）

「同居人」が64.1%と最も多く、次いで「施設や事業所の職員」が28.2%、「区内在住の家族、親戚」が12.5%となっている。



問51 災害が発生したときにあなた（あて名のご本人）が行政や地域から必要とする支援を教えてください。（〇はいくつでも）

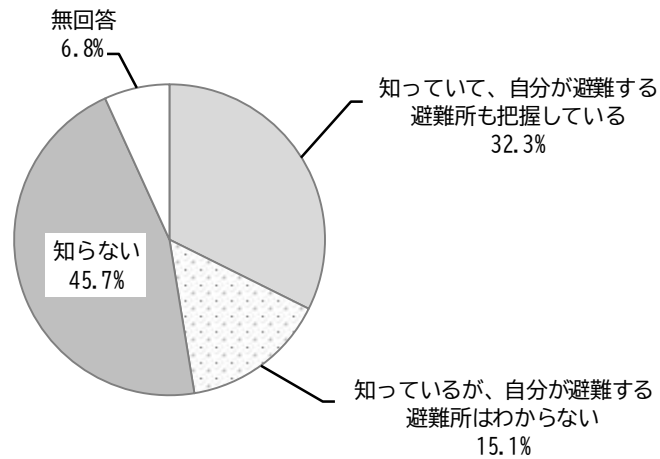
「必要な医薬品、食料等の手配」が70.3%と最も多く、次いで「家族や大切な人の安否連絡」が55.5%、「災害や避難指示等の正確な情報を適時に取得できること」が41.5%となっている。



問52 あなた（あて名のご本人）は避難所（福祉避難所含む）をご存じですか。（○は1つ）

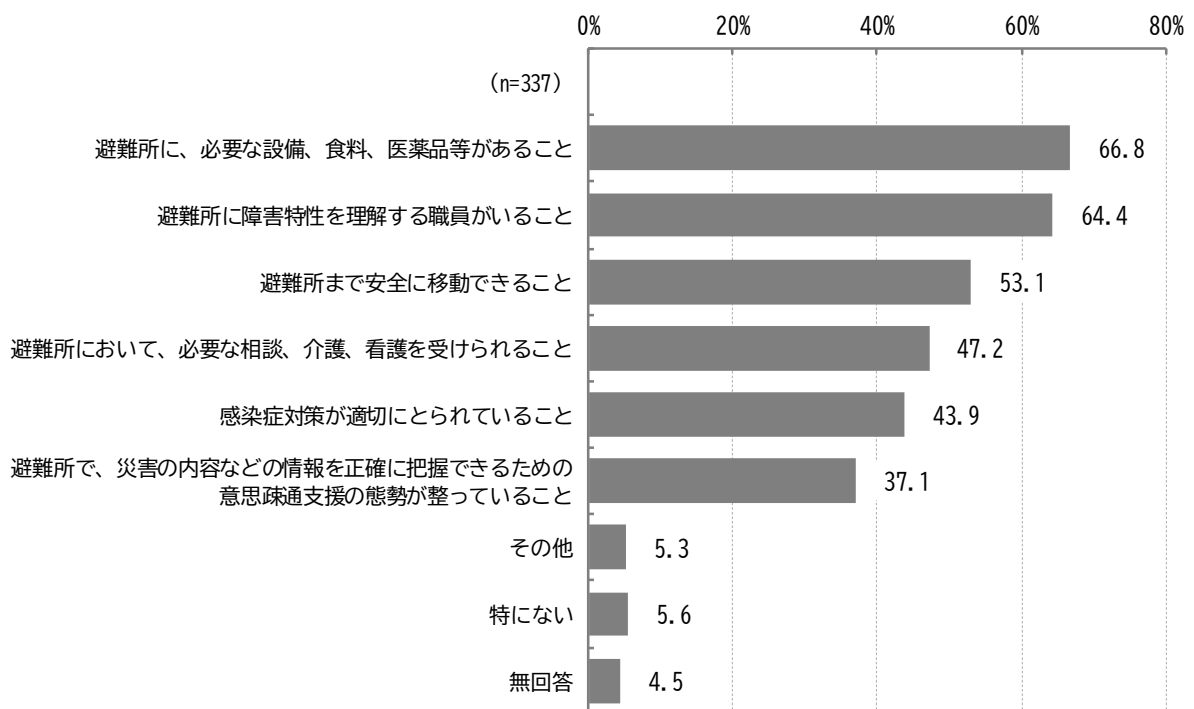
「知らない」が45.7%と最も多く、次いで「知っている、自分が避難する避難所も把握している」が32.3%、「知っているが、自分が避難する避難所はわからない」が15.1%となっている。

(n=337)



問53 あなた（あて名のご本人）が避難所（福祉避難所を含む）で望む支援は何ですか。（○はいくつでも）

「避難所に、必要な設備、食料、医薬品等があること」が66.8%と最も多く、次いで「避難所に障害特性を理解する職員がいること」が64.4%、「避難所まで安全に移動できること」が53.1%となっている。



問54 港区災害時避難行動要支援者登録事業をご存じですか。(○は1つ)

※港区災害時避難行動要支援者登録事業とは

区では、災害時に自力で避難することは困難な方で、特に支援が必要な方を対象に「港区災害時避難行動要支援者登録名簿」を作成しています。

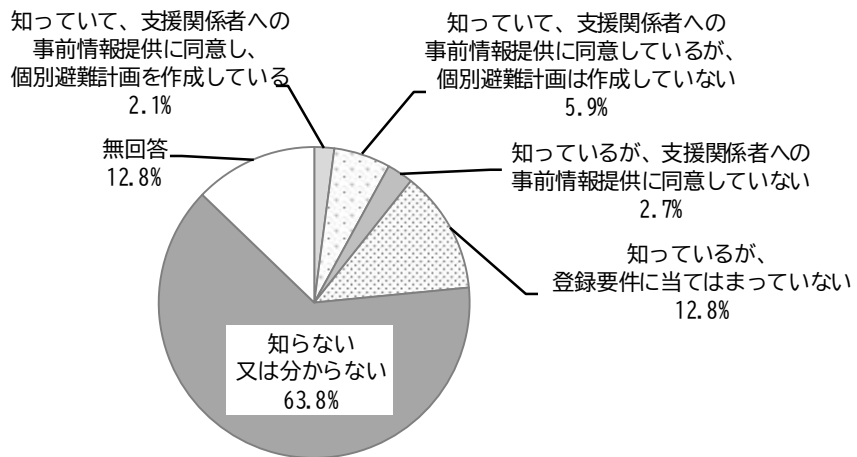
平常時から地域の支援関係者に自らの情報を提供しておくことに同意された方には、一人ひとりの個別避難計画を区が作成し、災害時の支援体制の整備に取り組んでいます。

※登録の対象になる方(登録要件)

手帳1・2度所持者で、一人暮らし又は他の世帯員全てが65歳以上の方

「知らない又は分からない」が63.8%と最も多く、次いで「知っているが、登録要件に当てはまっていない」が12.8%、「知っているが、支援関係者への事前情報提供に同意しているが、個別避難計画は作成していない」が5.9%となっている。

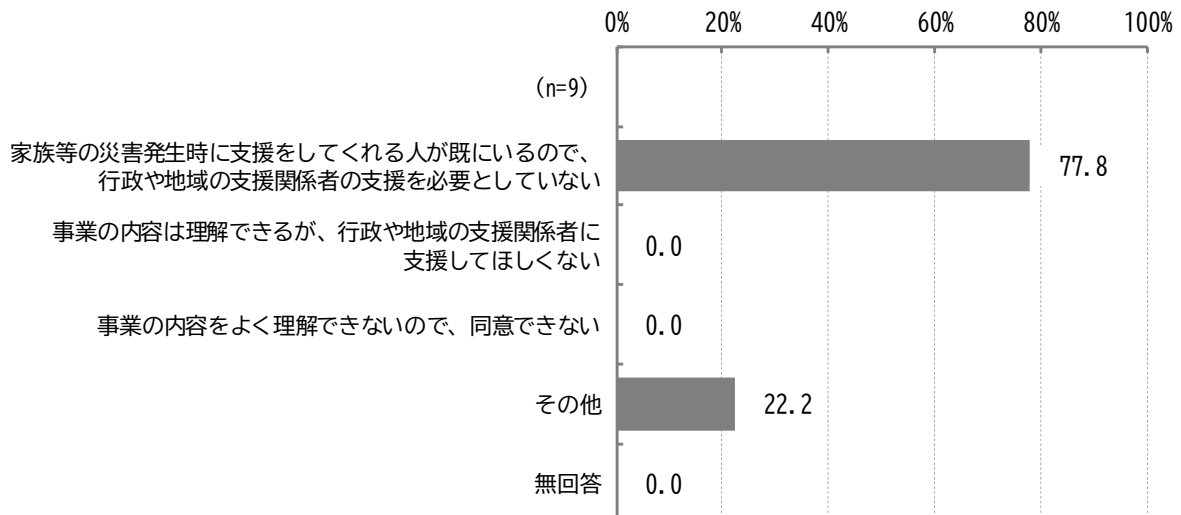
(n=337)



※問55は、問54で「知っているが、支援関係者への事前情報提供に同意していない」を選択した人のみ回答

問55 支援関係者への情報提供に同意していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「家族等の災害発生時に支援をしてくれる人が既にあるので、行政や地域の支援関係者の支援を必要としない」が77.8%、「その他」が22.2%となっている。



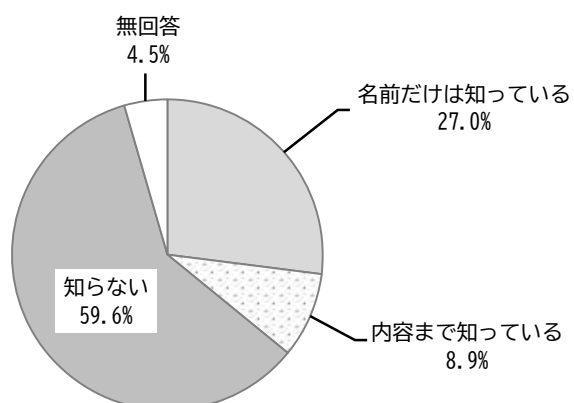
## 12. 偏見・差別について

問56 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されました。

この法律には、障害を理由とした不当な差別的取扱いを禁じ、また、障害者から生活上のバリア（障壁）を取り除くため何らかの対応を求められたとき、負担が重すぎない範囲で対応することが規定されています。このことを知っていますか。（○は1つ）

「知らない」が59.6%と最も多く、次いで「名前だけは知っている」が27.0%、「内容まで知っている」が8.9%となっている。

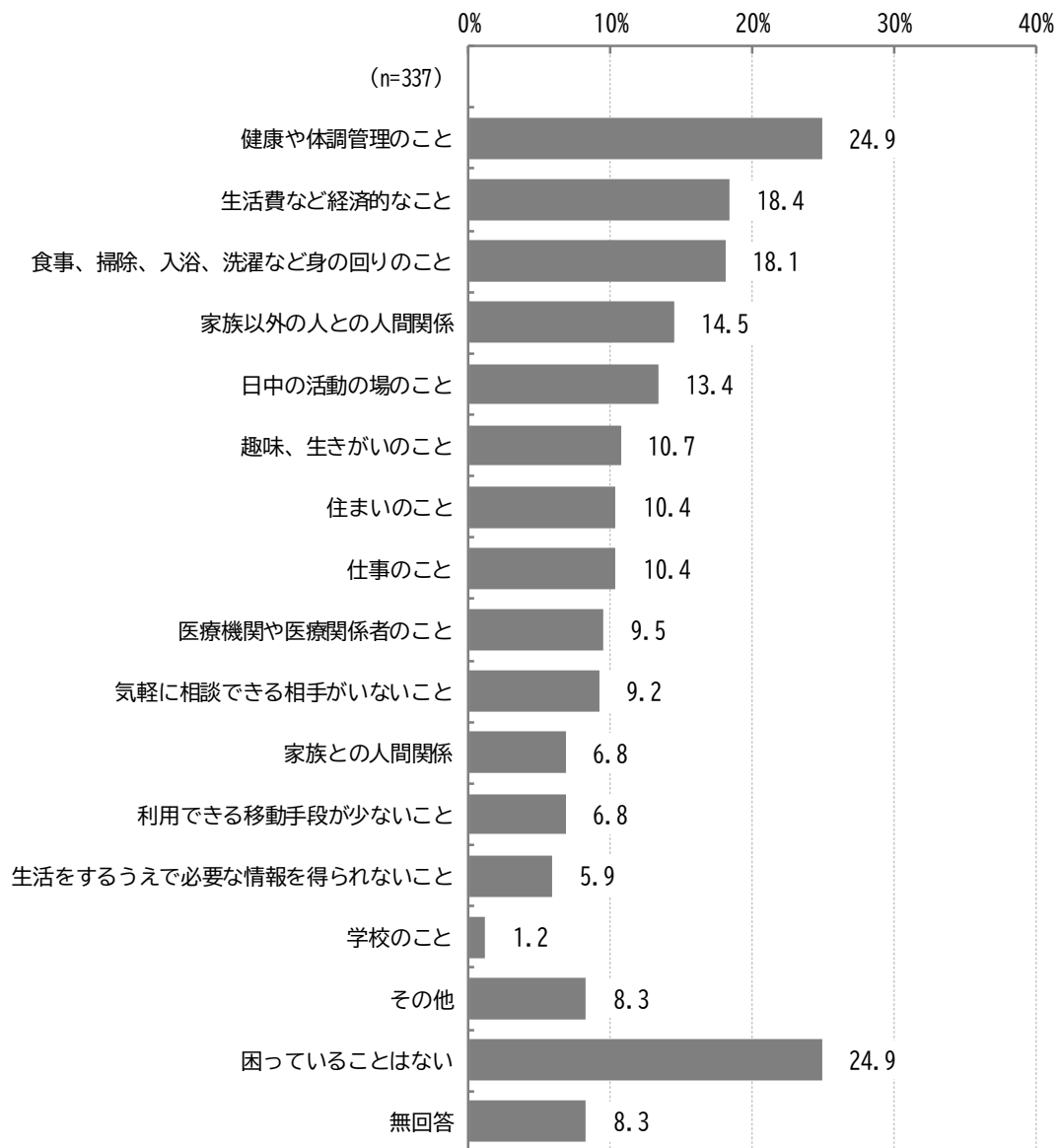
(n=337)



### 13. 行政支援・団体支援について

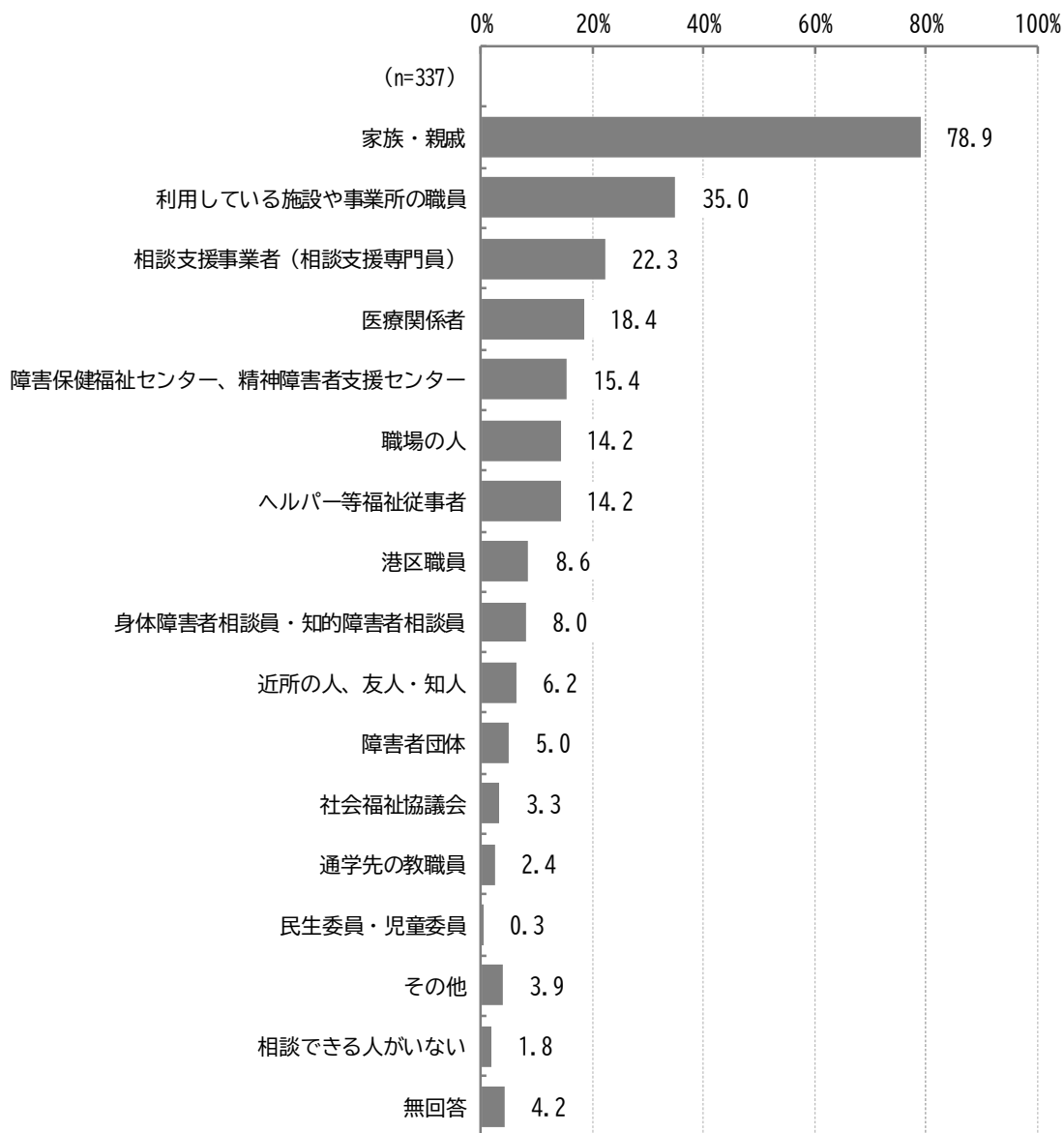
問57 現在、あなた（あて名のご本人）が生活の中で困っていることは何ですか。  
（〇はいくつでも）

「健康や体調管理のこと」と「困っていることはない」が24.9%と最も多く、次いで「生活費など経済的なこと」が18.4%となっている。



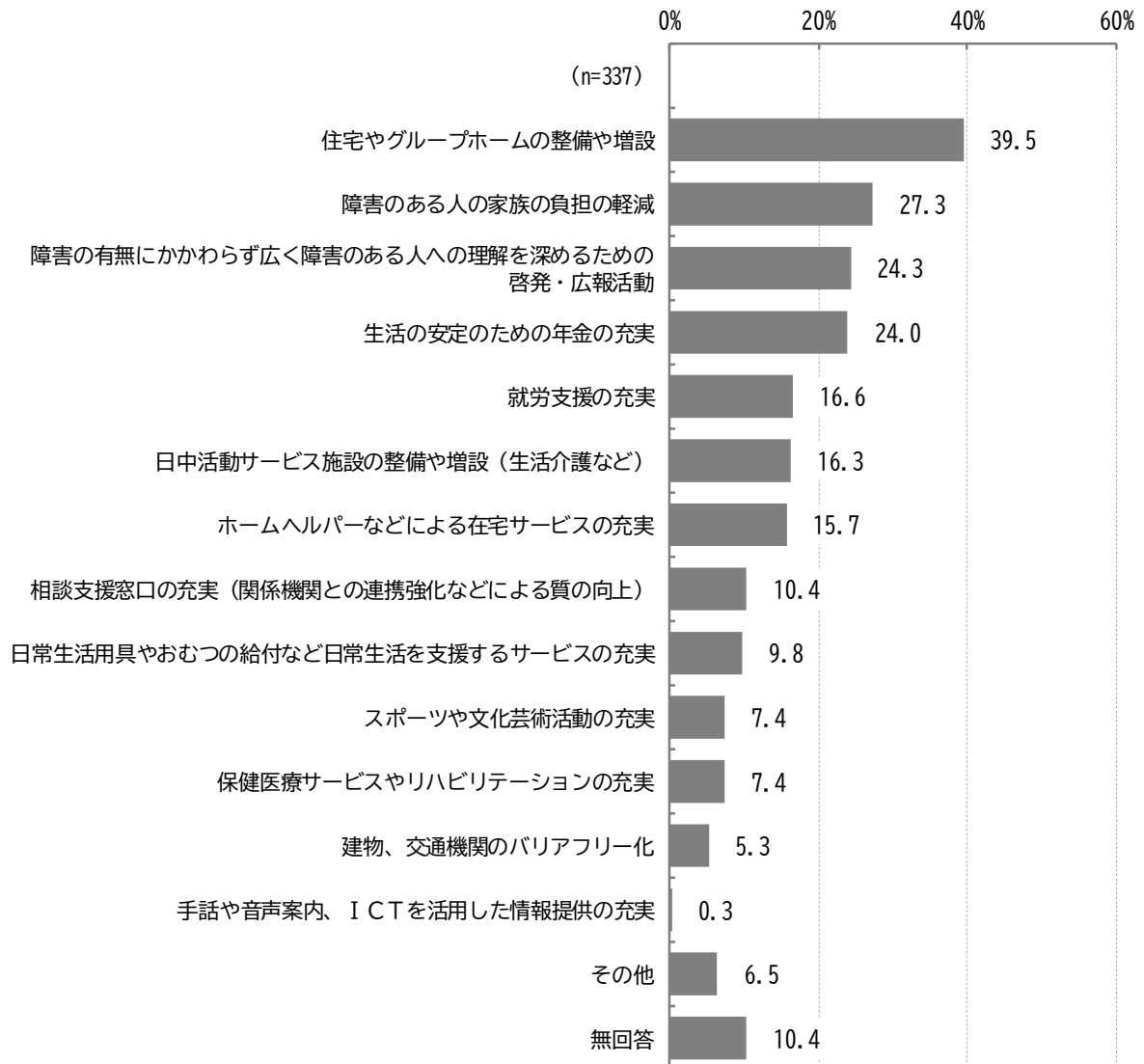
問58 あなた（あて名のご本人）が困ったときの相談先を教えてください。（○はいくつでも）

「家族・親戚」が78.9%と最も多く、次いで「利用している施設や事業所の職員」が35.0%、「相談支援事業者（相談支援専門員）」が22.3%となっている。



問59 障害のある人に関する区の施策のうち、あなた（あて名のご本人）がもっと力を入れる必要があると思うものを教えてください。（○は3つまで）

「住宅やグループホームの整備や増設」が39.5%と最も多く、次いで「障害のある人の家族の負担の軽減」が27.3%、「障害の有無にかかわらず広く障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動」が24.3%となっている。



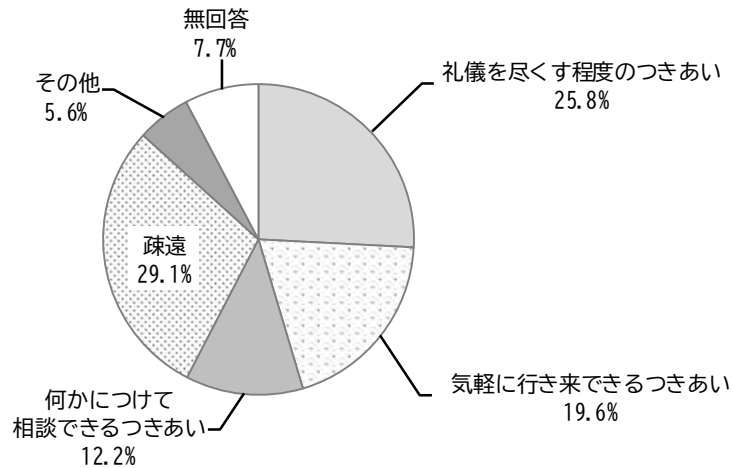
## 14. 地域共生社会について

問60 あなた（あて名のご本人）の人とのつながりの程度について教えてください。  
（○はそれぞれ1つ）

### 【親戚とのつきあいについて】

「疎遠」が29.1%と最も多く、次いで「礼儀を尽くす程度のつきあい」が25.8%、「気軽に行き来できるつきあい」が19.6%となっている。

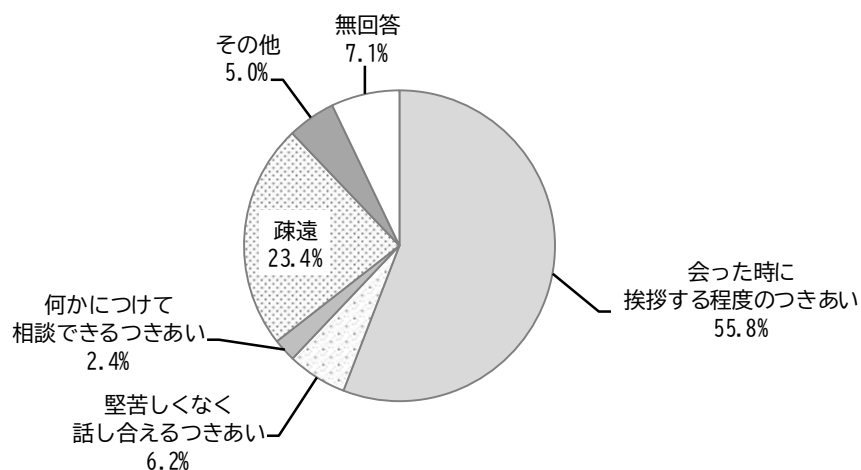
(n=337)



### 【隣近所とのつきあいについて】

「会った時に挨拶する程度のつきあい」が55.8%と最も多く、次いで「疎遠」が23.4%、「堅苦しくなく話し合えるつきあい」が6.2%となっている。

(n=337)



問61 あなた（あて名のご本人）の社会参加について、お考えになっていることを自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	社会参加の難しさ(課題) について	25
2	社会参加に対する考えや意向について	14
3	社会参加を進めるための区への提案やお願い	11
4	仕事に関すること	5
5	実際に参加している地域活動や交流について	5
6	その他	1

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

#### 【1 社会参加の難しさ(課題) について】

- 社会参加以前に毎日の生活で手一杯。親も高齢になりもう立ち行かない。
- 入所している為、支援員不足により外出の機会は限られている。社会参加の機会がかなり少ないのもっと増やして欲しい。

#### 【2 社会参加に対する考えや意向について】

- 障害をもつ人に対して、お互いに支援策を考えながら充実した社会参加に取り組んで行きたいと思う。
- 仕事はずっと長く続けられるといい。参加しやすい行事や習い事があるといい。

#### 【3 社会参加を進めるための区への提案やお願い】

- もっと障害者が、世界の中で辛くない生活を送れるよう仕事の支援・移動手段を豊かにしてほしい。
- 1人にならないサポート(親亡き後)。趣味や活動のサポート。

#### 【4 仕事に関すること】

- 企業で障害者雇用で働きたいが、どこで探したらよいかわからない。
- 仕事したい、安定したお金がほしい。

#### 【5 実際に参加している地域活動や交流について】

- さまざまなボランティア活動をしています。
- ゴミ拾い等のボランティア活動、老人養護施設での傾聴ランティア。

問62 港区の福祉施策について、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

	分類	件数
1	安心安全な生活、地域生活、余暇活動、交流に関する意見・要望	23
2	ケアサービスの内容、マネジメントに関する意見・要望	14
3	障害への理解・配慮に関する意見・要望	7
4	住宅に関する意見・要望	17
5	情報提供・相談・窓口対応に関する意見・要望	6
6	公共交通機関・移動支援に関する意見・要望	3
7	行政・制度に関する意見・要望	3
8	障害等級の認定や補助に関する意見・要望	3
9	その他	10

ご記入いただいた意見のうち、一部を抜粋して記載しています。

なお、記載に当たって文言等を修正している場合があります。

#### 〔1 安心安全な生活、地域生活、余暇活動、交流に関する意見・要望〕

○いちょう学級が楽しいのでもっと活動を週1回ぐらいにふやしてほしい(今は月に1回ぐらいです)。

○うちは幸い入所して、負担が少なくなりました。でも高齢化で大変な思いをしている仲間は沢山います。

○親が亡くなった後に兄弟がいても兄弟の負担にならないようなサポート。もしグループホームに入居になった場合、いじめられないかなどを確認できるサポート。

○障害者日中活動の場として、老人や子供と障害者と混ざって活動できる場があるといい。または、そのように混ざって仕事をする場があると良いと思う。施設について知識障害者向けの日中支援型グループホームを第2第3と作ってほしい。障害者の働く場として、病院、大学、公共施設(区役所、図書館など)、高齢者施設など拡げて行ってほしい(清掃や簡単な事務や食事の準備など)。そして仕事も障害者を組み合わせることで互いに仕事ができることが増えると思う(知的と精神、身体と知的など)。区内に小さい馬場を作って、馬(ポニー)を常設してほしい。老若男女どの世代にも心身共に良い効果があるので、是非に。長く続けることが大切なので。港区で(法人と共に)以前ポニー体験乗馬を行っていたので、それを常設してほしいです。参考に「ハームニーセンター」で協力してもらえるとと思います。

○もっと多様なA型、B型を増やしてほしい。若者の広場的な場所がほしい。カウンセリングを自費で受けているが、補助がほしい。障害者がメンタルヘルスを保つことは、家族の支援だけでは難しく、事業所の職員は人手不足で果たせない。

○就労支援ではお世話になり、感謝しています

○障害者が参加できるダンス教室、水泳教室があればありがたい。親がなくなった後の生活サポートと安心くらせる場所や環境が重要な課題です。宜しくお願い致します！

## 〔2 ケアサービスの内容、マネジメントに関する意見・要望〕

○5年前、リハビリに特に力を入れているという入所施設を港区に作って下さいました。ありがとうございました。その後はその入所施設は個別のリハビリを継続していますか？区は福祉の方針を変えたのでしょうか？利用者が不便ないか聞き取りをお願いします。

○障害者が医療を受けやすい病院、クリニック等を紹介してほしい。相談したが自分で探すように言われた。福祉施設に専属の医者が居るべきでは？人手不足と思うが、1人1人の特性を考えて対応してほしい。職員のレベルが低い。

○施設で働いてくださる方の確保が難しい事はわかるが人数をそろえるだけでなく支援者の教育に尽力してほしい。働きやすく、なごやかな笑顔がある施設になるようにしてほしい。

○施設職員の待遇改善、不足している職員数への協力をお願いします。

○長期入院の際の療養施設の充実入所施設の充実 安心して預けられる施設、短期も含めてヘルパーの質の向上と人員の確保、障害者と高齢者が安全に安心してともに暮らせる住まいの充実

## 〔3 障害への理解・配慮に関する意見・要望〕

○不自由な人達のよろこびをよろこびとするような施設や福祉関係の方々に感謝しています。今後ともよろしくお願い致します。

○障害があるけれど、軽度だと補償が充分ではないため家族の負担が大きく、でも学校教育だけでは不十分だと思える。教育は障害があっても必要なので充分な教育が受けれるように環境を整えてほしいし、分け隔てなく機会を与えてほしい。

○他の区に比べて、実効ある施策や制度が充実していると思います。これからも当該者な支援者の声を聞いていただき、障がい者も社会参加できる環境を整えていただければありがたいです。

## 〔4 住宅に関する意見・要望〕

○障害者と高齢者の入所施設が別々になっているので、連続して利用できる施設の整備を希望します。他区では増えてきています。

○障害者が高齢になった時、居住生活に困らない様になってほしい。

## 〔5 情報提供・相談・窓口対応に関する意見・要望〕

○情報を知らない、得るための手段がない。

○親が亡くなった後の対応について相談できると助かります。

## 〔6 公共交通機関・移動支援に関する意見・要望〕

○福祉車両を増やしてほしい。もっと気軽に福祉車両を利用できればよい。タクシーチケットの増刷、必要な人にはもう少しチケットを増やしてもらえると助かるのでは(通院など)。

○一人で外出できないので、移動支援を増やしてほしい。60 時間では不足。親に負担がかかっている。各々の家庭の状態を把握して支援してほしいと思う。

#### 〔7 行政・制度に関する意見・要望〕

○港区民に対して所得が低い方々に給付金の額を増やすことが望ましい。給付金は政府の決定で政府の財源によって区を通して支給されるものですが、区独自の給付金制度を作り給付されることが望ましいです。

○親の高齢化、死後に関して、知的障害を持つ者が安心して暮らしていける社会の制度や仕組みを充実させていただきたい。

#### 〔8 障害等級の認定や補助に関する意見・要望〕

○ギリギリ視覚障害にはならない程度の弱視です。そのため眼鏡は手放せず、2～3年に一度作りかえています。状況に応じて補助を出していただける柔軟な政策を希望します。

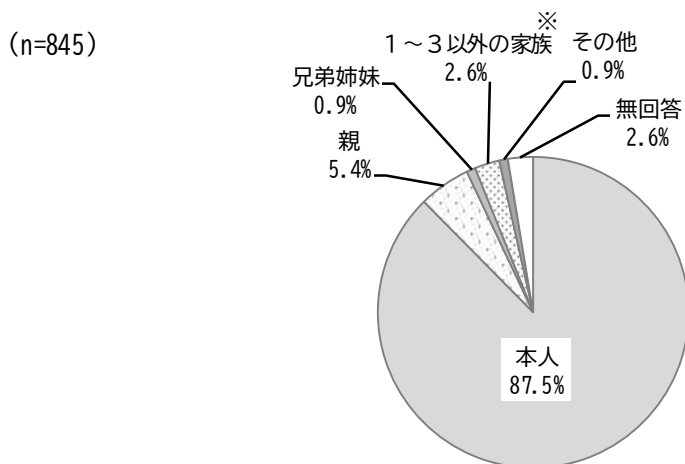
○障害年金の診断書料金が病院ごとに料金が異なるので一律にしてほしいです。自立支援医療の診断書代が自立支援医療(精神通院医療)国保受給者証などに適用されないので診断書が必要な時はいつも金銭面的に困っています。大変ですのでどうかして下さい。お願いします。

### 3 精神障害者を対象とした調査の集計結果

#### 1. 調査票の回答者について

問1 本調査の質問にご回答いただいたのはどなたですか。(○は1つ)

「本人」が87.5%と最も多く、次いで「親」が5.4%、「1～3以外の家族」が2.6%となっている。

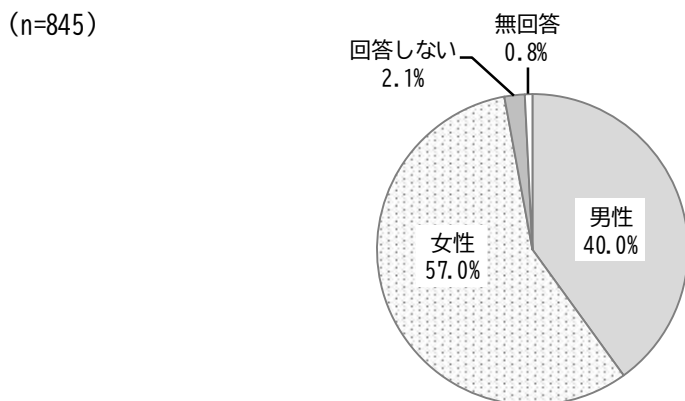


※「本人」、「親」、「兄弟姉妹」を除く家族

#### 2. あて名のご本人について

問2 あて名のご本人の性別を教えてください。(○は1つ)

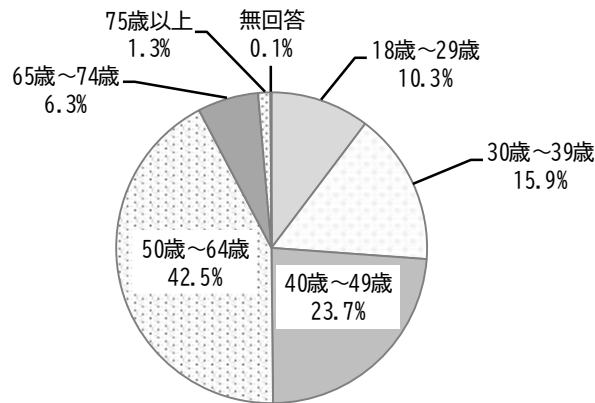
「女性」が57.0%、「男性」が40.0%、「回答しない」が2.1%となっている。



問3 あて名のご本人の年齢を教えてください。(○は1つ)

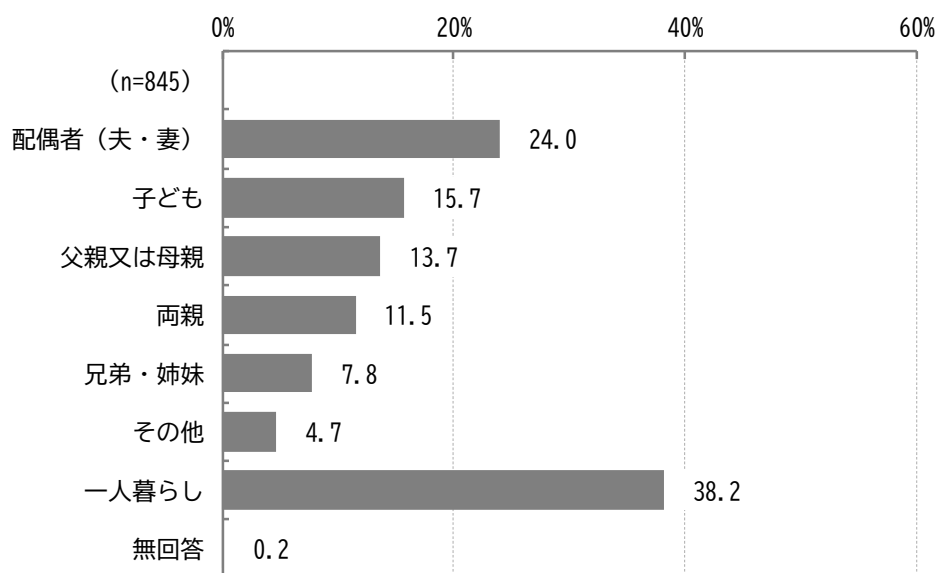
「50歳～64歳」が42.5%と最も多く、次いで「40歳～49歳」が23.7%、「30歳～39歳」が15.9%となっている。

(n=845)



問4 あて名のご本人は、どなたと同居しているか教えてください。(○はいくつでも)

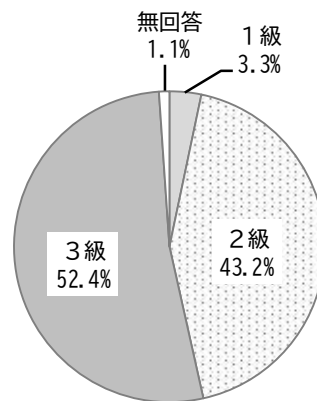
「一人暮らし」が38.2%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が24.0%、「子ども」が15.7%となっている。



問5 あて名のご本人の精神障害者保健福祉手帳の等級を教えてください。(○は1つ)

「3級」が52.4%と最も多く、次いで「2級」が43.2%、「1級」が3.3%となっている。

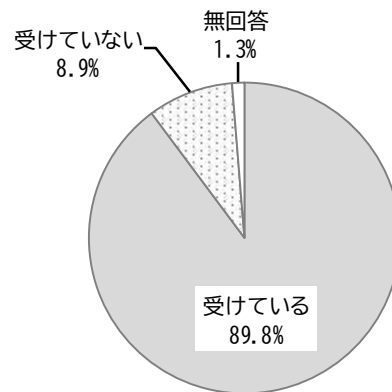
(n=845)



問6 あて名のご本人は東京都の「自立支援医療（精神通院医療）」を受けていますか。(○は1つ)

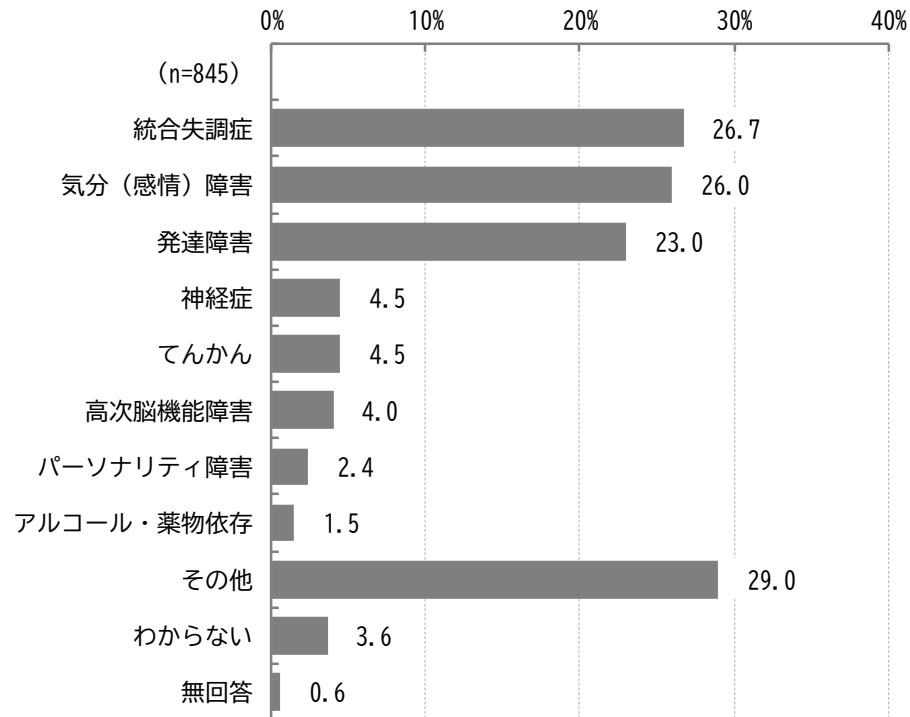
「受けている」が89.8%、「受けていない」が8.9%となっている。

(n=845)



問7 あて名のご本人の主な病名（診断名）を教えてください。（○はいくつでも）

「その他」が29.0%と最も多く、次いで「統合失調症」が26.7%、「気分（感情）障害」が26.0%となっている。



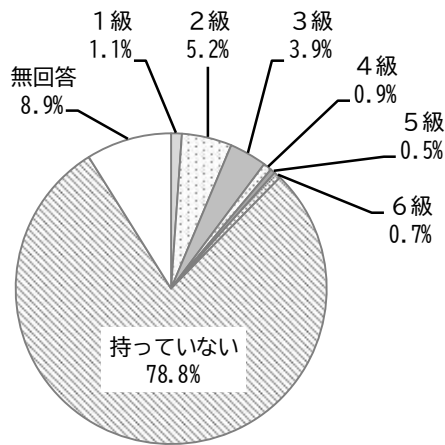
【主なその他の内容】

内容	件数
うつ病	94
双極性障害	50
パニック障害	20
不安障害	8
適応障害	6
その他	54

問8 あて名のご本人が身体障害者手帳をお持ちであれば、等級を教えてください。(○は1つ)

「持っていない」が78.8%と最も多く、次いで「2級」が5.2%、「3級」が3.9%となっている。

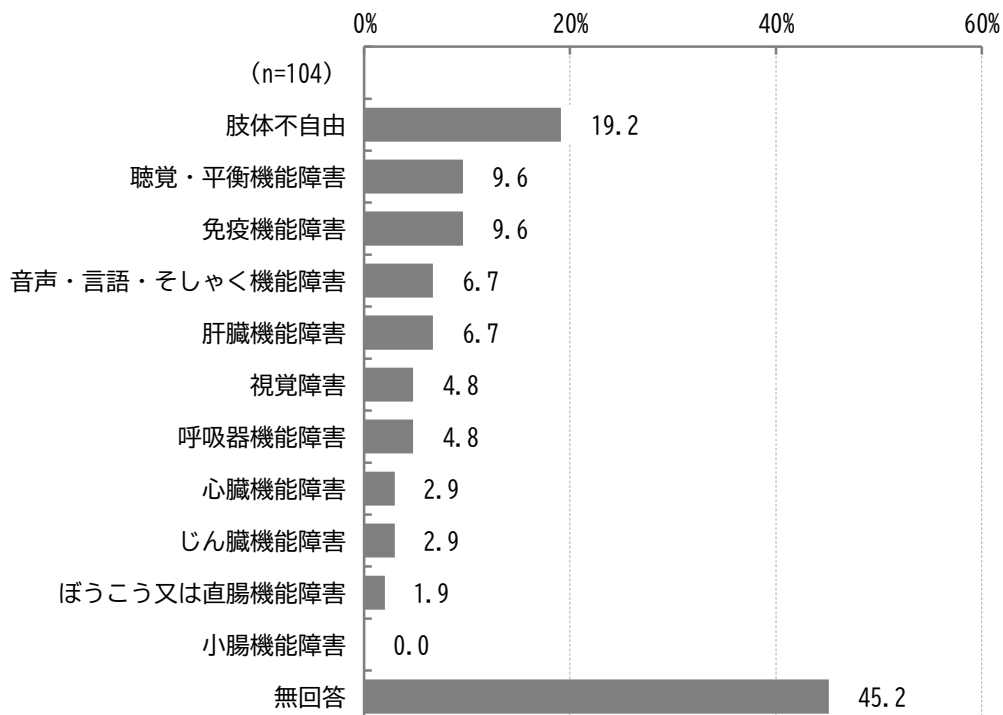
(n=845)



※問9は、問8で選択肢「1.1級」～「6.6級」のいずれかを選択した人のみ回答

問9 障害の種類を教えてください。(○はいくつでも)

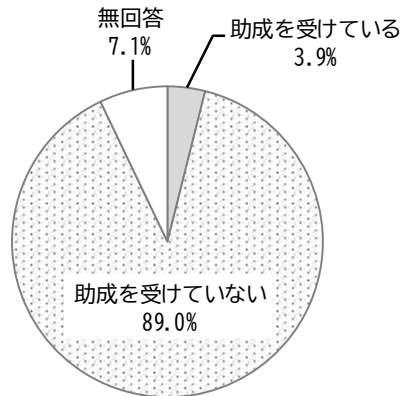
「肢体不自由」が19.2%と最も多く、次いで「聴覚・平衡機能障害」と「免疫機能障害」が9.6%となっている。



問10 あて名のご本人は東京都により認定される「難病医療費等助成」を受けていますか。  
(○は1つ)

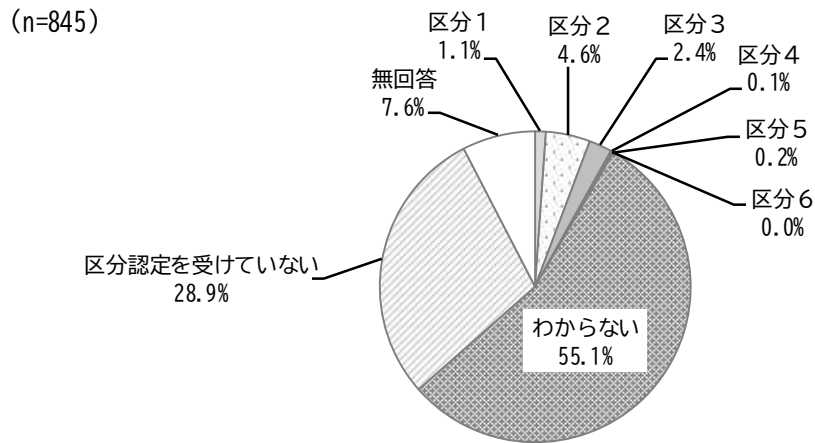
「助成を受けていない」が89.0%、「助成を受けている」が3.9%となっている。

(n=845)



問11 あて名のご本人の障害福祉サービス受給者証の「障害支援区分」を教えてください。  
(○は1つ)

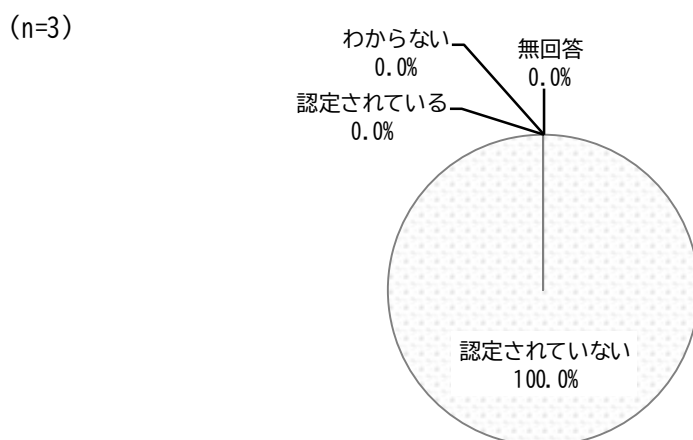
「わからない」が55.1%と最も多く、次いで「区分認定を受けていない」が28.9%、「区分2」が4.6%となっている。



※問12は、問11で選択肢「4.区分4」～「6.区分6」のいずれかを選択した人のみ回答

問12 重度障害者支援加算が認定されているか教えてください。  
(受給者証に記載されています) (○は1つ)

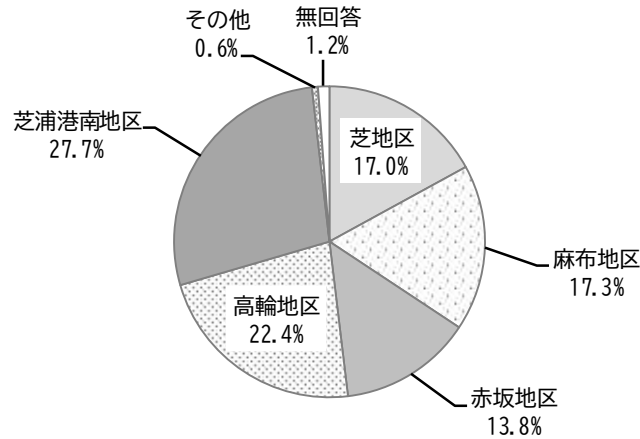
「認定されていない」が100.0%となっている。



問13 あて名のご本人のお住まいの地区を教えてください。(○は1つ)

「芝浦港南地区」が27.7%と最も多く、次いで「高輪地区」が22.4%、「麻布地区」が17.3%となっている。

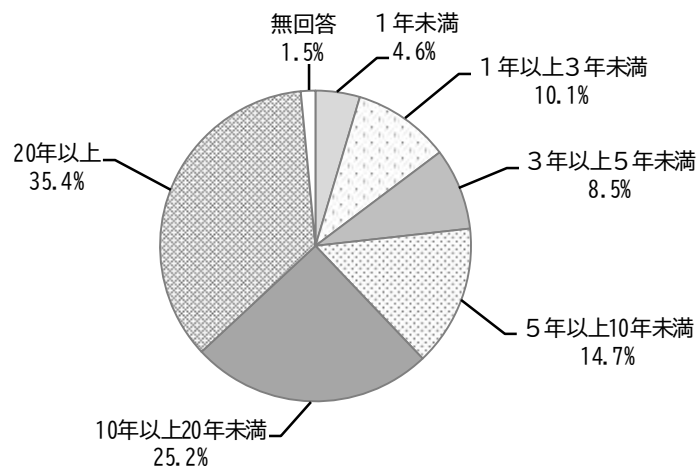
(n=845)



問14 あて名のご本人の港区での居住年数を教えてください。(○は1つ)

「20年以上」が35.4%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が25.2%、「5年以上10年未満」が14.7%となっている。

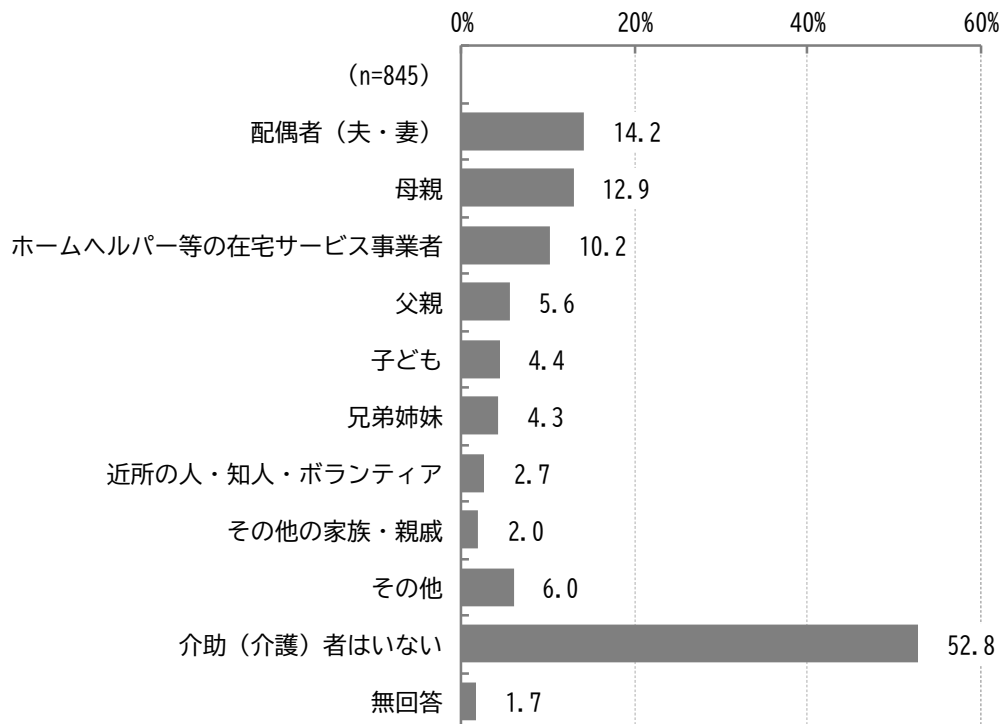
(n=845)



### 3. 生活状況等について

問15 あなた（あて名のご本人）には現在、日常生活における介助（介護）者はいますか。  
（〇はいくつでも）

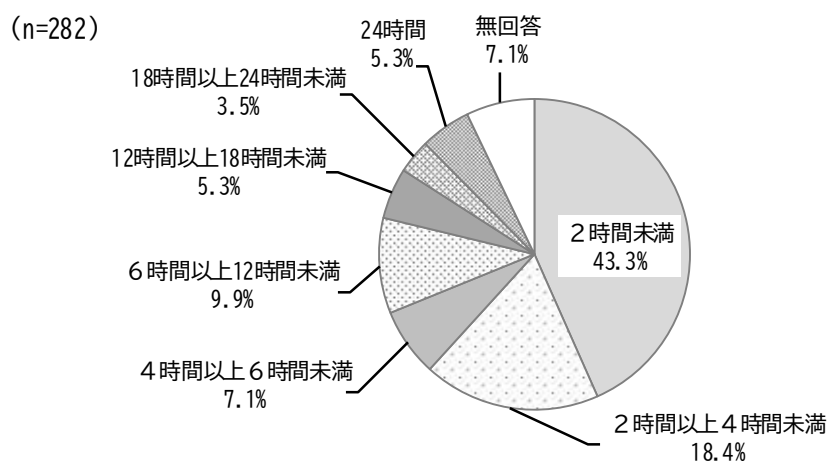
「介助（介護）者はいない」が 52.8%と最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が 14.2%、「母親」が 12.9%となっている。



※問16と問17は、問15で選択肢「1. 母親」～「6. その他の家族・親戚」のいずれかを選択した人のみ回答

問16 家族又は親戚が介助（介護）している時間は1日平均どのくらいですか。  
複数の家族・親戚が関わっている場合は、合計した時間で教えてください。（○は1つ）

「2時間未満」が43.3%と最も多く、次いで「2時間以上4時間未満」が18.4%、「6時間以上12時間未満」が9.9%となっている。



問17 家族又は親戚が介助（介護）している内容を教えてください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	家事全般(食事、掃除、買い物等)	59
2	通院や外出時の介助	28
3	医療的ケア	5
4	入浴や排せつ等の介助・身の回りの世話	36
5	その他	25

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

〔1 家事全般(食事、掃除、買い物等)〕

- 食事作り、洗濯、掃除等（家事全て）。
- 食事の買い物、洗濯（コインランドリーの場合）、日用品の買い物、外出が必要な事項全て。

〔2 通院や外出時の介助〕

- 移動の時の付き添い。
- 身支度の手伝い、病院の送迎、聞き相手など。

〔3 医療的ケア〕

- 内服薬の管理、血圧測定、買い物に付き合う、本人に料理を提供する。

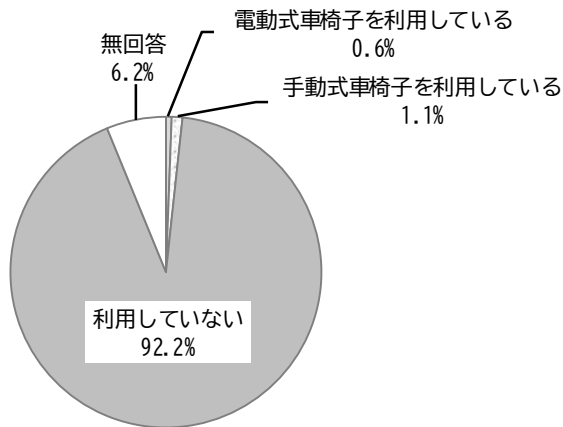
〔4 入浴や排せつ等の介助・身の回りの世話〕

- 夜中のトイレ、朝夕の薬を飲ませる、病院のヘルプ、入浴の手伝い、パンツの交換。
- お風呂後の着替え、階段の見守りなど。

問18 あなた（あて名のご本人）は、日常生活の中で車椅子を利用していますか。（○は1つ）  
※電動式と手動式の双方を利用している場合は、1日の利用時間数が多い方をご回答ください。

「利用していない」が92.2%と最も多く、次いで「手動式車椅子を利用している」が1.1%、「電動式車椅子を利用している」が0.6%となっている。

(n=845)



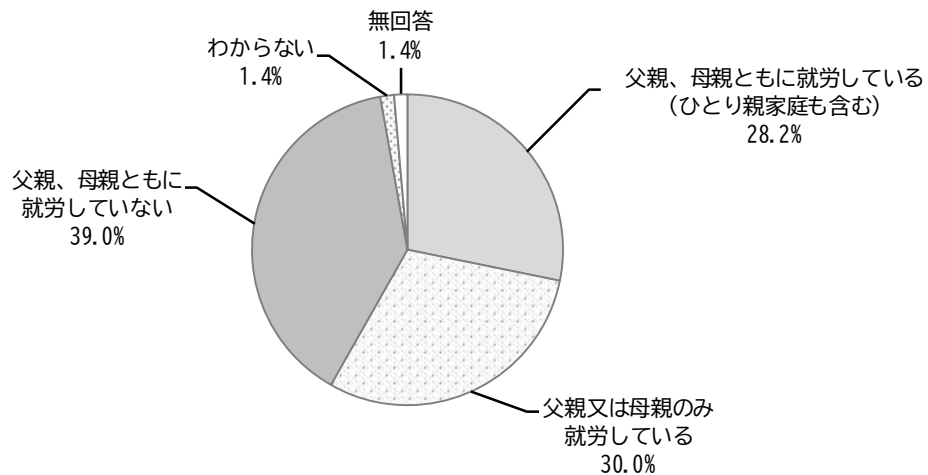
## 4. 親の就労状況等について

※問19～21は、同居している親がいる人のみ回答

問19 あなた（あて名のご本人）の親の就労状況を教えてください。（○は1つ）

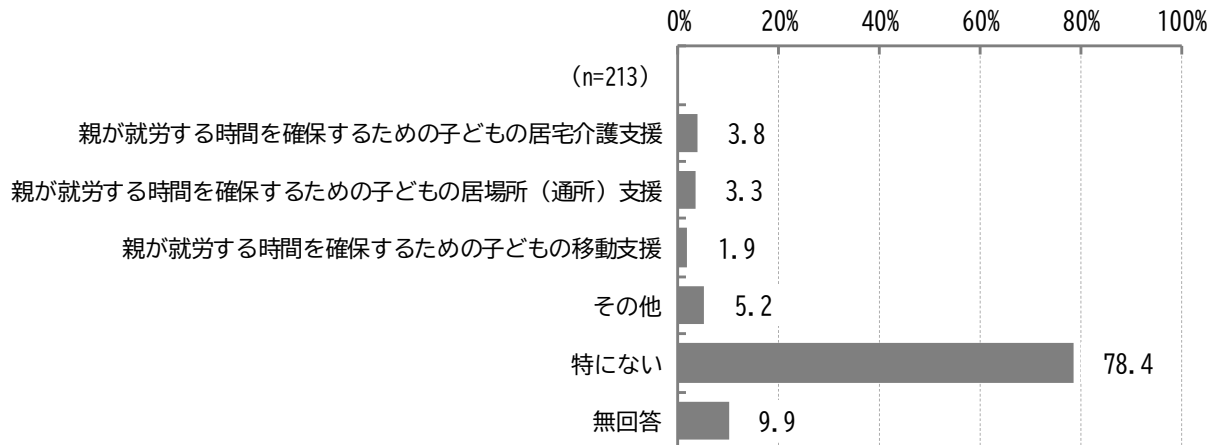
「父親、母親ともに就労していない」が39.0%と最も多く、次いで「父親又は母親のみ就労している」が30.0%、「父親、母親ともに就労している（ひとり親家庭も含む）」が28.2%となっている。

(n=213)



問20 あなた（あて名のご本人）の親が就労するにあたり、必要な支援を教えてください。  
 （〇はいくつでも）

「特にない」が78.4%と最も多く、次いで「その他」が5.2%、「親が就労する時間を確保するための子どもの居宅介護支援」が3.8%となっている。



【主なその他の内容】

内容	件数
親が就労することは難しい	3
金銭的な支援	3
その他	4

問21 あなた（あて名のご本人）の親が就労するにあたり、困りごとや必要なサービスについて、自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	就労先について	8
2	身体の負担に関する心配・生活の支援の必要性	10
3	就労ではなく介護について困っている・将来への不安	7
4	その他	6

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

### 〔1 就労先について〕

- 加齢による一般的な就労・仕事のしづらさ、将来の生計の不安
- 一つの就労場所での就労可能年数の上限がある。常に稼働人数に満たない就労場所や時と場合においては、例えば家族に障害者がいる場合等を考慮に入れて、本人親つまり労働者が希望する限り、年数の上限無しで出来るよう対応して欲しい。

### 〔2 身体の負担に関する心配・生活の支援の必要性〕

- ほとんど家にいて、運動不足になっているため、月1回の通院、外出で車イスを使用するようになっている。一人だけの時に助けが必要なことがあった場合が不安です。
- 親が後期高齢者なので体力と健康が心配で困っている。

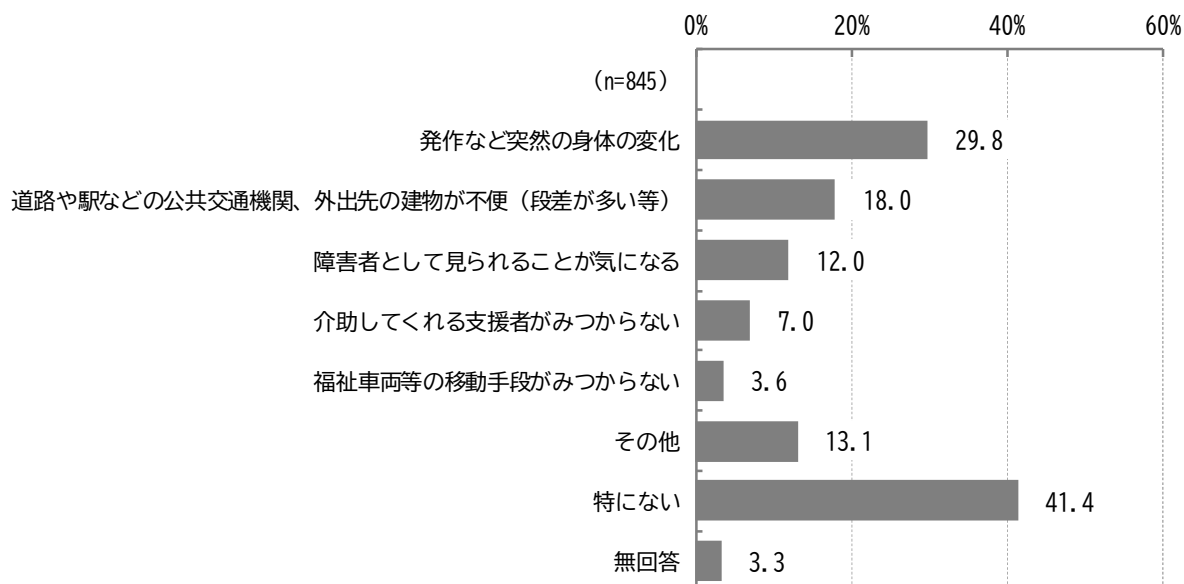
### 〔3 就労ではなく介護について困っている・将来への不安〕

- 細々と年金で生活しています。年とともに体が重くなっていつまで面倒見れるか心配です。
- 発作後の介護の為に仕事を休めるか？否か？はいつも心配

## 5. 外出の機会や日中の活動について

問22 あなた（あて名のご本人）が外出する時に困ることを教えてください。（○はいくつでも）

「特にない」が41.4%と最も多く、次いで「発作など突然の身体の変化」が29.8%、「道路や駅などの公共交通機関、外出先の建物が不便（段差が多い等）」が18.0%となっている。



問23 あなた（あて名のご本人）が安心した日常生活をおくるために充実してほしい日常生活用具（入浴補助用具、紙おむつ、ストーマ装具などの日常生活を円滑に過ごすため必要な用具）がありましたら自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類	件数
1 紙おむつや・尿パッド等	19
2 タクシー等の外出支援等	9
3 杖	6
4 エレベーターや手すり、ベンチ等	7
5 入浴補助用具	9
6 補聴器	4
7 ルーペや眼鏡等	1
8 その他	91

**【主な意見】** ※分類ごとに1～2件掲載

**〔1 紙おむつや・尿パッド等〕**

- 紙オムツの補助があると助かります。
- 紙おむつの助成を受けていますが、枚数が足りていないので毎月買い足しています。点数はそのままでも掲載品より安価な商品も選べるようになれば買い足す必要もなくなるのかなと思います。

**〔2 タクシー等の外出支援等〕**

- 人混みなどでパニックになるので、タクシーチケットがあると助かります。
- 症状で、公共交通機関を利用し難いときが多々あるので、区でタクシー券を支給して欲しいです。聴覚過敏があるため、カームダウンスペースの設置やイヤーマフの支給。

**〔3 杖〕**

- 杖とシルバーカー(高齢ではないが他に名前が分からない。歩行補助のため)。
- 歩行杖購入における援助

**〔4 エレベーターや手すり、ベンチ等〕**

- スロープを義務化した賃貸。
- パニック発作が起きた時に気軽に座れるベンチや個室が増えて欲しい

**〔5 入浴補助用具〕**

- お風呂に入れない時が多いので、体拭きシート、ドライシャンプー等があると助かる。
- 入浴補助用具、紙おむつなど充実してほしい。

**〔6 補聴器〕**

- 補聴器の購入補助、物を失くす時の再購入の際に申請できる保険など。
- 耳が(親)補聴器外すと不自由なため、来訪者や電話の音を知らせる用具や、不審者などから身を守るため玄関などのセキュリティ(防犯カメラ)デジタル(スマホ、PC)を安全に使うためのセキュリティ対策品が病人と高齢者には必要となっています。

**〔7 ルーペや眼鏡等〕**

- 老眼鏡がほしい。

問24 現在の障害福祉サービス等の利用状況を教えてください。

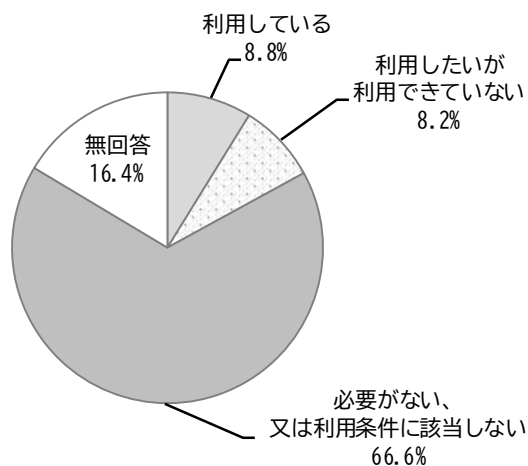
①～⑩それぞれについて当てはまる番号をお答えください。(○は1つ)

※「利用したいが利用できていない」を選択した場合、その理由を理由一覧から当てはまる番号をお答えください。

### 【① 生活介護：利用状況】

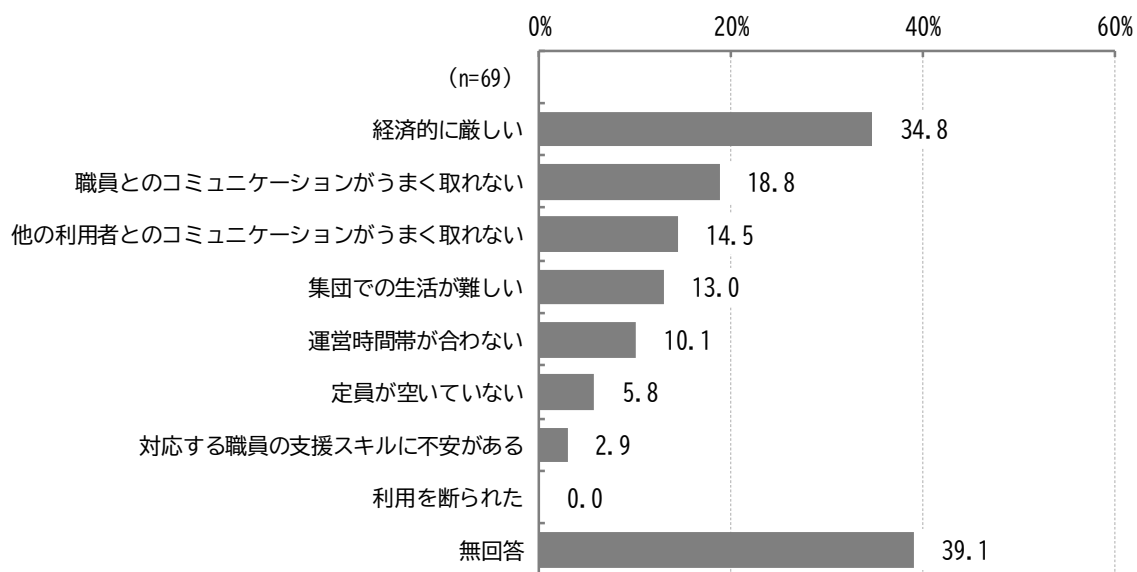
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が66.6%と最も多く、次いで「利用している」が8.8%、「利用したいが利用できていない」が8.2%となっている。

(n=845)



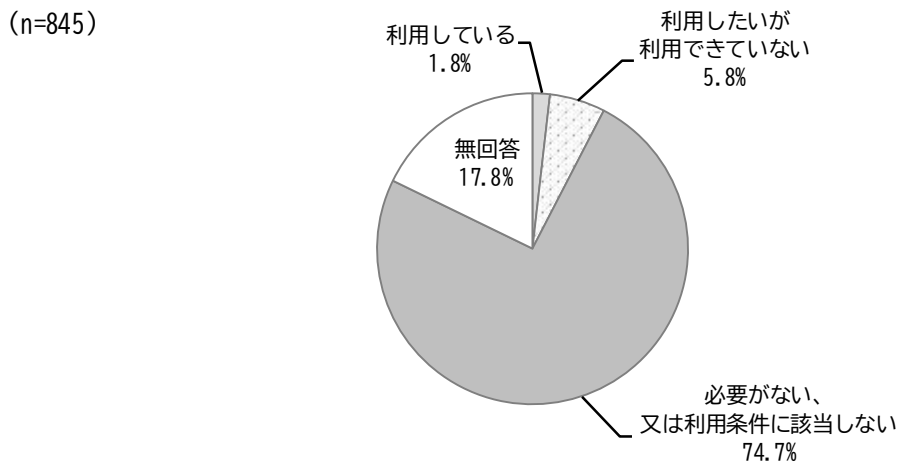
### 【① 生活介護：利用できていない理由】

「経済的に厳しい」が34.8%と最も多く、次いで「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が18.8%、「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が14.5%となっている。



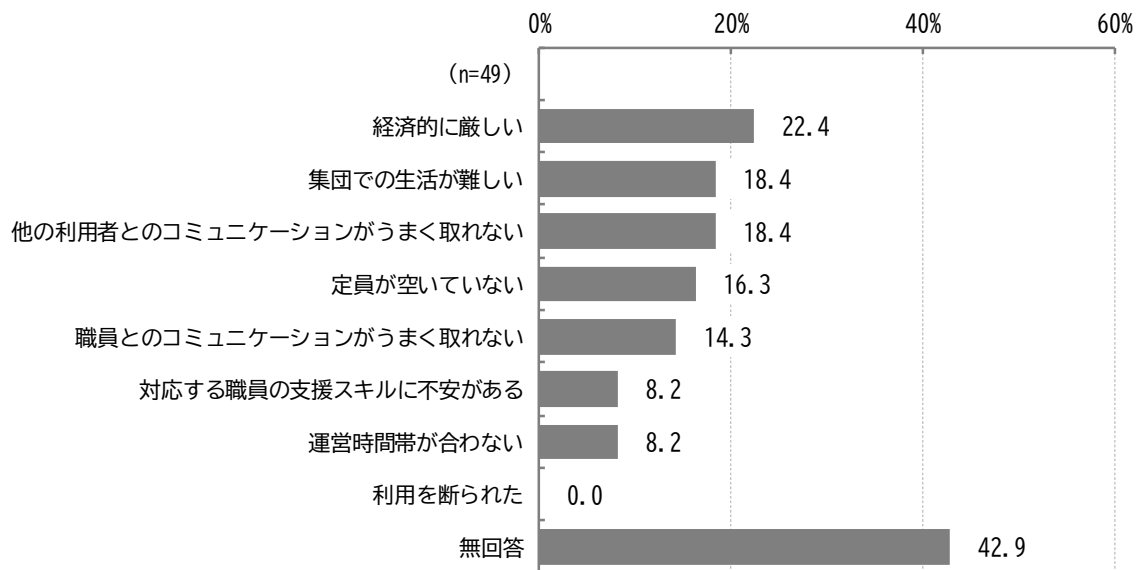
## 【② 短期入所：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が74.7%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が5.8%、「利用している」が1.8%となっている。



## 【② 短期入所：利用できていない理由】

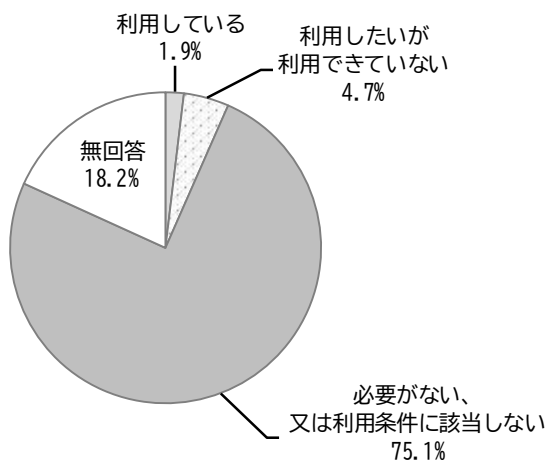
「経済的に厳しい」が22.4%と最も多く、次いで「集団での生活が難しい」と「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が18.4%となっている。



### 【③ 共同生活援助（グループホーム）：利用状況】

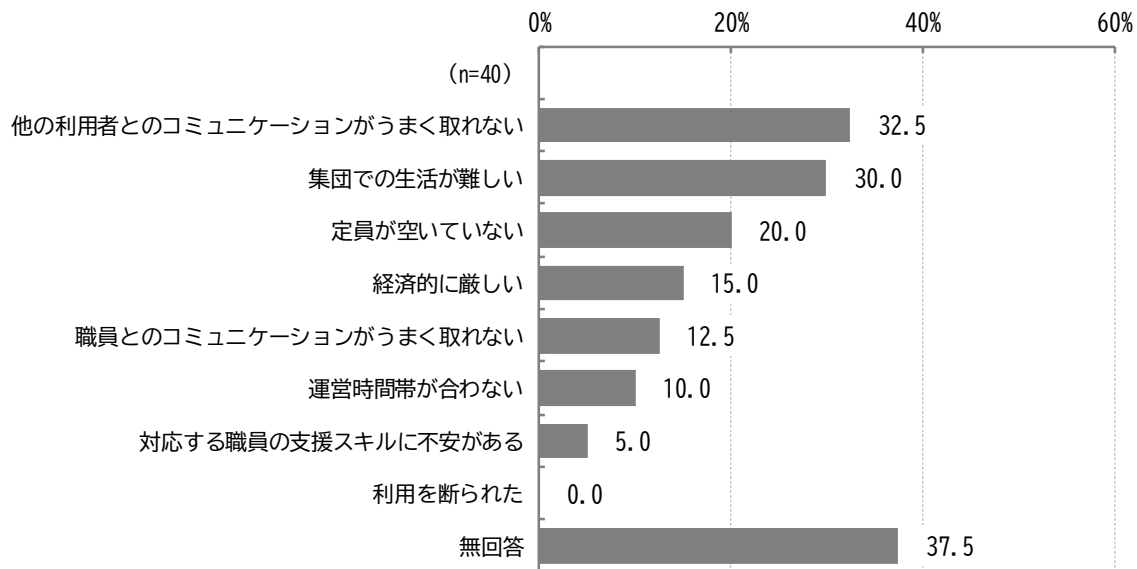
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が75.1%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が4.7%、「利用している」が1.9%となっている。

(n=845)



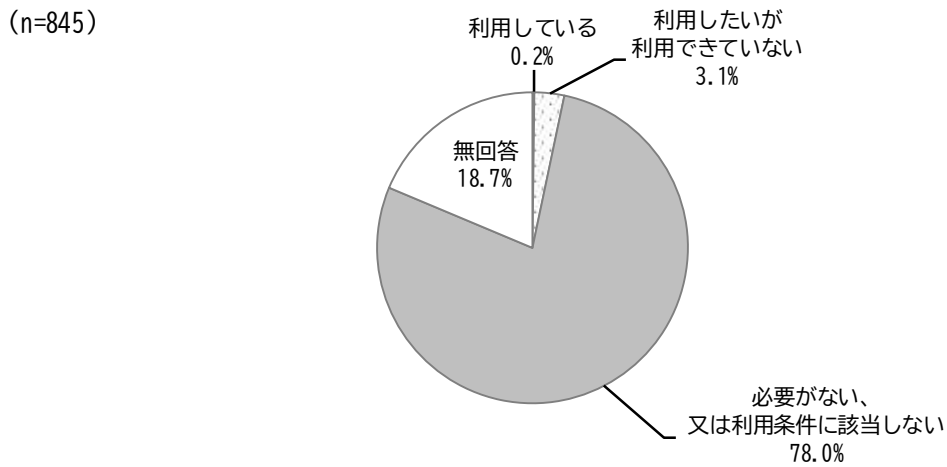
### 【③ 共同生活援助（グループホーム）：利用できていない理由】

「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が32.5%と最も多く、次いで「集団での生活が難しい」が30.0%、「定員が空いていない」が20.0%となっている。



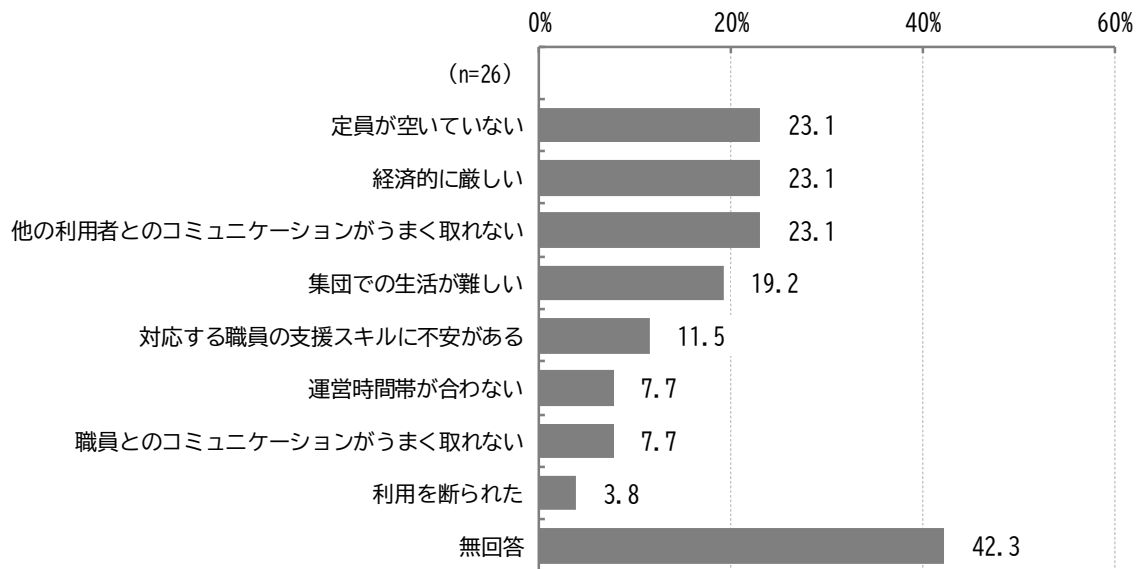
#### 【④ 施設入所支援（入所施設）：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が78.0%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が3.1%、「利用している」が0.2%となっている。



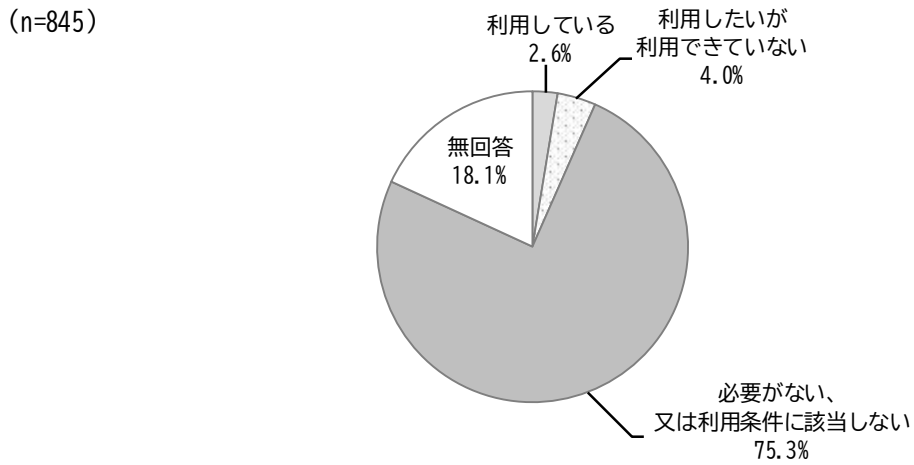
#### 【④ 施設入所支援（入所施設）：利用できていない理由】

「定員が空いていない」、「経済的に厳しい」、「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が23.1%と最も多くなっている。



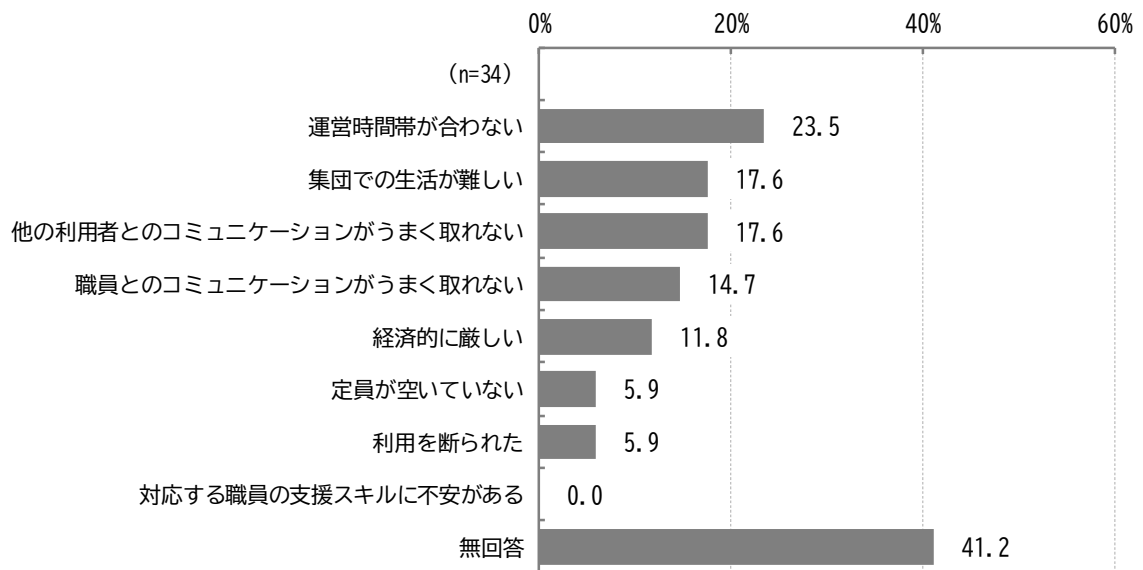
### 【⑤ 施設入浴サービス：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が75.3%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が4.0%、「利用している」が2.6%となっている。



### 【⑤ 施設入浴サービス：利用できていない理由】

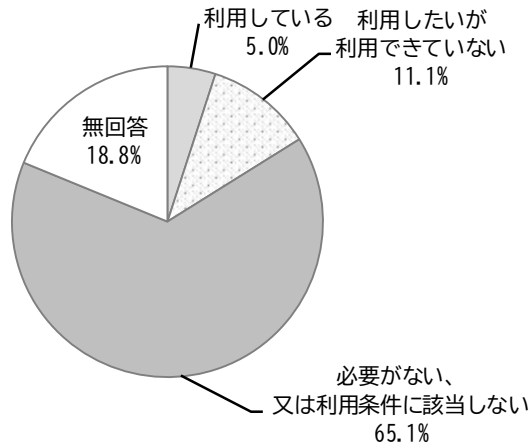
「運営時間帯が合わない」が23.5%と最も多く、次いで「集団での生活が難しい」と「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が17.6%となっている。



### 【⑥ 就労移行支援：利用状況】

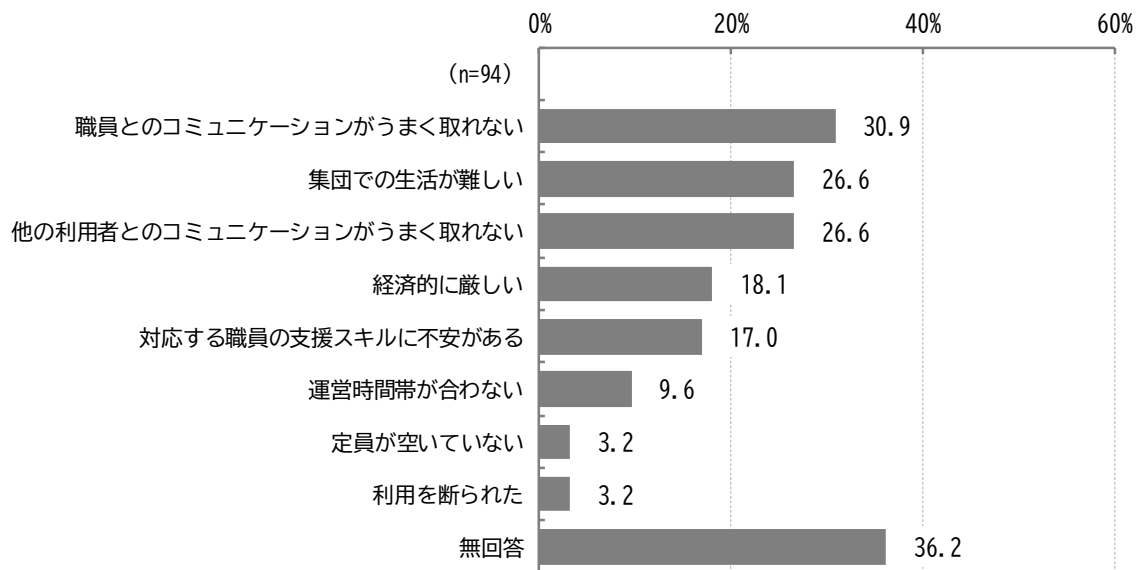
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が65.1%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が11.1%、「利用している」が5.0%となっている。

(n=845)



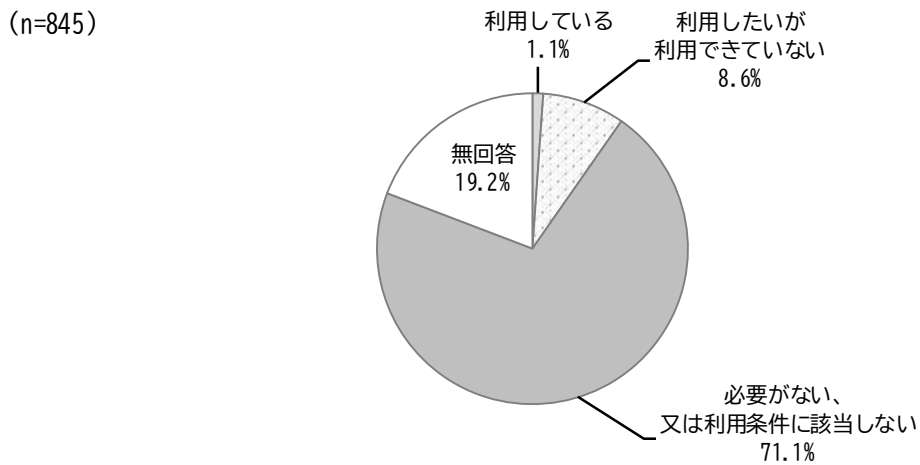
### 【⑥ 就労移行支援：利用できていない理由】

「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が30.9%と最も多く、次いで「集団での生活が難しい」と「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が26.6%となっている。



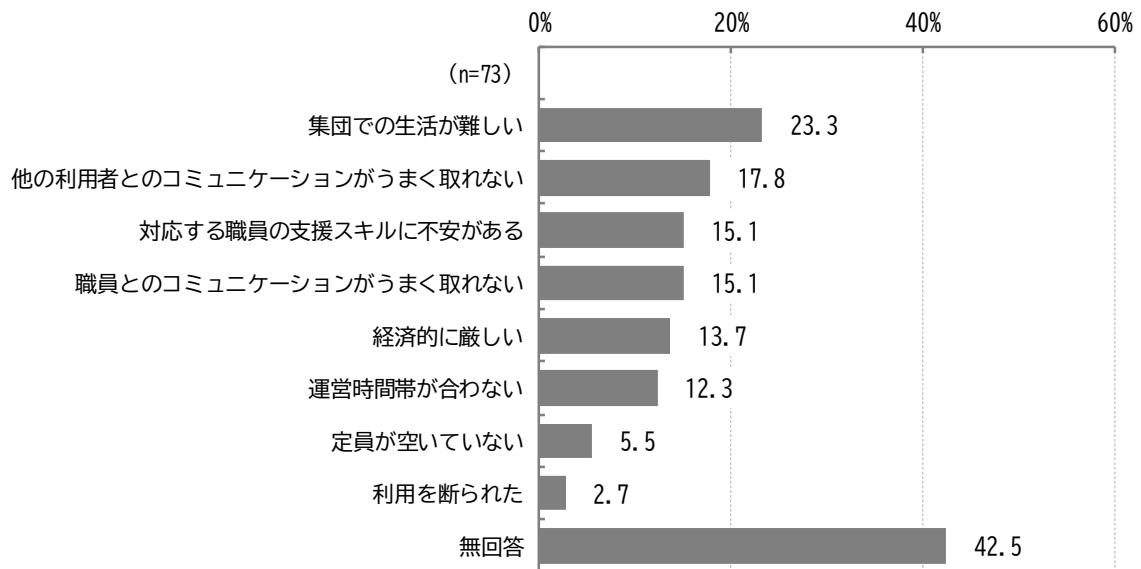
**【⑦ 就労継続支援A型：利用状況】**

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が71.1%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が8.6%、「利用している」が1.1%となっている。



**【⑦ 就労継続支援A型：利用できていない理由】**

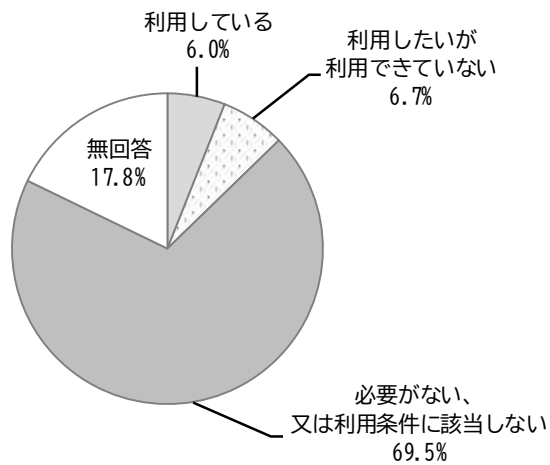
「集団での生活が難しい」が23.3%と最も多く、次いで「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が17.8%、「対応する職員の支援スキルに不安がある」と「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が15.1%となっている。



**【⑧ 就労継続支援B型：利用状況】**

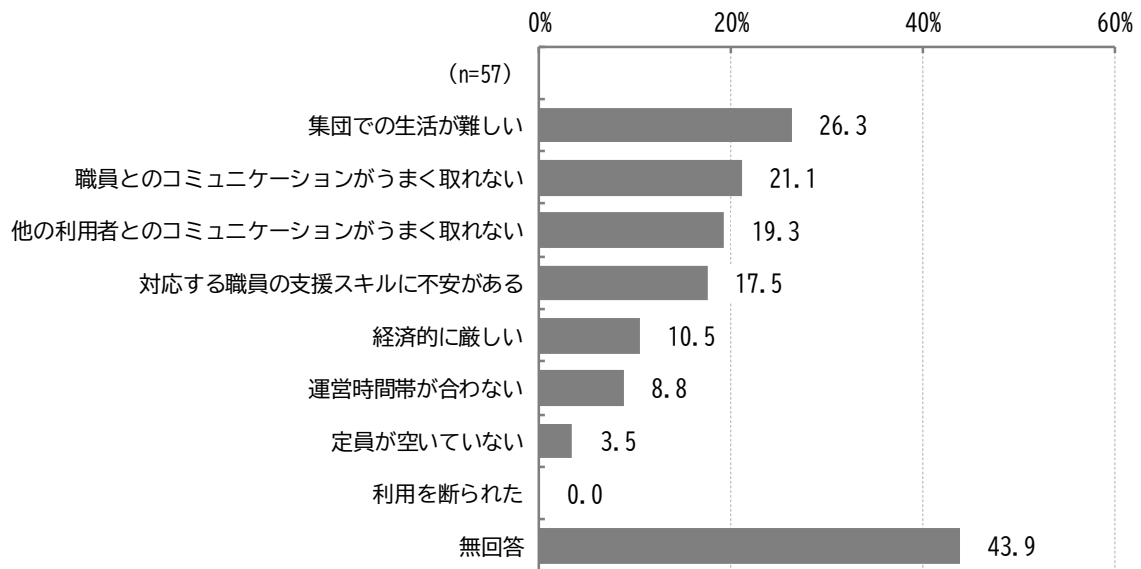
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が69.5%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が6.7%、「利用している」が6.0%となっている。

(n=845)



**【⑧ 就労継続支援B型：利用できていない理由】**

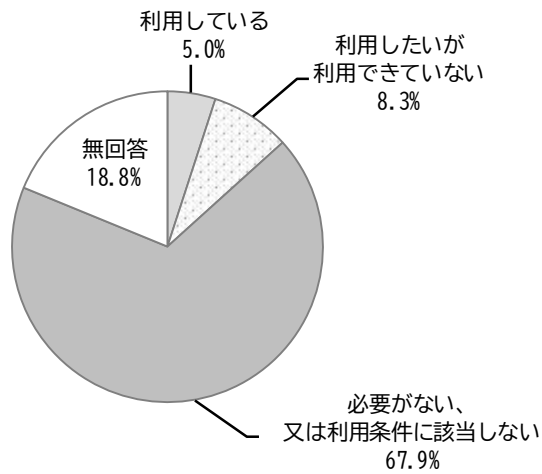
「集団での生活が難しい」が26.3%と最も多く、次いで「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が21.1%、「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が19.3%となっている。



### 【⑨ 就労定着支援：利用状況】

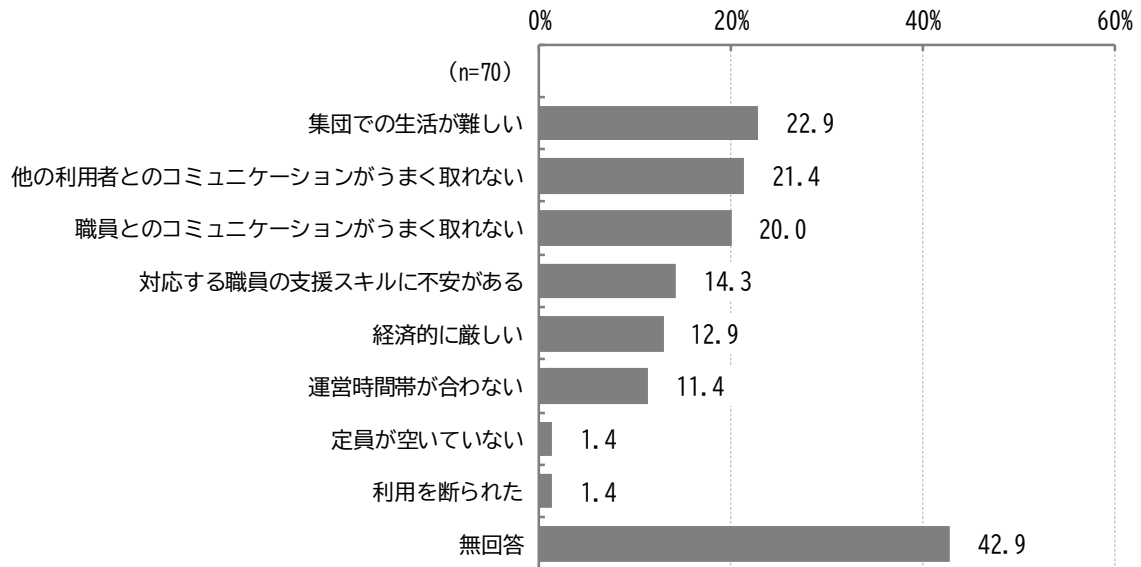
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が67.9%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が8.3%、「利用している」が5.0%となっている。

(n=845)



### 【⑨ 就労定着支援：利用できていない理由】

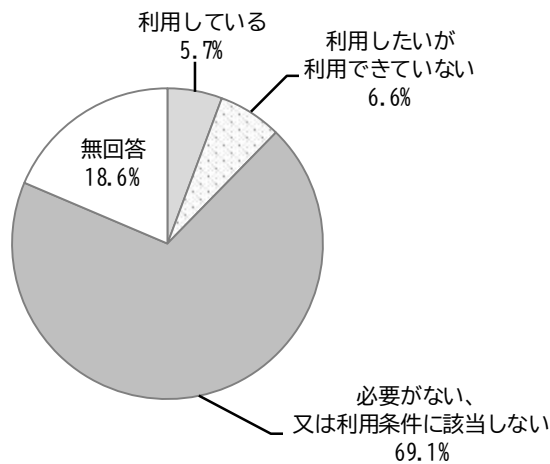
「集団での生活が難しい」が22.9%と最も多く、次いで「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が21.4%、「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が20.0%となっている。



### 【⑩ 移動支援：利用状況】

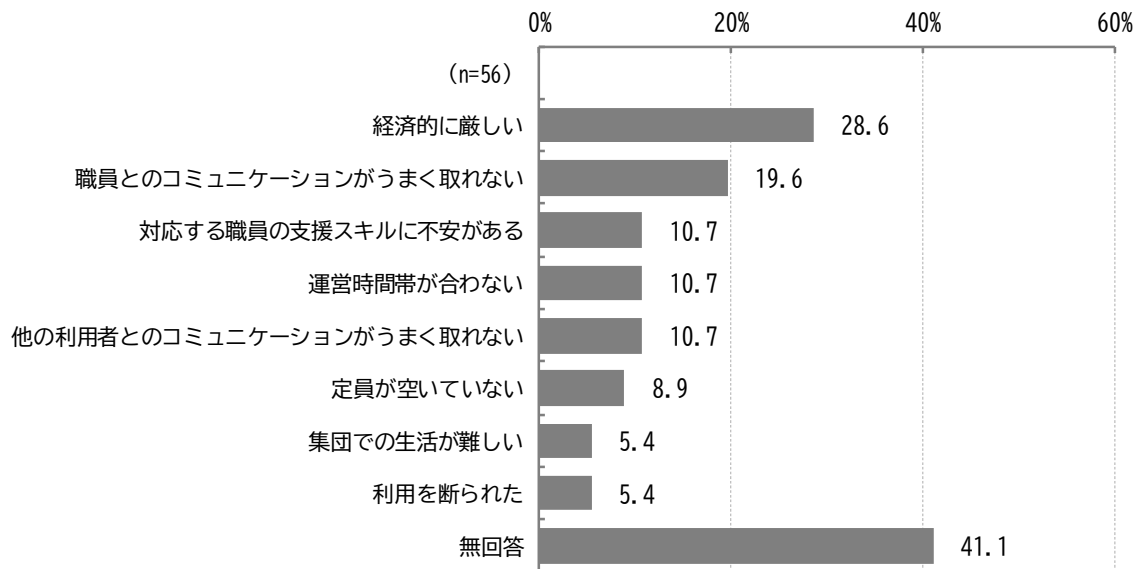
「必要がない、又は利用条件に該当しない」が69.1%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が6.6%、「利用している」が5.7%となっている。

(n=845)



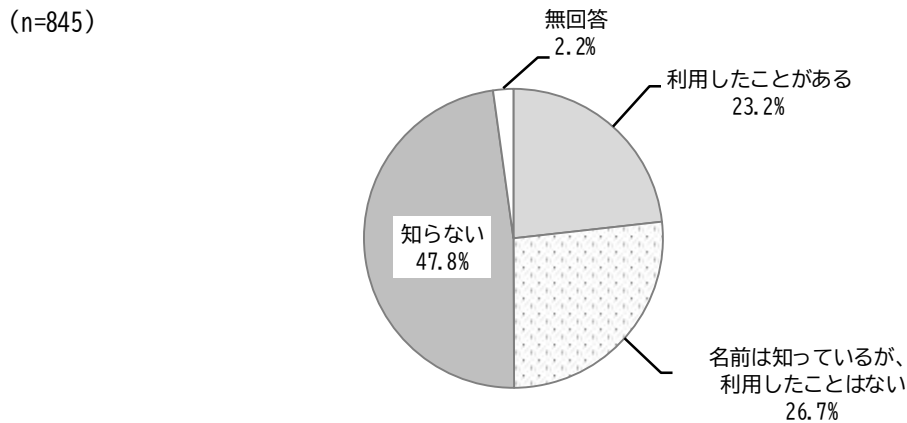
### 【⑩ 移動支援：利用できていない理由】

「経済的に厳しい」が28.6%と最も多く、次いで「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が19.6%、「対応する職員の支援スキルに不安がある」、「運営時間帯が合わない」、「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が10.7%となっている。



問25 区では、地域で生活する精神障害のある方の日常生活の支援や相談、社会参加や自立の支援のために精神障害者支援センター（あいはと・みなど）を設置しています。  
あなた（あて名のご本人）は、このセンターを利用したことがありますか。（○は1つ）

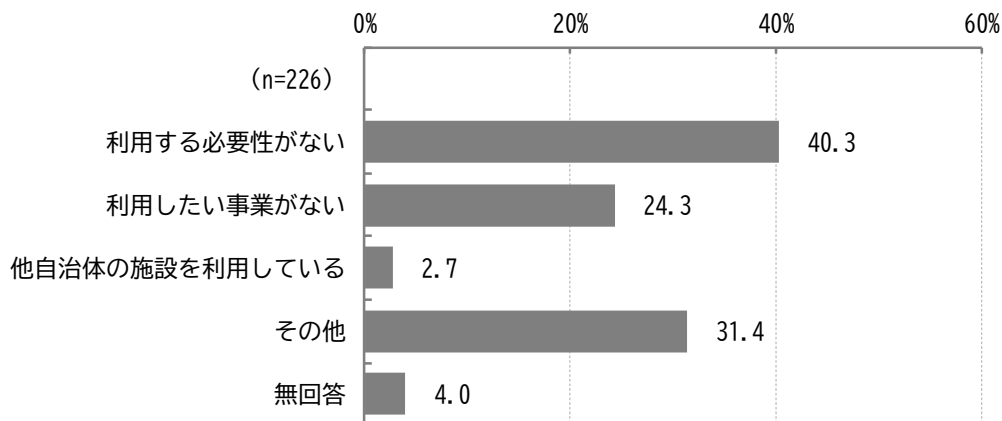
「知らない」が47.8%と最も多く、次いで「名前は知っているが、利用したことはない」が26.7%、「利用したことがある」が23.2%となっている。



※問26は、問25で「名前を知っているが、利用したことはない」を選択した人のみ回答

問26 利用したことがない理由を教えてください。（○はいくつでも）

「利用する必要性がない」が40.3%と最も多く、次いで「その他」が31.4%、「利用したい事業がない」が24.3%となっている。

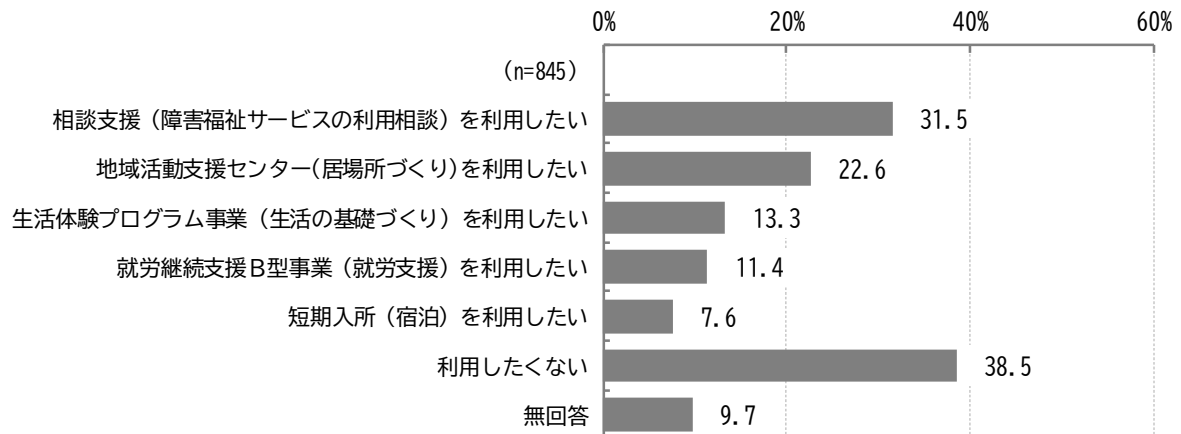


#### 【主なその他の内容】

内容	件数
外出することや、人と会うことが難しいため	16
施設や事業内容・利用方法がわからなかったため	20
自宅から遠いため	9
時間がない、又は合わないため	7
その他	11

問27 あなた（あて名のご本人）は、今後精神障害者支援センター（あいはーと・みなど）のどのような事業を利用したいと思いますか。（〇はいくつでも）

「利用したくない」が38.5%と最も多く、次いで「相談支援（障害福祉サービスの利用相談）を利用したい」が31.5%、「地域活動支援センター（居場所づくり）を利用したい」が22.6%となっている。



問28 問27の各事業に対する要望又はそれ以外の事業の実施要望があれば、その具体的な内容を教えてください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	居場所づくりについて	40
2	相談支援について	35
3	就労支援について	26
4	短期入所について	4
5	生活の基礎作りについて	8
6	上記以外の事業について	26
7	その他	5

**【主な意見】** ※分類ごとに1～2件掲載

**【1 居場所づくりについて】**

- アイハートは大変充実している。キッチンの利用がスムーズにもっと簡単に利用が出来たら非常に便利。食事会の時だけでなく包丁、鍋、調理器具等利用がしたい。
- 相談というほどではなくても、気軽に困りごとを話せる場所があれば良い。

**【2 相談支援について】**

- 精神障害の1人暮らしに対する支援(相談やグループ活動など)。
- 発達障害に関してセカンドオピニオンのような形で相談できると良い。

**【3 就労支援について】**

- 港区内での障害者雇用の求人相談、案内。
- 就労支援において就職できた後の仕事を継続できる支援の強化(何かあった時に気軽に相談しやすくする)。

**【4 短期入所について】**

- 自由に利用できるデイケアサービスがあって、その日に何をするのかかわかっていたら参加したい。家族と一緒にいられない時に、有人で宿泊できるサービスがあったら助かる。一人だと不安・心配だから。
- 短期入所で一人で出来ることは一人でしたい。

**【5 生活の基礎作りについて】**

- 本来なら1人で出来る事を出来るようになりたい。
- 今後の生活の立て直し方について一緒に考えてもらいたいです。

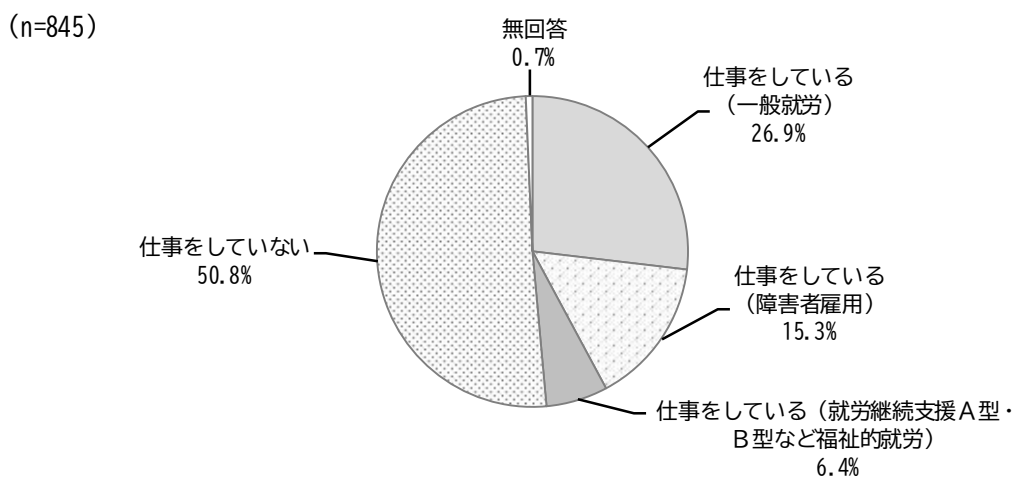
**【6 上記以外の事業について】**

- 広報してほしい。いろいろなオプションがあれば良いと思います。
- スポーツやスポーツ支援に関する事に参加出来る機会があればありがたい。

## 6. 就労状況について

問29 あなた（あて名のご本人）は、現在、仕事をしていますか。（○は1つ）

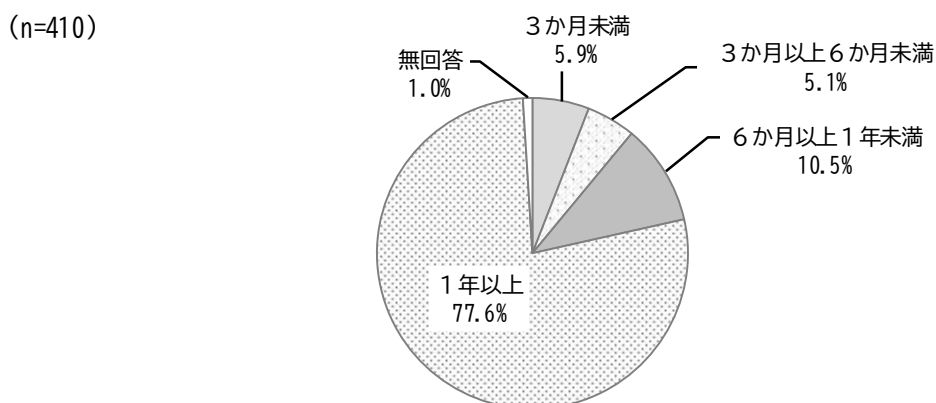
「仕事をしていない」が50.8%と最も多く、次いで「仕事をしている（一般就労）」が26.9%、「仕事をしている（障害者雇用）」が15.3%となっている。



※問30～34は、問29で選択肢「1. 仕事をしている（一般就労）」～「3. 仕事をしている（就労継続支援A型・B型など福祉的就労）」のいずれかを選択した人のみ回答

問30 仕事をしている期間を教えてください。（○は1つ）

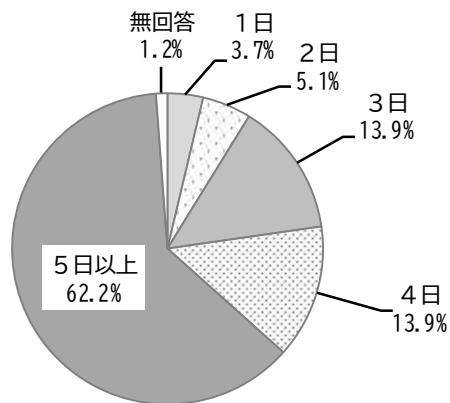
「1年以上」が77.6%と最も多く、次いで「6か月以上1年未満」が10.5%、「3か月未満」が5.9%となっている。



問31 1週間の就労日数を教えてください。(○は1つ)

「5日以上」が62.2%と最も多く、次いで「3日」と「4日」が13.9%となっている。

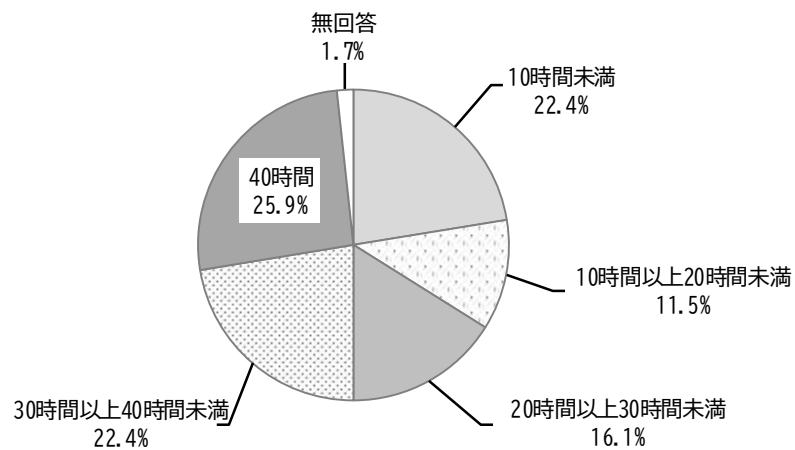
(n=410)



問32 1週間の労働時間を教えてください。休憩時間は除きます。(○は1つ)

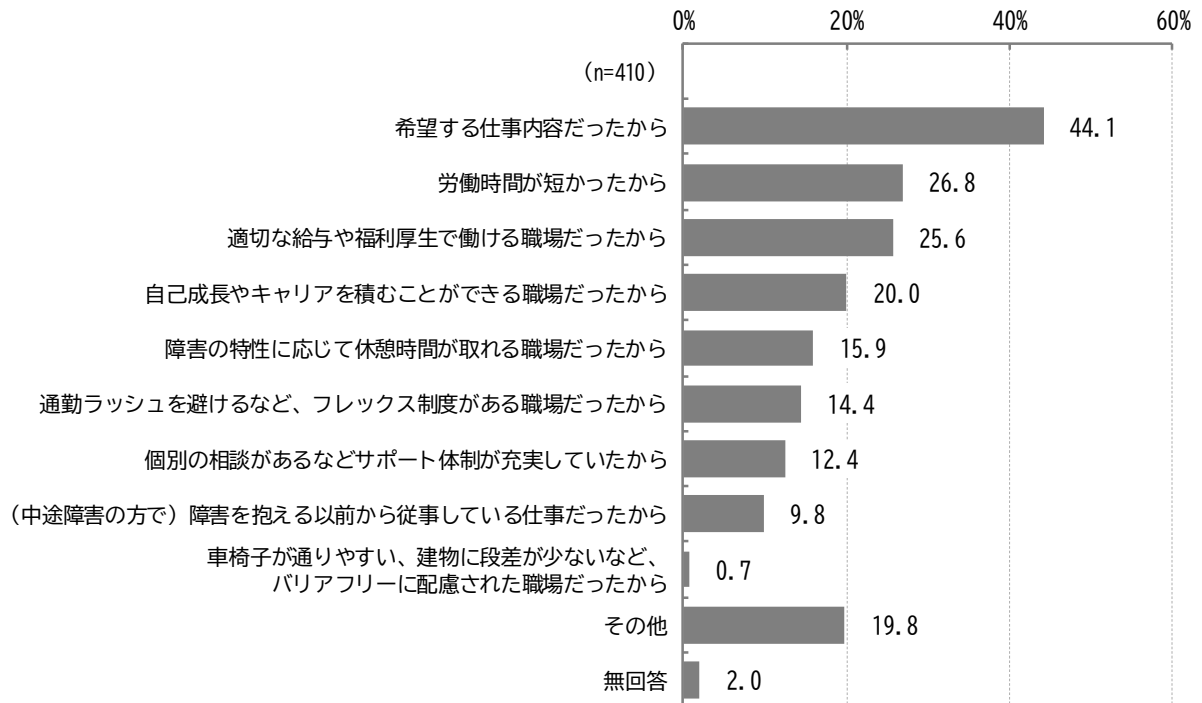
「40時間」が25.9%と最も多く、次いで「10時間未満」と「30時間以上40時間未満」が22.4%となっている。

(n=410)



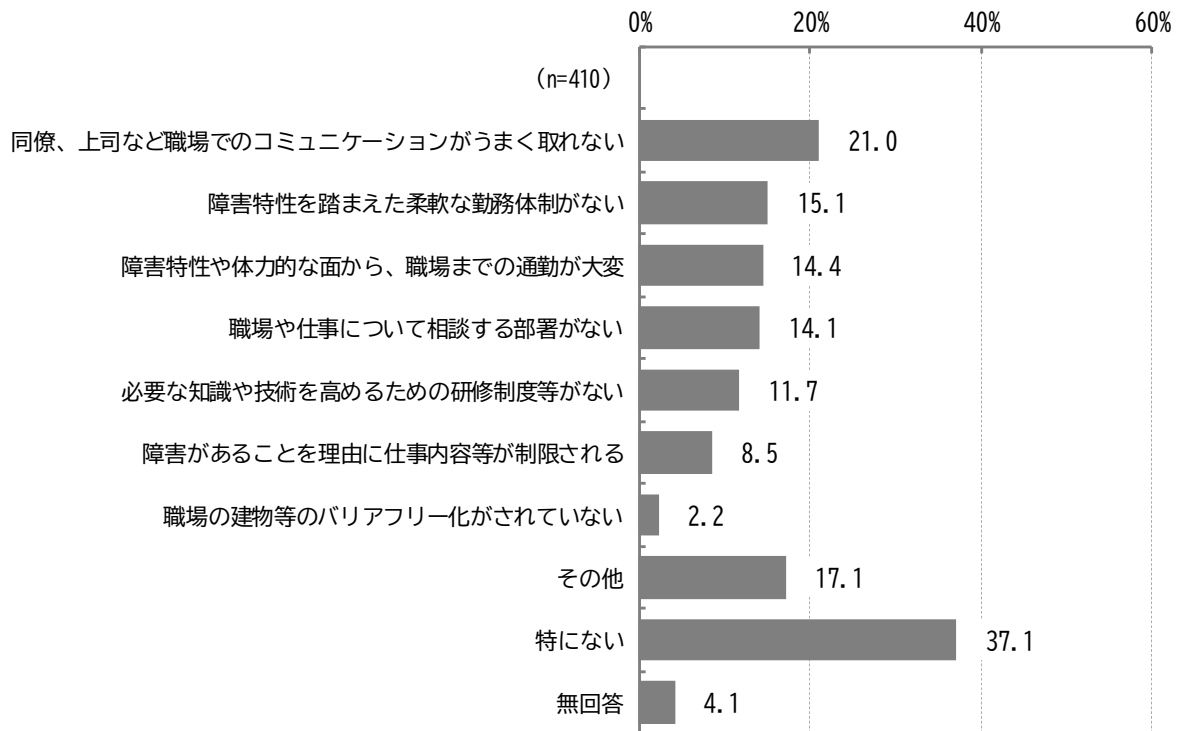
問33 現在の仕事を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「希望する仕事内容だったから」が 44.1%と最も多く、次いで「労働時間が短かったから」が 26.8%、「適切な給与や福利厚生で働ける職場だったから」が 25.6%となっている。



問34 あなた（あて名のご本人）が、仕事上で困っていることを教えてください。  
（〇はいくつでも）

「特にない」が37.1%と最も多く、次いで「同僚、上司など職場でのコミュニケーションがうまく取れない」が21.0%、「その他」が17.1%となっている。



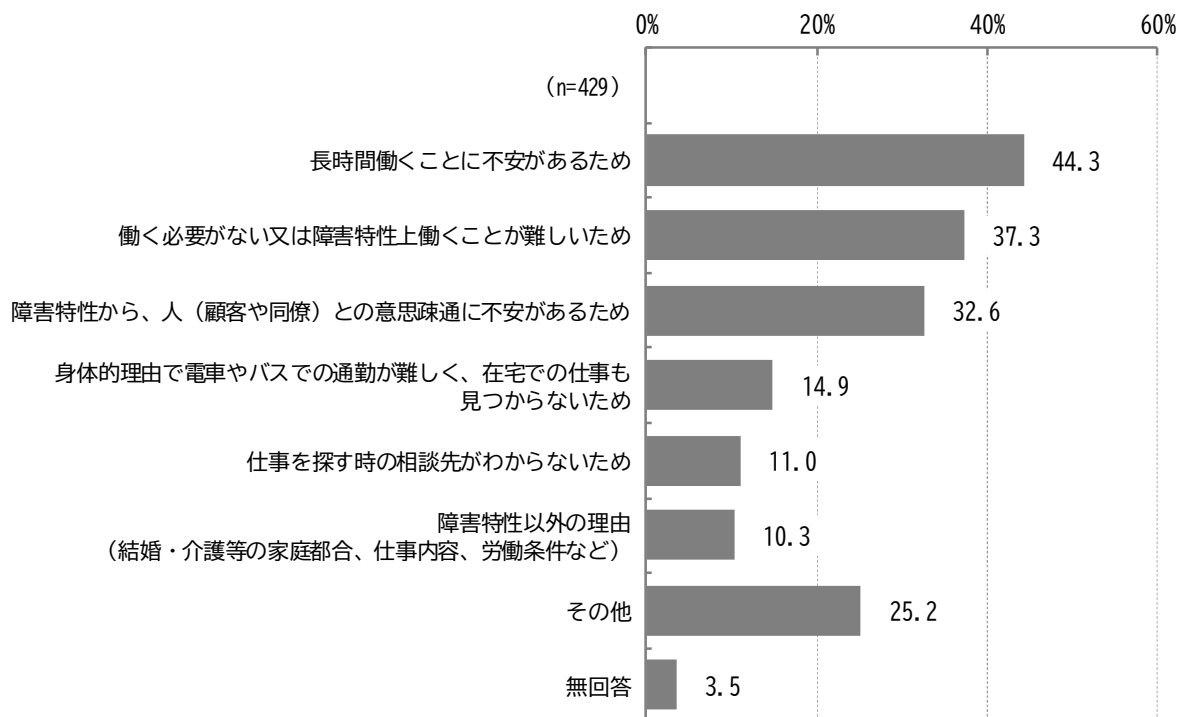
#### 【主なその他の内容】

内容	件数
職場環境に関すること	23
身体的な負担等に関すること	11
障害の開示に関すること	10
仕事内容に関すること	8
賃金に関すること	5
その他	11

※問 35 と問 36 は、問 29 で「仕事をしていない」を選択した人のみ回答

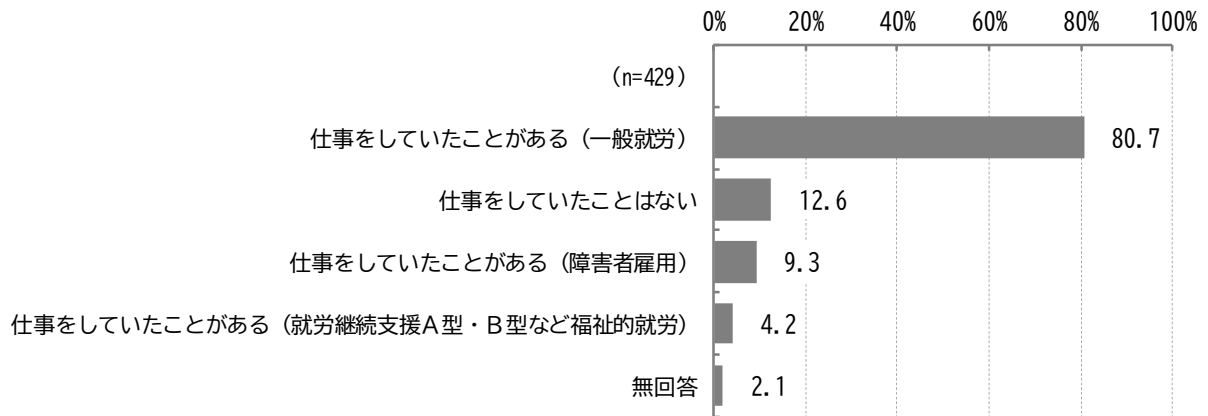
問35 現在、仕事をしていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「長時間働くことに不安があるため」が 44.3%と最も多く、次いで「働く必要がない又は障害特性上働くことが難しいため」が 37.3%、「障害特性から、人（顧客や同僚）との意思疎通に不安があるため」が 32.6%となっている。



問36 過去に仕事をしていたことがありますか。(○はいくつでも)

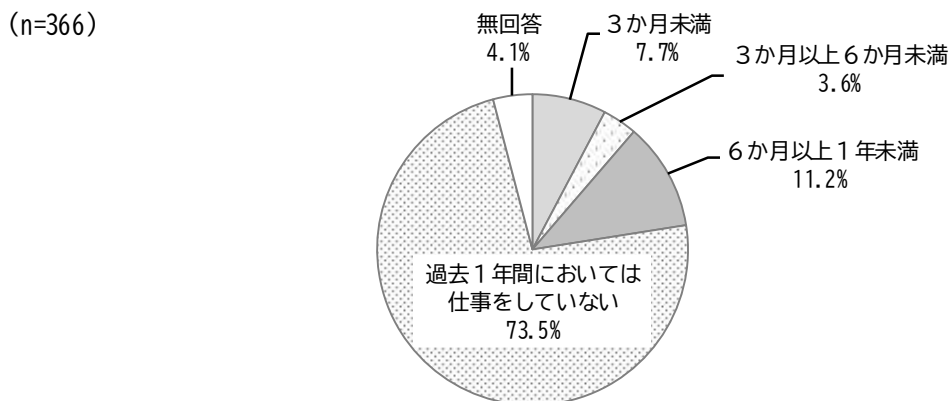
「仕事をしていたことがある（一般就労）」が80.7%と最も多く、次いで「仕事をしていたことはない」が12.6%、「仕事をしていたことがある（障害者雇用）」が9.3%となっている。



※問37は、問36で選択肢「1.仕事をしていたことがある（一般就労）」～「3.仕事をしていたことがある（就労継続支援A型・B型など福祉的就労）」のいずれかを選択した人のみ回答

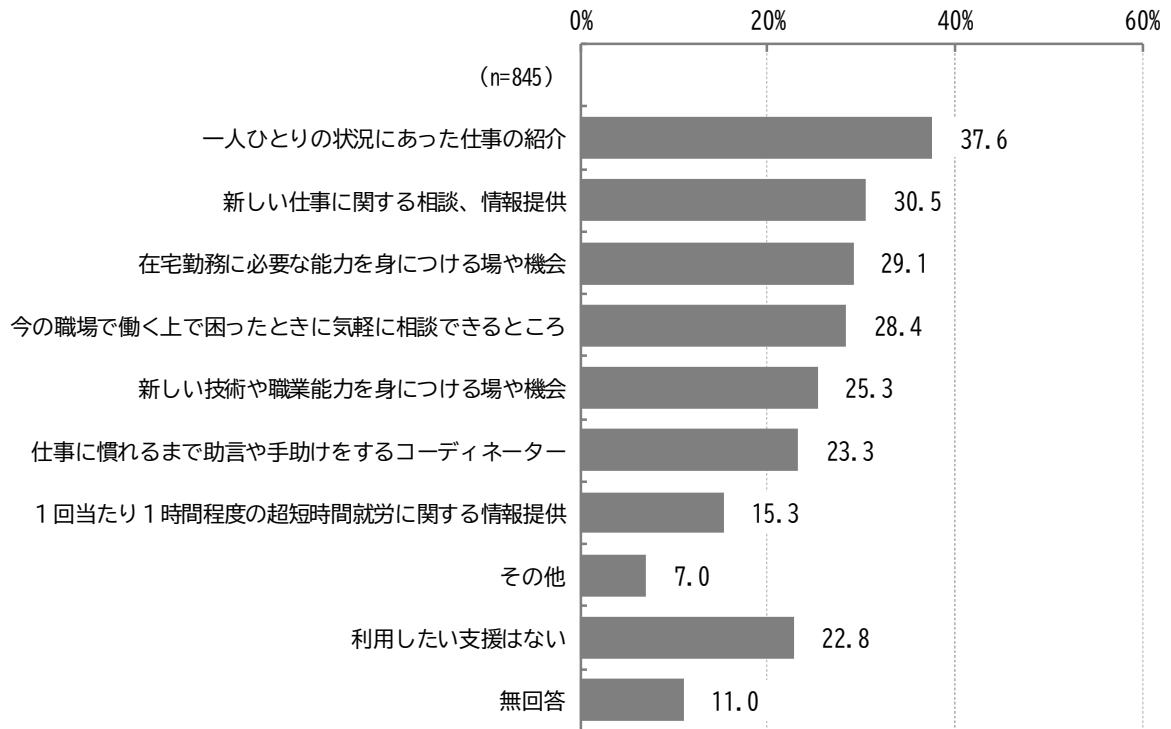
問37 過去1年間に仕事をしていた期間を教えてください。(○は1つ)

「過去1年間においては仕事をしていない」が73.5%と最も多く、次いで「6か月以上1年未満」が11.2%、「3か月未満」が7.7%となっている。



問38 あなた（あて名のご本人）が、新しい仕事に就いたり仕事を継続したりするために、利用したい支援を教えてください。（〇はいくつでも）

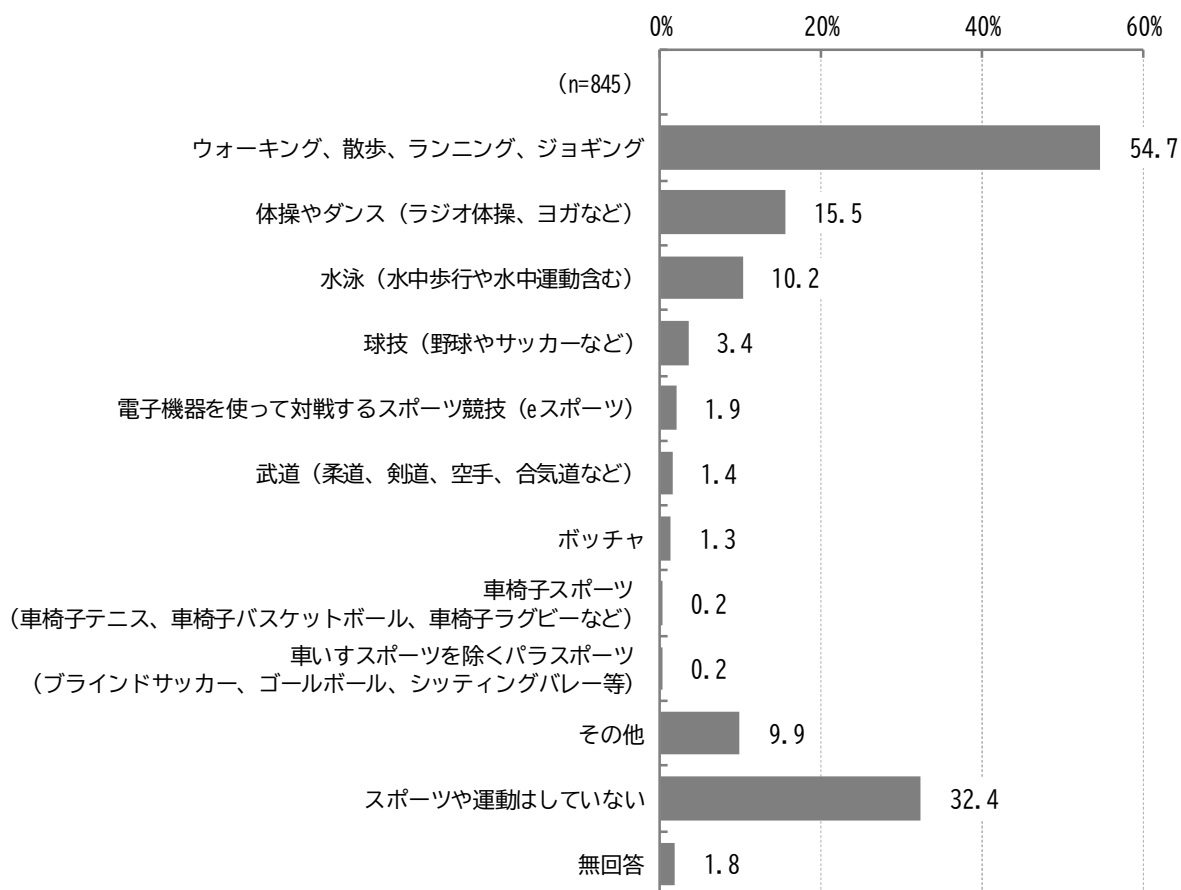
「一人ひとりの状況にあった仕事の紹介」が37.6%と最も多く、次いで「新しい仕事に関する相談、情報提供」が30.5%、「在宅勤務に必要な能力を身につける場や機会」が29.1%となっている。



## 7. 余暇活動・文化芸術活動について

問39 あなた（あて名のご本人）が、この1年間に行ったスポーツや運動はありますか。  
（〇はいくつでも）

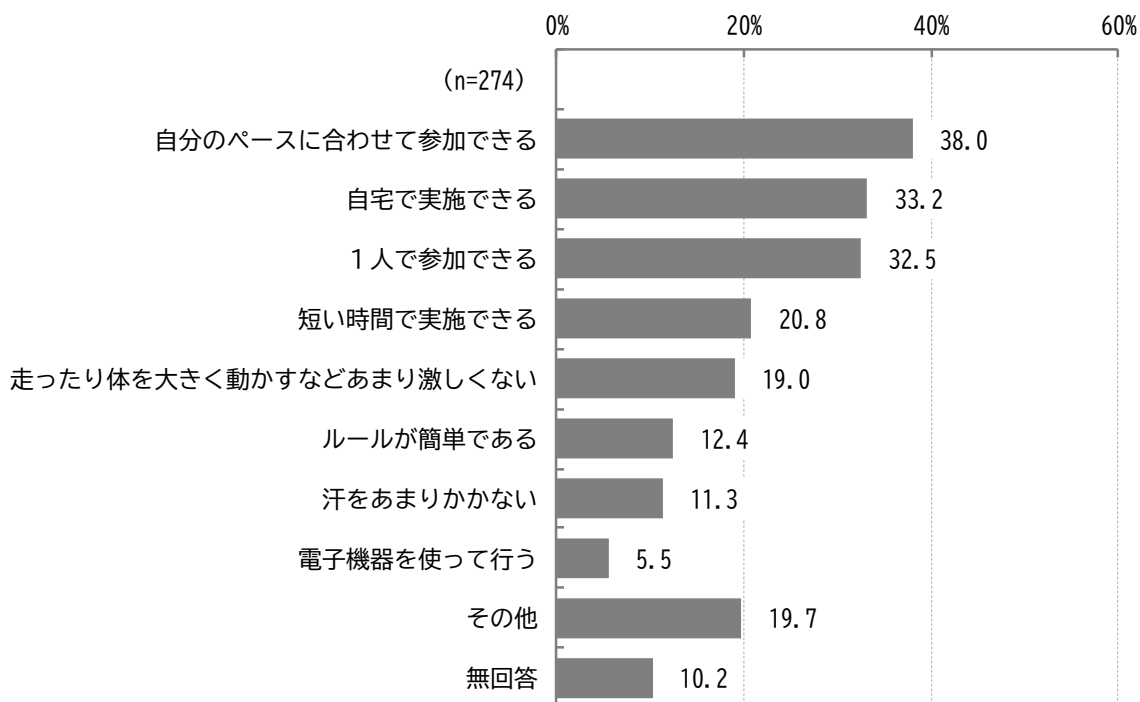
「ウォーキング、散歩、ランニング、ジョギング」が54.7%と最も多く、次いで「スポーツや運動はしていない」が32.4%、「体操やダンス（ラジオ体操、ヨガなど）」が15.5%となっている。



※問 40 は、問 39 で「スポーツや運動はしていない」を選択した人のみ回答

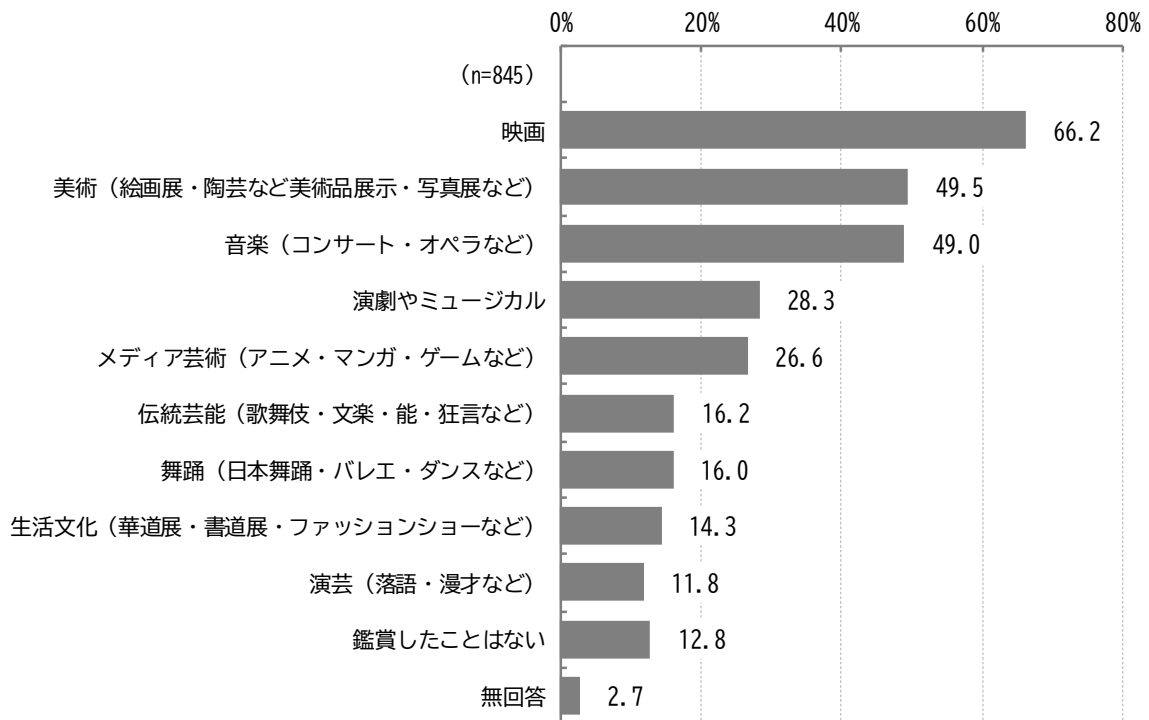
問40 どのようなスポーツや運動に参加したいですか。(〇はいくつでも)

「自分のペースに合わせて参加できる」が 38.0%と最も多く、次いで「自宅で実施できる」が 33.2%、「1人で参加できる」が 32.5%となっている。



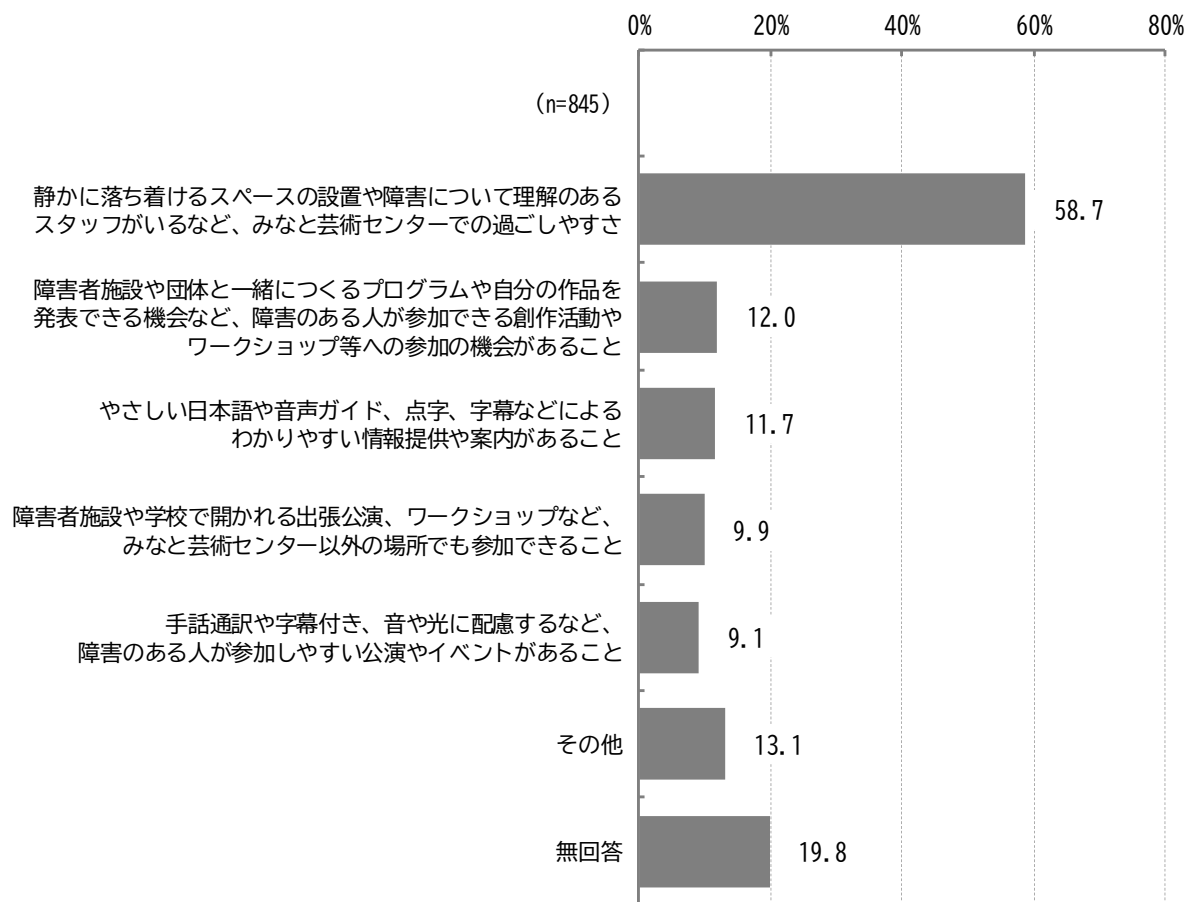
問41 あなた（あて名のご本人）がこれまでに、自宅以外の場所で鑑賞や活動したことがある文化芸術のジャンルを教えてください。（○はいくつでも）

「映画」が66.2%と最も多く、次いで「美術（絵画展・陶芸など美術品展示・写真展など）」が49.5%、「音楽（コンサート・オペラなど）」が49.0%となっている。



問42 港区立みなと芸術センター（令和9年度開館予定）では、障害のある方も安心して利用し、文化芸術を楽しんだり、参加したりできるようにしていきたいと考えています。  
 今後の準備に生かすため、あなた（あて名のご本人）が「このようなことがあれば嬉しい」「ぜひ取り組んでほしい」と思うことを、以下からお選びください。（〇はいくつでも）

「静かに落ち着けるスペースの設置や障害について理解のあるスタッフがいるなど、みなと芸術センターでの過ごしやすさ」が58.7%と最も多く、次いで「その他」が13.1%、「障害者施設や団体と一緒に作るプログラムや自分の作品を発表できる機会など、障害のある人が参加できる創作活動やワークショップ等への参加の機会があること」が12.0%となっている。

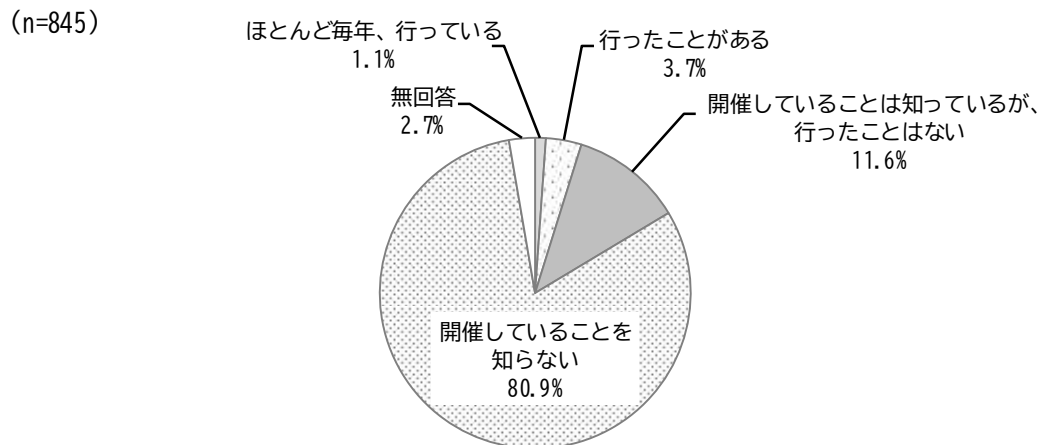


【主なその他の内容】

内容	件数
特に取り組んでほしいことはない	26
施設の利用や設備等について	17
開催してほしいイベント等について	13
取り扱ってほしい分野について	11
料金について	7
その他	14

問43 区では、年1回(約1か月間)、区内美術館等において、障害者が制作した絵画等の作品を展示する「地域で共に生きる障害児・障害者アート展」を開催しています。このイベントに行ったことはありますか。(○は1つ)

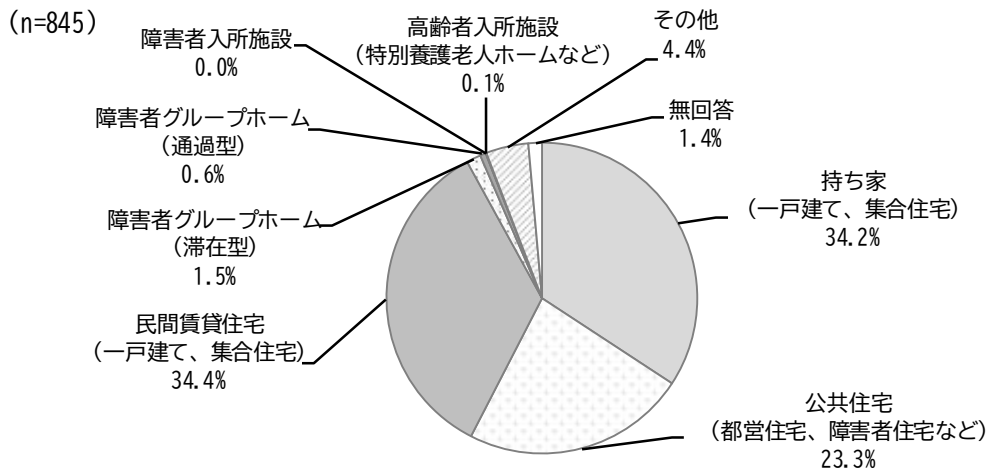
「開催していることを知らない」が80.9%と最も多く、次いで「開催していることは知っているが、行ったことはない」が11.6%、「行ったことがある」が3.7%となっている。



## 8. 居住の場について

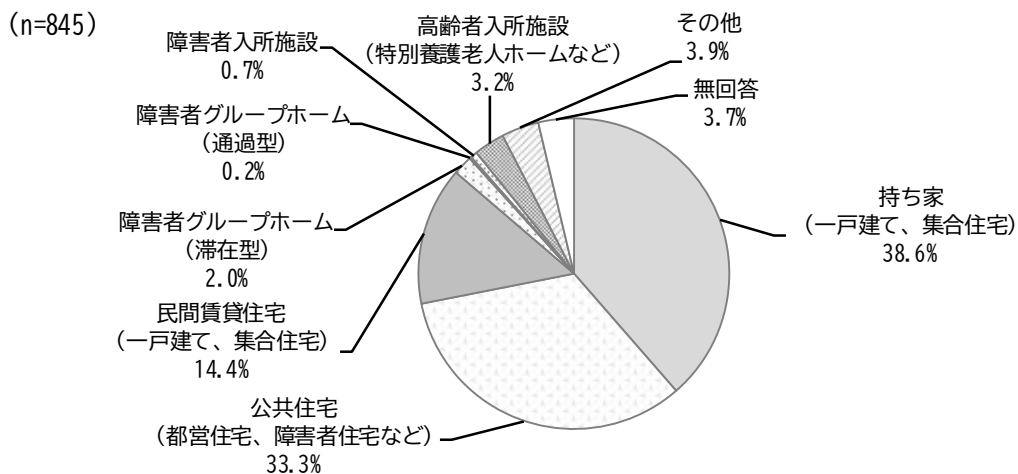
問44 あなた（あて名のご本人）が現在、どのような場所に住んでいるか教えてください。（○は1つ）

「民間賃貸住宅（一戸建て、集合住宅）」が34.4%と最も多く、次いで「持ち家（一戸建て、集合住宅）」が34.2%、「公共住宅（都営住宅、障害者住宅など）」が23.3%となっている。



問45 あなた（あて名のご本人）が将来的に、希望する居住の場を教えてください。（○は1つ）

「持ち家（一戸建て、集合住宅）」が38.6%と最も多く、次いで「公共住宅（都営住宅、障害者住宅など）」が33.3%、「民間賃貸住宅（一戸建て、集合住宅）」が14.4%となっている。

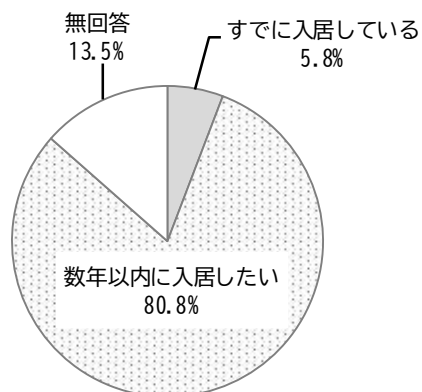


※問 46 は、問 45 で選択肢「4. 障害者グループホーム（滞在型）」～「7. 高齢者入所施設（特別養護老人ホームなど）」のいずれかを選択した人のみ回答

問46 入居を希望する時期はいつですか。（○は1つ）

「数年以内に入居したい」が 80.8%、「すでに入居している」が 5.8%となっている。

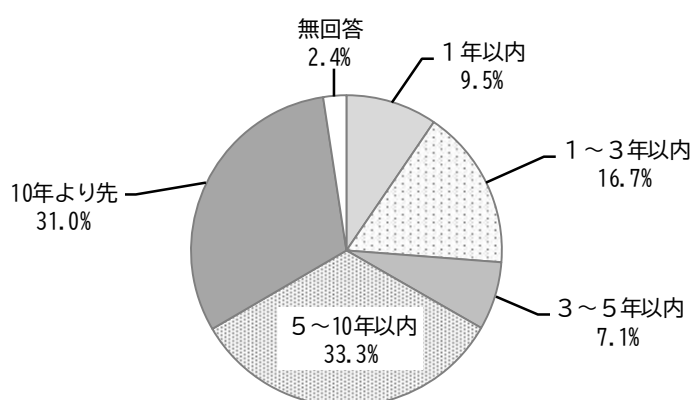
(n=52)



#### 【何年以内に入居したいか】

「5～10年以内」が 33.3%と最も多く、次いで「10年より先」が 31.0%、「1～3年以内」が 16.7%となっている。

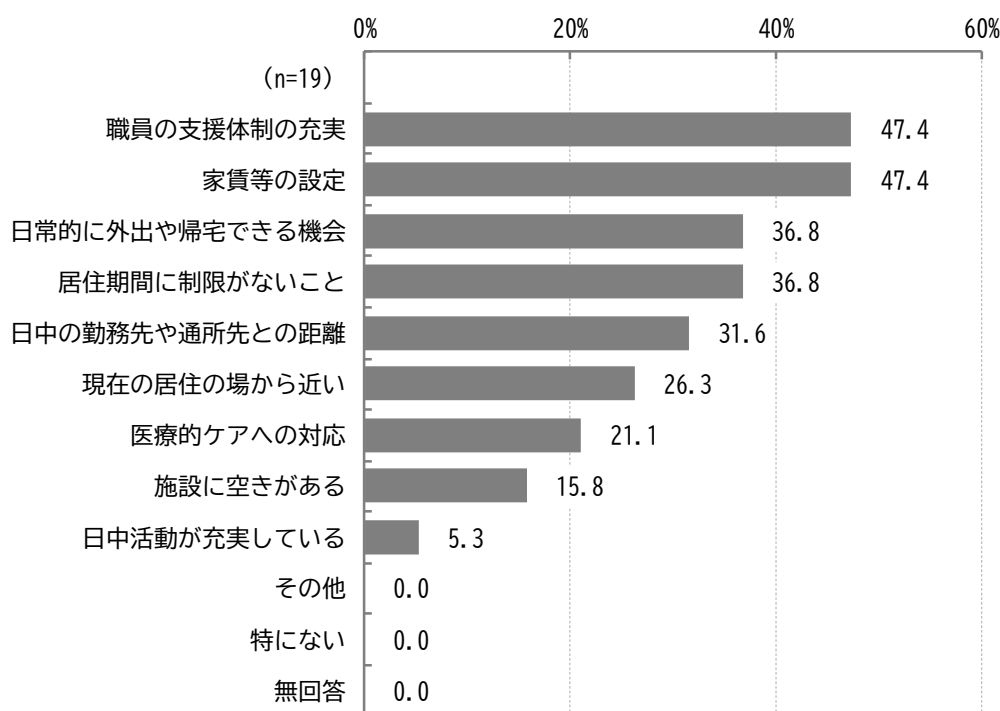
(n=42)



※問 47 は、問 45 で選択肢「4. 障害者グループホーム（滞在型）」又は「5. 障害者グループホーム（通過型）」のいずれかを選択した人のみ回答

問47 グループホームに居住する（居住を継続する）場合、どのような点を希望又は重視しますか。（○は3つまで）

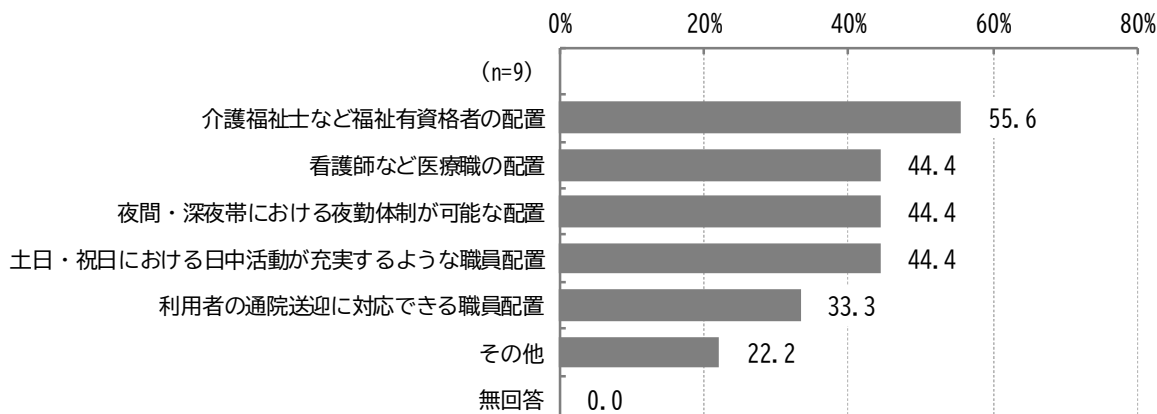
「職員の支援体制の充実」と「家賃等の設定」が47.4%と最も多く、次いで「日常的に外出や帰宅できる機会」と「居住期間に制限がないこと」が36.8%となっている。



※問 48 は、問 47 で「職員の支援体制の充実」を選択した人のみ回答

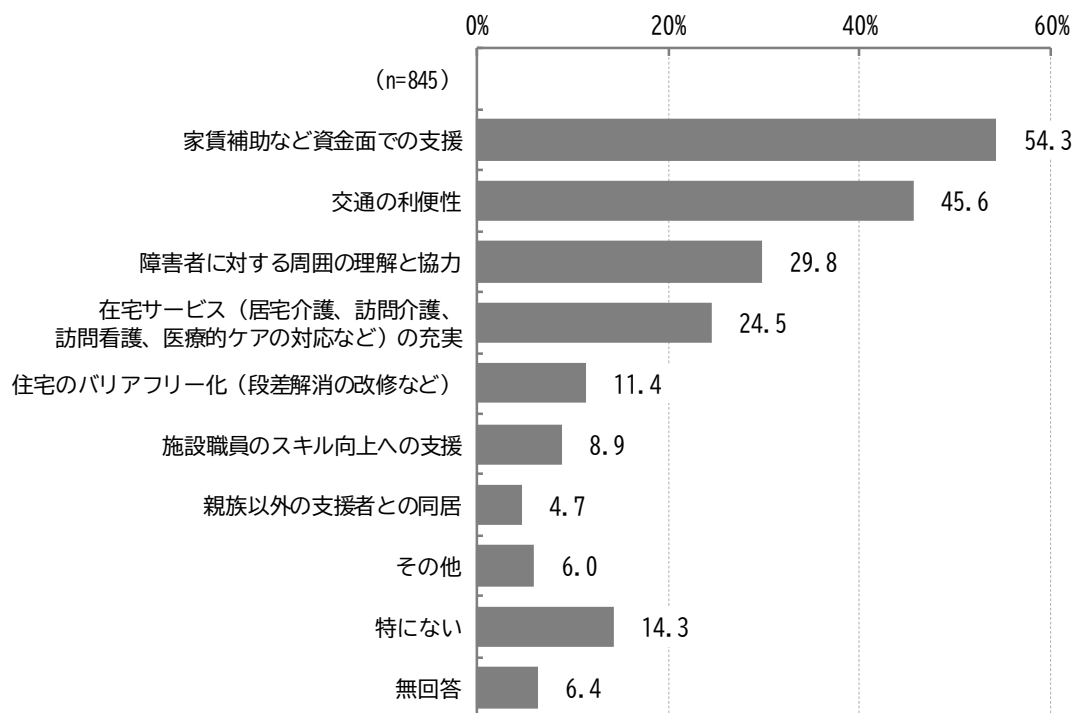
問48 希望する「職員の支援体制の充実」の具体的な内容を教えてください。（○はいくつでも）

「介護福祉士など福祉有資格者の配置」が55.6%と最も多く、次いで「看護師など医療職の配置」、「夜間・深夜帯における夜勤体制が可能な配置」、「土日・祝日における日中活動が充実するような職員配置」が44.4%となっている。



問49 あなた（あて名のご本人）が希望する居住の場において必要な支援や条件を教えてください。（〇はいくつでも）

「家賃補助など資金面での支援」が54.3%と最も多く、次いで「交通の利便性」が45.6%、「障害者に対する周囲の理解と協力」が29.8%となっている。



## 9. 「入院」「通院」の状況について

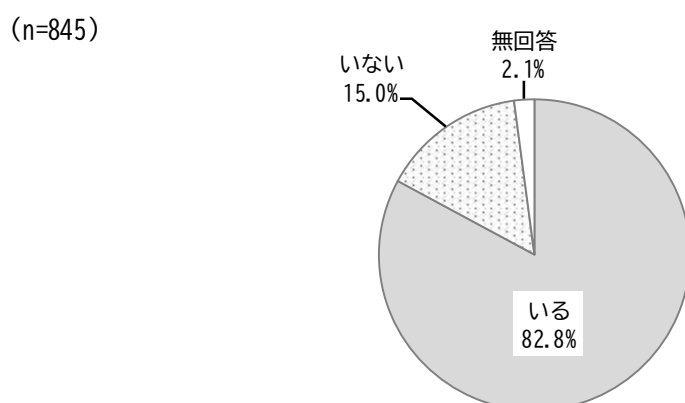
問50 あなた（あて名のご本人）は、調査基準日（令和7年8月1日）現在、精神疾患に関わる病気（てんかんを含む）で病院、診療所等の医療機関への入院経験がありますか。（○は1つ）

「入院したことはない」が56.3%と最も多く、次いで「現在、入院していないが、過去に入院したことがある」が39.6%、「現在、入院している」が1.7%となっている。



問51 あなた（あて名のご本人）には、あなた自身やあなたの家族の健康相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）はいますか。（○は1つ）

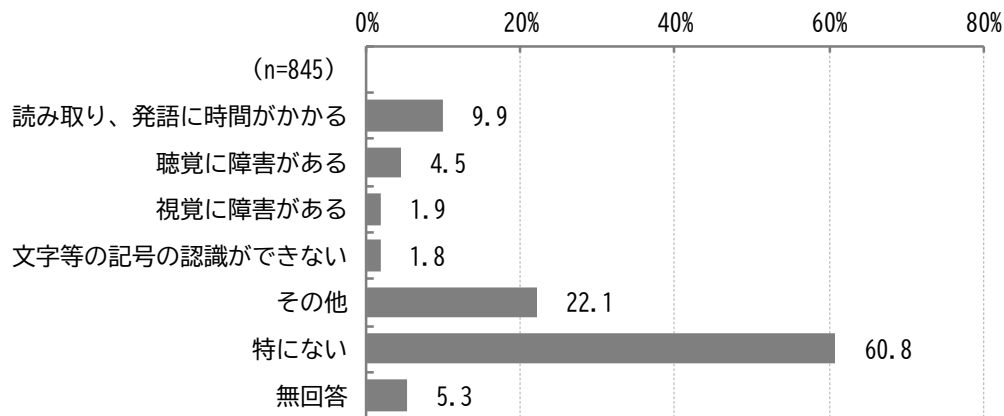
「いる」が82.8%、「いない」が15.0%となっている。



## 10. コミュニケーション手段の確保について

問52 あなた（あて名のご本人）が他者とコミュニケーションをとるに当たり、支障となる障害を教えてください。（〇はいくつでも）

「特にない」が60.8%と最も多く、次いで「その他」が22.1%、「読み取り、発語に時間がかかる」が9.9%となっている。

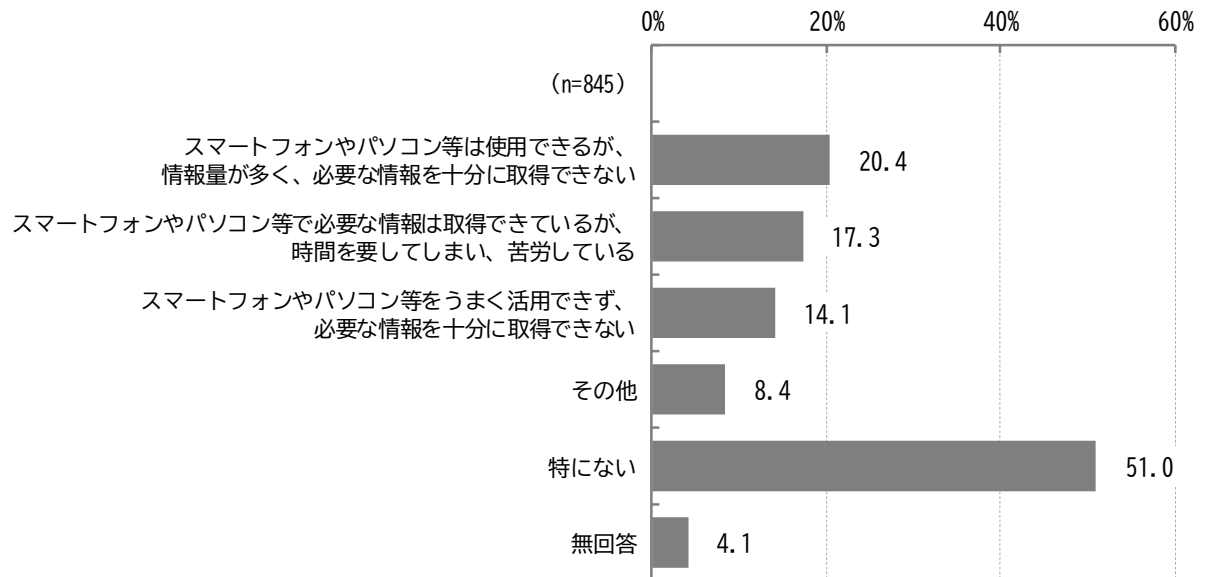


### 【主なその他の内容】

内容	件数
人とのコミュニケーションが苦手である	30
言葉や会話内容の理解が難しい	25
障害特性のためコミュニケーションをとることが困難である	20
感情のコントロールが難しい、又は緊張しやすい	15
読み書きや聞き取り等が難しい	12
会話等を記憶することが難しい	9
他人の感情等を読み取ることが難しい	7
発語がない、又は困難である	5
その他	50

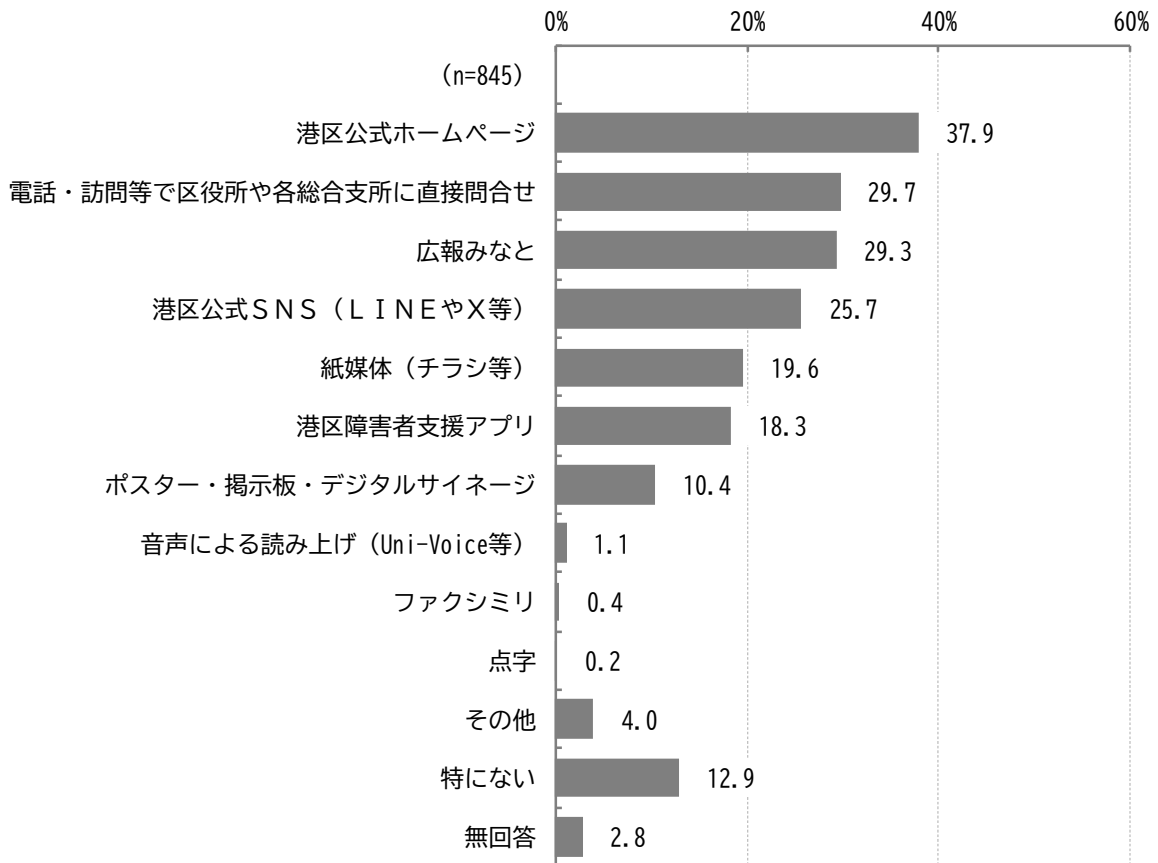
問53 あなた（あて名のご本人）が区から必要な情報を取得する際に困った経験があれば教えてください。（○はいくつでも）

「特にない」が51.0%と最も多く、次いで「スマートフォンやパソコン等は使用できるが、情報量が多く、必要な情報を十分に取得できない」が20.4%、「スマートフォンやパソコン等で必要な情報は取得できているが、時間を要してしまい、苦労している」が17.3%となっている。



問54 あなた（あて名のご本人）が区の発信する情報やお知らせを受け取るために、希望する媒体・手段を教えてください。（〇はいくつでも）

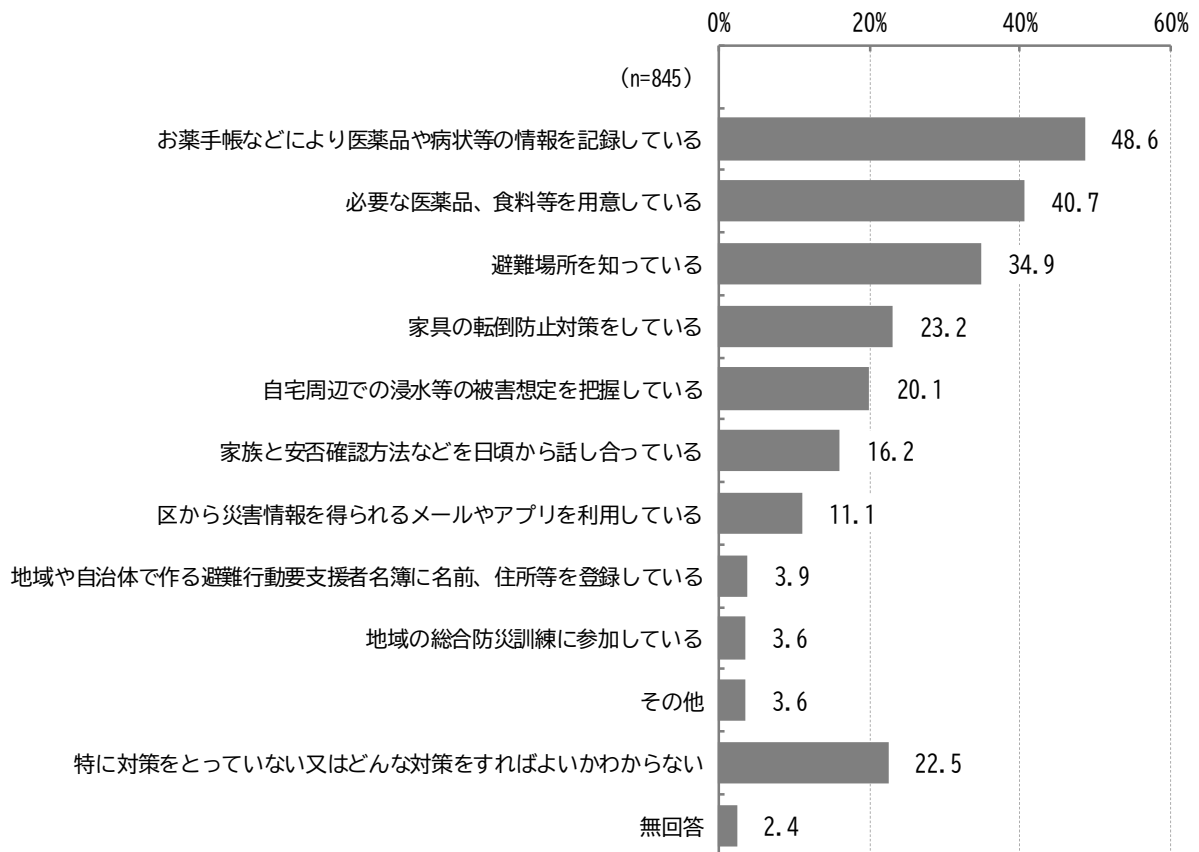
「港区公式ホームページ」が37.9%と最も多く、次いで「電話・訪問等で区役所や各総合支所に直接問合せ」が29.7%、「広報みなと」が29.3%となっている。



## 11. 災害に対する備えと災害時の行動について

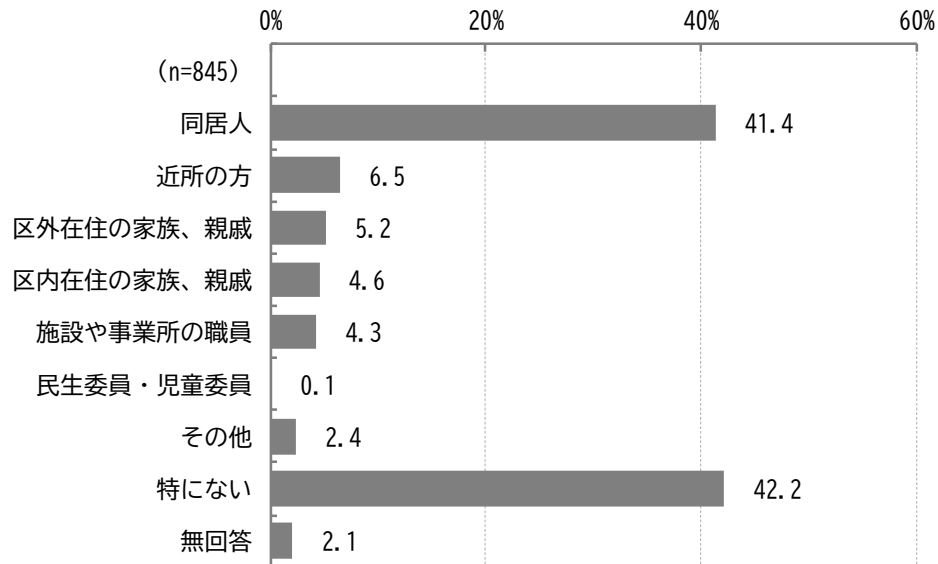
問55 災害が発生したときは、ご自宅での在宅避難が基本となりますが、あなた（あて名のご本人）は日頃から災害に備えて特別な対策を取っていますか。（〇はいくつでも）

「お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している」が48.6%と最も多く、次いで「必要な医薬品、食料等を用意している」が40.7%、「避難場所を知っている」が34.9%となっている。



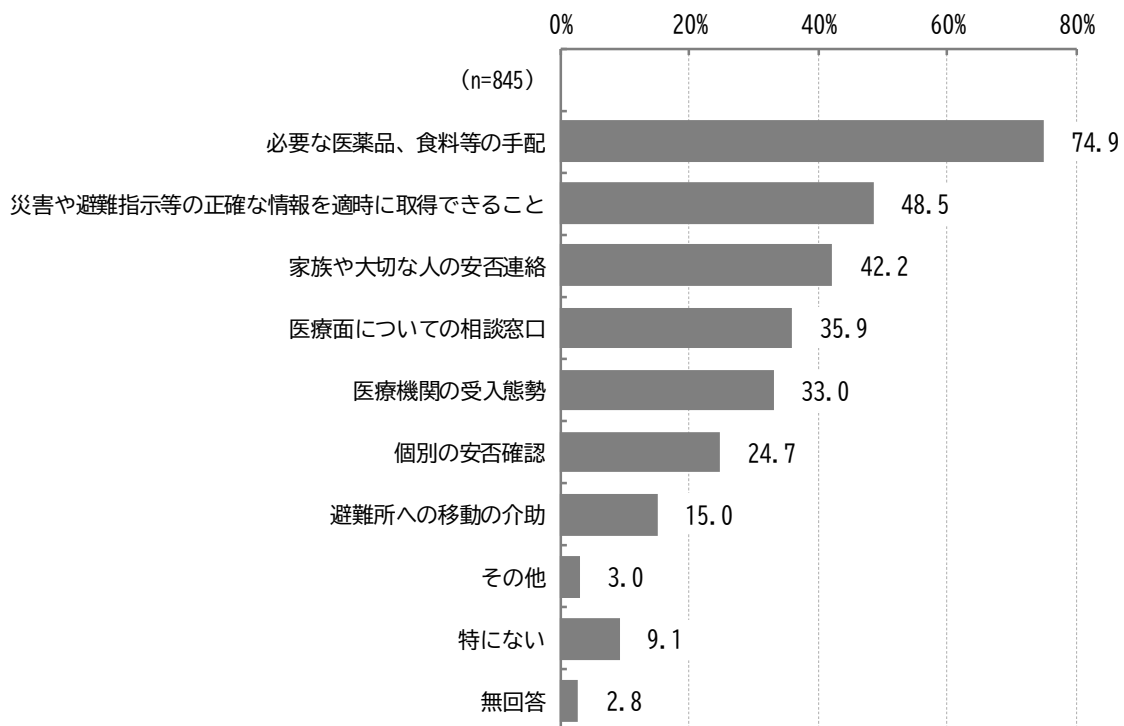
問56 あなた（あて名のご本人）には災害が発生したときに安全な場所への避難を支援してくれる支援者はいますか。（〇はいくつでも）

「特にない」が42.2%と最も多く、次いで「同居人」が41.4%、「近所の方」が6.5%となっている。



問57 災害が発生したときにあなた（あて名のご本人）が行政や地域から必要とする支援を教えてください。（〇はいくつでも）

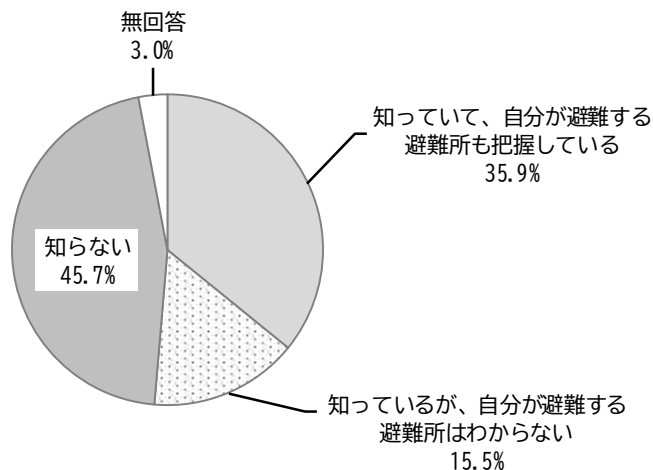
「必要な医薬品、食料等の手配」が74.9%と最も多く、次いで「災害や避難指示等の正確な情報を適時に取得できること」が48.5%、「家族や大切な人の安否連絡」が42.2%となっている。



問58 あなた（あて名のご本人）は避難所（福祉避難所含む）をご存じですか。（○は1つ）

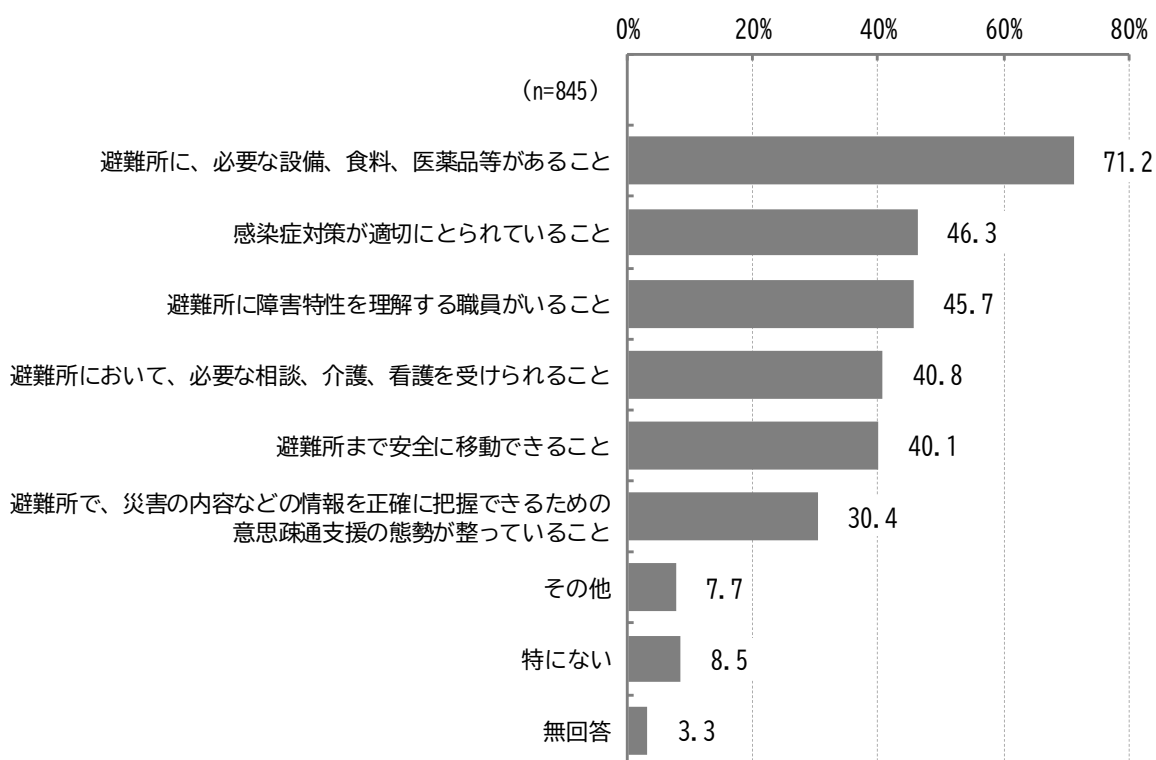
「知らない」が45.7%と最も多く、次いで「知っている、自分が避難する避難所も把握している」が35.9%、「知っているが、自分が避難する避難所はわからない」が15.5%となっている。

(n=845)



問59 あなた（あて名のご本人）が避難所（福祉避難所を含む）で望む支援は何ですか。（○はいくつでも）

「避難所に、必要な設備、食料、医薬品等があること」が71.2%と最も多く、次いで「感染症対策が適切にとられていること」が46.3%、「避難所に障害特性を理解する職員がいること」が45.7%となっている。



問60 港区災害時避難行動要支援者登録事業をご存じですか。(○は1つ)

※港区災害時避難行動要支援者登録事業とは

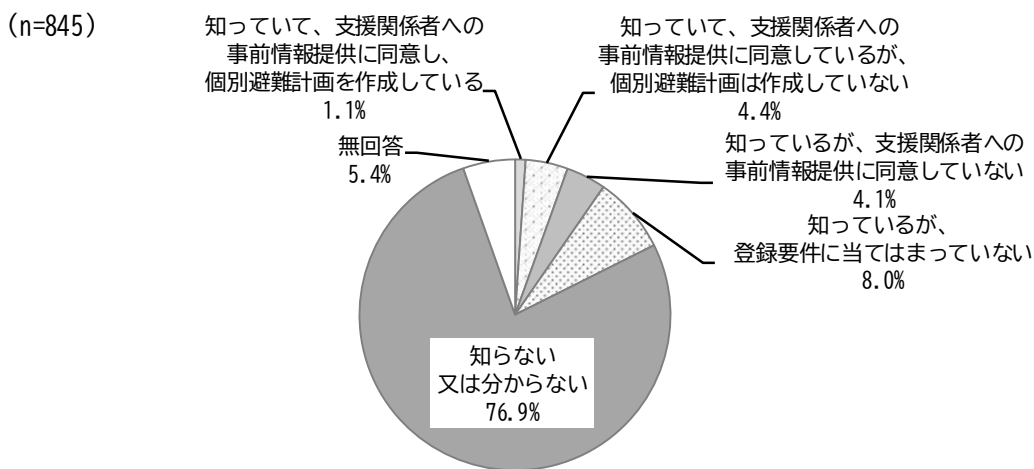
区では、災害時に自力で避難することは困難な方で、特に支援が必要な方を対象に「港区災害時避難行動要支援者登録名簿」を作成しています。

平常時から地域の支援関係者に自らの情報を提供しておくことに同意された方には、一人ひとりの個別避難計画を区が作成し、災害時の支援体制の整備に取り組んでいます。

※登録の対象になる方(登録要件)

手帳1・2級所持者で、一人暮らし又は他の世帯員全てが65歳以上の方

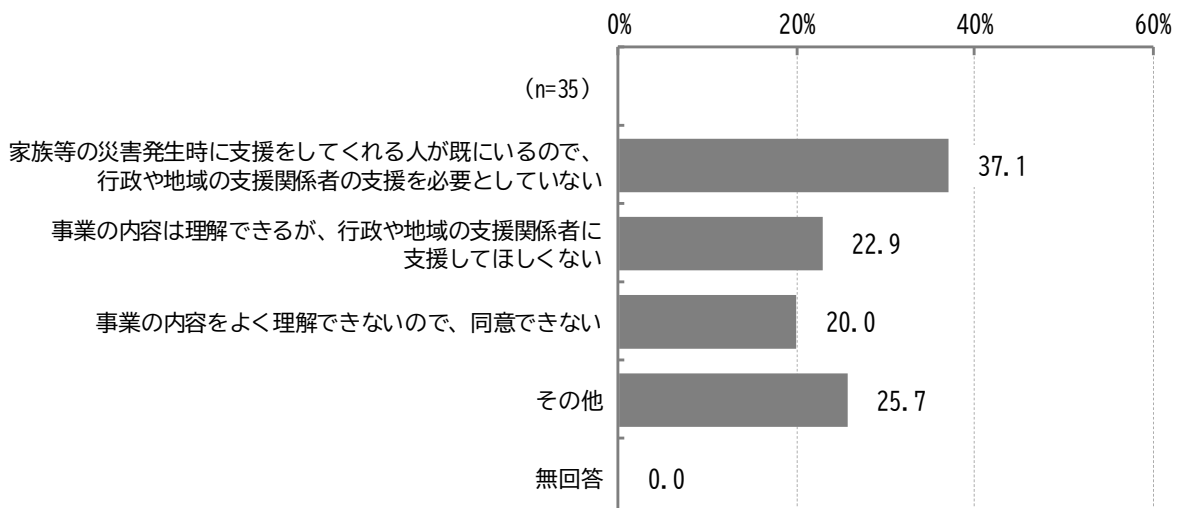
「知らない又は分からない」が76.9%と最も多く、次いで「知っているが、登録要件に当てはまっていない」が8.0%、「知っていて、支援関係者への事前情報提供に同意しているが、個別避難計画は作成していない」が4.4%となっている。



※問61は、問60で「知っているが、支援関係者への事前情報提供に同意していない」を選択した人のみ回答

問61 支援関係者への情報提供に同意していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「家族等の災害発生時に支援をしてくれる人が既にいるので、行政や地域の支援関係者の支援を必要としない」が37.1%と最も多く、次いで「その他」が25.7%、「事業の内容は理解できるが、行政や地域の支援関係者に支援してほしくない」が22.9%となっている。



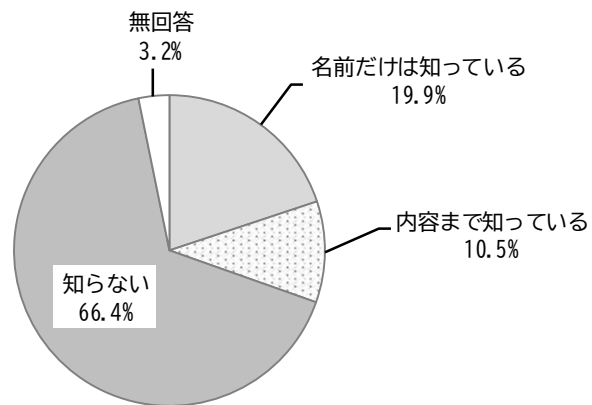
## 12. 偏見・差別について

問62 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されました。

この法律には、障害を理由とした不当な差別的取扱いを禁じ、また、障害者から生活上のバリア（障壁）を取り除くため何らかの対応を求められたとき、負担が重すぎない範囲で対応することが規定されています。このことを知っていますか。（○は1つ）

「知らない」が66.4%と最も多く、次いで「名前だけは知っている」が19.9%、「内容まで知っている」が10.5%となっている。

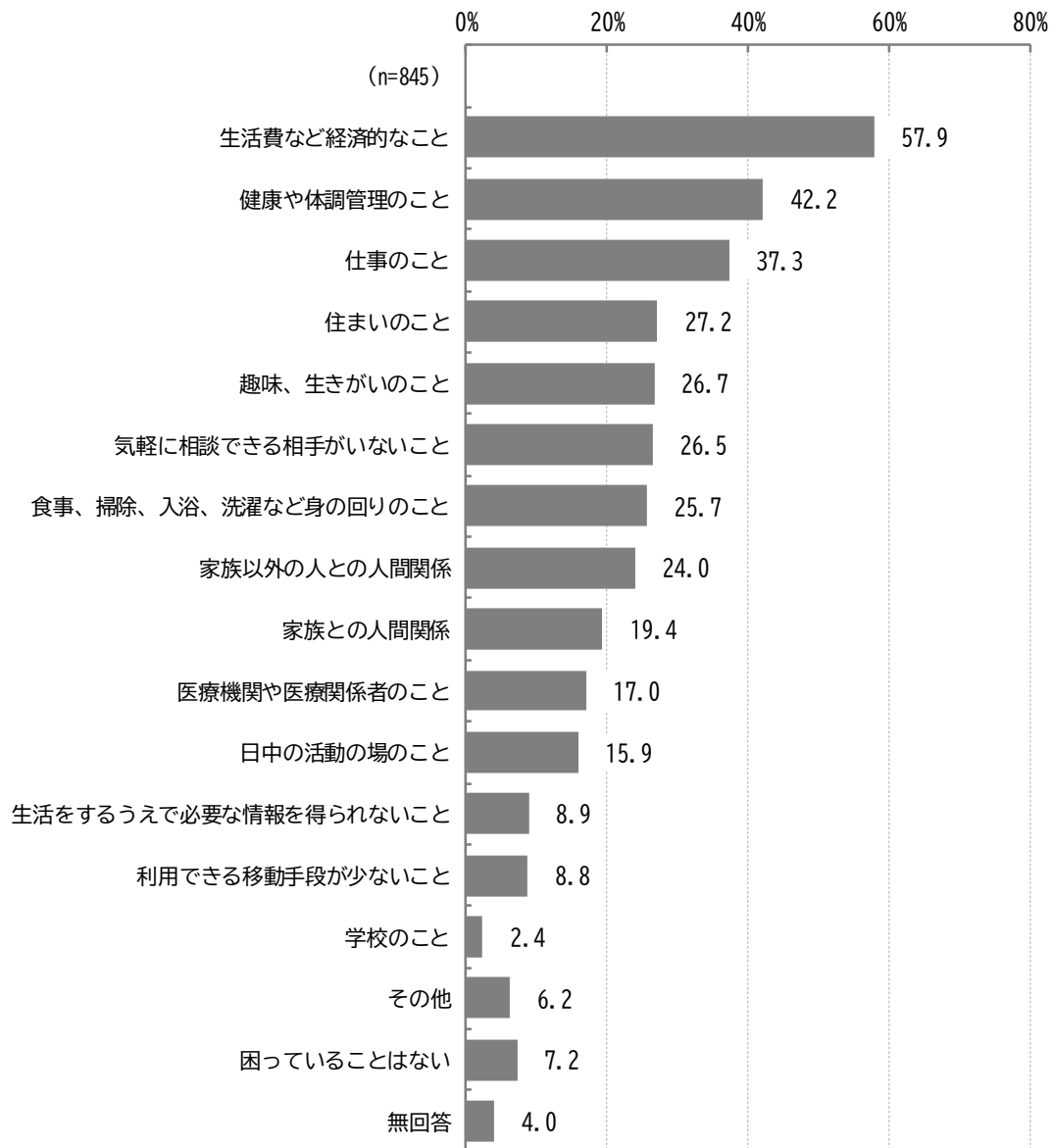
(n=845)



### 13. 行政支援・団体支援について

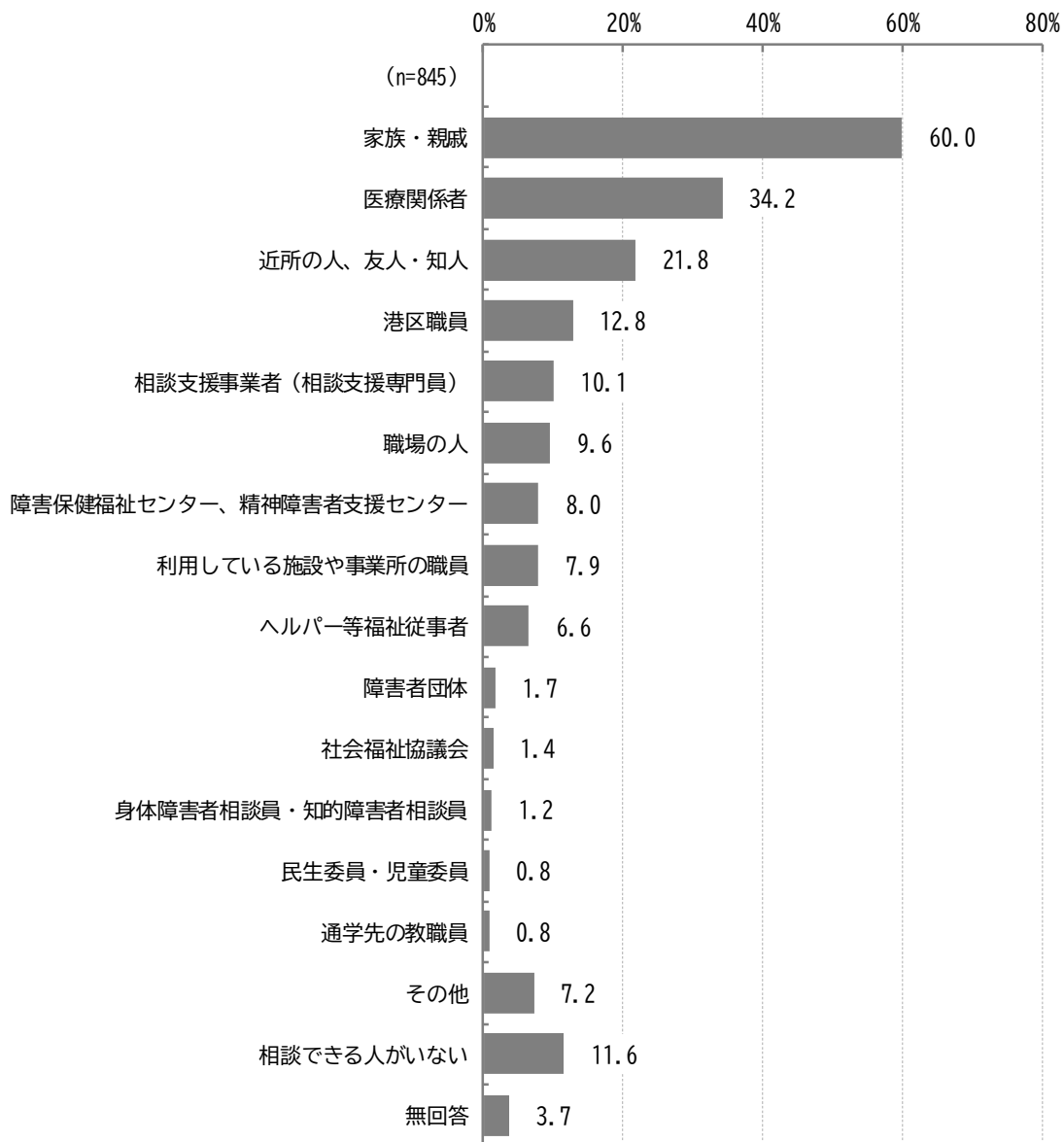
問63 現在、あなた（あて名のご本人）が生活の中で困っていることは何ですか。  
（〇はいくつでも）

「生活費など経済的なこと」が57.9%と最も多く、次いで「健康や体調管理のこと」が42.2%、「仕事のこと」が37.3%となっている。



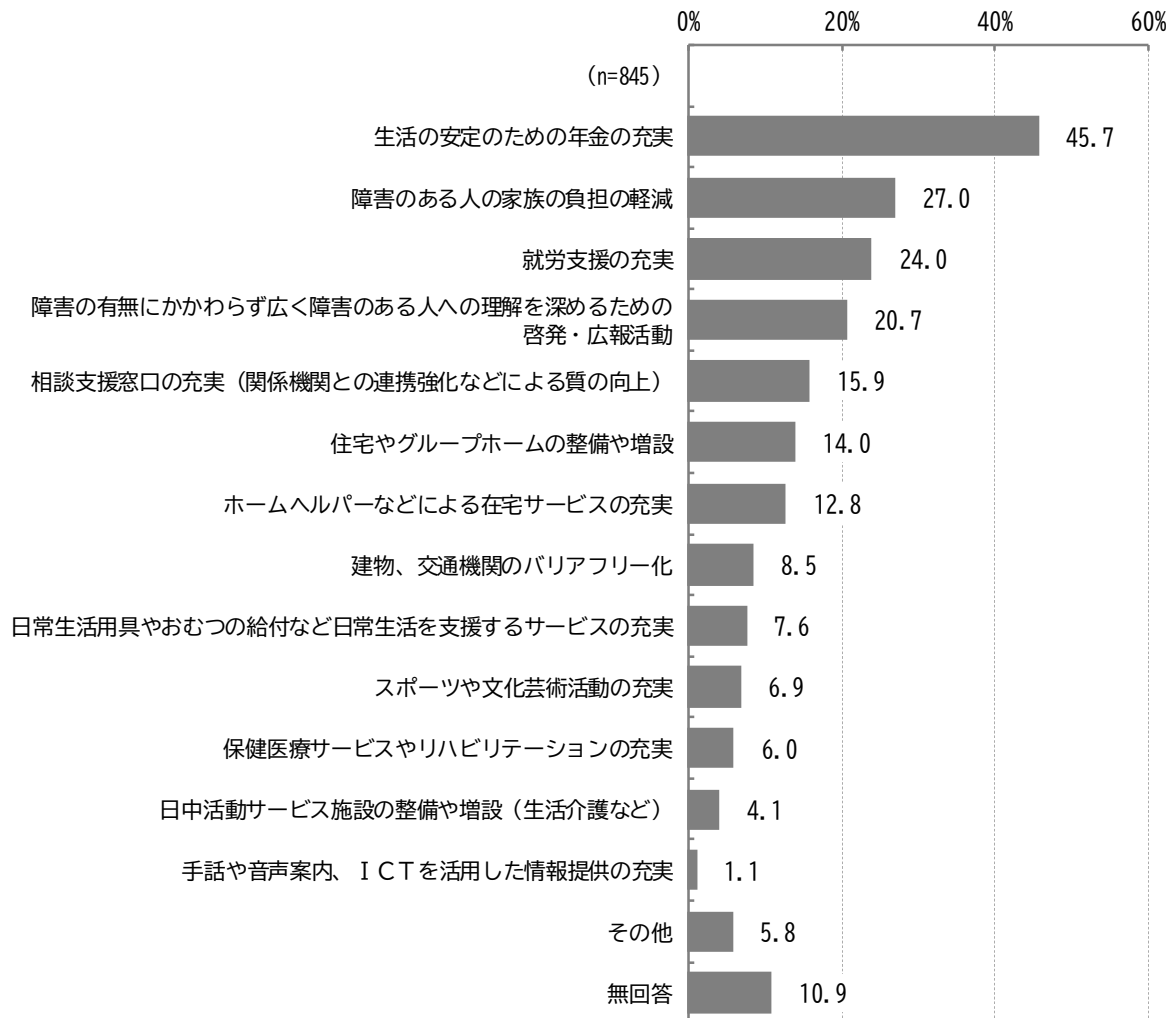
問64 あなた（あて名のご本人）が困ったときの相談先を教えてください。（○はいくつでも）

「家族・親戚」が60.0%と最も多く、次いで「医療関係者」が34.2%、「近所の人、友人・知人」が21.8%となっている。



問65 障害のある人に関する区の施策のうち、あなた（あて名のご本人）がもっと力を入れる必要があると思うものを教えてください。（〇は3つまで）

「生活の安定のための年金の充実」が45.7%と最も多く、次いで「障害のある人の家族の負担の軽減」が27.0%、「就労支援の充実」が24.0%となっている。



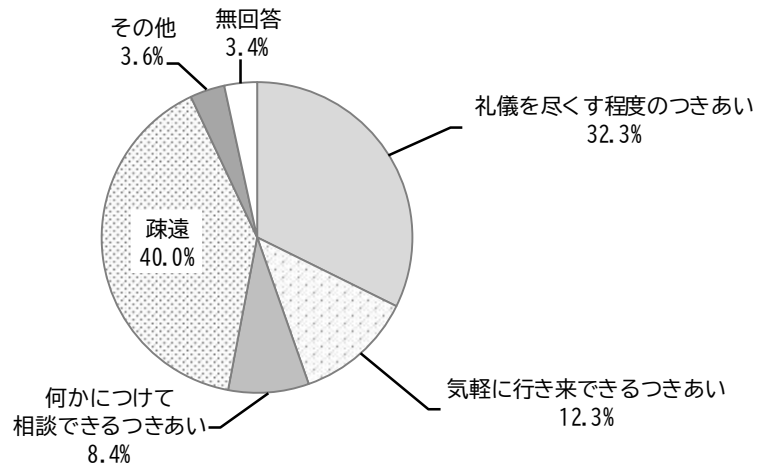
## 14. 地域共生社会について

問66 あなた（あて名のご本人）の人とのつながりの程度について教えてください。  
（○はそれぞれ1つ）

### 【親戚とのつきあいについて】

「疎遠」が40.0%と最も多く、次いで「礼儀を尽くす程度のつきあい」が32.3%、「気軽に行き来できるつきあい」が12.3%となっている。

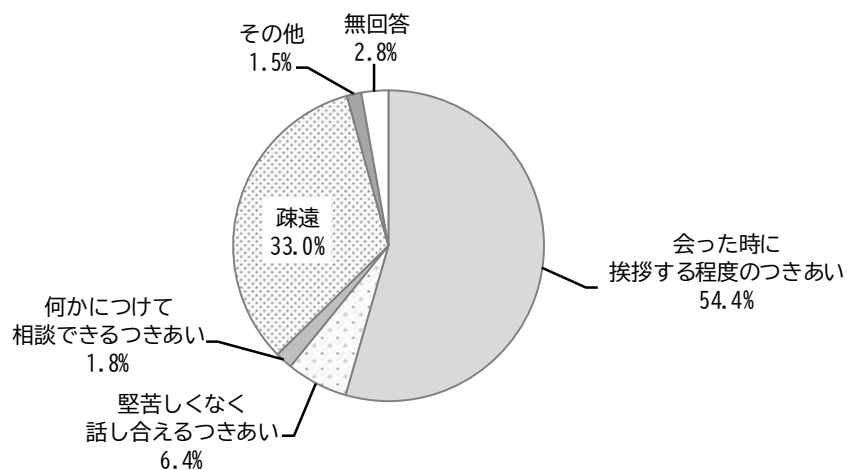
(n=845)



### 【隣近所とのつきあいについて】

「会った時に挨拶する程度のつきあい」が54.4%と最も多く、次いで「疎遠」が33.0%、「堅苦しくなく話し合えるつきあい」が6.4%となっている。

(n=845)



問67 あなた（あて名のご本人）の社会参加について、お考えになっていることを自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	社会参加の難しさ(課題)について	103
2	社会参加に対する考えや意向について	37
3	社会参加を進めるための区への提案やお願い	7
4	仕事に関すること	43
5	実際に参加している地域活動や交流について	11
6	その他	5

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

### 〔1 社会参加の難しさ(課題) について〕

○精神障害うつ病を発症しており、体調に波がある。B型就労に就いても欠勤が多く退所しなければならない事が続いた。今度就労支援に就くときはまた、体験日数3日間、書類手続き等、初めから取組まなくてはならない。体験出勤実績が少ないと退所しなければならない制度の改善を願います。ミドル世代になり親の介護、帰省等があると出勤できなくなり、結局退所せざるおえない状況になったこともあり就労が続けられない。くやしさが不安につながり体調を崩す事の繰り返し。結局、就労(社会とのつながり)が定着しない。難しい事かもしれませんが、病があっても働きたい人がもっと定着できる場がほしいです。

○精神障害があるため行く場所が限られている。

### 〔2 社会参加に対する考えや意向について〕

○障害の有無に関係なく、生きていて楽しいと思えること。働くことも必要なので、職場でも楽しいと感じられる環境がある事。「生きがい」「働き甲斐」を見つけられるような、参加したいと思える社会になると1人1人のQOLも上がる気がします。

○障害者として介助してほしいのではなく、同じ社会の構成員として参加したいと考えている。

### 〔3 社会参加を進めるための区への提案やお願い〕

○外国人や重い障害を持つ人、難病の人や高齢者、発達障害や知的障害の人達にもずっと役にたったり、生活していったり仕事をしていく上で大切なイベントやセミナー等があれば良い。

○同じ障害を持つ人たちのグループ作りや仲間作りの支援(孤独を無くす)。

#### 〔4 仕事に関すること〕

- 一般で問題なく就労してきたので、普通の事務や経理、デザインなどの業務でオープンで働きたいです。しかしどの企業も障害者雇用の求人は重い障害向けの遠方での軽作業しかなく、求人を見るたびに苦しい気持ちになります。
- 病気になったため仕事を辞めたが 何か自分にできる仕事を始めたい就業にあたり相談できる場所を知りたい。

#### 〔5 実際に参加している地域活動や交流について〕

- 道の掃除やお花の手入れなどをするボランティアに参加した事があるが、高齢者の余生の活動な感じがして、このご時世ボランティアがたくさん活躍しているのは今の日本ではどうかと思う。こういうのも全て仕事に出来たらいいのかなと思った。
- 社会貢献のボランティア参加を近隣のみんなで行う。

問68 港区の福祉施策について、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	障害に配慮した案内・設備の充実に関する意見・要望	4
2	安心安全な生活、地域生活、余暇活動、交流に関する意見・要望	20
3	ケアサービスの内容、マネジメントに関する意見・要望	18
4	障害への理解・配慮に関する意見・要望	30
5	住宅に関する意見・要望	16
6	情報提供・相談・窓口対応に関する意見・要望	23
7	公共交通機関・移動支援に関する意見・要望	17
8	行政・制度に関する意見・要望	23
9	障害等級の認定や補助に関する意見・要望	16
10	その他	31

ご記入いただいた意見のうち、一部を抜粋して記載しています。

なお、記載に当たって文言等を修正している場合があります。

#### 〔1 障害に配慮した案内・設備の充実に関する意見・要望〕

- 点字ブロックの多い歩道やオシャレなタイルの商店街、斜めっている歩道は、杖の人・歩行補助器利用者・足腰の弱い老人・ベビーカー・チャリにとっての障害物です。どうか見栄えだけでやってる感の福祉とならぬようお願いします。

○各種福祉施設について港区は大変充実していると思いますが、都と連携してバリアフリー化、又地域社会へ貢献、若しくは参加してみたいくなるような施策をより充実して頂ければと思います。健康促進の為の他区とのスポーツ施設利用の連携（銭湯等含む）。住民税の低減措置、民間賃貸での住宅手当補助、メトロ無料化、パスモ等のウォレット追加（現状カードでしか使えず、携帯へ登録できない。ちいバスも同様）等も視野に入れて充実を図って頂けると幸いです。

## 【2 安心安全な生活、地域生活、余暇活動、交流に関する意見・要望】

- 港区は他の地域に比べて行き届いていると思います。ありがとうございます。
- もっと多くの障害者や難病の人、高齢者や被爆者等に関わる福祉施策イベントを積極的に開催すれば、たくさんの人と交流でき、楽しみも増え良い。港区以外の区でも常に多く開催すると良く日本以外の国でも多くの福祉施策や障害者イベントなどを開催すると良い。
- 手厚く支援して頂いていると思います。ありがとうございます。年々体が弱り、冬はふらつきますが、できるだけ長く自立して働いていたいと思います。
- 近所の銭湯を、無料券を使って利用できるサービスがすごく良い。見知らぬ近所の方々とお風呂にはいって、コミュニケーションがある中で過ごす、「自分もこの地域の一人なんだ」と、地域への愛着が芽生える。またリラックス効果もあり、精神的にも良い。
- 高齢になるに当たって、安心して暮らせる手助けをお願いしたいです。

## 【3 ケアサービスの内容、マネジメントに関する意見・要望】

- 親子共に手帳保持者であり、私は親として手帳保持の子の介助をしているが負担が大きい。二重に支援ニーズがある世帯。家事代行や子の外出の付き添いなど、レスパイトケアが必要、親子を個別に見るのではなく、世帯として包括的に支援してほしい。
- 障害者は一般に身体機能の低下(老化)が早いと言われています。老化が早く進み、身体に異常が起きた場合に区などから何らかの生活の支援が受けられるのか不安がある。
- 双極性障害でうつ状態がひどい時は外出できないし、傷病手当が出るまでお金がなくて大変だった。傷病手当が出ても社会保険料を支払うのが大変だった。金銭面が不安だと余計にメンタルが悪化した。なので休職中の金銭面のサポートがあるとありがたいと思いました。
- 精神障害3級で支援を受け障害者雇用の機会にもめぐまれ安定してはいましたが、今年7月に2度目のがんになってしまいました。通常者でもがん治療にあたって説明を受けたり判断するのは大変だと思いますが、障害者にとってはかなりハードルが高く家族に休みをとってもらって判断を手伝ってもらいました。これが1人だったら相談相手が必要だったと思います。障害者も「×がん」「×高齢」「×他の事態」など別のピンチに出会います。そういう複合したピンチにも手をさしのべて頂けるとありがたいです。ちなみに精神疾患になった時点で新たに健康保険医療保険に入ることは難しくなりがん etc の時余計にピンチになります。

○他の自治体に比べて、サービスが充実していると感じています。今後もより良い支援が行われるよう、よろしく願いいたします。

#### 〔4 障害への理解・配慮に関する意見・要望〕

○あいは一とみなとなどのサービスはすごく充実していると思う。ありがたいです。欲を言えばもっと摂食障害の経験があるスタッフがいたら嬉しいです。港区は周りの健常者がとてもお金持ちが多く、近所づきあいすると自分の生活レベルの低さに落ち込んでしまう。格差があるのは仕方ないのかもしれませんが、障害があっても豊かな暮らしができるような仕組みができればいいと思っています。障害者だから仕方ないでしょ？みたいな考え方は良くないと思います。障害者だって一生懸命生きている。人並みの願い、望みを持っている。それを全部障害があるから諦めなくてはいけないのは酷だと思う。せめて就労の工賃を一般の最低賃金まで引き上げてほしいです。よろしく願いいたします。

○もっと聞こえにくくなったら、突然聞こえなくなったら、精神的なケアも含めて、施策があるのか不安。手話を学んだり、同じような人たちが集まる場所が港区にあるのか。突然障害者になった人も困らないようにしてほしい。

○精神障害についてももう少し「広報みなと」で特性などを周知していただけないでしょうか？お願いいたします。

○ひとくちに障害と言っても身体と精神で必要な支援は違うこともあるし、精神の中でも自分で何もできない人とある程度は自分で何でもできる人もいる。その辺を分けて考えてほしい。自分がどのサービスを使えるのか、対象なのか、費用はどうか…分かりやすくしてほしいです。

#### 〔5 住宅に関する意見・要望〕

○区営住宅等、障害者のB型の工賃や基礎年金等でも入れるような住宅をもう少し整備してほしいです。

○滞在型のグループホームを作ってください。

○元気な頃に購入したマンションに住んでいるが、病気になって働けなくなったり、働けるようになっても低収入なため引っ越して家賃を払うよりマンションのローンを払う選択をしていて、生活が苦しい。区営住宅に申し込みたいが資格がない。障害者優先の単身住居を増やして欲しい。マンションを手放すことを条件にし、申し込み可能にして欲しい。単身者が働けない時に一番困るのは住居の問題。考慮して欲しい。

#### 〔6 情報提供・相談・窓口対応に関する意見・要望〕

○電話をした時など、いつも親切に対応して下さいありがとうございます。

○もっと情報が簡単に入ると良いと思います。

○手帳の更新時など親切なご対応感謝申し上げます。

- 芝浦港南地区総合支所を利用させていただいております。障害者手帳の取得のために支所へ伺った際、窓口の方が親切に、分かりやすく手続きや制度を説明して下さりとても助かりました（自立支援制度もその際ご説明くださり知ることができ、利用させていただくことができました）。人とコミュニケーションを取ることが怖くなってしまい、日常生活にも支障が生じている状況ですが、芝浦港南地区総合支所様はいつもお伺いしても、窓口の方が親切にご対応して下さるので安心して利用させていただいております。私もお客様と接する仕事をしており、お客様対応をすることの難しさは存じておりますが、障害者への対応は一般のお客様以上に難しいものやストレスがあると思っています。そんな中、いつも親切に、適切に対応して下さり感謝の気持ちでいっぱいです。他の支所はお伺いしたことはありませんが、芝浦港南地区総合支所様の窓口対応にいつも満足しておりますので、難しいこととは存じますが、港区のどの支所でも芝浦港南地区総合支所様のような窓口対応をしていただければ幸いです。
- 双方向にやり取りが出来るようにアプリやオンライン上で気軽にやり取りが出来るようになれば良いと思う。
- 港区区役所における福祉窓口の充実を期待している。具体的には一般的な行政サービスの窓口とは別の場所に受付・相談コーナーが設置される等の工夫で障害者が心理的・身体的負担なく安心して窓口に行くことができるのではないかと。障害者は健常者と比べ福祉サービスを優遇して給付される立場。そのことに嫌悪の感情を持つ区民は実際少なくない。細い通路を介助者に支えられ健常者をかき分けるように窓口に向かう障害者の姿は本庁舎でも地区総合支所でも散見される。ハローワーク品川では窓口・受付カウンター、手続きフローなどすべて別仕立てであり参考となるのでは。
- 大変ありがたく思っています。継続して欲しいことと、先に述べた、ソーシャルワーカー等による相談の場、ファイナンシャルプランナー等による家計相談の場、そして栄養士による栄養相談の場、これらのものが行政サービスの一環として利用出来たら、個人個人の生活もより質的にも充足し、満足感も一塩だと思えます。更に土日も可能な限り、窓口行政サービスが利用出来たら、本当は大変ありがたいです。
- 様々な支援があり、有り難いと思います。自立を目指して、今年から更新手続きなど自分でできるようにしています。かなり緊張して行きましたが、非常に丁寧に優しく対応していただいたそうです。彼にとっては窓口に行くことも非常に大きな1歩になり自信につながっていると思います。ご対応ありがとうございました。

## 【7 公共交通機関・移動支援に関する意見・要望】

- パニック障がいがあり、電車やバスの利用が困難でタクシーにて通勤・移動しています。等級が3級なのでタクシー券がありません。交通費による生活負担が大きいです。
- ちいばす乗車券(及び都の都営交通乗車証)で外出時の悩みが一つ減って大変助かっています。無料だと思うと、外出してみようと思えることが多く、その外出が心身への良い刺激になっています。欲をいうと、田町ルートは混雑で座れないことが多くしんどいです。
- いつもありがとうございます。JRの割引も最近適応になり、交通費は旅など外に出るきっかけになり、ありがたく思っています。

○ちいばすが無料で助かっています。歩く距離が長いと、生活出来ないことが多いので、本当に有難いです。また、港区の福祉課の皆さんは、いつも丁寧に接して下さり、感謝の気持ちでいっぱいです。

#### 〔8 行政・制度に関する意見・要望〕

- 昔は、予算は福祉予算から削られたものです。区は皆さんよくやってくれていると思います。ありがとうございます。欧米先進国に負けないように頑張ってください。
- 一般就労と精神障害者の給与を比べると前者のほうが高い傾向にあります。能力の差で片付けるには差分が大きいと思うのでこのギャップを埋めるような施策を進めてほしい。また給与で差がつく状況は差別的ですから企業名を公表するくらいしてもいいのでは。
- 今年2月に港区の都営住宅に引っ越してきましたが、港区の障害福祉制度が充実していてとても助かっています。いつもありがとうございます。
- 何度も言いますが、区への対応が毎度の事ながら遅すぎるので、迅速に対応するように早急に改善してほしいです。何かを更新する度に1ヶ月かかるのはどう考えても遅すぎます。もう一度言いますが、区への対応を迅速に出来るように早急に改善してください。

#### 〔9 障害等級の認定や補助に関する意見・要望〕

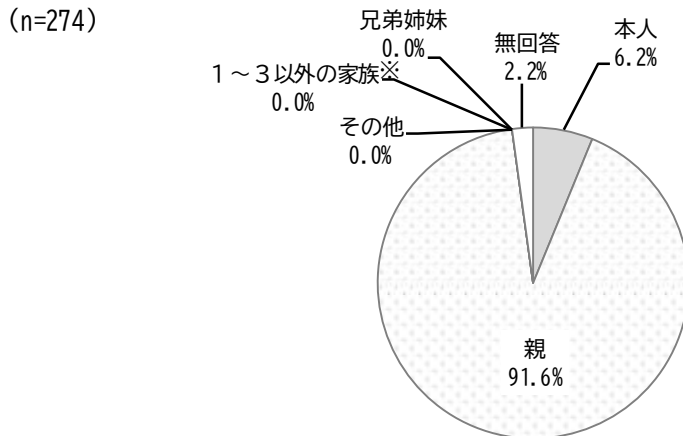
- 障害厚生年金を月平均11万円支給されていますが、病気になった時に医療の負担が多いため、医療費の助成をしてほしいと思います。
- これは東京都の管轄になると思いますが、障害者手帳や自立支援受給者証の発給が遅すぎると思います。申請してから毎回4,5ヶ月も待たされるのは、毎回本当に心に負担になります。どうか改善を望みます。
- 障害年金の増額、超短時間勤務の普及及び金銭的な不安の解消

## 4 障害児を対象とした調査の集計結果

### 1. 調査票の回答者について

問1 本調査の質問にご回答いただいたのはどなたですか。(〇は1つ)

「親」が91.6%と最も多く、次いで「本人」が6.2%となっている。

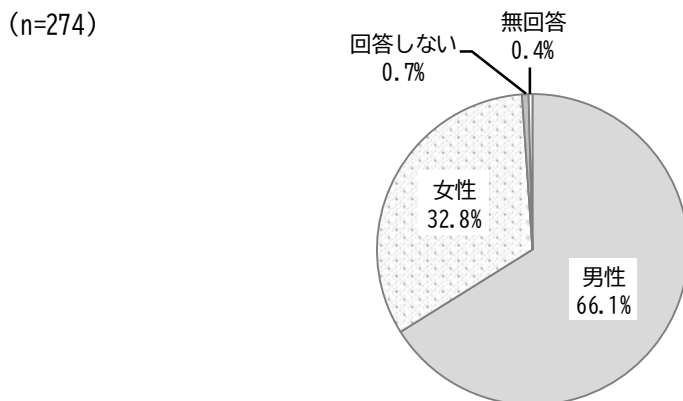


※「本人」、「親」、「兄弟姉妹」を除く家族

### 2. あて名のご本人について

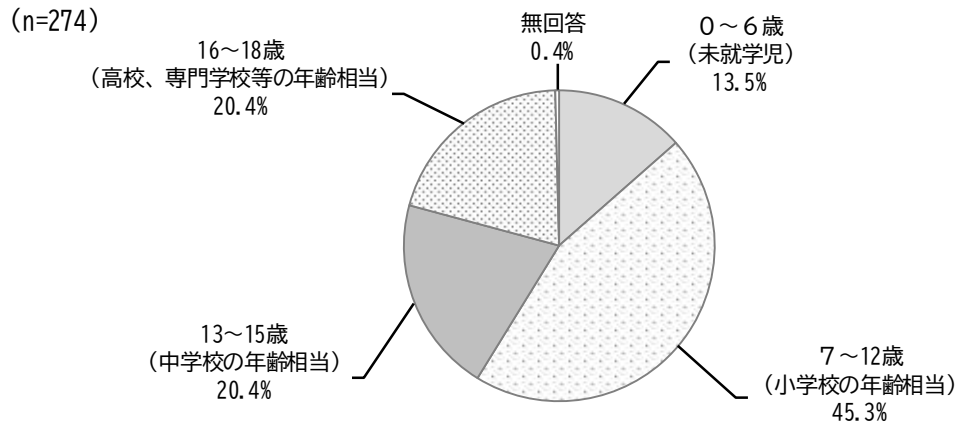
問2 あて名のご本人の性別を教えてください。(〇は1つ)

「男性」が66.1%、「女性」が32.8%、「回答しない」が0.7%となっている。



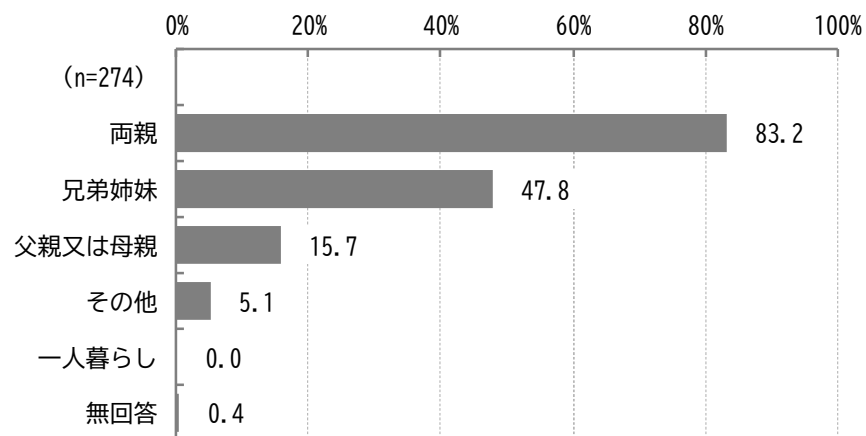
問3 あて名のご本人の年齢（令和7年8月1日現在）を教えてください。（○は1つ）

「7～12歳（小学校の年齢相当）」が45.3%と最も多く、次いで「13～15歳（中学校の年齢相当）」と「16～18歳（高校、専門学校等の年齢相当）」が20.4%となっている。



問4 あて名のご本人が現在、どなたと同居しているか教えてください。（○はいくつでも）

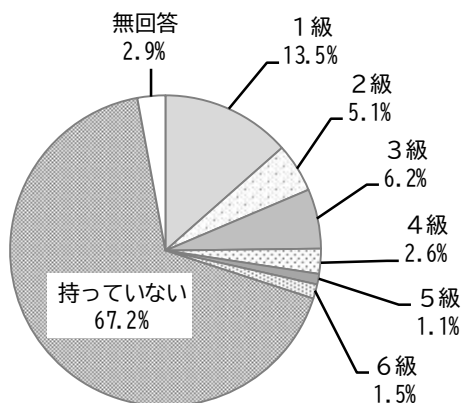
「両親」が83.2%と最も多く、次いで「兄弟姉妹」が47.8%、「父親又は母親」が15.7%となっている。



問5 あて名のご本人が身体障害者手帳をお持ちであれば、等級を教えてください。(○は1つ)

「持っていない」が67.2%と最も多く、次いで「1級」が13.5%、「3級」が6.2%となっている。

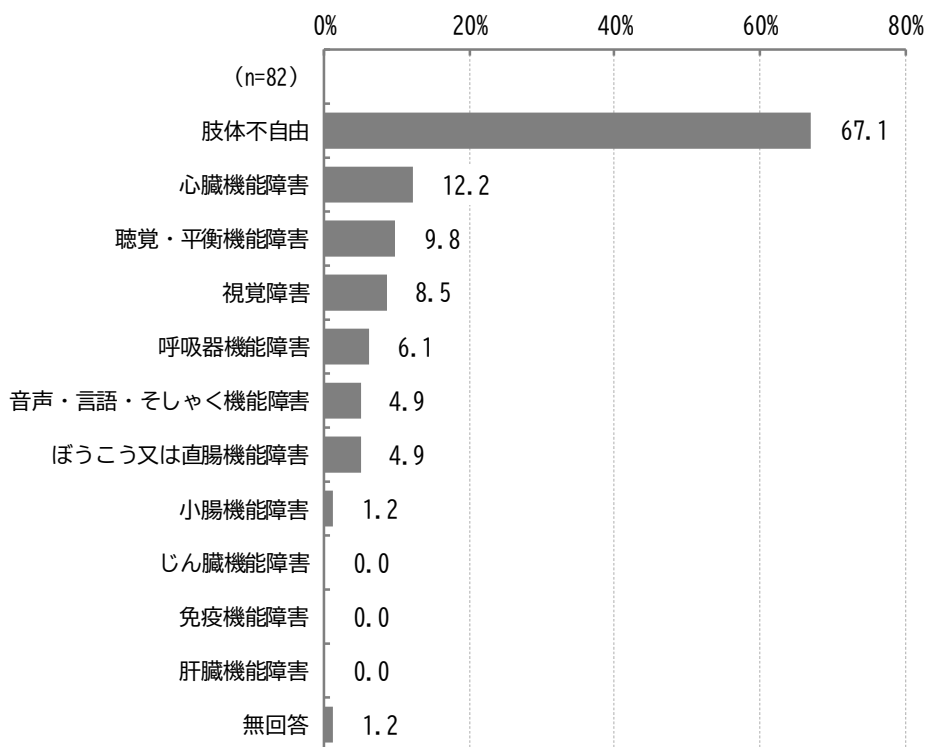
(n=274)



※問6は、問5で選択肢「1.1級」～「6.6級」のいずれかを選択した人のみ回答

問6 障害の種類を教えてください。(○はいくつでも)

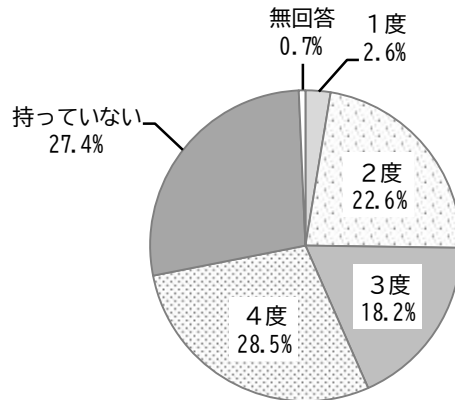
「肢体不自由」が67.1%と最も多く、次いで「心臓機能障害」が12.2%、「聴覚・平衡機能障害」が9.8%となっている。



問7 あて名のご本人が愛の手帳をお持ちであれば、等級を教えてください。(〇は1つ)

「4度」が28.5%と最も多く、次いで「持っていない」が27.4%、「2度」が22.6%となっている。

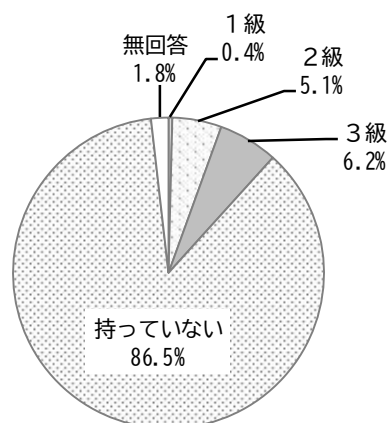
(n=274)



問8 あて名のご本人が精神障害者保健福祉手帳をお持ちであれば、等級を教えてください。(〇は1つ)

「持っていない」が86.5%と最も多く、次いで「3級」が6.2%、「2級」が5.1%となっている。

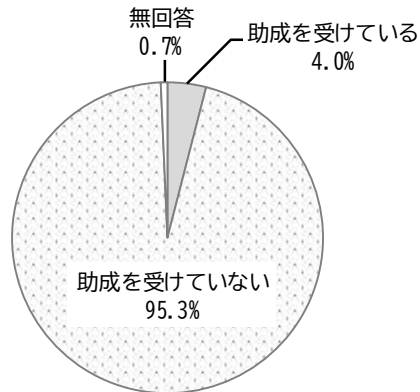
(n=274)



問9 あて名のご本人は東京都により認定される「難病医療費等助成」を受けていますか。  
(○は1つ)

「助成を受けていない」が95.3%、「助成を受けている」が4.0%となっている。

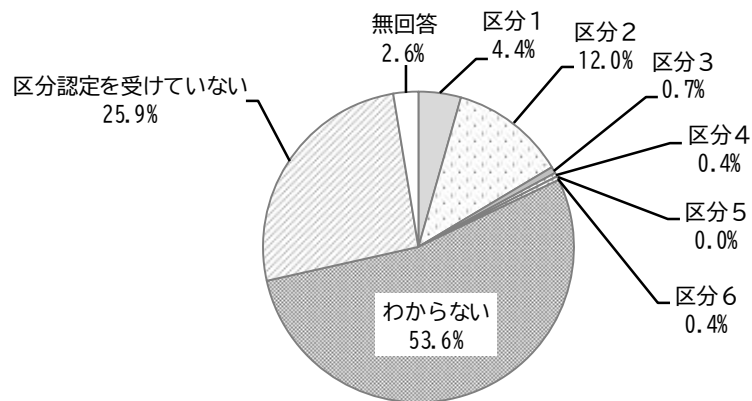
(n=274)



問10 あて名のご本人の障害福祉サービス受給者証の「障害支援区分」を教えてください。  
(○は1つ)

「わからない」が53.6%と最も多く、次いで「区分認定を受けていない」が25.9%、「区分2」が12.0%となっている。

(n=274)

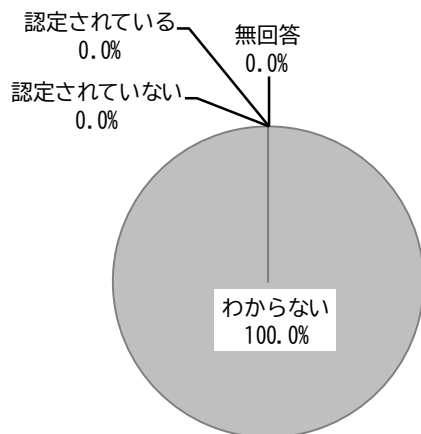


※問 11 は、問 10 で選択肢「4. 区分4」～「6. 区分6」のいずれかを選択した人のみ回答

問11 重度障害者支援加算が認定されているか教えてください。  
(受給者証に記載されています) (○は1つ)

「わからない」が100.0%となっている。

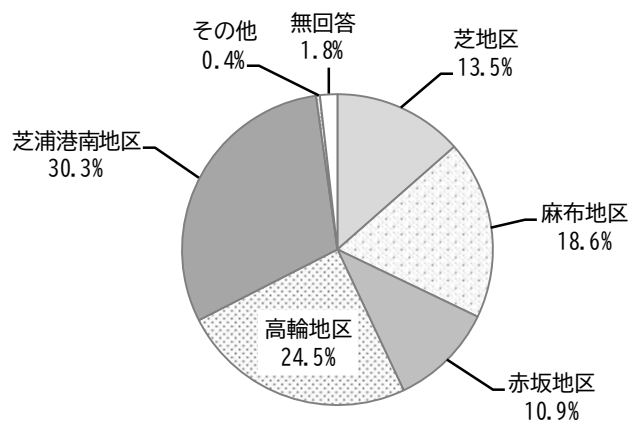
(n=2)



問12 あて名のご本人のお住まいの地区を教えてください。(○は1つ)

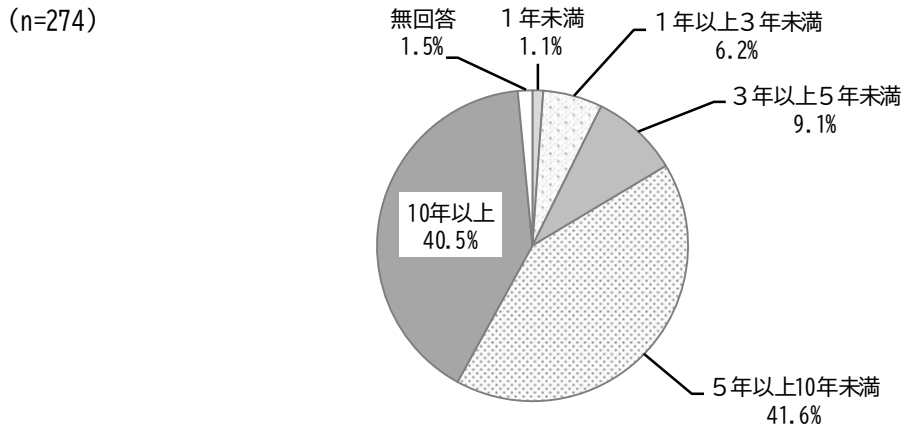
「芝浦港南地区」が30.3%と最も多く、次いで「高輪地区」が24.5%、「麻布地区」が18.6%となっている。

(n=274)



問13 あて名のご本人の港区での居住年数を教えてください。(○は1つ)

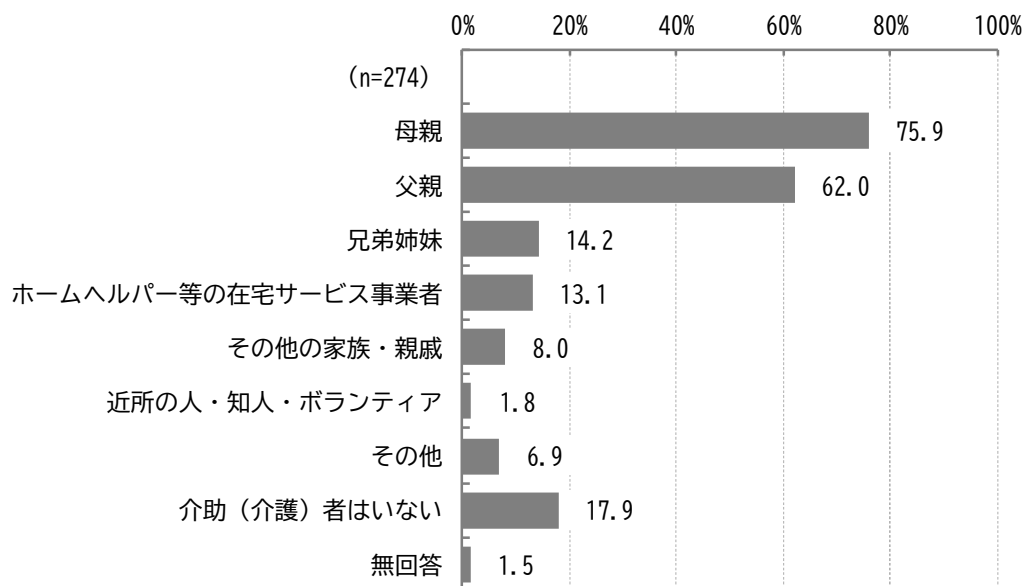
「5年以上10年未満」が41.6%と最も多く、次いで「10年以上」が40.5%、「3年以上5年未満」が9.1%となっている。



### 3. 生活状況等について

問14 あなた（あて名のご本人）には現在、日常生活における介助（介護）者はいますか。  
(○はいくつでも)

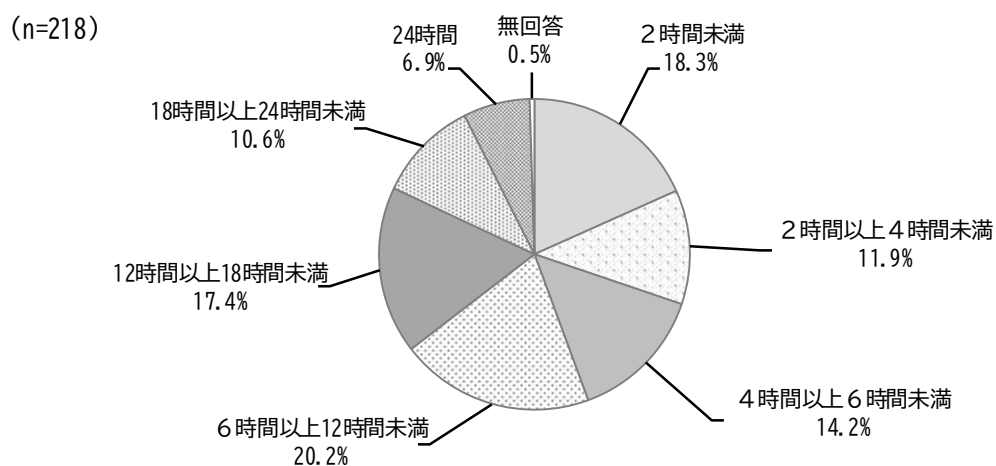
「母親」が75.9%と最も多く、次いで「父親」が62.0%、「介助（介護）者はいない」が17.9%となっている。



※問15と問16は、問14で選択肢「1. 母親」～「4. その他の家族・親戚」のいずれかを選択した人のみ回答

問15 家族又は親戚が介助（介護）している時間は1日平均どのくらいですか。  
複数の家族・親戚が関わっている場合は、合計した時間で教えてください。（○は1つ）

「6時間以上12時間未満」が20.2%と最も多く、次いで「2時間未満」が18.3%、「12時間以上18時間未満」が17.4%となっている。



問16 家族又は親戚が介助（介護）している内容を教えてください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	家事全般(食事、掃除、買い物等)	41
2	通院や外出時の介助	24
3	医療的ケア	14
4	入浴や排せつ等の介助・身の回りの世話	87
5	その他	21

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

〔1 家事全般(食事、掃除、買い物等)〕

- 小学校の行き帰りでの移動、買い物など日常生活。
- 身の清潔保持、食事を摂ることを促す、外出準備、外出への同行。

〔2 通院や外出時の介助〕

- 買い物、外出時の同行。
- 移動の際の車イス介助(押したり乗り降り(自力でできる場合もある))。入浴介助、お手洗い介助、階段等段差介助、物品等の移動の介助。

〔3 医療的ケア〕

- 吸引、吸入、注入、体位変換、入浴、オムツ替え。
- 吸引、注入、入浴、排泄。

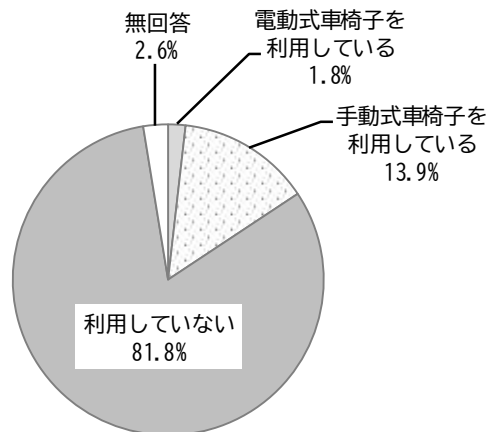
〔4 入浴や排せつ等の介助・身の回りの世話〕

- トイレ介助、おむつ交換、入浴介助、学校・学童の送迎。
- 食事、排泄、入浴など、基本的に全介助。

問17 あなた（あて名のご本人）は、日常生活の中で車椅子を利用していますか。（○は1つ）  
※電動式と手動式の双方を利用している場合は、1日の利用時間数が多い方をご回答ください。

「利用していない」が81.8%と最も多く、次いで「手動式車椅子を利用している」が13.9%、「電動式車椅子を利用している」が1.8%となっている。

(n=274)



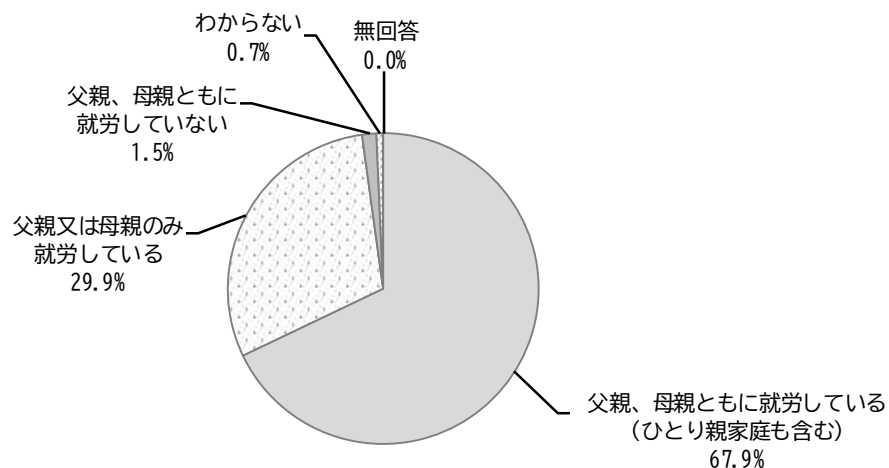
#### 4. 親の就労状況等について

※問18～20は、同居している親がいる人のみ回答

問18 あなた（あて名のご本人）の親の就労状況を教えてください。（○は1つ）

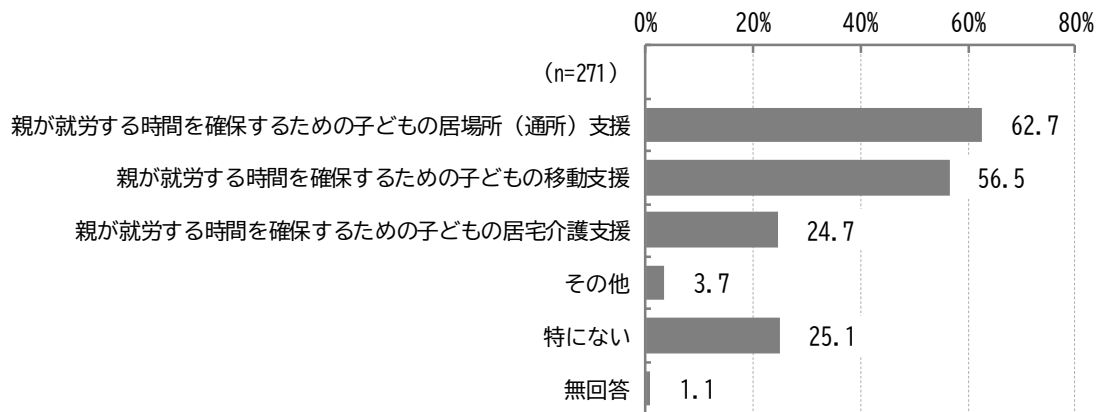
「父親、母親ともに就労している（ひとり親家庭も含む）」が67.9%と最も多く、次いで「父親又は母親のみ就労している」が29.9%、「父親、母親ともに就労していない」が1.5%となっている。

(n=271)



問19 あなた（あて名のご本人）の親が就労するにあたり、必要な支援を教えてください。  
（〇はいくつでも）

「親が就労する時間を確保するための子どもの居場所（通所）支援」が62.7%と最も多く、次いで「親が就労する時間を確保するための子どもの移動支援」が56.5%、「特にない」が25.1%となっている。



問20 あなた（あて名のご本人）の親が就労するにあたり、困りごとや必要なサービスについて、自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	放課後の預け先	26
2	移動支援について	68
3	長期休暇中やスポット利用のできる預け先	22
4	障害に対する理解・配慮	18
5	未就学児の預け先	2
6	その他	14

## 【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

### 〔1 放課後の預け先〕

- 今は小学生なので、学校からの送迎で学童にも通っていますが、中学生になると送迎がなくなり、また学童も無くなるので放課後や夏休みなどの過ごし方に不安がかなりある。共働きのためその辺りの施設やケアが明確であればと切に願います。
- 現在は放課後等デイサービスを週に4回利用しています。帰りが18:00以降なので、ある程度の就労はできますが、高校を卒業すると、通所先からの帰りが早くなってしまうので、勤務時間や職探しに影響がでます。また週末も居場所がなくなってしまうため、親の仕事や家族の活動にも制限がかかってしまいます。親は祖父母の介護もありますので、卒業後も夕方以降、週末に安心して過ごせる居場所があると大変助かります。

### 〔2 移動支援について〕

- 移動支援の無い施設の場合は親が就労中の休み時間を削って送迎を行っており負担が大きいです。
- 支援学校に行く、帰るための送迎（スクールカー）が小学生までなので、中学生以降の支援が欲しい。

### 〔3 長期休暇中やスポット利用のできる預け先〕

- 夏季冬季の長期休暇の際、終日利用出来る通所支援が数日でもあると助かる。
- 今は、発達支援センターに通っています。延長保育もあるので問題ありません。小学校に上がった際の長期休みをどうするか？今通っている療育の放課後デイサービス、他も定員オーバーだということで不安に思っています。

### 〔4 障害に対する理解・配慮〕

- 肢体不自由の人の預け先、通える施設がない。
- 療育や保育園など非常にサービスが充実しているが、各施設の面談が多く、日中の時間を確保（休暇取得）が難しい。そのためオンラインなどで面談できる場合は、オンライン面談を活用できると嬉しい。

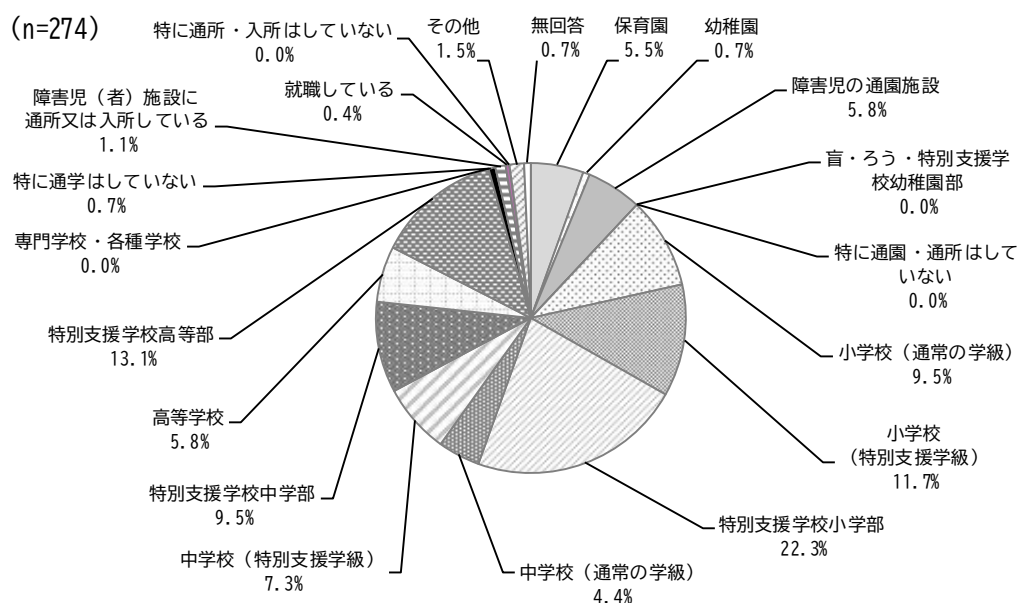
### 〔5 未就学児の預け先〕

- 療育について行き、支援内容を確認し家での接し方に生かす必要がある。また、母子での来園を求められる療育も多い中で、未就学児、小学生の兄弟を誰かにお願いしたり、お金を払って預けなければならない。月に10万円弱の負担があり、とても大変
- ベビーシッターのように、自宅で本人の相手や世話をしてくれるサービス。親が在宅勤務していて、じゃましてくるため。

## 5. 通園・通学状況について

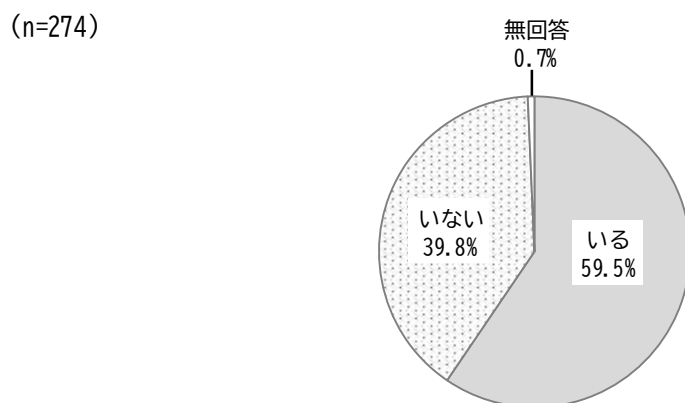
問21 現在、あなた（あて名のご本人）は主にどちらに通園・通学をしていますか。（○は1つ）  
 ※就学前の方は「1. 保育園」～「5. 特に通園・通所はしていない」、それ以外の方は「6. 小学校（通常の学級）」～「19. その他」から選んでください。

「特別支援学校小学部」が22.3%と最も多く、次いで「特別支援学校高等部」が13.1%、「小学校（特別支援学級）」が11.7%となっている。



問22 あなた（あて名のご本人）の通園・通学に付添いの介助者はいますか。（○は1つ）

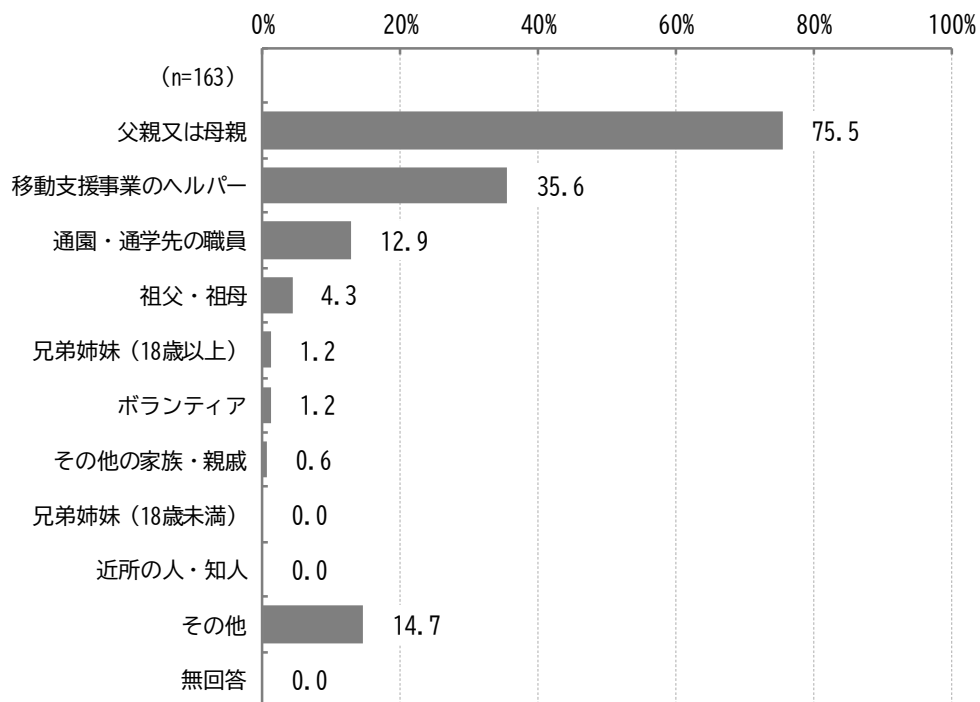
「いる」が59.5%、「いない」が39.8%となっている。



※問 23 は、問 22 で「いる」を選択した人のみ回答

問23 それはどなたですか。(〇はいくつでも)

「父親又は母親」が 75.5%と最も多く、次いで「移動支援事業のヘルパー」が 35.6%、「その他」が 14.7%となっている。



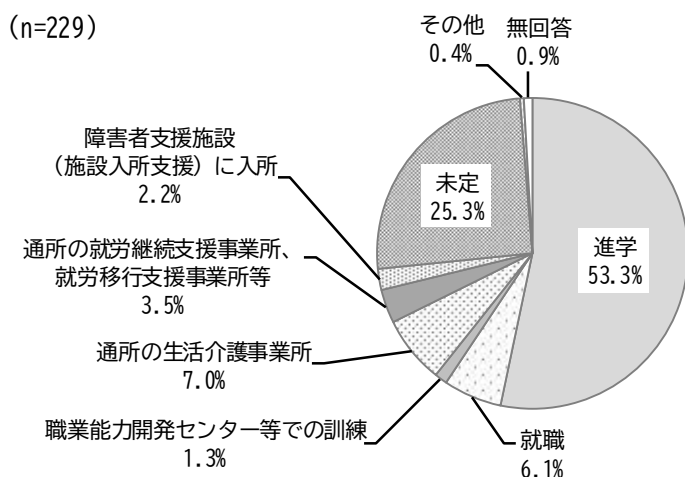
【主なその他の内容】

内容	件数
スクールカー・スクールバスによる送迎	14
福祉サービスや施設等の送迎	4
その他	4

※問 24～26 は、問 21 で選択肢「6. 小学校（通常の学級）」～「14. 専門学校・各種学校」のいずれかを選択した人のみ回答

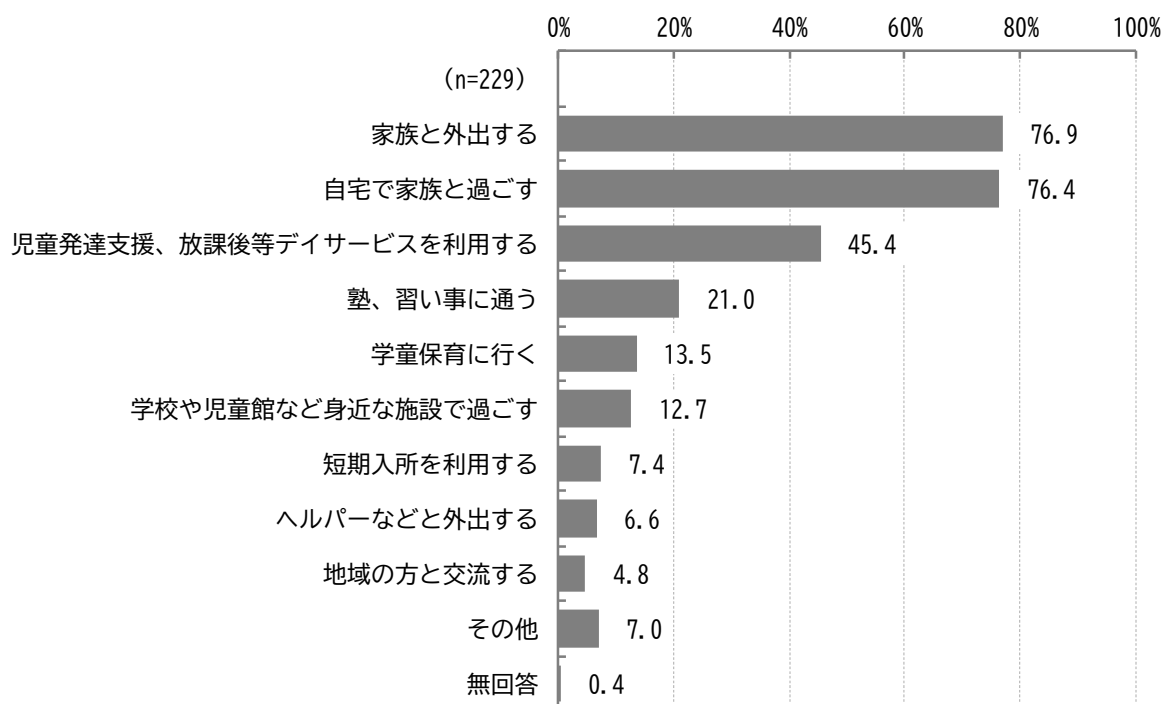
問24 あなた（あて名のご本人）の学校卒業後の進路はどのようにお考えですか。（○は1つ）

「進学」が53.3%と最も多く、次いで「未定」が25.3%、「通所の生活介護事業所」が7.0%となっている。



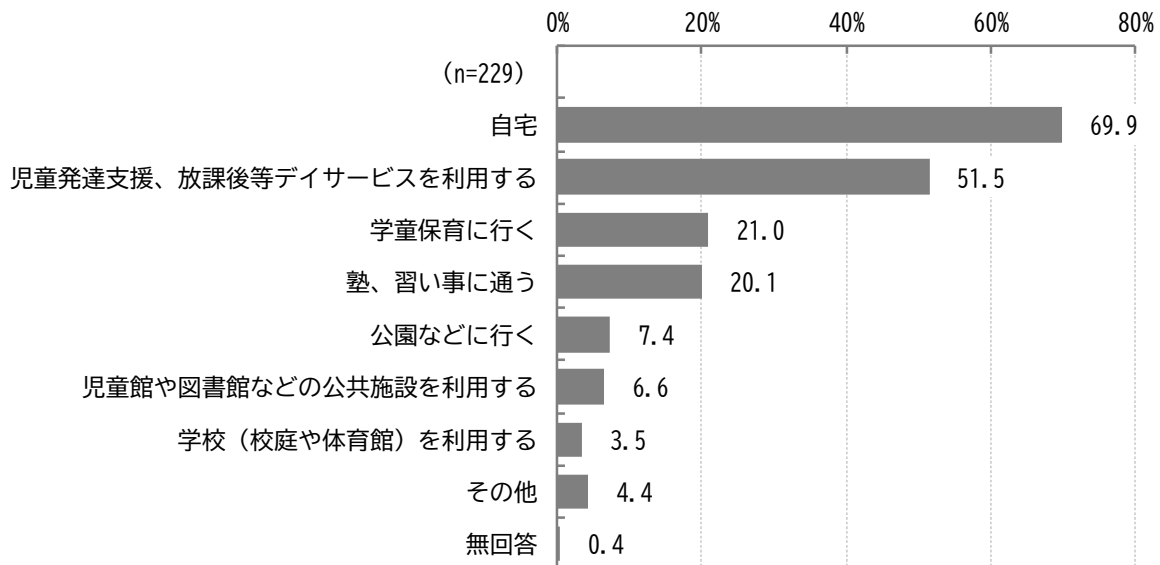
問25 あなた（あて名のご本人）が土日や、長期休みはどのように過ごしているか教えてください。（○はいくつでも）

「家族と外出する」が76.9%と最も多く、次いで「自宅で家族と過ごす」が76.4%、「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する」が45.4%となっている。



問26 あなた（あて名のご本人）が放課後は主にどこで過ごしているか教えてください。  
（〇はいくつでも）

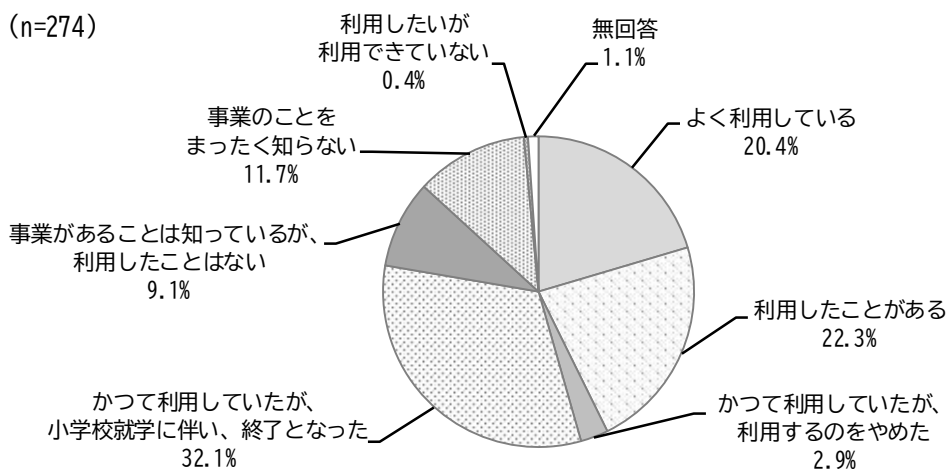
「自宅」が 69.9%と最も多く、次いで「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する」が 51.5%、「学童保育に行く」が 21.0%となっている。



## 6. 外出の機会や日中の活動について

問27 就学前の発達支援の場として、「児童発達支援」という事業があります。  
あなた（あて名のご本人）は、これらの事業を利用したことがありますか。（〇は1つ）

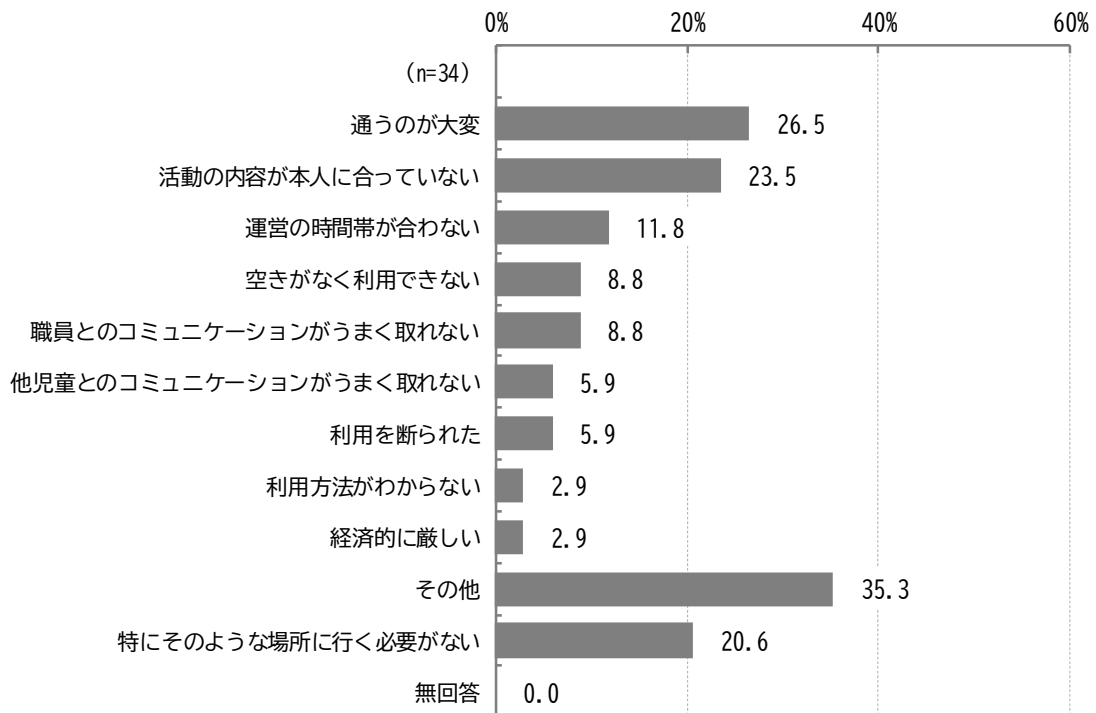
「かつて利用していたが、小学校就学に伴い、終了となった」が 32.1%と最も多く、次いで「利用したことがある」が 22.3%、「よく利用している」が 20.4%となっている。



※問 28 は、問 27 で選択肢「3. かつて利用していたが、利用するのをやめた」、「5. 事業があることは知っているが、利用したことはない」、「7. 利用したいが利用できていない」のいずれかを選択した人のみ回答

問28 その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「その他」が 35.3%と最も多く、次いで「通うのが大変」が 26.5%、「活動の内容が本人に合っていない」が 23.5%となっている。

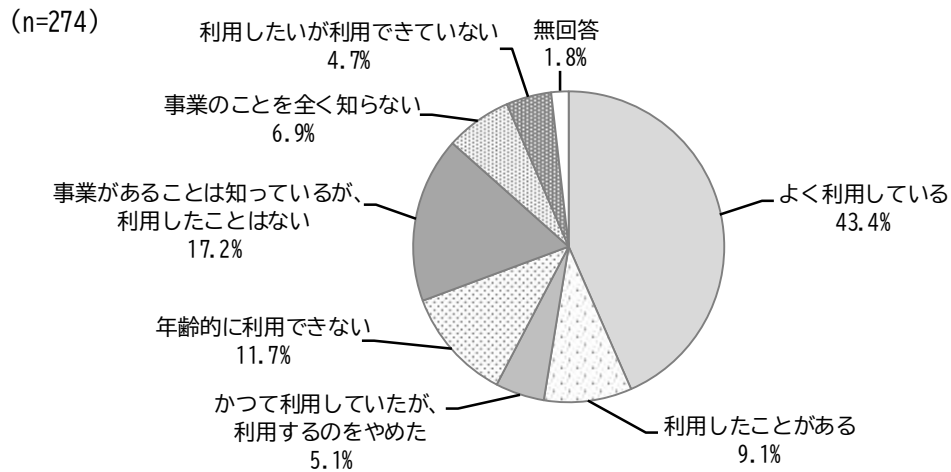


【主なその他の内容】

内容	件数
当時は他自治体に住んでいた、又は利用対象ではなかった	6
他の施設等に通っていたため	3
その他	2

問29 就学後の発達支援の場として、「放課後等デイサービス」という事業があります。  
あなた（あて名のご本人）は、これらの事業を利用したことがありますか。（○は1つ）

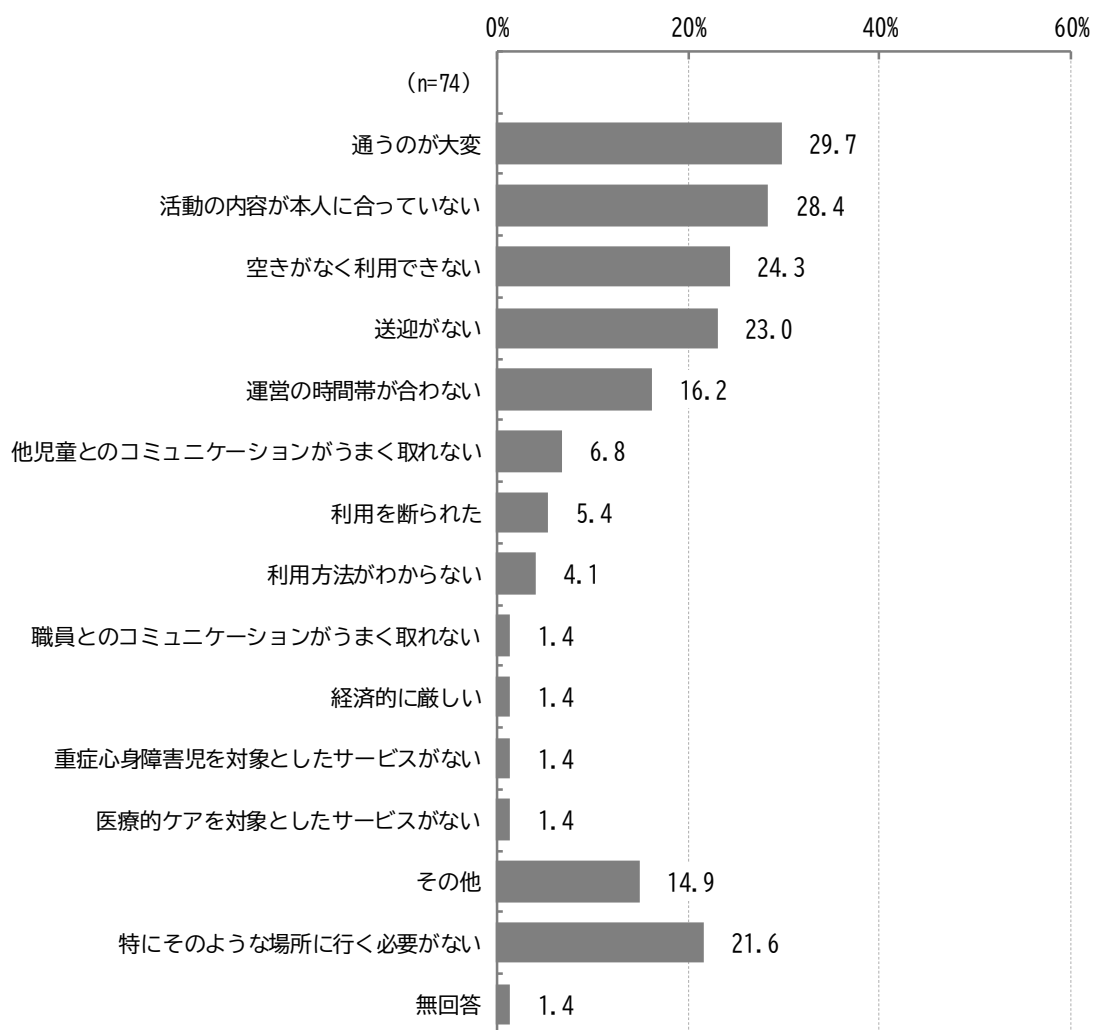
「よく利用している」が43.4%と最も多く、次いで「事業があることは知っているが、利用したことはない」が17.2%、「年齢的に利用できない」が11.7%となっている。



※問 30 は、問 29 で選択肢「3. かつて利用していたが、利用するのをやめた」、「5. 事業があることは知っているが、利用したことはない」、「7. 利用したいが利用できていない」のいずれかを選択した人のみ回答

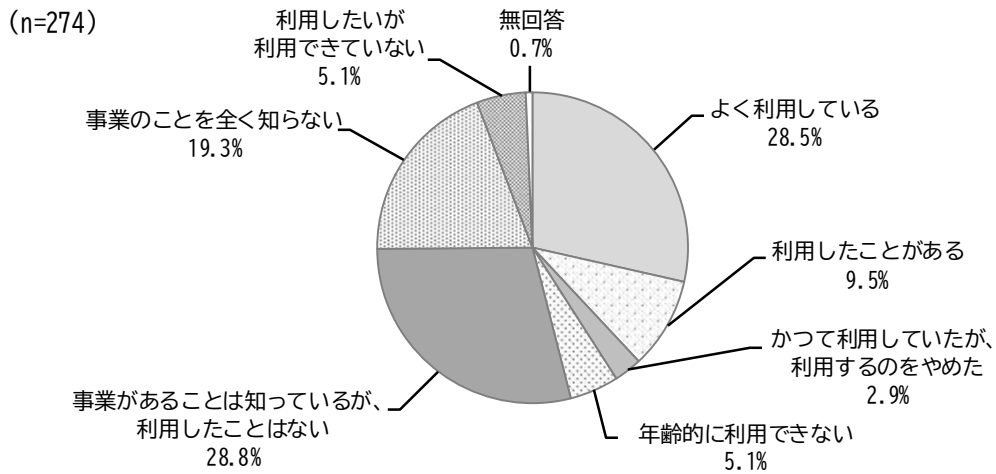
問30 その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「通うのが大変」が 29.7%と最も多く、次いで「活動の内容が本人に合っていない」が 28.4%、「空きがなく利用できない」が 24.3%となっている。



問31 社会生活上必要な外出および余暇活動等の社会参加のために円滑に外出できるよう、介護者が付き添う「移動支援」という事業があります。あなた（あて名のご本人）は、この事業を利用したことがありますか。（○は1つ）

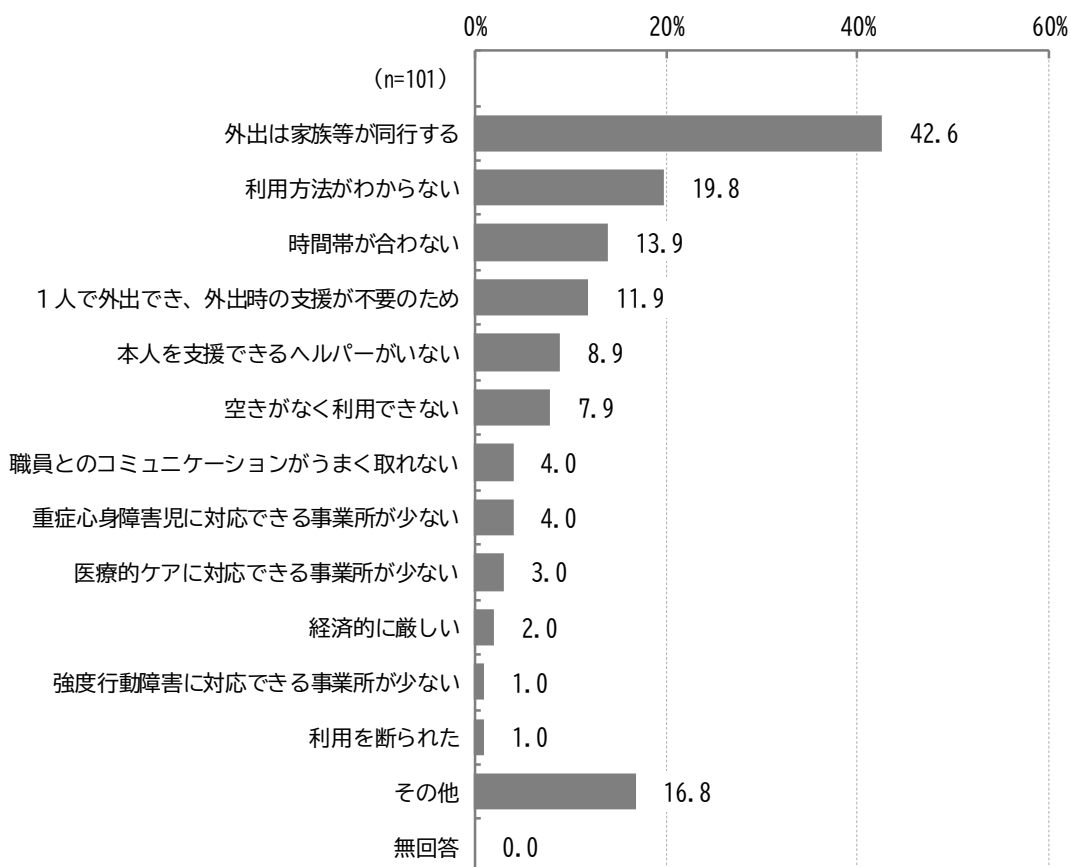
「事業があることは知っているが、利用したことはない」が28.8%と最も多く、次いで「よく利用している」が28.5%、「事業のことを全く知らない」が19.3%となっている。



※問 32 は、問 31 で選択肢「3.かつて利用していたが、利用するのをやめた」、「5.事業があることは知っているが、利用したことはない」、「7.利用したいが利用できていない」のいずれかを選択した人のみ回答

問32 その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「外出は家族等が同行する」が42.6%と最も多く、次いで「利用方法がわからない」が19.8%、「その他」が16.8%となっている。

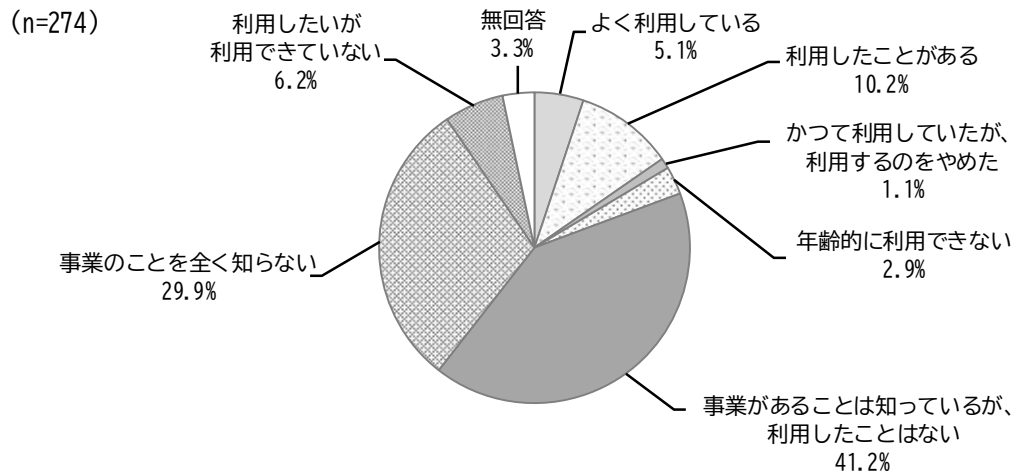


【主なその他の内容】

内容	件数
事業に任せることが心配であったため	4
他の送迎サービス等を利用しているため	4
その他	7

問33 在宅の常時介護を必要とする障害児のいる家庭で、短期間、夜間も含め、障害児の入浴、排せつ又は食事等の介護を行う「短期入所」という事業があります。  
あなた（あて名のご本人）は、この事業を利用したことがありますか。（○は1つ）

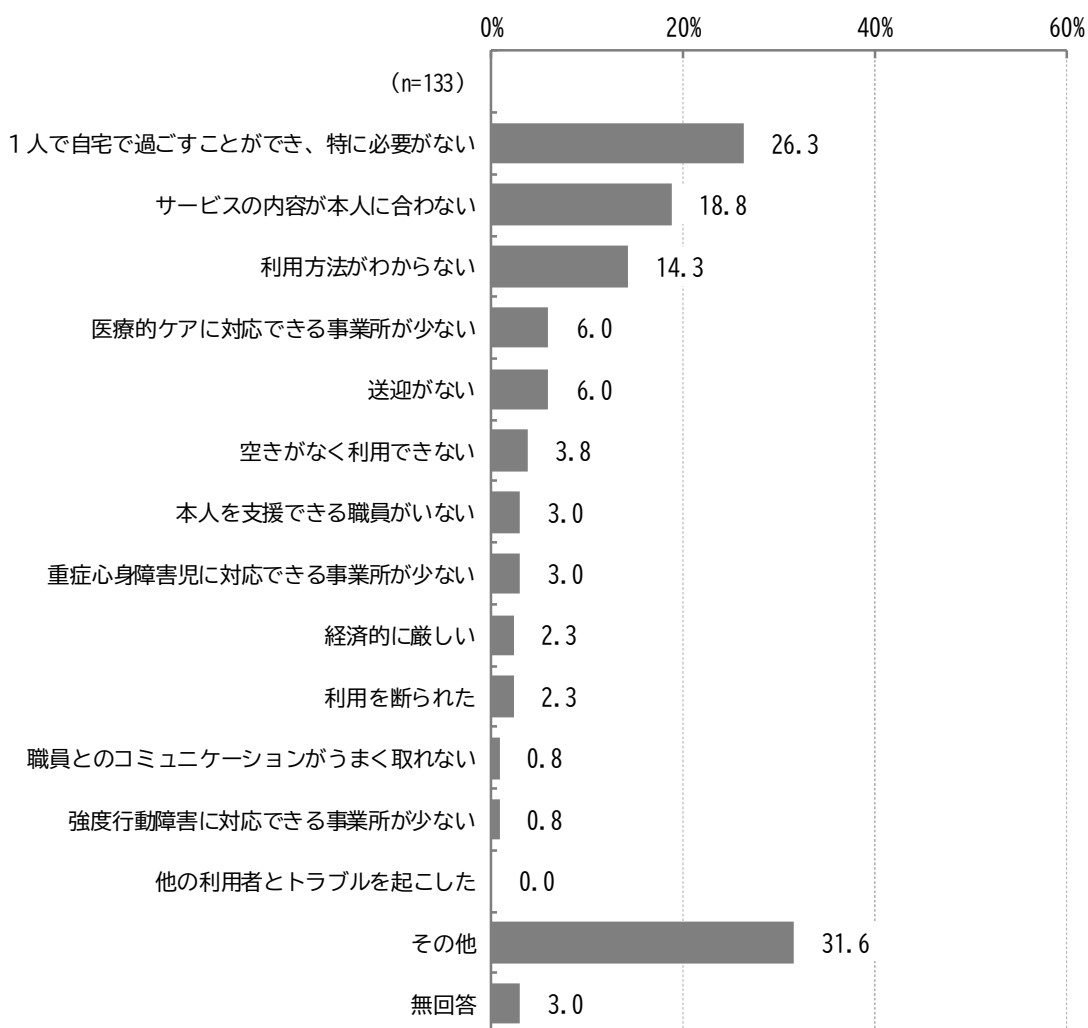
「事業があることは知っているが、利用したことはない」が41.2%と最も多く、次いで「事業のことを全く知らない」が29.9%、「利用したことがある」が10.2%となっている。



※問 34 は、問 33 で選択肢「3.かつて利用していたが、利用するのをやめた」、「5.事業があることは知っているが、利用したことはない」、「7.利用したいが利用できていない」のいずれかを選択した人のみ回答

問34 その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「その他」が31.6%と最も多く、次いで「1人で自宅で過ごすことができ、特に必要がない」が26.3%、「サービスの内容が本人に合わない」が18.8%となっている。



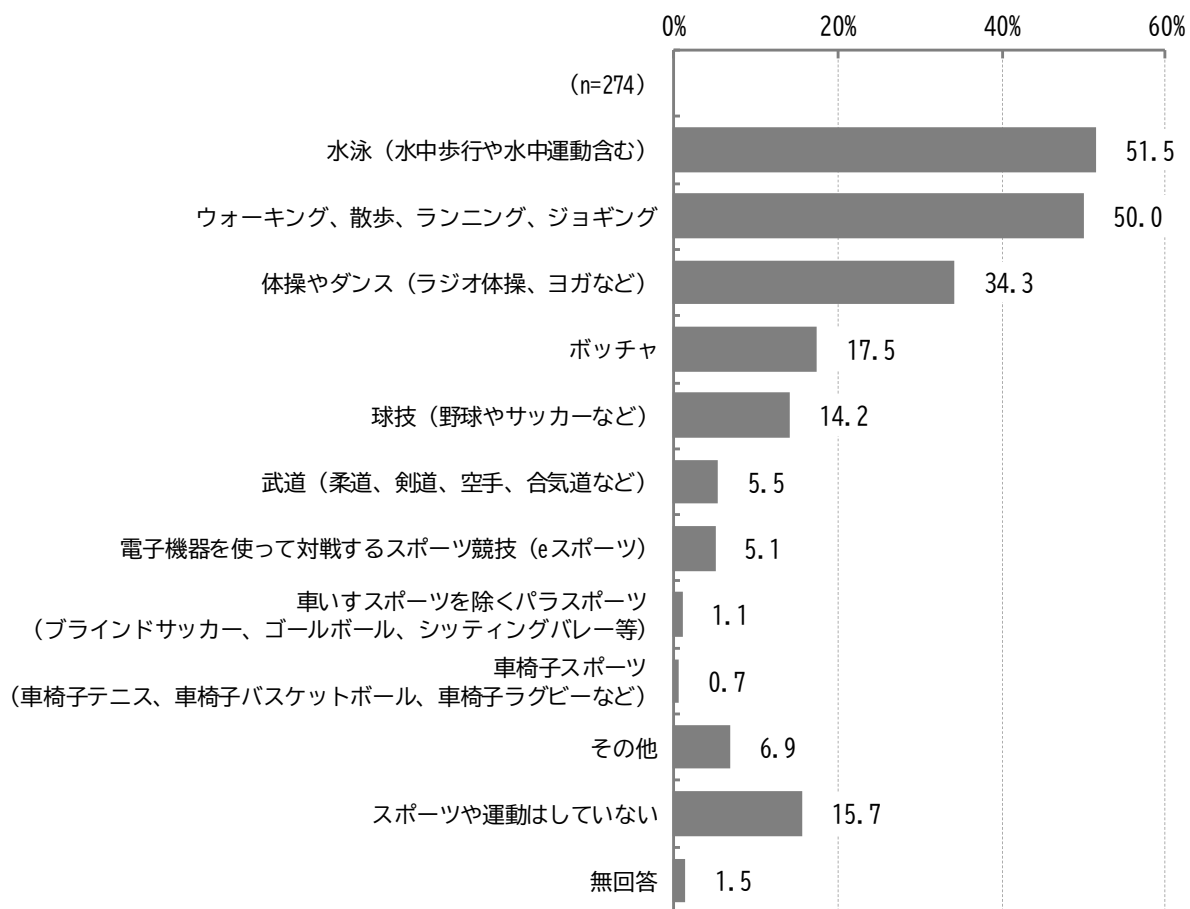
【主なその他の内容】

内容	件数
利用する必要がないため	19
事業を利用することが不安なため	7
手続等に時間や手間がかかるため	3
その他	10

## 7. 余暇活動・文化芸術活動について

問35 あなた（あて名のご本人）がこの1年間に行ったスポーツや運動はありますか。  
（〇はいくつでも）

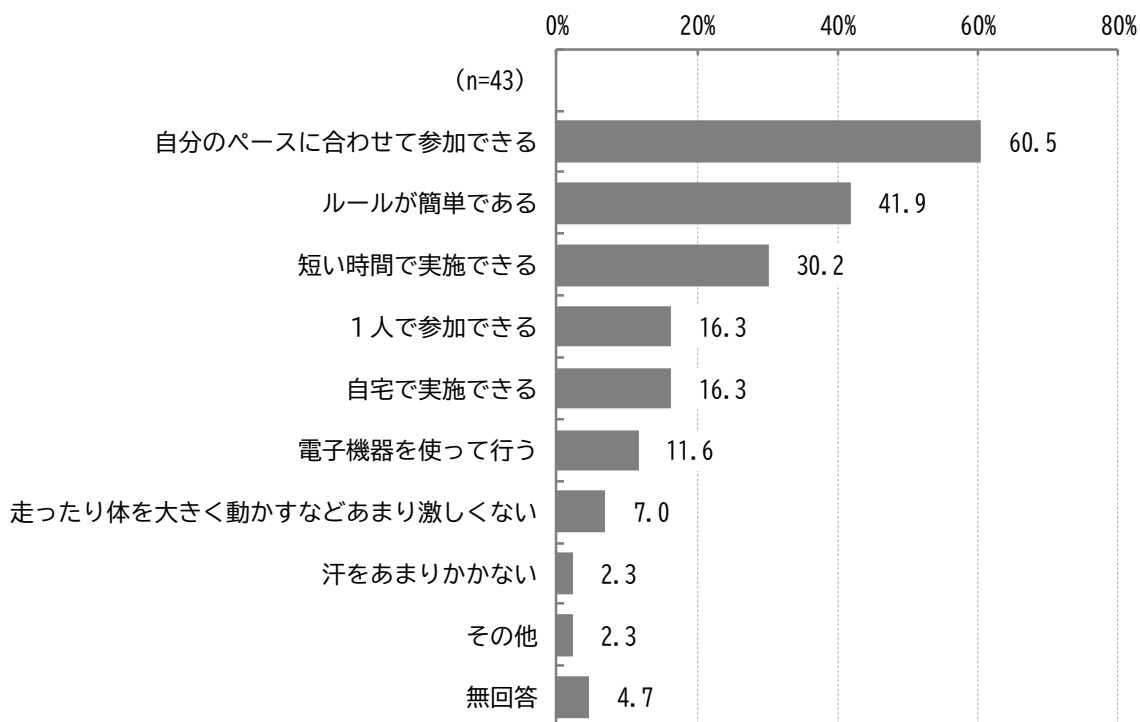
「水泳（水中歩行や水中運動含む）」が51.5%と最も多く、次いで「ウォーキング、散歩、ランニング、ジョギング」が50.0%、「体操やダンス（ラジオ体操、ヨガなど）」が34.3%となっている。



※問 36 は、問 35 で「スポーツや運動はしていない」を選択した人のみ回答

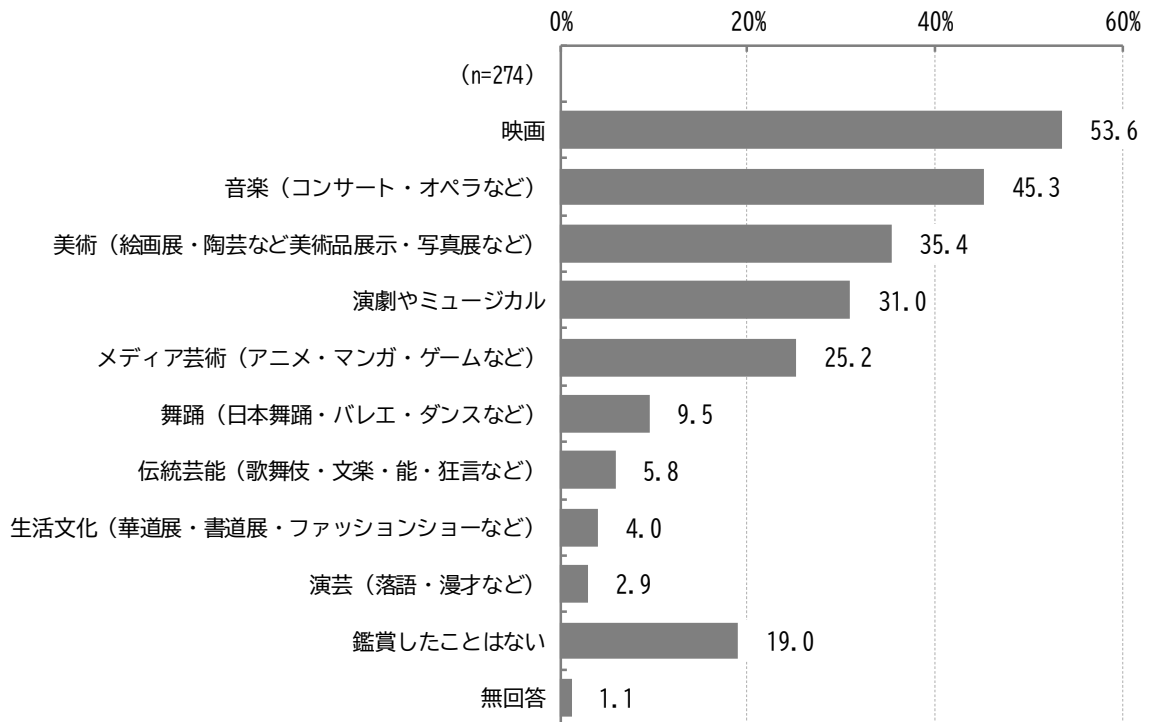
問36 どのようなスポーツや運動に参加したいですか。(〇はいくつでも)

「自分のペースに合わせて参加できる」が 60.5%と最も多く、次いで「ルールが簡単である」が 41.9%、「短い時間で実施できる」が 30.2%となっている。



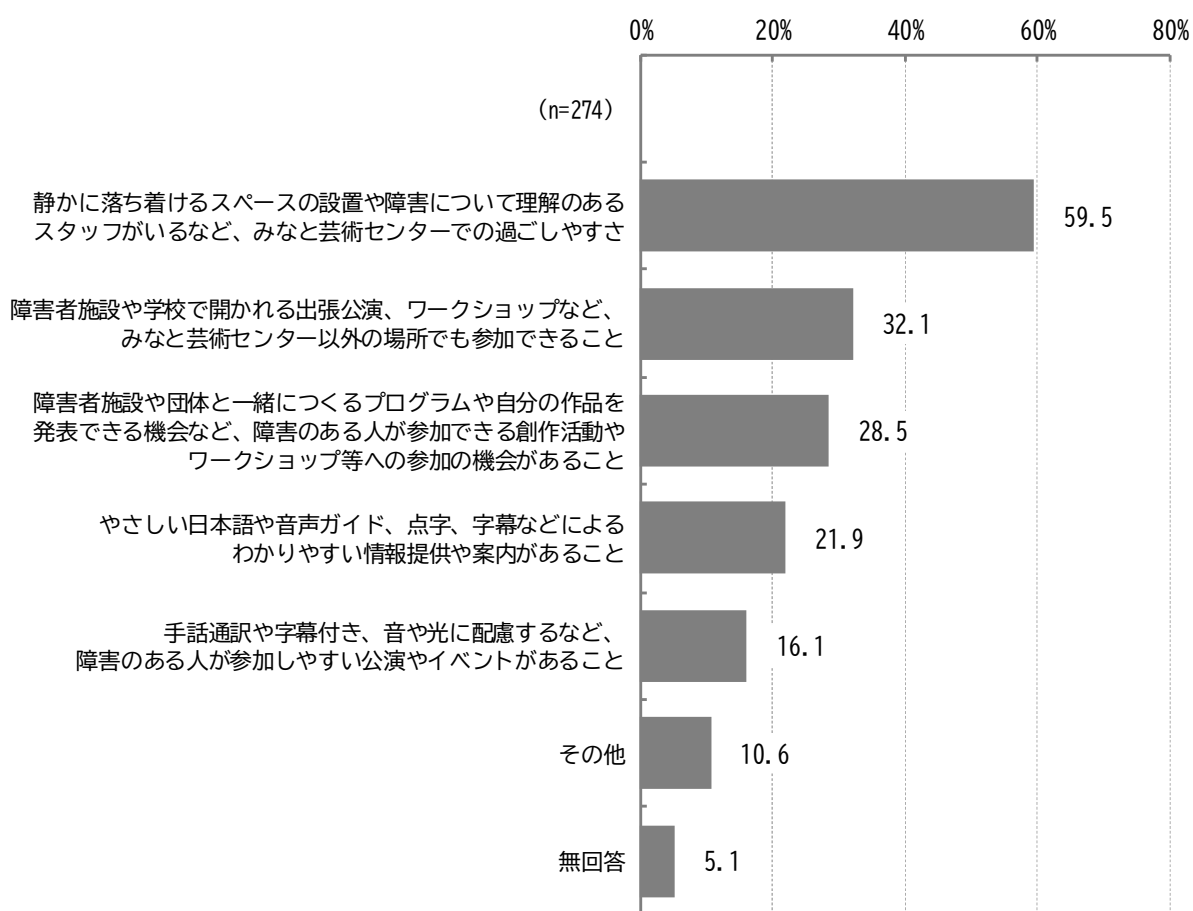
問37 あなた（あて名のご本人）がこれまでに、自宅以外の場所で鑑賞や活動したことがある文化芸術のジャンルを教えてください。（○はいくつでも）

「映画」が53.6%と最も多く、次いで「音楽（コンサート・オペラなど）」が45.3%、「美術（絵画展・陶芸など美術品展示・写真展など）」が35.4%となっている。



問38 港区立みなと芸術センター（令和9年度開館予定）では、障害のある方も安心して利用し、文化芸術を楽しんだり、参加したりできるようにしていきたいと考えています。今後の準備に生かすため、あなた（あて名のご本人）が「このようなことがあれば嬉しい」「ぜひ取り組んでほしい」と思うことを教えてください。（〇はいくつでも）

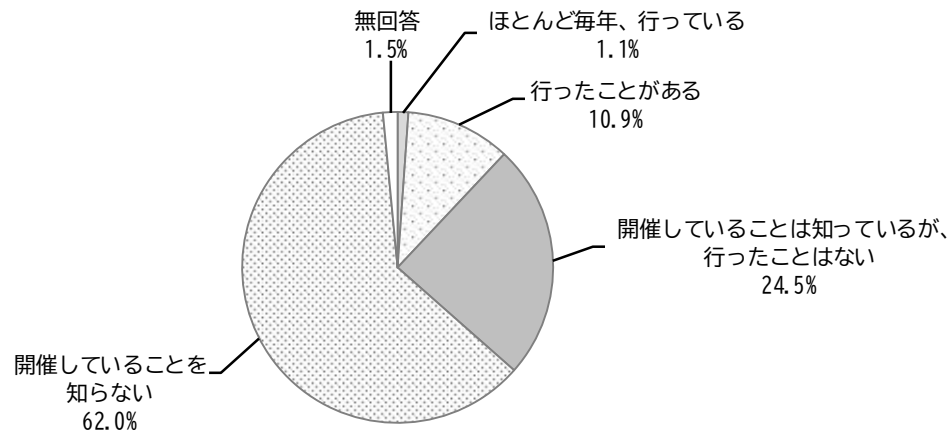
「静かに落ち着けるスペースの設置や障害について理解のあるスタッフがいるなど、みなと芸術センターでの過ごしやすさ」が59.5%と最も多く、次いで「障害者施設や学校で開かれる出張公演、ワークショップなど、みなと芸術センター以外の場所でも参加できること」が32.1%、「障害者施設や団体と一緒に作るプログラムや自分の作品を発表できる機会など、障害のある人が参加できる創作活動やワークショップ等への参加の機会があること」が28.5%となっている。



問39 区では、年1回(約1か月間)、区内美術館等において、障害者が制作した絵画等の作品を展示する「地域で共に生きる障害児・障害者アート展」を開催しています。  
このイベントに行ったことはありますか。(〇は1つ)

「開催していることを知らない」が62.0%と最も多く、次いで「開催していることは知っているが、行ったことはない」が24.5%、「行ったことがある」が10.9%となっている。

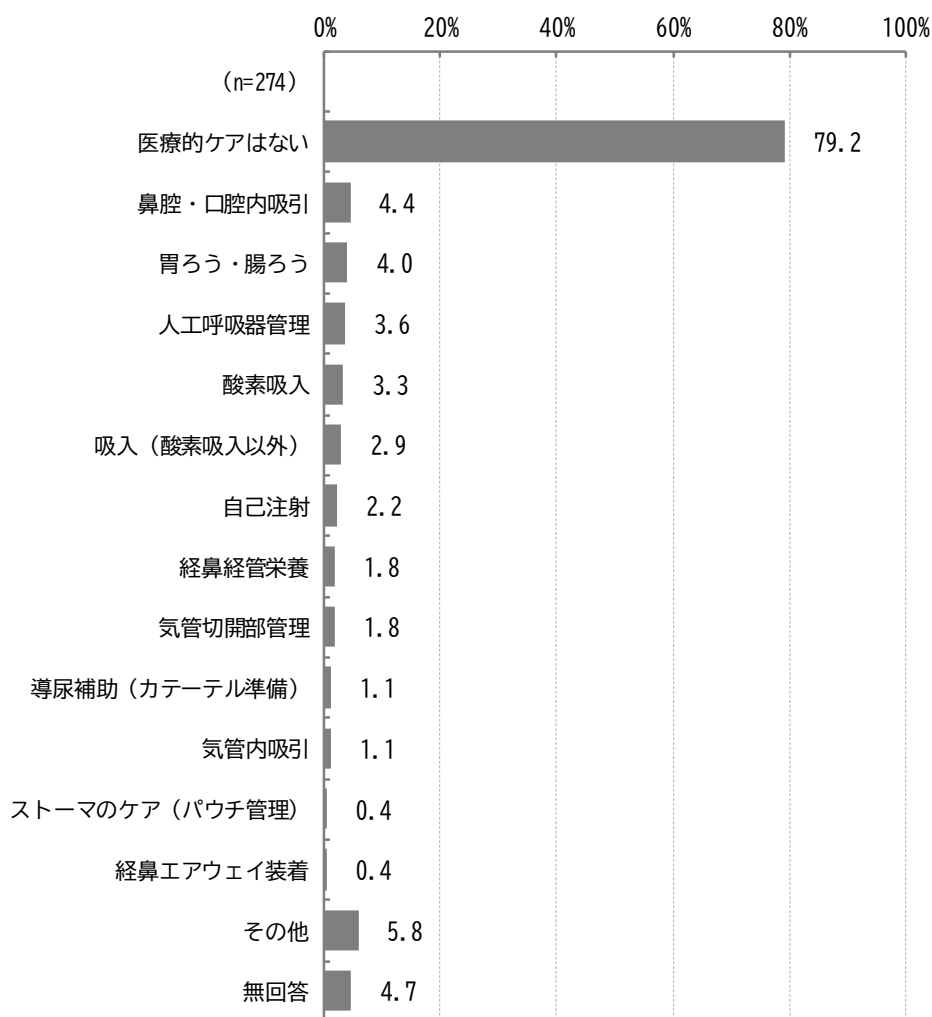
(n=274)



## 8. 医療的ケアの状況について

問40 あなた（あて名のご本人）が日常的に必要な医療的ケアを教えてください。  
（〇はいくつでも）

「医療的ケアはない」が79.2%と最も多く、次いで「その他」が5.8%、「鼻腔・口腔内吸引」が4.4%となっている。



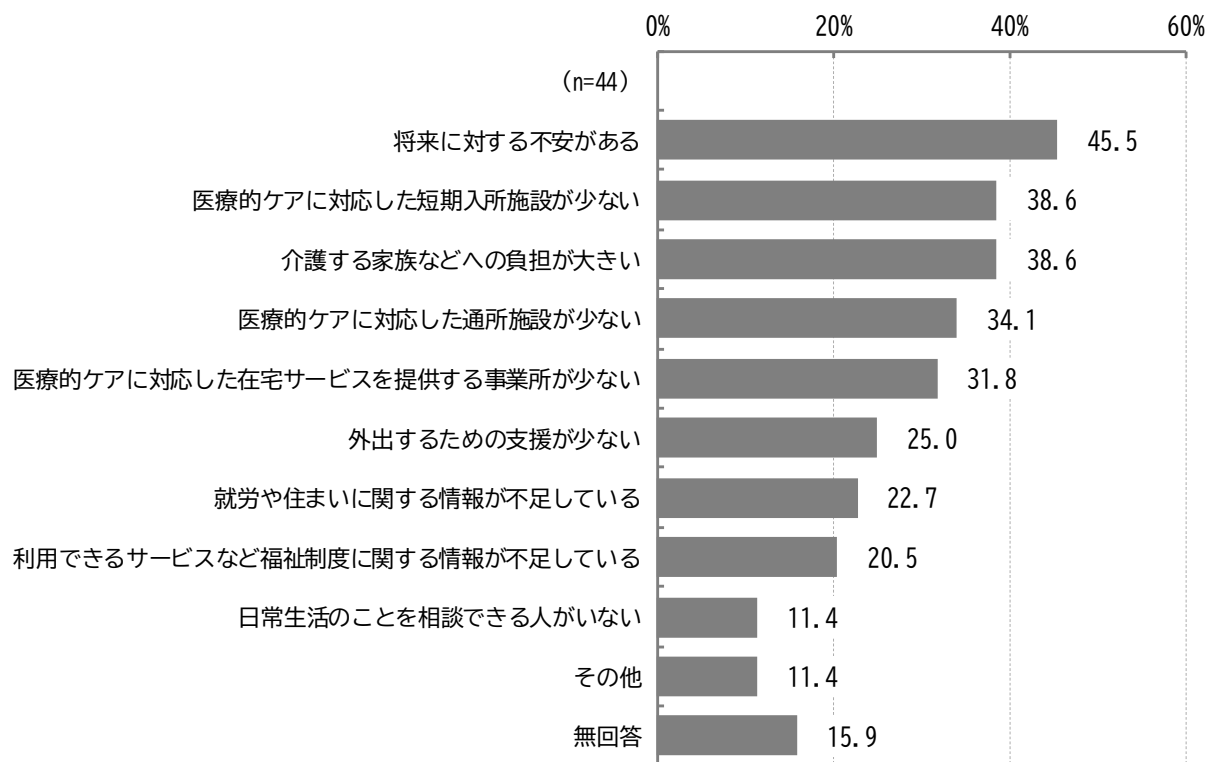
### 【主なその他の内容】

内容	件数
服薬	5
その他	8

※問 41 は、問 40 で選択肢「2. ストーマのケア（パウチ管理）」～「14. その他」のいずれかを選択した人のみ回答

問41 医療的ケアを受ける中で、日常生活における困りごとを教えてください。  
(〇はいくつでも)

「将来に対する不安がある」が45.5%と最も多く、次いで「医療的ケアに対応した短期入所施設が少ない」と「介護する家族などへの負担が大きい」が38.6%となっている。



※問 42 は、問 41 で選択肢「1. 医療的ケアに対応した通所施設が少ない」～「9. 将来に対する不安がある」のいずれかを選択した人のみ回答

問42 日常生活における困りごとについて、具体的な内容を教えてください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	将来に対する不安がある	2
2	介護する家族などへの負担が大きい	3
3	医療的ケアに対応した通所施設が少ない	2
4	外出するための支援が少ない	5
5	就労や住まいに関する情報が不足している	1
6	医療的ケアに対応した在宅サービスを提供する事業所が少ない	6
7	医療的ケアに対応した短期入所施設が少ない	1
8	その他	3

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

#### 〔1 将来に対する不安がある〕

- 将来自身の服薬について医師と話ができるのか、また服薬を忘れずにできるのか。
- 親の精神的負担や疲弊が大きい。18歳になると、今までをよく知った児相担当者に会えなくなるし、相談出来なくなる事への不安。

#### 〔2 介護する家族などへの負担が大きい〕

- 日常生活に必要な医ケア品の負担額が大きい。
- 母親への負担が大きすぎる。泊まりで預けられる施設が遠く、予約も取れない。母親は常に寝不足である。

#### 〔3 医療的ケアに対応した通所施設が少ない〕

- 気切があり、児発をたくさん断られた。
- 放課後等デイサービスにて事業所2つ掛け持ちしています。利用事業所を増やすと子供本人の心身負担が大きく、場所や人に慣れるのにも時間がかかる。

#### 〔4 外出するための支援が少ない〕

- デイサービスなどは短時間でしか参加できない。学校が休みの日の行き場が少ない。
- 家事のために外出時に、見てくれる人がいない。

**〔5 就労や住まいに関する情報が不足している〕**

○就労と突発的な体調不良の両立が難しい。外出のハードルが高い。エレベーター待ちが辛すぎてやめる。短期入所をさせたいが、その手続きをする時間も気力もない。

**〔6 医療的ケアに対応した在宅サービスを提供する事業所が少ない〕**

○医療的ケア児を育てながら仕事を続ける大変さ。療育の送り迎え、移動が大変。病児保育に預けられない。通院負担が大きく預けられる保育所が少ない。家族が休めないし、出かけられない。

○酸素吸入が必要な事で、事業所がサービスを受けてくれない。介護タクシーが少ない。

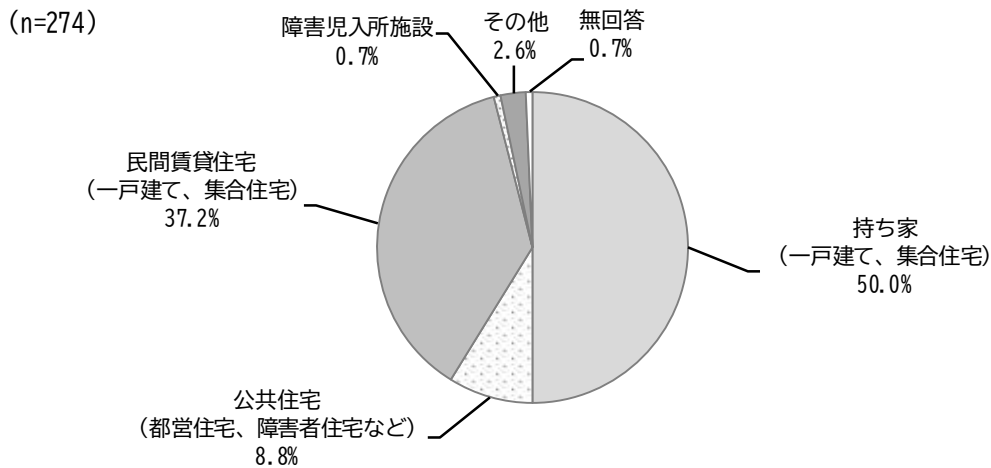
**〔7 医療的ケアに対応した短期入所施設が少ない〕**

○レスパイト利用をしながら仕事をしているが、レスパイト利用料金が高すぎる。

## 9. 居住の場について

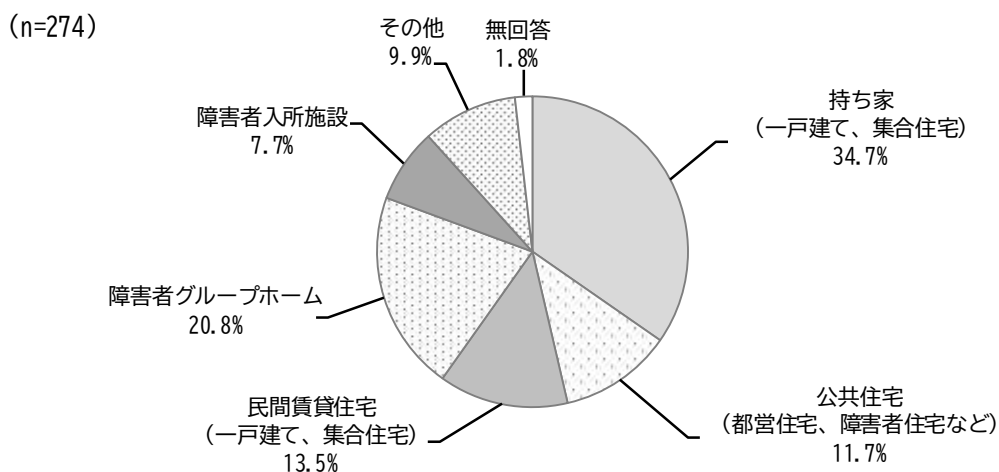
問43 あなた（あて名のご本人）が現在、どのような場所に住んでいるか教えてください。（○は1つ）

「持ち家（一戸建て、集合住宅）」が50.0%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅（一戸建て、集合住宅）」が37.2%、「公共住宅（都営住宅、障害者住宅など）」が8.8%となっている。



問44 あなた（あて名のご本人）が将来的に、希望する居住の場を教えてください。（○は1つ）

「持ち家（一戸建て、集合住宅）」が34.7%と最も多く、次いで「障害者グループホーム」が20.8%、「民間賃貸住宅（一戸建て、集合住宅）」が13.5%となっている。

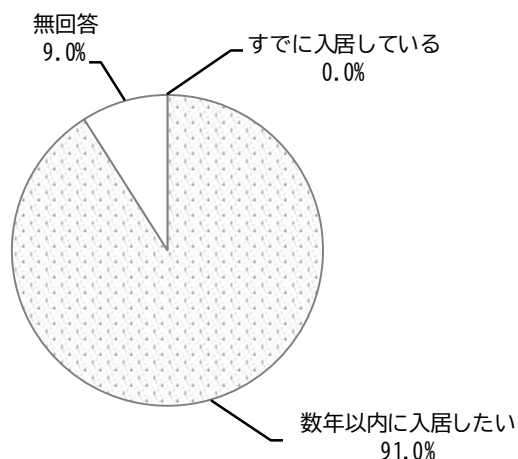


※問 45 は、問 44 で選択肢「4. 障害者グループホーム」又は「5. 障害者入所施設」のいずれかを選択した人のみ回答

問45 入居を希望する時期はいつですか。(○は1つ)

「数年以内に入居したい」が91.0%となっている。

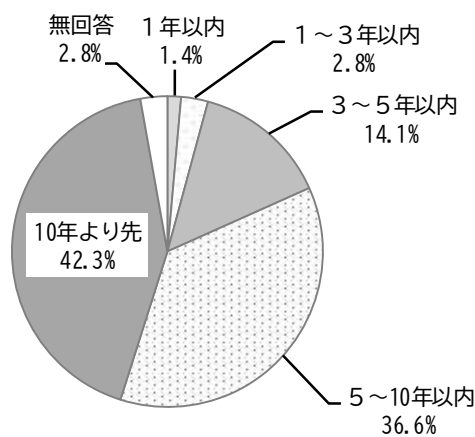
(n=78)



#### 【何年以内に入居したいか】

「10年より先」が42.3%と最も多く、次いで「5～10年以内」が36.6%、「3～5年以内」が14.1%となっている。

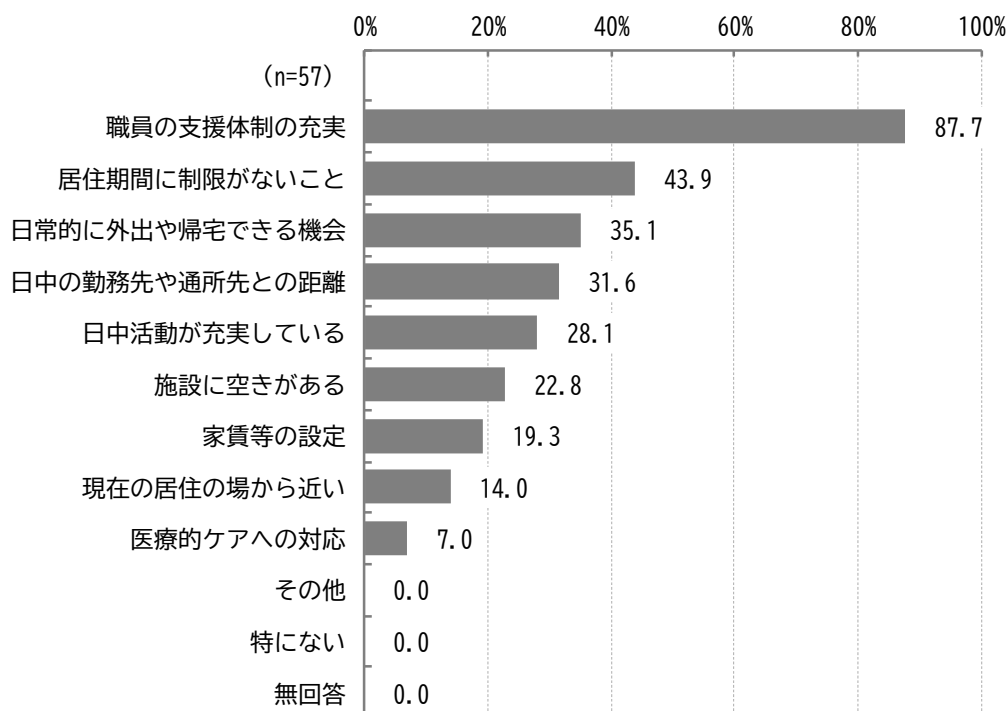
(n=71)



※問 46 は、問 44 で「障害者グループホーム」を選択した人のみ回答

問46 グループホームに居住する（居住を継続する）場合、どのような点を希望又は重視しますか。（○は3つまで）

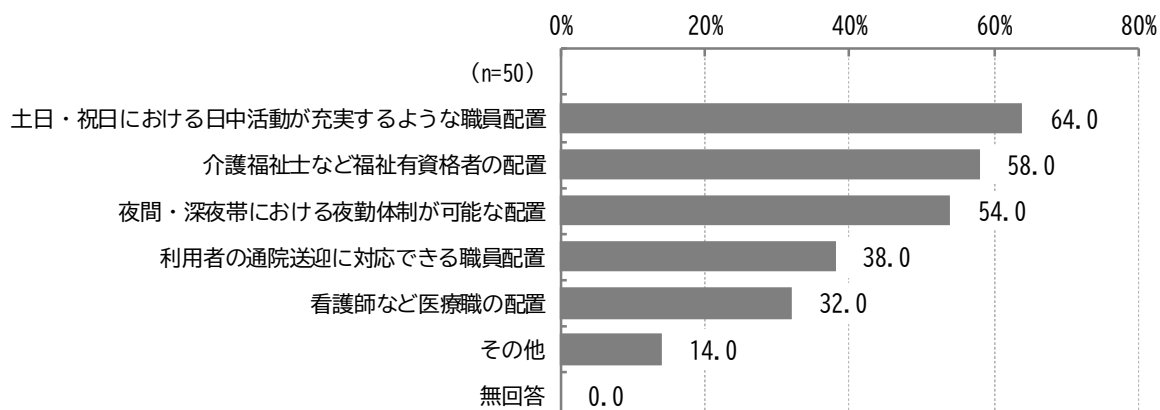
「職員の支援体制の充実」が 87.7%と最も多く、次いで「居住期間に制限がないこと」が 43.9%、「日常的に外出や帰宅できる機会」が 35.1%となっている。



※問 47 は、問 46 で「職員の支援体制の充実」を選択した人のみ回答

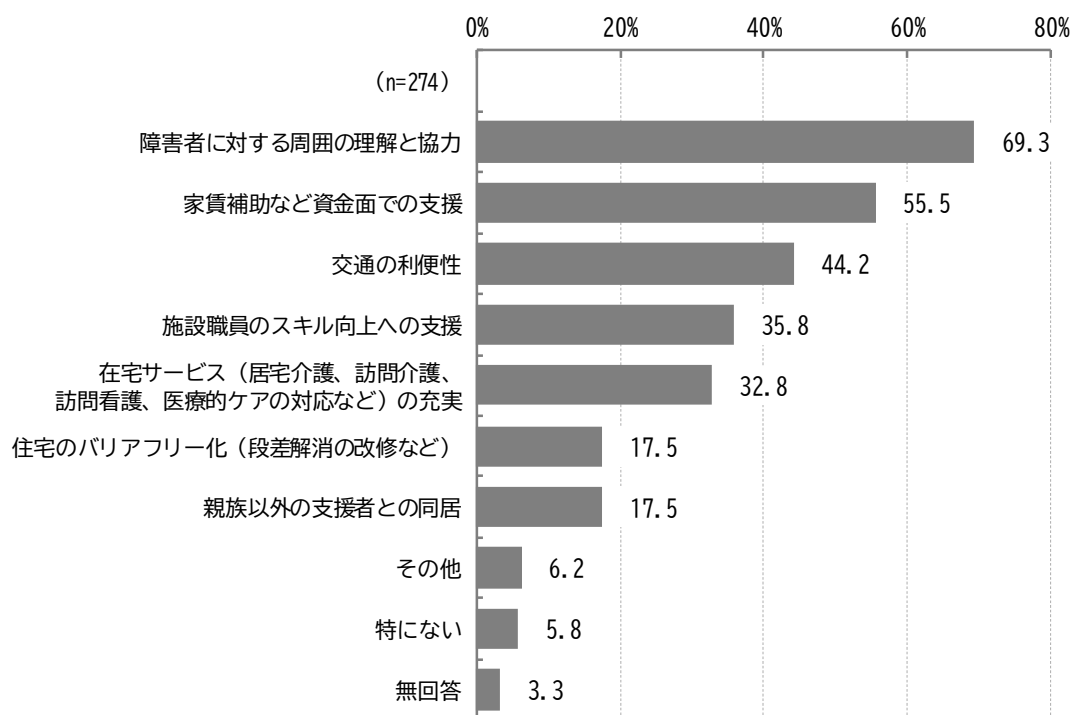
問47 希望する「職員の支援体制の充実」の具体的な内容を教えてください。（○はいくつでも）

「土日・祝日における日中活動が充実するような職員配置」が 64.0%と最も多く、次いで「介護福祉士など福祉有資格者の配置」が 58.0%、「夜間・深夜帯における夜勤体制が可能な配置」が 54.0%となっている。



問48 あなた（あて名のご本人）が希望する居住の場において必要な支援や条件を教えてください。（〇はいくつでも）

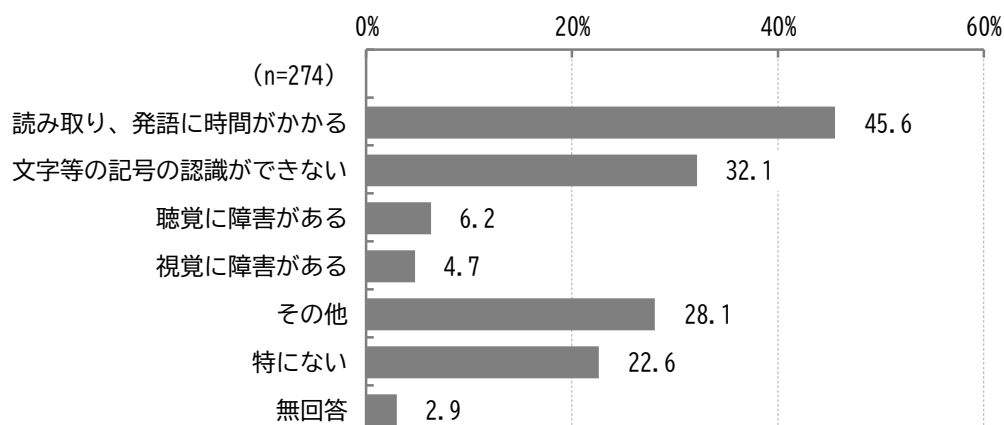
「障害者に対する周囲の理解と協力」が69.3%と最も多く、次いで「家賃補助など資金面での支援」が55.5%、「交通の利便性」が44.2%となっている。



## 10. コミュニケーション手段の確保について

問49 あなた（あて名のご本人）が他者とコミュニケーションをとるに当たり支障となる障害を教えてください。（〇はいくつでも）

「読み取り、発語に時間がかかる」が45.6%と最も多く、次いで「文字等の記号の認識ができない」が32.1%、「その他」が28.1%となっている。

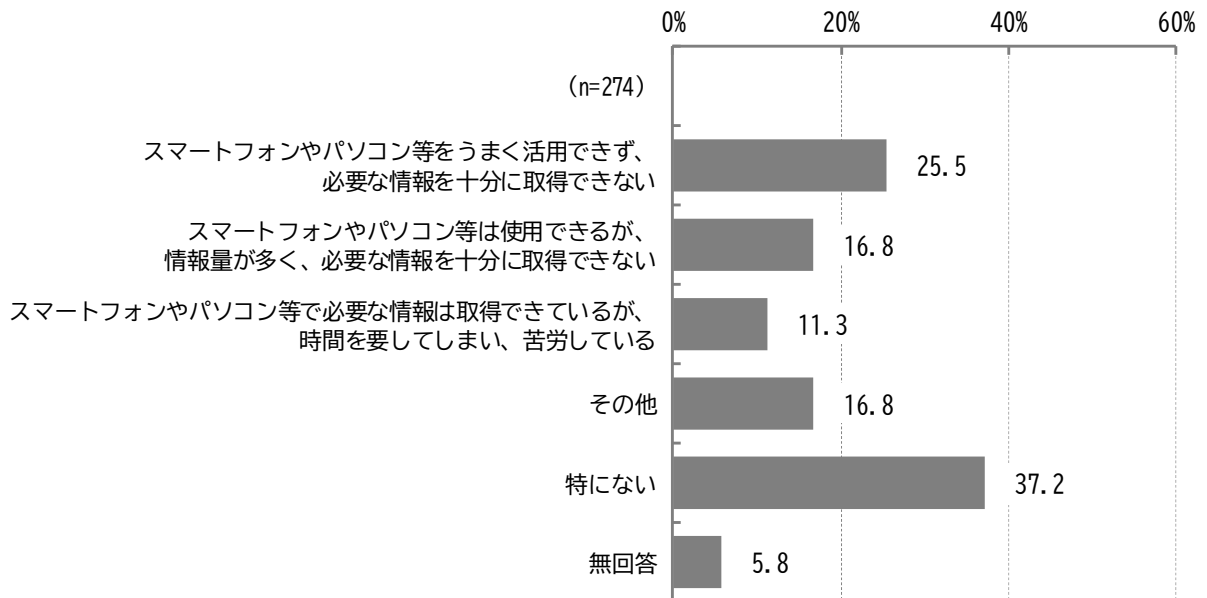


### 【主なその他の内容】

内容	件数
発語がない、又は困難である	30
障害特性のためコミュニケーションをとることが困難である	20
言葉や会話内容の理解が難しい	12
読み書きや聞き取り等が難しい	3
その他	9

問50 あなた（あて名のご本人）が区から必要な情報を取得する際に困った経験があれば教えてください。（○はいくつでも）

「特にない」が37.2%と最も多く、次いで「スマートフォンやパソコン等をうまく活用できず、必要な情報を十分に取得できない」が25.5%、「スマートフォンやパソコン等は使用できるが、情報量が多く、必要な情報を十分に取得できない」と「その他」が16.8%となっている。

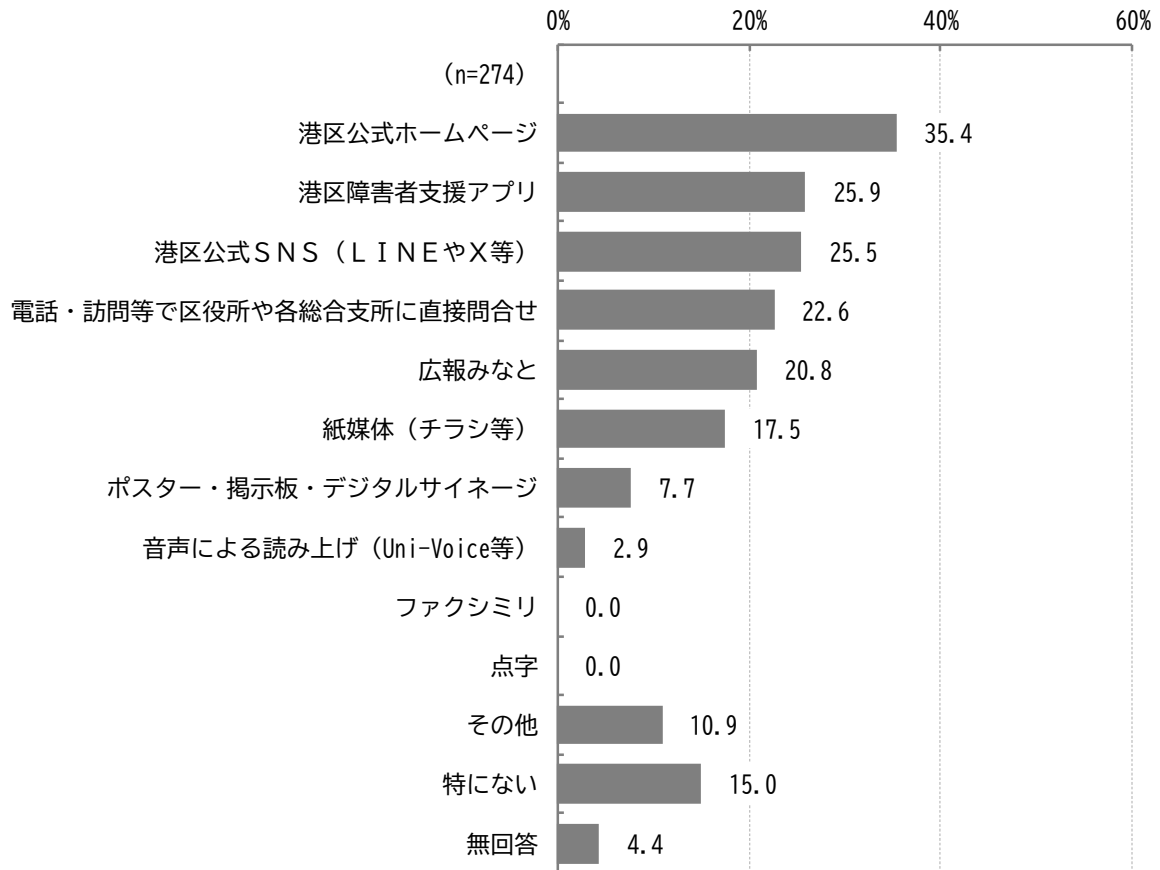


【主なその他の内容】

内容	件数
年齢や障害特性のため、情報の取得・理解が難しい	26
電子機器の利用が難しい	2
その他	15

問51 あなた（あて名のご本人）が区の発信する情報やお知らせを受け取るために、希望する媒体・手段を教えてください。（〇はいくつでも）

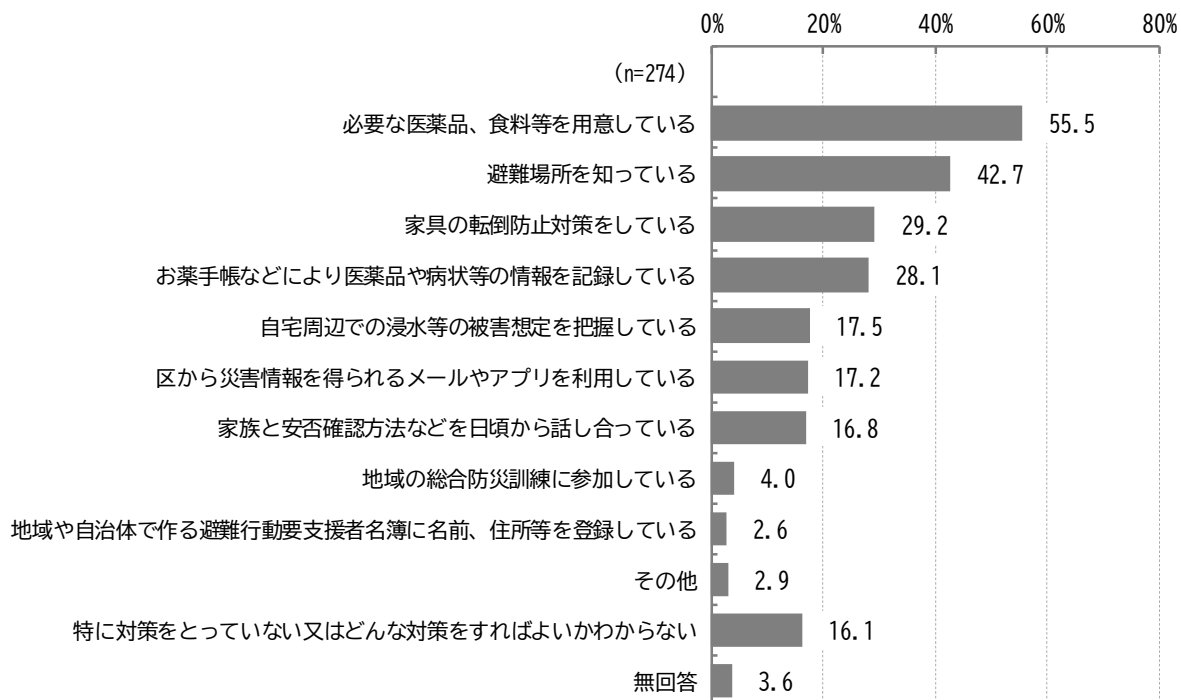
「港区公式ホームページ」が 35.4%と最も多く、次いで「港区障害者支援アプリ」が 25.9%、「港区公式SNS（LINEやX等）」が 25.5%となっている。



## 11. 災害に対する備えと災害時の行動について

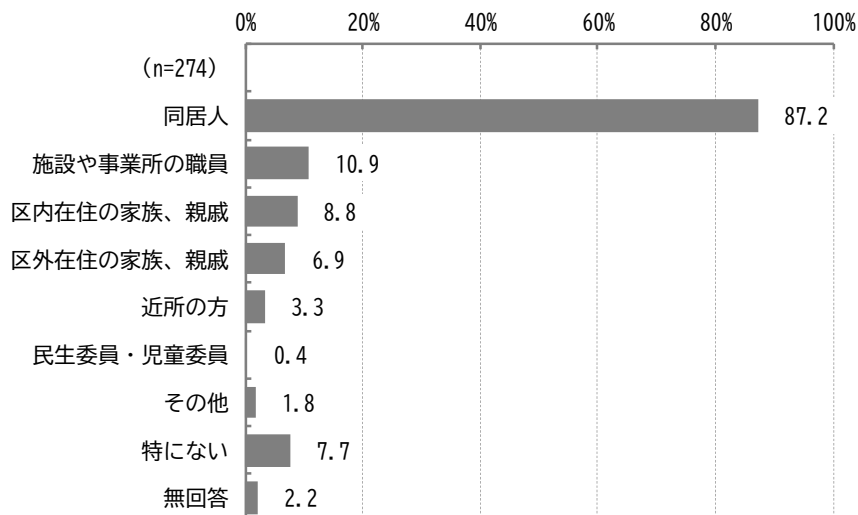
問52 災害が発生したときは、ご自宅での在宅避難が基本となりますが、あなた（あて名のご本人）は日頃から災害に備えて特別な対策を取っていますか。（〇はいくつでも）

「必要な医薬品、食料等を用意している」が55.5%と最も多く、次いで「避難場所を知っている」が42.7%、「家具の転倒防止対策をしている」が29.2%となっている。



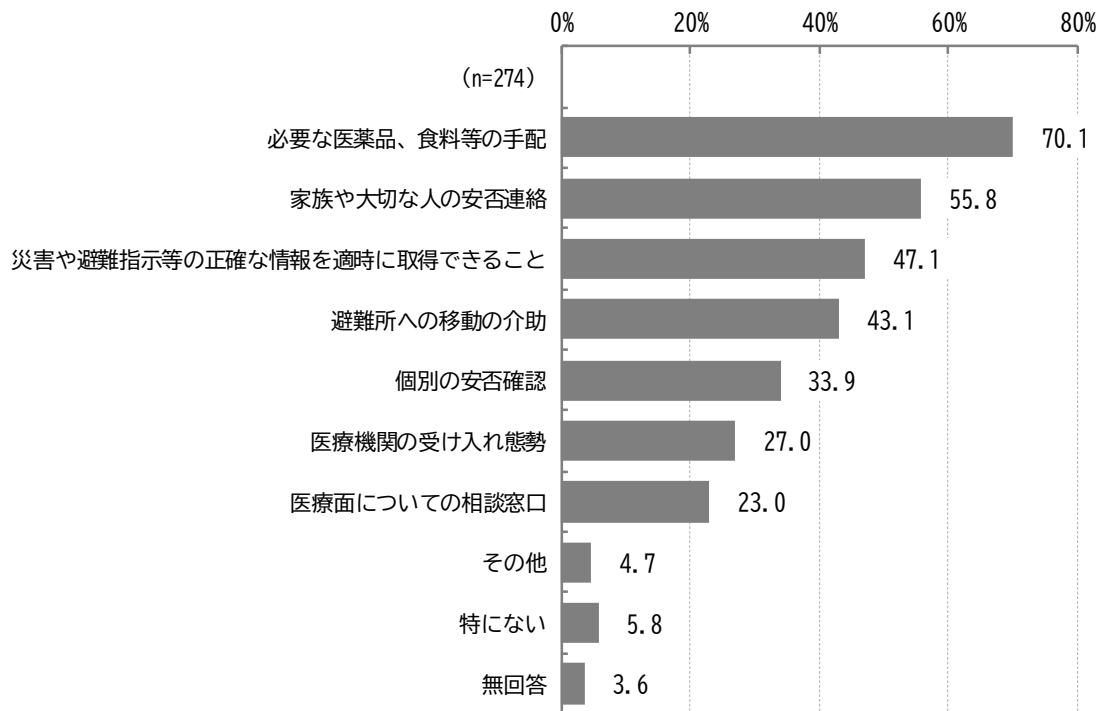
問53 あなた（あて名のご本人）には災害が発生したときに安全な場所への避難を支援してくれる支援者はいますか。（〇はいくつでも）

「同居人」が87.2%と最も多く、次いで「施設や事業所の職員」が10.9%、「区内在住の家族、親戚」が8.8%となっている。



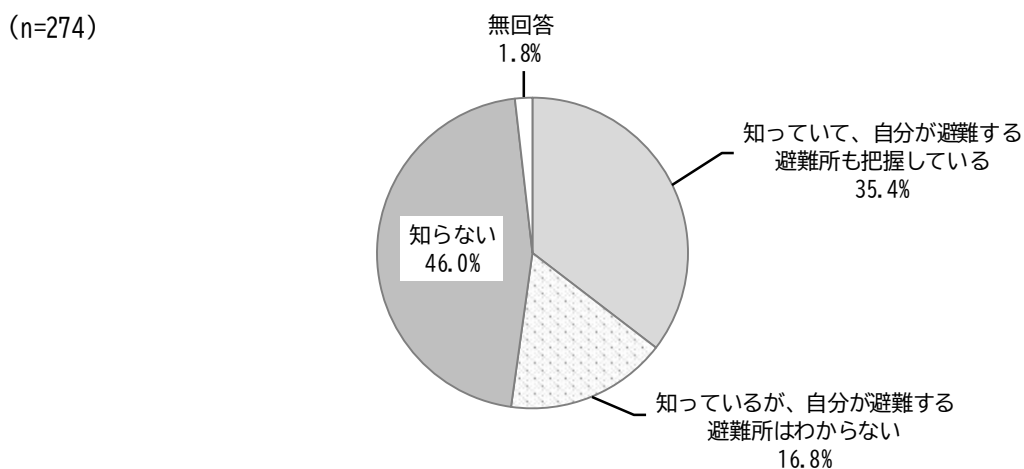
問54 災害が発生したときにあなた（あて名のご本人）が行政や地域から必要とする支援を教えてください。（○はいくつでも）

「必要な医薬品、食料等の手配」が70.1%と最も多く、次いで「家族や大切な人の安否連絡」が55.8%、「災害や避難指示等の正確な情報を適時に取得できること」が47.1%となっている。



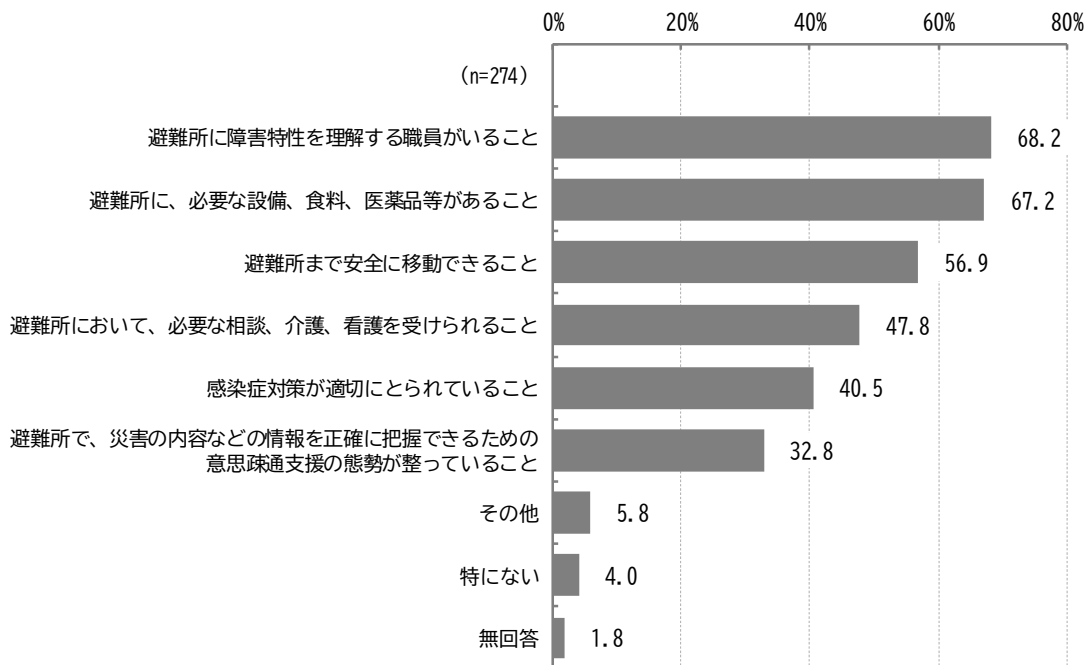
問55 あなた（あて名のご本人）は避難所（福祉避難所含む）をご存じですか。（○は1つ）

「知らない」が46.0%と最も多く、次いで「知っていて、自分が避難する避難所も把握している」が35.4%、「知っているが、自分が避難する避難所はわからない」が16.8%となっている。



問56 あなた（あて名のご本人）が避難所（福祉避難所を含む）で望む支援は何ですか。  
（〇はいくつでも）

「避難所に障害特性を理解する職員がいること」が68.2%と最も多く、次いで「避難所に、必要な設備、食料、医薬品等があること」が67.2%、「避難所まで安全に移動できること」が56.9%となっている。



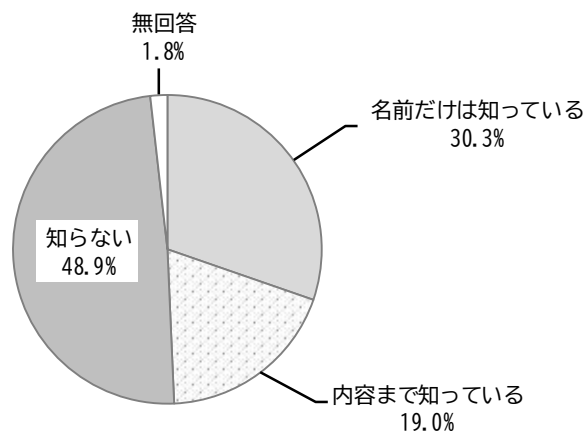
## 12. 偏見・差別について

問57 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されました。

この法律には、障害を理由とした不当な差別的取扱いを禁じ、また、障害者から生活上のバリア（障壁）を取り除くため何らかの対応を求められたとき、負担が重すぎない範囲で対応することが規定されています。このことを知っていますか。（〇は1つ）

「知らない」が48.9%と最も多く、次いで「名前だけは知っている」が30.3%、「内容まで知っている」が19.0%となっている。

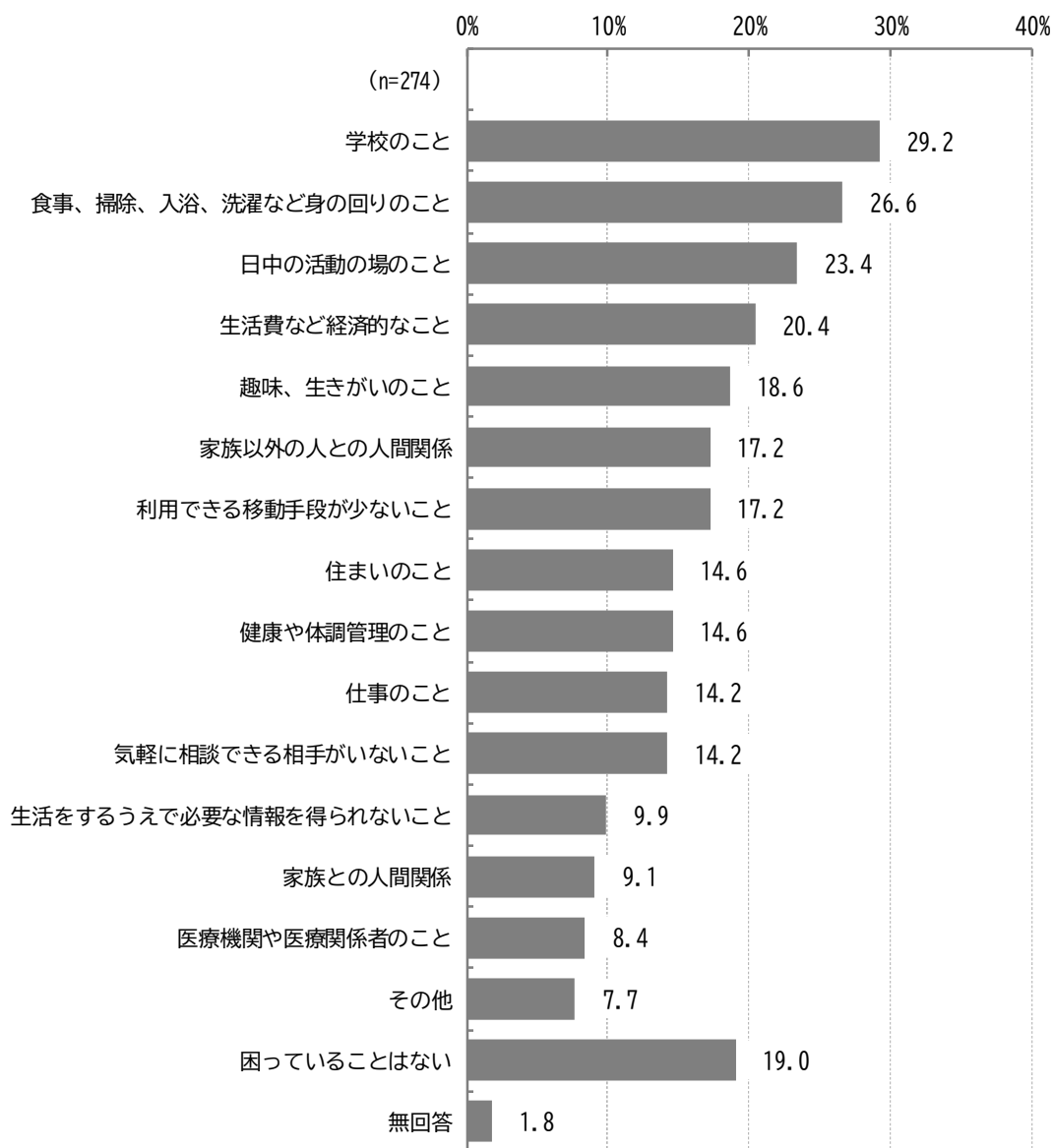
(n=274)



### 13. 行政支援・団体支援について

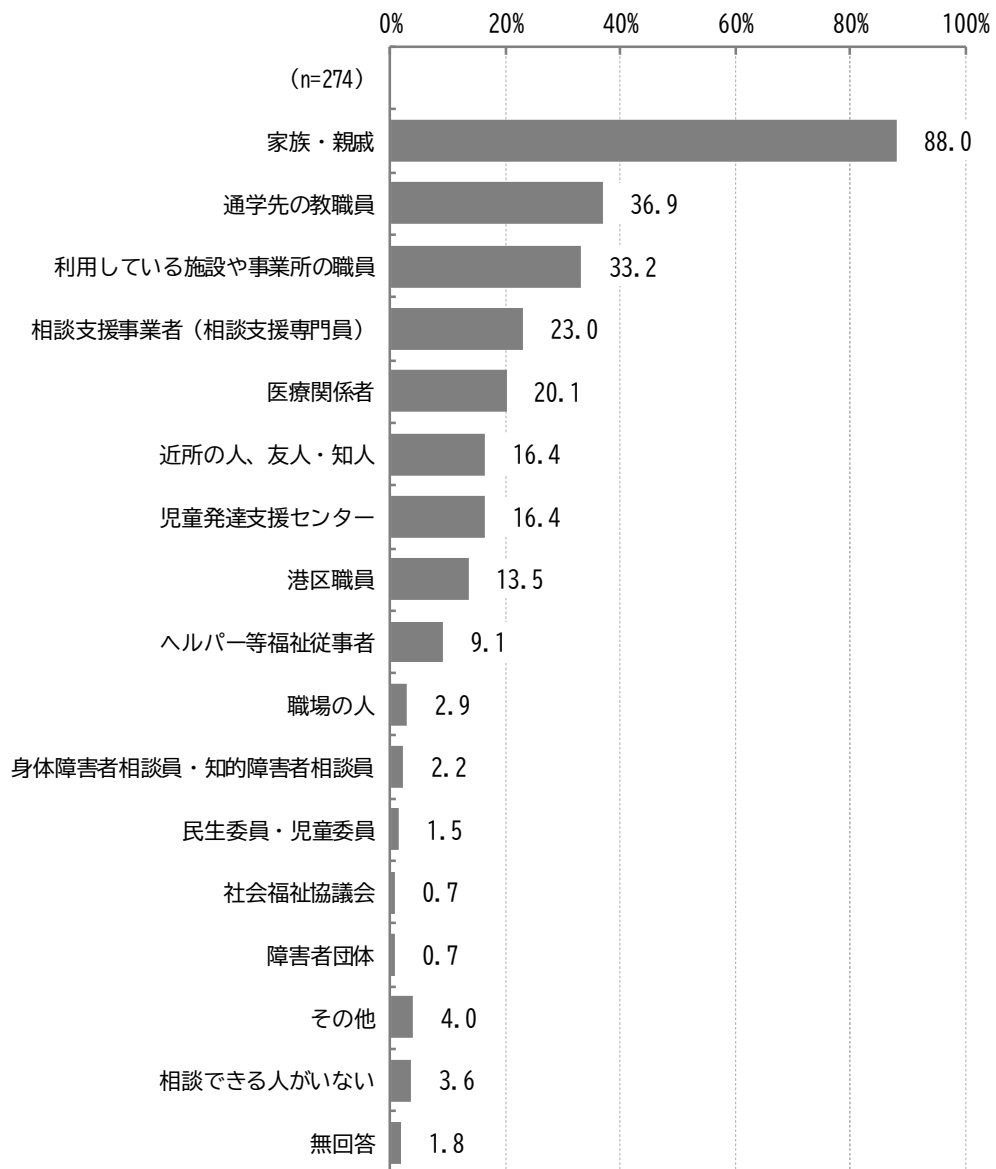
問58 現在、あなた（あて名のご本人）又は家族が生活の中で困っていることは何ですか。  
（〇はいくつでも）

「学校のこと」が29.2%と最も多く、次いで「食事、掃除、入浴、洗濯など身の回りのこと」が26.6%、「日中の活動の場のこと」が23.4%となっている。



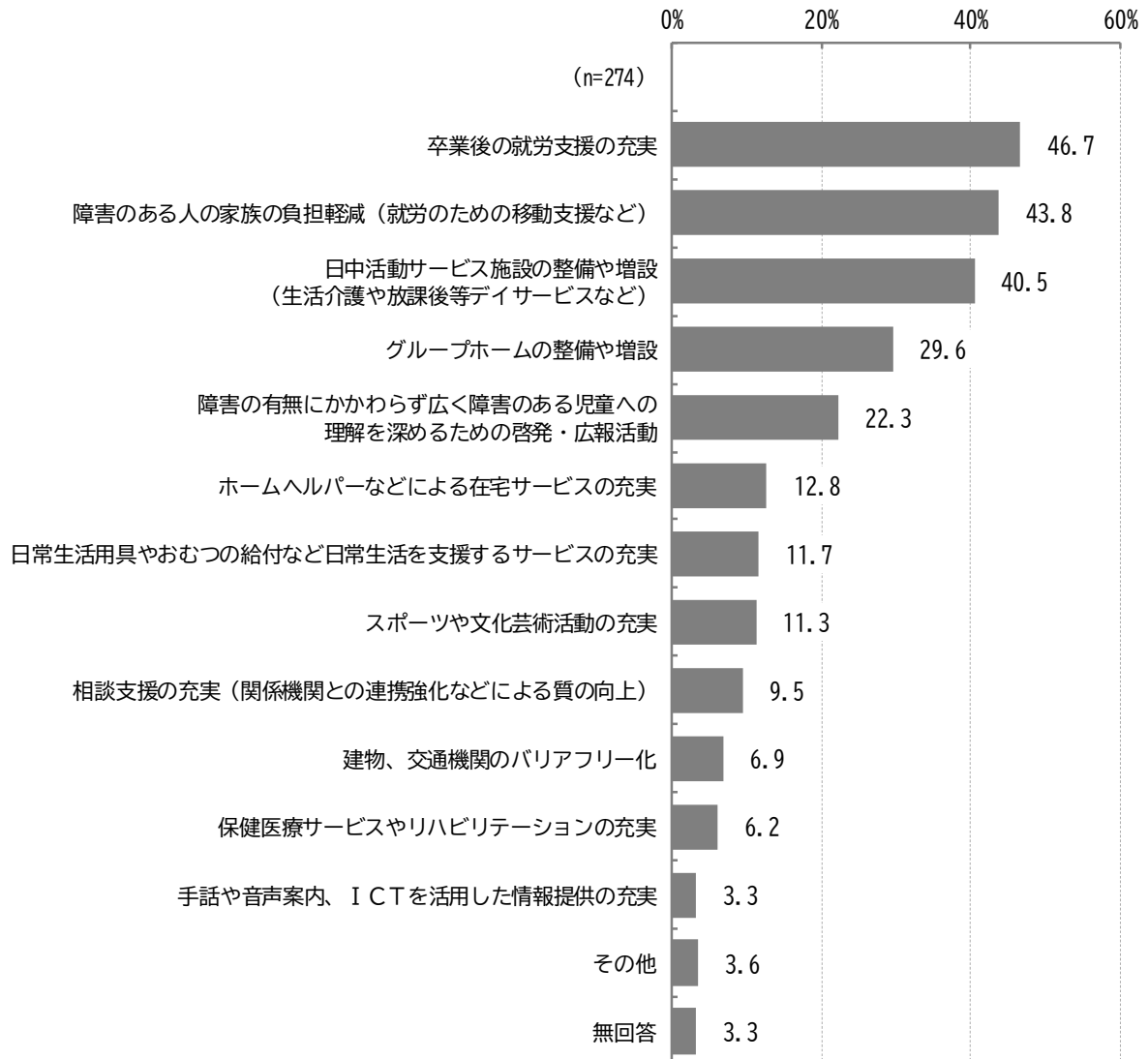
問59 あなた（あて名のご本人）に関することで困ったときの相談先を教えてください。  
（〇はいくつでも）

「家族・親戚」が88.0%と最も多く、次いで「通学先の教職員」が36.9%、「利用している施設や事業所の職員」が33.2%となっている。



問60 障害のある児童に関する区の施策のうち、あなた（あて名のご本人）に関することでもっと力を入れる必要があると思うものを教えてください。（〇は3つまで）

「卒業後の就労支援の充実」が46.7%と最も多く、次いで「障害のある人の家族の負担軽減（就労のための移動支援など）」が43.8%、「日中活動サービス施設の整備や増設（生活介護や放課後等デイサービスなど）」が40.5%となっている。

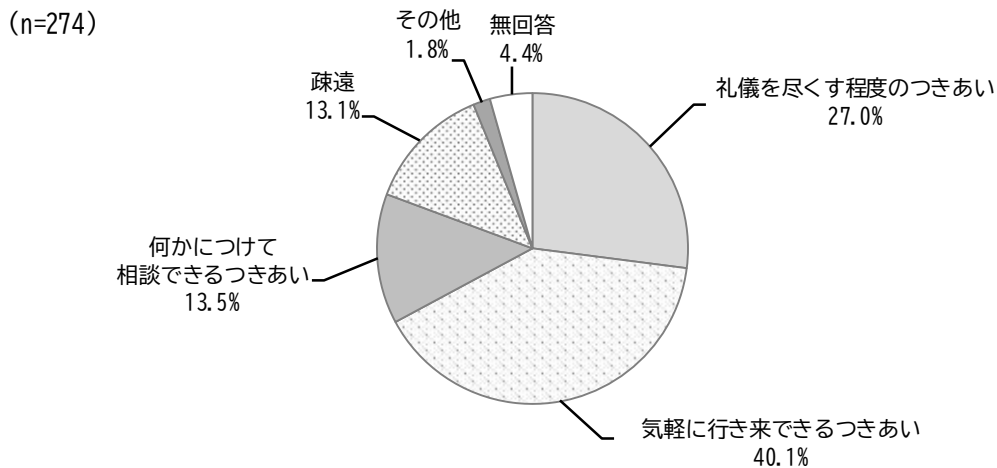


## 14. 地域共生社会について

問61 あなた（あて名のご本人）の人とのつながりについて教えてください。  
（○はそれぞれ1つ）

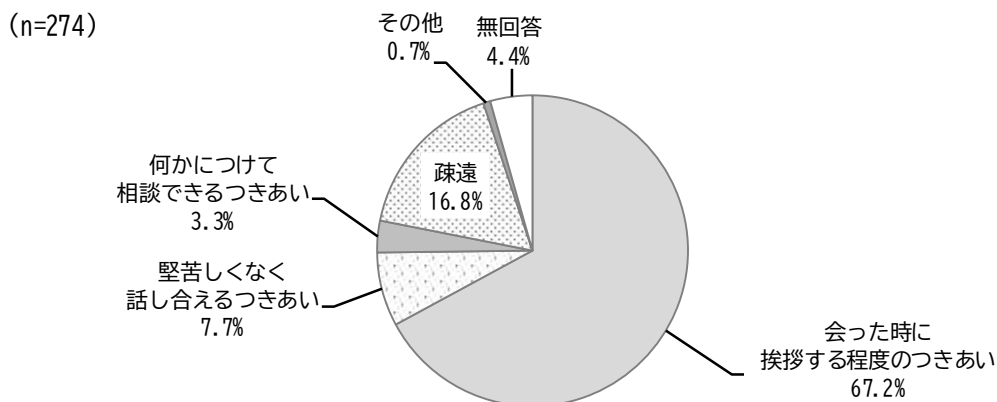
### 【親戚とのつきあいについて】

「気軽に行き来できるつきあい」が40.1%と最も多く、次いで「礼儀を尽くす程度のつきあい」が27.0%、「何かにつけて相談できるつきあい」が13.5%となっている。



### 【隣近所とのつきあいについて】

「会った時に挨拶する程度のつきあい」が67.2%と最も多く、次いで「疎遠」が16.8%、「堅苦しくなく話し合えるつきあい」が7.7%となっている。



問62 あなた（あて名のご本人）の社会参加について、お考えになっていることを自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	社会参加の難しさ(課題) について	24
2	社会参加に対する考えや意向について	16
3	社会参加を進めるための区への提案やお願い	6
4	仕事に関すること	10
5	実際に参加している地域活動や交流について	4
6	その他	1

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

#### 〔1 社会参加の難しさ(課題) について〕

- 生活における幸福感を得られる程度の日常生活での居場所の確保ができること。
- 最近発達障害者が増加しているため、以前のように中・重度の障害者が支援学校卒業後の行き場、B型や生活介護に参加するのが難しくなっているため、非常に不安である。発達障害者と中・重度の障害者を同じ障害者として社会参加をすすめるのには無理があり改善が必要。

#### 〔2 社会参加に対する考えや意向について〕

- 障害のある子供が将来親が死んだ後も自立して社会の中で生きていけるようになってほしい（そのため、就労や住居、生活支援、見守りがあるとありがたい）。
- かかりつけの病院や通っている施設が主催のイベントだと安心して参加しやすいと思う。

#### 〔3 社会参加を進めるための区への提案やお願い〕

- それぞれの障害にあった働く場所を作ることによって、社会参加をさせてほしいです。自分で稼ぐ事も大切だと思います。
- よりスムーズに社会参加を可能とするため、発語や自分から主張する等のコミュニケーション力のトレーニングが必要と考えています。そのため、発語等に関する発達支援事業者が増えると良いと思います。

#### 〔4 仕事に関すること〕

- 就業支援・障害者を雇用している大手企業の人事課との交流の場がほしいです。高校卒業後どのような就労があるのか、情報が少なすぎて就業の幅が非常に狭いです。
- 働きたい、少しでも社会の役に立ちたい。

## 〔5 実際に参加している地域活動や交流について〕

- 学校でボランティアクラブに所属している。
- 学童を利用する事。副籍交流を近隣の小学校とする事。

問63 港区の福祉施策について、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	障害に配慮した案内・設備の充実に関する意見・要望	1
2	安心安全な生活、地域生活、余暇活動、交流に関する意見・要望	11
3	ケアサービスの内容、マネジメントに関する意見・要望	12
4	障害への理解・配慮に関する意見・要望	9
5	住宅に関する意見・要望	8
6	情報提供・相談・窓口対応に関する意見・要望	9
7	公共交通機関・移動支援に関する意見・要望	11
8	行政・制度に関する意見・要望	3
9	障害等級の認定や補助に関する意見・要望	1
10	通園・通学・通所について	14
11	その他	3

ご記入いただいた意見のうち、一部を抜粋して記載しています。  
なお、記載に当たって文言等を修正している場合があります。

### 〔1 障害に配慮した案内・設備の充実に関する意見・要望〕

- 障害児への取り組みが素晴らしく、全国 No.1 だと思っています。児童発達支援センターが、もう1校あっても良いと思います。

### 〔2 安心安全な生活、地域生活、余暇活動、交流に関する意見・要望〕

- いつも区民の声に耳を傾けていただき、感謝しています。さまざまな福祉施策の進歩や改善も感じられ、ありがたいです。今後の医療の発達や高齢社会で、家族が介護や看護しながら、働き続けられる環境支援が整っていったら良いと思います。また核家族化、発達障害の増加などで、潜在的に支援が必要な子供もいると思うので、学校と行政が連携し、適切なサポートを行ってほしいです。
- 就学時はいろいろとサービスも利用できていますが、卒業後の社会との関わりの場や、充実した居場所が少ないと思います。生きがいを見つけられる環境がもっとあればいいなと思います。

### 〔3 ケアサービスの内容、マネジメントに関する意見・要望〕

- 生活の基本的なニーズに全体的にとっても役立っています。娘の成長に合わせて、もっと日数を増やしたり、在宅サポートを受けられるようにしてほしいです。
- 療育への通所日数が他区のように限られていなかったり、難病指定をとらなくても医療証で医療費を支払えたりと手間や金銭面でとても助かっている。ただ本人への支援はあるが、兄弟、特に未就学児が複数いる場合などは持ち出しがとて多く、負担が大きい。療育は兄弟児が施設内に入ることはできないことがほとんどだが、その間、兄弟を預けたり、送り迎えを他の人に頼んだりと金銭面だけでなく、様々な調整においてもとても大変だ。障害児のみだけでなく、家族への支援をいただけるととても有り難く思う。

### 〔4 障害への理解・配慮に関する意見・要望〕

- 区で障害のある人を沢山採用して働く場を作ってほしいです。子供の時より大人になった障害のある子を育てるのは大変です。また、区にある企業に採用を促してほしいです。
- 当事者とダイレクトに話し合う機会を設けていただき、且つ、問題解決に取り組んでいただける姿勢が感じられるのでありがたいです。

### 〔5 住宅に関する意見・要望〕

- 何年も前から高校卒業後の居場所やグループホーム、入居施設の整備が進んでいません。場所の提供や増設することが一番の解決策だと周知の事実です。障害のある者もその家族も安心して住める港区になってほしいです。
- 障害者入所施設がほとんど無い。グループホームは医療ケア（例えばインスリン注射）が必要になった際、退所しなければならない。親亡き後にも安心して暮らせるような入所施設の増設を強く希望します。
- 柔軟に意見を取り入れようとしながら少しずつ色々な施策をしてくださり感謝しています。ただ、小学生以下の重症心身障害児、医療的ケア児が今後はもっと増えていくと思いますので、その子たちの18歳以降の生活や居場所について不自由なく利用できる場所やサービスが増えると助かります。親なき後の将来の住まいについては、世田谷等にあるシェアハウスのような施設が港区にもできてほしいと願っています。

### 〔6 情報提供・相談・窓口対応に関する意見・要望〕

- 現在未就学児だが児童発達支援センターをはじめ、支援は充実していると感じる。就学後や卒業後の支援についてはあまり想定ができていない事もあるが、先が見えないことに不安を感じるので、情報提供を積極的にしてくれるとありがたい。
- 使用できる支援などが相談できる窓口の一元化をのぞみます。もしくは紹介して引き継いで欲しい。

## 〔7 公共交通機関・移動支援に関する意見・要望〕

- 放課後デイサービスが少ないしなかなか入所できないため、自宅から遠い所に通っています。送迎があると思っていましたが、支援学級の子は送迎はなくなったと言われて、自転車で迎えに行っています。大きくなってくると自転車も難しくなります。放課後デイサービスのいろいろな所で送迎が復活してくれると嬉しいです。
- まず港区スクールカーのおかげで学校へ登校できております。ありがとうございます。療育に関しましては北療育へ通っていますがタクシー片道 7000 円かかります。本来であれば週 1 回通うのが好ましいと言われてはいますが、費用の面から月 1 回が限界です。タクシーチケットの金額を上げてほしいです。
- 障害児に対する施策として、放課後等デイサービスや移動支援の拡充、重度の障害児が安心して過ごせる日中活動の場の拡充(特性に理解のある職員がいる場所かつ定員が大きいところ)をお願いしたいです。それにより親の就労を確保して、家族の生活を守り、金銭的・精神的余裕をもたらすことが、虐待、抑うつなどの予防になると思います。
- 頑張っていると思っていますが、縦割り行政を不備をフォローする部署でも作ってほしい。例えば、福祉と教育で予算が違うので、一番近い、国立の筑波視覚支援盲学校(護国寺)へ仮に進学を希望すると、スクールカーの利用ができるかわからないと言われる。結局、全く利用できないリスクはとれないため、都立の盲学校(家から 1 時間強)を選択しようという消去法になる。仮に、筑波の盲学校へ進学を決めた場合、同行援護を利用してくださいと言われる可能性があるが、その場合、援護者を毎日確保できないので、毎日の通学は難しくなる。これって、自分がそのような状況になったら困りますよね？

## 〔8 行政・制度に関する意見・要望〕

- 障害児がいても共働きで定年まで働けるように施策を検討して欲しい。
- 福祉施策に限らず、公的なサービスは平日 9 時から 17 時以外の時間帯や土日にも対応していただけるようにお願いできますと助かります。

## 〔9 障害等級の認定や補助に関する意見・要望〕

- お金が普通よりかかってしょうがないのに、軽度だから殆ど補助がない。障害児専門の小児科、耳鼻科、眼科、美容院は需要があると思う、障害歯科は他区にあり、いつも混んでいて皆遠くから通っている。「障害者 OK ですよ」ではなく、「専用」というのが本当に大切。港区だからこそやってほしい。

## 〔10 通園・通学・通所について〕

- 高等支援学校卒業後に入所できる、通所できる施設の不足に至急対処していただきたい。学校を卒業後も規則正しい生活を続け、社会参加をすすめていくには、そのような場所の確保が最優先である。子育て支援の充実だけでなく、障害者の生涯をとおしての福祉施策に取り組んでいただきたい。

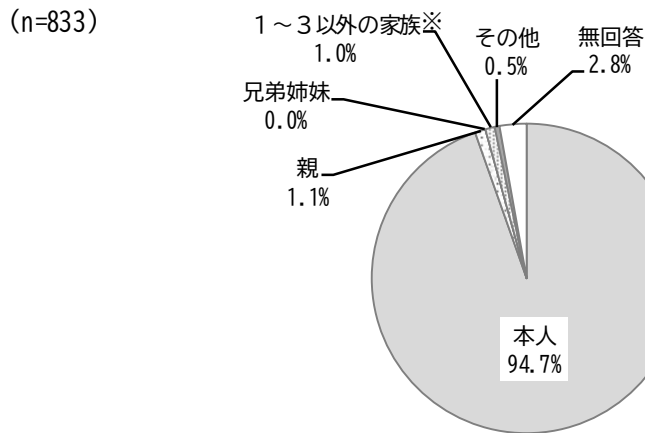
- 港区は、他の自治体と比べると対応が進んでいて、助かってます。ただ欲を言えば、教育に対して、もう少し柔軟な対応が出来ると、痒いところにも手が届きそうです。
- 要望に対応してくださっていると思います。港区の公立小の支援級が足りてないイメージがあります。もう少しクラスを増やしたり、利用出来る子が増えると良いと思います。
- 高校卒業後も放課後等デイサービスと同じようなサービスが受けられるような大人のデイサービスがほしい。
- 卒業後の進路の選択肢が非常に少ない。身体的には不自由だが、知的に不自由でない場合の進路が、生活介護のみだということは非常に物足りない。もう少し進路先のバリエーションが増えるようにしていただきたい。例えば、B型事業所と生活介護を併設し、必要に応じて行き来できるようにするなど、もう少し1人1人の能力に向き合って欲しい。

## 5 難病患者を対象とした調査の集計結果

### 1. 調査票の回答者について

問1 本調査の質問にご回答いただいたのはどなたですか。(○は1つ)

「本人」が94.7%と最も多く、次いで「親」が1.1%、「1～3以外の家族」が1.0%となっている。

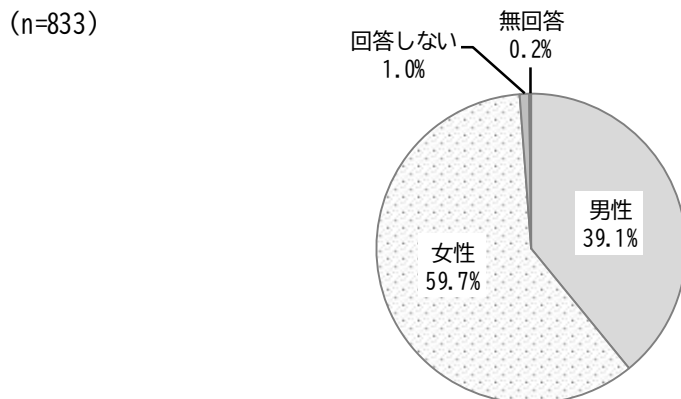


※「本人」、「親」、「兄弟姉妹」を除く家族

### 2. あて名のご本人について

問2 あて名のご本人の性別を教えてください。(○は1つ)

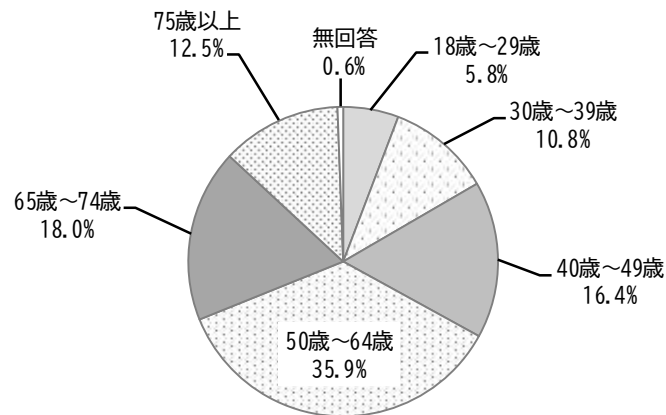
「女性」が59.7%、「男性」が39.1%、「回答しない」が1.0%となっている。



問3 あて名のご本人の年齢を教えてください。(○は1つ)

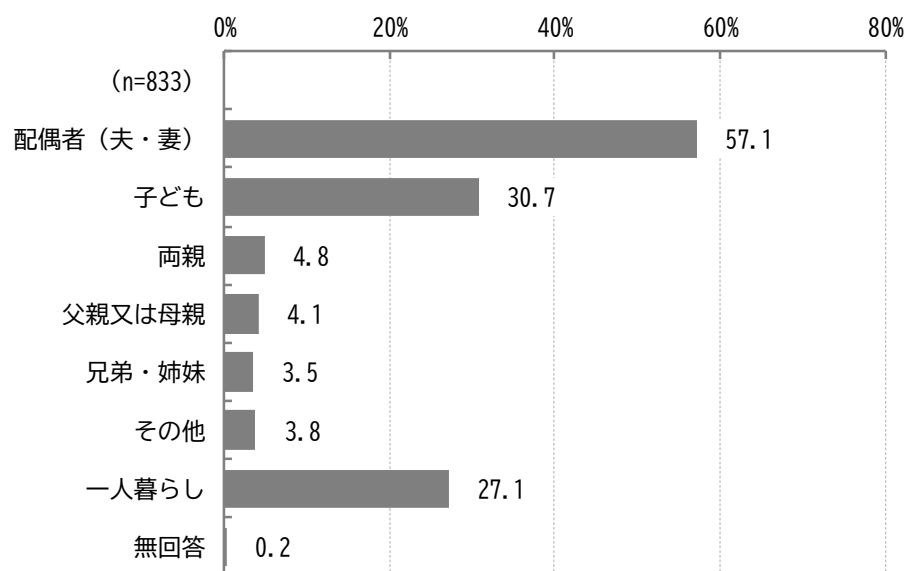
「50歳～64歳」が35.9%と最も多く、次いで「65歳～74歳」が18.0%、「40歳～49歳」が16.4%となっている。

(n=833)



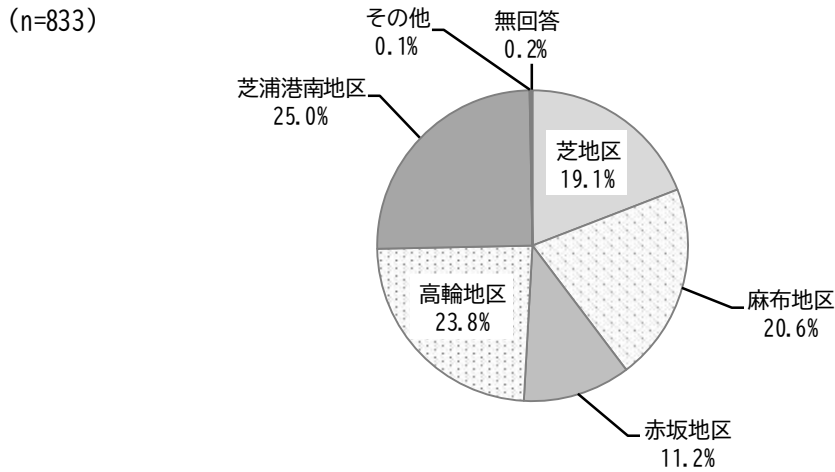
問4 あて名のご本人は現在、どなたと同居しているか教えてください。(○はいくつでも)

「配偶者(夫・妻)」が57.1%と最も多く、次いで「子ども」が30.7%、「一人暮らし」が27.1%となっている。



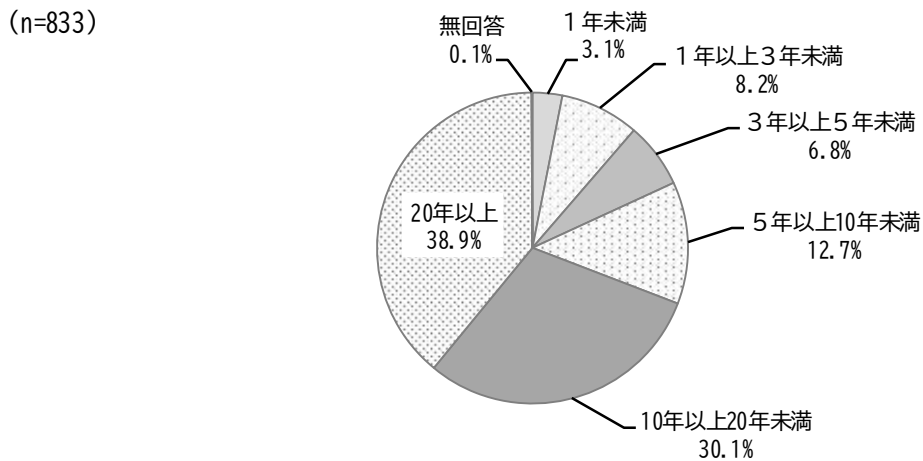
問5 あて名のご本人がお住まいの地区を教えてください。(○は1つ)

「芝浦港南地区」が25.0%と最も多く、次いで「高輪地区」が23.8%、「麻布地区」が20.6%となっている。



問6 あて名のご本人の港区での居住年数を教えてください。(○は1つ)

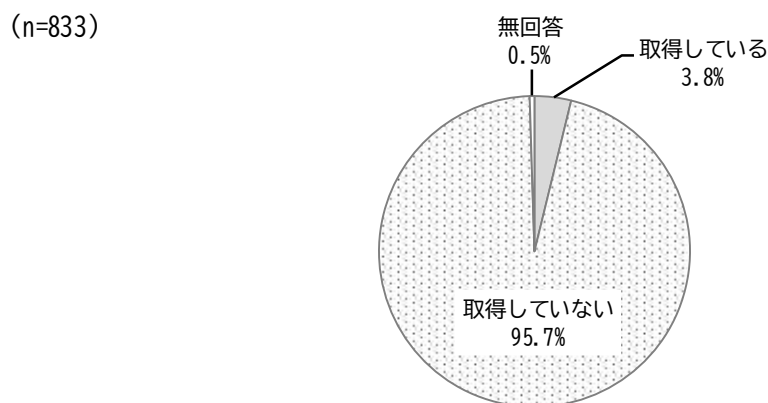
「20年以上」が38.9%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が30.1%、「5年以上10年未満」が12.7%となっている。



### 3. 通院等の状況について

問7 難病の状態により、身体障害者手帳を取得することができる場合があります。  
あなた（あて名のご本人）は身体障害者手帳を取得していますか。（○は1つ）

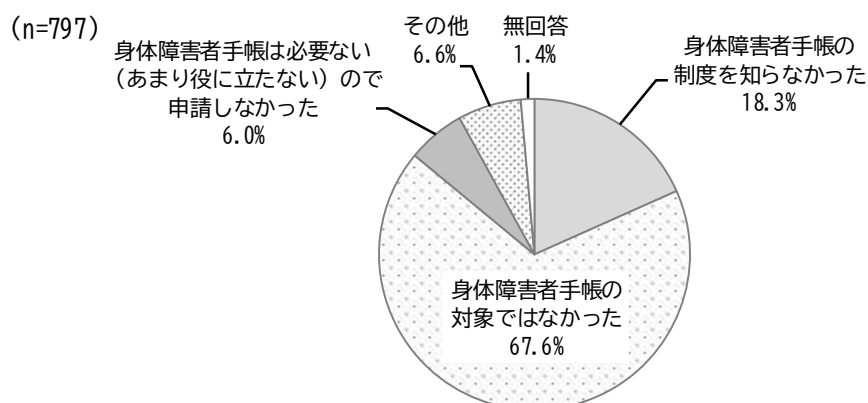
「取得していない」が95.7%、「取得している」が3.8%となっている。



※問8は、問7で「取得していない」を選択した人のみ回答

問8 あなた（あて名のご本人）が身体障害者手帳を取得していない理由を教えてください。  
（○は1つ）

「身体障害者手帳の対象ではなかった」が67.6%と最も多く、次いで「身体障害者手帳の制度を知らなかった」が18.3%、「その他」が6.6%となっている。

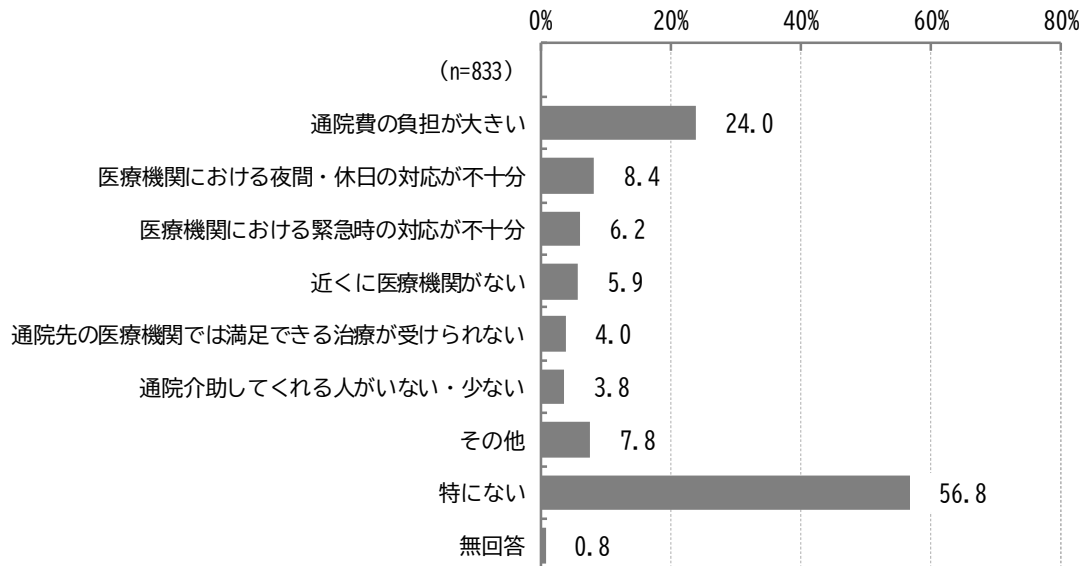


#### 【主なその他の内容】

内容	件数
対象ではない、又は対象かわからないため	35
不要であるため	3
その他	12

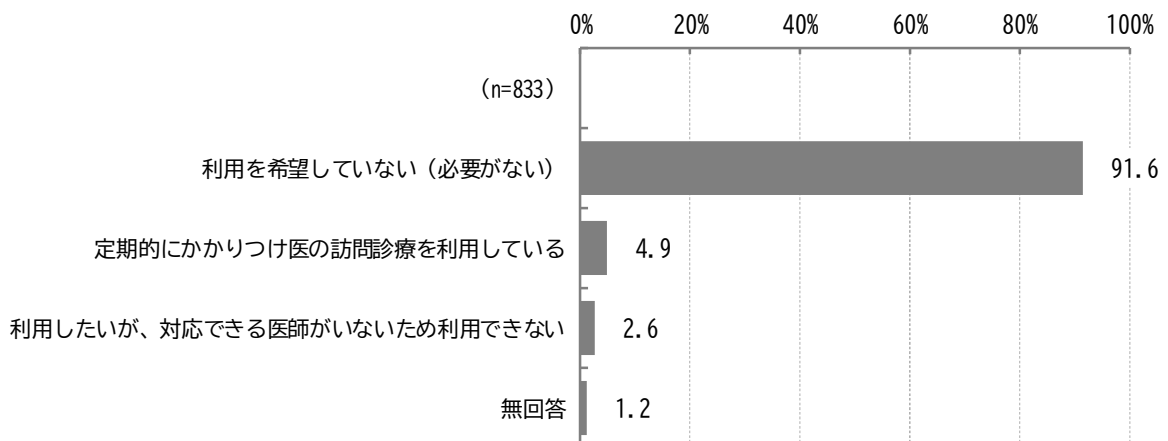
問9 あなた（あて名のご本人）が通院する上での課題や不安に感じることはありますか。  
（〇はいくつでも）

「特にない」が56.8%と最も多く、次いで「通院費の負担が大きい」が24.0%、「医療機関における夜間・休日の対応が不十分」が8.4%となっている。



問10 医師が直接訪問して患者を診療する「訪問診療」の利用状況について教えてください。  
（〇はいくつでも）

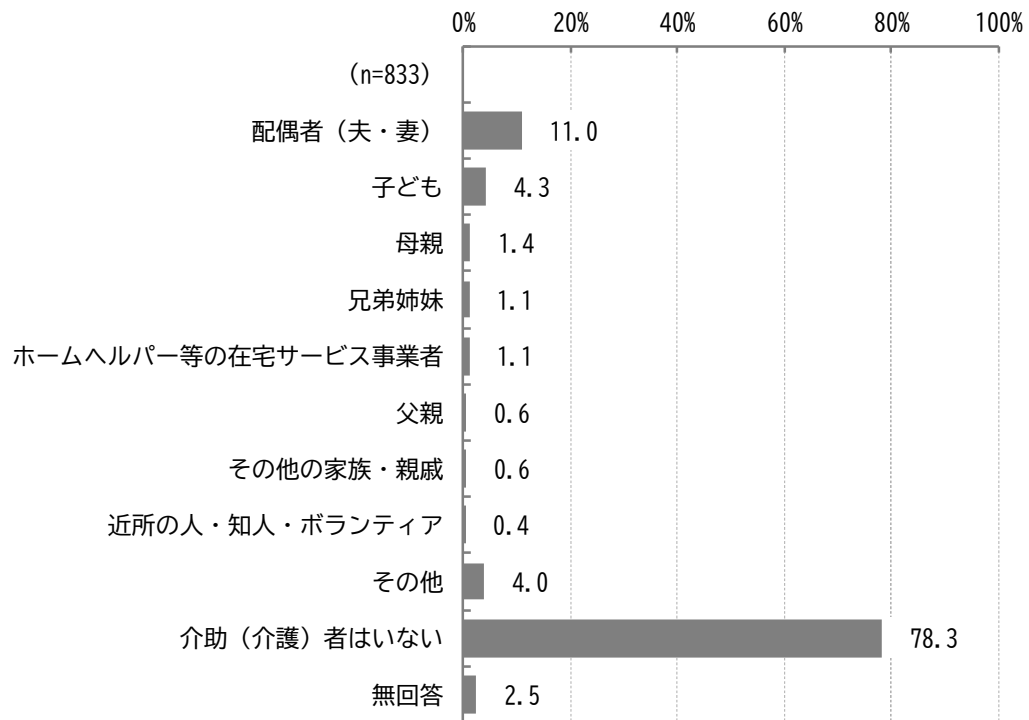
「利用を希望していない（必要がない）」が91.6%と最も多く、次いで「定期的にかかりつけ医の訪問診療を利用している」が4.9%、「利用したいが、対応できる医師がいないため利用できない」が2.6%となっている。



## 4. 生活状況等について

問11 あなた（あて名のご本人）には現在、日常生活における介助（介護）者はいいますか。  
（〇はいくつでも）

「介助（介護）者はいない」が78.3%と最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が11.0%、「子ども」が4.3%となっている。

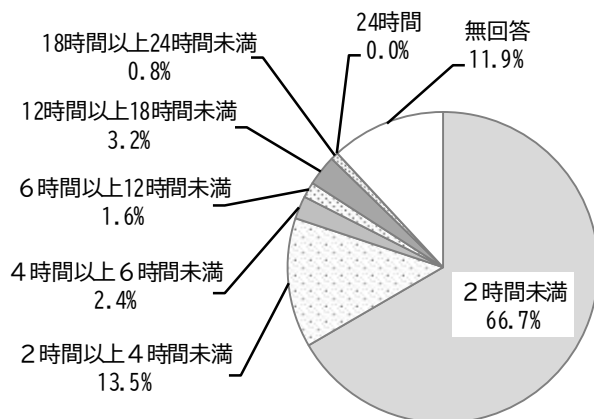


※問12と問13は、問11で選択肢「1. 母親」～「6. その他の家族・親戚」のいずれかを選択した人のみ回答

問12 家族又は親戚が介助（介護）している時間は1日平均どのくらいですか。複数の家族・親戚が関わっている場合は、合計した時間で教えてください。（○は1つ）

「2時間未満」が66.7%と最も多く、次いで「2時間以上4時間未満」が13.5%、「12時間以上18時間未満」が3.2%となっている。

(n=126)



問13 家族又は親戚が介助（介護）している内容を教えてください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	家事全般(食事、掃除、買い物等)	28
2	通院や外出時の介助	13
3	医療的ケア	5
4	入浴や排せつ等の介助・身の回りの世話	5
5	その他	2

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

〔1 家事全般(食事、掃除、買い物等)〕

- 日常の買い物、外出時の送迎。
- 食事などの買い物、洗濯。

〔2 通院や外出時の介助〕

- 重たい荷物を持ってくれ、家事の負担を軽くして貰っている。通院時の送迎。
- 通院、外出時などの付き添い。

〔3 医療的ケア〕

- 注腸の助け。

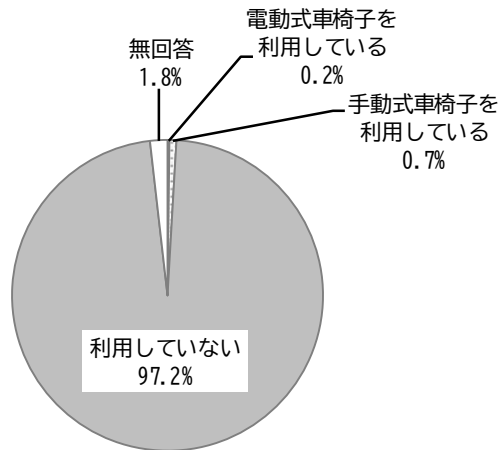
〔4 入浴や排せつ等の介助・身の回りの世話〕

- 姉が食事から身の周りの世話をしている。母が寝ている近くで私が寝て母が車椅子でトイレに行く時に私がサポートしています。母は週3日デイサービス、また理学療法士の方のアドバイスを受けて転倒しないための工夫をしています

問14 あなた（あて名のご本人）は、日常生活の中で車椅子を利用していますか。（○は1つ）  
※電動式と手動式の双方を利用している場合は、1日の利用時間数が多い方をご回答ください。

「利用していない」が97.2%と最も多く、次いで「手動式車椅子を利用している」が0.7%、「電動式車椅子を利用している」が0.2%となっている。

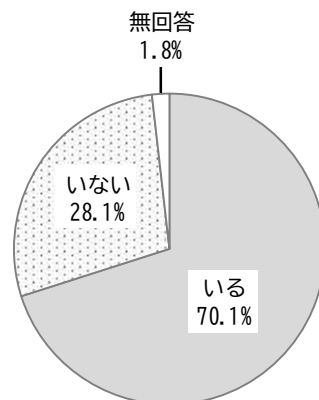
(n=833)



問15 あなた（あて名のご本人）には、あなた自身やあなたの家族の健康相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）はいますか。（○は1つ）

「いる」が70.1%、「いない」が28.1%となっている。

(n=833)

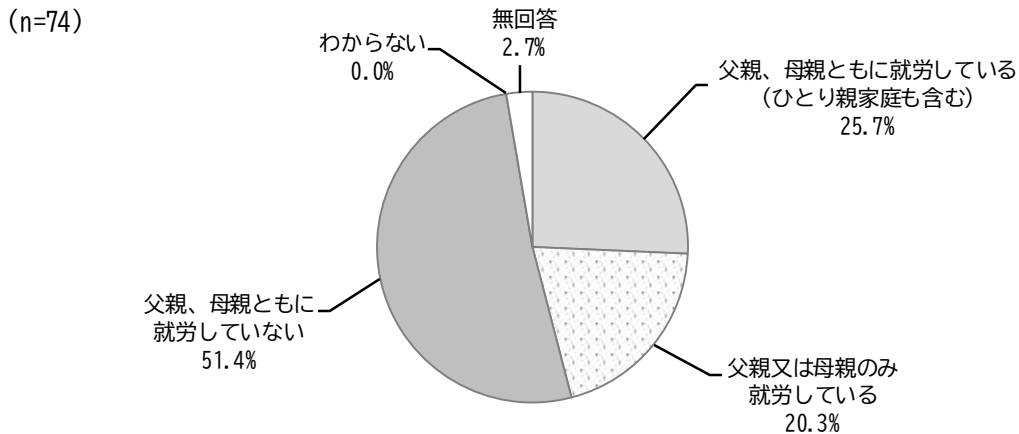


## 5. 親の就労状況等について

※問 16～18 は、同居している親がいる人のみ回答

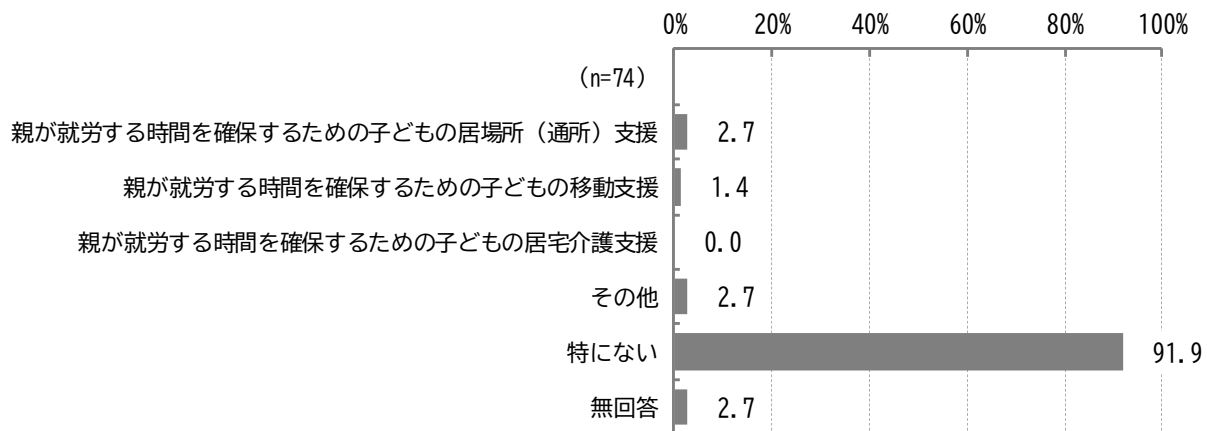
問16 あなた（あて名のご本人）の親の就労状況を教えてください。（○は1つ）

「父親、母親ともに就労していない」が51.4%と最も多く、次いで「父親、母親ともに就労している（ひとり親家庭も含む）」が25.7%、「父親又は母親のみ就労している」が20.3%となっている。



問17 あなた（あて名のご本人）の親が就労するにあたり、必要な支援を教えてください。（○はいくつでも）

「特にない」が91.9%と最も多く、次いで「親が就労する時間を確保するための子どもの居場所（通所）支援」と「その他」が2.7%となっている。



問18 あなた（あて名のご本人）の親が就労するにあたり、困りごとや必要なサービスについて、自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	就労ではなく介護について困っている・将来への不安	1
2	その他	1

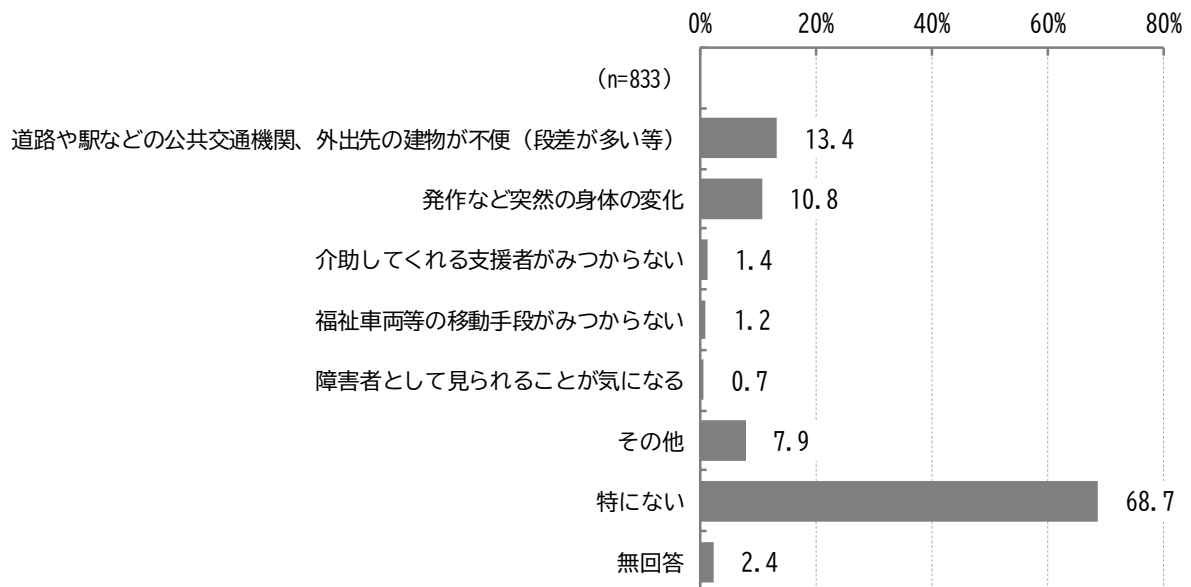
#### 〔1 就労ではなく介護について困っている・将来への不安〕

○同居の義母は93歳で働けない。

## 6. 外出の機会や日中の活動について

問19 あなた（あて名のご本人）が外出する時に困ることを教えてください。（○はいくつでも）

「特にない」が68.7%と最も多く、次いで「道路や駅などの公共交通機関、外出先の建物が不便（段差が多い等）」が13.4%、「発作など突然の身体の変化」が10.8%となっている。



問20 あなた（あて名のご本人）が安心した日常生活をおくるために充実してほしい日常生活用具（入浴補助用具、紙おむつ、ストーマ装具などの日常生活を円滑に過ごすため必要な用具）がありましたら自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	紙おむつや・尿パッド等	21
2	タクシー等の外出支援等	5
3	ストーマ装具等	2
4	杖	8
5	エレベーターや手すり、ベンチ等	7
6	入浴補助用具	4
7	車椅子	1
8	その他	24

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

#### 〔1 紙おむつや・尿パッド等〕

- 尿漏れ用下着。
- トイレットペーパー、ティッシュ、紙おむつ、下着、消毒・清掃用具等です。

#### 〔2 タクシー等の外出支援等〕

- ちいバスの券を頂き、とても助かっています。ありがとうございます。
- 一時的に車を停めて緊急でトイレ等を使用したい時に停めても良いステッカー等（駐禁の違反にならない様に）車での外出がいつもトイレの事を考えているので不安です。

#### 〔3 ストーマ装具等〕

- 発症時は急に便意が起こるので、公共の場所のトイレが多いと助かる。
- 大腸を全摘したので以前ストーマをした事があった(今は閉鎖) 月々のコストが高かった。3～4日で交換するが、その間でも日中や就寝中の予期しない漏れがあり、逆にしっかり粘着するほど皮膚の部分の荒れ、かゆみがひどく悩まされるといった苦勞があり、改善されると良いと思う。

#### 〔4 杖〕

- 折り畳み式杖
- 室内を移動するときに支えになるようなものがあればいいと思います。

**〔5 エレベーターや手すり、ベンチ等〕**

- 入浴する時、バスタブから出る為の手すりをつけてほしい。
- 駅の乗り換え時のエスカレーターやエレベーターの充実。

**〔6 入浴補助用具〕**

- 入浴補助用具(いす)。

**〔7 車椅子〕**

- 近い将来必要となる貸車いす。

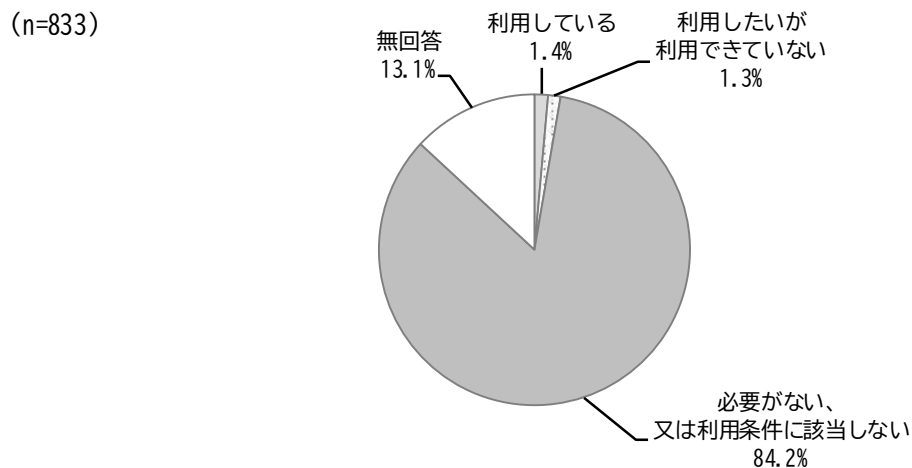
問21 現在の障害福祉サービス等の利用状況を教えてください。

①～⑨それぞれについて当てはまる番号をお答えください。(○は1つ)

※「利用したいが利用できていない」を選択した場合、その理由を理由一覧から当てはまる番号をお答えください。

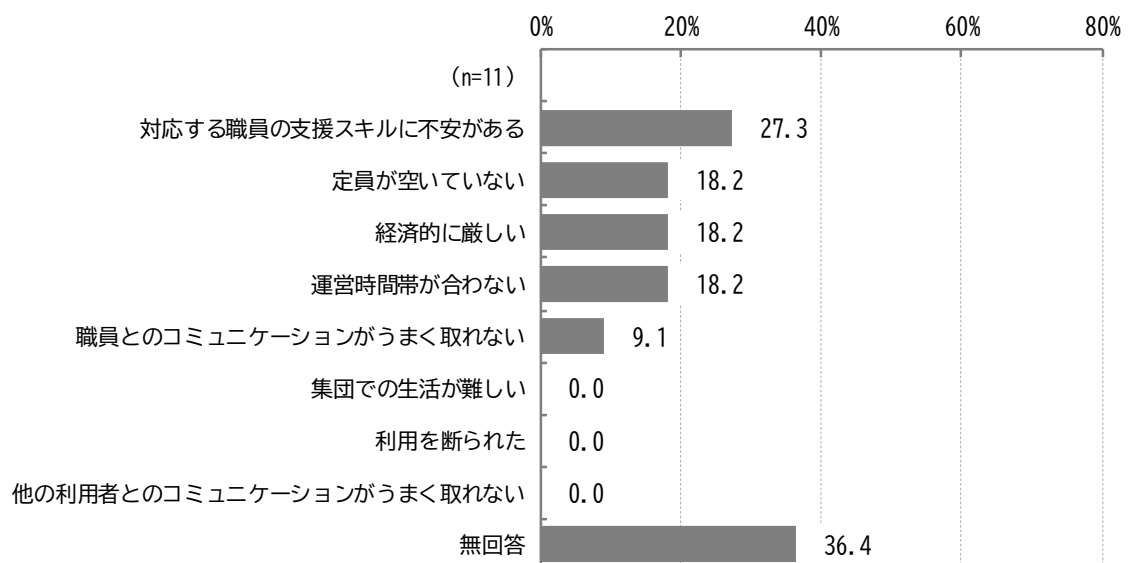
### 【① 生活介護：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 84.2%と最も多く、次いで「利用している」が 1.4%、「利用したいが利用できていない」が 1.3%となっている。



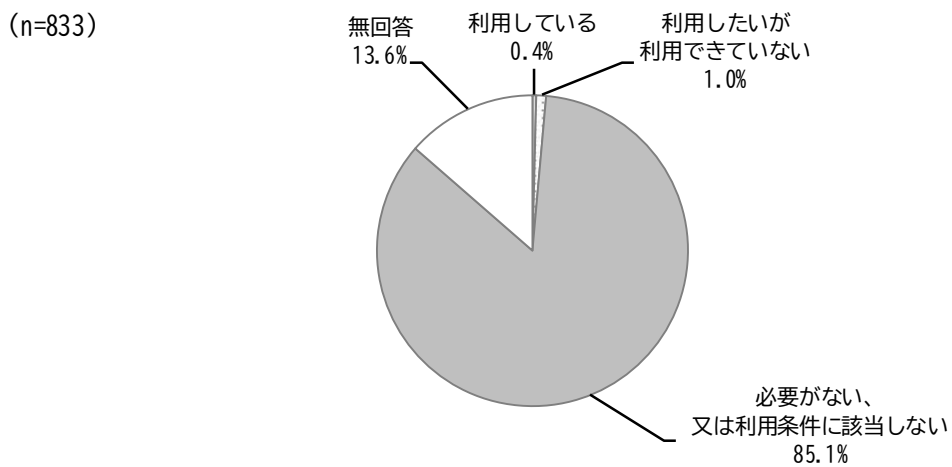
### 【① 生活介護：利用できていない理由】

「対応する職員の支援スキルに不安がある」が 27.3%と最も多く、次いで「定員が空いていない」、「経済的に厳しい」、「運営時間帯が合わない」が 18.2%となっている。



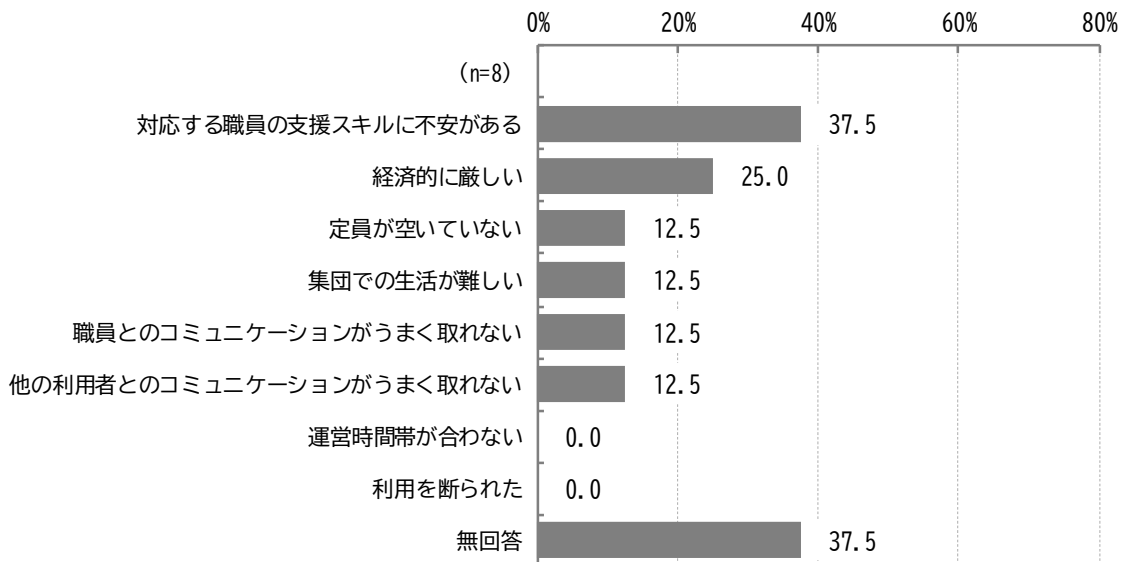
## 【② 短期入所：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が85.1%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.0%、「利用している」が0.4%となっている。



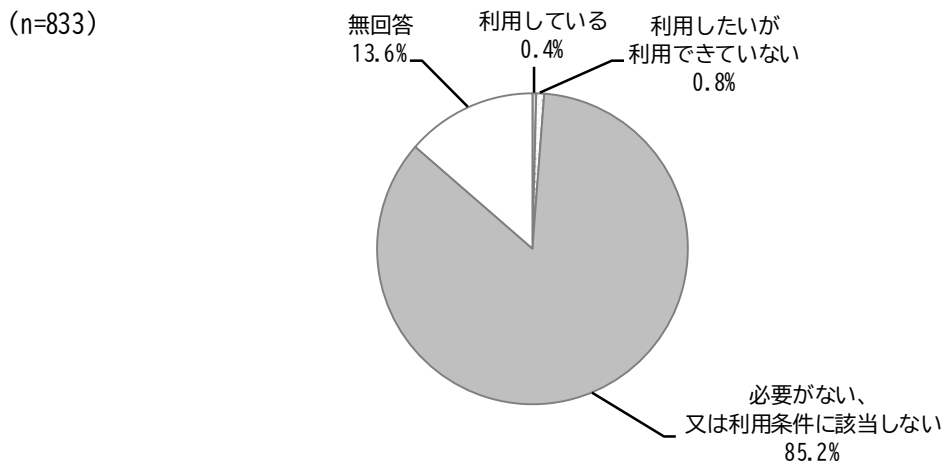
## 【② 短期入所：利用できていない理由】

「対応する職員の支援スキルに不安がある」が37.5%と最も多く、次いで「経済的に厳しい」が25.0%、「定員が空いていない」、「集団での生活が難しい」、「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」、「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が12.5%となっている。



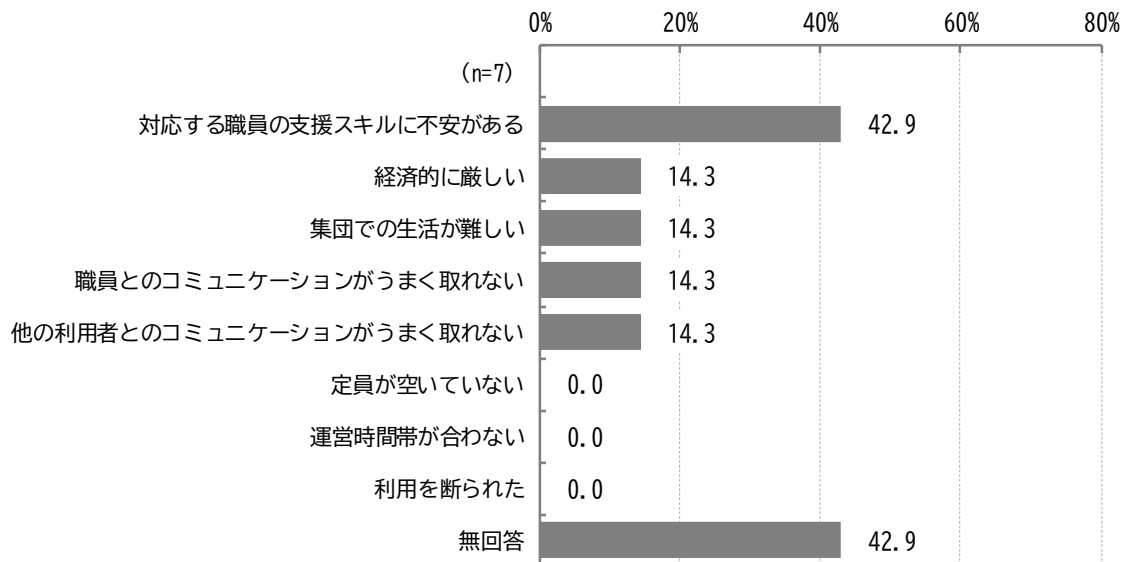
### 【③ 共同生活援助（グループホーム）：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が85.2%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が0.8%、「利用している」が0.4%となっている。



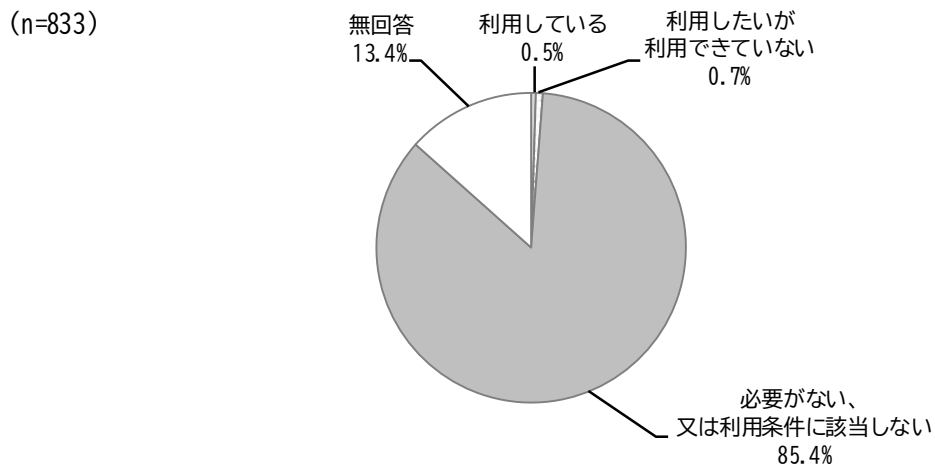
### 【③ 共同生活援助（グループホーム）：利用できていない理由】

「対応する職員の支援スキルに不安がある」が42.9%と最も多く、次いで「経済的に厳しい」、「集団での生活が難しい」、「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」、「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が14.3%となっている。



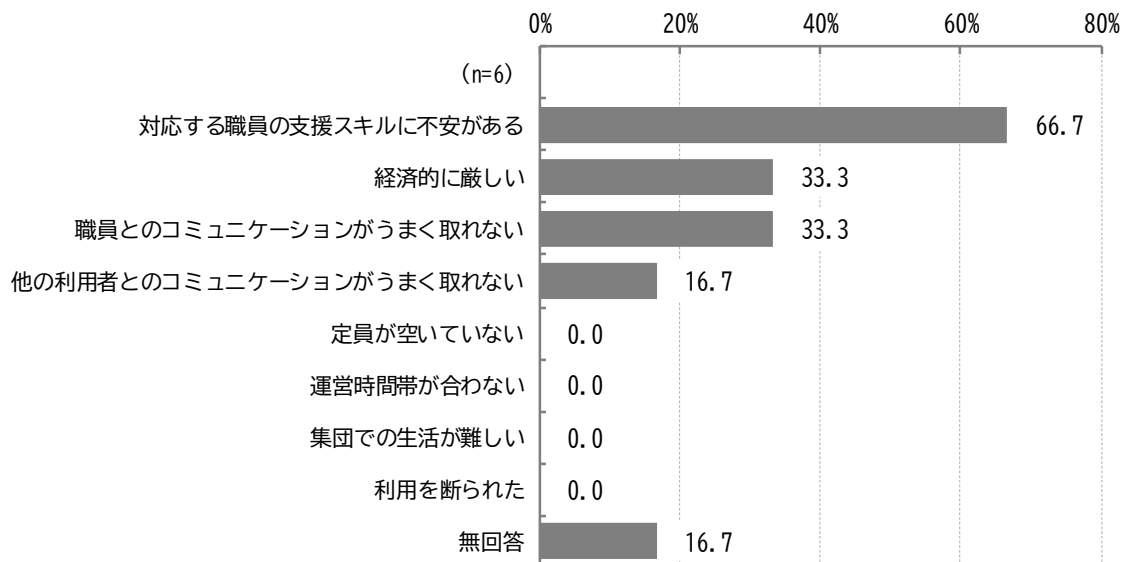
#### 【④ 施設入所支援（入所施設）：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が85.4%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が0.7%、「利用している」が0.5%となっている。



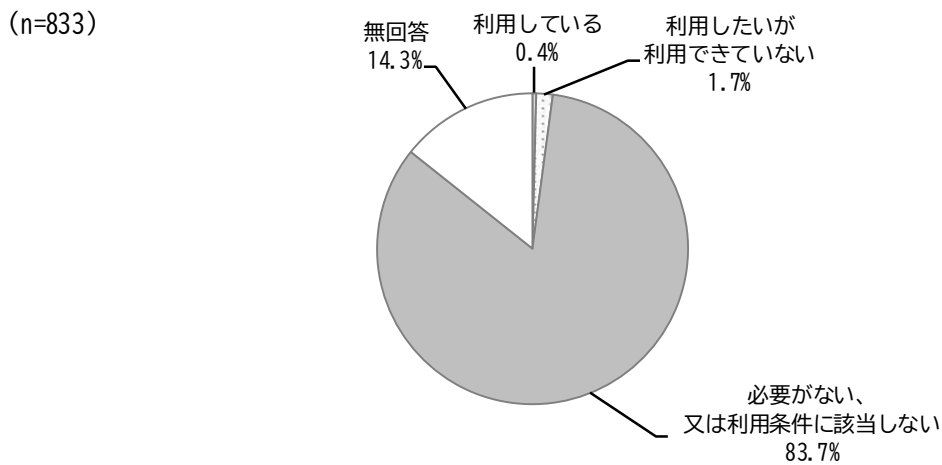
#### 【④ 施設入所支援（入所施設）：利用できていない理由】

「対応する職員の支援スキルに不安がある」が66.7%と最も多く、次いで「経済的に厳しい」と「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が33.3%となっている。



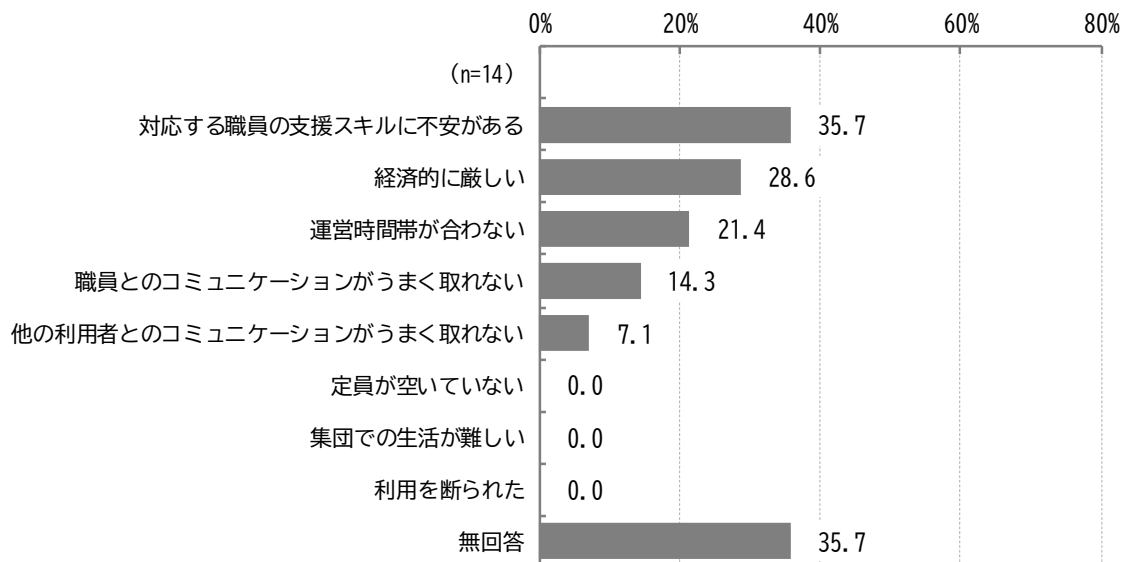
### 【⑤ 就労移行支援：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が83.7%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.7%、「利用している」が0.4%となっている。



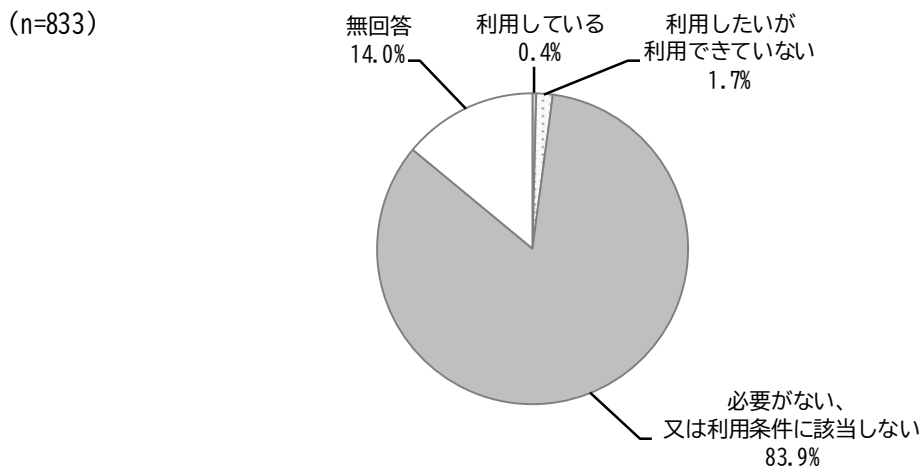
### 【⑤ 就労移行支援：利用できていない理由】

「対応する職員の支援スキルに不安がある」が35.7%と最も多く、次いで「経済的に厳しい」が28.6%、「運営時間帯が合わない」が21.4%となっている。



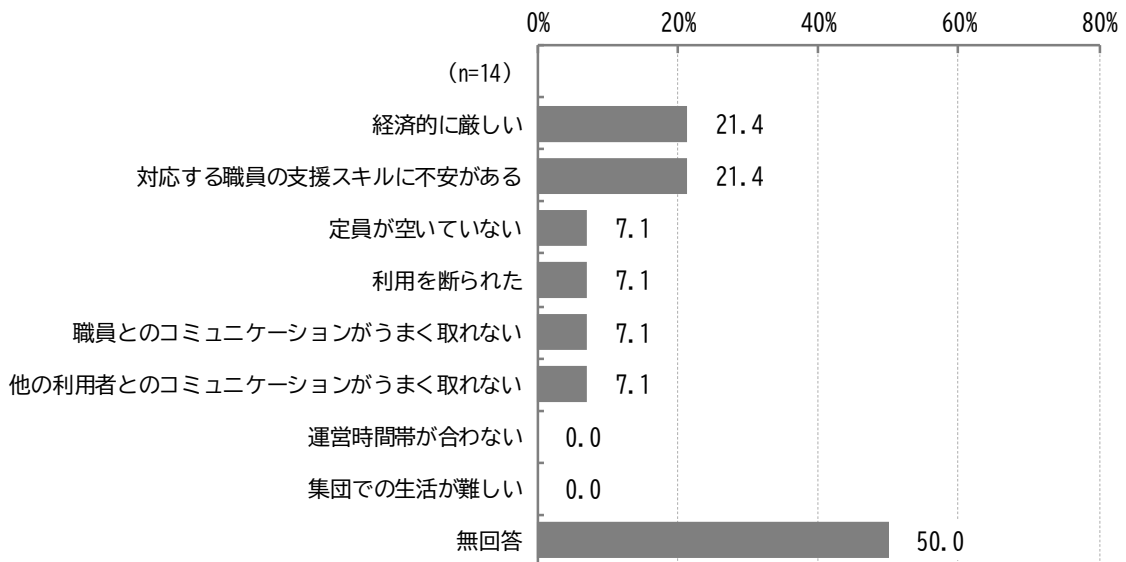
### 【⑥ 就労継続支援A型：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が83.9%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.7%、「利用している」が0.4%となっている。



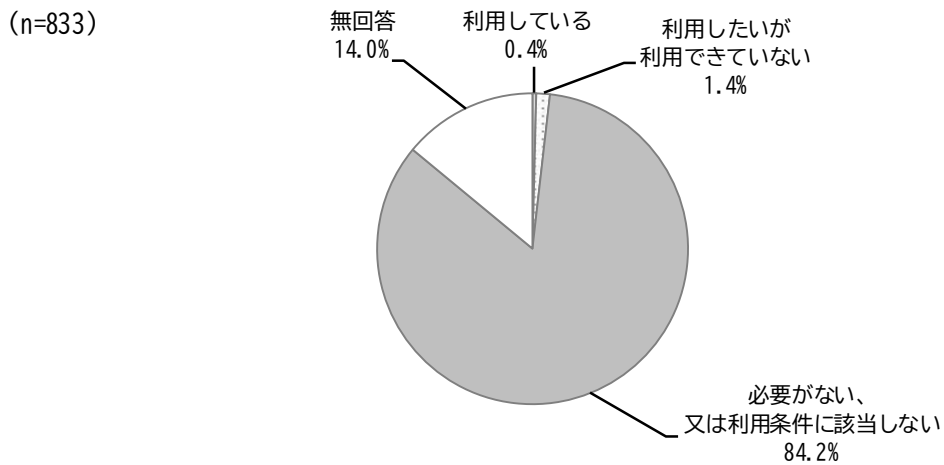
### 【⑥ 就労継続支援A型：利用できていない理由】

「経済的に厳しい」と「対応する職員の支援スキルに不安がある」が21.4%と最も多く、次いで「定員が空いていない」、「利用を断られた」、「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」、「他の利用者とのコミュニケーションがうまく取れない」が7.1%となっている。



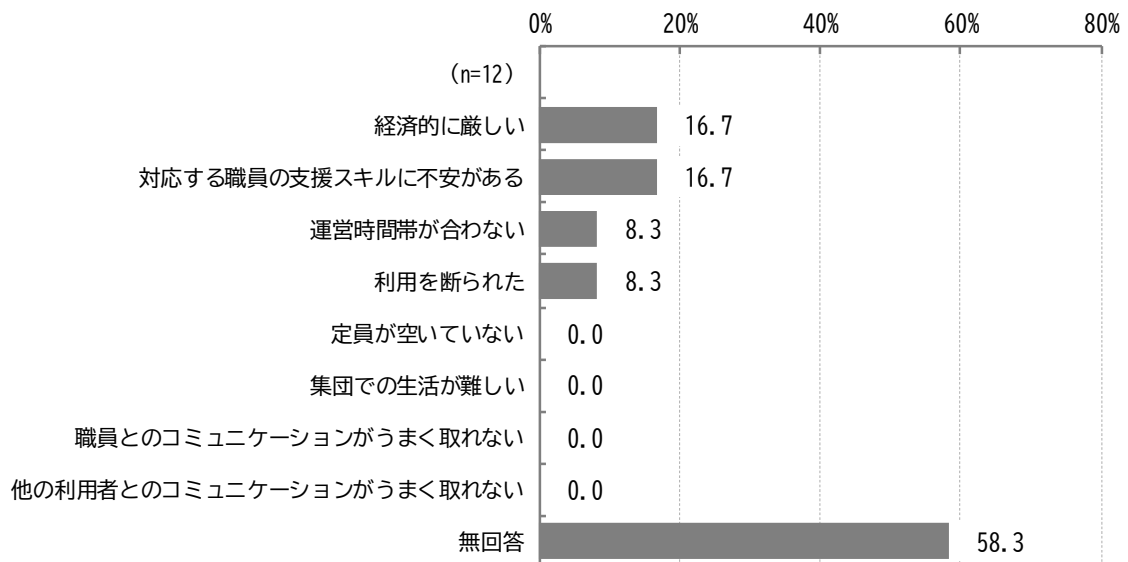
### 【⑦ 就労継続支援B型：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が84.2%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.4%、「利用している」が0.4%となっている。



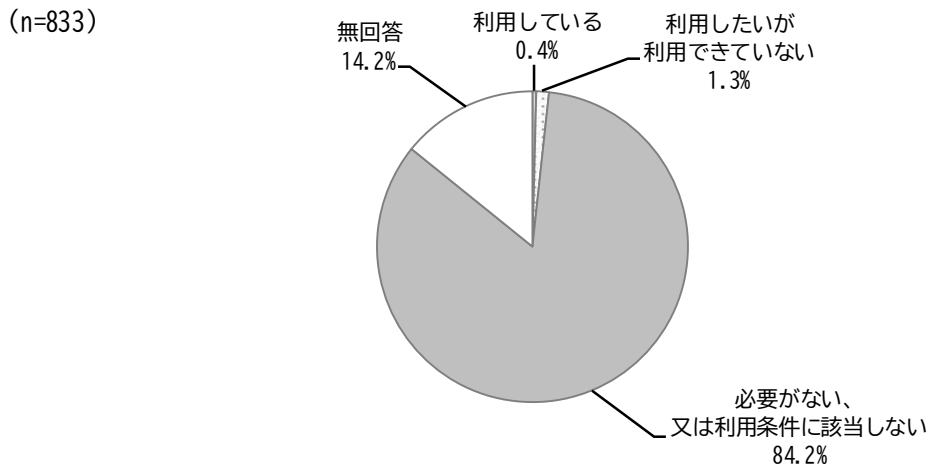
### 【⑦ 就労継続支援B型：利用できていない理由】

「経済的に厳しい」と「対応する職員の支援スキルに不安がある」が16.7%と最も多く、次いで「運営時間帯が合わない」と「利用を断られた」が8.3%となっている。



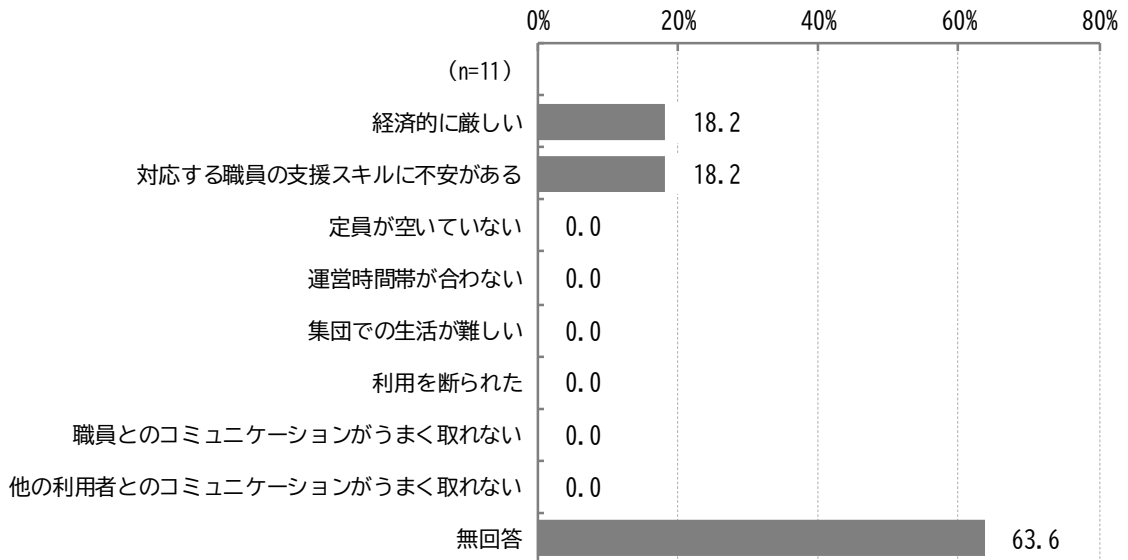
### 【⑧ 就労定着支援：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が84.2%と最も多く、次いで「利用したいが利用できていない」が1.3%、「利用している」が0.4%となっている。



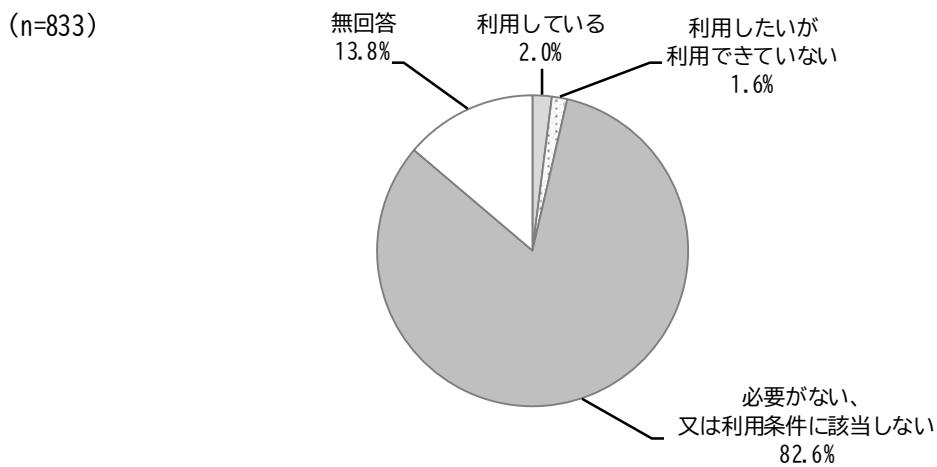
### 【⑧ 就労定着支援：利用できていない理由】

「経済的に厳しい」と「対応する職員の支援スキルに不安がある」が18.2%となっている。



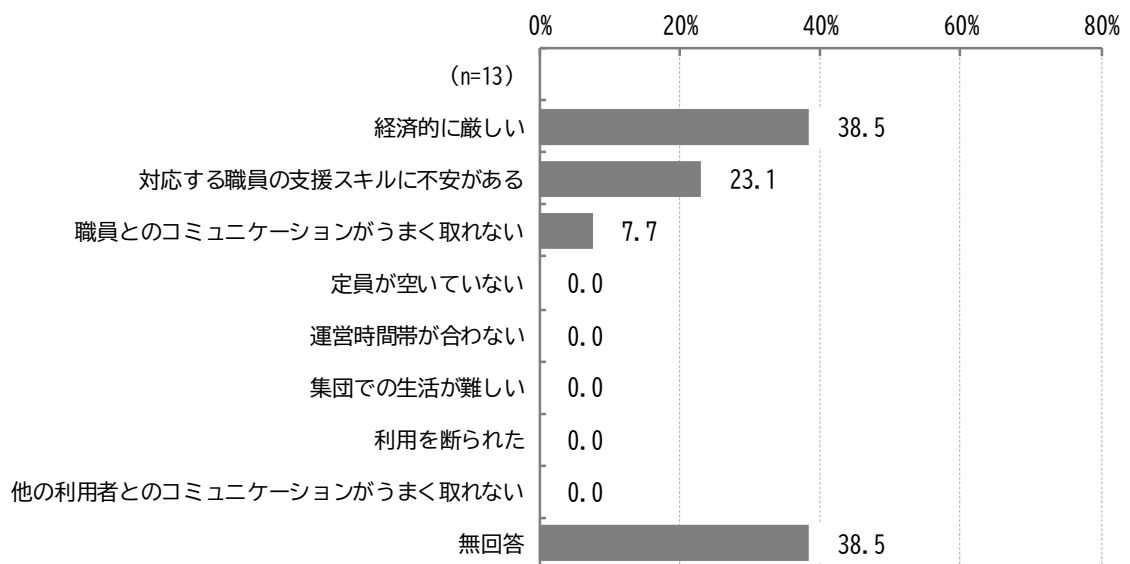
### 【⑨ 移動支援：利用状況】

「必要がない、又は利用条件に該当しない」が 82.6%と最も多く、次いで「利用している」が 2.0%、「利用したいが利用できていない」が 1.6%となっている。



### 【⑨ 移動支援：利用できない理由】

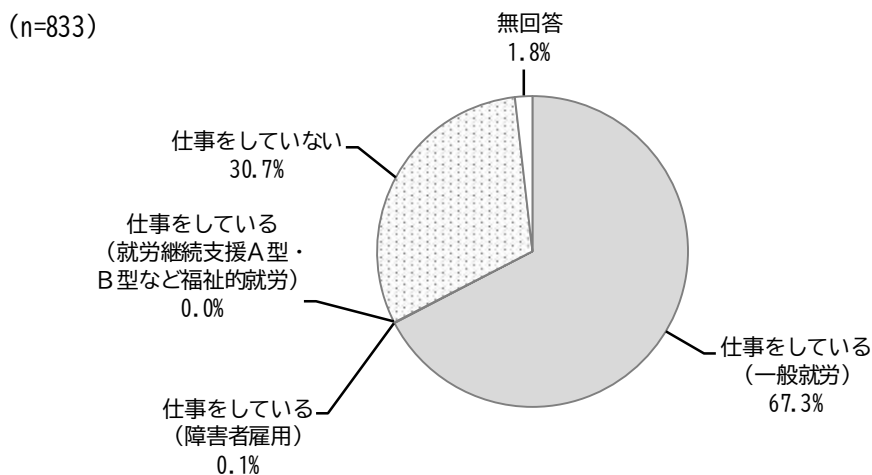
「経済的に厳しい」が 38.5%と最も多く、次いで「対応する職員の支援スキルに不安がある」が 23.1%、「職員とのコミュニケーションがうまく取れない」が 7.7%となっている。



## 7. 就労状況について

問22 あなた（あて名のご本人）は現在、仕事をしていますか。（○は1つ）

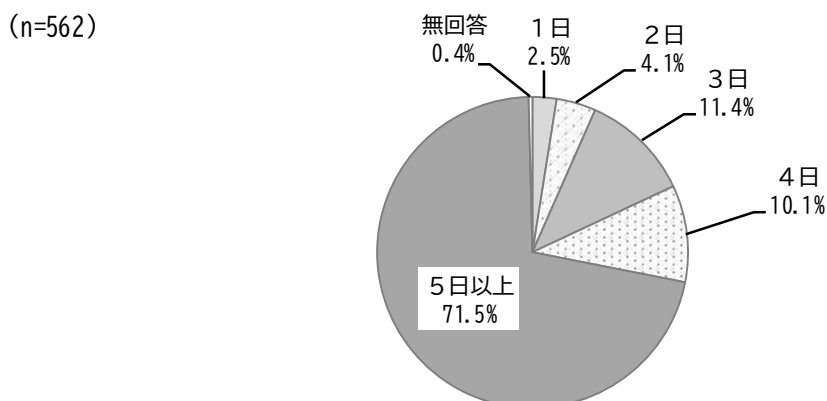
「仕事をしている（一般就労）」が67.3%と最も多く、次いで「仕事をしていない」が30.7%、「仕事をしている（障害者雇用）」が0.1%となっている。



※問23～26は、問22で選択肢「1. 仕事をしている（一般就労）」～「3. 仕事をしている（就労継続支援A型・B型など福祉的就労）」のいずれかを選択した人のみ回答

問23 1週間の就労日数を教えてください。（○は1つ）

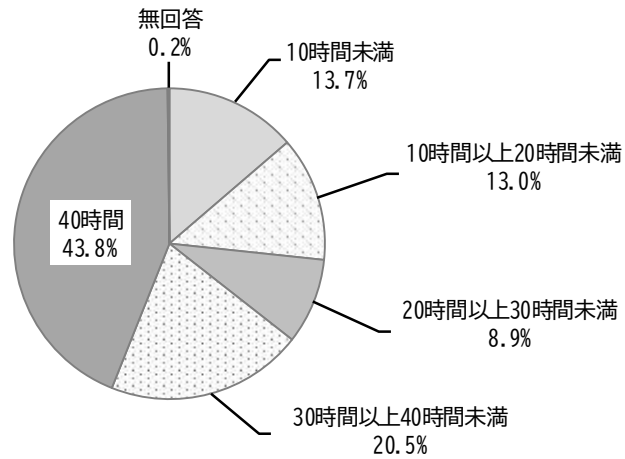
「5日以上」が71.5%と最も多く、次いで「3日」が11.4%、「4日」が10.1%となっている。



問24 1週間の労働時間を教えてください。休憩時間は除きます。(○は1つ)

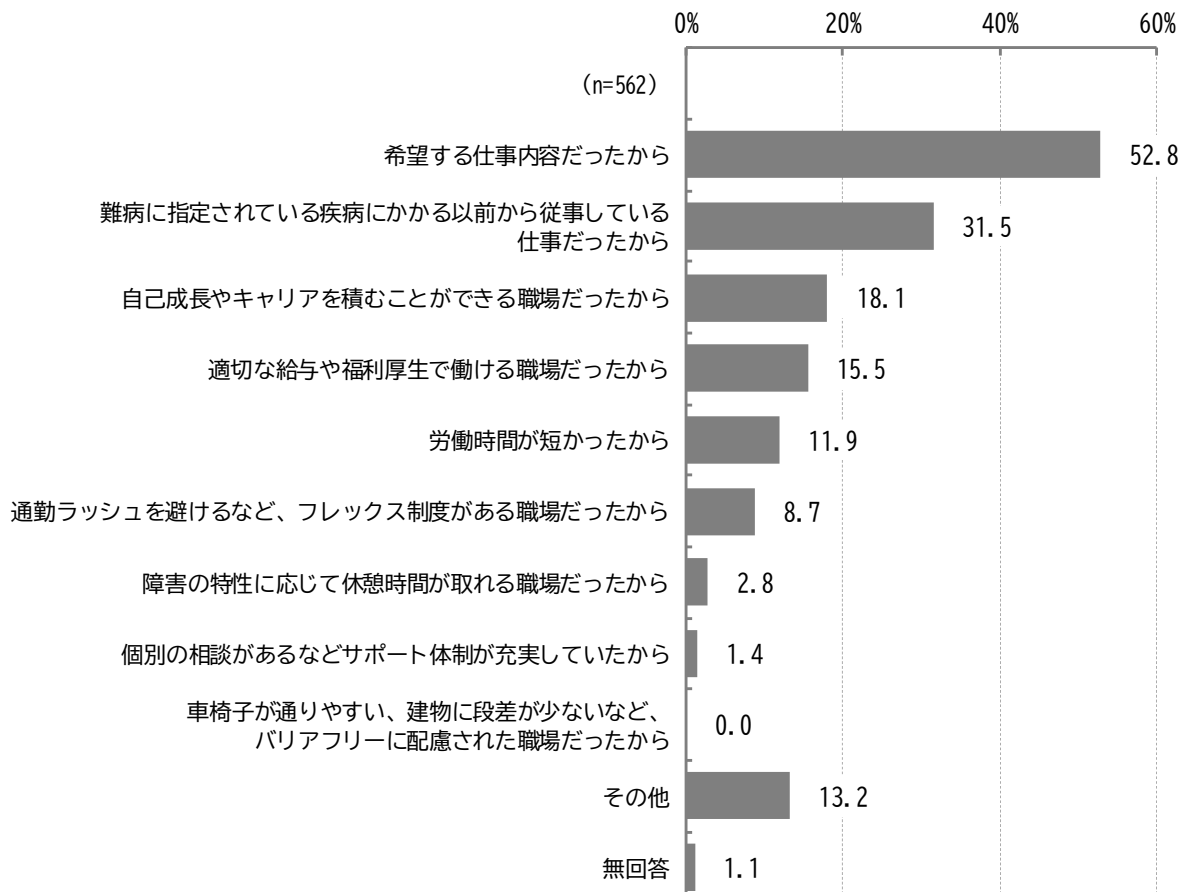
「40時間」が43.8%と最も多く、次いで「30時間以上40時間未満」が20.5%、「10時間未満」が13.7%となっている。

(n=562)



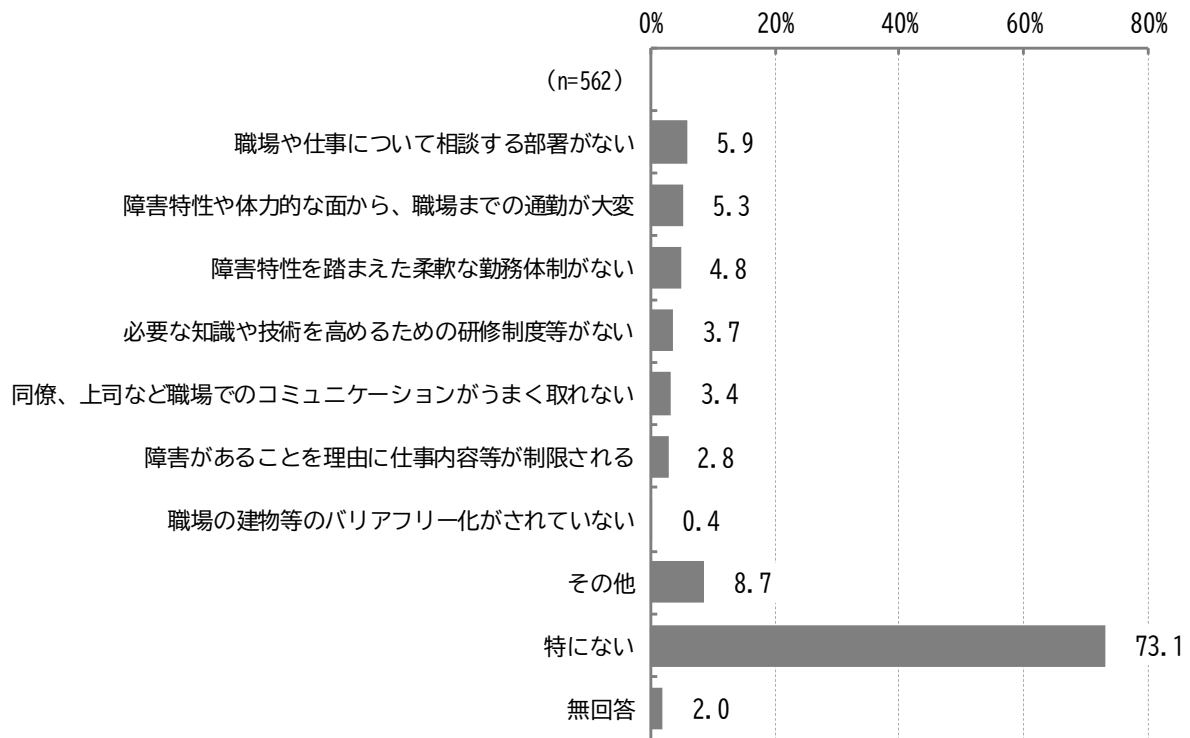
問25 現在の仕事を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

「希望する仕事内容だったから」が52.8%と最も多く、次いで「難病に指定されている疾病にかかる以前から従事している仕事だったから」が31.5%、「自己成長やキャリアを積むことができる職場だったから」が18.1%となっている。



問26 あなた（あて名のご本人）が仕事上で困っていることを教えてください。  
 （〇はいくつでも）

「特にない」が73.1%と最も多く、次いで「その他」が8.7%、「職場や仕事について相談する部署がない」が5.9%となっている。



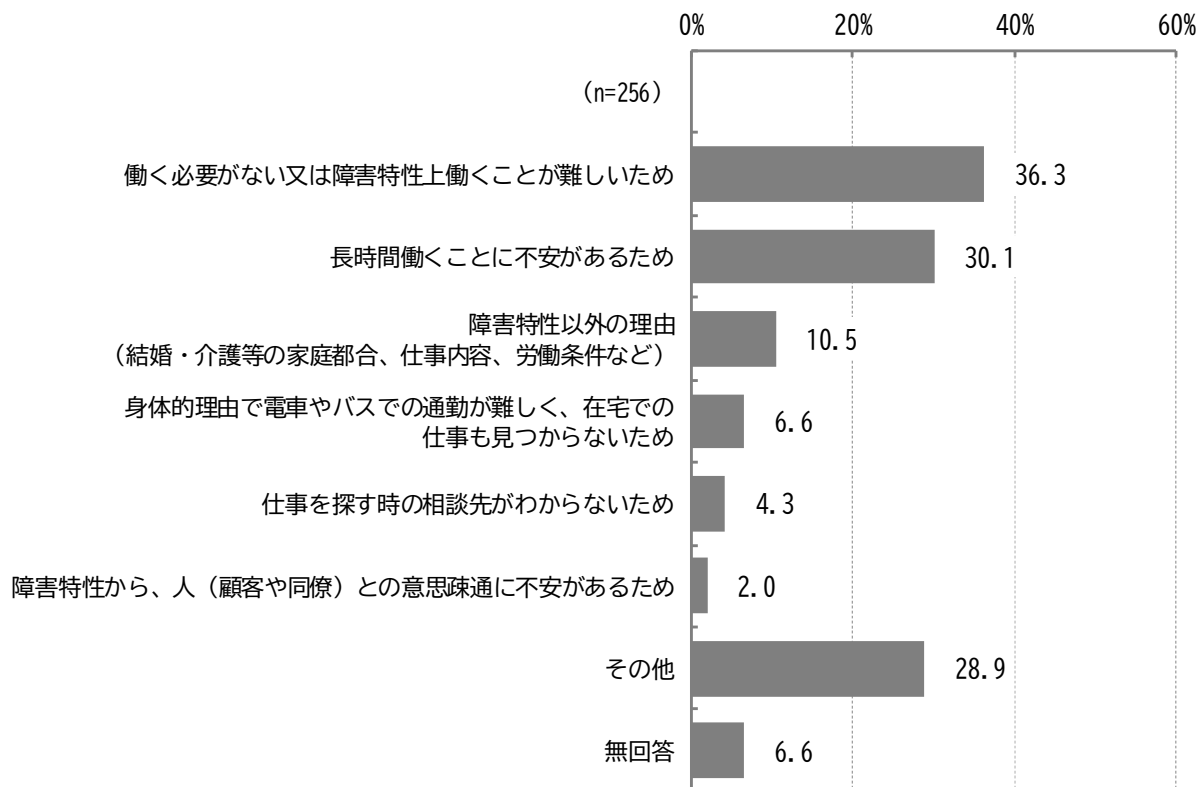
【主なその他の内容】

内容	件数
職場環境に関すること	18
身体的な負担等に関すること	12
仕事内容に関すること	5
通勤・通院に関すること	3
その他	10

※問 27 と問 28 は、問 22 で「仕事をしていない」を選択した人のみ回答

問27 現在、仕事をしていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「働く必要がない又は障害特性上働くことが難しいため」が 36.3% と最も多く、次いで「長時間働くことに不安があるため」が 30.1%、「その他」が 28.9% となっている。

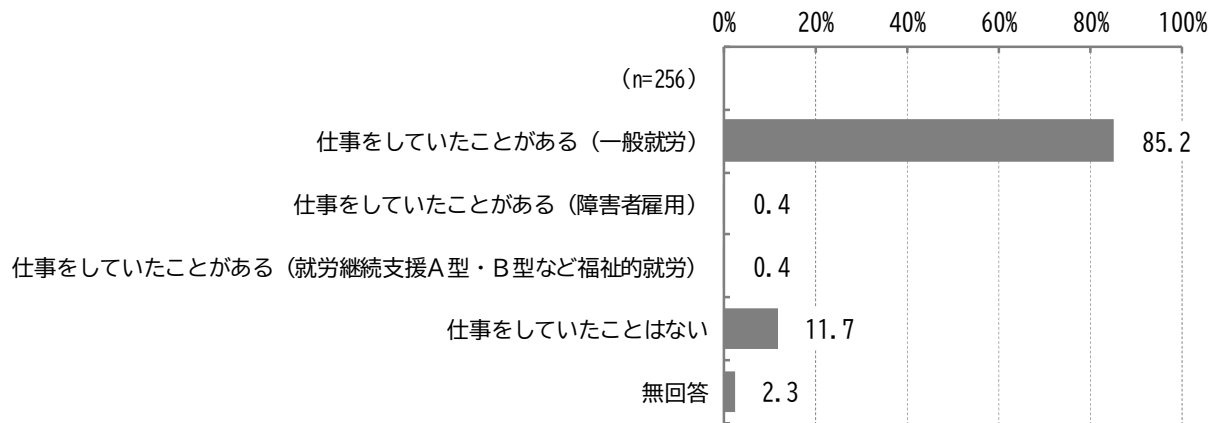


【主なその他の内容】

内容	件数
高齢のため	21
専業主婦(夫)や学生であるため	11
病気やけが等で療養中のため	9
子育てや介護のため	6
年金や生活保護を受給しているため	4
現在、求職中である	4
その他	10

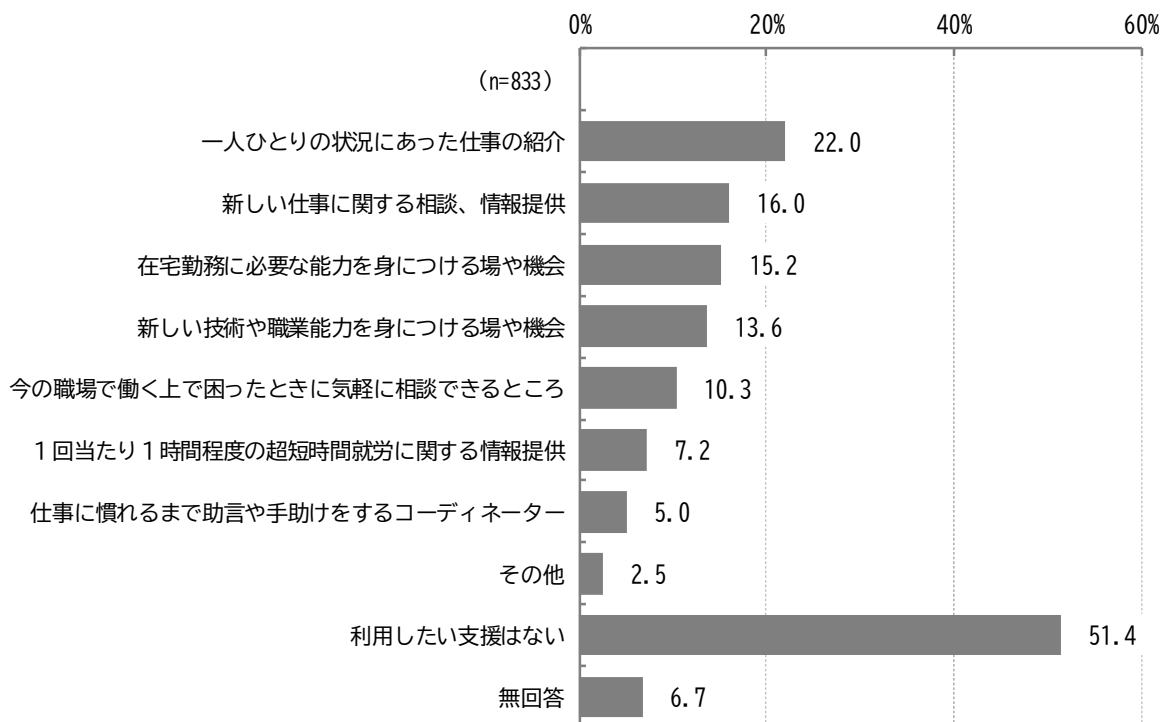
問28 過去に仕事をしていたことがありますか。(○はいくつでも)

「仕事をしていたことがある（一般就労）」が85.2%と最も多く、次いで「仕事をしていたことはない」が11.7%、「仕事をしていたことがある（障害者雇用）」と「仕事をしていたことがある（就労継続支援A型・B型など福祉的就労）」が0.4%となっている。



問29 あなた（あて名のご本人）が新しい仕事に就いたり仕事を継続したりするために、利用したい支援を教えてください。(○はいくつでも)

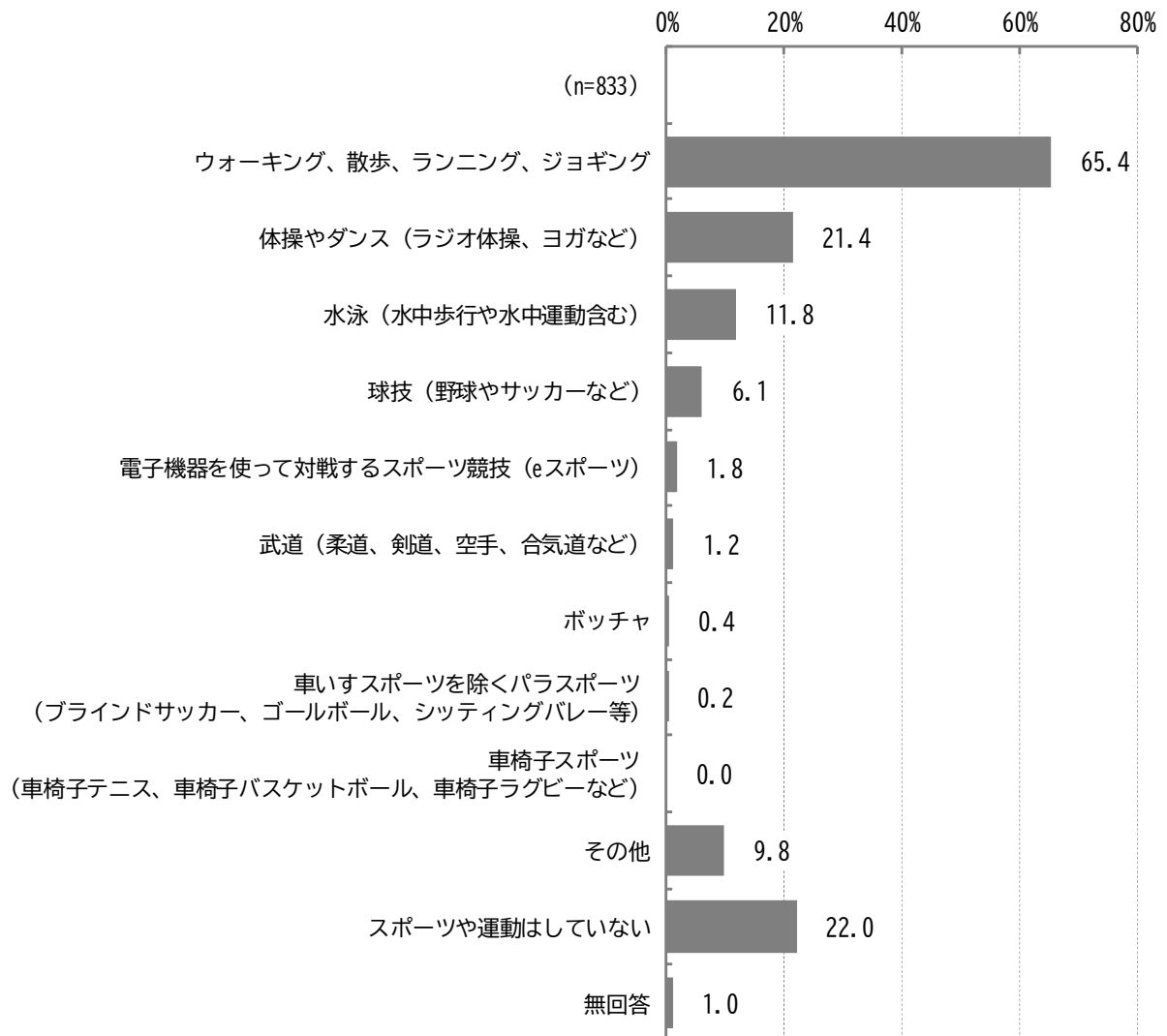
「利用したい支援はない」が51.4%と最も多く、次いで「一人ひとりの状況にあった仕事の紹介」が22.0%、「新しい仕事に関する相談、情報提供」が16.0%となっている。



## 8. 余暇活動・文化芸術活動について

問30 あなた（あて名のご本人）がこの1年間に行ったスポーツや運動はありますか。  
（〇はいくつでも）

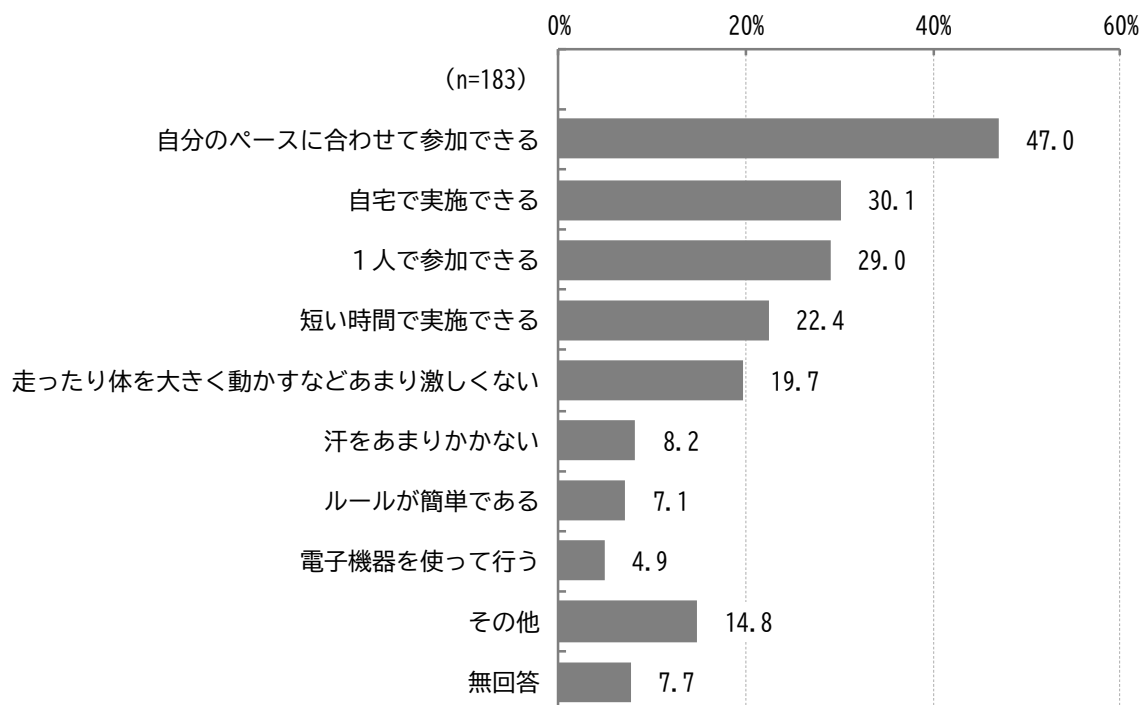
「ウォーキング、散歩、ランニング、ジョギング」が65.4%と最も多く、次いで「スポーツや運動はしていない」が22.0%、「体操やダンス（ラジオ体操、ヨガなど）」が21.4%となっている。



※問31は、問30で「スポーツや運動はしていない」を選択した人のみ回答

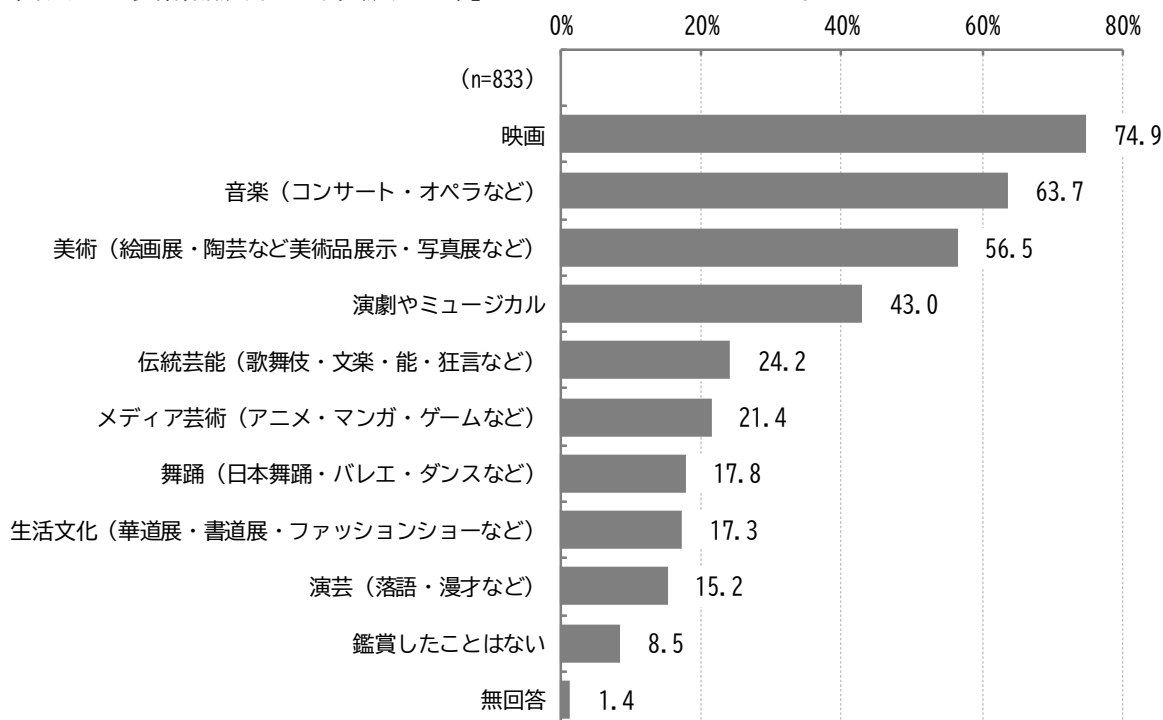
問31 どのようなスポーツや運動に参加したいですか。(〇はいくつでも)

「自分のペースに合わせて参加できる」が47.0%と最も多く、次いで「自宅で実施できる」が30.1%、「1人で参加できる」が29.0%となっている。



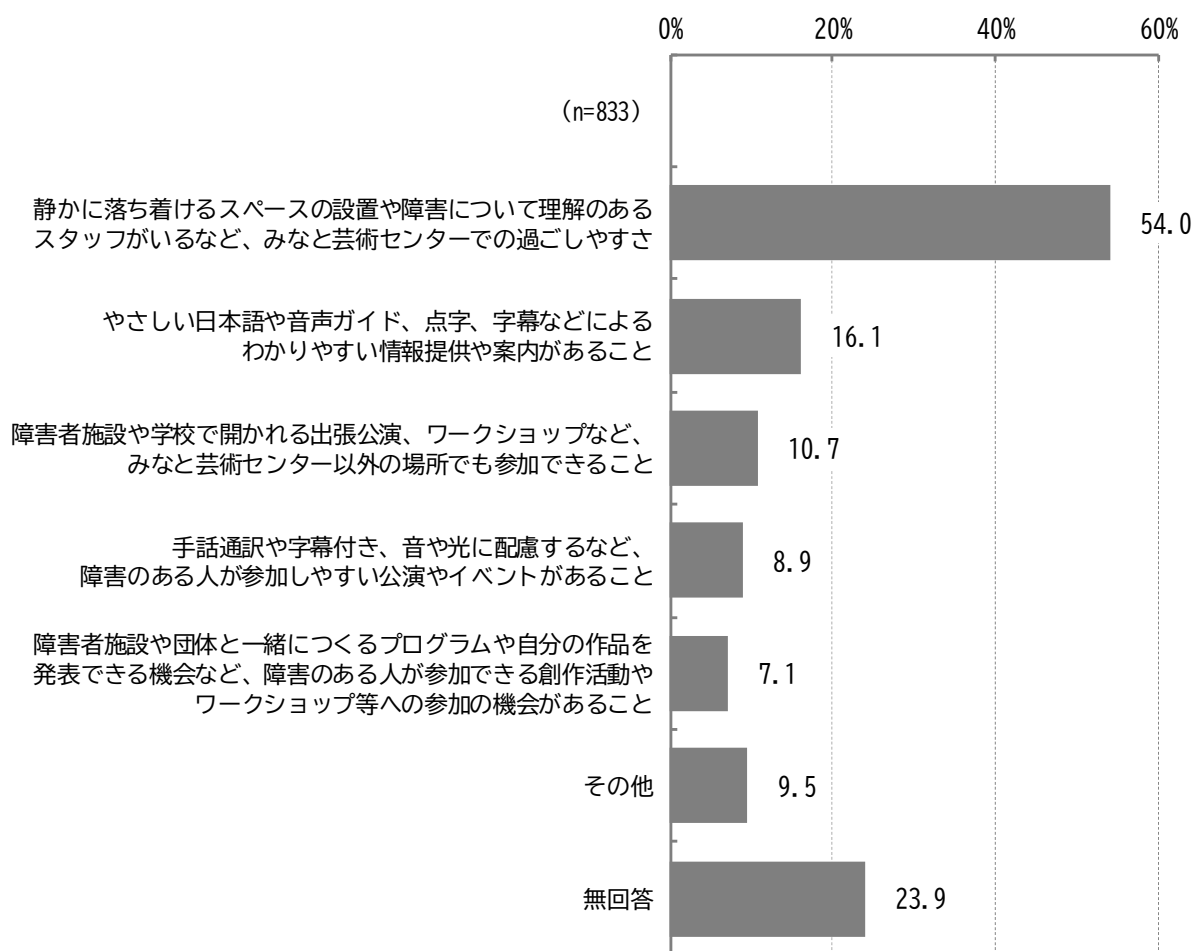
問32 あなた（あて名のご本人）がこれまでに、自宅以外の場所で鑑賞や活動したことがある文化芸術のジャンルを教えてください。(〇はいくつでも)

「映画」が74.9%と最も多く、次いで「音楽（コンサート・オペラなど）」が63.7%、「美術（絵画展・陶芸など美術品展示・写真展など）」が56.5%となっている。



問33 港区立みなと芸術センター（令和9年度開館予定）では、障害のある方も安心して利用し、文化芸術を楽しんだり、参加したりできるようにしていきたいと考えています。今後の準備に生かすため、あなた（あて名のご本人）が「このようなことがあれば嬉しい」「ぜひ取り組んでほしい」と思うことを、教えてください。（〇はいくつでも）

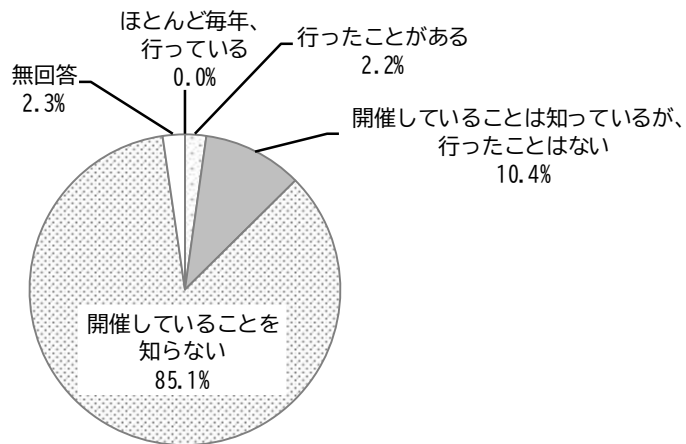
「静かに落ち着けるスペースの設置や障害について理解のあるスタッフがいるなど、みなと芸術センターでの過ごしやすさ」が54.0%と最も多く、次いで「やさしい日本語や音声ガイド、点字、字幕などによるわかりやすい情報提供や案内があること」が16.1%、「障害者施設や学校で開かれる出張公演、ワークショップなど、みなと芸術センター以外の場所でも参加できること」が10.7%となっている。



問34 区では、年1回(約1か月間)、区内美術館等において、障害者が制作した絵画等の作品を展示する「地域で共に生きる障害児・障害者アート展」を開催しています。  
このイベントに行ったことはありますか。(○は1つ)

「開催していることを知らない」が85.1%と最も多く、次いで「開催していることは知っているが、行ったことはない」が10.4%、「行ったことがある」が2.2%となっている。

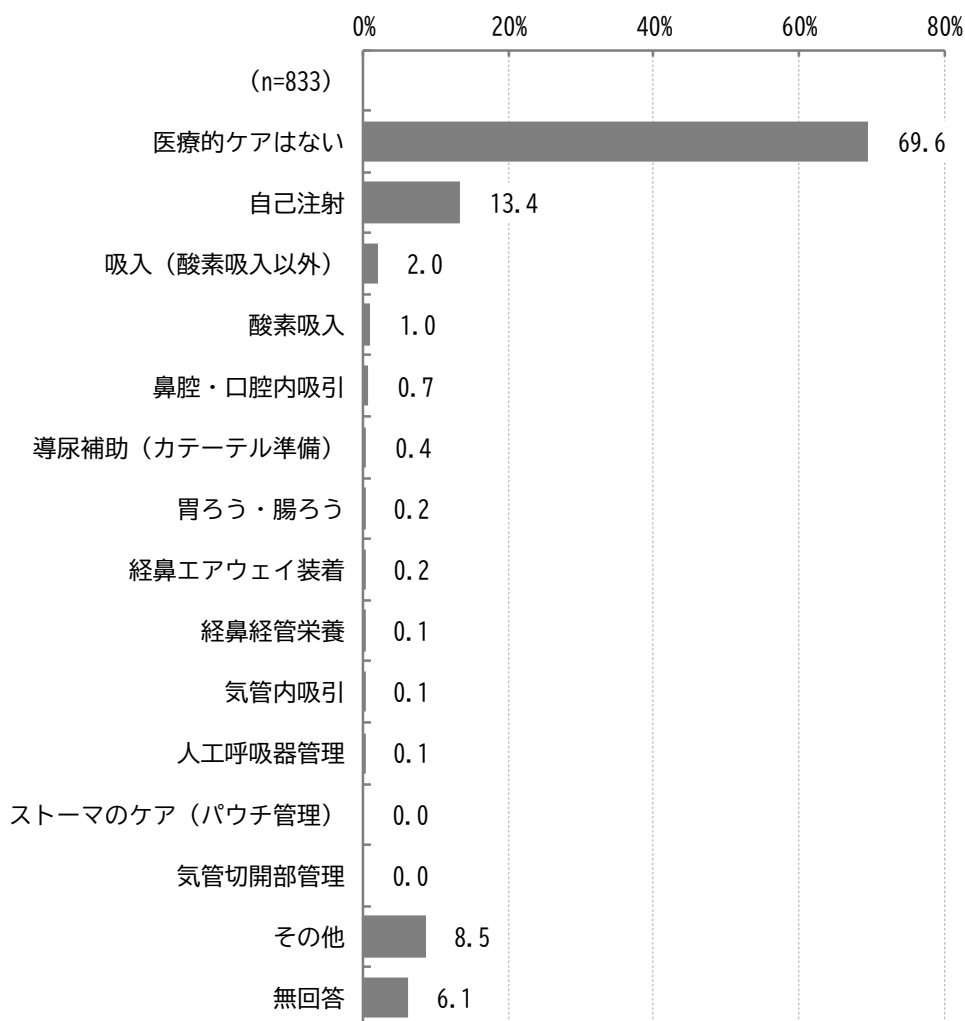
(n=833)



## 9. 医療的ケアの状況について

問35 あなた（あて名のご本人）が日常的に必要な医療的ケアを教えてください。  
（〇はいくつでも）

「医療的ケアはない」が69.6%と最も多く、次いで「自己注射」が13.4%、「その他」が8.5%となっている。



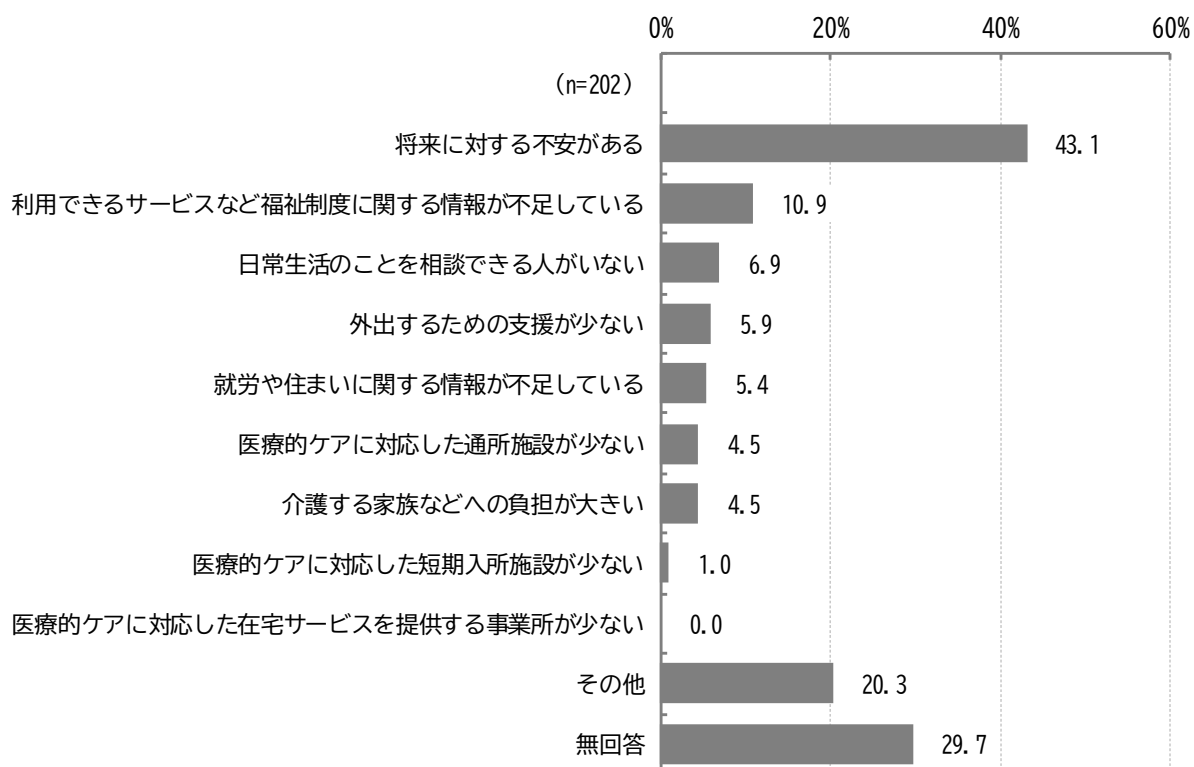
### 【主なその他の内容】

内容	件数
服薬	28
定期的な通院や検査、リハビリ	7
点滴の管理	4
その他	17

※問 36 は、問 35 で選択肢「2. ストーマのケア（パウチ管理）」～「14. その他」のいずれかを選択した人のみ回答

問36 医療的ケアを受ける中で、日常生活における困りごとを教えてください。  
（〇はいくつでも）

「将来に対する不安がある」が43.1%と最も多く、次いで「その他」が20.3%、「利用できるサービスなど福祉制度に関する情報が不足している」が10.9%となっている。



【主なその他の内容】

内容	件数
特に困っていることはない	16
金銭的な負担について	3
排せつについて	3
その他	6

※問 37 は、問 36 で選択肢「1. 医療的ケアに対応した通所施設が少ない」～「9. 将来に対する不安がある」のいずれかを選択した人のみ回答

問37 日常生活における困りごとについて、具体的な内容を教えてください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	将来に対する不安がある	18
2	利用できるサービスなど福祉制度に関する情報が不足している	5
3	介護する家族などへの負担が大きい	4
4	医療的ケアに対応した通所施設が少ない	1
5	外出するための支援が少ない	11
6	日常生活のことを相談できる人がいない	2
7	就労や住まいに関する情報が不足している	6
8	医療的ケアに対応した在宅サービスを提供する事業所が少ない	7
9	その他	5

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

#### 〔1 将来に対する不安がある〕

- 今は軽度でも重度になった場合どうすればよいか、漠然とした不安があるが、特に相談出来るような場所はない。
- 日常的に倦怠感があり、高齢化又は症状が進行した時、生活が維持出来るのか不安である。

#### 〔2 利用できるサービスなど福祉制度に関する情報が不足している〕

- 病気への理解のなさから、症状を症状として理解してもらえない。地震や台風などの災害時にクローン病の保持者が、どのように過ごせばよいかを記載したサイトや情報が必要。
- 区で利用できるサービス、福祉制度、住居、参加講座などの情報発信が少ないと感じている。

#### 〔3 介護する家族などへの負担が大きい〕

- 毎日6～22時に8回服薬が必要、早朝の対応など負担が大きい。
- 就労を理由として子供を保育園に預けているため、土曜日の通院の際に子供を預かってもらえず、通院のたびに遠方の母に来てもらって子供をみてもらう必要がある。

#### 〔4 医療的ケアに対応した通所施設が少ない〕

- 点滴の通院。

#### **〔5 外出するための支援が少ない〕**

- 公共の場所でのベンチの少なさ、適度な距離に設置してほしい。ひと休みするのにカフェなどに入って時間や金銭を使うのはためらう。
- トイレの使用頻度が多いため、イベントなど人が集まる場所には行きづらい（トイレの数が少ない）

#### **〔6 日常生活のことを相談できる人がいない〕**

- もし介護が必要になった時、どこ相談できるのか？
- 生活支援は受けていませんが日常の生活に不安です。

#### **〔7 就労や住まいに関する情報が不足している〕**

- 自己注射を受けていく限り医療費の減額制度を受けられるのか、他の区や県に移住しても同じ制度があるのか心配です。
- 現職が解雇になったあとの生活や子供の学費について。

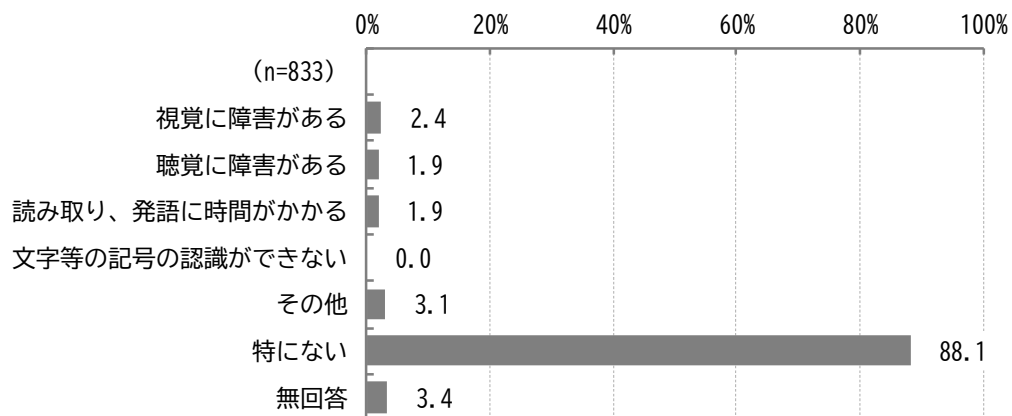
#### **〔8 医療的ケアに対応した在宅サービスを提供する事業所が少ない〕**

- 家族がいないと注射ができない。
- 医療を受ける回数が負担になる事がある（待ち時間を含む）。

## 10. コミュニケーション手段の確保について

問38 あなた（あて名のご本人）が他者とコミュニケーションをとるに当たり、支障となる障害を教えてください。（〇はいくつでも）

「特にない」が88.1%と最も多く、次いで「その他」が3.1%、「視覚に障害がある」が2.4%となっている。

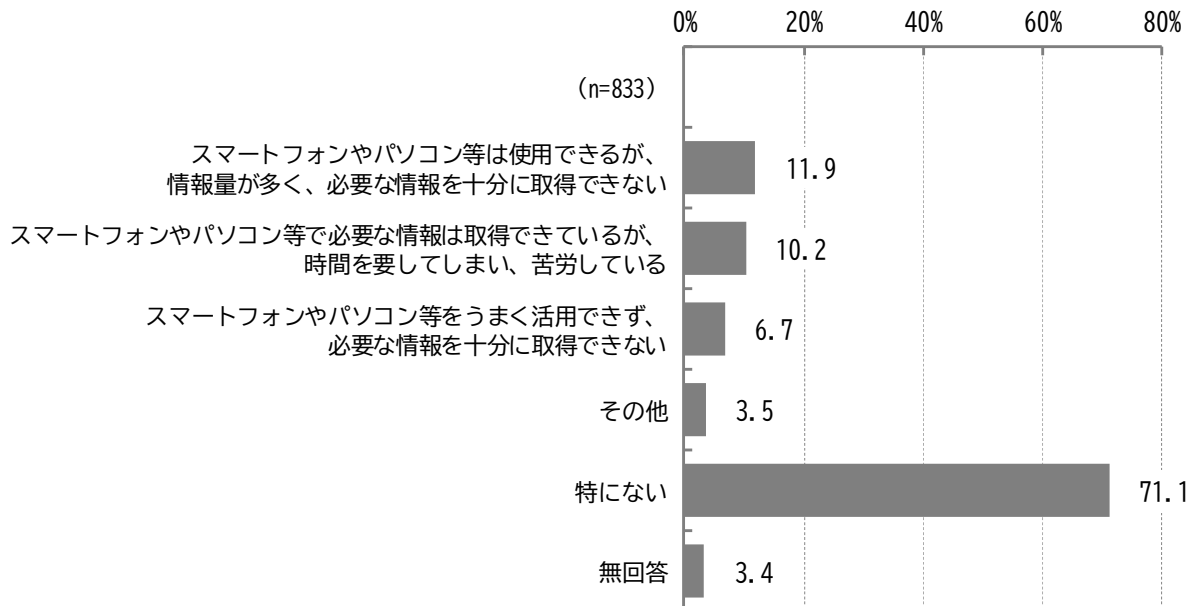


### 【主なその他の内容】

内容	件数
身体的な負担や体調の変化	13
会話や発声が困難である	4
その他	7

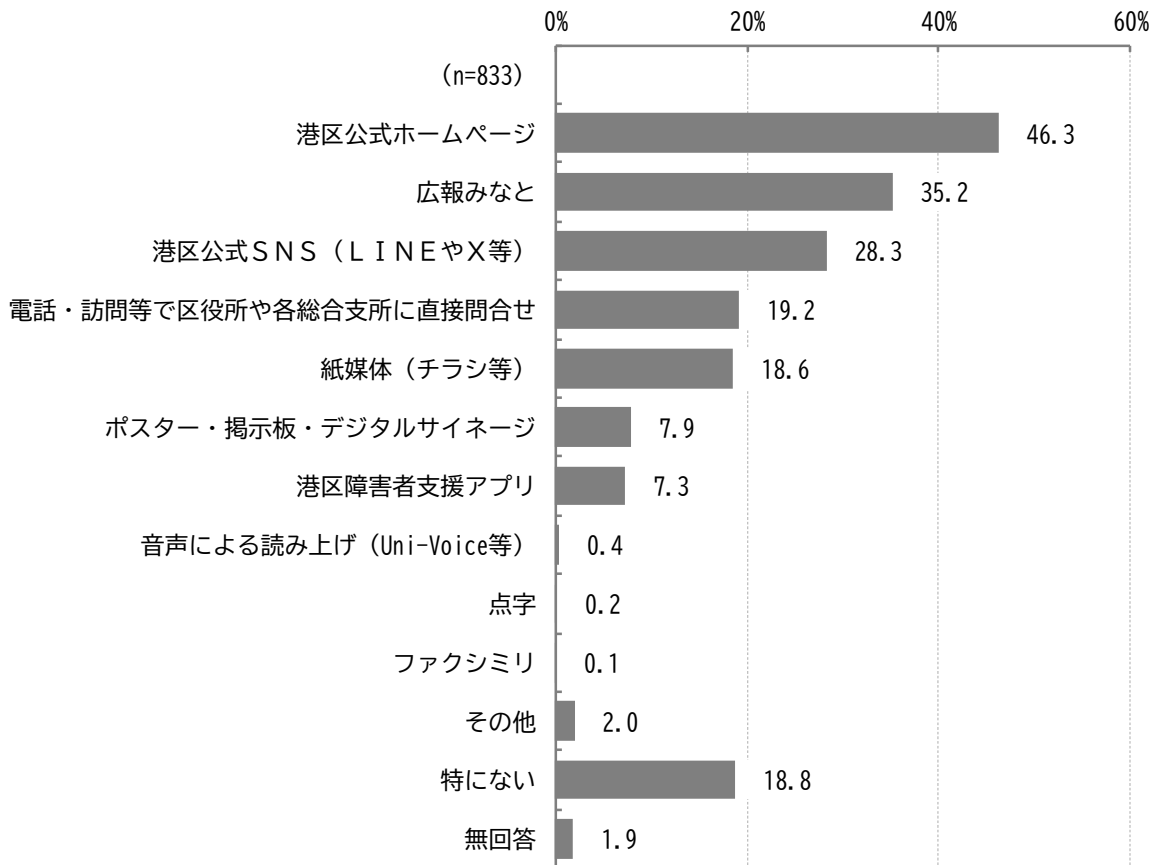
問39 あなた（あて名のご本人）が区から必要な情報を取得する際に困った経験があれば教えてください。（○はいくつでも）

「特にない」が71.1%と最も多く、次いで「スマートフォンやパソコン等は使用できるが、情報量が多く、必要な情報を十分に取得できない」が11.9%、「スマートフォンやパソコン等で必要な情報は取得できているが、時間を要してしまい、苦労している」が10.2%となっている。



問40 あなた（あて名のご本人）が区の発信する情報やお知らせを受け取るために、希望する媒体・手段を教えてください。（〇はいくつでも）

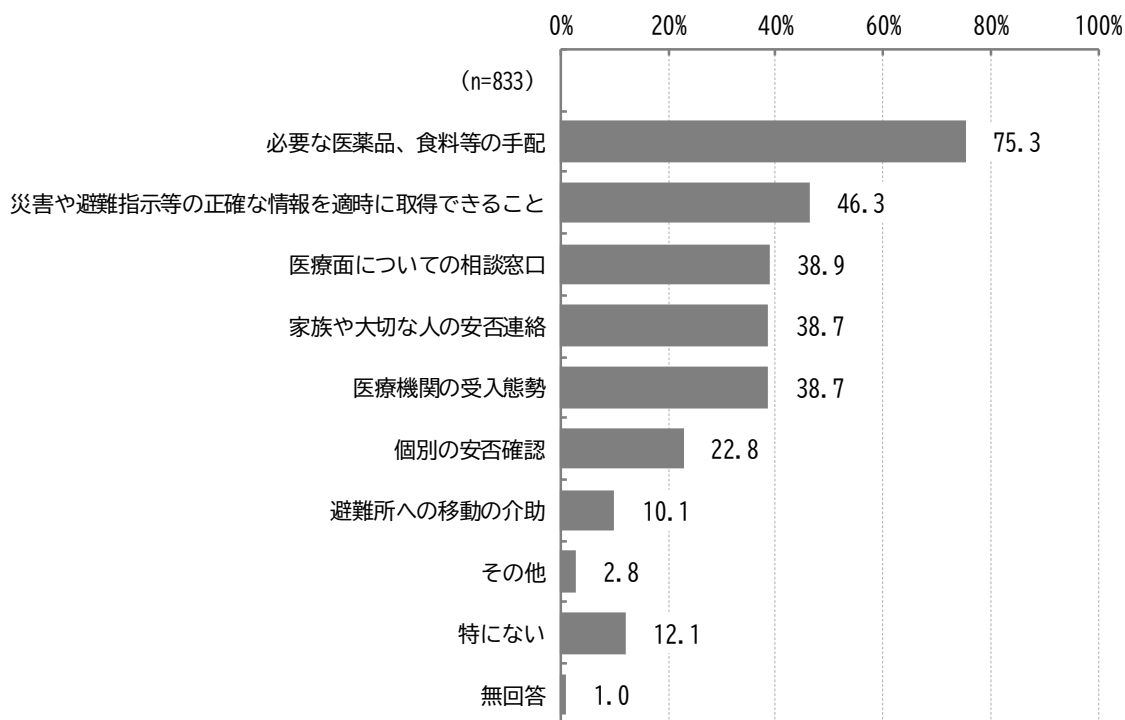
「港区公式ホームページ」が46.3%と最も多く、次いで「広報みなと」が35.2%、「港区公式SNS（LINEやX等）」が28.3%となっている。



## 11. 災害に対する備えと災害時の行動について

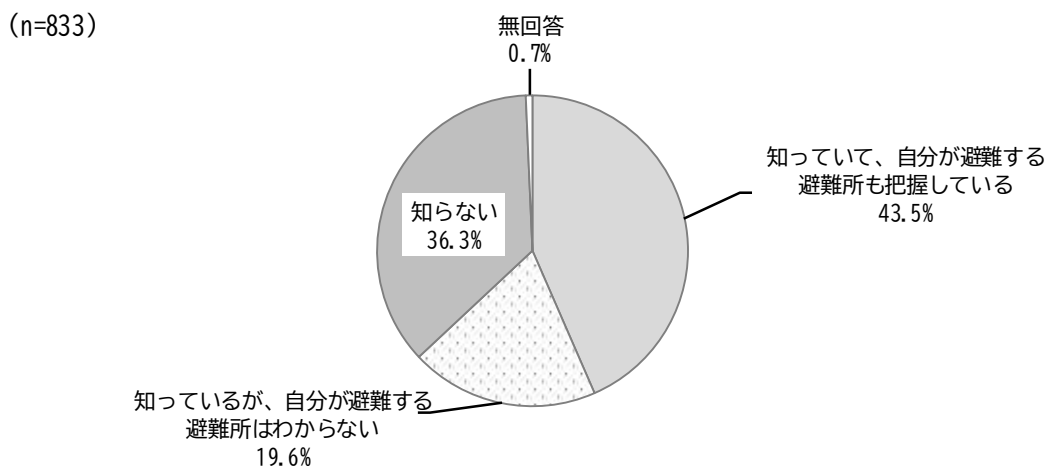
問41 災害が発生したときにあなた（あて名のご本人）が行政や地域から必要とする支援を教えてください。（〇はいくつでも）

「必要な医薬品、食料等の手配」が75.3%と最も多く、次いで「災害や避難指示等の正確な情報を適時に取得できること」が46.3%、「医療面についての相談窓口」が38.9%となっている。



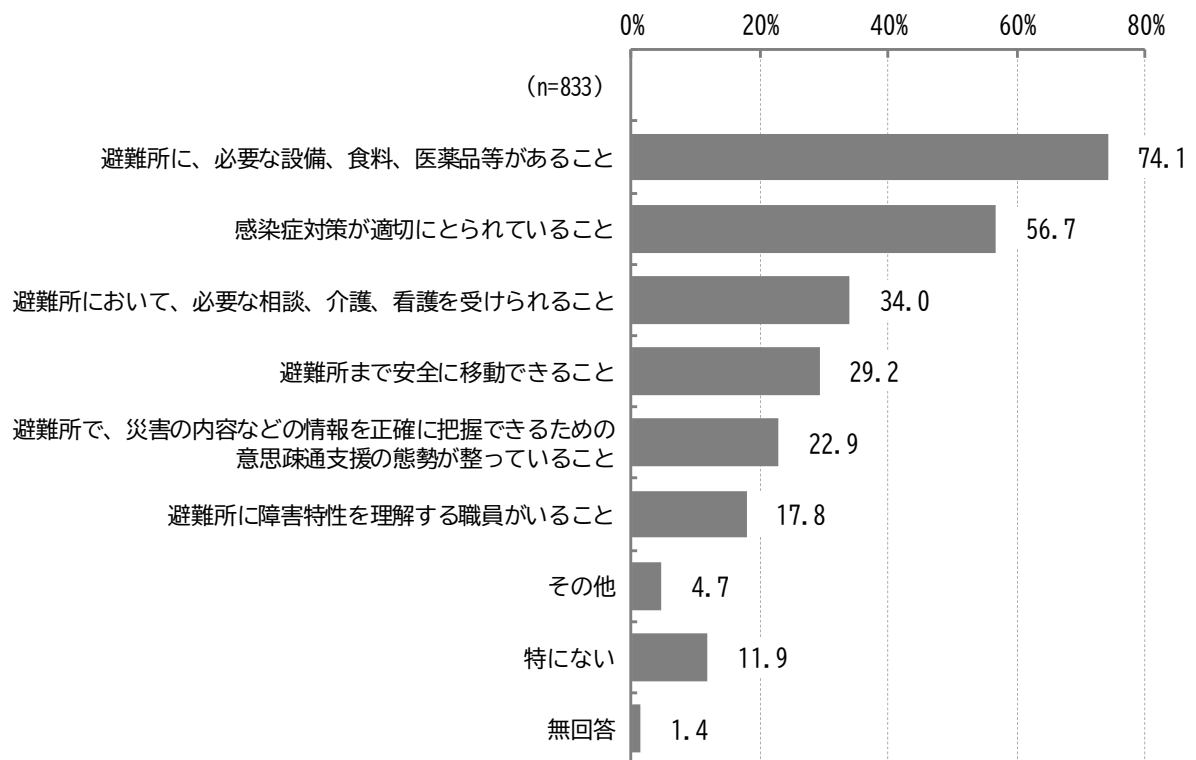
問42 あなた（あて名のご本人）は避難所（福祉避難所含む）をご存じですか。（〇は1つ）

「知っている、自分が避難する避難所も把握している」が43.5%と最も多く、次いで「知らない」が36.3%、「知っているが、自分が避難する避難所はわからない」が19.6%となっている。



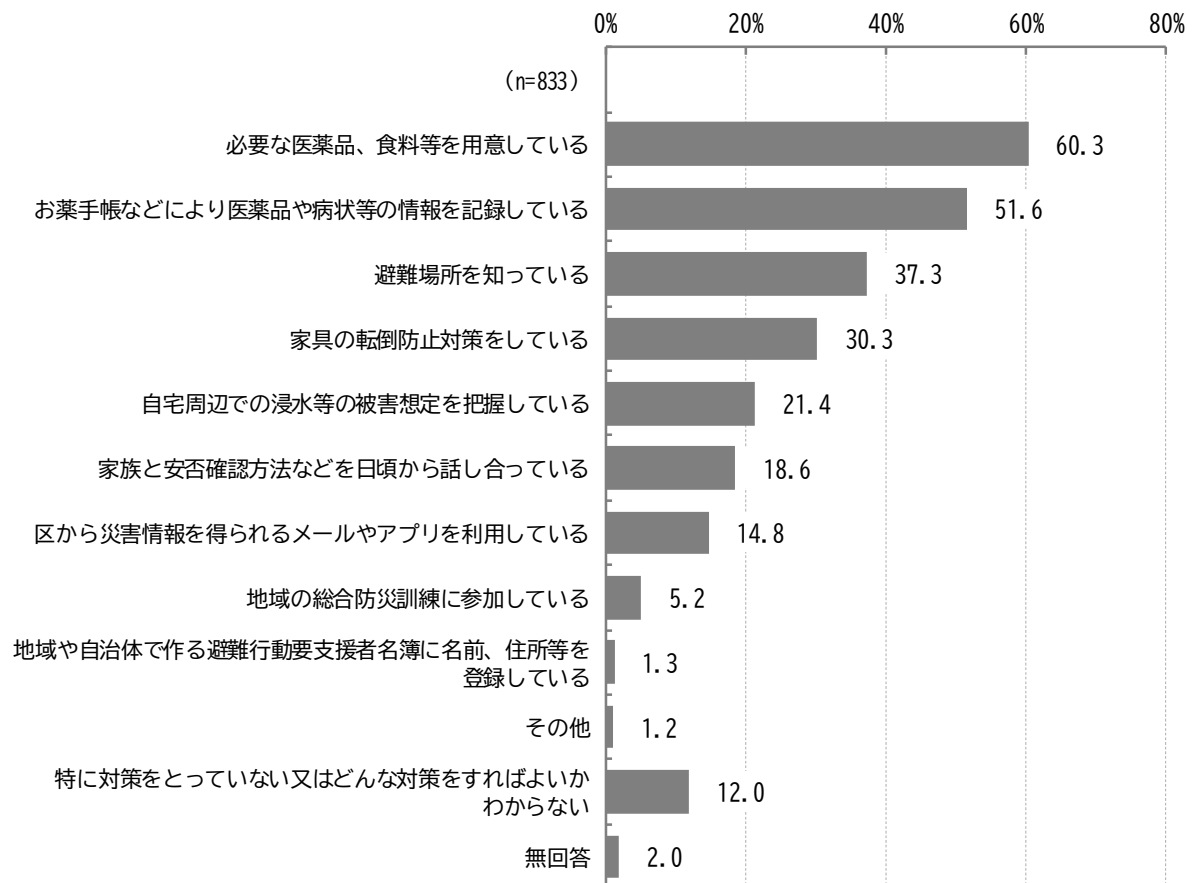
問43 あなた（あて名のご本人）が避難所（福祉避難所を含む）で望む支援は何ですか。  
（〇はいくつでも）

「避難所に、必要な設備、食料、医薬品等があること」が74.1%と最も多く、次いで「感染症対策が適切にとられていること」が56.7%、「避難所において、必要な相談、介護、看護を受けられること」が34.0%となっている。



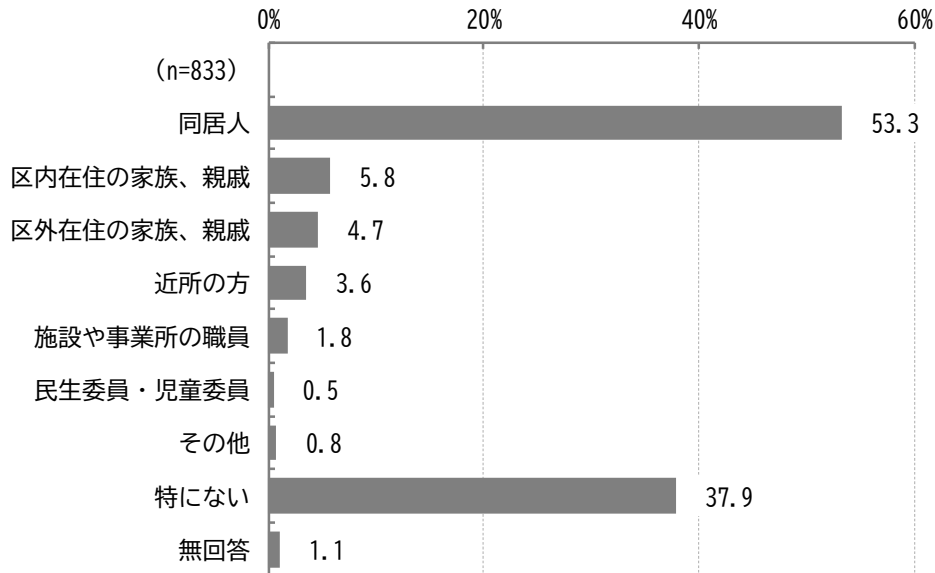
問44 災害が発生したときは、ご自宅での在宅避難が基本となりますが、あなた（あて名のご本人）は日頃から災害に備えて特別な対策を取っていますか。（〇はいくつでも）

「必要な医薬品、食料等を用意している」が60.3%と最も多く、次いで「お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している」が51.6%、「避難場所を知っている」が37.3%となっている。



問45 あなた（あて名のご本人）には災害が発生したときに安全な場所への避難を支援してくれる支援者はいますか。（〇はいくつでも）

「同居人」が53.3%と最も多く、次いで「特にない」が37.9%、「区内在住の家族、親戚」が5.8%となっている。

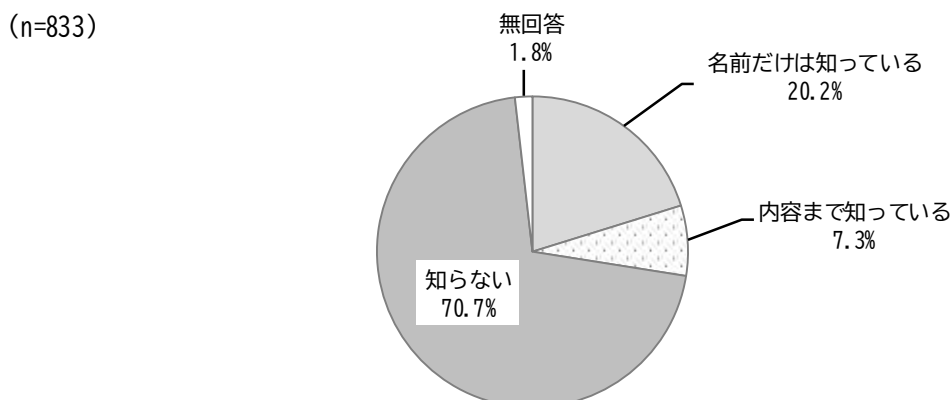


## 12. 偏見・差別について

問46 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されました。

この法律には、障害を理由とした不当な差別的取扱いを禁じ、また、障害者から生活上のバリア（障壁）を取り除くため何らかの対応を求められたとき、負担が重すぎない範囲で対応することが規定されています。このことを知っていますか。（〇は1つ）

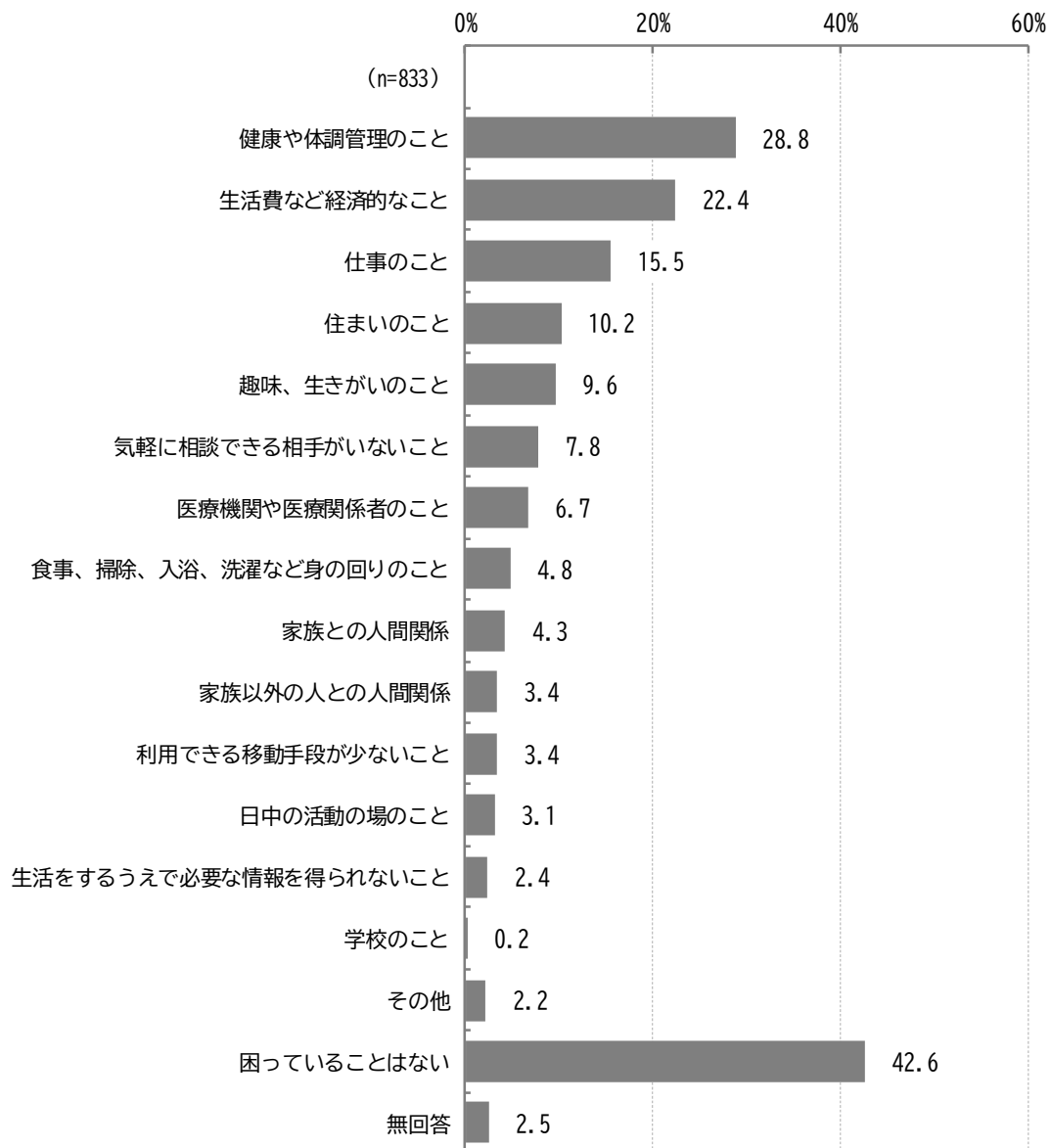
「知らない」が70.7%と最も多く、次いで「名前だけは知っている」が20.2%、「内容まで知っている」が7.3%となっている。



### 13. 行政支援・団体支援について

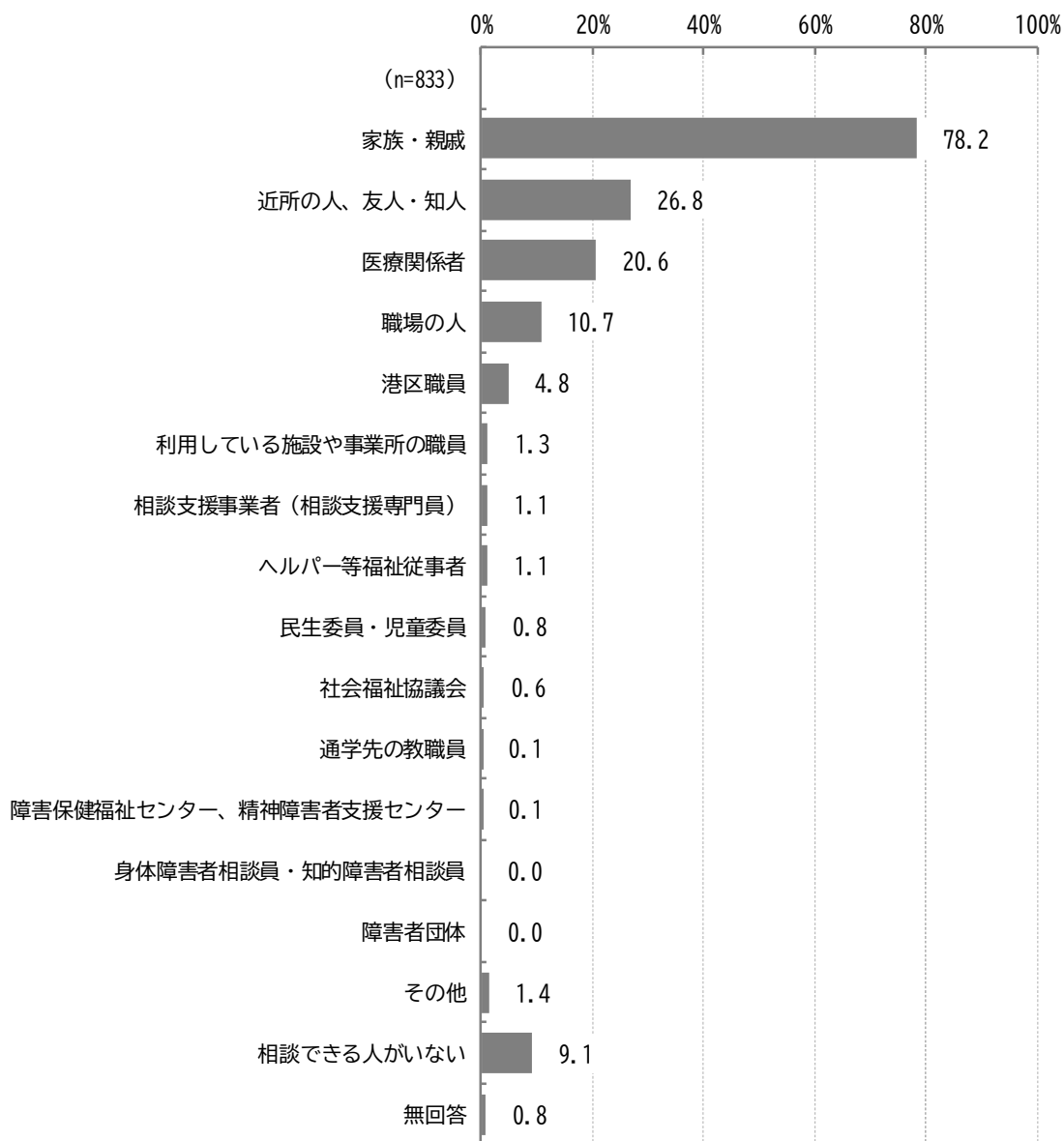
問47 現在、あなた（あて名のご本人）が生活の中で困っていることは何ですか。  
（〇はいくつでも）

「困っていることはない」が 42.6%と最も多く、次いで「健康や体調管理のこと」が 28.8%、「生活費など経済的なこと」が 22.4%となっている。



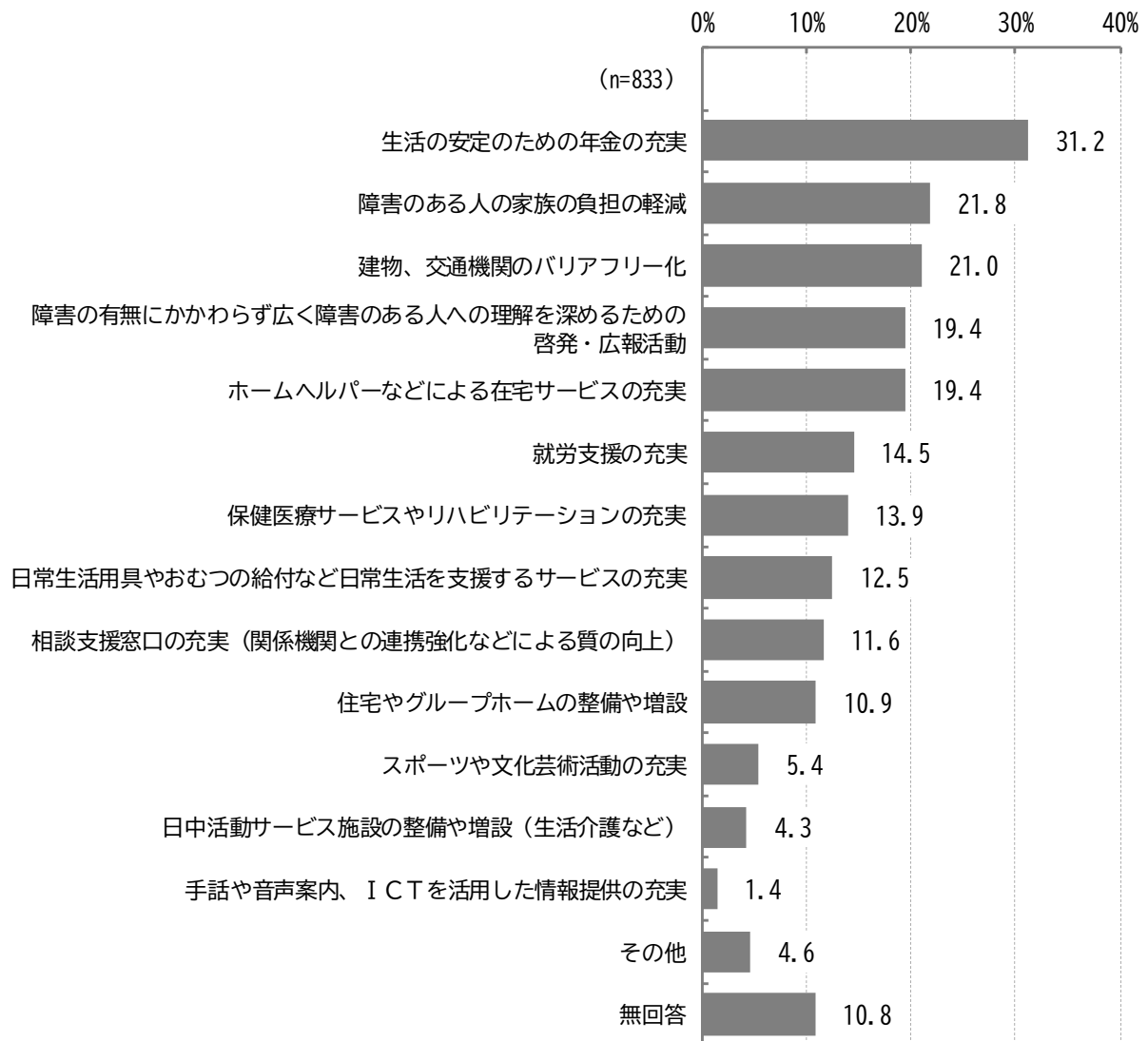
問48 あなた（あて名のご本人）が困ったときの相談先を教えてください。（○はいくつでも）

「家族・親戚」が78.2%と最も多く、次いで「近所の人、友人・知人」が26.8%、「医療関係者」が20.6%となっている。



問49 障害のある人に関する区の施策のうち、あなた（あて名のご本人）がもっと力を入れる必要があると思うものを教えてください。（○は3つまで）

「生活の安定のための年金の充実」が31.2%と最も多く、次いで「障害のある人の家族の負担の軽減」が21.8%、「建物、交通機関のバリアフリー化」が21.0%となっている。

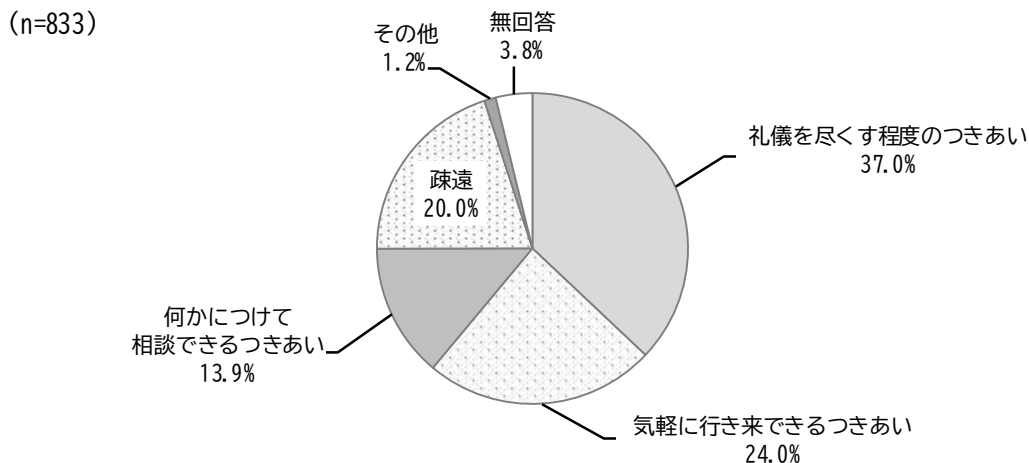


## 14. 地域共生社会について

問50 あなた（あて名のご本人）の人とのつながりについて教えてください。  
（○はそれぞれ1つ）

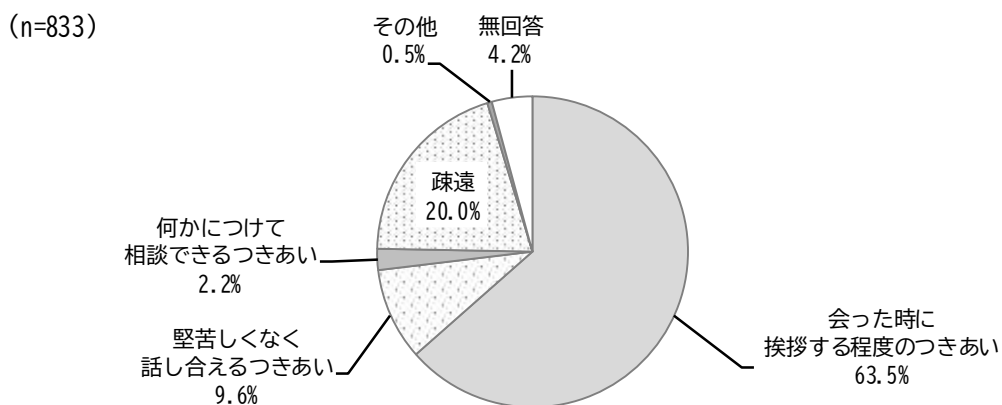
### 【親戚とのつきあいについて】

「礼儀を尽くす程度のつきあい」が37.0%と最も多く、次いで「気軽に行き来できるつきあい」が24.0%、「疎遠」が20.0%となっている。



### 【隣近所とのつきあいについて】

「会った時に挨拶する程度のつきあい」が63.5%と最も多く、次いで「疎遠」が20.0%、「堅苦しくなく話し合えるつきあい」が9.6%となっている。



問51 あなた（あて名のご本人）の社会参加について、お考えになっていることを自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	社会参加の難しさ(課題) について	18
2	社会参加に対する考えや意向について	16
3	社会参加を進めるための区への提案やお願い	5
4	仕事に関すること	10
5	実際に参加している地域活動や交流について	8
6	その他	2

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

〔1 社会参加の難しさ(課題) について〕

- 都会の中での隣人や付き合いは難しいと常々感じている為、他人に迷惑をかけず出来るだけ自立を目指して生活している。
- 自分が参加できる場がなかなか見付けられません。

〔2 社会参加に対する考えや意向について〕

- できる限り社会に役に立つように、小さな事でも始めたい。
- 積極的交流が必要と考えるが、健常者との理解と交流が必要。

〔3 社会参加を進めるための区への提案やお願い〕

- 港区では相談員やケアマネ・ヘルパー等不足している状態なので、障害者が気軽に外出出来る社会参加出来る様な人員不足の解消をして欲しい。
- 私よりも重度の障害をお持ちの方の手助けになりたい。自宅から近い場所に、参加できるサークルがあったら良いです。

〔4 仕事に関すること〕

- 仕事をしていないことと病気は私の場合関係ありませんが、仕事を始めようと思った時、病気がネックになることなく就活できるといいなと思う。
- 難病者が就労支援を受け働ける場を増やして欲しい。

〔5 実際に参加している地域活動や交流について〕

- いきいきプラザで体操や趣味サークル、介護予防イベントに参加して活動的になった。
- 同じ症状の人と交流ができる場があると気が楽になるのかなと思います。

問52 港区の福祉施策について、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	障害に配慮した案内・設備の充実に関する意見・要望	4
2	安心安全な生活、地域生活、余暇活動、交流に関する意見・要望	22
3	ケアサービスの内容、マネジメントに関する意見・要望	14
4	障害への理解・配慮に関する意見・要望	10
5	住宅に関する意見・要望	6
6	情報提供・相談・窓口対応に関する意見・要望	17
7	公共交通機関・移動支援に関する意見・要望	24
8	行政・制度に関する意見・要望	23
9	障害等級の認定や補助に関する意見・要望	7
10	その他	17

ご記入いただいた意見のうち、一部を抜粋して記載しています。

なお、記載に当たって文言等を修正している場合があります。

### 〔1 障害に配慮した案内・設備の充実に関する意見・要望〕

- 充分だと思いますが、多くの方が十人十色の悩みを抱えていると思いますので、今後ともよろしく願います。個人的には、公園も障害のある子供が楽しめるようなバリアフリーの遊具があると尚良いかと思います。車椅子利用でも遊びたい子や、視覚障害があっても外に出たい子はいると思いますので…。そういったデザインを手掛けている所は少ないと思うのですが、大学等で研究していたりするのでしょうか。
- 他の区から転居してきたが、指定難病患者を含めた障害者福祉サービスが充実しており驚いている。区の施設のバリアフリー化も進んでおり、予算規模の違いを強く実感した。台場地区に居住しているが、レインボーバスが無料で利用できるのは就労面でもメリットが大きい。今は自立可能な状態だが、今後病状が悪化した場合でもある程度安心できると思う。

### 〔2 安心安全な生活、地域生活、余暇活動、交流に関する意見・要望〕

- 難病患者ではありますが、現時点では、私は不自由なく普通の生活ができています。そして、難病医療費等助成のお陰で金銭面での不安も無く安心して治療を受ける事が出来、大変感謝しています。難病になった時、様々な不安を感じたのですが、支援がある事を知り、「生きて良いんだよ」と言われている様に感じ、ほっとしたのを覚えています。障害があっても安心して生活していける様、引き続き宜しくお願いします。

- 当事者同士の交流や社会や地域との交流をもって理解を深める施策が必要であり、これに関しては役所が主導的立場で行動する必要がある。
- 今回のアンケートに答えていて、災害の起きた時の避難について、つめて考えていなかった事に気がつきました。指定の避難地域は通常で歩いて 20 分ほどかかるので、何かあった時にはあそこまで行かれないなと思ってました。自宅避難の準備を進めなければいけないと思いました。
- 素敵な施設があるのに、有効な使用・提供ができてないように感じる。これは残念。文化芸術は教育の一貫にもなるので、こういったものを十分に活用し、福祉を浸透させていくと良いのでは。彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督が行なっている『ハンドルズ』の活動は、大いに参考になると思う。
- 1 点不安なのが、災害時のトイレ確保です。私は普段からトイレに時間がかかるので、簡易トイレを備蓄しないといけないと考えていますが、そう多くは備蓄できないので、備えが不十分と認識しています。以前港区さんから災害時簡易トイレの供給があり、大変有難かったです。

### 【3 ケアサービスの内容、マネジメントに関する意見・要望】

- 高齢者相談センターから派遣される会社福祉士の方との会話は年1回ですがちょっと心強いですし、いろいろ今後のことも相談できて助かっています。症状が重くなったら、また老化が進んだら、このような訪問をもっと利用したいと思います。
- 介護予防の政策に力を入れて頂きたい(リハビリや筋力向上に向けての体操教室等)。
- 他を知らないなので、こんなもんかなと思うが、自分の病気には、投薬とリハビリが、必須だか、利用条件の合うリハビリ施設の場があれば良いと思う
- 身体が辛くなった時の点滴等の支援をお願いしたい。物価が高くなり過ぎて大変なので何とかして欲しい。

### 【4 障害への理解・配慮に関する意見・要望】

- 障害者といわれる方々が障害の程度に応じて、他の障害者や健常者への福祉・介護サービスが実践出来る様な研修なり、体験出来る場所（施設）を示して、障害者がサービスを受けるだけでなく、自身で出来る範囲で他人の為に活動する様になって欲しい。例えば区役所にある喫茶室を区内全域に拡大するとか。
- 港区がどのような福祉施策をしているのか、利用している本人以外の方は調べないので、情報は提供されていても、知らない状況かと思います。私自身も、難病でも軽度な方なので、知らないことばかりです。健常者も今の福祉施策について学ぶ機会があれば、障害者への理解も深まるし、施策のアイデアもでていいのではないかと思います。
- 福祉の利用はあまり考えた事はなかったので、知識は浅いです。これを機会に知識を広めたいと思います。

## 〔5 住宅に関する意見・要望〕

- 区民住宅の入居資格を、単身者家族のある人に関わらず指定難病認定者にも広げてほしい。もしくは家賃補助などの拡充。こどもタクシー利用券を指定難病認定者にも使用可能にしてほしい。港区内にある文化施設（美術館など）拝観料の無料もしくは割引など、文化活動しやすいようにしてほしい。指定難病認定者が地域で安心して前向きになれるような暮らしができるよう、もう少し支援を厚くしていただくと幸いです。
- 指定難病者でも、優先的に区営住宅に入居できるようにしていただけたら、ありがたいです。

## 〔6 情報提供・相談・窓口対応に関する意見・要望〕

- 難しい病気なので、病院の先生でも分からない事が多く、情報を集める為に協力いただいているのは、薬剤師さんです。同じ病気の方の話や薬の副作用や（新しいお薬のため）使い方を相談しています。もっと気軽に相談・意見を貰える場所が欲しいです。元気に動いて日々生活出来ているのは、高いお薬代（医療費）をみてもらえているお陰です。（外面では元気そうでも、それは薬を飲んでからです。）感謝しております。本当にありがとうございます。
- どのような支援があるのかきちんと共有してほしい。数年も支援のことを知らないままで過ごしていたことで、余計な負担をかけてしまったため、いまだに家族にも申し訳ない気持ちで過ごしている。
- 気軽に電話相談が出来ると嬉しい。
- 支援をいただく為の申請や更新の手続きが記載を繰り返すことが多く、分かり難いこともあり面倒です。

## 〔7 公共交通機関・移動支援に関する意見・要望〕

- ちいばすがとても便利で何回も利用させていただいています。病院に行くときなど便利なのですが便数が少ない路線もありたまに不便に感じる事があります。
- 地下鉄やバスの利用も必要なので、ちいバスの利用券のように支援していただければ、とても助かります。
- 充分な対応をしていただいていると感じています。しいていえば、通院時の託児のサービスや支援がもっとあると嬉しいと思います。いつもありがとうございます！
- 現在のところ歩行に苦勞はしていますが、港区の福祉サービスは受けたことがありませんので施策については今後ゆっくり研究します。
- 高齢者が身内にいますが、疲れやすいので外出先で気軽に休むことのできるスペースや多機能トイレが増えると大変助かります。

## 〔8 行政・制度に関する意見・要望〕

- 私は難病指定はされておりますが、日常生活は普通に送れています。高額な薬を飲まないといけませんので、とても助かっています。自費では無理な為、今後も福祉施策が充実し、誰でも安心して医療が受けられる事を希望します。
- 難病なのですが、取得できる制度や仕事のことについて詳しく教えてほしいです。

- 現状他の自治体に比べて質の高い支援を頂いていると感じており、担当の方には大変感謝申し上げます。自身としては支援を受けるだけではなく、なるべく就労をして税金を納める側にいるべく努力をしております。制度設計上致し方無い面はありますが収入が上がると支援が落ちる仕組みがあると就労意欲を削ぐ面もあるためなるべく無い方が良いと感じております。
- 小さな自治体と比べると、充実しているのではないかとおもう。但し、福祉施策が、都市計画と連動したりして、全体として効果が最大に生かされるよう、国や他の省庁や他部門と連携されるともっと良くなると思う。

#### **【9 障害等級の認定や補助に関する意見・要望】**

- 難病認定の手続きが、毎回わりと大変です。マイナンバーもあるのでネットで簡単に申請出来るようになると便利かもしれません。
- ヘルプマークの悪用をされないよう、ヘルプマークは難病受給者証や障害者手帳の提示必須にして受け取れるようにしてほしい。入院費がかさむので、できるだけ補助してほしい。

## 6 障害福祉サービス等事業所を対象とした調査の集計結果

---

### 1. 回答者について

※回答を省略する。

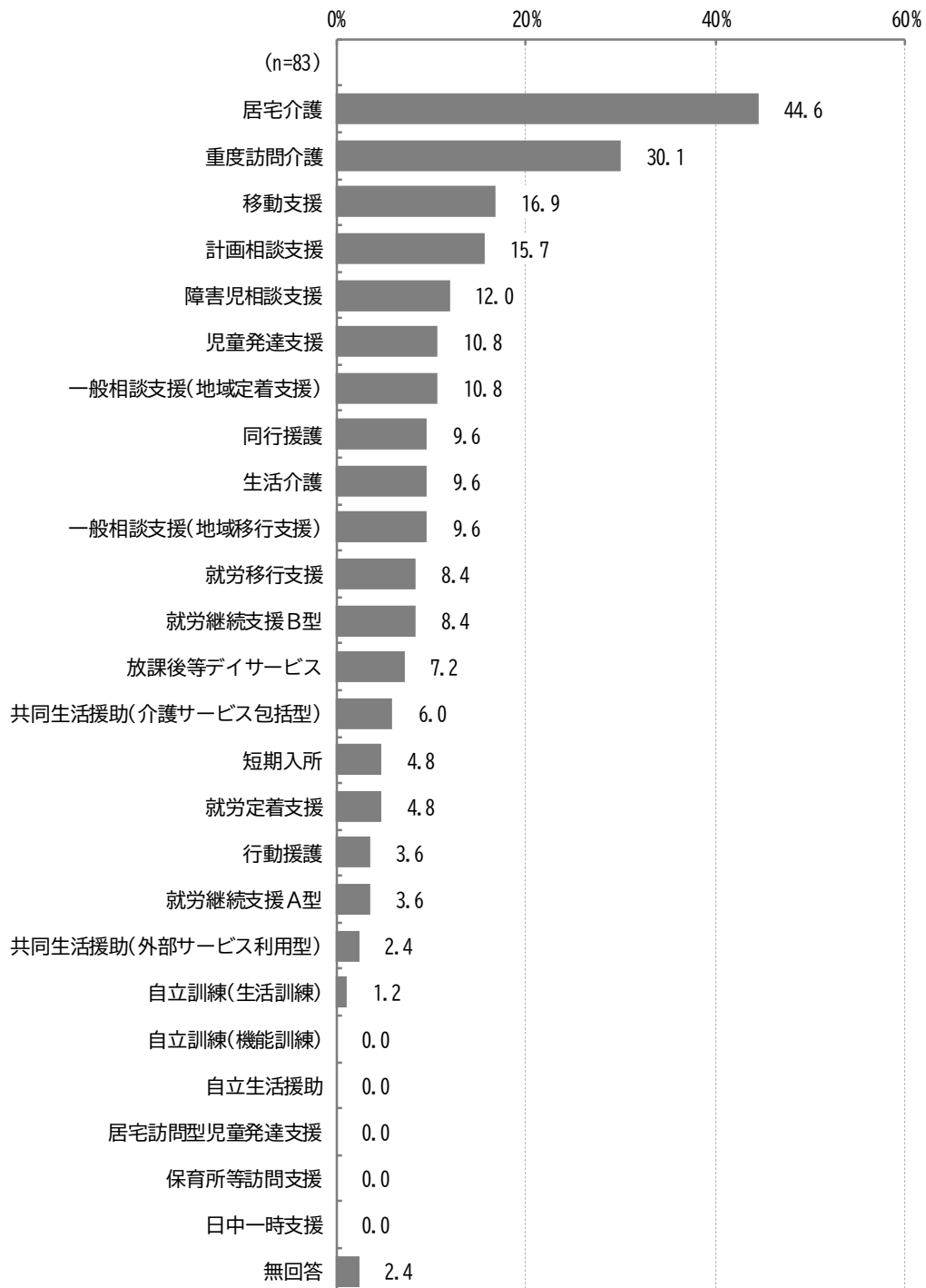
### 2. 貴事業所について

※以下の設問に対する回答は省略する。

- ・事業所名

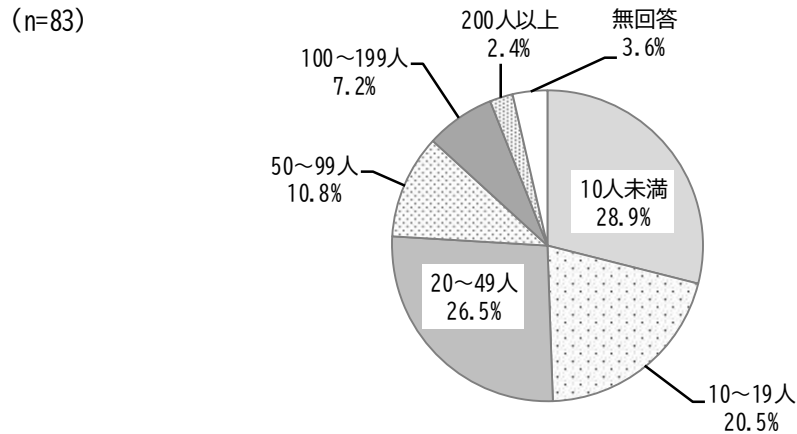
問3 事業所で提供しているサービスを教えてください。(〇はいくつでも)

「居宅介護」が44.6%と最も多く、次いで「重度訪問介護」が30.1%、「移動支援」が16.9%となっている。



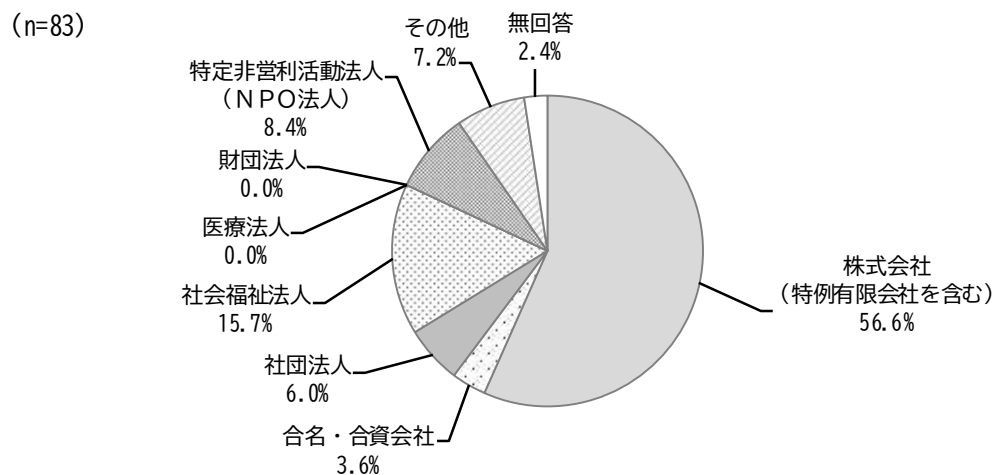
問4 令和7年8月1日現在の利用者（登録者）数を教えてください。（数字を記入）

「10人未満」が28.9%と最も多く、次いで「20～49人」が26.5%、「10～19人」が20.5%となっている。



問5 貴事業所を運営する法人格の概要をご記入ください。（○は1つ）

「株式会社（特例有限会社を含む）」が56.6%と最も多く、次いで「社会福祉法人」が15.7%、「特定非営利活動法人（NPO法人）」が8.4%となっている。

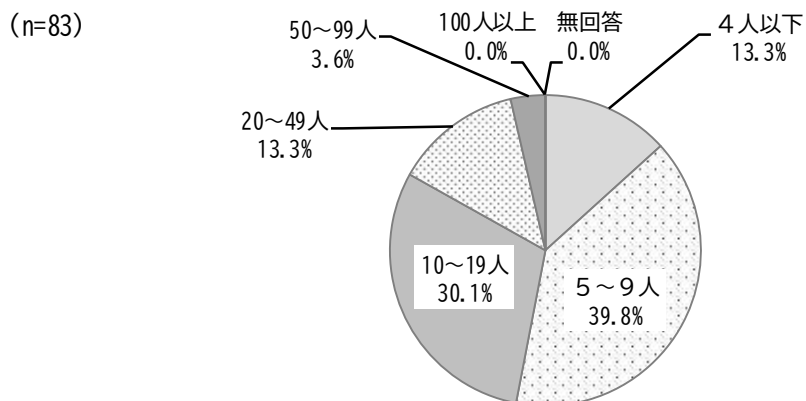


### 3. 組織・体制・人材について

問6 職員数についてご記入ください。(数字を記入)

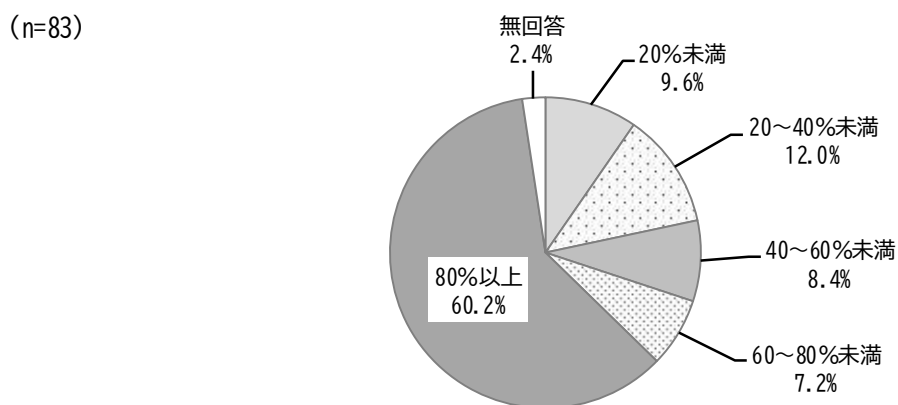
#### 【全体の人数】

「5～9人」が39.8%と最も多く、次いで「10～19人」が30.1%、「4人以下」と「20～49人」が13.3%となっている。



#### 【職員の資格取得者割合】

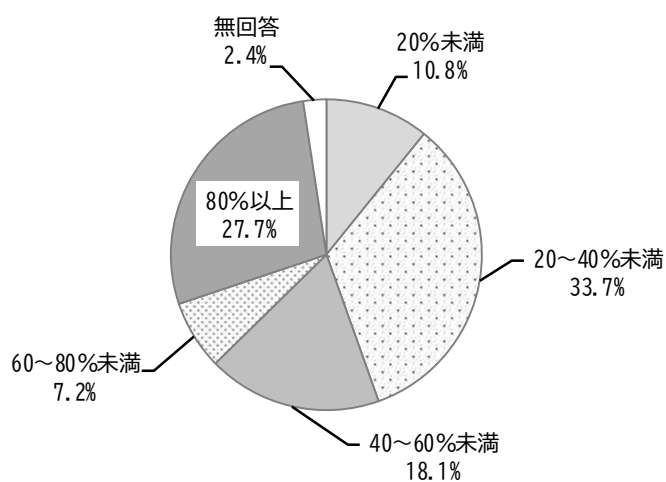
「80%以上」が60.2%と最も多く、次いで「20～40%未満」が12.0%、「20%未満」が9.6%となっている。



### 【職員の正規職員割合】

「20～40%未満」が33.7%と最も多く、次いで「80%以上」が27.7%、「40～60%未満」が18.1%となっている。

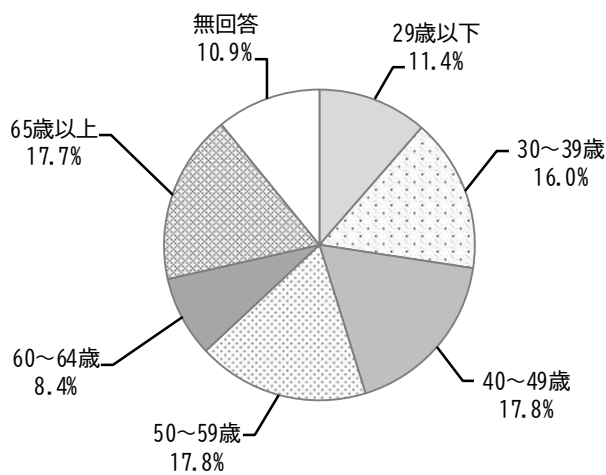
(n=83)



### 【職員の年代割合】

「40～49歳」と「50～59歳」が17.8%と最も多く、次いで「65歳以上」が17.7%となっている。

(n=83)

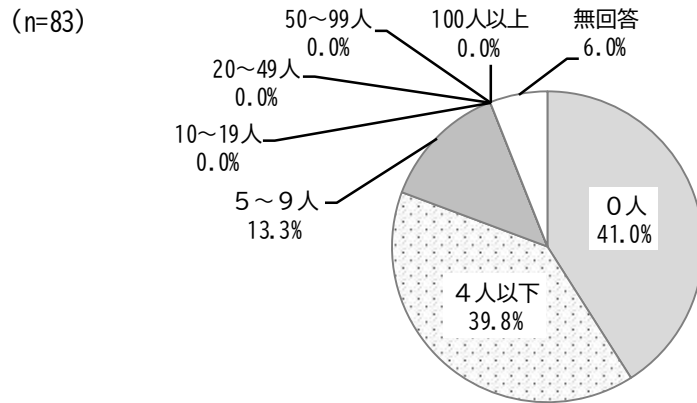


※各年代の割合は、回答のあった83事業所の職員数（計1,132名）の合計から算出しています。

問7 過去1年間の職員等の離職者数について、人数をご記入ください。(数字を記入)

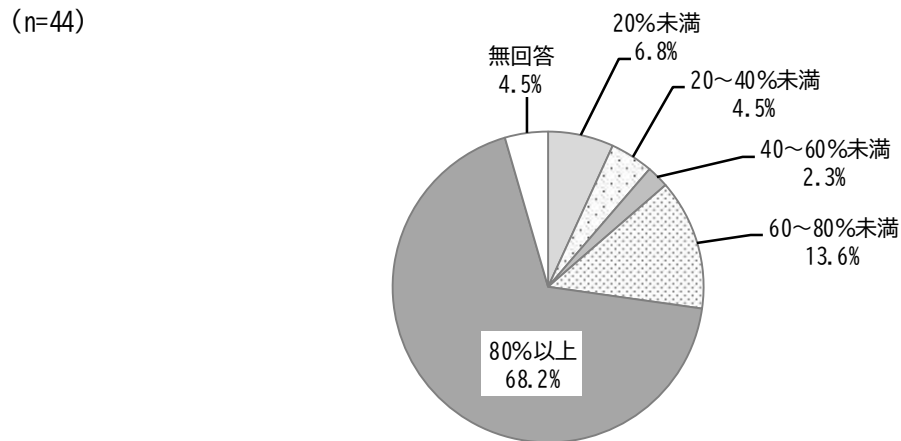
**【過去1年間の離職者数】**

「0人」が41.0%と最も多く、次いで「4人以下」が39.8%、「5～9人」が13.3%となっている。



**【過去1年間の離職者の資格取得者割合】**

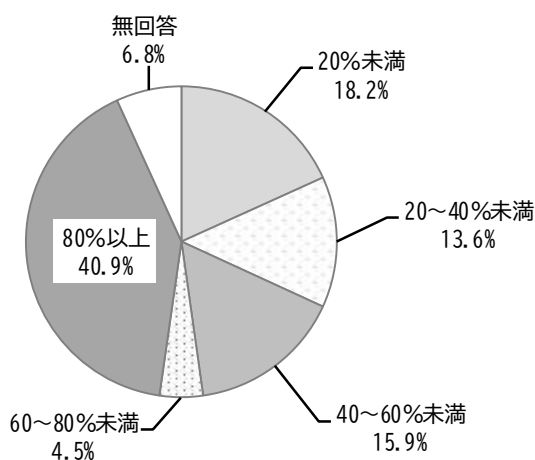
「80%以上」が68.2%と最も多く、次いで「60～80%未満」が13.6%、「20%未満」が6.8%となっている。



### 【過去1年間の離職者の正規職員割合】

「80%以上」が40.9%と最も多く、次いで「20%未満」が18.2%、「40～60%未満」が15.9%となっている。

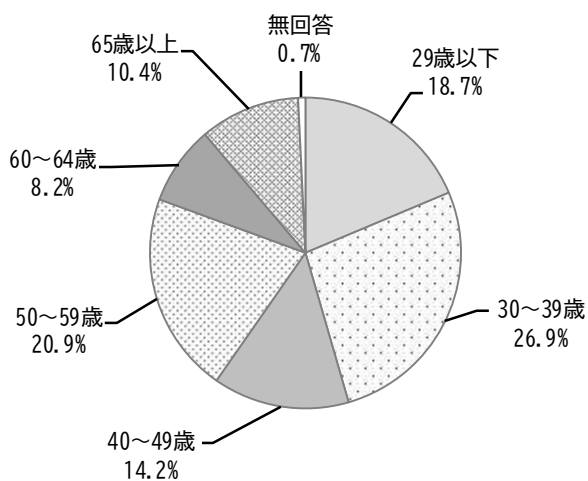
(n=44)



### 【過去1年間の離職者の年代割合】

「30～39歳」が26.9%と最も多く、次いで「50～59歳」が20.9%、「29歳以下」が18.7%となっている。

(n=44)

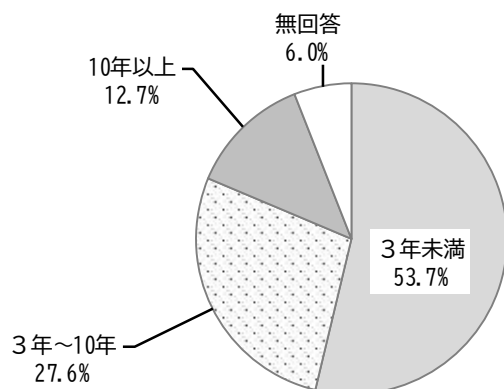


※各年代の割合は、回答のあった44事業所の離職者数（計134名）の合計から算出しています。

### 【過去1年間の離職者の入社年数】

「3年未満」が53.7%と最も多く、次いで「3年～10年」が27.6%、「10年以上」が12.7%となっている。

(n=44)

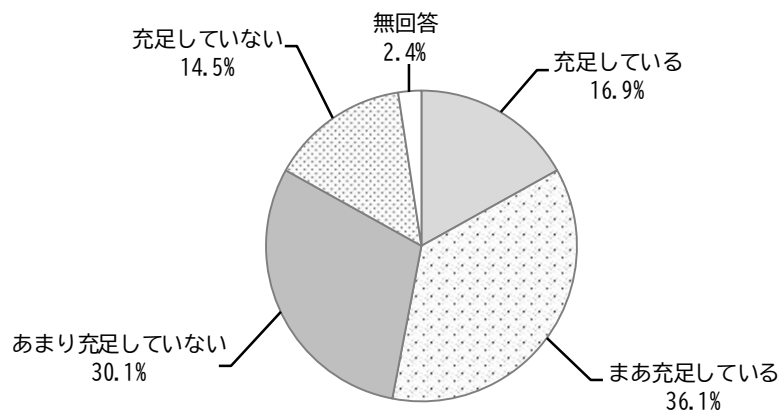


※入社年数の割合は、回答のあった44事業所の離職者数（計134名）の合計から算出しています。

### 問8 貴事業所における職員の充足度はいかがですか。（○は1つ）

「まあ充足している」が36.1%と最も多く、次いで「あまり充足していない」が30.1%、「充足している」が16.9%となっている。

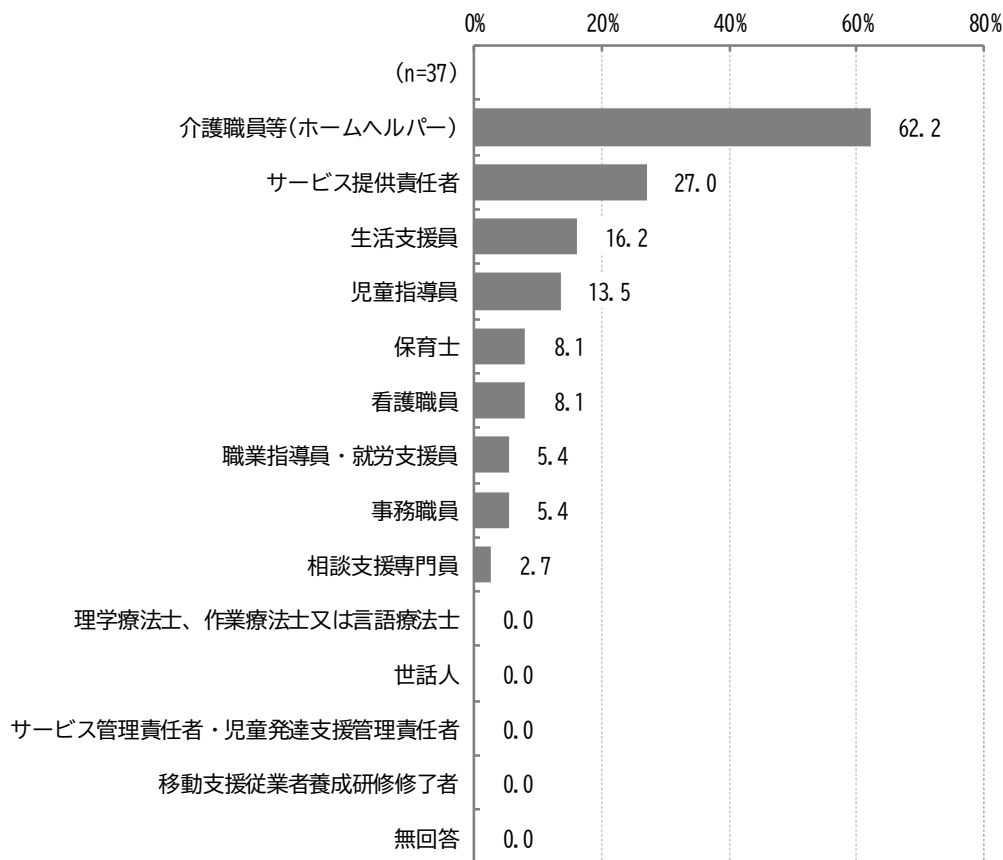
(n=83)



※問9は、問8で選択肢「3.あまり充足していない」又は「4.充足していない」のいずれかを選択した事業所のみ回答

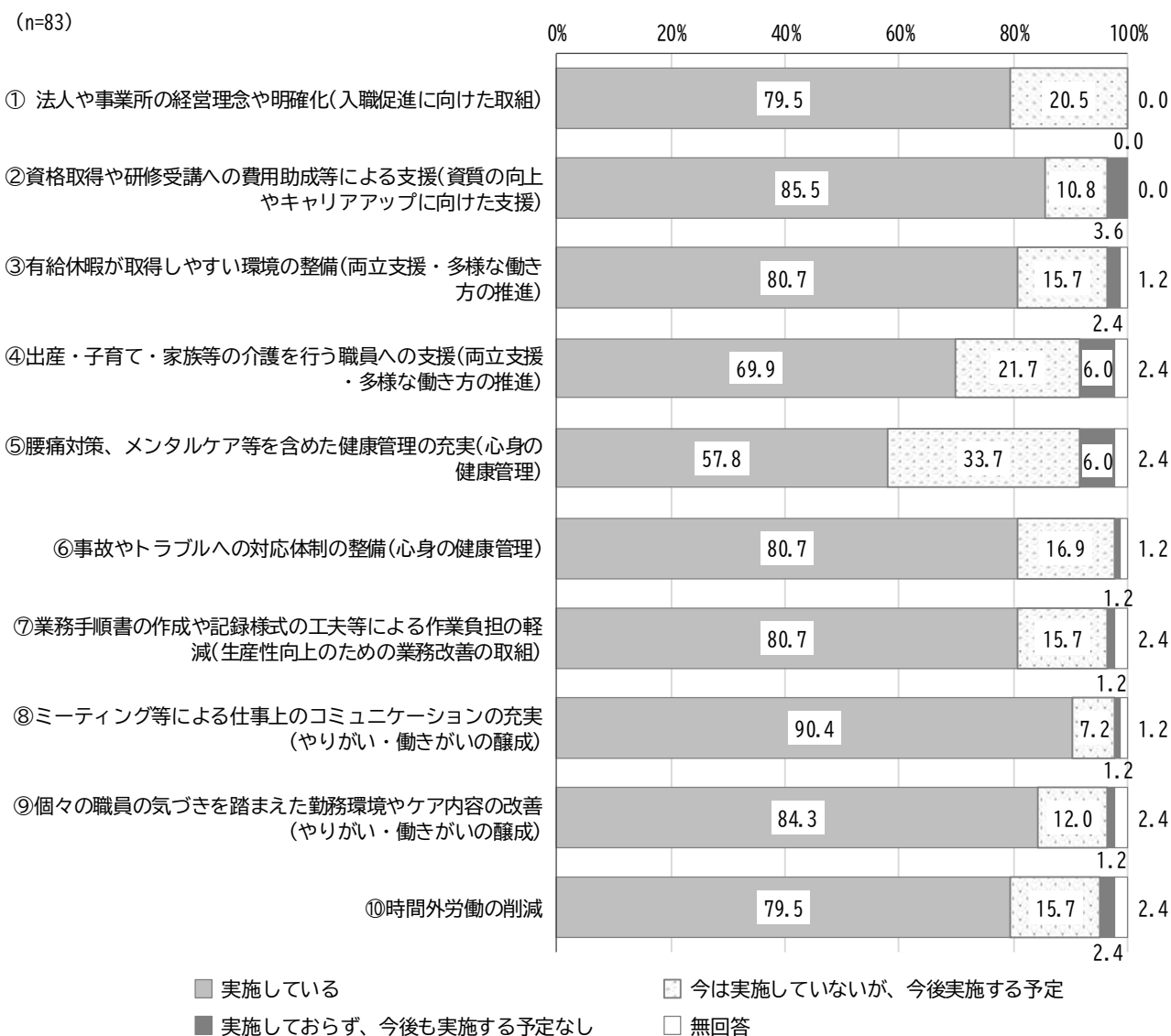
問9 不足している職種は何ですか。(〇は3つまで)

「介護職員等(ホームヘルパー)」が62.2%と最も多く、次いで「サービス提供責任者」が27.0%、「生活支援員」が16.2%となっている。



問10 貴事業所の職員に対する人材確保・定着に向けた支援について、対応の実施状況について、当てはまる番号をお答えください。(〇はそれぞれに1つ)

「実施している」の割合は、「⑧ ミーティング等による仕事上のコミュニケーションの充実(やりがい・働きがいの醸成)」が90.4%と最も多く、次いで「② 資格取得や研修受講への費用助成等による支援(資質の向上やキャリアアップに向けた支援)」が85.5%、「⑨ 個々の職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善(やりがい・働きがいの醸成)」が84.3%となっている。

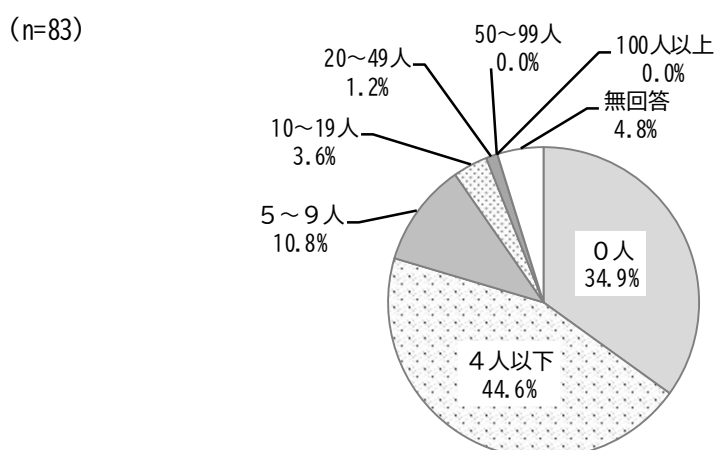


## 4. 人材確保策について

問11 貴事業所における過去1年間の有資格者（介護福祉士、児童指導員、保育士等）の採用について、お答えください。なお、貴事業所において把握できていない場合は、お手数ですが御社の人事部門等にご確認いただき、ご回答ください。

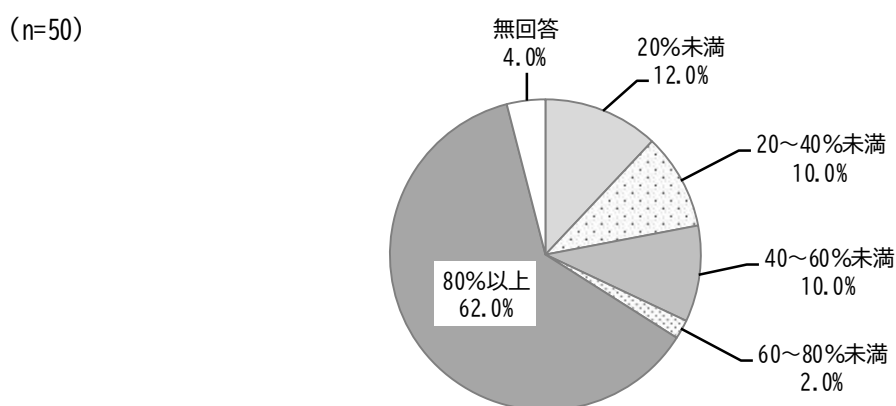
### 【有資格者の募集人数】

「4人以下」が44.6%と最も多く、次いで「0人」が34.9%、「5～9人」が10.8%となっている。



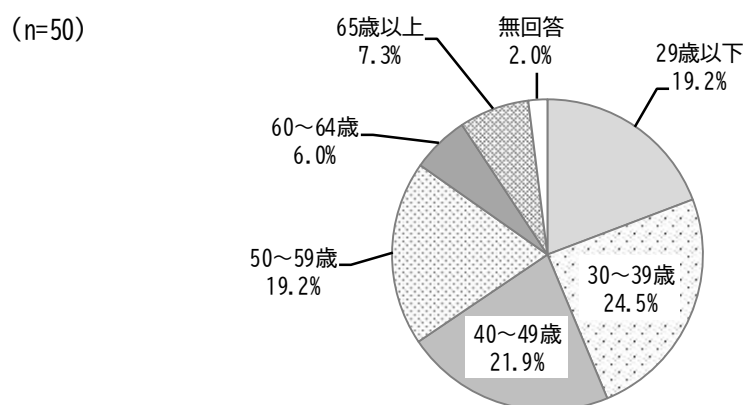
### 【募集人数のうち常勤職員の割合】

「80%以上」が62.0%と最も多く、次いで「20%未満」が12.0%、「20～40%未満」と「40～60%未満」が10.0%となっている。



### 【採用者の年代割合】

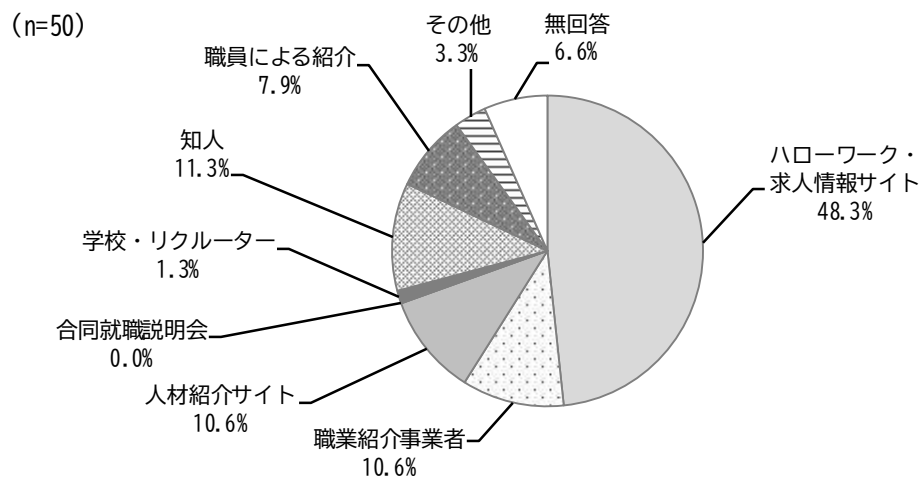
「30～39歳」が24.5%と最も多く、次いで「40～49歳」が21.9%、「29歳以下」と「50歳～59歳」が19.2%となっている。



※各年代の割合は、回答のあった50事業所の採用者数（計151名）の合計から算出しています。

### 【採用方法】

「ハローワーク・求人情報サイト」が48.3%と最も多く、次いで「知人」が11.3%、「職業紹介事業者」と「人材紹介サイト」が10.6%となっている。

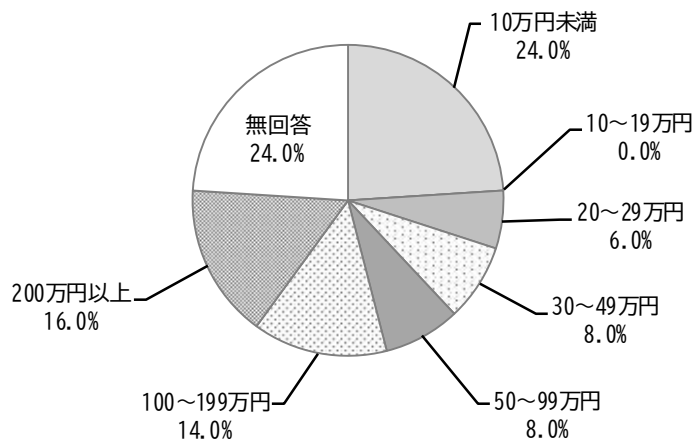


※採用方法の割合は、回答のあった50事業所の採用者数（計151名）の合計から算出しています。

### 【採用に係る経費総額】

「10万円未満」が24.0%と最も多く、次いで「200万円以上」が16.0%、「100～199万円」が14.0%となっている。

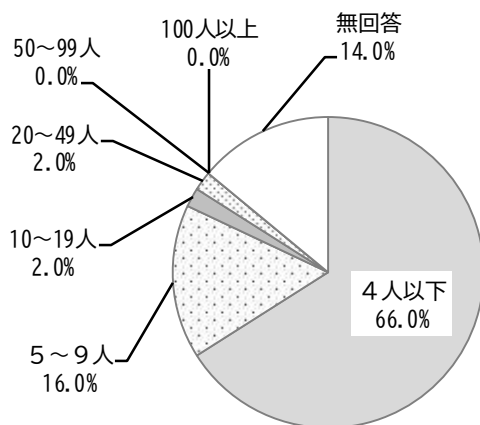
(n=50)



### 【採用できた人数】

「4人以下」が66.0%と最も多く、次いで「5～9人」が16.0%、「10～19人」と「20～49人」が2.0%となっている。

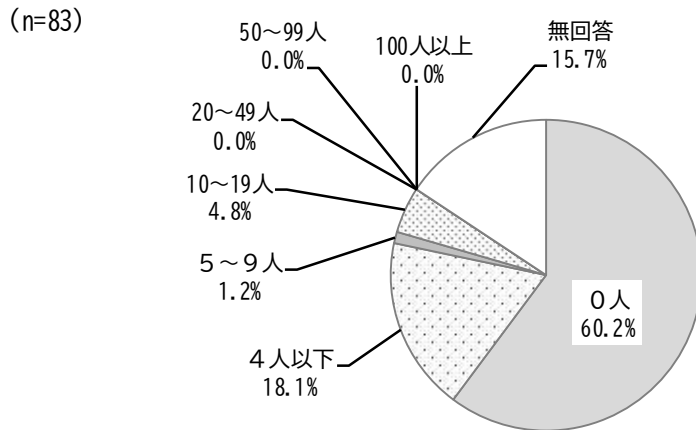
(n=50)



問12 過去1年間の有資格者以外（生活支援員、世話人、事務員等）の採用について、お答えください。

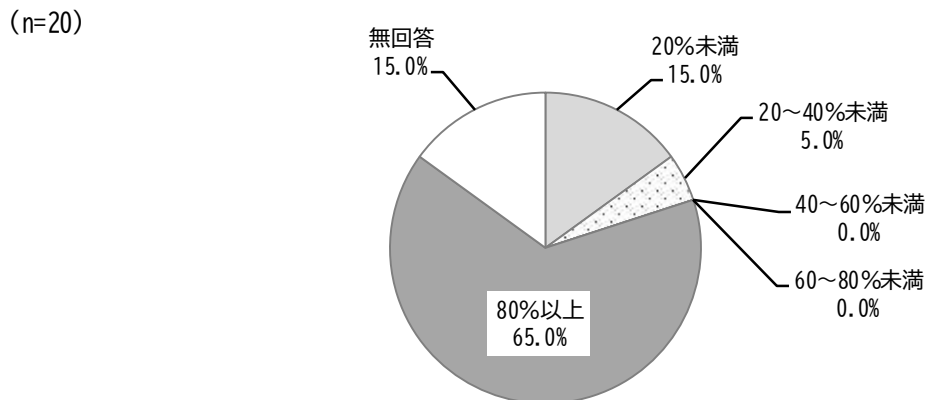
**【有資格者以外の募集人数】**

「0人」が60.2%と最も多く、次いで「4人以下」が18.1%、「10～19人」が4.8%となっている。



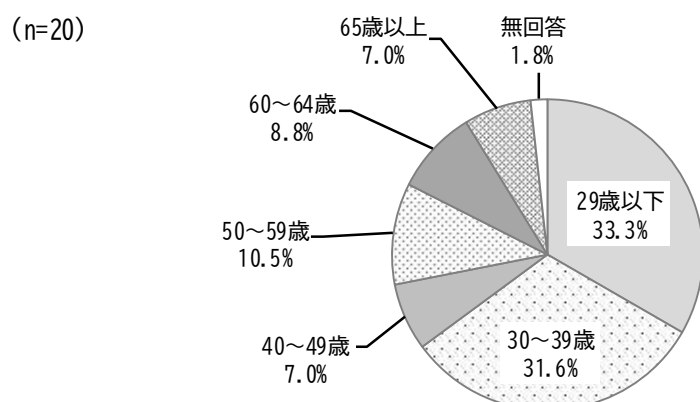
**【募集人数のうち常勤職員の割合】**

「80%以上」が65.0%と最も多く、次いで「20%未満」が15.0%、「20～40%未満」が5.0%となっている。



### 【採用者の年代割合】

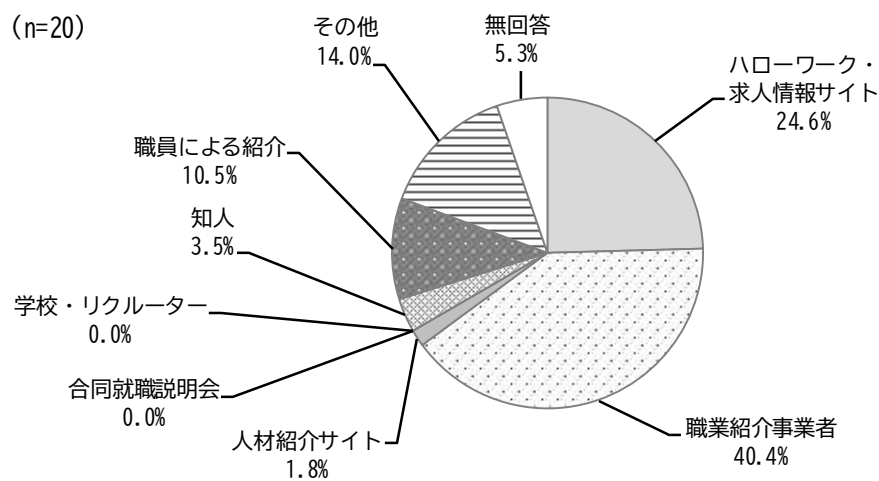
「29歳以下」が33.3%と最も多く、次いで「30～39歳」が31.6%、「50～59歳」が10.5%となっている。



※各年代の割合は、回答のあった20事業所の採用者数（計57名）の合計から算出しています。

### 【採用方法】

「職業紹介事業者」が40.4%と最も多く、次いで「ハローワーク・求人情報サイト」が24.6%、「その他」が14.0%となっている。

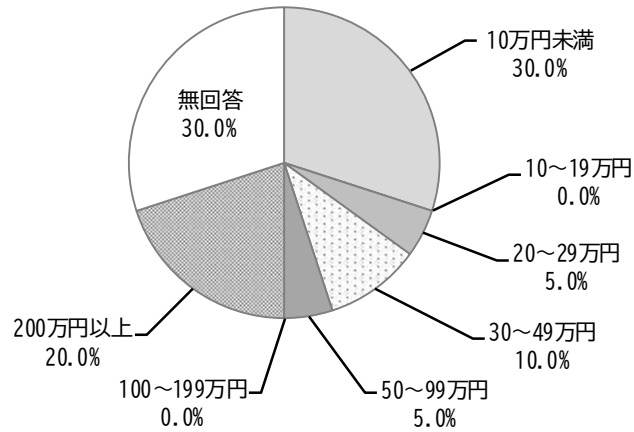


※採用方法の割合は、回答のあった20事業所の採用者数（計57名）の合計から算出しています。

### 【採用に係る経費総額】

「10万円未満」が30.0%と最も多く、次いで「200万円以上」が20.0%、「30～49万円」が10.0%となっている。

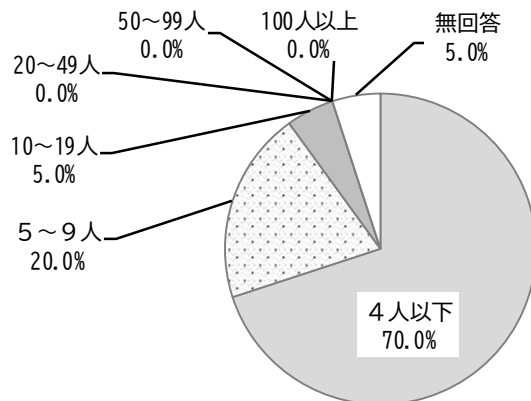
(n=20)



### 【採用できた人数】

「4人以下」が70.0%と最も多く、次いで「5～9人」が20.0%、「10～19人」が5.0%となっている。

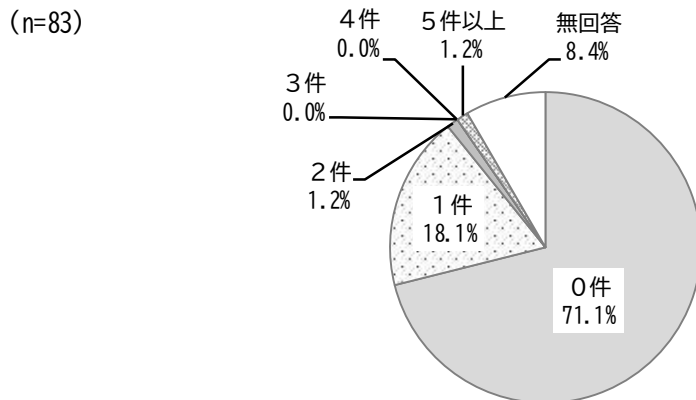
(n=20)



## 5. 利用者対応について

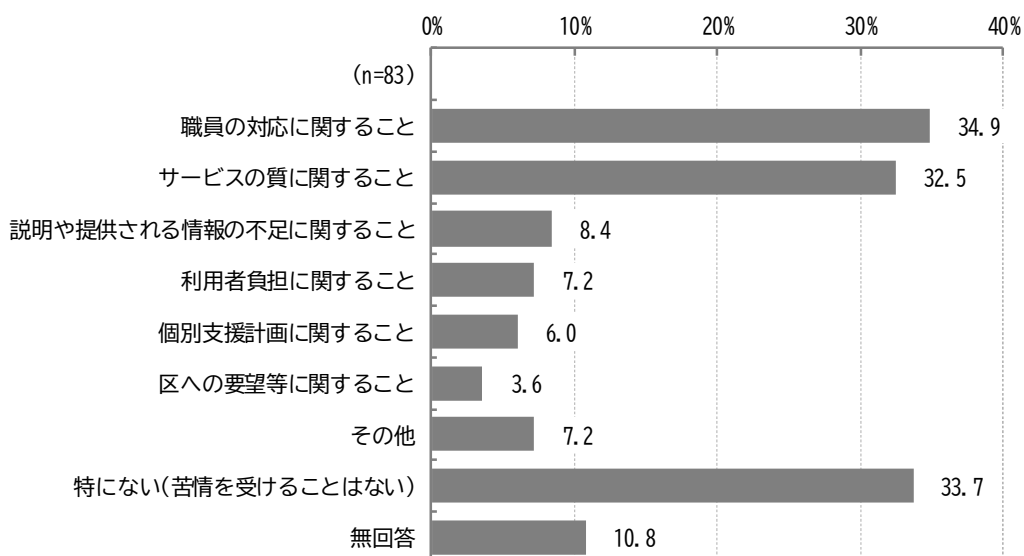
問13 貴事業所では、月におよそ何件程度、利用者や家族等からの要望や苦情を受けていますか。  
(数字を記入) ※区や東京都へトラブルとして事故報告している件数を記入してください。

「0件」が71.1%と最も多く、次いで「1件」が18.1%、「2件」と「5件以上」が1.2%となっている。



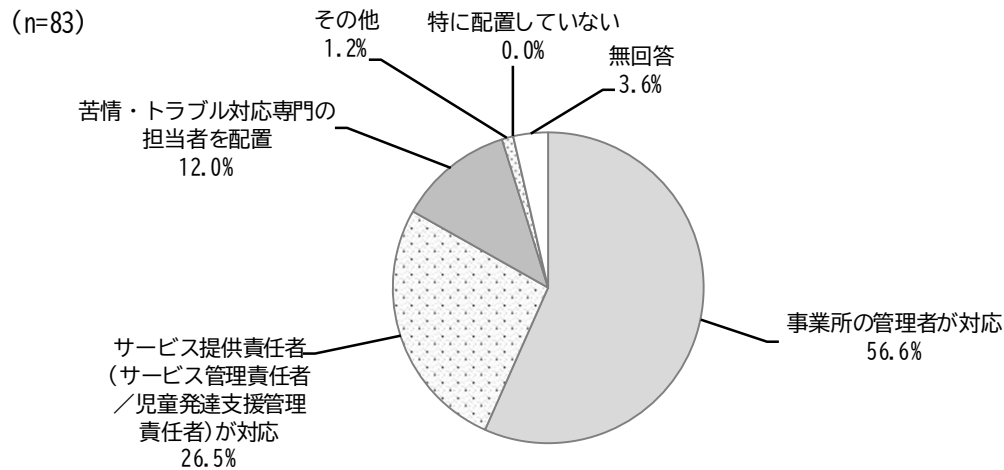
問14 貴事業所では、利用者や家族等からどのような要望や苦情を受けることがありますか。  
(○はいくつでも)

「職員の対応に関すること」が34.9%と最も多く、次いで「特にない(苦情を受けることはない)」が33.7%、「サービスの質に関すること」が32.5%となっている。



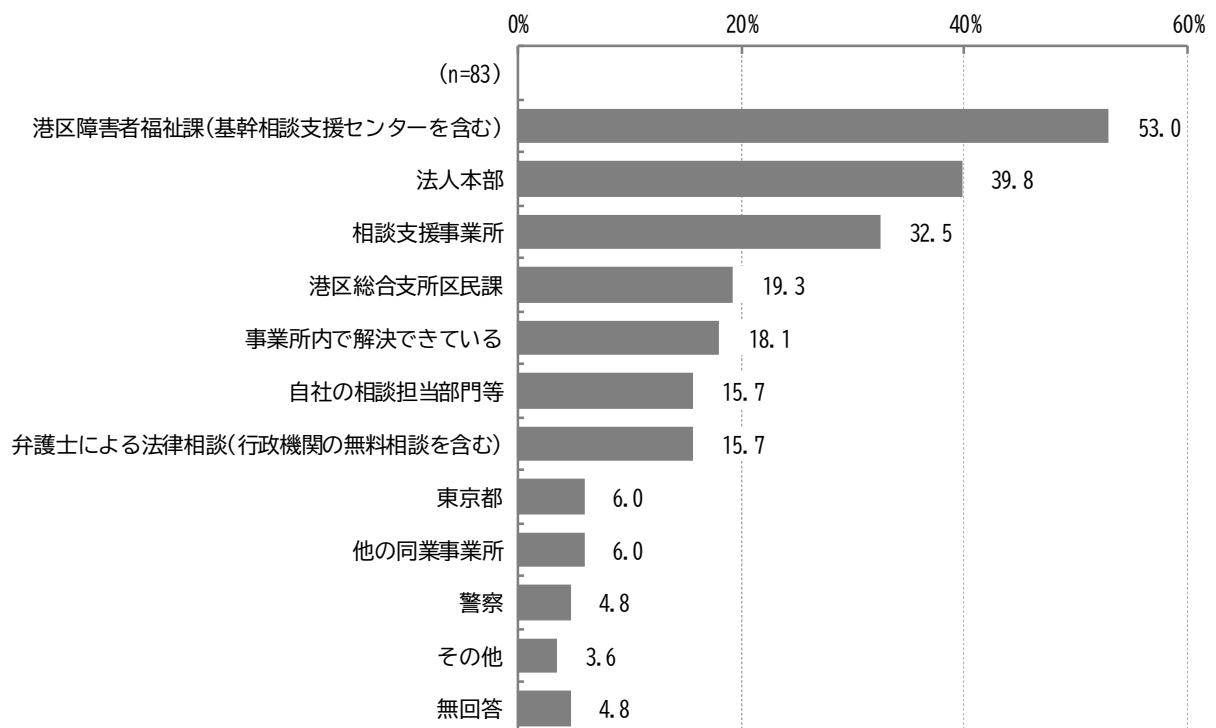
問15 貴事業所では、利用者や家族等からの要望や苦情を一貫して把握する責任者を配置していますか。(○は1つ)

「事業所の管理者が対応」が56.6%と最も多く、次いで「サービス提供責任者（サービス管理責任者／児童発達支援管理責任者）が対応」が26.5%、「苦情・トラブル対応専門の担当者を配置」が12.0%となっている。



問16 貴事業所では、利用者や家族等からの要望や苦情を事業所内で解決できなかった場合、どこへ相談していますか。(○はいくつでも)

「港区障害者福祉課(基幹相談支援センターを含む)」が53.0%と最も多く、次いで「法人本部」が39.8%、「相談支援事業所」が32.5%となっている。



問17 貴事業所では、過去1年間で、利用者や家族等からどのような要望や苦情が寄せられましたか。解決が困難だった事例がありましたら、教えてください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	サービスの質に関すること	2
2	ケアプランに関すること	1
3	職員の対応に関すること	21
4	利用者負担に関すること	2
5	その他	8

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

〔1 サービスの質に関すること〕

○1レッスン毎に能力向上具合を数値化して欲しい。フィードバック時に各項目の内容を利用時間超過しても具体的に話して欲しい。という要望や希望される曜日が定休日となりそれらを纏めた連絡が入る事がありました。

〔2 ケアプランに関すること〕

○個別支援計画書の配慮事項を外して欲しい。(機械でも道具でもないのでまるで取扱説明書みたいだから)。個別支援計画書から障害名を外して欲しい

〔3 職員の対応に関すること〕

○退職したスタッフに戻って来て欲しいという苦情で、急な退職だった為に保護者に事前連絡を伝えられなかった。  
○いつも同じ人が来るようにして欲しい。

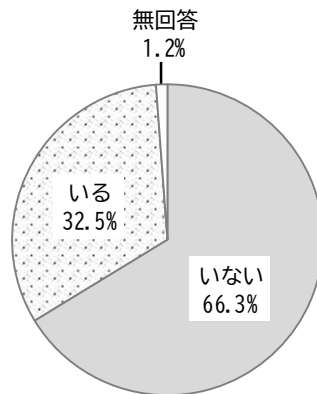
〔4 利用者負担に関すること〕

○利用者から「お金が無くなった」と言われて、包括から連絡を受けサ責が話を聞きに行く。

問18 貴事業所では、過去1年間で、利用者や家族等から身体的、精神的な暴力や嫌がらせなどにより、苦痛を感じた職員はいますか。(○は1つ)

「いない」が66.3%、「いる」が32.5%となっている。

(n=83)

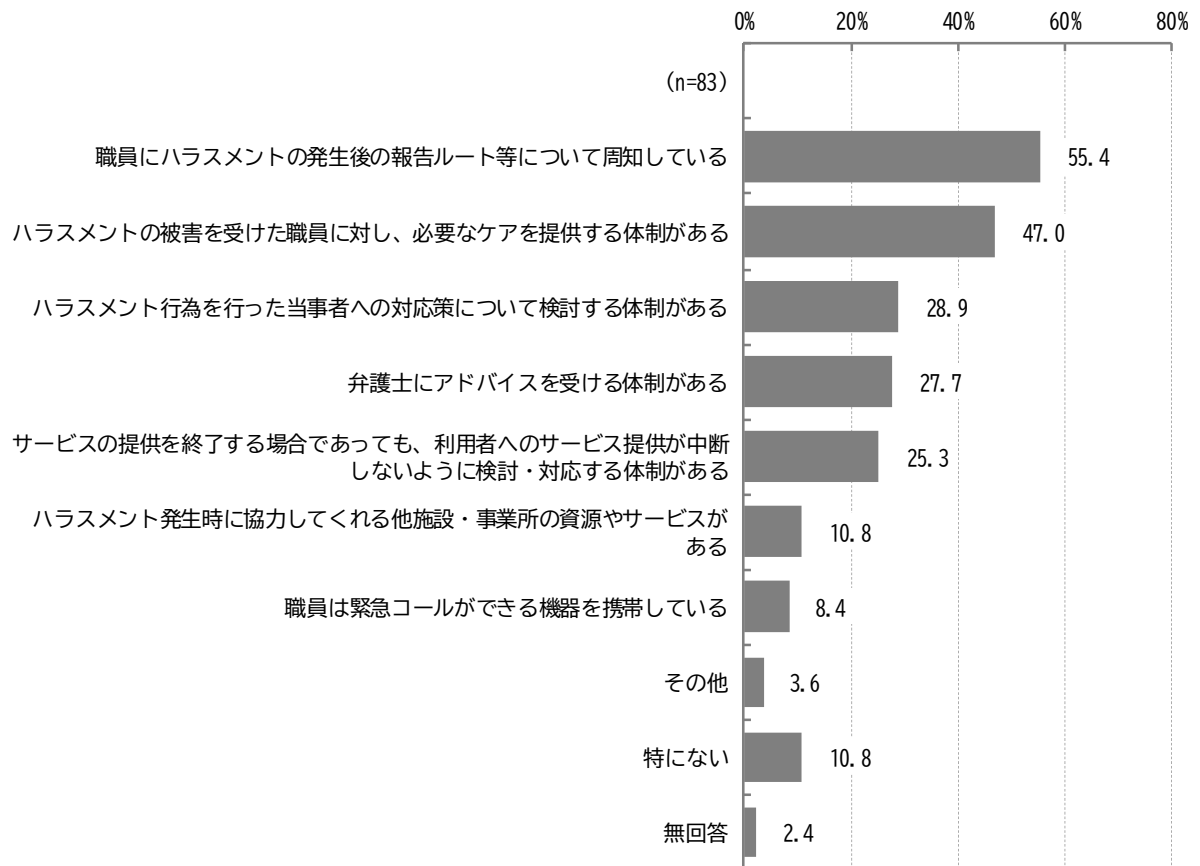


【具体的な内容】

内容	件数
暴言等	9
暴力等	4
その他	14

問19 貴事業所では、利用者や家族等からの不適正な行為や不快な言動によって職員が不快や不安になること（以下「ハラスメント」と言います。）に備え、どのような準備をしていますか。（〇はいくつでも）

「職員にハラスメントの発生後の報告ルート等について周知している」が55.4%と最も多く、次いで「ハラスメントの被害を受けた職員に対し、必要なケアを提供する体制がある」が47.0%、「ハラスメント行為を行った当事者への対応策について検討する体制がある」が28.9%となっている。

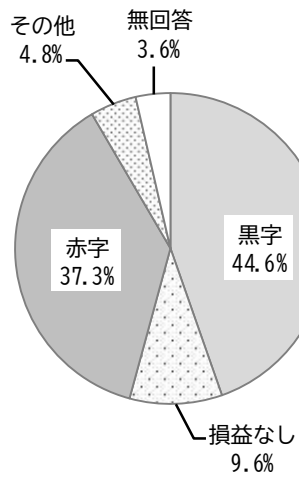


## 6. 事業運営全般について

問20 過去1年間の事業の採算はいかがでしたか。(○は1つ)

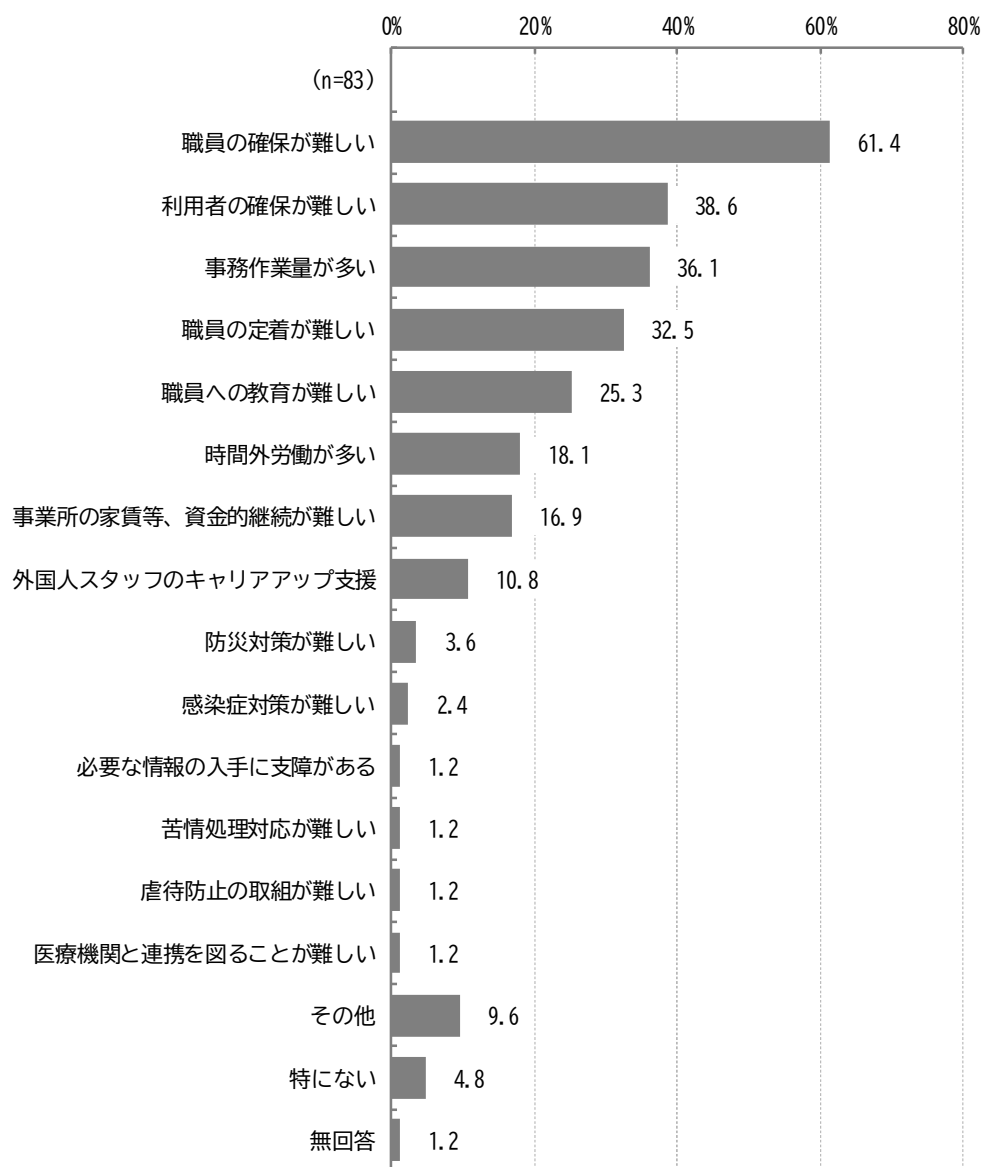
「黒字」が44.6%と最も多く、次いで「赤字」が37.3%、「損益なし」が9.6%となっている。

(n=83)



問21 貴事業所では、事業運営上で、どのようなことを課題と感じますか。(〇はいくつでも)

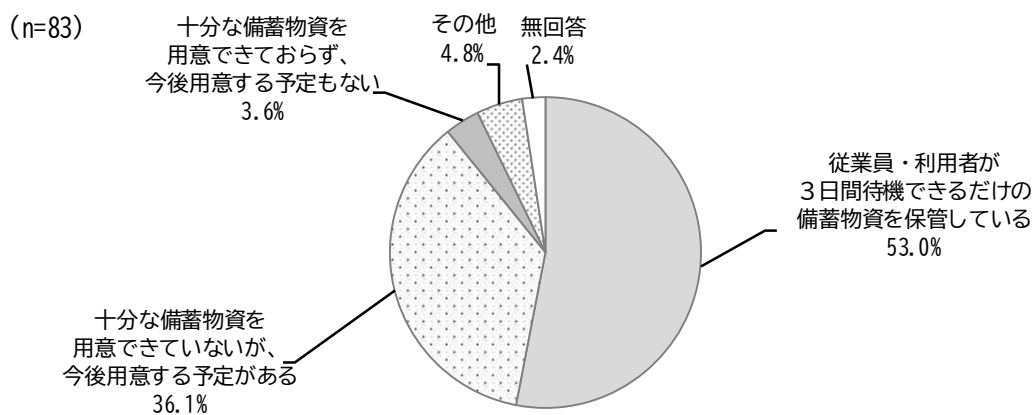
「職員の確保が難しい」が61.4%と最も多く、次いで「利用者の確保が難しい」が38.6%、「事務作業量が多い」が36.1%となっている。



## 7. 防災対策について

問22 東京都帰宅困難者条例や港区地域防災計画において、事業者の方は、従業員向けに3日分の食料等を備蓄しておくことを求めています。貴事業所における備蓄物資の状況を教えてください。(〇は1つ)

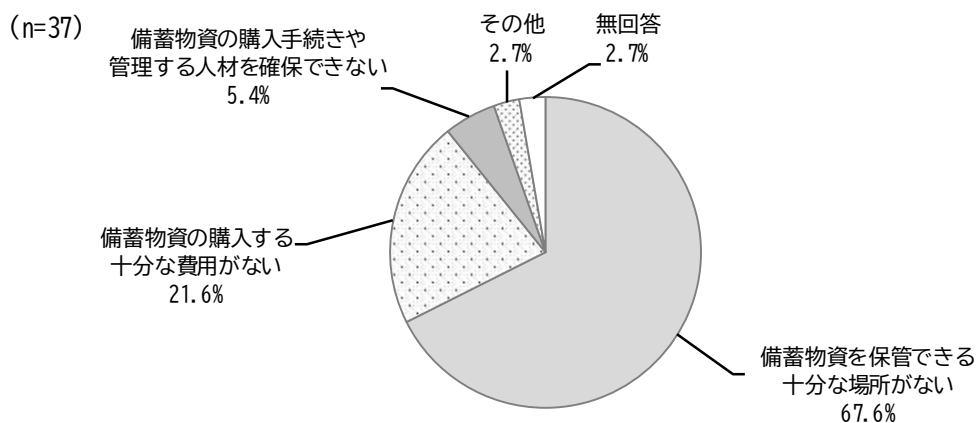
「従業員・利用者が3日間待機できるだけの備蓄物資を保管している」が53.0%と最も多く、次いで「十分な備蓄物資を用意できていないが、今後用意する予定がある」が36.1%、「その他」が4.8%となっている。



※問23は、問22で選択肢「2.十分な備蓄物資を用意できていないが、今後用意する予定がある」～「4.その他」のいずれかを選択した事業所のみ回答

問23 備蓄物資を用意するうえで、何を最も大きな課題と感じていますか。(〇は1つ)

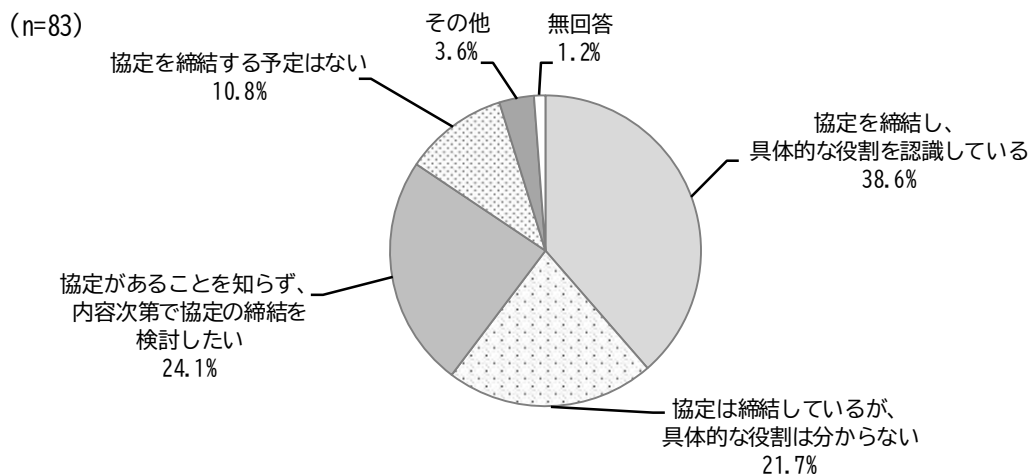
「備蓄物資を保管できる十分な場所がない」が67.6%と最も多く、次いで「備蓄物資の購入する十分な費用がない」が21.6%、「備蓄物資の購入手続きや管理する人材を確保できない」が5.4%となっている。



問24 区は、災害時に安否確認や避難所等で必要となる支援を行うため、区内の障害福祉サービス等事業者との間で、以下の災害対策協定を締結しています。  
それぞれの協定の締結状況等について教えてください。(〇は1つ)

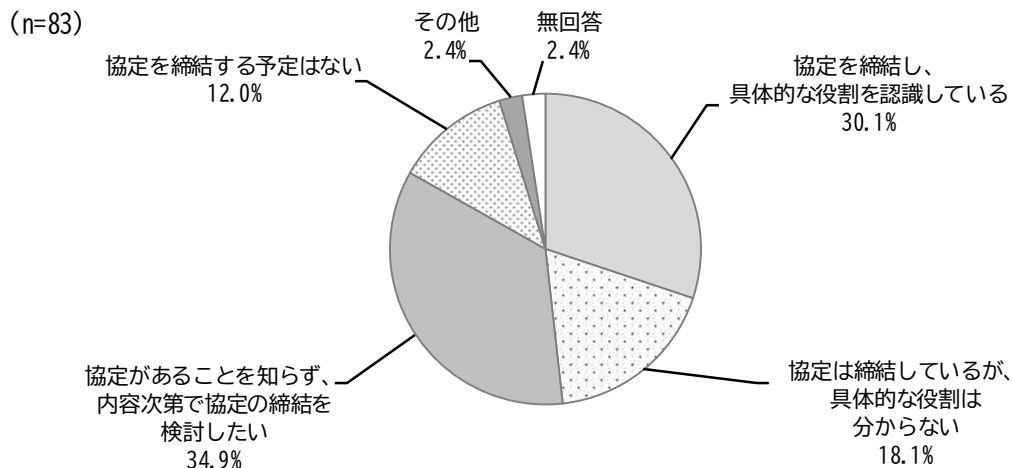
① 災害時における福祉避難所への応援体制（港区障害者福祉課が管理する5か所の福祉避難所に事業所の職員が出向き、避難者運営の補助、避難者の介助等）に関する協定

「協定を締結し、具体的な役割を認識している」が38.6%と最も多く、次いで「協定があることを知らず、内容次第で協定の締結を検討したい」が24.1%、「協定は締結しているが、具体的な役割は分からない」が21.7%となっている。



② 災害時における港区と障害福祉サービス事業者等との通所者等の安否確認等（通所者の安否確認の報告、可能な範囲で避難先等で居宅介護支援などを提供等）に関する協定

「協定があることを知らず、内容次第で協定の締結を検討したい」が34.9%と最も多く、次いで「協定を締結し、具体的な役割を認識している」が30.1%、「協定は締結しているが、具体的な役割は分からない」が18.1%となっている。

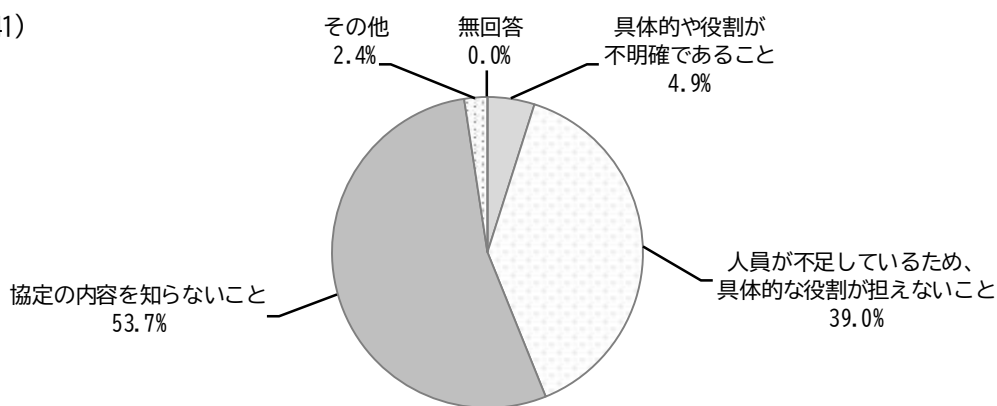


※問 25 は、問 24 の①又は②で選択肢「3. 協定があることを知らず、内容次第で協定の締結を検討したい」又は「4. 協定を締結する予定はない」のいずれかを選択した事業所のみ回答

問25 区との災害対策協定の締結に至っていない理由や課題について教えてください。  
(〇は1つ)

「協定の内容を知らないこと」が53.7%と最も多く、次いで「人員が不足しているため、具体的な役割が担えないこと」が39.0%、「具体的や役割が不明確であること」が4.9%となっている。

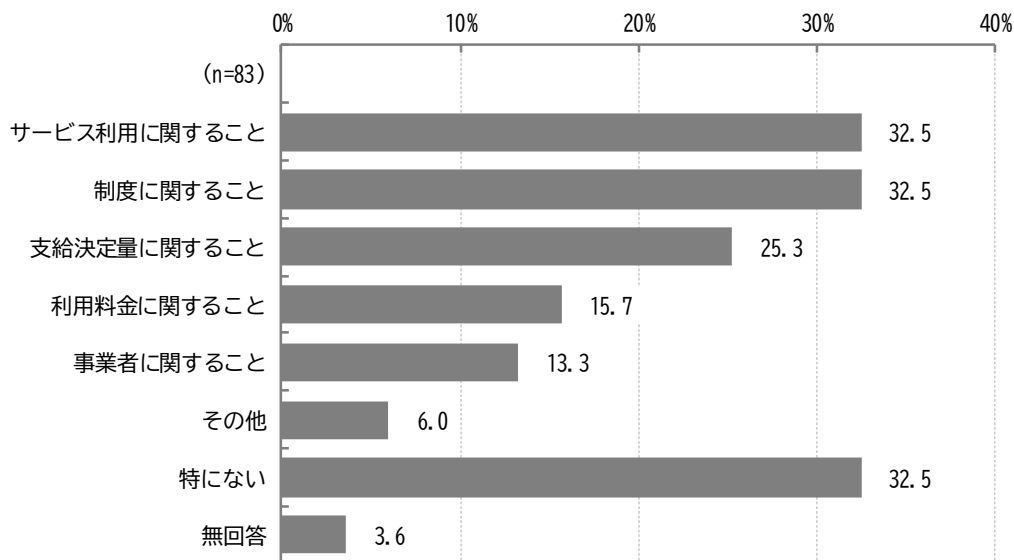
(n=41)



## 8. 行政に求める支援について

問26 利用者（保護者）より事業所に寄せられる意見等のうち、区が区民を支援すべき事項があれば、教えてください。（〇はいくつでも）

「サービス利用に関すること」、「制度に関すること」、「特にない」が32.5%と最も多くなっている。



### 【具体的な内容】

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	サービスの利用に関すること	5
2	利用料金に関すること	1
3	支給決定量に関すること	7
4	制度に関すること	5
5	その他	4

【主な意見】 ※分類ごとに1～2件掲載

### 〔1 サービスの利用に関すること〕

- 本人のサービスに対してヘルパーはどこまで出来るのかの線引きをして欲しい。
- 一部の利用者から、オンラインの遠隔支援を望む声があります。放課後等デイサービスの基本報酬が下がっていることで、改定後に閉所する事業所が多く聞かれます。物価高もあり、経営を圧迫していることもあり、対応策を検討していただけると助かります。

## 〔2 利用料金に関すること〕

- 障月額利用上限が 37,200 円の方は、利用に際して二の足を踏むことがあるので、金銭的なサポートをしてほしい。

## 〔3 支給決定量に関すること〕

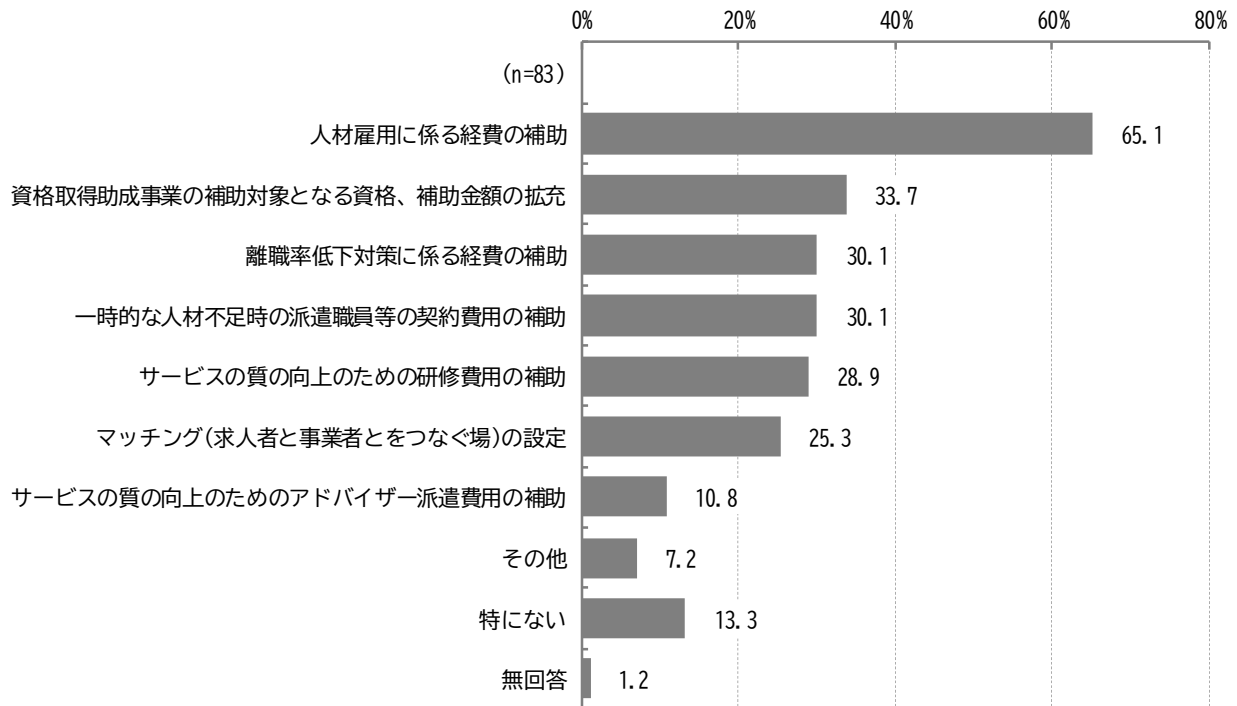
- 相談支援事業所のキャパシティーや支給決定のプロセスの都合もあると思いますが、3~4 カ月通所受給者証の発行が遅れることが、この 2, 3 年増えておりますので、利用者の利用にも支障が出ています。更新の方の場合は、受給者証の更新発行を待たずに、従来通り受け入れをしていますが、新規利用者の場合は、発行されるまで通所を待たないとなりませんのでご配慮いただけると幸いです。
- 支給量を超えて利用されようとする方が複数いる。確認作業は事業所でなく利用者側で行ってほしい。

## 〔4 制度に関すること〕

- 制度に関して理解されていない方がおられます。ケアマネや相談支援員が利用者が支援を受ける時に利用者に制度内容を伝えていただきたいと思います。
- 制度の周知や利用時の料金無償化、支給日数についての理解についてもより解り易く伝えられるものが有れば欲しい。

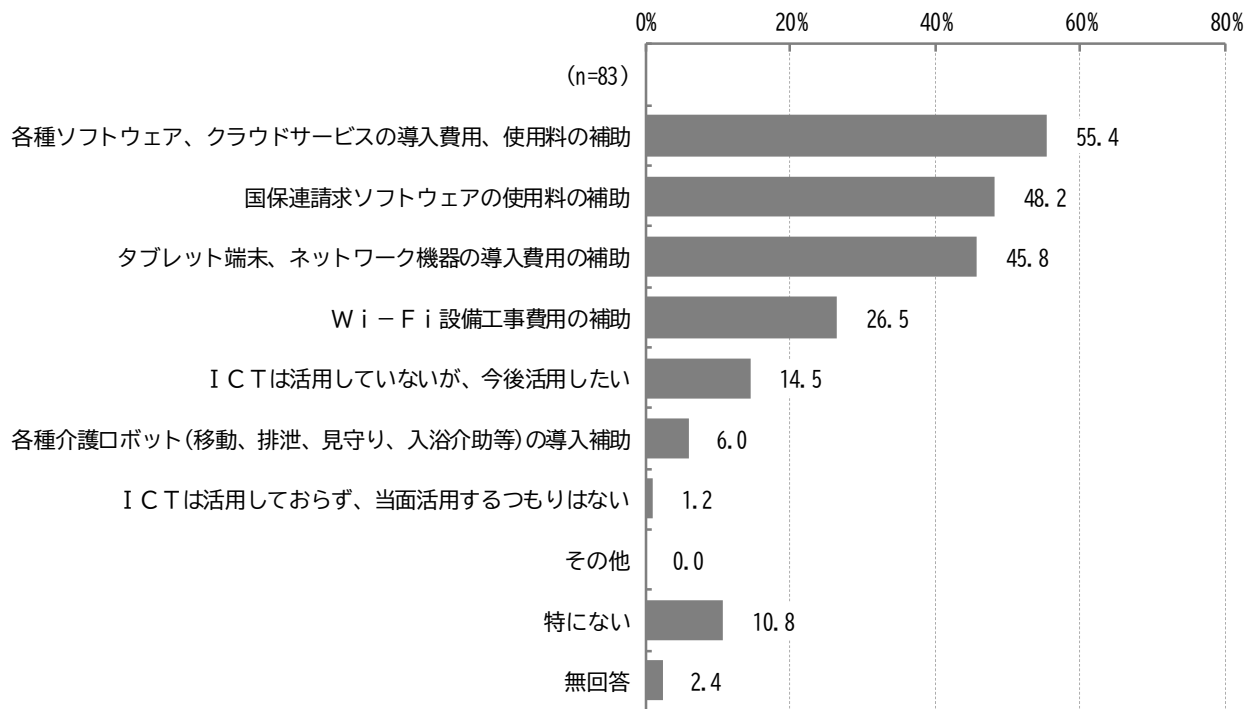
問27 人材の確保と質の向上に関する取組として区に対して、具体的に望むことは何ですか。  
(〇はいくつでも)

「人材雇用に係る経費の補助」が65.1%と最も多く、次いで「資格取得助成事業の補助対象となる資格、補助金額の拡充」が33.7%、「離職率低下対策に係る経費の補助」と「一時的な人材不足時の派遣職員等の契約費用の補助」が30.1%となっている。



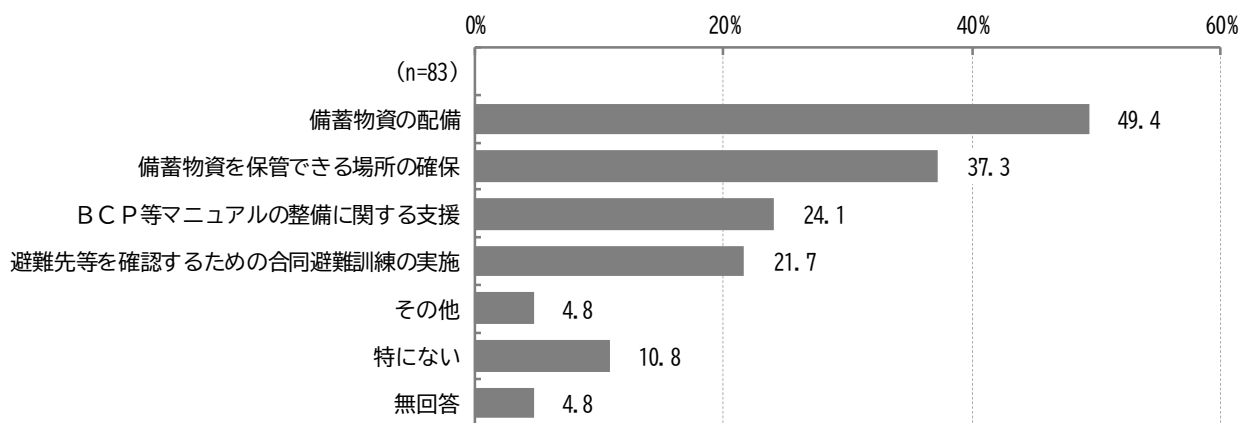
問28 ICTの活用に関する取組として区に対して、具体的に望むことは何ですか。  
(〇はいくつでも)

「各種ソフトウェア、クラウドサービスの導入費用、使用料の補助」が55.4%と最も多く、次いで「国保連請求ソフトウェアの使用料の補助」が48.2%、「タブレット端末、ネットワーク機器の導入費用の補助」が45.8%となっている。



問29 防災対策に関する取組として区に対して、具体的に望むことは何ですか。  
(〇はいくつでも)

「備蓄物資の配備」が49.4%と最も多く、次いで「備蓄物資を保管できる場所の確保」が37.3%、「BCP等マニュアルの整備に関する支援」が24.1%となっている。



問30 事業所の立場から、区へのご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

主な内容は以下のとおりでした。

分類		件数
1	障害福祉制度に関する意見・要望	5
2	事業運営・サービス支援に関する意見・要望	4
3	人材確保に関する意見・要望	3
4	その他	1

ご記入いただいた意見のうち、一部を抜粋して記載しています。

なお、記載に当たって文言等を修正している場合があります。

### 〔1 障害福祉制度に関する意見・要望〕

- 1. 移動支援の「身体有り」と「身体無し」の報酬単位の見直し。「身体無し」のサービスですが「身体有り」と同様の大変さを職員は強いられています。利用者様も必死で対応している事業所を探している。報酬の見直しが有れば早くサービス対応してくれる事業所も出て来るのではないのでしょうか。2. 港区に介護人材を増やす為に社宅制度に対する補助金支給。東京都で借り上げ制度が有りますが訪問介護の場合は1事業所に4件で利用者様の数に応じてです。港区オリジナルとして社宅保有に対する補助金支援を希望します。
- 移動支援だけでも2時間ルールの撤廃を検討してほしい。以前あったパターンとして療育施設にお送り、その後ご自宅にお送りといった間の時間が1時間だけ空いている場合に請求ミスが発生することがあった。(事業所としても単価は上がるので健全な運営をしやすい)利用者様自身が色々なサービスを受けることができるという情報に触れる機会を増やしてほしい(様々なサービスを受けれることを知らない方がいる、余暇支援も契約時点でお伝えすると驚かれることもある)・自転車購入だったり、バイクシェアといったものの補助を受けられれば小規模事業所等は特に助かるのではないか
- ①上述したように「港区内就労利用者」へのサポートを「区外」「区内」で分けずに実施してほしい。※特に新設いただいた家賃補助などの区内利用者の人数による配分比率など。②日中活動費補助金の「障害者雇用加算」に関して「高齢」の年齢制限が61～64歳とのことで、昨今の就労実態にあっていないのでご検討いただきたいです。高齢者雇用を推進している厚生労働省などの情報を見ると65歳以上の働き方などが推奨されています。
- 通院支援サービスの単価が安い為、上げて欲しい。

### 〔2 事業運営・サービス支援に関する意見・要望〕

- 健康管理に配慮が必要な利用者の受入れが多い為に看護師を配置してありますが巻き爪対応の爪切り、血圧測定、血中酸素濃度測定、不整脈観察、血糖値測定、着圧包帯の実施等の医療的な対応が増えています。必要な器材についての助成金があれば良いと思います。

○就労継続支援 B 型事業(各福祉サービス含む)の必要性を区より発信してほしい。(誤解して認識されている方が散見されるため)

### 〔3 人材確保に関する意見・要望〕

- 港区の介護職員へのフォローアップはとても助かっていますが、働く担い手は不足しています。年 2 回位、仕事の面接会等の開催をお願いいたします。
- 港区独自の加算や手当等のフォローアップはとても助かっていますが、働く担い手はなかなか増えず常に不足しています。
- 障害サービスを担う人材確保に注力していただきたい